トヨタ純正・ダイハツ純正

トヨタ純正
HDDナビゲーション
■トヨタ純正型番 ***NHZA-W60G***

ダイハツ純正
ワイド地デジハイスペック
G-BOOK HDDナビ
■ダイハツ純正型番 ***08545-K9055***

取扱書　詳細版

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。



トヨタ自動車株式会社
ダイハツ工業株式会社

本書は<HDDナビゲーション NHZA-W60G>
<ワイド地デジ ハイスペックG-BOOK HDDナビ 08545-K9055>
について説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。

本書はナビゲーションシステムおよびオーディオ・
ビジュアル、ハンズフリー・G-BOOKの取り扱いを
説明しています。
車両本体の取扱書と併せてお読みください。

- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 本書の画面と機能は、地図データベースの作成時期等によって実際と異なることがあります。

お車または本機をゆずられるときは次のオーナーのために本書をつけておいてください。
ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

準備 21

ナビゲーション 67

SECTION 1 はじめに 69
SECTION 2 基本操作 72
SECTION 3 ナビゲーション案内 149
SECTION 4 地点の登録 207
SECTION 5 ECO機能 228
SECTION 6 メンテナンス機能 236
SECTION 7 情報機能 246
SECTION 8 携帯連携機能 278
SECTION 9 音声操作 282
SECTION 10 オプション機能 309
SECTION 11 こんなときは 386

オーディオ・ビジュアル 415

SECTION I はじめに 416
SECTION II 基本操作 423
SECTION III オーディオの使い方 449
SECTION IV HDDオーディオの使い方 484
SECTION V テレビ／DVDの使い方 523
SECTION VI 音声操作 570
SECTION VII オプション機器の使い方 580
SECTION VIII ステアリングスイッチ 606

ハンズフリー・G-BOOK 609

SECTION 1 ハンズフリー機能 610
SECTION 2 G-BOOK機能 662
SECTION 3 音声操作 788
SECTION 4 ステアリングスイッチ 793

ご参考に 795

準備 21

1. 安全に正しくお使いになるために 22
2. 本書の見方 26
3. 特長 28
4. 本機について 35
   - 本機の作動条件 36
   - 各部の名称と操作 37
     - パネルスイッチ 37
     - タッチスイッチ 38
   - 電源の入れ方・切り方 39
     - オーディオ・ビジュアルの電源を入れる・切る 39
   - CD・DVD・“SD メモリーカード”の出し入れ 40
     - ディスク（DVD・CD）および“SD メモリーカード”の入れ方 40
     - ディスク（DVD・CD）および“SD メモリーカード”の出し方 44
   - 各画面表示を切り替える 46
   - ディスプレイの角度を調整する 47
   - 本機のお手入れについて 48
5. QUICK SETUP（初期設定サポート） 49
6. 共通の設定 53
   - BEEP 音の設定 53
   - 操作画面継続表示の設定 54
   - イメージカラーの切り替え 55
     - イメージカラーを切り替える 55
     - お好みの色を記憶させる 55
   - セキュリティの設定 56
     - セキュリティ機能を設定するには 56
     - セキュリティ機能のロックを解除する 58
     - パスワードを変更する 58
     - セキュリティ機能を解除する 59
     - インジケータの設定をする 60
   - 個人情報の初期化 62
   - ラジオアンテナの設定 64
   - オープニング画面の切り替え 66

ナビゲーション 67

1 はじめに

1. GPS ボイスナビゲーションについて 69
   - ナビゲーション画面の見方 69
2. GPS について 71
   - GPS を利用できないとき 71

2 基本操作

1. ナビゲーションの設定について 72
   - ナビゲーションの設定 72
     - ナビ詳細設定をする 74
       - 地図表示設定 75
       - 自動表示切替設定 76
       - 案内表示設定 76
       - 音声設定 77
       - ルート系設定 77
       - その他 78
     - 安全・快適走行設定をする 79
2. リスト・タブの切り替えについて 80
   - リスト画面の切り替え方 80
     - ▲・▼の切り替え表示 80
     - 行の切り替え表示 80
     - ページの切り替え表示 80
     - マークの切り替え表示 80
     - 種類の切り替え表示 80
     - 地域の切り替え表示 81
     - 施設項目の切り替え表示 81
   - 文字の表示範囲の切り替え方 81
   - タブの切り替え方 81
3. ヒント機能 82
   - ヒント機能の操作 82
4. 画面の調整・音声の設定 83
   - 画面の調整 83
     - 画質調整画面を表示するには 83
     - コントラスト（鮮明度）／明るさ調整 83

ライト点灯時に昼画表示にするには ...84
画面を消すときは ...84
地図の表示色の切り替え...84
自車マークの切り替え...84
地図の名称（文字）サイズの切り替え ...85
画面切り替え時の動画表現の設定 ...85
時計表示の切り替え ...85
音量の設定...86
音量を調節する ...86
高速時の自動音量切り替えを設定する ...86
操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定 ...87
ハートフル音声の設定...87
5. 地図の表示 ...88
現在地の表示...88
地図の移動（ワンタッチスクロール）...89
地図の移動 ...89
スクロール時の地名表示を設定する ...89
タッチスイッチの表示切り替え ...90
タッチスイッチの表示を切り替える ...90
タッチスイッチの表示を設定する ...90
地図縮尺の切り替え ...92
希望の縮尺に切り替える ...92
目的地までの縮尺に切り替える ...93
縮尺切替メッセージ表示を設定する ...94
市街図の表示...95
市街図表示に切り替える ...95
市街図の縮尺を切り替える ...95
市街図表示を解除する ...96
施設の内容を表示する ...96
走行軌跡の表示...97
走行軌跡を表示する ...97
走行軌跡を消去する ...97
地図向きの切り替え ...98
地図の向きを切り替える ...98
フロントワイド表示の切り替え...99
2 画面表示の切り替え ...100
2 画面表示に切り替える ...100
右画面を操作する ...100
2 画面表示を解除する ...101
高速略図画面...102
高速略図画面を操作する ...103
高速略図画面を解除する ...103
高速路線マップ...104
高速路線マップの縮尺を切り替える ...104
高速路線マップの自動表示を設定する ...105
高速路線マップ表示を解除する ...105
高速路線マップに表示を切り替える ...106
駐車場マップ ...107
駐車場マップの自動表示を設定する ...107
駐車場マップを解除する ...107
P解除 から解除する ...107
表示変更 から解除する ...107
3D 表示の設定...108
3D 表示に切り替える ...108
リアル市街図を表示する ...108
リアル市街図の視点を調整する ...109
見下ろす角度を調整する ...109
地図向きを回転する ...110
ルート方向アップ表示を設定する ...110
3D 表示、リアル市街図を解除する ...110
ビジュアルシティマップの表示 ...111
シーズンレジャーランドマークの表示...111
立体ランドマークの表示...112
立体ランドマークの表示を設定する ...112
立体ランドマークの内容を表示する ...112
県境案内の設定 ...112
注意地点案内（安全・快適走行設定）の設定 ...113
施設の表示...114
走行中に簡易操作で表示する ...114
施設ランドマークを消去する ...114
複数ジャンルを設定する ...115
周辺の施設を検索する ...117
ルートを考慮したリストを表示する ...118
施設の情報を表示する ...119
周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更 ...120
6. 地図の呼び出し方法 ... 121
名称で地図を呼び出す...123
漢字・カタカナ・英数字を入力する ...125
漢字を入力するには ...126
予測候補について ...127

入力履歴を消去する 127
エリア別で絞り込みする場合 128
住所から絞り込むとき 128
地域から絞り込むとき 129
周辺から絞り込むとき 130
施設ジャンル別で絞り込みする場合 132
名称検索結果の並べ替えを設定する 133
住所で地図を呼び出す 134
施設で地図を呼び出す 135
電話番号で地図を呼び出す 137
メモリ地点で地図を呼び出す 139
ジャンルで地図を呼び出す 139
エリアを指定して施設を表示する 140
郵便番号で地図を呼び出す 142
マップコードで地図を呼び出す 142
履歴で地図を呼び出す 143
携帯電話で地図を呼び出す 144
特別メモリ地点で地図を呼び出す 144
7. 呼び出した地図の操作 145
表示した地図の操作 145
位置の変更 146
施設内容の表示 146
提携駐車場の検索 147
住所の検索 148
住所一覧から検索する 148
周辺住所から検索する 148

3 ナビゲーション案内

1. 目的地設定・ルート探索について 149
2. 目的地を設定してルート探索 150
目的地の設定 151
地図から設定する 151
携帯電話から設定する 152
登録地点から設定する 153
地図の呼び出し方法から設定する 154
ルート探索 155
ルート学習探索 156
ルート学習を設定する 156
ルート学習結果を消去する 157
渋滞考慮ルート探索の設定 158
新旧ルート比較表示の設定 159
ルートを選択する 160
全ルート図表示 161
ルートの表示について 161
細街路の表示について 161
全ルート図の表示・タッチスイッチについて 162
季節規制区間の表示・回避 164
季節規制区間を回避する 164
季節規制区間メッセージ表示を設定する 164
ルート情報（案内道路情報）の表示 165
5ルート同時表示 166
3. 探索ルートの変更 167
目的地の追加 168
区間別探索条件の変更 170
目的地の並び替え 171
目的地の消去 172
ルート変更 から消去する 172
DEST から消去する 172
地図画面から消去する 173
乗降インターチェンジ（IC）の指定 174
インターチェンジ（IC）指定の解除 176
通過道路の指定 177
全ルート図画面から指定する 177
ルート変更 から指定する 178
通過道路指定の修正 179
通過道路指定の解除 180
4. 目的地案内の開始・中止・再開 181
案内の開始 181
案内の中止・再開 181
デモンストレーション（デモ） 181
5. 目的地案内について 182
案内画面について 182
案内図の切り替え 184
案内図の自動表示を設定する 184
案内図を切り替える 184
拡大図の切り替え 184
拡大図の自動表示を設定する 184
拡大図を解除する 184
交差点案内 185
分岐しない交差点について 185
分岐する交差点（交差点拡大図）について 185

3D イラスト拡大図について 186
リアル交差点拡大図について 186
立体交差点拡大図について 186
3D 交差点拡大図について 186
難交差点拡大図について 186
側道案内拡大図について 186
レーンリスト図案内 187
レーンリスト図の自動表示を設定する 187
レーンリスト図を切り替える 187
フェリー航路の案内 188
到着予想時刻表示の設定 188
平均車速を設定する 188
料金案内 190
車両情報を設定する 190
料金所レーン案内 192
ターンリスト図案内 193
高速分岐案内 194
都市高速マップ 194
音声案内 195
自動音声案内を設定する 196
細街路での案内 196
他モードでの案内 196
6. 案内ルートの操作 197
全ルート図の再表示 197
到着予想時刻／残距離表示の切り替え 197
オンルートスクロール 198
オンルートスクロールを開始する 198
オンルートスクロールの施設を設定する 198
オンルートスクロール画面の操作について 199
7. ルートの再探索 200
ルートの再探索について 200
ルートの再探索 203
自動再探索 204
8. 目的地履歴について 205
目的地履歴の消去 205
9. 目的地設定画面の設定 206
目的地設定画面のスイッチ設定（目的地メニューカスタマイズ） 206

4 地点の登録

1. 地点の登録とは 207
2. メモリ地点の登録・修正・消去 208
メモリ地点の登録 208
ワンタッチで登録する 208
離れた場所を登録する 208
メモリ地点の修正・入力 209
からメモリ地点修正画面を表示する 209
地図画面からメモリ地点修正画面を表示する 210
メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する 211
自宅、特別メモリ地点を解除する 211
メモリ地点のマークを変更する 212
メモリ地点の名称を入力する 214
ひらがな・漢字を入力するには 215
メモリ地点の名称を表示する 216
メモリ地点の名称読みを入力する 216
メモリ地点の位置を修正する 217
メモリ地点の電話番号を入力する 217
メモリ地点の消去 218
メモリ地点登録編集画面から消去する 218
地図画面から消去する 218
3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去 219
迂回メモリ地点の登録 219
迂回メモリ地点の修正 220
迂回メモリ地点の消去 221
4. メモリ地点のデータ移行 222
メモリ地点移行について 222
パスワードの設定 223
パスワードを設定する 223
パスワードを初期化する 224
メモリ地点の保存 225
メモリ地点の読み込み 226

5 ECO機能

1. ECO機能について.....228
2. 燃費を計算する.....229
   - 燃費の計算について.....229
   - データを入力する.....229
     - 給油量を入力する.....229
     - 走行距離をリセットする.....230
   - 履歴とグラフを確認する.....230
   - 燃費を設定する.....231
   - 履歴を編集する.....232
     - 履歴詳細画面を表示する.....232
     - 計測開始日 / 終了日を編集する.....232
     - 走行距離 / 給油量を編集する.....233
   - 履歴を削除する.....234
3. エコドライブインフォメーションを設定する...235

6 メンテナンス機能

1. メンテナンス機能について.....236
2. メンテナンスの設定.....237
   - メンテナンス時期の設定.....237
   - メンテナンス案内の設定.....239
   - メンテナンスの案内.....239
   - メンテナンス設定の更新.....240
     - 項目ごとに更新する.....240
     - すべてを更新する.....241
   - メンテナンス設定の消去.....242
     - 項目ごとに消去する.....242
     - すべてを消去する.....243
   - 販売店の設定.....244
   - 販売店の修正・消去.....245

7 情報機能

1. 情報・G・BTナビ画面（情報）について.....246
   - 情報・G・BT ナビ画面（情報）.....246
2. VICS機能.....247
   - VICS とは.....247
   - VICS のメディア概要.....248
     - VICS 特有の事項.....249
       - FM 多重放送特有の事項.....249
       - 電波ビーコン特有の事項.....249
       - 光ビーコン特有の事項.....250
   - VICS 情報提供内容と表示について.....251
     - レベル 1.....251
     - レベル 2.....251
     - レベル 3.....251
   - VICS 提供放送局の選択.....252
     - 自動で選択する.....253
     - エリアで選択する.....253
     - 周波数を手動で選択する.....253
   - VICS・交通情報表示の設定.....255
     - VICS 表示道路色を切り替える.....256
   - VICS・交通情報の表示.....257
     - VICS・交通情報を地図表示する.....257
     - VICS マークの内容表示について.....259
     - VICS・交通情報を消去する.....260
   - 渋滞・規制音声案内.....261
     - 渋滞・規制の音声自動発声を設定する.....261
     - 渋滞・規制を音声で案内する.....261
   - VICS 図形情報の表示.....262
   - VICS 文字情報の表示.....263
   - 地図に表示される VICS 表示マークについて.....264
   - VICS の用語説明.....265
   - VICS の問い合わせ先.....265
   - 渋滞考慮とは.....266
   - 統計データ情報表示の設定.....267
   - 統計データ情報の表示.....268
   - 交通状況学習機能とは.....269
   - 交通状況学習結果の表示.....269
   - 交通状況学習結果の消去.....270
3. 電話帳（交通・ナビ関連）機能.....271
   - 電話帳（交通・ナビ関連）の検索.....271

4. FM多重放送.....272
FM 多重放送の番組について.....272
FM 多重放送の表示.....272
放送局の切り替え.....272
番組の切り替え.....273
独立情報番組のページ送り.....273
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る.....274
文字情報の記録・呼び出し・消去.....275
記録する.....275
呼び出す.....275
消去する.....275
5. デモ機能.....276
デモンストレーション画面.....276
デモの表示.....276
6. カレンダー機能.....277
カレンダー画面の表示.....277

8 携帯連携機能

1. 情報・G・BTナビ画面（BTナビ）について.....278
情報・G・BT ナビ画面（BT ナビ）.....278
2. 地点情報の送信.....279
3. 地点情報の受信.....280

9 音声操作

1. 音声操作システムの操作について.....282
音声操作システムの構成.....282
音声認識機能に関する制限事項.....282
音声を正しく認識するために.....283
音声操作システムの操作方法.....284
音声操作の開始・操作について.....284
コマンドを言い間違えたり、認識結果が違うとき.....285
連続して音声操作をするとき.....285
音声操作を再開する.....285
音声ガイドを省略する.....285
音声操作の中止について.....285
コマンドリストの表示.....285
2. 音声操作システムの使用例.....286
周辺施設の表示.....286
目的地を自宅に設定.....287
目的地を施設名で検索して設定.....288
発声を間違えたとき.....291
検索した結果が違うとき.....291
目的地が設定されているとき.....291
目的地を追加する.....291
新しく目的地を設定する.....291
目的地を住所で検索して設定.....292
目的地を電話番号で検索して設定.....294
目的地を履歴で検索して設定.....296
目的地を特別メモリ地点で検索して設定.....296
目的地を周辺施設で検索して設定.....297
メモリ地点の登録.....298
メモリ地点の検索.....298
VICS 情報の表示.....299
知りたインフォ機能.....299
3. 音声操作コマンド一覧表...300
ナビ操作.....300
画面操作コマンド.....300
周辺施設表示コマンド.....300
地図操作コマンド.....300
縮尺操作コマンド.....302
ルート探索コマンド.....302
案内設定コマンド.....303
目的地設定コマンド.....303
案内中止・再開コマンド.....303
地点登録コマンド.....304
音声操作コマンド.....304
VICS 設定コマンド.....304
施設表示コマンド.....306
知りたインフォコマンド.....307
オーディオ.....308
ハンズフリー・G-BOOK.....308

10 オプション機能

1. VICS ビーコンユニットの操作 309
- 割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示 310
  - 割り込み情報の表示を設定する 310
  - 割り込み情報の表示時間を調整する 311
  - 割り込み情報を呼び出す 311
- 渋滞考慮探索 312
- 新旧ルート比較表示 312

2. ETC システムの操作 313
- ETC とは 313
- ETC カード有効期限の案内 315
- ETC メニュー画面の表示 316
- 履歴情報の表示 317
- ETC の設定 318

3. バックガイドモニターの操作 319
- バックガイドモニターについての注意点 319
- カメラについての注意点 320
- ガイド方法の選び方 321
  - 並列駐車（車庫入れ）をするとき 321
  - 縦列駐車をするとき 322
- バックガイドモニター画面への切り替え 323
- 画面に映る範囲について 323
- 並列駐車する（進路表示モード） 325
  - 画面の見方 325
  - 並列駐車を開始する 326
- 並列駐車する（駐車ガイド線表示モード） 329
  - 画面の見方 329
  - 並列駐車を開始する 330
- 縦列駐車する（縦列ガイドモード） 332
  - 車の動きと画面・音声案内の流れ 332
  - 縦列駐車を開始する 335
- 縦列駐車する（駐車ガイド線表示モード） 344
  - 画面の見方 344
  - 縦列駐車を開始する 345
- 画面と実際の路面との誤差 348
- 立体物が近くにあるときの注意点 349
- 縦列ガイドの音量の設定 350
- はじめのコツの表示 351
- 駐車ガイド線の表示 352
- システム初期化中表示が出たときは 353
- バッテリーの脱着、または本機を載せ替えたときは 354

4. マルチビューバックガイドモニターの操作 355
- マルチビューバックガイドモニターについての注意点 355
- カメラについての注意点 356
- 視点の切り替え 357
  - 画面の見方 358
    - ワイドビューの見方 358
    - ワイドビュー＋トップビューの見方 359
  - 視点を切り替える 360
- 画面に映る範囲について 361
    - ワイドビューについて 361
    - トップビューについて 362

5. バックモニターの操作 363
- バックモニターについての注意点 363
- カメラについての注意点 364
- バックモニターの映像 365
  - 後方の映像を映す 365
  - 画面の見方について 366
- 画面と実際の路面との誤差 368

6. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムの操作 369
- ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点 369
- カメラについての注意点 370
- 優先表示の設定 371
- ブラインドコーナーモニター／サイドモニター画面への切り替え 371
  - 手動で切り替える 371
  - 自動切り替えを設定する 372
- サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え 373
- 画面に映る範囲について 374
  - ブラインドコーナーモニターについて 374
  - サイドモニターシステムについて 375

7. マルチアングル全周囲モニターを操作する 376

マルチアングル全周囲モニターについて 376
マルチアングル全周囲モニターの注意点 376
カメラの注意点 377
画面に映る範囲について 378
カメラの視点を切り替える 380
画面の見方 380
フロントモード 380
バックモード 380
回転表示モード 381
視点の切り替え方 381
フロントモード 381
バックモード 382
回転表示モード 382
マルチアングル全周囲モニターの設定をする 383
ACC ON 時の全周囲回転表示 383
フロントモード表示条件 384
フロントモード優先表示画面 384
カメラ視点角度 384
便利な使い方 385

11 こんなときは

1. 補正が必要なとき 386

現在地の修正 386
距離の補正 387
自動補正するとき 388
手動補正するとき 388

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき 389

記憶することのできる設定項目 389
ナビゲーション設定の記憶 390
記憶の呼び出し 391
名称の変更 391
ナビゲーション設定の記憶の消去 392

3. 地図データベースの更新 ... 393

マップオンデマンドについて 393
掲載画面について 393
全更新と差分更新について 393
全更新 393
差分更新 393
差分更新サービス期間と費用 394
更新エリアと更新対象について 394
マップオンデマンドの更新方法について 395
マップオンデマンドに関するお問い合わせ 395
地図更新画面について 396
地図更新画面を表示する 396
地図更新画面の使い方 397
地図の更新 398
地図更新中の操作について 398
携帯電話で更新する 399
通信モジュールで更新する 401
メディア（CD-R/DVD-R）で更新する 402
メディア（CD-R/DVD-R）を用意する 402
地図を更新する 403
更新記録情報を表示する 405
マップオンデマンドの留意事項 406

4. 地図データの情報 408

地図データの情報表示 408
全更新する 408
データベース情報を表示する 408

5. 精度と誤差 409

測位精度について 409
GPS 衛星の電波の性質と受信状態について 409
現在地表示の誤差について 410
タイヤによる誤差について 410
マップマッチングによる自車位置検出の補正について 410
現在地表示、ルート案内の精度について 411
道路、地名データについて 412
ルート案内について 412

オーディオ・ビジュアル 415

Ⅰ はじめに

1. ご使用になる前に.....416
ディスクについて.....417
“SD メモリーカード”について.....420
液晶パネルについて.....421
テレビについて.....422
アンテナのお手入れについて.....422

Ⅱ 基本操作

1. 電源の入れ方、オーディオモードの切り替え方.....423
電源の入れ方／切り方.....423
オーディオモードの切り替え方.....423
2. 各モードの操作画面.....424
オーディオ操作画面の表示.....424
オーディオ情報の表示.....426
3. 音量の調整.....427
主音量の調整.....427
4. 音質の調整.....428
SOUND 画面の表示.....428
サラウンドシステムの設定（EUPHONY）.....429
EUPHONY の設定.....429
モードの変更.....430
CSE（Clear Sound Effector）の設定.....431
CSE の設定.....431
CSE 補正値の変更.....431
CSE・BASS の設定.....432
CSE・BASS の設定.....432
BASS レベルの設定.....433
音の到達時間の補正（FOCUS）.....434
ROAD EQ/ ミュートレス音声案内の設定.....434
音響特性の測定.....434
ROAD EQ の設定.....436
ミュートレス音声案内の設定.....436
パラメトリックイコライザ（P.EQ）の設定.....437
イコライザカーブの選択.....437
イコライザカーブの調整.....438
イコライザカーブの記憶.....438
イコライザカーブのリセット.....438
BODY TYPE の設定.....439
音量バランスの調整（FAD BAL）.....440
5. 画面の調整・設定.....441
画質調整画面の表示.....441
ライト点灯時に昼画表示にするには.....442
画面を消すときは.....443
画質の調整.....443
VISUAL EQ の設定.....444
画面モードの切り替え.....445
6. 後席ディスプレイの設定...446
後席設定画面の表示.....446
後席側のオーディオモードを選択する.....447
後席側の音量を調整する.....448
後席側の映像・音声を ON/OFF する.....448

Ⅲ オーディオの使い方

1. ラジオの操作.....449
ラジオの聞き方.....449
聞きたい放送局を選局する.....449
通常選局.....449
自動選局.....449
プリセットスイッチ選局.....449
放送局を記憶させる.....450
マニュアル（手動）での記憶.....450
AUTO.P（自動）での記憶.....450
AUTO.P で記憶させた放送局の変更.....450
エリアスイッチについて.....451
局名スイッチについて.....451
交通情報を受信する.....452
周波数の記憶.....452
2. CDの操作.....453
CD の聞き方.....453
聞きたい曲を選曲する.....453
選曲・頭出しスイッチから選曲する.....453

CD TRACK LIST 画面から選曲する 454
早送り・早戻しする 454
聞きたい曲を探す 454
同じ曲を繰り返して聞く 454
曲の順番をランダムに聞く 454

3. MP3・WMAの操作 455

MP3・WMA の聞き方 455
早送り・早戻しする 456
聞きたいフォルダを選ぶ 456
FOLDER 切り替えスイッチから選ぶ 456
FOLDER LIST 画面から選ぶ 456
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 456
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 456
FILE LIST 画面から選曲する 457
聞きたい音楽ファイルを探す 457
音楽ファイルを探す 457
フォルダを探す 457
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 457
同じ音楽ファイルを繰り返す 457
フォルダ内の全ての音楽ファイルを繰り返す 458
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 458
フォルダ内の音楽ファイルをランダムに聞く 458
全ての音楽ファイルをランダムに聞く 458
MP3・WMA について 459
再生可能な MP3 ファイルの規格について 459
再生可能な WMA ファイルの規格について 459
ID3 タグ・WMA タグについて 460
使用できるディスクについて 460
使用できるディスクのフォーマットについて 461
ファイル名について 462
マルチセッションについて 462
MP3・WMA の再生について 462
MP3・WMA の演奏時間表示について 462
MP3・WMA ファイル、フォルダのリスト表示について 462
MP3・WMA ファイルの作り方、楽しみ方 463
インターネット上の MP3・WMA 音楽配信サイトから入手する場合 463
音楽 CD から MP3・WMA ファイルに変換する場合 463
CD-R・CD-RW に書き込む場合 463

4. Bluetoothオーディオの操作 464

ポータブルオーディオを登録する 464
ポータブルオーディオを接続する 466
自動で接続する 466
手動で接続する 466
接続中の表示について 467
Bluetooth 接続状態表示 467
電池残量表示 467
Bluetooth オーディオの聞き方 468
早送り・早戻しする 468
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 468
アルバムを切り替える 468
ライブラリから音楽ファイルを選ぶ 468
再生リストから音楽ファイルを選ぶ 469
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 469
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 469
Bluetooth オーディオの設定 470
ポータブルオーディオを切り替える 470
機器名称およびパスキーを変更する 471
機器名称の変更 472
パスキーを変更する 473
Bluetooth 自動接続を設定する 473
詳細情報を表示する 474
機器名称の入力 475
ポータブルオーディオの登録を削除する 476
初期設定にもどす 477
Bluetooth オーディオについて 478
対応 Bluetooth 仕様および対応プロファイルについて 478

5. AUX（ポータブルオーディオ機器）の操作 479

ポータブルオーディオを接続する（取りはずす） 480
ポータブルオーディオを聞く 480

6. SDオーディオの操作 481
SD オーディオの聞き方 481
早送り・早戻しする 481
聞きたいプレイリストを選ぶ 482
プレイリストを切り替える 482
リストから選択する 482
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 482
パネルスイッチで選曲する 482
リストから選曲する 482
聞きたい音楽ファイルを探す 483
同じ音楽ファイルを繰り返し聞く 483
音楽ファイルの順番を
ランダムに聞く 483
セキュア AAC・セキュア
MP3 について 483

Ⅳ HDD オーディオの使い方

1. HDDオーディオを
お使いになる前に 484
HDD オーディオの概要 484
HDD オーディオの構成について 484
データベースについて 486
Gracenote メディアデータ
ベースについて 486
オートタイトリング機能について 487
データベース情報の表示 488
データベースの更新 489
ハードディスクの容量確認 490
操作の流れについて 491
2. HDDオーディオへの
録音 492
録音について 492
録音についての注意 493
録音方式の設定 493
録音時の音質を設定する 494
自動録音／選んで録音を設定する 494
CD の録音 495
CD を再生しながら手動で全ての
トラック（曲）を録音する 496
CD を再生しながら自動で全ての
トラック（曲）を録音する 497
CD の中からお好みのトラック（曲）
を録音する 498
3. HDDオーディオの操作 499
HDD オーディオを聞く 499
表示・再生について 500
再生中のプレイモードの中で聞きたい
トラック（曲）を選ぶ 501
プレイモードからプレイリストを
検索して聞きたいトラック
（曲）を選ぶ 502
早送り・早戻しする 503
聞きたいトラック（曲）を探す 503
プレイリストの中から
聞きたい曲を探す 503
プレイモードの中から聞きたい
プレイリストを探す 503
聞きたいトラック（曲）を
繰り返し聞く 503
いま聞いている曲を
繰り返し再生する 503
いま聞いているプレイリストを
繰り返し再生する 504
トラック（曲）の順番を
ランダムに聞く 504
いま聞いているプレイリストの
中からランダムに再生する 504
プレイモードで検索された全ての
曲をランダムに再生する 504
4. プレイリストの編集 505
マイベストを作成する 505
マイベストの名称を入力する 506
作成したマイベストに
トラックを追加する 507
マイベストの名称を修正する 508
マイベストを編集する 509
トラック（曲）を追加する 510
トラック（曲）を並べ替える 510
トラック（曲）を消去する 510
マイベストを消去する 511
名称を入力する 511
カナ、英数字、数記号の入力 512
アルバムの情報を編集する 513
アルバム修正画面の呼び出し 513
アルバム名称を変更する 514
アーティスト名称を変更する 515
ジャンルを変更する 516
トラック名称を変更する 517
タイトル情報を再取得する 518
アルバムを消去する 519

テレビ/DVDの使い方

1. テレビをお使いになる前に 523
- 地上デジタルテレビ放送について 523
- B-CASカードについて 524
  - 取り扱いについての注意 524
  - B-CASカードの破棄について 524
  - B-CASカードのお問い合わせ先について 524
- B-CASカードを差し込む 525
- B-CASカードを取り出す 525
- 搭載ブラウザについて 526
- 初回起動時の設定 526
  - データ放送用地域の設定 526
  - スキャン用地域の設定 527

2. テレビの操作 529
- テレビを見る 529
  - 受信レベルについて 529
- プリセットモードを切り替える 530
- 見たいチャンネルを選局する 531
  - 地上デジタルテレビのチャンネル構成について 531
  - 通常選局 531
  - プリセットスイッチ選局 531
  - 放送局名選局 531
- 見たい番組を選ぶ 532
  - タッチスイッチから選択 532
  - サービスリストから選択 532
- 受信モードの設定 533
- 放送局（系列局／中継局）サーチを設定する 534
- 画面表示・音声の切り替え 535
  - 映像の切り替え 535
  - 音声の切り替え 535
  - 字幕言語の切り替え 536
  - 二重音声の切り替え 537
  - 文字スーパーの切り替え 537
- 緊急警報放送を受信したときは 538

3. EPG（電子番組表）の使い方 539
- EPG（電子番組表）を見る 540
- 日付を切り替える 540
- チャンネルを切り替える 540
- 番組表の切り替え 540
- 番組（サービス）を切り替える 541
- 番組の内容を見る 541

4. データ放送の使い方 542
- データ放送を見る 542
- データ放送を操作する 543
  - 色ボタン・カーソルの操作について 543
  - 10キー（テンキー）の操作について 544
  - 文字入力の操作について 544

5. テレビの設定 545
- 初期設定 545
  - 初期設定画面の表示 545
  - 居住地域の設定 545
  - ホームプリセットの設定 546
    - 初期スキャンでの記憶 546
    - 追加スキャンでの記憶 548
    - プリセットスイッチの編集 549
- 受信したメールの閲覧 550
- B-CASカードの動作確認 551

6. DVDの操作 552
- DVDを見る 553
- 映像を操作する 553
  - 映像を再生する 553
  - 早送り・早戻しする 553
  - 映像を一時止める 553
  - 映像を止める 553
- ディスクメニューを操作する 554
  - ディスクメニューを表示する 554
  - ダイレクトタッチ操作画面から操作する 554
  - タッチスイッチから操作する 554
- 見たい映像を探す 555
  - チャプターから探す 555
  - プログラム（プレイリスト）から探す 555
  - タイトル番号から探す 555
- 画面表示・音声の切り替え 556
  - アングルの切り替え 556
  - 字幕言語の切り替え 557
  - 音声言語の切り替え 557
  - 音声モードの切り替え 558
  - 再生モードの切り替え 558
  - 静止画の切り替え 559
  - 指定された位置まで戻る 559

DVD プレーヤーの設定 560
音声言語を設定する 561
コードを入力する 561
字幕言語を設定する 561
コードを入力する 561
メニュー言語を設定する 562
コードを入力する 562
マルチアングルマークの表示を設定する 562
視聴制限を設定する 563
オートスタートを切り替える 564
映像出力を切り替える 565
言語コード一覧 566
DVD ビデオの特長 567
マルチ音声機能について 567
マルチアングル機能について 567
字幕表示機能について 568
ディスクについて 568
再生できるディスクの種類について 568
再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について 568
ディスクに表示されているマークについて 569
ディスクの構成について 569

Ⅵ 音声操作

1. 音声操作システムについて 570
音声操作システムの構成 570
音声を正しく認識するために 570
2. 音声操作システムの使用例 571
オーディオモードを切り替える 571
再生しているトラックを変更する 571
再生しているチャプターを変更する 571
楽曲を検索する 572
3. 音声操作コマンド一覧表 ... 573
オーディオモードを切り替えるコマンド 573
ラジオで使用できるコマンド 573
CD・MP3/WMA で使用できるコマンド 574
DVD ビデオで使用できるコマンド 574
SD オーディオ・USB メモリ・iPod で使用できるコマンド 574
HDD オーディオで使用できるコマンド 575
画面表示に関するコマンド 575
認識できる放送局 576
AM 放送局一覧表 576
FM 放送局一覧表 577
TV 放送局一覧表 578

Ⅶ オプション機器の使い方

1. iPod プレーヤーの操作 580
iPod を接続する 581
iPod を取りはずす 581
音楽ファイルを聞く 583
ビデオを見る 583
早送り・早戻しする 583
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 583
再生中のリストを表示する 584
再生したい音楽ファイルをリストから探す 584
音楽ファイルを探す 584
ビデオ映像ファイルを探す 586
再生したいリストを選ぶ 586
同じ音楽ファイルを繰り返して再生する 587
音楽ファイルの順番をランダムに再生する 587
今聞いているリストの中からランダムに聞く 587
アルバム内の音楽ファイルをランダムに聞く 587
MUSIC MENU 画面の選曲モードを並び替える 588
動作確認 iPod について 589
2. USB メモリの操作 591
USB メモリを接続する・取りはずす 592
音楽ファイルを聞く 593
早送り・早戻しする 593
聞きたいフォルダを選ぶ 593
FOLDER 切り替えスイッチから選ぶ 593
FOLDER LIST 画面から選ぶ 593
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 594
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 594

FILE LIST 画面から選曲する 594
聞きたい音楽ファイルを探す 594
音楽ファイルを探す 594
フォルダを探す 595
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 595
同じ音楽ファイルを繰り返す 595
フォルダ内の全ての音楽ファイルを繰り返す 595
音楽ファイルの順番をランダムに聞く ... 595
フォルダ内の音楽ファイルをランダムに聞く 595
全ての音楽ファイルをランダムに聞く 595
USB メモリについて 596
再生可能な MP3 ファイルの規格について 596
再生可能な WMA ファイルの規格について 596
ID タグについて 596
使用できる USB メモリについて 597
ファイル名について 597
MP3・WMA の演奏時間について .. 597
MP3・WMA ファイル、フォルダのリスト表示について 597
3. VTRの操作 598
VTR を見る 598
4. 後席ディスプレイについて 599
後席ディスプレイに表示される画面について 599
後席ディスプレイの操作について 599
リモコンの機能名称と概要 600
共通操作 601
ラジオ・TV の操作 603
CD プレーヤーの操作 603
MP3/WMA プレーヤー、USB メモリ 603
DVD プレーヤーの操作 604
HDD オーディオ・SD オーディオ・Bluetooth オーディオ・iPod プレーヤーの操作 605

Ⅷ ステアリングスイッチ

1. ステアリングスイッチについて 606
各部の機能名称と概要 606
共通操作 606
ラジオ・TV の操作 607
CD の操作 607
MP3・WMA・Bluetooth・SD・HDD オーディオ・USB メモリ・iPod の操作 607
DVD の操作 607

ハンズフリー・G-BOOK 609

1 ハンズフリー機能

1. ご使用になる前に.....610
ハンズフリーについて.....610
Bluetooth 携帯電話について 611
ハンズフリーが使用できないとき 611
マイクについて 613
ハンズフリー操作について 613
音声について 613
掲載画面について 613
お車を手放すとき.....614
Bluetooth 機器使用上の注意事項.....614
各種表示について.....615
受信レベル表示 615
電池残量表示 616
Bluetooth 接続状態表示 617
2. ハンズフリーの準備.....618
携帯電話の登録.....618
携帯電話の接続.....620
携帯電話を自動で接続する 620
自動電話機接続を設定する 620
携帯電話を手動で接続・切断する 621
Bluetooth 接続の再接続について.....622
通信モジュールを選択する.....623
3. 電話のかけ方 624
ダイヤル画面を表示する.....624
ダイヤル発信する 626
電話帳発信する 627
履歴発信する.....628
ワンタッチ発信する 629
ナビから発信する 630
携帯電話本体から発信する.....630
発信を中断する.....630
4. 電話の受け方 631
電話を受ける.....631
着信中画面で操作する.....632
電話を保留する（応答保留）.....632
着信音量を調整する 632
着信拒否する 632
5. 通話中の操作..... 633
通話中画面で操作する.....633
受話音量を調整する 633
通話を終了する 633
10 キー入力する 634
送話音をミュート（消音）する 634
通話を転送する 634
6. 簡易画面での操作 635
簡易画面で操作する 635
7. ハンズフリーの設定 636
設定・編集画面（電話）を表示する 636
音量の設定をする 637
音量の設定をする 637
高速走行時の自動音量切替を設定する 637
使用する通信機器を選択する 638
電話機詳細情報を表示する 639
携帯電話の名称を変更する 640
自動で着信拒否する 641
Bluetooth 設定を変更する.....642
Bluetooth 電話機の登録を削除する 644
電話詳細設定をする 645
着信割り込み表示 645
自動着信応答 646
ACC ON 時の Bluetooth 接続確認案内 646
8. 電話帳の編集..... 647
電話帳について 647
電話帳編集画面を表示する.....647
携帯電話の電話帳データを転送する 648
電話帳に新規データを追加する 650
名称、名称読み、認識読みの編集をする 651
電話番号を編集する 651
電話帳の選択をする 652
音声認識の設定をする 652
電話帳のデータを修正する.....653
電話帳のデータを削除する.....654
電話帳のデータを個別に削除する 654
電話帳のデータをすべて削除する 654
ワンタッチダイヤルを登録する 655
ワンタッチダイヤルを削除する 656
ワンタッチダイヤルを個別に削除する 656

ワンタッチダイヤルをすべて削除する 656
9. 履歴の削除 657
履歴を削除する 657
10.セキュリティの設定 658
セキュリティについて 658
ロック No. を変更する 658
電話帳・発着信履歴制限をする 659
通信モジュールの発信制限をする 660
設定を初期化する 661

2 G-BOOK 機能

1. はじめに 662
G-BOOK オンラインサービスについて 662
サービス内容について 663
情報・G・BT ナビ画面（G-BOOK） 664
安全上の注意 665
走行中の操作、表示規制について 665
掲載画面について 665
お車を手放す際は 665
G-BOOK オンラインサービスコンテンツについて 665
通信機器について 666
Bluetooth 携帯電話を使用するときの留意事項 667
通信モジュールについて 668
データ通信時の留意事項 669
通信機器専用留意事項 669
通信機器共通留意事項 671
受信レベルについて 672
2. 各種手続きをする 673
利用手続きについて 673
利用手続きの手順 674
G-BOOK mX（携帯電話接続）をご利用の場合 674
携帯電話を追加・変更する場合 675
G-BOOK mX Pro（通信モジュール接続）をご利用の場合 676
利用開始操作をする 678
G-BOOK mX で Web 登録をしない場合 678
G-BOOK mX で Web 登録をした場合 681
G-BOOK mX Pro の場合 682
ユーザー画面について 683
ユーザー画面を表示する 683
ユーザー画面の使い方 683
Web 登録が必要なサービスを利用したくなったとき 684
サポートアドレスについて 685
サポートアドレスを確認・変更する 685
継続方法を変更する 686
ポップアップ機能について 687
有料コンテンツのご利用について 688
有料コンテンツの購入・解約 688
利用登録・契約の解除について 689
利用登録・契約の解除をする 690
非アクセス登録をする 690
3. ヘルプネット 691
ヘルプネットについて 691
緊急通報のしくみ 692
各部の名称とはたらき 694
安全のために 695
サービス開始操作※をする 698
緊急通報をする 700
保守点検について 704
自動保守点検 704
手動保守点検 705
利用登録の解除 708
携帯電話について 709
緊急通報できない場合について 710
4. G-Security（Gセキュリティ） 712
G-Security について 712
G-Security のご利用に際して 712
初期設定の確認・変更 713
解除中から設定中へ切り替える 713
設定中から解除中へ切り替える 714
サポートアドレスについて 715
サポートアドレスの確認・追加・変更 715
アラーム通知 717
エンジン始動通知 717
車両の位置確認 718
警備員の派遣 718
携帯電話での操作について 719
G 暗証番号ログインの登録 720
パソコンでの操作について 721

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

5. オペレーターサービス.....722
オペレーターサービスについて.....722
オペレーターサービスを購入する.....723
オペレーターサービスを使う.....724
携帯電話・固定電話から利用する....725
手動で情報を取得する.....725

6. G-BOOKとナビの連携機能.....726
ナビ連携機能について.....726
渋滞予測情報を表示する.....727
渋滞予測時間を変更する.....728
渋滞増減予測を表示する.....729
渋滞予測地図の縮尺を切り替える....730
区間所要時間予測を表示する.....730
G ルート探索（プローブ情報付）をする.....731
全ルート図表示画面からG ルート探索する.....731
再探索で G ルート探索する.....731
G ルート情報の取得を自動継続する.....732
G メモリ地点について.....733
G メモリ地点を登録する.....733
本機から登録する.....733
G で設定を使って登録する.....733
G メモリ地点を表示する.....733
ドライブプランを利用する.....734
G で設定について.....735
G で設定画面を表示する.....735
ドライブプランを利用する.....735
G メモリを利用する.....736
G-BLOG を利用する.....736
G メモリを一括ダウンロードする...737
施設の情報を表示する.....737
G 情報マークを表示する.....738
G 情報マークの表示種類について.....739
G 情報マーク連動サービスについて.....739
G 情報マーク連動サービスの設定をする.....740

7. メインメニュー.....741
メインメニュー画面の使い方.....741
ブラウザ画面で操作する.....743
閲覧中に操作する.....743
読み上げ中に操作する.....745
ブラウザの設定をする.....747
本機のスイッチで操作する.....748
ステアリングスイッチで操作する....748
閲覧履歴について.....749
閲覧履歴からコンテンツを表示する.....749
閲覧履歴を削除する.....750
ブックマークについて.....751
ブックマークに登録する.....751
ブックマークしたコンテンツを見る.....751
リストを並べ替える.....751
ブックマークの修正をする.....752
ブックマークを削除する.....753

8. G-BOOKの設定.....754
設定・編集画面を表示する.....754
プライバシー設定をする.....754
暗証番号を変更する.....755
暗証番号を忘れた場合.....757
通信ロックを使う.....758
ロックする.....759
解除する.....759
通信設定をする.....760
使用する携帯電話の通信設定をする.....760
通信接続時の確認.....761
自動通信の設定.....761
G-BOOK 詳細設定をする.....762
単語の編集.....762
単語の追加.....762
単語の修正.....763
単語の削除.....764
定型文の修正.....764
入力履歴の削除.....765
予測変換候補の表示.....765
ソフトウェアキーボードの使い方.....766
ソフトウェアキーボード画面.....766
漢字に変換するには.....768
入力したい漢字に変換されないときは.....768

9. My リクエスト.....769
My リクエストについて.....769
My リクエスト画面で操作する.....769
本機のスイッチで操作する.....771
ステアリングスイッチで操作する....771
My リクエストを使う.....772
読み上げ中に操作する.....772
情報を見る.....773
ドライブプランを利用する.....773
音声認識でリクエストをする.....774

My リクエストの編集をする..... 774
10.G-SOUND 775
G-SOUND について..... 775
G-SOUND 楽曲について 776
G ライブラリディスクについて 777
G-SOUND 画面の使い方..... 778
楽曲を試聴する..... 779
希望の楽曲を検索する 780
利用手続きをする 782
ライセンスを取得できないとき 782
G-SOUND 楽曲を再生する..... 783
HDD オーディオで録音した曲との相違点 783
G-SOUND 楽曲を削除する..... 783
楽曲を絞り込んで削除する 784
パッケージをコピーする..... 785
ディスクの収録内容を確認する 786
コピーできなかったとき 786
11.CDタイトル情報取得..... 787
タイトル情報を取得する..... 787

3 音声操作

1. 音声操作システムについて..... 788
音声操作システムの構成..... 788
音声を正しく認識するために..... 788
2. 音声操作システムの使用例..... 789
電話のかけ方..... 789
ダイヤル発信する 789
その他の発信方法について 790
ワンタッチ発信する 790
電話帳発信する 790
履歴発信する 790
My リクエストの操作..... 791
コンテンツをリクエストする 791
他のページのコンテンツをリクエストする 791
音声操作でページを切り替える 791
タッチスイッチでページを切り替える 791
3. 音声操作コマンド一覧表...792
ハンズフリー・G-BOOK の操作..... 792
G-BOOK 792
ハンズフリー 792

4 ステアリングスイッチ

1. ステアリングスイッチについて..... 793
各部の機能名称と概要..... 793
共通操作 793
G-BOOK の操作 793
ハンズフリーの操作 794
音声操作システムの操作 794

ご参考に 795

1. 知っておいていただきたいこと 796
こんなメッセージが表示されたときは ... 796
ナビゲーション関係 796
オーディオ・ビジュアル関係 799
G-BOOK・ハンズフリー関係 802
故障とお考えになる前に 805
ナビゲーション関係 805
オーディオ・ビジュアル関係 807
G-BOOK・ハンズフリー関係 809
2. バッテリー交換・地図データの全更新について 810
バッテリー交換・地図データの全更新をする前に 810
バッテリー交換したときは 811
3. 用語説明 812
4. VICS情報有料放送サービス契約約款 816
5. Gracenoteメディアデータベースのご利用について 818
6. スピーカー一覧 819
7. 目的別索引 822
準備 822
ナビゲーション関係 823
地図に関して 823
目的地案内に関して 826
情報 828
音声操作 829
その他 829
オーディオ・ビジュアル関係 830
画面・音の調整について 830
オーディオについて 831
テレビ／DVDについて 836
オプション機器 838
音声操作 840
その他 840
ハンズフリー・G-BOOK関係 841
ハンズフリー機能について 841
G-BOOK機能について 843
その他 847
8. 索引 848
9. アフターサービスについて 852
10.仕様 854
11.凡例 856
施設表示の凡例 856

準備

1. 安全に正しくお使いになるために

この取扱書では「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。
これらは安全のために重要ですので、必ず読んで遵守してください。

⚠ 警 告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
⚠ 注 意	記載事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。

お車のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⚠ 警 告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に登録・設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は音声のみになります。
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- ディスクおよび“SD メモリーカード”差し込み口、B-CAS カードスロットに異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから22cm以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOKオンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
  データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

1. 安全に正しくお使いになるために

⚠ 注 意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスクおよび“SD メモリーカード”差し込み口、B-CAS カードスロットに手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を取り外し、取り付ける際には、本機を逆さ斜めなどの状態でディスクの出し入れを行わないでください。ディスクが詰まり故障の原因となります。
- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスクおよび“SDメモリーカード”、B-CASカードを取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

  ＜A／T車の場合＞
  - ディスクおよび“SDメモリーカード”、B-CASカードを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。
    （コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
  - チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

  ＜M／T車の場合＞
  - ディスクおよび“SDメモリーカード”、B-CASカードを取り出す際、1・3・5・Ⓡ ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
  - チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡ ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）
- お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、アンテナを折らないように注意してください。本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するためにオーディオの電源をOFFにしてもアンテナは下がりません。駐車場など天井の低い場所に入る前は、ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定し、必ずアンテナが収納されていることを確認してください。アンテナを収納しないで天井の低い場所に入ると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

アドバイス

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CDおよびDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買い上げ後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にバックアップをとるなどして保管してください。
- なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
  ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
  ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータ等が変化・消失した場合。
  ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
  ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

2. 本書の見方

セクションタイトル
セクションのタイトルを表示しています。

項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順
操作の内容です。
番号の順に操作してください。

操作に関するポイント
警告・注意・アドバイスなど操作に関連することなどを記述しています。



リアル市街図の視点を調整する

リアル市街図の視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは 広域 、下げるときは 詳細 にタッチします。

- タッチするたびに低 ⟷ 中 ⟷ 高の3段階に切り替わります。
- スケールバーにタッチすると、低 ⟷ 中 ⟷ 高の3段階に切り替わります。
- 広域 、または 詳細 を約1秒以上タッチし続けると、9段階に切り替わります。



見下ろす角度を調整する

1 設定・編集画面（ナビ）で、ナビ詳細設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 3D地図表示設定の 変更する にタッチします。



4 角度を上げるときは 、下げるときは にタッチして角度を設定します。

- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23°）にもどります。



5 セット にタッチします。

アドバイス

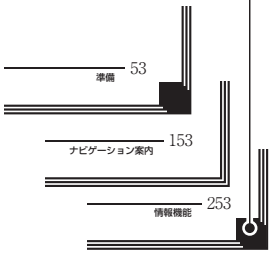
- リアル市街図の視点（角度と高さ）が最大（高）のとき、広域 にタッチすると、リアル市街図を解除することができます。
- リアル市街図の視点（角度と高さ）が最小（低）のとき、詳細 は表示されません。
- 走行中は、見下ろす角度の調整は操作できません。
- 3 で 初期状態 にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

セクション見出し
セクションのタイトル、No.を案内しています。

操作画面
操作する画面を表示しています。

ページタック
100ページの間隔をおいてタックが付いています。

セクションタイトル
セクションのタイトルを表示しています。



3. 特長

高精細で表示するVGA ディスプレイ

VGA（Video Graphics Array）とはパソコンのモニターなどに採用されている高画質ディスプレイの規格です。
本機は約115万画素の高精細で表示します。

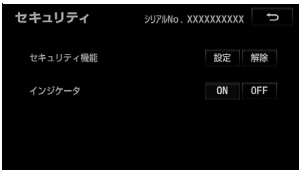
初期設定をサポートする QUICK SETUP（49ページ）

最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量などを設定することができます。



盗難抑止効果が期待できる セキュリティ機能（56ページ）

ナビゲーションやオーディオ機能などのロック、インジケータの点滅により、盗難抑止の効果が期待できます。



住所エリアを色分けした見やすい地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとで塗り分けして地図を見やすく表示します。



より快適になった地図の検索機能（127、133ページ）

入力した文字から施設名称などを予測して候補を表示することができます。また、検索結果を施設のジャンルごとに設定されている優先度や距離などをもとに並べ替えたリストを表示することができます。



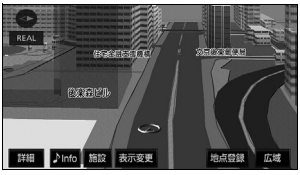
道幅や道路種類などを表現するビジュアルシティマップ
(111ページ)

全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、広い道は太く、狭い道は細く、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。
また、学校や駅などの施設マークをイラスト的に表示します。



ビルの向こう側まで透過して表示するリアル市街図
(108ページ)

リアル市街図では必要な情報を的確に伝えるために、画面手前のビルやマンションなどを見やすく透過して表示します。透過表示により、ビルの向こう側を通るルートや一方通行などのマークもはっきりと確認することができます。



より最適なルートを選択できる新旧ルート比較表示
(159ページ)

渋滞統計データやVICS情報をもとに新しいルートが見つかったときに、もとのルートと比較して選択することができます。



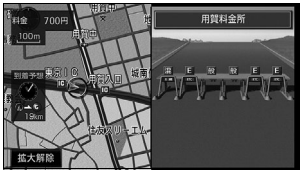
各操作を確認できるデモ機能
(276ページ)

よく使われる機能の操作を確認することができます。



料金所のレーン状況を表示する料金所レーン案内
(192ページ)

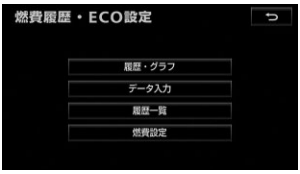
料金所に近づくと料金所のレーン図を自動的に表示することができます。



3. 特長

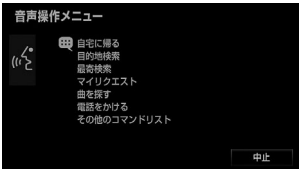
算出された燃費から、ECOなルートを探索するECO機能（228ページ）

算出された燃費から燃料消費量を推定し、最もECOなルートを探索することができます。



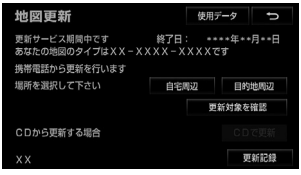
音声のみで設定・操作する音声操作システム（282、570、788ページ）

走行中に操作できなかったナビゲーションやオーディオなどの操作が音声により可能になります。



必要な地域の地図データのみを更新できる地図データ差分更新機能（393 ページ）

CD・DVDやG-BOOKを使用して、部分的に地図データを無料（更新サービス期間）で更新します。



多様な情報を検索・表示・操作する情報機能（246ページ）

● VICS機能
VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字（レベル1）・簡易図形（レベル2）・地図（レベル3）で表示します。



● FM多重放送表示機能
FM多重で放送される一般文字情報（見えるラジオ）を表示します。



● 電話帳（交通・ナビ関連）機能
JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を検索します。



● カレンダー機能
GPSのカレンダー機能で2029年までのカレンダーを表示することができます。



一枚のディスクにアルバム数枚分を記録したMP3/WMAファイル再生機能（455ページ）

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。また、MP3よりも高い圧縮率（約半分のデータサイズ）のWMAデータを再生することもできます。



ディスク以外のメディアで音楽を再生する“SDメモリーカード”オーディオ（481 ページ）

パソコンから“SDメモリーカード”に転送したセキュア AAC やセキュア MP3 データを再生することができます。



ポータブルオーディオをワイヤレスで操作可能なBluetoothオーディオ（464ページ）

Bluetoothを搭載したポータブルオーディオなどをBluetooth接続すると、本機でワイヤレス操作ができます。



音楽CDの録音を可能にしたHDDオーディオ（484ページ）

大容量のハードディスクを搭載し、音楽CDを、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することが可能です。録音したデータは、種類別に検索できるほか、編集機能でマイベストアルバムを作成することもできます。



地上デジタルテレビ放送の高画質・高音質な映像を楽しむことができる地上デジタルテレビ（523 ページ）

本機は、地上デジタルTVチューナーを内蔵しています。デジタル放送ならではの、乱れのない映像、雑音のないCD並みの高音質な番組を楽しむことができます。
また、より広範囲なエリアで視聴できる、ワンセグ放送も受信することができます。



3. 特長

美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVD プレーヤー（552 ページ）

高画質・高音質で記録されたDVDビデオや、地上デジタルTV放送を録画・編集したDVDビデオレコーディング（VR）の映像や静止画を再生することができます。



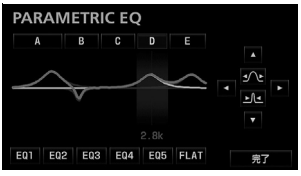
サラウンド効果を設定するEUPHONY（429ページ）

ステレオ信号を基にマルチチャンネルのサラウンド信号を作り出すことにより、スピーカーの数などに依存することなく、再生するオーディオモードに合わせて最適なサラウンド効果を設定できます。



車室内の周波数特性を改善し、音の乱反射を補正するパラメトリックEQ機能（437ページ）

中心周波数のポジションやレベル、カーブの緩急を微細に設定することができます。



圧縮された音域を原音に戻して再生するCSE機能（431ページ）

圧縮された音域をできるだけ原音に戻して再生することができます。車室内で聴きやすく、迫力あるサウンドを楽しむことができます。



走行状態に合わせて最適な音響に調整するROAD EQ（434ページ）

走行ノイズや風切り音に応じて、停車時と変わらない音響に自動で調整します。



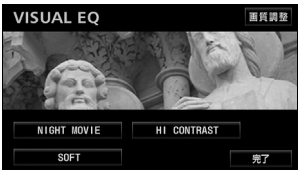
DVDメニューを直接操作できるDVDダイレクトタッチ機能（554ページ）

DVDのディスクメニューを表示し、直接タッチすることにより映像や言語を設定することができます。



最適な画質に調整可能なVISUAL EQ（444ページ）

見る映像に合わせてあらかじめ設定されている画質モードに切り替えることができます。



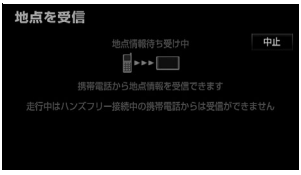
Bluetooth接続によるハンズフリー機能（610ページ）

Bluetoothを搭載した携帯電話を無線で接続し、本機で電話をかけたり、受けたりすることができます。



地点情報を携帯とやりとりできる携帯連携機能（278ページ）

携帯で探した場所を本機に転送して、目的地として設定することができます。また、現在地や目的地の地点情報を携帯に転送することができます。



さらに快適なドライブを可能にするG-BOOK機能

● ヘルプネット（691ページ）
事故や急病などの緊急事態発生時、ワンタッチでヘルプネットセンターへ接続できます。センターでは、送信された車両位置に基づき、警察や消防への通報を行います。



● ナビ連携機能（726ページ）
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したメモリ地点やドライブプランを本機で呼び出すことができます。また、G-BOOKセンターから取得した情報をルート探索や地図表示に反映することができます。



● G-SOUND（775ページ）
本機にインストールされている曲の中から、お好みの曲を選んで試聴・購入し、再生することができます。また、Gライブラリディスクによる楽曲の追加も可能です。



3. 特長

オプション機器を接続するシステムアップ

● VICS ビーコンユニット（309ページ）
VICS ビーコンユニットを接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。



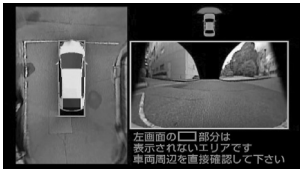
● ETCシステム（313ページ）
ETC(Electronic Toll Collection)システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。



● バックガイドモニター / マルチビューバックガイドモニター / バックモニター（319/355/363ページ）
バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。縦列駐車時や並列駐車時、運転操作をアシストします。



● マルチアングル全周囲モニター（376ページ）
低速走行時やバックギアにシフトすると、本機のモニター画面に車両を中心とした全周囲（前方・左右・後方）の映像を映すことができます。駐車時や発進時などの安全確認をサポートします。



● ブラインドコーナーモニター / サイドモニター（369ページ）
低速走行時、本機のモニター画面に車両の左右前方や、左側のカメラ映像を映すことができます。



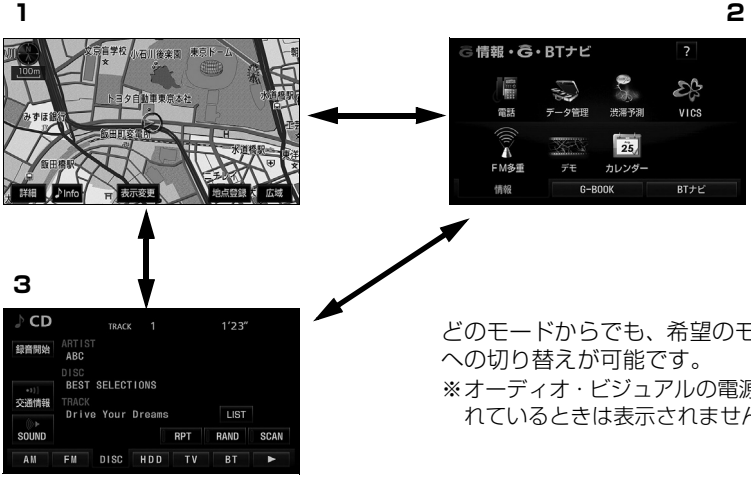
●「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）（580、591、598ページ）
お手持ちのiPodやUSBメモリ機器を接続すると、本機での操作ができます。また、市販のVTR機器を接続すると、VTRの映像を見ることができます。



● 通信モジュール（DCM）（662ページ）
DCMは、G-BOOK用に開発された車載タイプの通信モジュールです。定額料金で、音声通話と高速データ通信（2.4Mbps）を行うことができます。

4. 本機について

本書は、ナビゲーションシステムの各操作を説明しています。
「準備」をお読みいただき、ボイスナビゲーションの操作については**「ナビゲーション」**67ページを、オーディオ、テレビなどの操作については**「オーディオ・ビジュアル」**415ページを、ハンズフリー、G-BOOKの操作については**「ハンズフリー・G-BOOK」**609ページを参照してください。
本機にはナビゲーションの操作を手助けしてくれるデモ機能（276ページ参照）があります。操作にお困りの際は、取扱書と合わせてご使用ください。



どのモードからでも、希望のモードへの切り替えが可能です。
※オーディオ・ビジュアルの電源が切れているときは表示されません。

	モード	主な機能
1	GPS ボイスナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録
2	情　報・G-BOOK・ BTナビ	● FM多重放送の受信 ● VICS情報の表示 ● HDD（ハードディスクドライブ）のデータ管理 ● ハンズフリー機能の操作 ● G-BOOK機能の操作 など
3	オーディオ・ビジュアル	● AM・FM放送の受信 ● CDの操作 ● MP3／WMAの操作 ● “SDメモリーカード”の操作 ● HDDオーディオの操作 ● Bluetoothオーディオの操作 ● AUXの操作 ● 地上デジタルテレビ放送の受信 ● DVDの操作

4. 本機について

本機の作動条件

ナビゲーションシステムの機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます　×：操作できません

エンジンスイッチ / 各機能	OFF (LOCK)	ACC	ON 停車中	ON 走行中	ディスプレイがオープン状態
GPSボイスナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
FM多重放送（FM多重文字情報）	×	○	○	走行中はご使用になれません（一部の番組はご使用になれます）	×
テレビ/DVD	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります	×
ハンズフリー	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	○
G-BOOK	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります	×
ディスクの出し入れ／ディスプレイの角度調整	×	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません

アドバイス

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）や、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

パネルスイッチ

♪（オーディオ）/PWRスイッチ

オーディオ（ラジオ、CD、MP3・WMA、“SDメモリーカード”、HDDオーディオ、Bluetoothオーディオ、AUX）やテレビ、DVDにモードを切り替えるときにタッチします。
オーディオ・ビジュアルの電源をON/OFFするときに1秒以上タッチします。

G・INFOスイッチ

情報機能やハンズフリー機能、G-BOOK機能、携帯連携機能を操作するときにタッチします。

DESTスイッチ

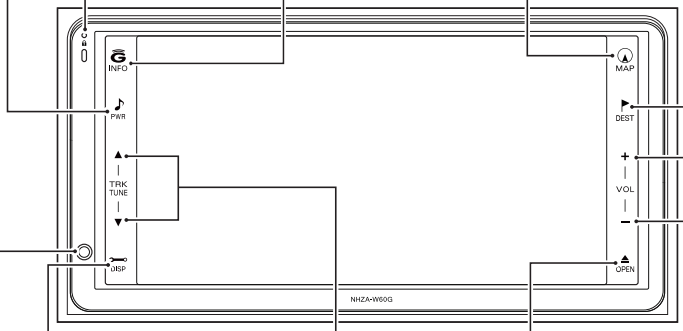
ナビゲーションで目的地を設定するときにタッチします。

インジケータ

セキュリティ機能が設定されている場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると点滅します。

MAPスイッチ

ナビゲーション画面・現在地を表示するときにタッチします。
ナビゲーションの案内音声を聞くときにタッチします。



⊸（設定）/DISPスイッチ

ナビゲーションやオーディオ、ハンズフリー機能、G-BOOK機能の各種設定を行うときにタッチします。画質を調整するときは1秒以上タッチします。

OPENスイッチ

ディスプレイの開閉や画面の角度を調整、ディスクの出し入れをするときにタッチします。

AUX入力

ポータブルオーディオなど外部機器を接続します。

TRK/TUNEスイッチ

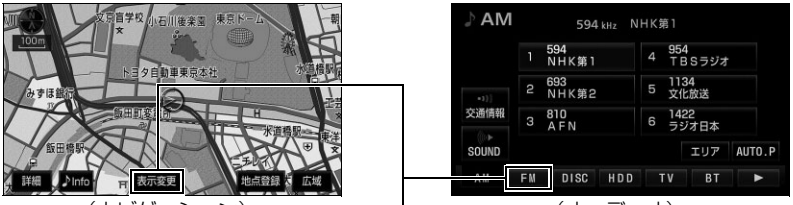
テレビ・ラジオの選局、音楽用CD、“SDメモリーカード”、HDDオーディオ、Bluetoothオーディオの選曲、DVDのチャプター選択をするときにタッチします。

VOLスイッチ

オーディオ・ビジュアル機能の音量を調整するときにタッチします。

4. 本機について

タッチスイッチ



（ナビゲーション）　（オーディオ）

タッチスイッチ
画面のスイッチ／アイコンにタッチして操作します。

［タッチスイッチの操作について］

- タッチスイッチは”ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときなどに、スイッチのインジケータが点灯するものもあります。

＜本書でのスイッチ表示について＞

- パネルスイッチにタッチするときは、〇〇〇（♪、MAPなど）でスイッチ名称を表示しています。
- 画面のタッチスイッチ／アイコンにタッチするときは、〇〇〇（名称、セットなど）でスイッチ名称、またはアイコン名称を表示しています。
- ⮌にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされ、1つ前の画面にもどります。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）

⚠ 注 意

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

アドバイス

液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

電源の入れ方・切り方

本機は、エンジンスイッチをACC、またはONにすると自動的にオーディオ・ビジュアルの電源が入り（前回、オーディオ・ビジュアル使用時）、ナビゲーションの画面や、テレビの画面※、またはDVDの画面※を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※…前回、テレビまたはDVDをご覧になっている途中でエンジンを切った場合は、テレビまたはDVDの画面を表示します。

1 エンジンスイッチをACC、またはONにします。

● オープニング画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはテレビ、DVDの画面に切り替わります。



●オープニング画面



●ナビゲーション画面

オーディオ・ビジュアルの電源を入れる・切る

1 ♪（PWR）を長くタッチします。

● オーディオ・ビジュアルの電源が入ります。もう一度長くタッチすると、電源が切れます。

● ナビゲーションの電源は切ることができません。



●オーディオOFF画面

アドバイス

モーターアンテナ車の設定がONの場合、オーディオがOFFのときはVICS情報を受信することができません。モーターアンテナ車の設定については、**「ラジオアンテナの設定」**64ページを参照してください。

4. 本機について

CD・DVD・“SDメモリーカード”の出し入れ

音楽ディスク、“SDメモリーカード”、DVDビデオなどを各差し込み口に入れてください。

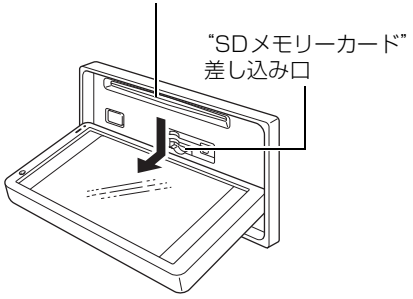
ディスク（DVD・CD）および“SDメモリーカード”の入れ方

1 OPEN にタッチします。

2 DISC⏏ 、または OPEN にタッチします。

● ディスプレイ部が開き各差し込み口があらわれます。





⚠ 注 意

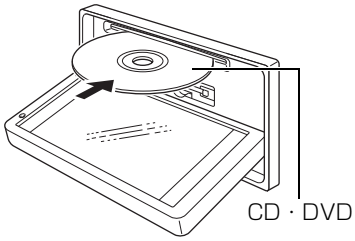
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ 位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

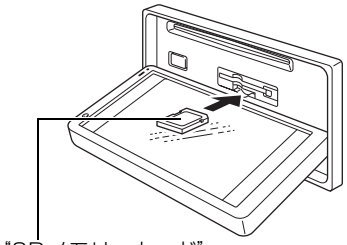
アドバイス

OPEN を約1秒間“ピーッ”と音がするまでタッチしても、ディスプレイ部を開くことができます。

3 差し込み口に希望のディスク、または“SDメモリーカード”を差し込みます。

- CD、DVDおよび“SDメモリーカード”はラベル面を上にして差し込んでください。
- ディスク差し込み後、ディスプレイが自動で閉じます。“SDメモリーカード”を差し込んだときは、**4** の操作をしてください。
- ディスクや“SDメモリーカード”を差し込むと「DISC IN」、「SD IN」が表示されます。
- CD、CD-R、CD-RWを差し込んだときは音楽CD、MP3、またはWMAの再生が始まります。
- DVDを差し込んだときはDVDの再生が始まります。
- “SDメモリーカード”は ▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- “miniSD（SDHC）カード”、“microSD（SDHC）カード”を差し込むときは、必ず、専用のアダプターを取り付けてから差し込んでください。（“miniSDカード”、“microSDカード”のみを差し込むと取り出せないことがあります。）





⚠ 注 意

ディスク、または“SDメモリーカード”の差し込み途中に、**CLOSE** または **OPEN** にタッチしないでください。

アドバイス

市販のレンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。

4. 本機について

アドバイス

- CDについて
  - 下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）が使用できます。



  - 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。
  - CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



  - CD-R （CD-Recordable ）、CD-RW （CD-ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R 、CD-RW は再生できません。
  - 8cmCDを差し込むときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
  - CDを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。
- DVDについて
  - 右記のマークの付いたDVDビデオディスクが使用できます。
  - Dual　Disc（DVD層と非DVD層を一枚に貼り合わせた両面ディスク）は、右記のマークの付いている面のみ再生できます。（ディスクの出し入れ時にディスクが損傷するおそれがあります。）



  - ビデオモードで記録されたDVD±R、DVD±RW、またはビデオレコーディング（VR）モードで記録されたDVD-R、DVD-RW、DVD-R DLのみ使用できます。（違法コピーを検出した際は再生できません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。）
  - DVDビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
  - DVD±R、DVD±RW、DVD-R DLは、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないDVD±R、DVD±RW、DVD-R DLは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
  - 8cmDVDを差し込むときはアダプターを使用しないでください。DVDを取り出せなくなるおそれがあります。
  - DVDビデオディスクを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

アドバイス

● “SDメモリーカード”について
  ● 32MB～32GB までの容量の“SDメモリーカード”に対応しています。
  ● 下記のマークの付いた“SDメモリーカード”は使用できます。

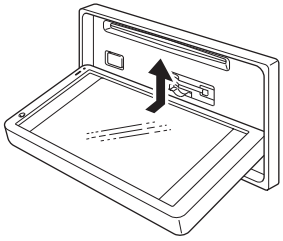
SD ロゴは商標です。SDHC ロゴは商標です。miniSD ロゴは商標です。miniSDHC ロゴは商標です。microSD ロゴは商標です。microSDHC ロゴは商標です。

  ● マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
  ● “miniSDカード”、“miniSDHCカード”、“microSDカード”、“microSDHCカード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
  ● “SDメモリーカード”のフォーマット（初期化）は、次のソフトを使用してフォーマットをしてください。
  ・Panasonic SD-Jukebox V5以降
  ・Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0以降
  上記以外のソフトでフォーマットされた“SDメモリーカード”で、SD規格に準拠していない場合は本機で使用できないことがあります。また、使用できた場合でも、再生時の音飛びなどの不具合は保証できません。

4 “SDメモリーカード”が奥まで差し込まれたことを確認してから CLOSE 、または OPEN にタッチします。



● ディスプレイ部が閉じます。



4. 本機について

ディスク（DVD・CD）および“SDメモリーカード”の出し方

1 OPEN にタッチします。

2 ディスクを取り出すときは DISC⏏ にタッチします。
“SDメモリーカード”を取り出すときは、OPEN にタッチして、メディアを軽く押して（1回）取り出します。

● 自動でディスクが押し出されます。



⚠ 注 意

● ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ 位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

● ディスクや“SDメモリーカード”を取り出す際、下記に注意してください。
＜A／T車＞
ディスクや“SDメモリーカード”を取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
＜M／T車＞
ディスクや“SDメモリーカード”を取り出す際、1・3・5・Ⓡ ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

アドバイス

ディスクが取り出せない場合（噛み込みなど）は、OPEN を長くタッチして（10秒以上）ください。ディスクが押し出されます。

3 取り出し後、CLOSE にタッチします。

⚠ 注 意

- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- ディスクや“SD メモリーカード”を取り出すとき、ディスク、または“SD メモリーカード”が押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。ディスク、または“SDメモリーカード”を傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、ディスクや“SD メモリーカード”を出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

アドバイス

ディスプレイ部を開けたままエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、操作音を5回鳴らしてお知らせします。

CD取り出し後にディスプレイを閉じると、CDの作動（読み込み）音がする場合がありますが、数秒後に停止します。故障ではありません。

4. 本機について

各画面表示を切り替える

次のスイッチにタッチすると各画面に切り替わります。

● ナビゲーション画面

MAP にタッチします。



● 情報・G・BTナビ画面

G・INFO にタッチします。



● オーディオ操作画面

♪ にタッチします。



オーディオ・ビジュアルの各機能を操作するときに表示します。オーディオ・ビジュアルの操作については**「オーディオ・ビジュアル」**415ページを参照してください。

● 設定・編集画面

にタッチします。



ナビゲーションやオーディオ、ハンズフリー機能、G-BOOK機能の各設定や編集を行うときに表示します。ナビゲーションの操作については**「ナビゲーション」**67ページ、オーディオの操作については**「オーディオ・ビジュアル」**415ページ、ハンズフリー、G-BOOKの操作については**「ハンズフリー・G-BOOK」**609ページを参照してください。

■オンスクリーン表示について



ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオ・ビジュアルの電源を入れる、またはオーディオやテレビ・DVDなどを選択、操作（トラック選曲や周波数選局）すると、オンスクリーンが表示されます。オンスクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。

ディスプレイの角度を調整する

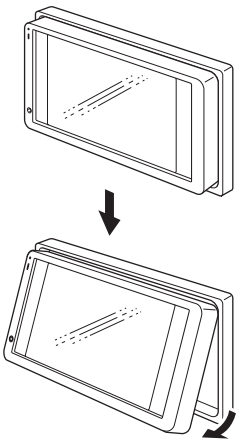
車外からの光などで画面が見にくいときは画面の角度を6段階に調整できます。

1 OPEN にタッチします。

● TILT・EJECT画面が表示されます。

2 TILT▼ 、または TILT▲ にタッチします。

● ディスプレイ部が斜め上方に 1 段階（5°）傾きます。
● TILT▼ 、または TILT▲ にタッチするごとに1段階ずつ傾きます。
● 傾きが6段階（30°）のときは TILT▼ がトーンダウンし、傾きが0段階（0°）のときは TILT▲ がトーンダウンします。



⚠ 注 意

● ディスプレイ部の角度調整をするときは手などをはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。
● ディスプレイ部の角度調整をする際、下記に注意してください。
＜A／T車＞
チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）
＜M／T車＞
チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡ ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

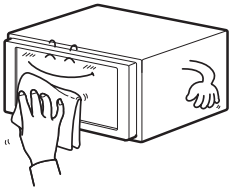
アドバイス

● ディスプレイ部を傾けた状態のままでもディスプレイ部を開くことができます。ディスプレイ部を閉じると、元の傾いた状態にもどります。
● ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACC、またはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

4. 本機について

本機のお手入れについて

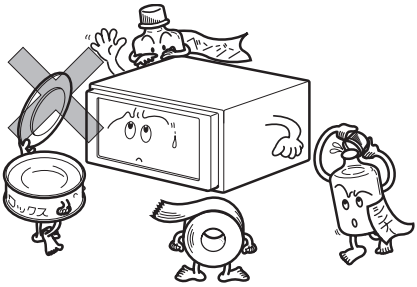
● 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



液晶パネルは傷がつきやすいのでご注意ください

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

● ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

● データの補償に関する免責事項について

本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失する場合があります。

お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

5. QUICK SETUP（初期設定サポート）

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

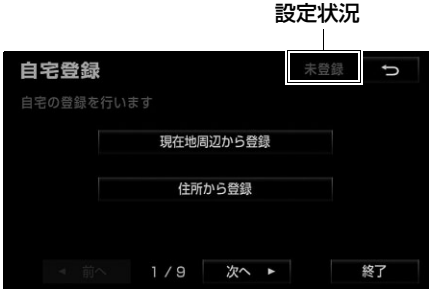
1 **QUICK SETUPを開始する** にタッチします。

- **次回起動時に設定する** にタッチすると、QUICK SETUPを終了します。次に本機を起動したとき、QUICK SETUP画面が再度表示されます。
- **設定しない** にタッチすると、QUICK SETUPを終了します。次に本機を起動しても、QUICK SETUP画面は表示されません。



2 自宅の地図を呼び出します。

- **現在地周辺から登録** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **住所から登録** にタッチすると、住所から地図を呼び出すことができます。（134ページ参照）
- 項目によって、設定状況を表示します。



3 **セット** にタッチします。



4 **次へ▶** にタッチします。

アドバイス

- 設定の途中で **終了** 、**はい** の順にタッチすると、QUICK SETUPを終了することができます。次に本機を起動したとき、QUICK SETUP画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から行ってください。（74 ページ参照）
- 設定の途中でパネルスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次に本機を起動したとき、QUICK SETUP画面が再度表示されます。

5. QUICK SETUP（初期設定サポート）

5 案内音量を設定します。

● 設定については、**「音量の設定」**86 ページを参照してください。



6 **次へ▶** にタッチします。

7 車両情報を設定します。

● 設定については、**「車両情報を設定する」**190 ページ、**「ラジオアンテナの設定」**64 ページを参照してください。



8 **次へ▶** にタッチします。

9 ECO設定をします。

● 設定については、**「燃費を設定する」**231 ページを参照してください。



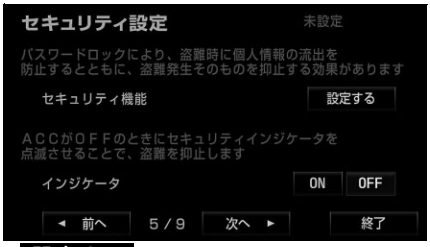
10 **次へ▶** にタッチします。

アドバイス

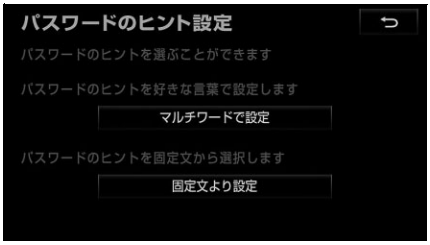
◀前へ にタッチすると、前の画面に戻ることができます。

11 セキュリティを設定します。

● 設定については、**「セキュリティ機能を設定するには」**56 ページ、**「インジケータの設定をする」**60 ページを参照してください。



● 設定する にタッチすると、パスワードのヒント設定画面が表示されます。



12 次へ▶ にタッチします。

13 イメージカラーを設定します。

● 設定については、**「イメージカラーの切り替え」**55 ページを参照してください。



14 次へ▶ にタッチします。

15 Bluetooth電話設定をします。

● 設定については、**「携帯電話の登録」**618 ページを参照してください。



16 G-BOOK通信設定をします。

携帯電話使用時

● 設定については、**「通信設定をする」**760 ページを参照してください。

17 次へ▶ にタッチします。

アドバイス

DCMを接続している場合、G-BOOK通信設定は表示されません。

5. QUICK SETUP（初期設定サポート）

18 Bluetoothオーディオを設定します。

● 設定については、**「ポータブルオーディオを登録する」**464 ページを参照してください。



19 **次へ▶** にタッチします。

20 BODY TYPEを設定します。

● 設定については、**「BODY TYPEの設定」**439 ページを参照してください。



21 **完了** にタッチします。

22 **はい** にタッチします。



アドバイス

QUICK SETUPは、ナビ詳細設定からも行うことができます。（78 ページ参照）

6. 共通の設定

BEEP音（操作音）の設定やオーディオ操作画面の継続表示の設定、イメージカラーの切り替え、セキュリティ機能の設定、個人情報の初期化など、下記の設定を行なうことができます。

● BEEP音の設定 ..... 下記
● 操作画面継続表示の設定 ..... 次ページ
● イメージカラーの切り替え 55ページ
● セキュリティの設定 56ページ
● 個人情報の初期化 62ページ
● ラジオアンテナの設定 64ページ
● オープニング画面の切り替え 66ページ

BEEP音の設定

パネルスイッチやタッチスイッチにタッチしたときのBEEP音（操作音）を切り替えることができます。

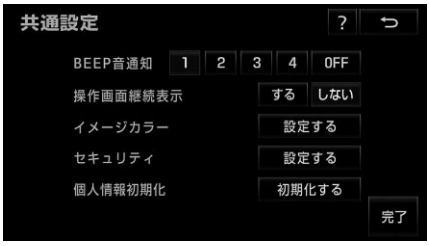
1 にタッチします。

2 共通設定 にタッチします。



3 BEEP音通知の 1 、2 、3 、4 、OFF のいずれかにタッチします。

● OFF にタッチすると、BEEP音が解除（消音）になります。



4 完了 にタッチします。

6. 共通の設定

操作画面継続表示の設定

オーディオ操作画面に切り替え、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に切り替え前の画面に戻すことができます。また、継続してオーディオの各操作画面を表示する設定に切り替えることができます。

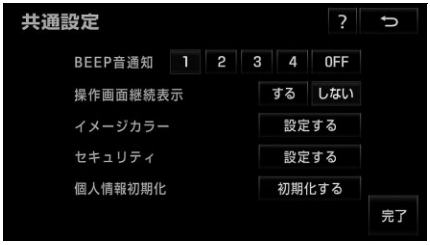
1 にタッチします。

2 **共通設定** にタッチします。



3 操作画面継続表示の **する** 、または **しない** にタッチします。

● 各画面を継続して表示させるには **する** にタッチしてください。



4 **完了** にタッチします。

アドバイス

● 操作画面継続表示の **しない** にタッチすると、オーディオ操作画面を表示しても自動でもとの画面に切り替わります。オーディオ操作画面を再度表示させる場合は、♪ にタッチしてください。

● 操作画面継続表示の **しない** にタッチしても、オーディオ操作画面の表示中に割り込み画面（ハンズフリーの着信時の画面など）が表示、解除された場合、もとの画面にもどらないことがあります。

イメージカラーの切り替え

情報・G・BTナビ画面やオーディオの操作画面などの各スイッチカラー、背景色をお好みに合わせて切り替えることができます。

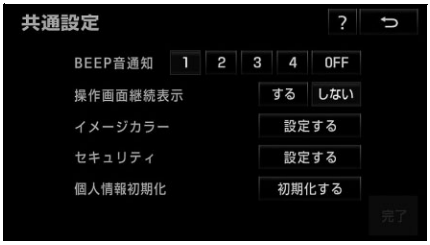
イメージカラーを切り替える

1 にタッチします。

2 **共通設定** にタッチします。



3 イメージカラーの **設定する** にタッチします。



4 **COOL** 、**FRESH** 、**WARM** 、または **USER** にタッチします。

● **USER** にタッチすると、記憶させた色に切り替えることができます。詳しくは**「お好みの色を記憶させる」**下記を参照してください。



5 **完了** にタッチします。

お好みの色を記憶させる

数値を切り替えて256色からお好みの色を選び、記憶させることができます。

1 ▶ 、◀ 、▶▶ 、または ◀◀ にタッチして、お好みの色を選びます。

● ▶ 、または ◀ にタッチすると、数値が1ずつ切り替わります。

● ▶▶ 、または ◀◀ にタッチすると、数値が10ずつ切り替わります。



2 **USER** に“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 選択した色で設定できるようになります。

6. 共通の設定

セキュリティの設定

セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック（使用不可）することができます。セキュリティの作動中は、エンジン、またはACCがOFF（LOCK）のときにインジケータランプを点滅させることができます。
また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者を確認することができます。

セキュリティ機能を設定するには

セキュリティ機能は、ロックの解除に必要なパスワードのヒント（質問）とパスワード（回答）を登録すると設定されます。

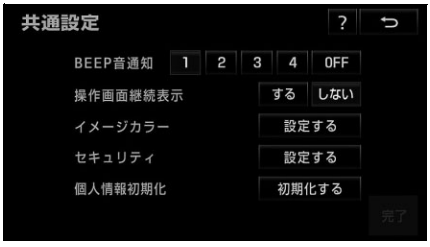
- ヒントはマルチワード（自由に入力する）か、固定文から選択して設定します。
- パスワードは自由に入力して設定します。

1 にタッチします。

2 **共通設定** にタッチします。



3 セキュリティの **設定する** にタッチします。



4 セキュリティ機能の **設定** にタッチします。

- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、本機と所有者を確認することができます。



アドバイス

登録したパスワードは、セキュリティ機能のロックを解除するときに必要となります。登録したパスワードは忘れないように控えておいてください。もし、パスワードを忘れた場合は、販売店に問い合わせてください。

5 **マルチワードで設定** 、または **固定文より設定** にタッチします。



6 **マルチワードで設定** にタッチしたときは、ヒントを入力します。
固定文より設定 にタッチしたときは、登録したいヒントにタッチします。

● 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214ページを参照してください。



●マルチワード入力画面



●固定文選択画面

7 パスワードを入力します。

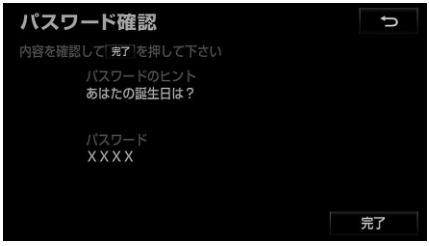
● 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214ページを参照してください。



8 **完了** にタッチします。

9 **完了** にタッチします。

● パスワードが登録され、セキュリティ機能が設定されます。



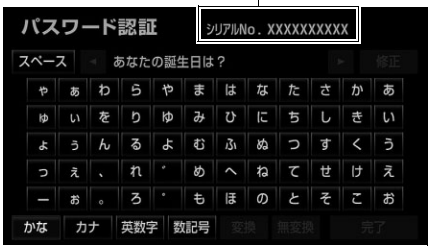
6. 共通の設定

セキュリティ機能のロックを解除する

バッテリーターミナルをはずし、再度接続すると、ナビゲーションやオーディオなどの機能がロック（使用不可）されます。ロックはエンジンスイッチがACC、またはONのときに表示されるパスワード認証画面で、登録したパスワードを入力して解除します。

1 パスワードを入力します。

- 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214ページを参照してください。
- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、本機と所有者を確認することができます。



2 **完了** にタッチします。

3 **OK** にタッチします。

- ナビゲーションやオーディオなどの機能のロックが解除され、ナビゲーションシステムを再起動します。

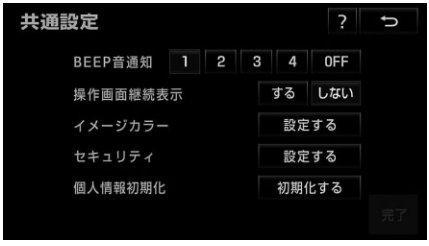
パスワードを変更する

1 にタッチします。

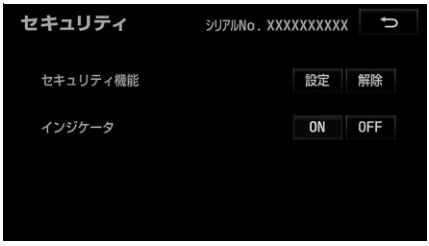
2 **共通設定** にタッチします。



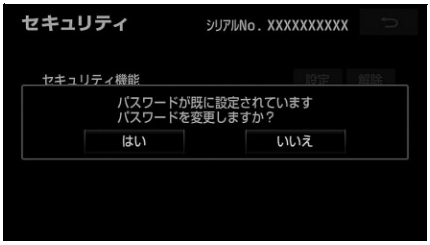
3 セキュリティの **設定する** にタッチします。



4 セキュリティ機能の **設定** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



6 設定してあるパスワードを入力します。

● 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214ページを参照してください。



7 **完了** にタッチします。

8 新しいヒントとパスワードを登録します。

● ヒントとパスワードの登録方法については、**「セキュリティ機能を設定するには」**56ページを参照してください。



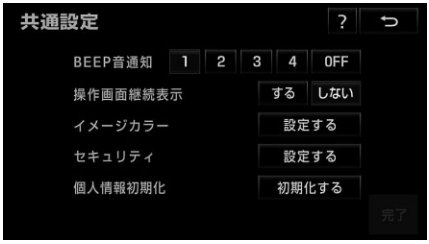
セキュリティ機能を解除する

1 にタッチします。

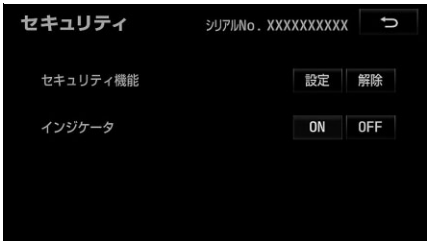
2 **共通設定** にタッチします。



3 セキュリティの **設定する** にタッチします。

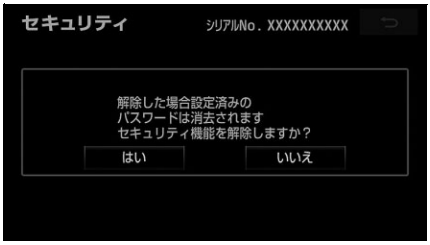


4 セキュリティ機能の **解除** にタッチします。



6. 共通の設定

5 **はい** にタッチします。



6 設定してあるパスワードを入力します。

● 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214ページを参照してください。



7 **完了** にタッチします。

● セキュリティ機能が解除されます。

インジケータの設定をする

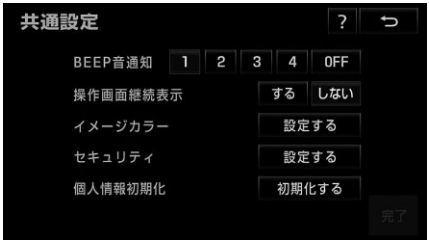
セキュリティ機能が設定されている場合、エンジンスイッチがOFF（LOCK)のときにインジケータを点滅させることができます。

1 にタッチします。

2 **共通設定** にタッチします。



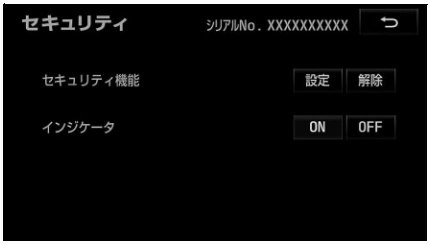
3 セキュリティの **設定する** にタッチします。



アドバイス

セキュリティ機能を解除すると、設定したパスワードが消去されます。

4 インジケータの **ON** 、または **OFF** にタッチします。



6. 共通の設定

個人情報の初期化

本機に登録したメモリ地点や録音した音楽データなどの個人情報を初期化することができます。
● 初期化される項目は下記になります。

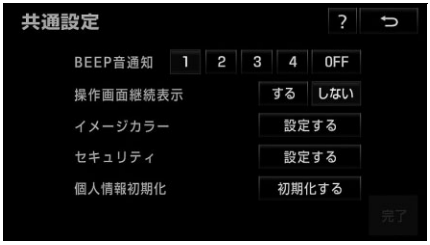
機能	項目	ページ
ソフトウェアキーボード	入力履歴	765
	追加した単語	762
	編集した定型文	764
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目	765
地図表示	走行軌跡	97
目的地設定	目的地履歴	205
車両情報の設定	ナンバー、車両寸法、モーターアンテナの設定	64、190
ユーザーカスタマイズ	ナビゲーションの設定登録内容	389
メモリ地点	メモリ地点	208
	迂回メモリ	219
ECO	燃費設定	231
	燃費履歴	234
メンテナンス	メンテナンス案内時期の設定（パーソナル項目含む）	237
	販売店の設定	244
	自動通知設定	239
オーディオ＆ビジュアル	ラジオ、テレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報	450、545
	ハードディスクに録音した音楽データ	495
	手動Gracenote メディアデータベース更新データ	489
	メディアデータベースバージョン情報	488
ハンズフリー	電話帳データ	647
	発信履歴および着信履歴	628
	ワンタッチダイヤル	655
	Bluetooth電話機の登録情報	618
	ロックNo.	658
	ハンズフリー関連の設定・編集項目	636
G-BOOKオンラインサービス	ブックマーク	751
	閲覧履歴	749
	Myリクエストのメニュー	769
	G-SOUND楽曲のライセンス	782
	G-BOOK関連の設定・編集項目	754

1 にタッチします。

2 **共通設定** にタッチします。

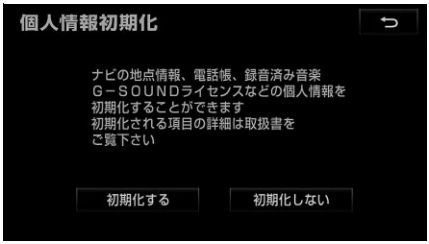


3 個人情報初期化の **初期化する** にタッチします。



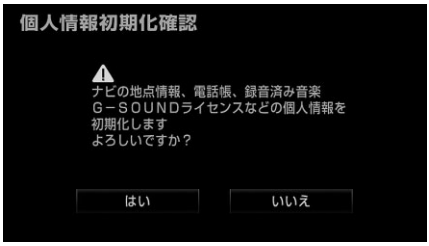
4 個人情報初期化画面で、**初期化する** にタッチします。

● **初期化しない** にタッチすると、もとの画面にもどります。



5 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、**3** の画面にもどります。



アドバイス

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業を行ってください。
- セキュリティ機能が設定されている場合、個人情報を初期化することができません。セキュリティ機能を解除（59ページ参照）してから初期化を行ってください。
- 初期化中は、しばらくの間パネルスイッチ等を操作することができません。

6. 共通の設定

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、オーディオの電源のON/OFFに合わせてアンテナが自動で上下するように設定することができます。

1 にタッチします。

2 **ナビ** にタッチします。

3 **ナビ詳細設定** にタッチします。

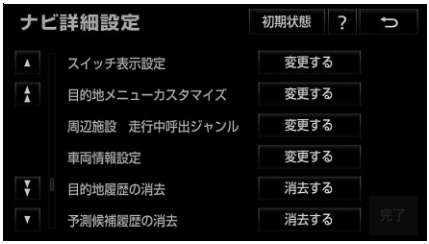


4 **その他** にタッチします。



5 車両情報設定の **変更する** にタッチします。

● 車両情報設定画面が表示されます。

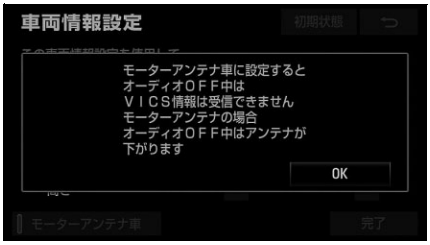


6 **モーターアンテナ車** にタッチします。

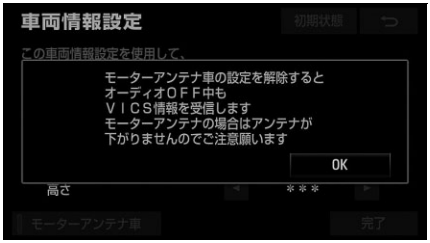
● ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。



7 **OK** にタッチします。



●モーターアンテナ車に設定したとき



●モーターアンテナ車の設定を解除したとき

8 **完了** にタッチします。

⚠ 注 意

お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、アンテナを折らないように注意してください。本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するためにオーディオの電源をOFFにしてもアンテナは下がりません。駐車場など天井の低い場所に入る前は、ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定し、必ずアンテナが収納されていることを確認してください。アンテナを収納しないで天井の低い場所に入ると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

アドバイス

ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定した場合、オーディオの電源を OFF にするとアンテナが下がるため FM 多重放送の VICS 情報が受信できなくなります。このときは、モーターアンテナ車の設定を解除してください。

6. 共通の設定

オープニング画面の切り替え

本機のオープニング画面（電源を入れた時に表示される画面）を切り替えることができます。

1 にタッチします。

2 **画像設定** にタッチします。

3 **オープニング画像選択** にタッチします。



4 **1** 、**2** 、**3** 、**販売店用** のいずれかにタッチします。

● 販売店で画像を読み込ませている場合、**販売店用** にタッチすると、読み込ませた画像が設定されます。



5 **完了** にタッチします。

ナビゲーション

**ナビゲーションは、あくまでも走行の参考として
地図と音声で案内するものですが、精度により、
まれに不適切な案内をする場合があります。
案内ルートを走行するときは、
必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。**

＜地図データベースについて＞

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、アイシン・エィ・ダブリュ株式会社と株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。
インファレンシャルルートガイダンス機能（交通情報推定機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。
地図データの詳細につきましては、 の **地図更新** の **使用データ** 、または別紙の印刷物「データベースについて」をご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の５万分の１地形図および2.5万分の１地形図を使用しました。
●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の2.5万分の１地形図を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認　平15企指向第2号）
●この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認　06-052T）
●この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。
●この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しました。
●交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。
●道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。
●道路交通情報データについて
道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。
データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。
●統計交通情報について
統計交通情報データは、JARTIC/VICSおよび独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

©2010 財団法人　日本デジタル道路地図協会
©アイシン・エィ・ダブリュ（株）＆ ZENRIN CO.,LTD＆（株）トヨタマップマスター＆（株）昭文社

本製品のデータ格納機能として、株式会社ACCESSのAVE-File(TM)を搭載しています。
Copyright(C) 2000-2004 ACCESS CO., LTD.

1. GPSボイスナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



＜現在地画面＞



＜スクロール地図画面＞

①方位マーク（ヘディングアップ時は ）
地図の方角が表示されます。

- 地図向き（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては98ページを参照してください。

②自車マーク

現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図データに情報のある交差点のみ）

- 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

④名称表示（ 小石川橋 ）

状況により次の名称が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ）

- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称
- 通過するインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）の名称（高速道路を走行しているときのみ）
- 分岐するインターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

⑤案内ポイント

交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。

- 交差点案内については、185 ページを参照してください。

⑥ルート表示

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

- 案内が行われるのは、濃い青（ ）の表示上に現在地があるときです。出発地および目的地周辺の細街路では薄い青のルートのみ表示します。

⑦スケール表示

表示させている地図の縮尺が表示されます。
＿＿の長さがこの場合は100mになります。

⑧GPSマーク

GPS衛星からの位置情報が利用されているときに、表示されます。
ただし、GPSマークが表示されているときでも、GPS衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

- GPS については 71 ページを参照してください。

1. GPS ボイスナビゲーションについて

⑨時計表示

現在の時刻が表示されます。

● 表示については、85ページを参照してください。

⑩VICSタイムスタンプ 

VICS 情報が提供された時刻が表示されます。また、渋滞規制案内音声があるときは、タッチスイッチに替わります。
(目的地案内中のルート上にVICS情報があるときは、タイムスタンプが、渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。)

● VICS・交通情報の表示については、257ページを参照してください。

⑪到着予想時刻表示／目的地方向マーク

状況により次のマークが表示されます。

■到着予想時刻表示 

目的地案内中、目的地へ到着する予想時刻が表示されます。

● 到着予想時刻については、188 ページを参照してください。

■目的地方向マーク 

ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

⑫残距離表示

現在地から目的地までの距離が表示されます。

● 目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。

● ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。

● 残距離表示の切り替えについては、197ページを参照してください。

⑬カーソルマーク

検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。
スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭カーソル位置地名表示

スクロールしたカーソル位置の地名が表示されます。（手をはなしてから約6秒間）

アドバイス

次のようなときはGPSを利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPSアンテナの周辺に電波を妨げるものがあるとき
- GPS衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）をGPSアンテナ付近で使用したとき

本書では一部の操作説明を除き、ノースアップ1画面・2Dのビジュアルシティマップ表示の画面で説明しています。また、VICS情報が表示されていない地図画面を使用しています。
「地図にタッチ」は直接、地図（タッチスイッチ以外の場所）をタッチすることを示しています。

2. GPSについて

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は米国が開発・運用しているシステムで、通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地球に放射される電波を利用して現在地（緯度・経度など）を知ることができるシステムです。
本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

GPS受信中画面



GPSを利用できないとき

次のようなときはGPSを利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPSアンテナの周辺に電波を妨げるものがあるとき
- GPS衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）、市販の電装品（レーダー探知機等）をGPSアンテナ付近で使用したとき

1. ナビゲーションの設定について

ナビゲーションの設定

設定・編集画面では、ナビゲーションの設定や編集をすることができます。
特に**「ナビ詳細設定」**、**「安全・快適走行設定」**は、ナビゲーションをお使いになる前にあらかじめ設定しておくことをおすすめします。

1 にタッチします。

● 設定・編集画面が表示されます。

2 **ナビ** や **運転支援** などのタブにタッチすると、下記の設定、編集を行うことができます。

● タブの切り替え方については、81ページを参照してください。

● **共通設定** 、 **?** は全てのタブで表示されます。



●設定・編集画面（ナビ）



●設定・編集画面（運転支援）

タブ	設定項目	機　能	ページ
ナビ	音量設定	音量の設定	86
		高速時の自動音量切り替えの設定	86
	案内中止／案内再開※1	目的地案内の中止・再開	181
	ルート変更※1	目的地の追加・並び替え・消去	168、171、172
		区間別探索条件の変更	170
		乗降インターチェンジ（IC）の指定・解除	174、176
		通過道路の指定・修正・解除	177、179、180
	メモリ地点登録編集	メモリ地点の登録・修正・消去	208、209、218
		迂回メモリ地点の登録・修正・消去	219、220、221
		メモリ地点のデータ移行	222
	地図更新	地図データの更新・データベース情報表示	393、408
	ナビ詳細設定	ナビゲーションの設定	74

※1 目的地が設定されていないときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

タブ	設定項目	機　能	ページ
電話	音量設定	電話音量・着信音量の設定、高速時の自動音量切り替え設定	637
	電話機選択	使用する通信機器の選択、携帯電話の名称変更	638、640
	電話帳編集	電話帳の登録・編集・削除、ワンタッチダイヤルの登録・削除	647
	Bluetooth設定	携帯電話の登録、削除、Bluetoothの設定	618、642、644
	電話詳細設定	セキュリティ、接続・着信時の設定	620、645、658
オーディオ	オーディオプレイヤー切替	使用するポータブルオーディオの選択	470
	Bluetoothオーディオ設定	Bluetoothオーディオの設定	470
	サウンドライブラリ編集	HDDオーディオの編集	505
	CD⇒HDD録音設定	録音の設定	493
G-BOOK	通信設定	G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。	754
	Myリクエスト編集		
	G-SOUND削除		
	プライバシー設定		
	G-BOOK詳細設定		
運転支援	安全・快適走行設定	注意地点案内（安全・快適走行設定）の設定	113
	燃費履歴ECO設定	燃費履歴の表示、ECO機能の設定	229
	バックガイドモニター※2	バックガイドモニターの設定	350、351、352
	カメラ表示優先設定※3	低速時に優先して表示するカメラ映像の表示	371
	全周囲モニター設定※4	マルチアングル全周囲モニターの設定	383、385
メンテナンス	項目設定	メンテナンス時期の設定	237
	販売店設定	販売店の設定・修正・消去	244、245
	メンテナンス詳細設定	メンテナンスの設定	239、241、243
画像設定	オープニング画像選択	オープニング画像の選択	66
ETC※5	通知設定	ETCの設定	318
共通	共通設定	BEEP音の設定	53
		操作画面継続表示の設定	54
		イメージカラーの切り替え	55
		セキュリティ機能の設定・解除	56
		個人情報の初期化	62
	?	ヒント機能の操作	82

※2 オプションのバックガイドモニター接続時に表示されます。
※3 オプションのブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステム接続時に表示されます。
※4 オプションのマルチアングル全周囲モニター接続時に表示されます。
※5 オプションのETC車載器接続時に表示されます。

1. ナビゲーションの設定について

ナビ詳細設定をする

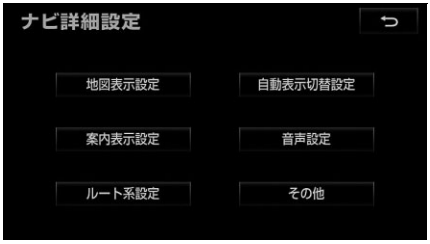
ナビ詳細設定から設定できる項目は、**「地図表示設定」**、**「自動表示切替設定」**、**「案内表示設定」**、**「音声設定」**、**「ルート系設定」**、**「その他」**に分類されています。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、各項目の設定を行うことができます。

● タッチスイッチから設定できる項目については、下記のページを参照してください。



タッチスイッチ	ページ
地図表示設定	次ページ
自動表示切替設定	76
案内表示設定	76
音声設定	77
ルート系設定	77
その他	78

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



アドバイス

● 表示されたナビ詳細設定画面は、すべての項目に移動することができます。

● ナビ詳細設定画面で **初期状態** にタッチすると、一覧（75～78ページ）の初期設定にもどります。**変更する** 、**補正する** 、**設定する** から設定した内容は初期設定にもどりません。

地図表示設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
右画面設定	２画面表示の右画面の地図を設定することができます。	変更する	100
２D 時フロントワイド	ノースアップ表示（１画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	する／**しない**	99
２D 時フロントワイド右画面の地図で表示	２画面表示の右画面がノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	する／**しない**	99
２D 時フロントワイド	ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	**する**／しない	99
２D 時フロントワイド右画面の地図で表示	２画面表示の右画面がヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	**する**／しない	99
3D 時のルート方向アップ	（目的地案内中に）３D表示のとき、ルートが表示されている方向の地図を広く表示することができます。	する／**しない**	110
３D地図表示設定	３D地図表示の見下ろす角度を調整することができます。	変更する	109
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更することができます。	**ノーマル**／フレッシュ／クール／シック／ウォーム	84
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更することができます。	**ノーマル**／フレッシュ／クール／シック／ウォーム	84
自車マーク変更	地図に表示される自車マークを変更することができます。	**ノーマル**／／／／／	84
ビジュアルシティマップ表示	地図マークのイラスト表示や道路の太さをより実際の道路に近づけて表示することができます。	**する**／しない	111
地図の文字サイズ変更	地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替えることができます。	大／**中**／小	85
周辺施設表示	地図に表示する施設ランドマークを設定することができます。	変更する	114
立体ランドマーク表示	地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示することができます。	**する**／しない	112
シーズンレジャーランドマーク表示	桜などの季節になると、地図に桜や紅葉の名所をマーク表示することができます。	**する**／しない	111
地図スクロール時の地名表示	地図スクロール時に地図中心（⊕）の地名を表示することができます。	**する**／しない	89

1. ナビゲーションの設定について

自動表示切替設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
交差点拡大図自動表示	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、自動的に交差点拡大図を表示することができます。	**する**／しない	184
リアル交差点拡大図自動表示	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、リアルな交差点拡大図を表示することができます。	**する**／しない	186
高速分岐模式図自動表示	（目的地案内中に）高速道路走行中、分岐点に近づくと、自動的に高速分岐案内図を表示することができます。	**する**／しない	194
レーンリスト自動表示	（目的地案内中に）走行する交差点の名称と車線レーンのリスト図を表示することができます。	**する**／しない	187
ターンリスト自動表示	最終目的地まで走行する道路名称、ターン方向および距離のリスト図を表示することができます。	する／**しない**	193
都市高マップ自動表示	（目的地案内中に）都市高速を走行すると、自動的に都市高速マップを表示することができます。	する／**しない**	194
高速路線マップ自動表示	高速道路を走行すると、自動的に高速路線マップを表示することができます。	する／**しない**	105
駐車場マップ自動表示	収録されている地下駐車場に入ったとき、自動的に駐車場マップを表示することができます。	**する**／しない	107

案内表示設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
縮尺切替メッセージ表示	縮尺切り替え時に地図表示切り替えを通知するメッセージを表示することができます。	する／**しない**	94
料金案内	（目的地案内中に）料金所に近づくと、料金を画面と音声で案内することができます。	**する**／しない	190
料金所レーン案内	（目的地案内中に）料金所に近づくと、レーンの案内を画面と音声で案内することができます。	**する**／しない	192
県境案内	都道府県をこえたときに、マークと音声で案内することができます。	**する**／しない	112
3D交差点拡大図	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、３Ｄで交差点拡大図を表示することができます。	する／**しない**	186
到着予想時刻表示	平均車速を変更することができます。（目的地までの到着予想時刻を計算する基準となります）	変更する	188
G情報マーク連動サービス※	近接案内情報を持つ施設などに近づいたとき、その施設の情報を案内することができます。	**する**／しない	739

※ G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに表示されます。

音声設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
VICS渋滞・規制音声自動発声	（目的地案内中に）ルート上（約10km以内）のVICS情報を自動的に音声で案内することができます。	**する**／しない	261
自動音声案内	（目的地案内中に）交差点や分岐点、目的地に近づくと自動的に音声で案内することができます。	**する**／しない	196
細街路での音声案内※	細街路（幅5.5m未満の道路）でも、目的地の直前まで音声で案内することができます。	**する**／しない	196
他モード時の案内	ナビゲーション画面以外の画面時にナビゲーションの音声を案内することができます。	**する**／しない	196
操作説明音声	表示している画面の操作手引き（説明）を音声で案内することができます。	**する**／しない	87
ハートフル音声	自宅に到着したときなどに「お疲れさまでした」などの気のきいたフレーズの音声を出力することができます。	**する**／しない	87
エコドライブインフォメーション	エコドライブに役立つアドバイスを音声で案内することができます。	**する**／しない	235

※ ルート案内中に設定を変更するとルートの再探索が行われます。

ルート系設定

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
自動再探索	（目的地案内中に）ルートからはずれたとき、自動的にルートを再探索することができます。	**する**／しない	204
ルート学習	よく通る道を考慮したルートを探索することができます。	**する**／しない	156
ルート学習結果の消去	学習したルートの結果を消去することができます。	消去する	157
交通状況学習結果の表示	交通状況の学習結果を地図表示することができます。	表示する	269
交通状況学習結果の消去	交通状況の学習結果を消去することができます。	消去する	270
季節規制メッセージ表示	季節規制区間（冬期通行止め道路など）を含むルートを探索したときに、メッセージを表示することができます。	**する**／しない	164
渋滞考慮探索設定	渋滞考慮探索、新旧ルート比較表示、Gルート情報自動継続※の設定をすることができます。	変更する	158、159、732

※ G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに表示されます。

1. ナビゲーションの設定について

その他

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
スイッチ表示設定	地図画面に表示するタッチスイッチを設定することができます。	変更する	90
目的地メニュー カスタマイズ	目的地設定画面の1ページ目に表示するスイッチを設定することができます。	変更する	206
周辺施設　走行中呼出ジャンル	走行中に簡易操作で表示できる施設マーク（周辺施設の6項目）を変更することができます。	変更する	120
車両情報設定※1	車両情報（ナンバープレートの分類・車両寸法・モーターアンテナ車）を設定することができます。	変更する	64、190
目的地履歴の消去	過去に設定した目的地の履歴を消去することができます。	消去する	205
予測候補履歴の消去	これまでに入力した文字列の履歴を消去することができます。	消去する	127
名称検索結果の並び替え	名称の読み検索で入力された文字の検索結果のリストを、ユーザーニーズを考慮した順に並べ替えることができます。	**する**／しない	133
画面切り替え時の動画表現	画面を切り替えるとき、ゆっくりした動きの表現に変更することができます。	する／**しない**	85
時計表示	地図画面にGPS時計を表示することができます。	**する**／しない	85
ナビ補正	現在地の修正や距離の補正をすることができます。	補正する	386、387
VICS割込設定※2	受信したVICS情報の自動表示について設定することができます。	変更する	310
ユーザーカスタマイズ	ナビ設定の記憶や呼び出しをすることができます。	設定する	389
QUICK SETUP	QUICK SETUPの設定や設定した内容を修正することができます。	設定する	49

※1 目的地が設定されているときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。
※2 オプションのVICSビーコンユニット接続時に表示されます。

安全・快適走行設定をする

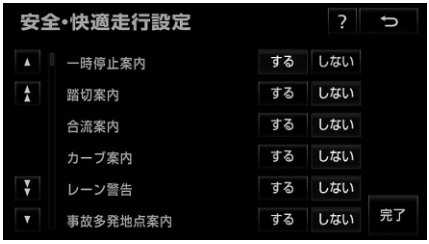
安全・快適走行設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

1 設定・編集画面（運転支援）で **安全・快適走行設定** にタッチします。

● 安全・快適走行設定画面が表示されます。



2 安全・快適走行設定画面から、下記の設定を行うことができます。



3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

● 太字は初期設定です。

項目	機能概要	設定	ページ
一時停止案内	一時停止地点に近づくと、マークと音声で案内することができます。	**する**／しない	113
踏切案内	踏切に近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
合流案内	高速道路走行中、合流道路に近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
カーブ案内	急カーブに近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
レーン警告	一般道の右左折専用レーンを音声で案内することができます。都市高速のレーン減少地点を警告マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	
事故多発地点案内	高速道路走行中、交通事故の多発している地点に近づくと、マークと音声で案内することができます。一般道走行中は、地図にマークを表示することができます。	する／**しない**	
学校存在案内	学校に近づくと、マークと音声で案内することができます。	する／**しない**	

2. リスト・タブの切り替えについて

リスト画面の切り替え方

▲・▼の切り替え表示

▲ ・ ▼ にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



ページの切り替え表示

▲▲ ・ ▼▼ にタッチすると、1ページずつリストが動きます。



行の切り替え表示

あ行 ・ か行 ・ さ行 ・ た行 ・ な行 ・ は行 ・ ま行 ・ や行 ・ ら行 ・ わ行 にタッチすると、「あ行→か行」と行ごとにリストが動きます。

- リストがない行はタッチスイッチがトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- タッチするごとに、行の中で「あ→い」と音ごとにリストが動きます。



マークの切り替え表示

▲マーク ・ ▼マーク にタッチすると、次のマークにリストが動きます。



種類の切り替え表示

▲種類 ・ ▼種類 にタッチすると、次の種類にリストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道 ・ 東北 ・ 関東 ・ 中部 ・ 近畿 ・ 中四国 ・ 九州 にタッチすると、地域ごとにリストが動きます。



施設項目の切り替え表示

店 ・ 車 ・ 宿泊 ・ 遊び ・ 公共 ・ 医療 ・ 交通 ・ 文化 ・ 他 にタッチすると、施設項目ごとにリストが動きます。

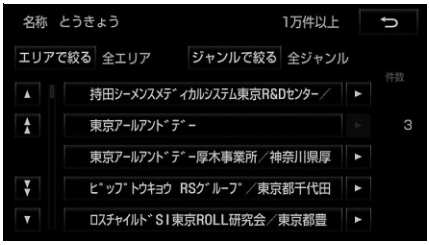


文字の表示範囲の切り替え方

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、名称がすべて表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 ▶ にタッチすると、名称の続きを確認することができます。

● ◀ にタッチすると、最初の表示にもどります。



タブの切り替え方

ナビ 、電話 、オーディオ 、G-BOOK 、運転支援 、メンテナンス 、画像設定 、ETC※ にタッチすると、設定・編集の項目を切り替えることができます。

※オプションの ETC 車載器接続時に表示されます。

● ▶ 、または ◀ にタッチすると、タブの表示を切り替えることができます。



3. ヒント機能

ヒント機能の操作

ナビゲーションの画面上に表示される各タッチスイッチの機能説明を表示することができます。**?** スイッチが表示されている画面でヒント機能を使用することができます。下記の説明はヒント機能の一例です。

1 DEST 、または などにタッチします。

2 **?** にタッチします。



3 ヒント機能対象スイッチにタッチします。

- 約6秒間、機能の説明を画面上に表示します。
- **?戻る** にタッチするとヒント機能を解除します。



アドバイス

- 走行中はヒント機能は操作できません。
- ヒント機能を操作中は通常の操作ができませんので **?戻る** にタッチしてから操作してください。
- 機能説明を表示しないタッチスイッチもあります。

4. 画面の調整・音声の設定

画面の調整

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

●ライト消灯時…〈昼画表示〉



●昼画表示〈ライト消灯時〉

●ライト点灯時…〈夜画表示〉



●夜画表示〈ライト点灯時〉

画質調整画面を表示するには

1 ナビゲーション画面のときに (DISP) に1秒以上タッチします。

● 画質調整画面になります。

2 調整が終了したら、**完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、調整した画質で設定し表示していた画面にもどります。



●画質調整画面

コントラスト（鮮明度）／明るさ調整

1 **■コントラスト**
強くするときは **強** 、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ
明るくするときは **明** 、暗くするときは **暗** にタッチします。

アドバイス

- コントラスト（鮮明度）／明るさ調整は、昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。
- ナビゲーション画面で画質を調整すると、オーディオ操作画面の画質も切り替わります。（441ページ参照）

4. 画面の調整・音声の設定

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 夜画表示のときに 昼画面 にタッチします。

- 昼画面 にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。
- 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。

作動表示灯



画面を消すときは

1 画面消 にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには MAP にタッチします。

地図の表示色の切り替え

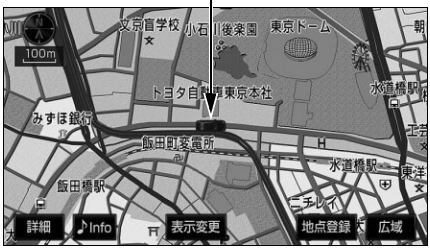
昼画・夜画それぞれの地図表示色を、ノーマル ・ フレッシュ ・ クール ・ シック ・ ウォーム から選ぶことができます。

地図の表示色を5種類から選ぶことができます。（75ページ参照）

自車マークの切り替え

地図上に表示される自車マークを、ノーマル ・ ・ ・ ・ ・ から選ぶことができます。

自車マーク



自車マークを5種類から選ぶことができます。（75ページ参照）

アドバイス

- 画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。
- リアル市街図（108ページ参照）では、切り替えた自車マーク（ノーマル以外）を表示することができません。（リアル市街図では、ノーマルの自車マーク表示に切り替わります。）

地図の名称（文字）サイズの切り替え

地図に表示されている名称（文字）の大きさを、**大**・**中**・**小** から選ぶことができます。

文字サイズ 大



文字サイズ 中



文字サイズ 小



文字のサイズを3種類から選ぶことができます。（75ページ参照）

画面切り替え時の動画表現の設定

画面の切り替えを動きのある表現に設定することができます。

画面切り替え時の動画表現をするか、しないか選ぶことができます。（78ページ参照）

時計表示の切り替え

地図画面に表示される現在時刻の表示を切り替えることができます。



●時計表示

時計表示をするか、しないか選ぶことができます。（78ページ参照）

アドバイス

- 本書で使用している地図画面は文字サイズ **中** を使用しています。
- 3D表示（108ページ参照）にさせているときは、手前側から大きい文字で表示されます。
- 画面切替時の動画表現を **する** に設定していても、動画表現しないタッチスイッチもあります。
- 時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（操作することはできません。）

4. 画面の調整・音声の設定

音量の設定

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

音量を調節する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**音量設定** にタッチします。

2 **小** ・ ● ・ ● ・ **中** ・ ● ・ ● ・ **大** のいずれかにタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- **消音** にタッチすると、音声がOFFになります。
  音声がOFFのとき、いずれかの音量のタッチスイッチにタッチすると、音声ONになります。



3 **完了** にタッチします。

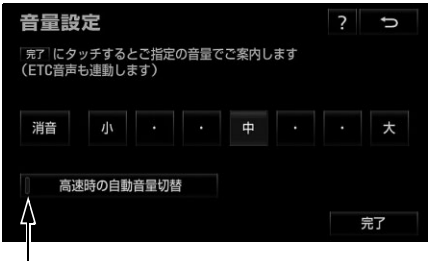
高速時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。
自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**音量設定** にタッチします。

2 **高速時の自動音量切替** にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

高速時の自動音量切り替えを設定した場合、車速が約80km/h以上になると、音量が自動的に1段階上がり、車速が約70km/h以下になるともとの音量にもどります。

操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。
操作説明音声の出力をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

ハートフル音声の設定

ナビゲーションの音声案内とは別に日付、あいさつなどの音声を出力させることができます。
その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはONにしたとき日付、曜日などをお知らせします。

[ハートフル音声の例]

- 日付案内の例
  今日は○月○日○曜日○○○（記念日など）です。（1回のみ／日）
- 自宅到着の例
  お疲れさまでした。（目的地設定の **自宅に帰る** からルート案内したときのみ）
- 挨拶の例
  - 明けましておめでとうございます。（1/1～1/3に1回のみ／日）
  - メリークリスマス（12/24～12/25に1回のみ／日）

ハートフル音声の出力をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

アドバイス

- ハートフル音声の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されることがあります。
- 以下の場合、ハートフル音声が2回出力されます。
  午前5時までにナビゲーションを起動する……1回目の音声出力
  再度、午前5時以降にナビゲーションを起動する…2回目の音声出力
- 本機の電源を入れたときの画面がTVやDVDなどの場合は、ナビゲーションの画面に切り替えると、ハートフル音声が出力されます。
- ハートフル音声とETCの音声案内が重複する場合があります。
  - ETC音声案内をOFF（発声しない）にする場合は、ETC音声案内を **しない** に設定してください。（318ページ参照）
  - ハートフル音声をOFF（発声しない）にする場合は、ハートフル音声を **しない** に設定してください。

5. 地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の画面を表示させているときは、MAP にタッチすると、現在地画面にもどります。
- 走行中は道路の表示が制限されます。（細街路などは表示されません。）ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

1 現在地画面で、MAP にタッチします。

- 現在地付近の地名が表示されます。
- 現在地が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（200mスケール図以下のとき）



地名表示

アドバイス

- 装着時、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク ▲ が表示されている（自車マーク ▲ がずれている）ことがあります。ただし、地図の自車マーク ▲ がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、自車位置が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
  GPS情報が利用されず、自車位置が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、自車位置の修正を行ってください。（386ページ参照）
- 地図データに情報のないときは、路線名・路線番号は表示されません。また、高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。
- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしたとき、テレビや DVD などの映像画面を表示していた場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにしても現在地が表示されません。

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。また、スクロール中は、地図中心付近の地名を表示します。

地図の移動

1 地図にタッチ（タッチスイッチ以外の場所）します。

- 地図左に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくり連続して地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で連続して地図が移動します。
- 地図の移動後、カーソルの地名が約 6 秒間、画面上部に表示されます。
- カーソル位置が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200mスケール図のとき）



スクロール時の地名表示を設定する

地図スクロール時の地名表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

スクロール時の地名を表示をするか、しないか選ぶことができます。（75ページ参照）

アドバイス

- 安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でのスクロールになります。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。MAP にタッチすると、もとの状態（地図が動く）にもどります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（98ページ参照）ができないことがあります。
- 地図データに情報のないときは、路線名・路線番号は表示されません。また、高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

5. 地図の表示

タッチスイッチの表示切り替え

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

タッチスイッチの表示を切り替える

1 ♪Info にタッチします。

● 現在作動しているオーディオ名や再生している曲名、受信している放送局名などの情報が表示されます。（426 ページ参照）



2 ◀◀Off にタッチします。

● タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることはできません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。



● タッチスイッチが表示されていないときに、▶▶On にタッチすると、タッチスイッチが表示されます。



タッチスイッチの表示を設定する

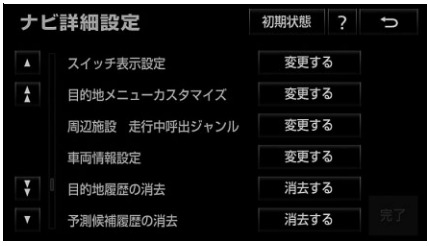
◀◀Off にタッチしたときに表示するスイッチを設定することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 スイッチ表示設定の **変更する** にタッチします。

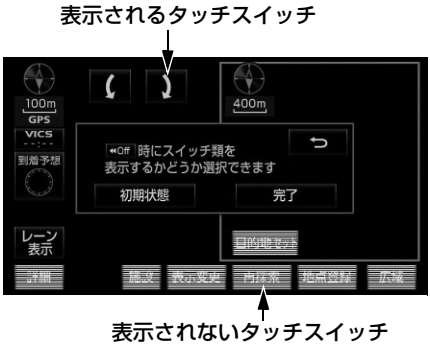


アドバイス

初期状態 にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

4 表示するタッチスイッチにタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、表示設定が初期設定の状態にもどります。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

● タッチスイッチの表示設定で、すべてのタッチスイッチを表示する設定にしたとき、**«Off** は表示されません。

● **広域** および **詳細** の表示設定は同じになります。別々の表示設定にすることはできません。

5. 地図の表示

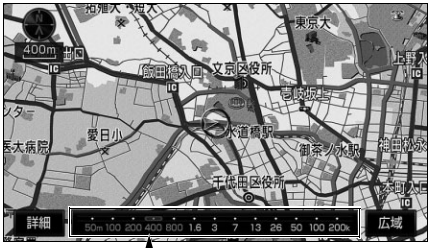
地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/2500図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。また、目的地が設定されているときは、ワンタッチで目的地までを表示する縮尺に切り替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
市街図 詳細	1/2500	25m		1/16万	1.6k
				1/32万	3k
市街図 広域	1/5000	50m		1/64万	7k
市街図	1/5000	50m		1/128万	13k
詳細	1/1万	100m		1/256万	26k
	1/2万	200m		1/512万	50k
	1/4万	400m		1/1024万	100k
	1/8万	800m	広域	1/2048万	200k

希望の縮尺に切り替える

1 地図の範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。



スケールバー

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。
- 新たに切り替えた縮尺が ▭（紫色※）で表示されます。

  ※色は設定しているイメージカラーにより異なります。（55ページ参照）

アドバイス

- 3D表示、または駐車場マップを表示しているときはスケール表示の ⌊⌋ を表示しません。また、リアル市街図表示中はREAL、駐車場マップ表示中はPARKと表示します。
- 最大範囲（200kmスケール図）にすると **広域** が消去されます。また、最小範囲（50mスケール図）にすると **詳細** が **市街図** （95ページ参照）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は **詳細** が消去されます。）
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

目的地までの縮尺に切り替える

目的地が設定されているときに、現在地を中心にワンタッチで、目的地までのルートを表示できる縮尺に切り替えることができます。（複数の目的地が設定されているときは次の目的地まで）

1 目的地が設定されているときに、**広域**、または **詳細** にタッチします。

● **ルート** が表示されます。



2 **ルート** にタッチします。



アドバイス

- 設定しているルート、または現在地によってはルート全体を表示できないことがあります。
- 以下のときは **ルート** は表示されません。
  - 走行中（半透明で表示され、操作することができません。）
  - 3D表示中（108ページ参照）
  - 市街図表示中（95 ページ参照）

5. 地図の表示

縮尺切替メッセージ表示を設定する

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージを画面に表示させることができます。



●縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替メッセージの表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

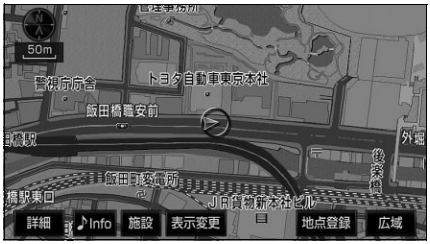
アドバイス

縮尺切替メッセージ表示を **する** に設定したときは、以下のメッセージを表示することができます。

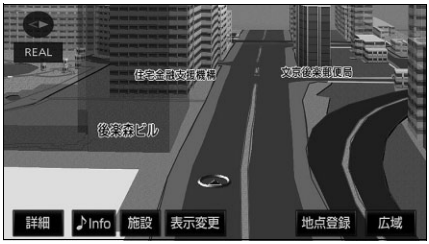
- 「都市高マップは200m図より詳細な地図では表示できません」
- 「都市高マップは1.6km図より広域な地図では表示できません」
- 「施設情報、VICS・交通情報は広域の地図には表示されません」
- 「施設情報は800m図より広域の地図には表示されません」
- 「VICS・交通情報は1.6km図より広域の地図には表示されません」
- 「市街図を表示します」
- 「リアル市街図を表示します」

市街図の表示

市街図が収録されている地域では、1／2500図（25mスケール図）と1／5000図（50mスケール図）の市街図表示に切り替えることができます。



●市街図



●リアル市街図表示

市街図表示に切り替える

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチします。

● 50mスケールの市街図が表示されます。

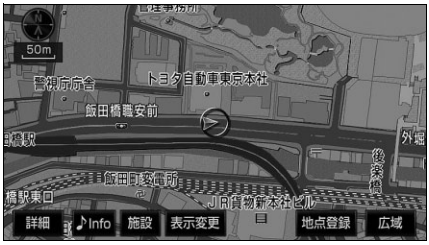


市街図の縮尺を切り替える

1 地図の範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。

● 25mスケールの市街図が表示されます。

● 25mスケールの市街図で、**広域** にタッチすると、地図の範囲が広く（50mスケール）なります。



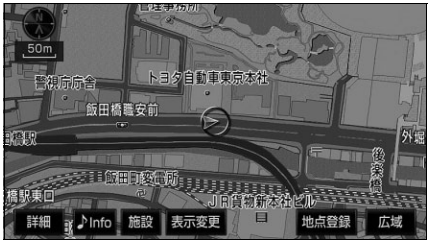
アドバイス

- 市街図の収録については、同梱の「データベースについて」を参照してください。
- 市街図が収録されている地域のみ、50mスケール図に **市街図** が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。）
- 25mスケールの市街図では、一方通行を ➡ で表示します。（リアル市街図では ⛔ で表示します。108ページ参照）
- 走行中、市街図で地図の移動（ワンタッチスクロール）はできません。
- 3D表示にしているとき、25mスケールの市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。リアル市街図表示の操作については、108ページを参照してください。

5. 地図の表示

市街図表示を解除する

1 50mスケールの市街図を表示させているときに、**広域** にタッチします。



施設の内容を表示する

1 市街図（リアル市街図含む）を表示させているときに、**施設** にタッチします。

- リアル市街図・2画面表示の場合は解除され、通常の市街図になります。



2 ⇧ にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。



3 **施設情報** にタッチします。

- 選んだ建物の建物名称・建物形状（建物が立ち上がります。）・施設の件数・階数・店名・会社名などが表示されます。
- 選んだ建物に複数の施設がないときは、施設の内容が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設の内容が表示されます。
- 施設の内容が表示されている画面で ☎ にタッチすると、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
- リスト最上段の施設位置を建物に表示します。
- 建物形状は実際とは異なることがあります。



走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡（約1000km）を自動で保存し、表示することができます。

● 保存できる距離をこえて走行したときは、古い軌跡は消去して、新しい軌跡を保存します。



走行軌跡表示

走行軌跡を表示する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **走行軌跡表示** にタッチします。



走行軌跡を消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

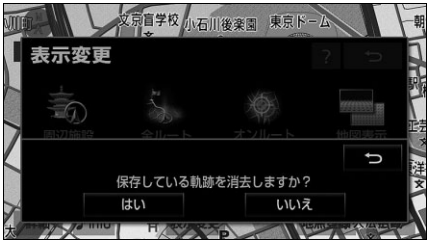
2 **走行軌跡解除** にタッチします。



3 **はい** 、または **いいえ** にタッチします。

● **はい** ···· 保存してある軌跡を消去して、表示も解除します。

● **いいえ** ··· 保存してある軌跡はそのままで、表示を消去します。



アドバイス

- 25m～50kmスケール図で表示させることができます。
- 保存している走行軌跡は、**走行軌跡表示** にタッチすると表示されます。
- リアル市街図（108ページ参照）、または高速路線マップ（104ページ参照）を表示させているときは、走行軌跡を表示することはできません。

5. 地図の表示

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。
(本書はノースアップ表示で説明しています。)



●ノースアップ表示

● ヘディングアップ表示

北を示します

車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。



●ヘディングアップ表示

地図の向きを切り替える

1 (または) がタッチスイッチのときに、(または)にタッチします。

● ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。



アドバイス

- ヘディングアップ表示のときに目的地の設定から呼び出した地図や全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示にもどります。
- がトーンダウンしているときは、タッチできません。

フロントワイド表示の切り替え

画面の中心に表示される自車マーク ⓐ を、中心からずれて表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

次のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

- ノースアップ表示（1 画面表示・2 画面表示の左画面）のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- 2 画面表示（次ページ参照）の右画面が、ノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- 2画面表示（次ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。



●フロントワイド表示



●通常の表示

フロントワイド表示をするか、しないか選ぶことができます。（75ページ参照）

5. 地図の表示

2画面表示の切り替え

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して表示することができます。

〔例〕左右異なる縮尺・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のONとOFF・3D表示のONとOFFに分割して表示できます。



●2画面表示

2画面表示に切り替える

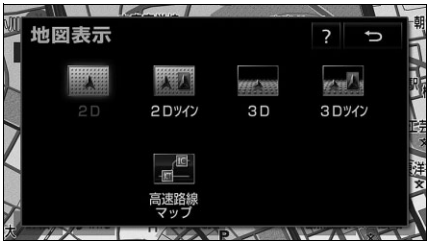
1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **2Dツイン**（通常の2画面表示）、または **3Dツイン**（左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

- 2画面表示に切り替わります。
- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- 左側の画面は 1 画面表示のときと同じ方法で操作できます。



右画面を操作する

右画面に表示されている地図の縮尺や向きなどを切り替えることができます。

右画面の操作は、ナビ詳細設定の **地図表示設定** からも行うことができます。（75 ページ参照）

1 右画面内の地図にタッチします。

- ナビ詳細設定から操作するときは、右画面の設定の **変更する** にタッチします。

アドバイス

- 高速略図（102ページ参照）、ターンリスト図（193ページ参照）などの案内図表示中は2画面に切り替えることができません。
- 2画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示にもどります。
- 2画面にしたときの右画面については、前回に設定した表示方法が記憶されています。

2 各タッチスイッチにタッチすると次の操作ができます。



作動表示灯

■地図縮尺を切り替える（92ページ参照）

詳細 、または **広域** にタッチします。

■地図の向きを切り替える（98ページ参照）

（または ）にタッチします。
（2画面表示でも操作できます。）

■3D表示に切り替える（108ページ参照）

3D表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

3D表示設定 にタッチします。

● ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。

■施設の表示を設定する（114ページ参照）

左画面に施設を表示させているとき、施設をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

周辺施設表示 にタッチします。

● ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。

■VICS・交通情報の表示を設定する（255、257ページ参照）

左画面にVICS・交通情報を表示させているとき、VICS・交通情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

VICS表示 にタッチします。

● ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。

3 地図縮尺を切り替えた場合、 にタッチします。

● ナビ詳細設定から操作しているときは、**完了** にタッチします。

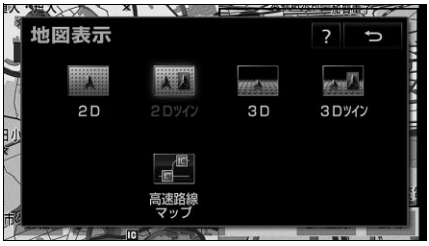
2画面表示を解除する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。

3 **2D** （通常の表示）、または **3D** （通常の3D表示）にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



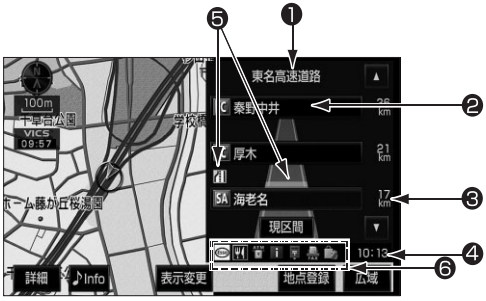
アドバイス

- 施設の表示・VICS・交通情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。また、左画面に表示させていないときは、右画面に表示できません。
- 再度、2画面表示にさせたときは、前回2画面表示にさせていたときの縮尺で地図が表示されます。

5. 地図の表示

高速略図画面

高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）、自動的に画面を左右に2分割して右側に高速略図画面を表示することができます。



❶	道路名称表示	走行中、または選んだ施設（SA・PA・IC）のある道路名称が表示されます。
❷	施設名称表示	施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。
❸	距離表示	現在地からの距離が表示されます。
❹	通過予想時刻表示	選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。
❺	VICSマーク・表示	VICS情報が受信されたとき、表示されます。（VICS表示、マークについては255、264ページを参照してください。）
❻	設備マーク表示	選んだ施設［サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］にある設備が最大7つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）

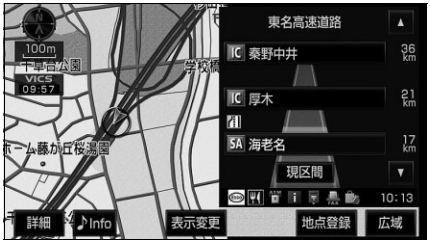
アドバイス

- 目的地案内をしていないときの施設名称表示は、最大10カ所までになります。
- 目的地案内中は、都市高速・有料道路でも自動で高速略図画面を表示することができます。
- VICS情報（現況情報）の表示で、**一般道のみ** に設定している場合でも、高速略図にVICS情報を表示することができます。**非表示** に設定しているときは、VICS情報は表示されません。
- 反対車線の施設情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（188ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、高速略図が解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、高速分岐模式図（194ページ参照）が自動的に表示され、高速略図が解除されます。（高速分岐模式図自動表示が **しない** に設定されているときは切り替わりません。）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的に高速略図にもどります。

高速略図画面を操作する

1 ▲・▼、または施設（SA・PA・IC）名称にタッチします。

- 選んだ施設（SA・PA・IC）に切り替わります。
- 施設（SA・PA・IC）を選んだとき、**現区間** にタッチすると、現在地からの高速略図画面にもどります。



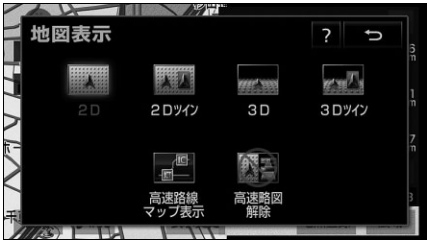
高速略図画面を解除する

1 高速略図画面を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。

3 **高速略図解除** にタッチします。

- 再度、高速略図画面を表示するときは、この画面で、**高速略図表示** にタッチします。



■設備マーク表示

マーク	内容	マーク	内容
	レストラン		FAX
	ドラッグストア		ショッピングコーナー
	仮眠施設		休憩所
	お風呂		スナックコーナー
	キャッシュコーナー		トイレ
	ハイウェイ情報ターミナル		ハイウェイオアシス
	郵便局・ポスト		スマートインターチェンジ

- ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

5. 地図の表示

高速路線マップ

高速道路や一般道路を走行中に高速路線マップを表示することができます。

【高速道路を走行中の場合】

高速道路を走行すると、自動的に高速略図画面に切り替わり、左画面に高速路線マップが表示されます。

- 高速路線マップのみで表示したいときは、高速略図画面を解除してください。（前ページ参照）



●高速路線マップ表示

高速路線マップの縮尺を切り替える

1 表示範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。（4段階に切り替えることができます）

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーにタッチすると、タッチした縮尺に切り替わります。



アドバイス

- 高速路線マップは地図向きを切り替えることができません。
- VICS情報を受信しているときは、高速路線マップにVICS情報を表示することができます。
- 高速路線マップを表示させているときは3D表示（108ページ参照）に切り替えることはできません。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、地図の右側に高速分岐模式図が自動的に表示されます。（高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは表示されません。194ページ参照）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にもとの画面にもどります。
- 高速路線マップでは、画面に表示されている道路（高速道路）のみでルートが表示されます。（一度高速道路から出て再度、高速道路に入るルートが探索された場合は、ルートが途切れて表示されます。）
- 走行中はスケールバーにタッチして縮尺を切り替えることはできません。

高速路線マップの自動表示を設定する

高速路線マップを自動でON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

高速路線マップの自動表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

高速路線マップ表示を解除する

1 高速路線マップを表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ解除** にタッチします。

● 表示するときは、再度この画面で、**高速路線マップ表示** にタッチします。



アドバイス

高速路線マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** から高速路線マップを表示することができます。

5. 地図の表示

【一般道路を走行中の場合】

一般道路を走行中、現在地付近の高速路線マップを表示させることができます。



●高速路線マップ表示

高速路線マップに表示を切り替える

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ** にタッチします。

● 解除するときは、高速路線マップ画面で、 、または **MAP** にタッチします。



● 高速路線マップの縮尺切り替えについては、**「高速路線マップの縮尺を切り替える」** 104 ページを参照してください。

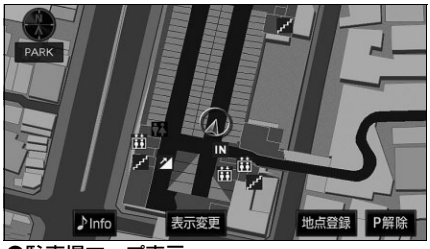
アドバイス

● VICS情報を受信しているときは、高速路線マップにVICS情報を表示することができます。

● 高速路線マップは地図向きを切り替えることができません。

駐車場マップ

地図データに情報が収録されている立体駐車場や地下駐車場に入ったときに、駐車場マップを自動で表示させることができます。



●駐車場マップ表示

駐車場マップの自動表示を設定する

駐車場マップ自動表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

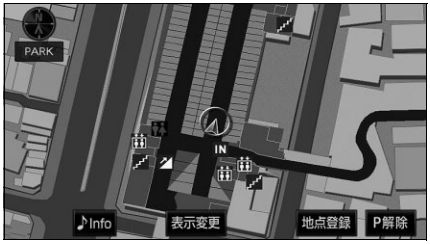
駐車場マップの自動表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

駐車場マップを解除する

P解除 から解除する

1 P解除 にタッチします。

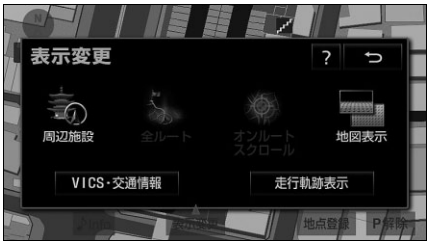
● 再度、駐車場マップを表示させるには、MAP にタッチします。



表示変更 から解除する

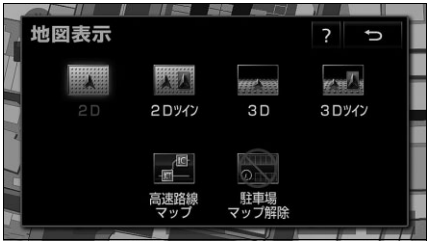
1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 地図表示 にタッチします。



3 駐車場マップ解除 にタッチします。

● 再度、表示させるにはこの画面で駐車場マップ表示 にタッチします。また、MAP にタッチしても表示させることができます。



アドバイス

駐車場マップ自動表示が しない に設定されているときは、表示変更 から駐車場マップを表示することができます。

5. 地図の表示

3D表示の設定

地図を立体的に表示させることができます。

3D表示に切り替える

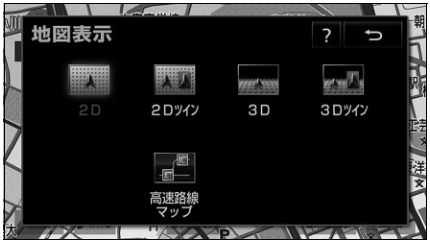
1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **3D**（通常の3D表示）、または **3Dツイン**（左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

- 3D表示に切り替わります。
- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



リアル市街図を表示する

3D表示にさせていたとき、25mスケールの市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。（通常の市街図は、表示されません。）



●リアル市街図表示

1 50m スケールの 3D 市街図表示で、**詳細** にタッチします。

- 市街図表示については、95ページを参照してください。



アドバイス

- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示にもどります。
- 25mスケールの市街図表示中に3D表示に切り替えてもリアル市街図表示になります。
- リアル市街図にすると一方通行の表示が ⛔ にかわります。

リアル市街図の視点を調整する

リアル市街図の視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは **広域** 、下げるときは **詳細** にタッチします。

- タッチするたびに低 ⟷ 中 ⟷ 高の3段階に切り替わります。
- スケールバーにタッチすると、低 ⟷ 中 ⟷ 高の3段階に切り替わります。
- **広域** 、または **詳細** を約1秒以上タッチし続けると、9段階に切り替わります。



見下ろす角度を調整する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3D地図表示設定の **変更する** にタッチします。



4 角度を上げるときは **▲** 、下げるときは **▼** にタッチして角度を設定します。

- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23°）にもどります。



5 **セット** にタッチします。

アドバイス

- リアル市街図の視点（角度と高さ）が最大（高）のとき、**広域** にタッチすると、リアル市街図を解除することができます。
- リアル市街図の視点（角度と高さ）が最小（低）のとき、**詳細** は表示されません。
- 走行中は、見下ろす角度の調整は操作できません。
- **3** で **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

5. 地図の表示

地図向きを回転する

1 3D表示させているときに、地図にタッチします。

2 にタッチすると時計まわり、 にタッチすると反時計まわりに回転します。

● MAP にタッチすると、もとの表示状態（回転前の状態）にもどります。



ルート方向アップ表示を設定する

3D表示画面で目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。



●ルート方向アップ表示

ルート方向アップ表示をするか、しないか選ぶことができます。（75ページ参照）

3D表示、リアル市街図を解除する

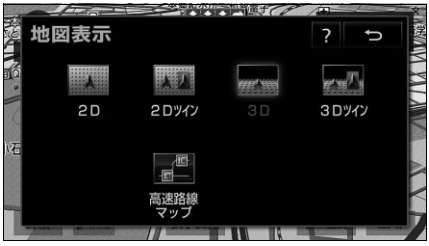
1 3D表示、リアル市街図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **2D**（通常の表示）、または **2Dツイン** にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



アドバイス

走行中は、地図向きを回転することができません。

ビジュアルシティマップの表示

ビジュアルシティマップでは地図マーク・表示をイラスト的に表示します。また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。（初期状態はビジュアルシティマップ表示の設定になっています。）



●ビジュアルシティマップ表示



●通常地図表示

ビジュアルシティマップの表示をするか、しないか選ぶことができます。（75ページ参照）

シーズンレジャーランドマークの表示

桜などの季節になると地図にシーズンレジャーランドマークを表示させることができます。



●シーズンレジャーランドマーク表示

（例）

マーク	内容
	桜の名所
	紅葉の名所

シーズンレジャーランドマークの表示をするか、しないか選ぶことができます。（75ページ参照）

アドバイス

- シーズンレジャーランドマークは、800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）
- マークの表示は、季節・場所（名所）によって異なります。

5. 地図の表示

立体ランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。



●立体ランドマーク表示

立体ランドマークの表示を設定する

立体ランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

立体ランドマークの表示をするか、しないか選ぶことができます。（75ページ参照）

立体ランドマークの内容を表示する

1 立体ランドマークにタッチします。

● 立体ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

● 立体ランドマークの内容が表示されます。

● ブラウザ画面が表示されたときの操作は、**「施設の情報を表示する」**119 ページを参照してください。



直線距離表示

県境案内の設定

都道府県境をこえたとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ音声で案内することができます。



●県境案内表示

県境案内をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

アドバイス

- 立体ランドマークは、800m　スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）
- 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

注意地点案内（安全・快適走行設定）の設定

注意する地点の案内がある場所に近づくと、地図右上にマークを表示し、音声でお知らせします。



●注意地点案内表示

場所	案内マーク
一時停止	
踏切	
合流	
カーブ	
レーン※1	
事故多発地点※2	
学校付近	

※1 都市高速道路走行中のみ表示されます。一般道路は音声のみの案内になります。

※2 一般道路走行中は地図上のマーク表示のみになります。

各注意地点案内をするか、しないか選ぶことができます。（79ページ参照）

アドバイス

- 地図データに情報のない地点では、注意地点案内は行われません。
- 合流の案内は、直前の分岐から距離が短い場合は行われないことがあります。
- 目的地案内開始直後や目的地周辺では、注意地点案内が行われないことがあります。
- 次の注意地点案内が近いときは、続けて案内が行われます。
- 案内マークは 50 ～ 800m スケール図の地図で表示させることができます。（リアル市街図、全ルート図表示画面を除く）
- 案内マーク（カーブ案内、高速道路上の事故多発地点案内、学校存在案内を除く）が表示される地点は地図上に●（黄色）で表示されます。
- 高速路線マップを表示している場合は、地図上に●（黄色）は表示されません。
- この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。
- 注意地点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 学校存在案内は、主に全国の小学校、中学校を対象としています。また、通学時間帯以外は案内しない場合があります。

5. 地図の表示

施設の表示

地図に施設ランドマークを表示させることができます。



●施設表示

走行中に簡易操作で表示する

走行中に簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。

施設ランドマークを複数表示するときは、ナビ詳細設定の **地図表示設定** から行ってください。(次ページ参照)

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 表示させる施設 **GS** 、**コンビニ** 、**レストラン** 、**駐車場** 、**銀行** 、**郵便局** にタッチします。

- タッチした施設ランドマークが表示されます。
- 5ジャンルまでの施設ランドマークを表示することができます。他の施設ランドマークを表示したいときは、再度 **1** から操作を行ってください。
- すでに選んだ施設にタッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。
- 走行中に表示することができる施設ランドマークを変更することができます。(120ページ参照)



施設ランドマークを消去する

施設ランドマークの消去は、ナビ詳細設定の **地図表示設定** からも行うことができます。(75ページ参照)

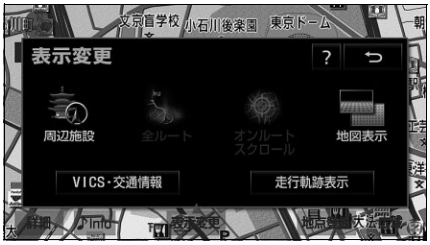
1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- ナビ詳細設定から消去するときは、周辺施設表示の **変更する** にタッチします。**3** の画面が表示されます。

アドバイス

- 800m スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示させることができる施設ランドマークは、自車 または カーソル から半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- 自車 または カーソル が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。
- 高速路線マップ、または駐車場マップを表示させているときは、施設ランドマークを表示させることはできません。
- **G情報マーク表示** は、G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。(738ページ参照)

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **表示解除** にタッチします。



● ナビ詳細設定から操作しているときは、**完了** にタッチします。

複数ジャンルを設定する

複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 周辺施設表示の **変更する** にタッチします。



4 **全ジャンル** にタッチします。



アドバイス

G情報マーク表示 は、G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。（738ページ参照）

5. 地図の表示

5 施設のジャンルにタッチします。



6 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- **4** ～ **6** の操作を繰り返すと、5ジャンルまでの施設ランドマークを同時に選択、表示させることができます。
- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- **表示解除** にタッチすると、選択されているすべてのジャンルが解除されます。
- 選んだジャンルにタッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



7 **完了** にタッチします。



アドバイス

各ジャンルの **○○全て** を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

周辺の施設を検索する

施設ランドマークを表示しているときに、または の位置の近くにある施設の名称と直線距離を表示させることができます。また、のときは施設の方向を表示させることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **施設検索** にタッチします。

- 選択されている施設のリストが表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- のとき前方に施設がある場合は（矢印上）で表示されます。（車の進行方向から見える位置）
- 目的地が設定されているときは、ルートに沿ったリストを表示することができます。**「ルートを考慮したリストを表示する」**（次ページ参照）



5 **情報** が表示されたときは、**情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- ブラウザ画面が表示されたときの操作は、**「施設の情報を表示する」**119 ページを参照してください。



アドバイス

- 検索させることができる施設ランドマークは、または から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）
- 施設のリストは、、または の近い施設の距離順と、施設のマークの種類順の2種類の並べ方をさせることができます。
  - **種類順** にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。
  - **距離順** にタッチすると、、または から近い施設の距離順に並びかわります。

5. 地図の表示

ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストにすることができます。（距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらか、または現在地より後方を表示しています。）

1 **ルート沿い考慮** にタッチします。

- ルートを考慮したリスト表示がされているときは、作動表示灯が点灯します。
- 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設名称と現在地からの道なり距離が表示されます。



アドバイス

- ルートを考慮したリストは表示させていた地図にルートが表示されていないときは、表示できません。
  - **距離順** にタッチすると、▲ から近い施設の距離順に並びかわります。
  - **種類順** にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。
- 表示される施設は、ルート沿いにある施設のみです。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

施設の情報を表示する

1 施設ランドマークにタッチします。

- 施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 同じ建物に複数の施設がある場合、施設ランドマークにタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

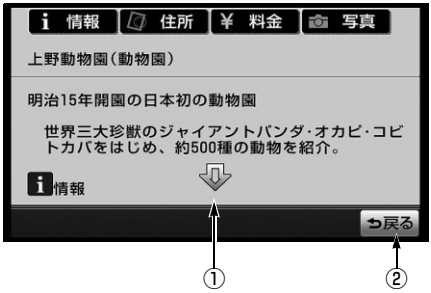
2 **情報** が表示されたときは、**情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。



3 ブラウザ画面が表示されたときは、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

- **○○**（**住所**・**写真** など）にタッチすると、タッチした内容が表示されます。
- **電話をかける** にタッチすると、表示されている電話番号に電話をかけることができます。



① **スクロールスイッチ**
表示中のページが画面に収まらないとき、⇩にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。

② **戻るスイッチ**
2 の画面にもどります。

5. 地図の表示

周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更

走行中に簡易操作で表示することができる施設ランドマーク（114 ページ参照）を設定することができます。

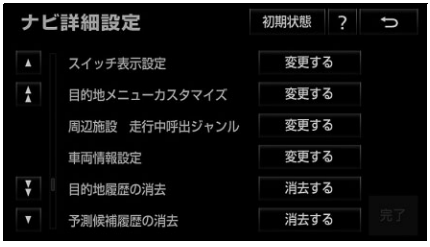
● 初期状態は **GS** 、**コンビニ** 、**レストラン** 、**駐車場** 、**銀行** 、**郵便局** が設定されています。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 周辺施設 走行中呼出ジャンルの **変更する** にタッチします。



4 変更したい施設のジャンルにタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、すべての周辺施設走行中呼出ジャンルの項目が初期設定の状態にもどります。



5 施設のジャンルにタッチします。

6 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

● マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。



7 **完了** にタッチします。

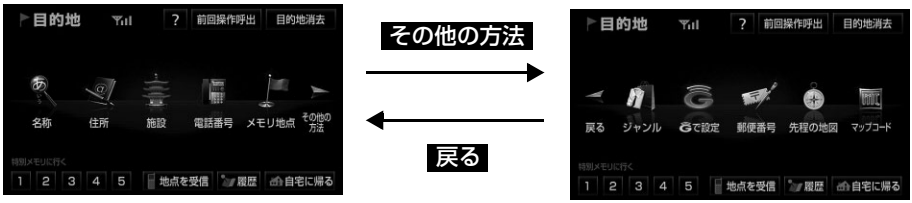
アドバイス

3 で **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

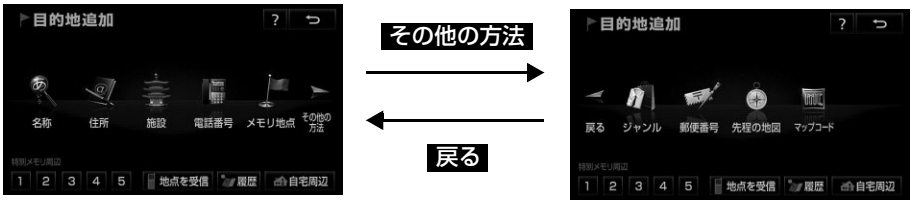
6. 地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。
地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページを参照してください。

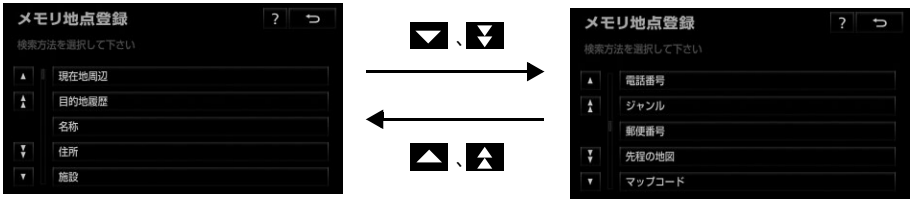
● 目的地の設定のとき



● 目的地の追加のとき



● メモリ地点の登録、迂回メモリ地点の登録、販売店の設定のとき



● 目的地の設定　(151ページ)
● 目的地の追加　(168ページ)
● メモリ地点の登録　(208ページ)
● 迂回メモリ地点の登録　(219ページ)
● 販売店の設定　(244ページ)

上の画面は、目的地設定／追加・メモリ地点登録のときの画面を代表として記載しています。

表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

アドバイス

- 目的地設定画面、目的地追加画面の1ページ目に表示するスイッチを設定することができます。(206ページ参照)
- 走行中は目的地設定画面、目的地追加画面の下部に表示されるタッチスイッチ(1 ～ 5 、地点を受信 、履歴 、自宅に帰る 、自宅周辺)が拡大されます。

6. 地図の呼び出し方法

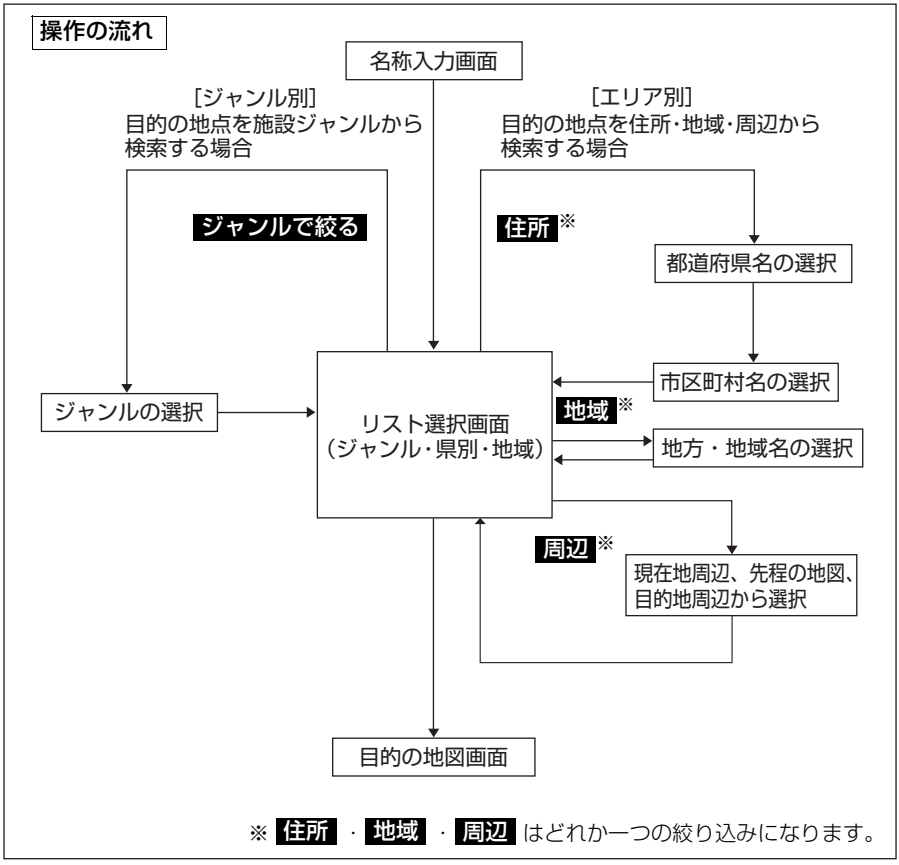
項目（タッチスイッチ）	機　能
名称	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。（次ページ参照）
住所	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（134ページ参照）
施設	さまざまなジャンルから施設を選び、その施設周辺の地図を表示させることができます。（135ページ参照）
電話番号	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（137ページ参照）
メモリ地点	メモリ地点周辺の地図を表示させることができます。（139ページ参照）［メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、207ページ参照。］
ジャンル	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地図を表示させることができます。（139ページ参照）
Gで設定	G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。（735ページ参照）
郵便番号	郵便番号を入力することで、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（142ページ参照）
先程の地図	最後に表示していた地図を表示させることができます。
マップコード	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（142ページ参照）
履歴	過去に設定された目的地、または前回の出発地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（143ページ参照）［目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、205ページ参照。］
目的地履歴	
地点を受信	Bluetooth携帯電話で取得した位置情報を本機に転送して、地図を呼び出すことができます。（144 ページ参照）
特別メモリに行く 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。［それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、207ページ参照。］
自宅に帰る	
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。
自宅周辺	登録されている地点の地図を表示させることができます。（144ページ参照）［それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、207ページ参照。］
特別メモリ周辺	
前回操作呼出	前回中断された地図の呼び出し操作を、再開することができます。

名称で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称をひらがな、カタカナ、英数、または漢字で入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。
候補数が少ないときは、リスト画面から直接選びます。

● **目的の地点をエリアから絞り込む** **エリアで絞る**
  ● **住所** から、都道府県、市区町村の順に絞り込み、リストを呼び出します。
  ● **地域** から、地方および地域を絞り込み、リストを呼び出します。
  ● **周辺** から、現在地周辺、先程の地図、目的地周辺で絞り込み、リストを呼び出します。

● **目的の地点を施設ジャンルから絞り込む** **ジャンルで絞る**
  ● **ジャンルで絞る** から、施設ジャンルを絞り込み、リストを呼び出します。



6. 地図の呼び出し方法

1 施設の名称（または住所）を1文字ずつタッチして入力します。

- 35 文字まで入力でき、12 文字まで表示します。
- 漢字・カタカナ・英数字で入力することにより、検索項目を絞り込むことができます。漢字・カタカナ・英数字で入力するには、 **漢字入力** にタッチします。入力方法は**「漢字・カタカナ・英数字を入力する」**次ページを参照してください。
- 文字を入力するごとに予測候補が表示されます。予測候補にタッチすると、表示されている文字列が入力されます。予測候補については**「予測候補について」**127 ページを参照してください。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

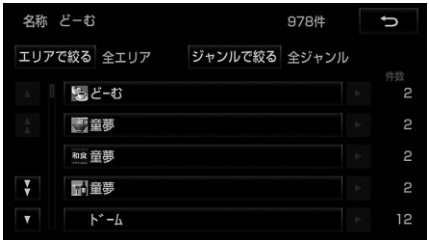


2 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称（または住所）の全国リスト画面が表示されます。

3 表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、 **OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 候補数が多いときは前ページの **操作の流れ** にしたがって［エリア別］、または［ジャンル別］で絞り込みます。
  全国リスト画面に表示させる施設のエリアを指定するときは **エリアで絞る** にタッチします。（128ページ参照）
  施設のジャンルを指定するときは **ジャンルで絞る** にタッチします。（132ページ参照）
- 住所を入力したときは、表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。
  住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（148ページ参照）
- ⮌ にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。



アドバイス

- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国リスト画面が表示されます。
- 予測候補は、読み検索（読み入力）時に表示されます。文字検索（漢字入力）時には表示されません。
- 全国リスト画面に表示される施設名称の並べ方を変更することができます。（**「名称検索結果の並べ替えを設定する」**133 ページ参照）

4 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



漢字・カタカナ・英数字を入力する

ひらがな入力に比べ、検索中の施設名称（または住所）の件数を絞り込むことができます。

1 **「名称で地図を呼び出す」**前ページ **1** で表示された画面で、**漢字入力** にタッチします。



2 漢字以外を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、または **英数字**（アルファベット・数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

- 漢字入力については**「漢字を入力するには」**次ページを参照してください。
- **読み入力** にタッチすると、ひらがなで施設名称（または住所）を入力することができます。**「名称で地図を呼び出す」**前ページ **1** の画面にもどります。



アドバイス

- グループ化された施設のリストは、店舗の名称、または都道府県名の50音順と、現在地から近い施設の距離順の2種類の並べ方をさせることができます。
  - **名称順** にタッチすると、施設・店舗の名称、または都道府県名の50音順に並びかわります。
  - **距離順** にタッチすると、現在地から近い施設の順に並びかわります。
- 入力制限文字数をこえて入力しようとすると、メッセージが表示され、入力できません。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大 20 文字です。最大入力文字数をこえると、メッセージが表示され、入力ができなくなります。この場合は、**完了** 、または **無変換** にタッチして、文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してください。
  なお、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

6. 地図の呼び出し方法

3 名称を1文字ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

● 入力した文字から検索された施設名称(または住所)の全国リスト画面が表示されます。(124ページ **3** 参照)

漢字を入力するには

1 **「漢字・カタカナ・英数字を入力する」** 前ページ **2** で表示された画面で、かな入力状態にします。

2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



3 **変換** にタッチします。

● 漢字変換候補が表示されます。

● 入力したままの状態で確定したいときは、**無変換** にタッチします。



4 入力する熟語、または漢字にタッチします。



● 変換する文字の範囲を変換するときは、◀ · ▶ にタッチして、範囲を変更します。

● **全確定** にタッチすると、表示されている状態で確定されます。

● **読み入力** にタッチすると、ひらがなで施設名称(または住所)を入力することができます。**「名称で地図を呼び出す」** 124ページ **1** の画面にもどります。



5 **完了** にタッチします。

● 入力した文字から検索された施設名称(または住所)の全国リスト画面が表示されます。(124ページ **3** 参照)

予測候補について

文字を入力すると、一般的な施設名称や、これまでに入力した文字列の履歴をもとに予測候補が表示されます。

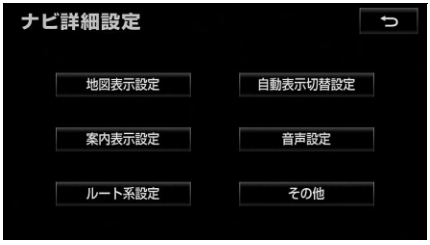


入力履歴を消去する

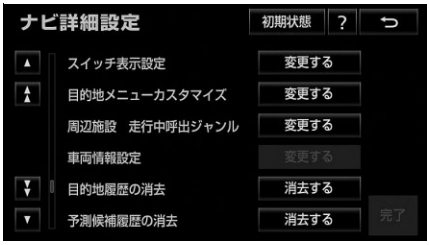
これまでに入力した施設名称の履歴を消去し、予測候補を初期状態にもどすことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

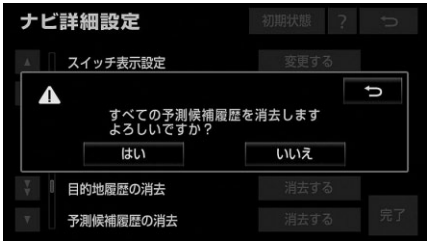


3 予測候補履歴の消去の **消去する** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



アドバイス

- 予測候補は、読み検索（読み入力）時に表示されます。文字検索（漢字入力）時には表示されません。
- 地図の更新により、予測候補に表示されている施設が検索できなくなる場合があります。この場合、予測候補にタッチしても、検索可能な文字しか入力されません。
- 施設名称が21文字を超える場合は、履歴として登録されません。
- **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

6. 地図の呼び出し方法

エリア別で絞り込みする場合

住所から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリアで絞る** にタッチします。

2 **住所** にタッチします。

3 施設のある都道府県（一部市）名にタッチします。

● **全エリア** にタッチすると、全国リスト画面（124ページ **3** ）にもどります。



●都道府県指定画面

4 表示させる施設の市区町村名にタッチします。

● **○○全域** にタッチすると、指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面が表示されます。



5 表示させる施設名称にタッチします。

● 地図が表示されます。

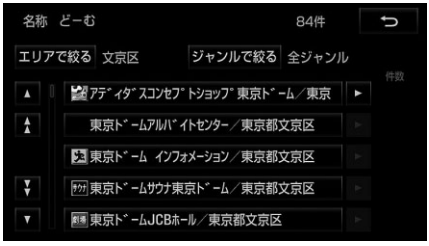
● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。

● 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 施設名称に複数の店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。

● **⮌** にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。

● **ジャンルで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（132ページ参照）



アドバイス

● エリアを選択する場合は、**住所** 、**地域** 、または **周辺** のどれか１つのみの設定になります。

● 設定したエリアに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のエリアを設定してください。

● 施設リスト画面に表示される施設名称の並べ方を変更することができます。（**「名称検索結果の並べ替えを設定する」**133 ページ参照）

6 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。



地域から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリアで絞る** にタッチします。

2 **地域** にタッチします。

3 施設のある地域名にタッチします。

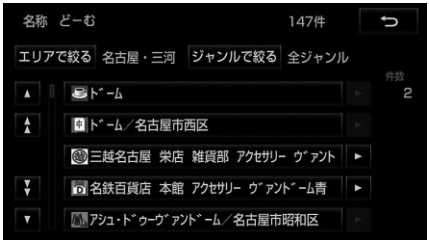
- **全エリア** にタッチすると、全国リスト画面（124ページ **3** ）にもどります。



●地域指定画面

4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- ⮌ にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **ジャンルで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（132ページ参照）



アドバイス

施設リスト画面に表示される施設名称の並べ方を変更することができます。（**「名称検索結果の並べ替えを設定する」**133 ページ参照）

6. 地図の呼び出し方法

5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。



周辺から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリアで絞る** にタッチします。

2 **周辺** にタッチします。

3 施設周辺の地図を呼び出す方法にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、全国リスト画面（124ページ **3** ）にもどります。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **先程の地図** にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。
- **目的地周辺** にタッチすると、目的地が1つのみ設定されているときは、目的地周辺の地図が表示されます。
  目的地が複数設定されているときは、目的地のリストが表示されます。



アドバイス

目的地周辺 は、目的地が設定されているときに表示されます。

4 複数の目的地が設定されているときは、表示させる目的地にタッチします。



5 **セット** にタッチします。

● ⇧ にタッチして地図を移動することができます。



6 表示させる施設名称にタッチします。

● 地図が表示されます。

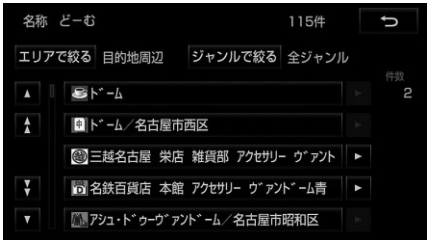
● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。

● 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 施設名称に複数の店舗 (チェーン店) があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。

● ⮌ にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。

● **ジャンルで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。(次ページ参照)



アドバイス

施設リスト画面に表示される施設名称の並べ方を変更することができます。(**「名称検索結果の並べ替えを設定する」**133 ページ参照)

6. 地図の呼び出し方法

7 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。



施設ジャンル別で絞り込みする場合

施設ジャンルの中から絞り込む方法です。目的の地点の施設でジャンルがわかっている場合に便利です。候補数が多いときは**エリアで絞る** による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

1 全国リスト画面で、**ジャンルで絞る** にタッチします。

2 施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル** にタッチすると、全国リスト画面（124ページ **3** ）にもどります。
- 地名だけを表示させるときは、その他の **住所** にタッチします。



●ジャンル指定画面

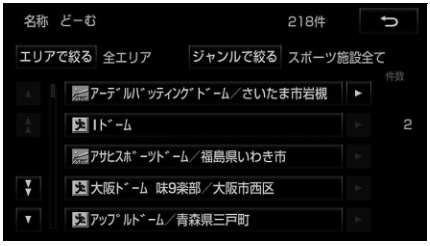
3 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべての施設が設定されます。
- マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗 (チェーン店) があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **⮌** にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **エリアで絞る** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設 (または住所) のエリアを指定することができます。(128 ページ参照)



5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称 (または住所) にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。



名称検索結果の並べ替えを設定する

全国リスト画面、施設リスト画面に表示される検索結果を、施設のジャンルごとに設定されている優先度や、距離をもとに、並べ替えたリストを表示することができます。

名称検索結果の並べ替えをするか、しないか選ぶことができます。(78ページ参照)

アドバイス

- 施設ジャンルの選択は、1ジャンルの設定になります。また、**ジャンルで絞る** で設定後、**エリアで絞る** でエリア別の絞り込みができます。
- 設定したジャンルに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のジャンルを設定してください。
- 施設リスト画面に表示される施設名称の並べ方を変更することができます。(**「名称検索結果の並べ替えを設定する」**上記参照)
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

6. 地図の呼び出し方法

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、表示させる地名にタッチします。



2 地名を選んだあと、詳細がわからないときは **○○主要部** にタッチします。

● タッチした地名の広域図が表示されます。

3 丁目にタッチしたあと、**番地指定** にタッチします。

● 番地・号数を入力することができます。



4 **番地指定** にタッチしたときは、数字、または「ー」を1つずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



5 **完了** にタッチします。

● 入力した番地から検索された地図が表示されます。

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。

● 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。

● 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。**周辺住所** にタッチすると周辺住所を検索することができます。（148ページ参照）

アドバイス

○○主要部 にタッチして地図を表示した場合、**周辺住所** は表示されません。

施設で地図を呼び出す

さまざまなジャンルから施設を選択して地図を呼び出すことができます。

施設ジャンル

項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
車	レクサス販売店
	トヨタ・ダイハツ販売店
	トヨタレンタリース
	ジェームス
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリーナ
	競技場
	公営娯楽
公共	役所
	警察署
	公園
医療	病院

項目	ジャンル
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC・SA・PA
	道の駅
	交差点
文化	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
	国際展示場
その他	式場
	トヨタホーム
	ハートフルプラザ

ゴルフ場・駅・ホテル・役所・空港・式場・病院・販売店（トヨタ･ダイハツ販売店）以外の項目は、**その他** にタッチすると選択できます。

アドバイス

- トヨタ・ダイハツ販売店、トヨタレンタリースは、都道府県別のリストのあとに、販売会社別のリストがあります。
- 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、名称、住所、電話番号もしくはジャンルによる検索で周辺の地図を呼び出すことができます。（123、134、137、139ページ参照）
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）は、路線別のリストがあります。
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）以外は、都道府県別のリストがあります。
- 駅、有料インターチェンジ（IC）は、都道府県別のリストのあとに路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストのあとに市区町村別のリストがあります。

6. 地図の呼び出し方法

1 表示させる施設のジャンルにタッチします。

● **その他** にタッチするとタッチスイッチ以外のジャンルが選択できます。



2 **その他** にタッチしたときは、表示させる施設のジャンルにタッチします。



3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

● さらに市区町村名（路線名･販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（路線名･販売会社名）にタッチします。

● 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

● 地図が表示されます。

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設の場合は、周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点に電話番号が設定してある場合（**「メモリ地点の電話番号を入力する」**217 ページ参照）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設がないとき、市内局番まで入力したとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（148ページ参照）
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ次ページ **3** の画面が表示されます。

アドバイス

- 市内局番までで検索する場合は、6桁入力した後、**完了** にタッチします。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。

6. 地図の呼び出し方法

3 表示させる施設名称にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



アドバイス

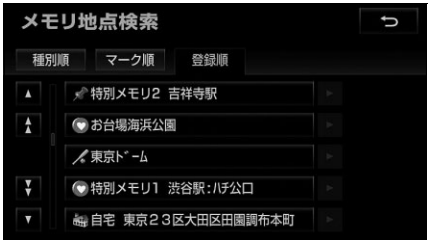
- 電話番号で検索された施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化するため、実際と異なる場合があります。
- 電話番号で呼び出した地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を入力して表示し、目的地などに設定した地点は、最大 100 カ所まで記憶されます。100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

メモリ地点で地図を呼び出す

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば（**「メモリ地点の登録」**208 ページ参照）、メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させるメモリ地点にタッチします。

- メモリ地点の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



ジャンルで地図を呼び出す

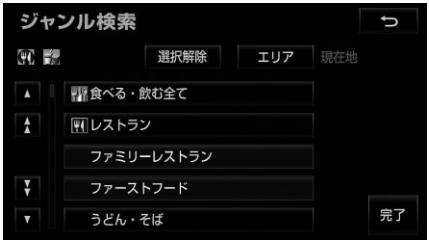
現在地や目的地（目的地設定時）周辺、または指定した住所周辺の施設付近から地図を呼び出すことができます。

1 施設のジャンルにタッチします。



2 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5つまで選択することができます。
- ⮌ にタッチすると、前の画面に戻り、別のジャンルを選択することができます。
- **選択解除** にタッチすると、選択されているジャンルが右側から順に解除されます。
- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



6. 地図の呼び出し方法

3 **完了** にタッチします。

● エリアを指定（右記）していないときは、現在地周辺のリストが表示されます。

4 施設名にタッチします。

● タッチした施設の地図が表示されます。

● **距離順** 、**種類順** 、または **ルート沿い考慮** にタッチするとリストを切り替えることができます。(**「周辺の施設を検索する」**117 ページ、または**「ルートを考慮したリストを表示する」**118 ページを参照してください。)

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



エリアを指定して施設を表示する

1 **エリア** にタッチします。



2 周辺施設を表示させたい地域にタッチします。

● **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。

● **先程の地図** にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。

● **住所指定** にタッチすると、住所から周辺施設を表示させたい地域を選択することができます。(**「住所で地図を呼び出す」**134ページを参照してください。)

● 目的地周辺の名称にタッチすると、タッチした目的地周辺の地図が表示されます。



3 **セット** にタッチします。

● ⇧ にタッチして地図を移動することができます。



4 施設ジャンルにタッチします。



5 詳細な施設のジャンルにタッチします。

● マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。

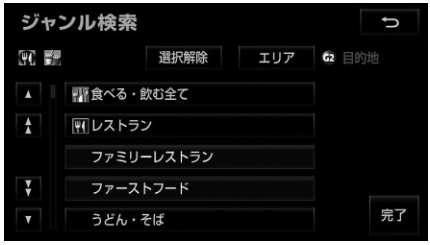
● 5つまで選択することができます。

● **⮌** にタッチすると、前の画面に戻り、別のジャンルを選択することができます。

● **選択解除** にタッチすると、選択されているジャンルが右側から順に解除されます。

● **○○全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。

● もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



6 **完了** にタッチします。

● 選択したエリアのリストが表示されます。

7 施設名にタッチします。

● タッチした施設の地図が表示されます。

● **距離順** 、**種類順** 、または **ルート沿い考慮** にタッチするとリストを切り替えることができます。(**「周辺の施設を検索する」**117 ページ、または**「ルートを考慮したリストを表示する」**118 ページを参照してください。)

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



6. 地図の呼び出し方法

郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

● 入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。**住所一覧** にタッチすると住所を検索することができます。(148ページ参照)

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。

マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

● 入力したマップコードから検索された地図が表示されます。

● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。

アドバイス

● 郵便番号は7桁で入力してください。

● マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号(標準マップコードの場合)でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ(景勝地や山、川、海など)もマップコードで位置を特定することができるようになります。

● 標準マップコード(6～10桁)の後に＊を入力し、高分解能マップコード(1～2桁)を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。

● マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com

● マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、修正画面に表示されます。
  ● メモリ地点…209ページ参照
  ● 迂回メモリ地点…220ページ参照

●「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新100件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させる目的地履歴にタッチします。

- 以前に設定した目的地の地図が表示されます。
- **前回出発地** にタッチすると、前回、ルート案内をした出発地の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



アドバイス

- 走行中は、**履歴** が拡大表示されます。
- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 携帯電話で呼び出した地図は、目的地履歴に記憶されないことがあります。また、設定したときの名称と異なる名称が記憶されることがあります。
- 目的地履歴を消去するには、**「目的地履歴の消去」**205 ページを参照してください。

6. 地図の呼び出し方法

携帯電話で地図を呼び出す

Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機に転送して、その場所の地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

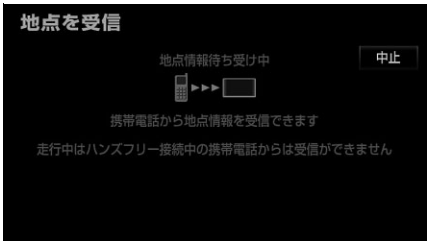
・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

> ⚠ 警 告
> 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

1 携帯電話から位置情報を転送します。

● 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（145 ページ参照）

● **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



特別メモリ地点で地図を呼び出す

特別メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば、（**「メモリ地点の登録」**208 ページ参照）、特別メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させる特別メモリ地点にタッチします。

● 特別メモリ地点の地図が表示されます。
● 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**145 ページを参照してください。



> アドバイス
> ● 本機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。（618 ページ参照）
> ● 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（620 ページ参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
> ● 転送中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
> ● 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
> ● データ転送中は、Bluetoothオーディオ（464 ページ参照）、およびハンズフリー（610 ページ参照）の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。（機種によっては接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。）
> ● 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

7. 呼び出した地図の操作

地図を呼び出すと、ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。これらの呼び出した地図からさらに検索などをすることができます。

表示した地図の操作

ピンポイントで地図を表示するには次の条件になります。

①**「名称で地図を呼び出す」**で施設名称を入力したとき
②**「施設で地図を呼び出す」**とき
③**「電話番号で地図を呼び出す」**で該当する施設のとき
④**「ジャンルで地図を呼び出す」**とき
⑤**「携帯電話で地図を呼び出す」**とき



●ピンポイントで検索できたとき



●ピンポイントで検索できないとき

呼び出した地図から次の操作ができます。

＜ピンポイントで検索できたとき＞

■位置の変更
⇧にタッチして位置を変更します。

■施設内容の表示
表示した施設の情報を表示します。

■提携駐車場の検索
表示した施設の提携駐車場を検索します。

＜ピンポイントで検索できないとき＞

■位置の変更
⇧にタッチして位置を変更します。

■周辺の住所検索
呼び出した地図周辺（ピンポイントで該当しない）の住所から検索します。

●**「名称で地図を呼び出す」**で住所を入力したときは **住所一覧** が表示されます。
●**「電話番号で地図を呼び出す」**から呼び出したときは **住所一覧** が表示されます。
●**「郵便番号で地図を呼び出す」**から呼び出したときは **住所一覧** が表示されます。

●**「住所で地図を呼び出す」**および **住所一覧** から番地入力で検索できないときは **周辺住所** が表示されます。

アドバイス

- ピンポイント検索した施設に情報があるときは、**情報** が表示されます。また、呼び出した地図に マークが表示されたときは、詳細な情報を表示することができます。
- 郵便番号で地図を呼び出したときに マークが表示されることがありますが、施設内容の表示や提携駐車場の検索はできません。
- 携帯電話で呼び出した地図の操作は、**「地点情報の受信」**280 ページを参照してください。
- 携帯電話から地図を呼び出したときは、⮌ が表示されません。

7. 呼び出した地図の操作

位置の変更

1 ⇧ にタッチして地図を動かします。



施設内容の表示

1 **情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- 施設の内容が表示されている画面で 📞 にタッチすると、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
- ブラウザ画面が表示されたときの操作は、**「施設の情報を表示する」**119 ページを参照してください。



アドバイス

- 施設の内容を表示させることができるのは、前ページの①・②・③・④・⑤の方法で、地図を呼び出したときのみです。
- 施設によっては、内容が表示されない、または一部の内容のみ表示されることがあります。
- 携帯電話で地図を呼び出した場合、ブラウザ画面からメモリ地点に登録すると、ブラウザ画面に表示されていた情報と登録した情報が異なることがあります。
- 携帯電話から地図を呼び出したときは、**情報** が表示されないことがあります。

提携駐車場の検索

検索した施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 **提携 P** にタッチします。

● 距離順にリストが表示されます。



2 表示させる駐車場名称にタッチします。

● 施設の内容（情報）が表示されます。また、駐車場名称の右にある **地図** にタッチすると、地図が表示されます。

● ブラウザ画面が表示されたときの操作は、**「施設の情報を表示する」**119 ページを参照してください。



アドバイス

● 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
● 提携駐車場を表示させることができるのは、145 ページの①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。また、**提携 P** が表示されても検索できない場合があります。
● 提携駐車場は車両情報の設定（190ページ参照）によって検索される駐車場が異なります。車両寸法が入力されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

7. 呼び出した地図の操作

住所の検索

住所一覧から検索する

■**「名称で地図を呼び出す」**から住所を入力したとき。

■**「郵便番号で地図を呼び出す」**から検索したとき。

■**「電話番号で地図を呼び出す」**から施設が検索できなかったとき。

1 **住所一覧** にタッチします。



2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- 詳細がわからないときは、**○○主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。
- **住所一覧** から番地を入力して検索できないときは **周辺住所** が表示されます。



周辺住所から検索する

■**「住所で地図を呼び出す」**から番地入力で検索できないとき。

■左記の **住所一覧** から番地を入力して検索できないとき。

1 **周辺住所** にタッチします。



2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- リストの最上段の住所を で表示します。

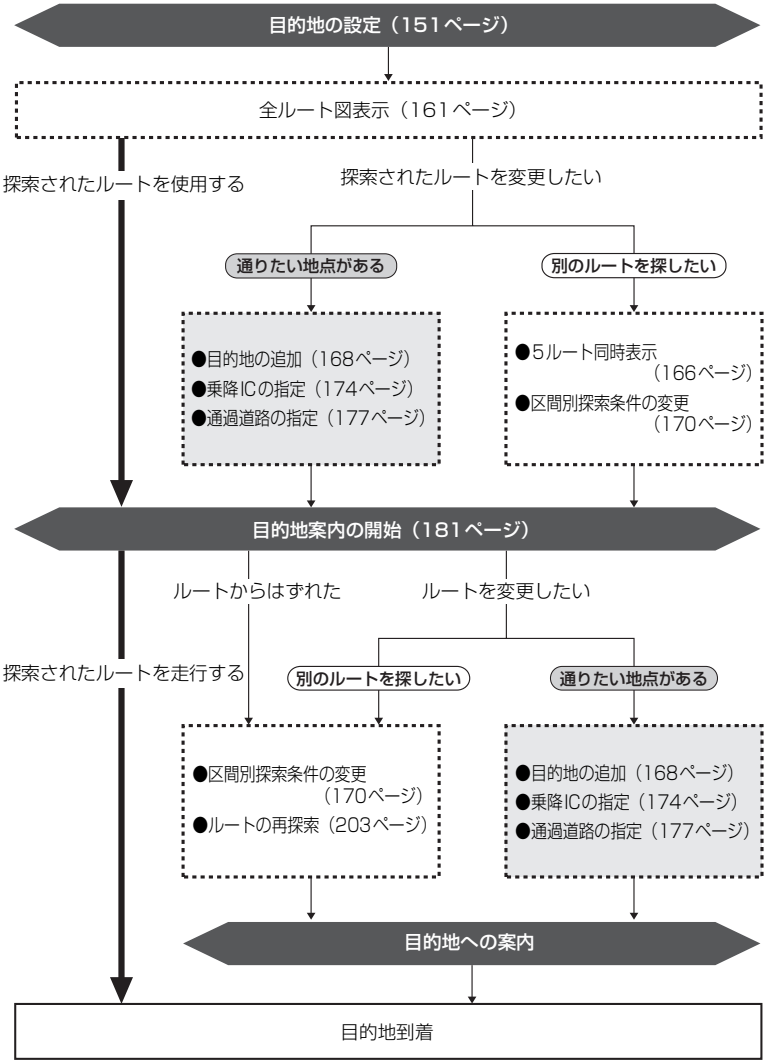


アドバイス

○○主要部 にタッチして表示した地図の場合、**周辺住所** は表示されません。

1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索には、目的地の追加やルートの探索条件などの設定をすることができます。



2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。
- 地図から設定
- 携帯電話から設定
- 登録地点（自宅、特別メモリ地点、Gメモリ地点）から設定
- 地図の呼び出し方法から設定

項目	設定方法
地図スクロールから設定	地図をスクロールさせて **目的地セット** にタッチして設定します。
携帯電話から設定	Bluetooth携帯電話から情報を転送した地点を設定します。専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードしていないと、使用できません。
登録地点から設定	自宅を登録してある地点を設定します。自宅を登録していないと使用できません。（**「メモリ地点の登録」** 208 ページ参照） 自宅が登録されていないときは、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、**現在地周辺** ・ **目的地履歴** ・ **住所指定** から自宅を登録することができます。（122、143、134ページ参照）
	特別メモリ地点（5カ所）に登録してある地点を設定します。特別メモリを登録していないと使用できません。（**「メモリ地点の登録」** 208 ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。 （**「地図の呼び出し方法」** 121 ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。
推奨ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。（**「目的地履歴の消去」** 205 ページ参照）

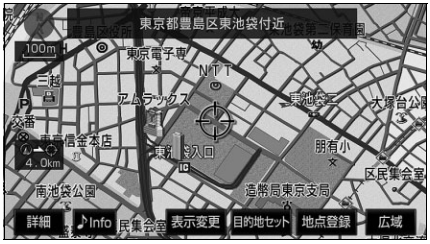
目的地の設定

地図から設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図（タッチスイッチ以外の場所）にタッチして地図を移動します。

2 **目的地セット** にタッチします。



3 ⇧ にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かします。

4 **目的地セット** にタッチします。

● ⌖ の位置に目的地が ◉ マークで表示され、ルート探索が開始されます。



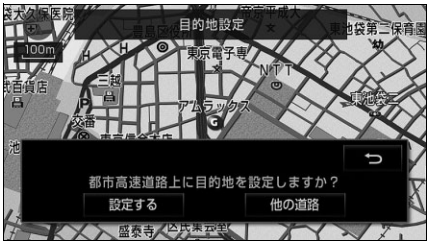
5 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。



6 **目的地セット**（ **新規目的地** 、**追加目的地** ）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する** 、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



アドバイス

- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
- すでに目的地が設定されているときに地図から追加した目的地は、一番手前の目的地になります。

2. 目的地を設定してルート探索

携帯電話から設定する

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機に転送して、その場所の地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

1 G・INFO にタッチします。

2 地点を受信 にタッチします。

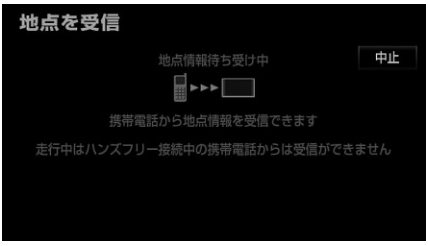
● BT　ナビ以外が選択されているときは、BTナビ にタッチします。



3 携帯電話から位置情報を転送します。

● 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。(145 ページ参照)

● 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



4 目的地セット にタッチします。

5 すでに目的地が設定されているときは、新規目的地 にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● 追加目的地 にタッチすると、目的地が追加されます。



警 告

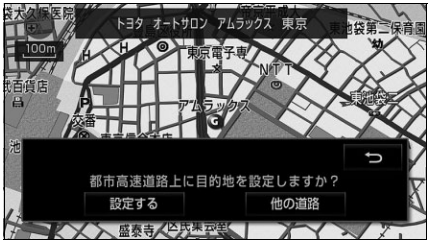
運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

アドバイス

本機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。(618 ページ参照)

6 **目的地セット**（**新規目的地**、**追加目的地**）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



登録地点から設定する

1 **DEST** にタッチします。

2 **1** ～ **5**、または **自宅に帰る** にタッチします。



● 自宅、または特別メモリ地点の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



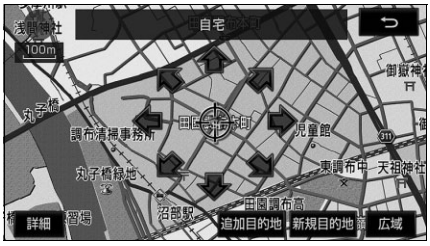
アドバイス

- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（620 ページ参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 転送中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ（464 ページ参照）、およびハンズフリー（610 ページ参照）の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。（機種によっては接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。）
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

2. 目的地を設定してルート探索

3 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。(**「目的地の追加」**169ページ **4** ～ **7** 参照)



地図の呼び出し方法から設定する

1 **DEST** にタッチします。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**(121,145ページ参照)

● **前回操作呼出** にタッチすると、前回中断された地図の呼び出し操作を、再開することができます。



3 **目的地セット** にタッチします。

● ⊕の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



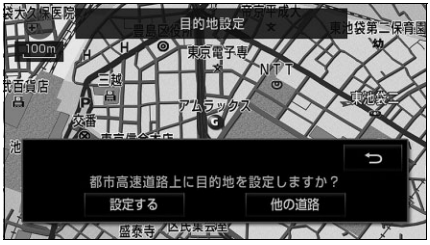
4 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。（以降の設定方法は**「目的地の追加」**169ページ **4** ～ **7** を参照してください。）



5 **目的地セット**（**新規目的地**、**追加目的地**）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

● ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。

● 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。

● 5000km　をこえるルートは探索することができません。

● 学習した道路を考慮したルートを探索することができます。（**「ルート学習探索」**次ページ参照）

● 受信したVICS情報（247ページ参照）や収録されている渋滞統計データから渋滞などの交通状況を考慮したルートを探索することができます。（**「渋滞考慮ルート探索の設定」**158 ページ参照）

● ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（**「全ルート図表示」**161 ページ参照）

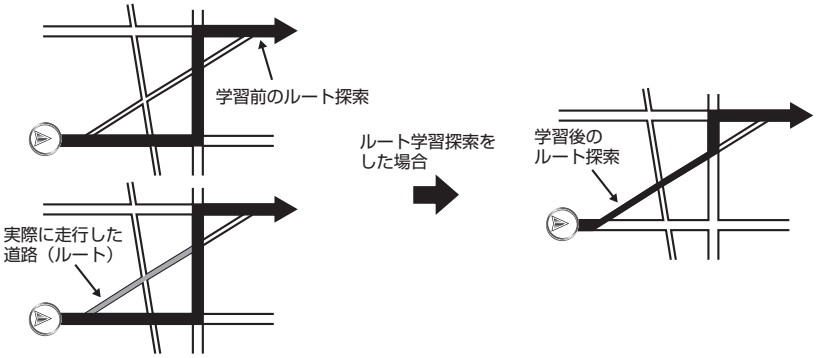
アドバイス

高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（203ページ参照）を行ってください。

2. 目的地を設定してルート探索

ルート学習探索

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。
目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



ルート学習を設定する

ルート学習をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。
ルート学習をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

アドバイス

- 幅5.5m以下の道路では、ルート学習をすることはできません。（自宅登録時の自宅周辺除く）
- 学習した道路が使われない場合もあります。
- 自車マーク が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、または高架道路と並行している道路がある場合など。）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

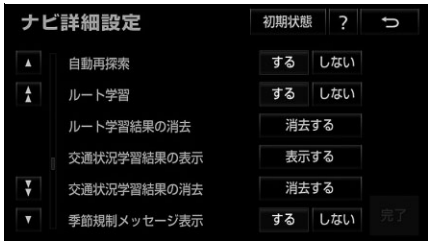
ルート学習結果を消去する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。

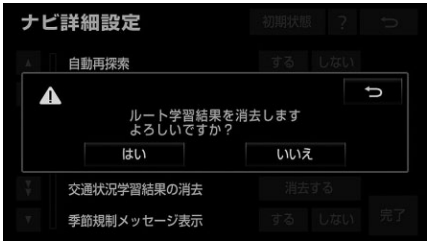


3 ルート学習結果の消去の **消去する** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



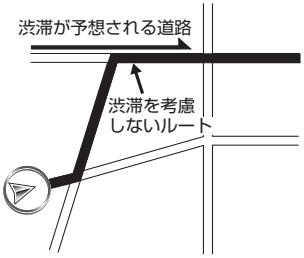
アドバイス

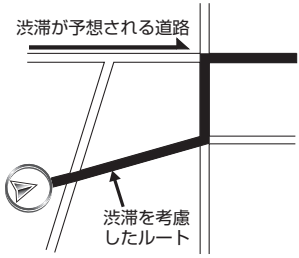
初期状態 にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。
（ルート学習結果は初期設定の状態にもどりません。）

2. 目的地を設定してルート探索

渋滞考慮ルート探索の設定

受信したVICS情報（247、309ページ参照）や渋滞統計データなどから探索した曜日、時間帯の交通状況を考慮（266ページ参照）して、ルートを探索することができます。
また、5ルート同時表示（166ページ参照）やルートの探索条件などが渋滞を考慮したルートになります。

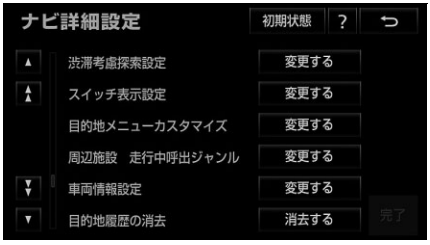




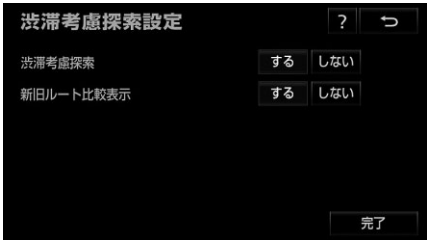
1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。

3 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



4 渋滞考慮探索の **する** にタッチします。



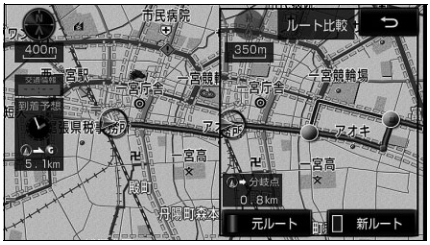
5 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 探索されたルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- オプションのVICS ビーコンユニットを接続した場合は、渋滞考慮探索を **する** にすると、ビーコンから受信したVICS情報を考慮したルートを探索、表示させることができます。（312ページ参照）
- G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときは、渋滞考慮探索を **する** にすると、G-BOOKセンターから受信した情報を考慮したルートを探索することができます。（726ページ参照）
- **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。（渋滞考慮探索は初期設定の状態にもどりません。）

新旧ルート比較表示の設定

目的地案内中に渋滞統計データ情報をもとに新しいルートが見つかった場合、もとのルートと比較して選択することができます。

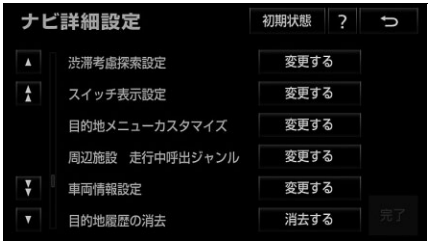


●新旧ルート比較表示画面

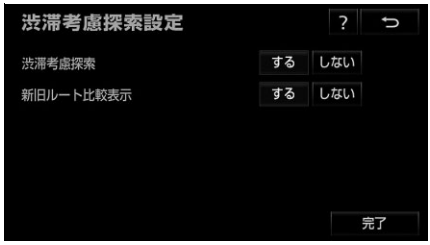
1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。

3 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



4 新旧ルート比較表示の **する** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 新旧ルート比較表示が **しない** に設定されている場合は、探索するごとに新しいルートで案内します。
- オプションのVICSビーコンユニットを接続した場合は、新旧ルート比較表示を **する** にすると、ビーコンから受信したVICS情報を考慮したルートを表示させることができます。（312ページ参照）
- 通行止めなどによる道路規制が発生した場合は、時間や距離が増加するルートを表示することがあります。
- G-BOOK　オンラインサービスの利用手続きをしているときは、新旧ルート比較表示を **する** にすると、G-BOOKセンターから受信した情報を考慮したルートを表示させることができます。（726ページ参照）
- **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。（新旧ルート比較表示は初期設定の状態にもどりません。）

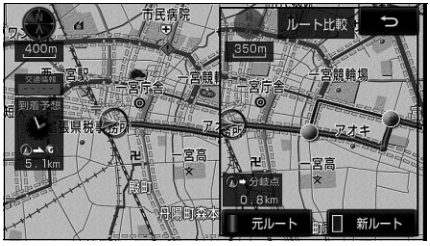
2. 目的地を設定してルート探索

ルートを選択する

目的地案内中に新しいルートが見つかった場合、メッセージを表示してお知らせします。また、現在地から、新しいルートともとのルートの分岐点の距離を表示します。

1 新ルート 、または 元ルート にタッチします。

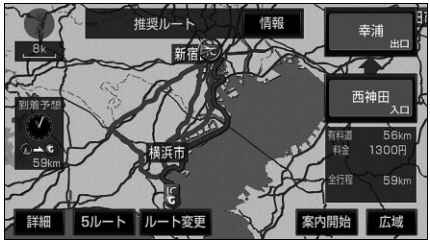
- メッセージ表示後に操作をしなかった場合、自動で新しいルートが選択されます。
- 選択したルートで案内されます。



全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

● 全ルート図が表示されたあと、 MAP にタッチしたとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



●ルート探索終了（全ルート図）画面

ルートの表示について

ルートの表示色は、以下の4種類あります。

● **青色**
目的地が一つのとき、または複数設定されているときは現区間（次の目的地まで）の表示

● **青枠の白色**
目的地が複数設定されているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示

● **水色**
細街路の表示（右記）

● **青枠の橙色**
季節規制区間の表示（164ページ）



細街路の表示について

現在地周辺・目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索されます。



細街路表示

⚠ 警 告

細街路を走行するときは、実際の交通規制にしたがって、道幅などに注意して走行してください。

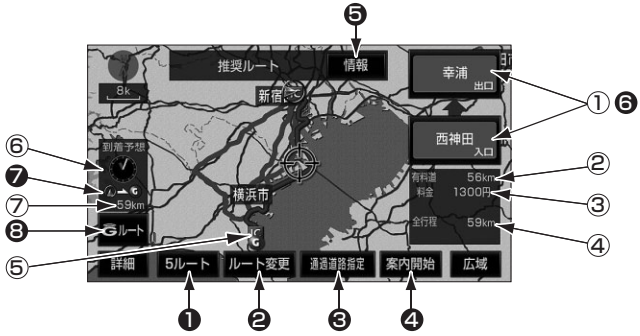
アドバイス

● 細街路では、交通規制（一方通行など）や道路が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。
● 高速路線マップのルート表示色は青色のみになります。

2. 目的地を設定してルート探索

全ルート図の表示・タッチスイッチについて

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時間や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。



■ 表示について

最終目的地までの表示になります。

①インターチェンジ（IC）名称表示

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の名称が上に表示されます。

②有料道路距離表示

目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③料金案内

目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。

- 料金が特定できないときは、「不明」または「○○○円以上」と表示されます。
- 全ルート図を再表示したときは、残りの料金が表示されます。全ルート図の再表示については197ページを参照してください。

④距離表示

目的地（複数のときは最終目的地）までの距離が表示されます。

⑤ICマーク

有料道路を通るときは、一番最初に入るICと、一番最後に出るICの位置に表示されます。

⑥到着予想時刻表示

目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦残距離表示

目的地まで、表示されているルートを通っての距離が表示されます。（目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。）

■ タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

❶ **5ルート**
別のルートを表示させ、選ぶことができます。（166ページ参照）

❷ **ルート変更**
ルート変更の画面を表示して、探索条件の変更をすることができます。また、目的地の追加、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定などをすることができます。（167ページ参照）

❸ **通過道路指定**
地図にタッチすると表示されます。
通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。（177ページ参照）

❹ **案内開始**
（**目的地案内開始後は、案内に戻る** ）
目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。（181ページ参照）目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。

❺ **情報**
ルート情報（案内道路情報）を表示させることができます。（165ページ参照）

❻ **インターチェンジ（IC）名称**
インターチェンジ（IC）名称表示にタッチすると、表示されている乗降インターチェンジ（IC）を指定（すでに指定されている場合は変更）することができます。（174ページ参照）

❼ **到着予想時刻/残距離表示**
目的地が2カ所以上設定されているときは、到着予想時刻/残距離表示にタッチすると、表示される目的地を切り替えることができます。（197ページ参照）

❽ **Gルート**
G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。（731ページ参照）

アドバイス

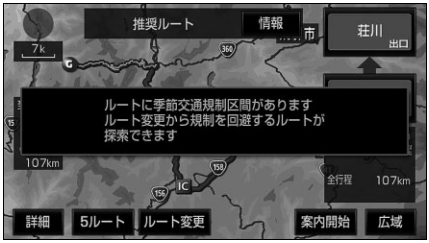
- 到着予想時刻は設定した平均車速（188ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✖が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。（197ページ参照）
- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（190ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。
- 次のときは、5つのルートを表示させることはできません。
  - 目的地が2カ所以上設定されているとき。
  - 乗降インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているとき。
  - 目的地案内が開始されたあと。

2. 目的地を設定してルート探索

季節規制区間の表示・回避

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが青枠の橙色で表示されます。
このとき、画面にメッセージを表示させることができます。

- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。



●季節規制区間メッセージ表示

季節規制区間を回避する

1 全ルート図表示画面、または設定・編集画面（ナビ）で、**ルート変更** にタッチします。

2 **季節規制回避** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は **季節規制通過** にタッチします。



季節規制区間メッセージ表示を設定する

季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

季節規制区間メッセージの表示をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

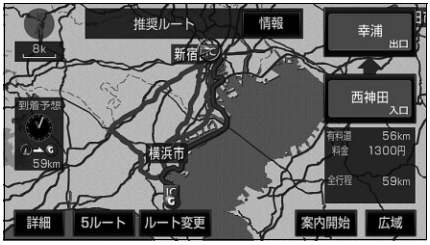
アドバイス

- **季節規制回避**（または **季節規制通過**）は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地などに行けないようなときは、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートを、設定した地点、乗降インターチェンジ（IC）、道路の種類別などに区分し、区間の距離、高速道路などの料金、または目的地や乗降インターチェンジ（IC）の通過予想時刻を一覧で表示することができます。また、出発した地点・目的地などの周辺地図を表示することもできます。

1 全ルート図表示画面で、**情報** にタッチします。



2 ▲、▲▲ または ▼、▼▼ にタッチします。

- 乗降インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・目的地・通過道路・道路の種別の変わり目でルート情報を分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルート情報は、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。



3 **地図** にタッチします。

- 設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

アドバイス

- ルート案内中にも **表示変更** から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。
- 料金は、道路によって表示しない場合があります。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面の区間に自車位置 が表示されます。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 料金は設定した車両情報（190ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（188ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 携帯電話で目的地を設定した場合、検索した施設名称と表示する目的地名称が異なることがあります。

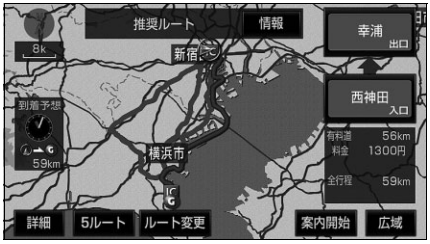
2. 目的地を設定してルート探索

5ルート同時表示

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから次々と表示されます。

1 全ルート図表示画面で、**5ルート** にタッチします。

● 5つのルートが色分けされて表示されます。

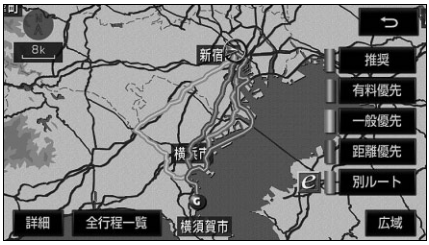


2 **全行程一覧** にタッチします。

● 5つのルートの距離・料金・所要時間が表示されます。

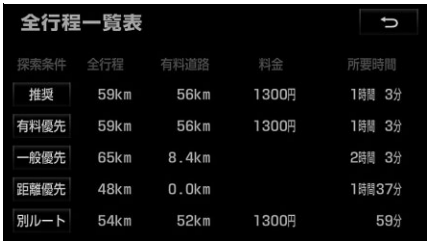
● ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。

● 燃費を設定している場合、最も ECO なルートにアイコンが表示されます。(231ページ参照)



3 探索条件にタッチします。

● タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



アドバイス

- 渋滞考慮探索（158ページ参照）が **する** に設定されているときは、渋滞を考慮したルートになります。
- 次のときは、5ルート同時表示はできません。
  - 目的地が2カ所以上設定されているとき。
  - 通過する地点［乗降インターチェンジ（IC）・通過道路］が指定されているとき。
  - 目的地案内が開始されたあと。
- 5つのルートの特長については、**「ルートの再探索」**202ページを参照してください。
- 料金は設定した車両情報（190ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（188ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 探索ルートの変更

ルートを探索した後、目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）、通過道路の指定など、ルートを変更することができます。ルートを変更するには次の方法があります。

● 全ルート図表示画面から **ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。
● 設定・編集画面（ナビ）から **ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。
ルート変更画面から各設定を行います。

●全ルート図表示画面



●設定・編集画面（ナビ）



ルート変更

ルート変更



●ルート変更画面

● 目的地の追加 . . . . . 次ページ
● 区間別探索条件の変更 170ページ
● 目的地の並び替え 171ページ
● 目的地の消去 172ページ
● 乗降インターチェンジ（IC）の指定 174ページ
● インターチェンジ（IC）指定の解除 176ページ
● 通過道路の指定 177ページ
● 通過道路指定の修正 179ページ
● 通過道路指定の解除 180ページ

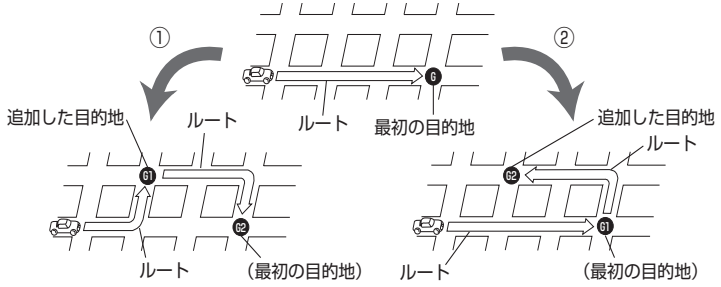
アドバイス

ここで説明する項目は、目的地が設定されていないと操作できません。

3. 探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して最大5カ所まで目的地を設定することができます。
以下のようなときに、追加して目的地を設定します。
①設定した目的地と現在地の間で、立ち寄る地点を設定するとき。
②設定した目的地を立ち寄る地点に変更し、新しく目的地を設定するとき。



目的地の設定と同じ方法で **追加目的地** にタッチして、追加することもできます。（**「地図から設定する」**151 ページ、**「登録地点から設定する」**153 ページ、**「地図の呼び出し方法から設定する」**154 ページ参照）

1 **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

●**「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**（121、145ページ参照）



アドバイス

- 800mスケール図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（**「目的地履歴の消去」**205 ページ参照）
- インターチェンジ（IC）や通過道路（174、177ページ参照）が指定されているとき、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定が解除されることがあります。
- **並び替え** は2カ所以上目的地が設定されているときに表示されます。

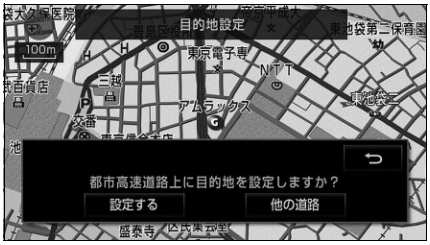
4 **目的地セット** にタッチします。

- ⊹の位置に目的地が G マークで表示されます。
- 最大5カ所まで設定することができます。
- すでに5カ所設定されているときは、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください。（目的地を消去するときは、**「目的地の消去」**172 ページを参照してください。）



5 **目的地セット** にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

- **設定する** 、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

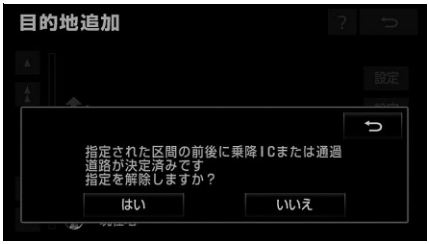


6 設定する区間の **設定** にタッチします。



7 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、解除する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、解除されます。
- **いいえ** にタッチすると、解除せず設定します。



3. 探索ルートの変更

8 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 目的地を設定したあと、この画面から、次のことができます。
  - ・区間別探索条件の変更（右記）
  - ・目的地の並び替え（次ページ）
  - ・目的地の消去（172ページ）
  - ・乗降インターチェンジ（IC）の指定（174ページ）
  - ・インターチェンジ（IC）指定の解除（176ページ）
  - ・通過道路の指定（177ページ）
  - ・通過道路指定の修正（179ページ）
  - ・通過道路指定の解除（180ページ）



- さらに追加して、目的地を設定するときは、追加 にタッチすると、168ページの 3 の画面が表示されますので、3 ～ 7 を繰り返します。

区間別探索条件の変更

区間別に探索条件を変更して、再探索することができます。

1 ルート変更 にタッチします。

2 探索条件変更 にタッチします。



3 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチします。



4 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

アドバイス

- 渋滞統計データを考慮したルートが探索されるのは、現在地から次の目的地までの区間のみになります。
- 探索条件の特長については、**「ルートの再探索」**202ページを参照してください。
- 探索条件変更の現在地から次の目的地までの区間は、別ルート が表示されます。

目的地の並び替え

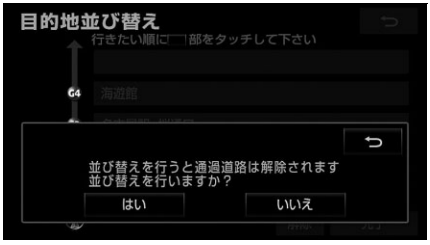
複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

1 **ルート変更** にタッチします。

2 **並び替え** にタッチします。

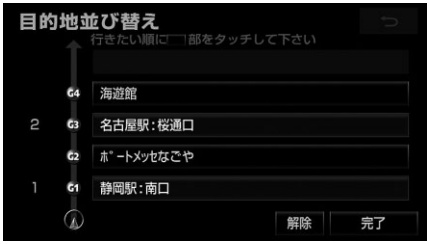


- インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、解除して、並び替えを行う確認画面が表示されます。
- **はい** にタッチすると、解除して、並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、並び替えを中止してもとの画面にもどります。



3 現在地から次に行く目的地の順に、目的地名称にタッチします。

- タッチした目的地名称の左側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときに **解除** にタッチすると、選ばれていた順番が解除されます。
- すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。



4 **完了** にタッチします。

- すべての目的地名称の順番が決定されると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に **5** が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、並び替えたい目的地のみにタッチしてから **完了** にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

5 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

アドバイス

インターチェンジ（IC）・通過道路が指定（174、177ページ参照）されているときに並び替えをすると、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定が解除されることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地の消去

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、すべての目的地を同時に消去することもできます。

ルート変更 から消去する

1 ルート変更 にタッチします。

2 目的地・通過目的地の 消去 にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、4 の画面が表示されます。



3 目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、全消去 にタッチします。



4 はい にタッチします。

● いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

● すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 探索開始 にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

DEST から消去する

1 DEST にタッチします。

2 目的地消去 にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、4 の画面が表示されます。



アドバイス

すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。

3 目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
● すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

地図画面から消去する

1 地図を表示させているときに、消去したい目的地にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
● 目的地が 1 カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。
● ルート探索が開始されます。



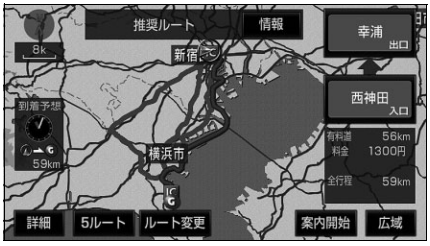
3. 探索ルートの変更

乗降インターチェンジ（IC）の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている乗降インターチェンジ（IC）を指定することができます。

1 全ルート図表示画面で、変更するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

● **ルート変更** にタッチしても指定することができます。



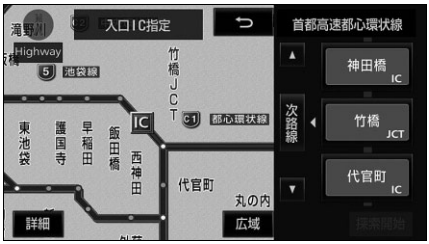
2 左画面で地図を移動し、ICマークにタッチする、または右画面でインターチェンジ（IC）名称にタッチします。

● 選択しているインターチェンジ（IC）は IC マークが表示されます。

● 同じインターチェンジ（IC）に複数の出入口があるときは、複数のICマークが選択されます。

● 右画面でインターチェンジ名称を選ぶときは、▲ ・ ▼ ・ **次路線** にタッチして、表示されているＩＣ を切り替えます。（ **次路線** はジャンクションがあり分岐するときのみ表示されます。）

● 右画面でインターチェンジ名称にタッチすると、左画面中央にインターチェンジ（IC）の位置が表示されます。



⚠ 注 意

スマートIC（ETC専用インターチェンジ）を選択することもできます。このとき、ETC車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認のうえ、注意して走行してください。

アドバイス

- 探索ルートに高速道路などの使用がないときは、インターチェンジ（IC）の指定はできません。
- 左画面の高速路線マップの縮尺は、４段階に切り替えることができます。
- 目的地（現在地）が高速道路上の場合は、出口（入口）の指定はできません。
- 指定できるインターチェンジ（IC）は入口、出口とも各１カ所になります。
- インターチェンジ（IC）の道路名が画面右上に表示されます。
- 出口（入口）指定のとき出口（入口）がないインターチェンジ（IC）およびジャンクション（JCT）はトーンダウンします。

3 **探索開始** にタッチします。

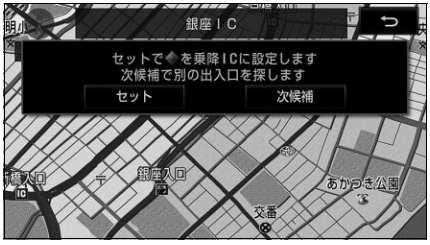
● 全ルート図表示画面から操作を行ったときは、ルート探索が開始されます。



4 指定したインターチェンジ（IC）に出口（または入口）が2カ所以上あるときは、選択する画面が表示されます。

● **次候補** にタッチして、出口（または入口）を選びます。

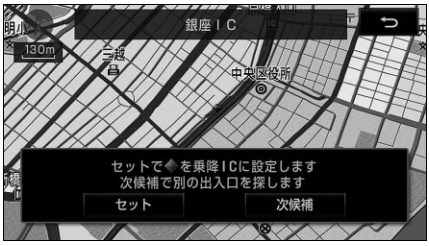
● 表示されている出口（または入口）を指定するときは、**セット** にタッチします。



5 **セット** にタッチします。

● インターチェンジ（IC）が IC マークで指定されます。

● 全ルート図表示画面から設定したときは、ルートが探索され全ルート図表示画面になります。



6 時間規制があるインターチェンジ（IC）を選んだときにインターチェンジ（IC）指定を続けたい場合は、**はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。

7 ルート変更画面から操作を行ったときは **探索開始** にタッチします。

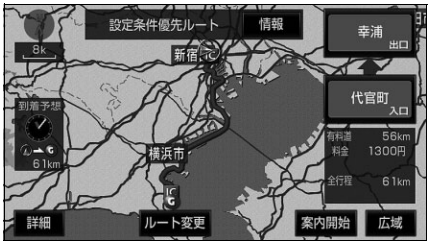
● ルート探索が開始されます。

3. 探索ルートの変更

インターチェンジ（IC）指定の解除

1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

● **ルート変更** にタッチしても解除することができます。



2 **出口解除** （または **入口解除** ）にタッチします。

● インターチェンジ（IC）の指定が解除され、ルート探索が開始されます。



アドバイス

案内開始後の現在地画面からインターチェンジ(IC)指定を解除することができます。(201ページ参照)

通過道路の指定

全ルート図画面から指定する

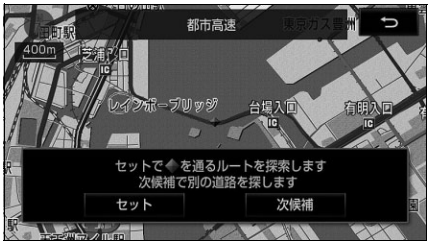
1 全ルート図表示画面で、地図にタッチします。

2 **通過道路指定** にタッチします。



3 **次候補** にタッチします。

- 別の通過道路を選びます。
- 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



4 **セット** にタッチします。

- 通過道路が ◆ マークで指定されます。
- 目的地が１カ所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

5 目的地が２カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の **設定** にタッチします。

- ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。



アドバイス

- 最大２カ所まで指定することができます。
- すでに通過道路が２カ所指定されているときは、指定されている通過道路を解除してから指定しなおしてください。（通過道路を解除するときは、**「通過道路指定の解除」**180ページを参照してください。）
- インターチェンジ（IC）が指定（174ページ参照）されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）の指定が解除されることがあります。
- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

3. 探索ルートの変更

ルート変更 から指定する

1 ルート変更 にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の 指定 にタッチします。



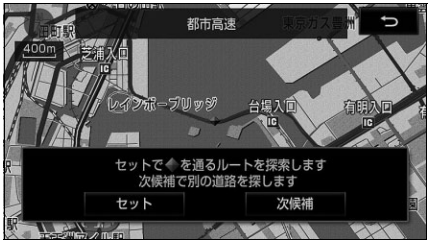
3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

4 通過道路セット にタッチします。



5 次候補 にタッチします。

- 別の通過道路を選びます。
- 表示されている道路を指定するときは、セット にタッチします。



6 セット にタッチします。

- 通過道路が ◆ マークで指定されます。
- 目的地が1カ所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、8 の画面になります。

7 目的地が2カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の 設定 にタッチします。



8 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



アドバイス

- 修正 ・ 解除 は、すでに通過道路が指定されているときのみ表示されます。
- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

通過道路指定の修正

1 **ルート変更** にタッチします。

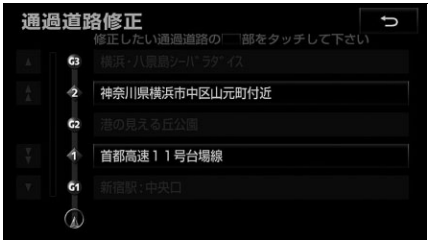
2 通過点（通過道路指定）の **修正** にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、**4** になります。



3 道路名称などにタッチします。

● 地図が表示されます。



4 通過道路を修正する位置に地図を動かします。

● 近接した道路を選択するときは、地図を動かす必要はありません。

5 **通過道路セット** にタッチします。



6 **次候補** にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



7 **セット** にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

8 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



アドバイス

表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

3. 探索ルートの変更

通過道路指定の解除

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **解除** にタッチします。

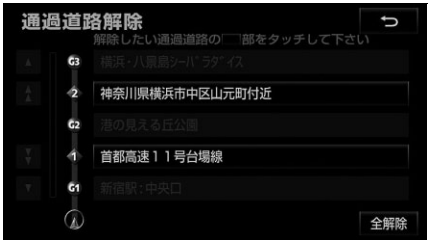
● 1カ所のみ設定されていたときは、**4** の画面になります。



3 道路名称などにタッチします。

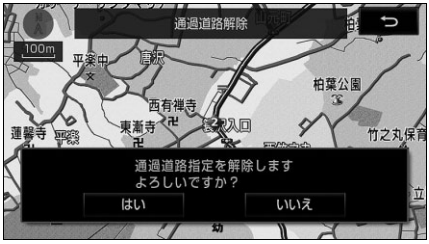
● 地図が表示されます。

● すべての通過道路を解除するときは、**全解除** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



5 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



アドバイス

案内開始後の現在地画面から通過道路指定を解除することができます。（201ページ参照）

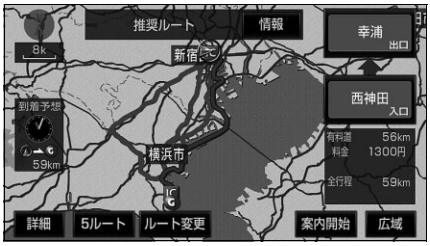
4. 目的地案内の開始・中止・再開

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で **案内開始** にタッチすると目的地案内が始まります。
また、目的地案内を途中で中止したり、再開することができます。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始** にタッチします。

- 目的地案内が開始されます。
- 全ルート図が表示されたあと、**MAP** にタッチしたとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。



案内の中止・再開

1 設定・編集画面（ナビ）で、**案内中止** にタッチします。

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
- 中止した目的地案内を再開させるときは、再度設定・編集画面（ナビ）で、**案内再開** にタッチします。



デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始** に約3秒以上タッチし続けます。

- デモが始まります。

2 デモ中に **MAP**（または **DEST**）にタッチします。

- デモが終了します。
- デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。



●デモ案内中画面

アドバイス

- デモンストレーション（デモ）は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。
- オンルートスクロール（198ページ参照）を使っても、探索されたルートの確認ができます。
- デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域にしてください。（**「地図縮尺の切り替え」**92ページ参照）
- デモンストレーションの速度を遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。（**「地図縮尺の切り替え」**92ページ参照）

5. 目的地案内について

案内画面について

ルート案内を開始すると、分岐する地点を案内図や拡大図で分かりやすく案内します。（ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。）
案内図と拡大図には以下の種類があります。

■案内図

高速道路や駐車場などに入ると下記の案内図を表示することができます。（184 ページ参照）

案内図	機　能	ページ
ターンリスト図	現在地から３つ先までの分岐する交差点やインターチェンジ（IC）の名称、距離などをリストにして案内します。	193
高速路線マップ※	高速道路のみをシンプルに表示して案内します。	104
高速略図画面※	高速道路を、サービスエリア（SA）の施設情報などを簡略表示した画面と、地図画面の２画面で案内します。	102
都市高速マップ	都市高速道路のみをシンプルに表示して案内します。	194
駐車場マップ※	情報の収録されている駐車場では、入り口や出口などを詳細に表示して案内します。	107

※ ルート案内をしていない場合も、表示することができます。

アドバイス

地図データに情報がない場合は、案内図を表示できないことがあります。

■拡大図

案内ポイントに接近すると下記の拡大図を自動で表示することができます。（次ページ参照）

拡大図		機　能	ページ
交差点拡大図		分岐する交差点を拡大表示して案内します。	185
	３Dイラスト拡大図	都市高速のインターチェンジ（IC）の入口などを立体的に表示して案内します。	186
	リアル交差点拡大図	交差点拡大図をリアルに表示して案内します。	186
	立体交差点拡大図	一般道の立体交差点を３Ｄで表示して案内します。	186
	３D交差点拡大図	交差点拡大図を３Ｄで表示して案内します。	186
	難交差点拡大図	複雑な形状の交差点を立体的に表示して案内します。	186
	側道案内拡大図	側道に入る地点や本線にもどる地点を拡大表示して案内します。	186
料金所レーン案内図		料金所付近で料金所のレーンやETCレーンの位置を表示して案内します。	192
高速分岐模式図		高速道路の分岐点を立体的に表示して案内します。	194
レーンリスト図		分岐する交差点の手前で、走行する交差点の名称と車線をリストで表示して案内します。	187

アドバイス

- 地図データに情報が無い地点では、拡大図は表示されません。
- 案内図表示中でも、案内ポイントに近づくと拡大図が表示されます。

5. 目的地案内について

案内図の切り替え

案内図の自動表示を設定する

各案内図を自動でON(表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

各案内図の自動表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

案内図を切り替える

自動表示を設定していない場合や、他の案内図を表示したい場合は、手動で切り替えることができます。

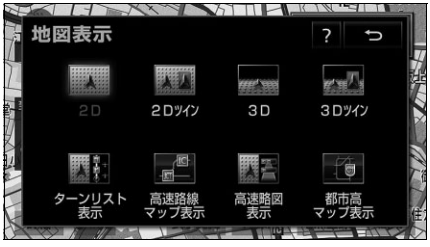
1 **表示変更** にタッチします。



2 **地図表示** にタッチします。

3 表示したい案内図にタッチします。

● 案内図を解除したいときは、この画面で、**○○解除** にタッチします。



拡大図の切り替え

● レーンリスト図の切り替え方法については187ページを参照してください。

拡大図の自動表示を設定する

各拡大図を自動でON(表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

各拡大図の自動表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

拡大図を解除する

表示された拡大図を解除することができます。

1 **拡大解除** にタッチします。

● 再度、拡大図を表示させるには、**MAP** にタッチします。



アドバイス

- 案内地点から遠い場合や、地図データに情報が無い場合は、タッチスイッチが表示されません。
- 下記の拡大図は交差点拡大図自動表示が **する** の場合に表示されます。
  - 3Dイラスト拡大図
  - リアル交差点拡大図
  - 立体交差点拡大図
  - 3D交差点拡大図
  - 難交差点拡大図
  - 側道案内拡大図
- ターンリスト図と高速略図画面は同時に表示できません。
- 高速路線マップと都市高マップは同時に表示できません。

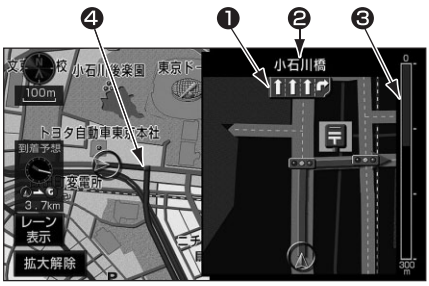
交差点案内

走行中、交差点が近づくと、交差点の案内が行われます。目的地案内中は分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。
表示の方法については、**「拡大図の切り替え」**前ページを参照してください。

分岐しない交差点について



分岐する交差点(交差点拡大図)について



❶ レーン（車線）表示 通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
・走行を推奨する車線が青色で表示されます。
・分岐する交差点では、次に通過、分岐する交差点も表示されます。

❷ 交差点名称表示 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

❸ 残距離表示 交差点までの距離が表示されます。
（交差点に近づくとともに ▌ が短くなります。）

❹ 案内ポイント 交差点案内が表示されます。

アドバイス

- 地図データに情報のない交差点では、レーン・交差点名称は表示されません。
- 案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
  - ●（赤）…交差点拡大図が表示されます。
  - ◎◎◎ …信号機がある交差点名称・レーンが表示されます。
  - ●（灰）…レーンが表示されます。
- 交差点名称・レーンが実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われないことがあります。
- 交差点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、交差点名称・レーンは分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

5. 目的地案内について

3Dイラスト拡大図について

都市高速のインターチェンジ（IC）入口などでは、立体的な案内画面が表示されます。



●3Dイラスト拡大図

リアル交差点拡大図について

交差点拡大図をリアルな表示に切り替えることができます。

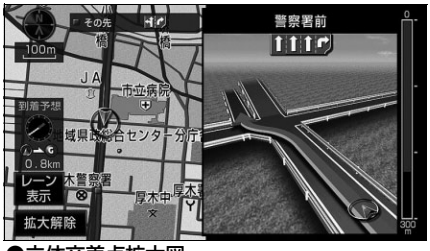


●リアル交差点拡大図

リアル交差点拡大図の表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

立体交差点拡大図について

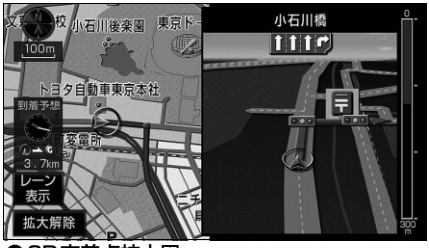
一般道の立体交差点では、立体的な案内画面が表示されます。



●立体交差点拡大図

3D交差点拡大図について

交差点拡大図を3D表示に切り替えることができます。

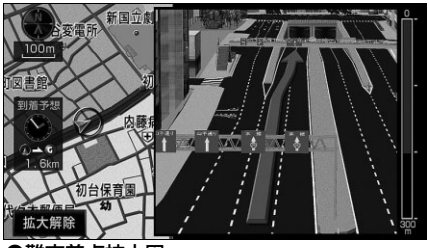


●3D交差点拡大図

３Ｄ交差点拡大図の表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

難交差点拡大図について

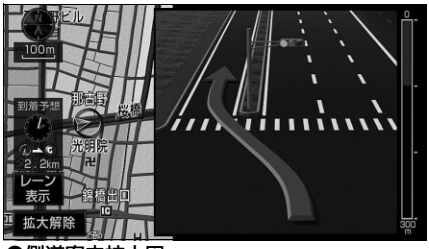
複雑な形状の立体交差点では、立体的な案内画面が表示されます。



●難交差点拡大図

側道案内拡大図について

本線から側道に入る、または側道から本線に合流する地点の手前（約３００ｍ以内）では、拡大された案内画面が表示されます。



●側道案内拡大図

レーンリスト図案内

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。

- 交差点拡大図案内…赤色
- 案内ポイント…緑色、桃色、橙色
- 地図上の案内ポイント●とレーンリストの●は同じ色で表示されます。



●レーンリスト図表示

レーンリスト図の自動表示を設定する

レーンリスト図を自動でON(表示する)にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

レーンリスト図の自動表示をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

レーンリスト図を切り替える

自動表示を設定していない場合は、手動で切り替えることができます。

1 **レーン表示** にタッチします。

- レーンリスト図を解除したいときは、**レーン解除** にタッチします。



アドバイス

- 地図データに情報が無い場合は、タッチスイッチが表示されません。
- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）

5. 目的地案内について

フェリー航路の案内

フェリーの航路は　**ーーー**（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



到着予想時刻表示の設定

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、画面左に到着予想時刻が表示されます。



●到着予想時刻表示

平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- 高速略図画面の通過予想時刻（102ページ）
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（162ページ）
- ルート情報の通過予想時刻（165ページ）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の所要時間（166ページ）
- 現在地画面の到着予想時刻（69ページ）

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



アドバイス

- フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。
- 到着予想時刻は設定した平均車速から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク ➡ になります。

3 到着予想時刻表示の **変更する** にタッチします。



4 それぞれの道路の設定速度を入力します。

- 速度を上げるときは ▶ 、下げるときは ◀ にタッチします。(タッチするたびに、5km/hずつ変更されます。)
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態(高速道路　80km/h・有料道路60km/h・一般道路30km/h)にもどります。



5 VICS情報・統計データ情報(247ページ参照)をもとに渋滞や交通規制を考慮した到着予想時刻を表示するには、**VICS情報考慮** にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。



作動表示灯

6 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 最高速度(高速道路 120km/h・有料道路 80km/h・一般道路 60km/h)にすると ▶ 、最低速度(5km/h)にすると ◀ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- **VICS情報考慮** にタッチすると、受信したVICS情報(247ページ参照)、収録されている渋滞統計データや交通状況学習結果(266、269ページ参照)を考慮した到着予想時刻を表示することができます。(VICS情報を優先して考慮します。)
  また、Gルート探索(731ページ参照)により、広域の渋滞予測情報をG-BOOKセンターから取得した場合も到着予想時刻に反映されます。
- **3** で **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

5. 目的地案内について

料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、画面左上に料金を表示し、音声で案内することができます。



●料金案内表示

料金案内をするか、しないか選ぶことができます。（76ページ参照）

車両情報を設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両情報を設定することができます。

- 提携駐車場の検索（147ページ）
- 全ルート図表示画面の料金表示（162ページ）
- ルート情報の料金表示（165ページ）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（166ページ）
- 現在地（目的地案内中）画面の料金案内（左記）

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

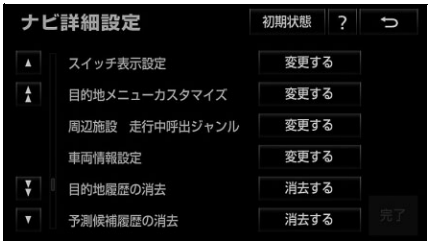
2 **その他** にタッチします。



アドバイス

- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このときは再探索が行われると、実際と異なる料金を案内することがあります。
- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索したときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは**「不明」**、または**「○○○円以上」**と表示されます。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。

3 車両情報設定の **変更する** にタッチします。



4 お車のナンバープレートの分類番号（**1**・**3**・**5・7**・**軽**）にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



5 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

● 寸法を大きくするときは ▶ 、小さくするときは ◀ にタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（ナンバー **5・7** 、長さ・幅・高さが入力されていない状態）にもどります。



6 **完了** にタッチします。

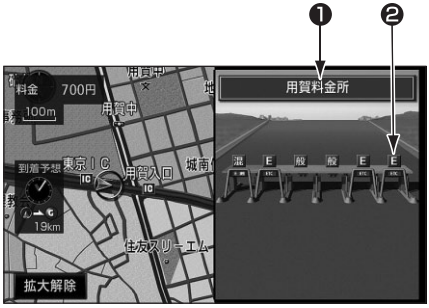
アドバイス

- 目的地が設定されているときは、車両情報の設定ができません。
- モーターアンテナ車の設定については**「ラジオアンテナの設定」**64 ページを参照してください。
- 車両寸法については、車検証を参照してください。
- 最大寸法（長さ600cm以上・幅250cm以上・高さ300cm以上）にすると ▶ 、最小寸法（長さ450cm以下・幅160cm以下・高さ150cm以下）にすると ◀ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
  長さ　450～500cm（5cm単位）、500～600cm（10cm単位）
  幅　160～200cm（5cm単位）、200～250cm（10cm単位）
  高さ　150～200cm（5cm単位）、200～300cm（10cm単位）
- 提携駐車場は、車両寸法、ナンバープレートから検索しています。
- 料金案内・表示（前ページ）はナンバープレートから計算しています。
- **3** で **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

5. 目的地案内について

料金所レーン案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと料金所のレーン図が自動的に表示されます。
表示の方法については、**「拡大図の切り替え」**184 ページを参照してください。



❶ 料金所名称表示
料金所の名称が表示されます。

❷ レーンの種別表示
各レーンの種別がマークで表示されます。

- E：ETC専用の場合
- 混：ETC／一般料金所混在の場合
- 般：一般料金所の場合
- ┈：同じ内容のレーンが４つ以上続く場合
- ■：続くレーン数が 10 レーンを越える場合
- ?：不明

⚠ 注 意

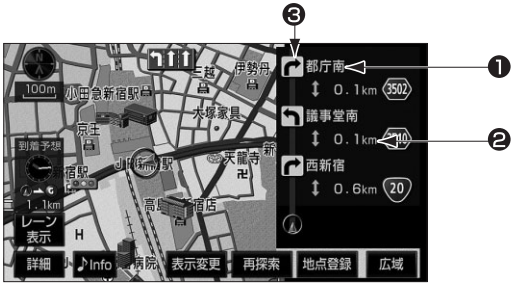
料金所、ETCレーンの車線運用は変更される場合があります。案内表示板や標識などにしたがってください。

アドバイス

- 地図データに情報のない料金所では、料金所レーン案内図は表示されません。また、料金所レーン案内図が表示されても、料金所名称表示が表示されないことがあります。
- 料金所の名称、レーン数が実際の料金所と異なることがあります。

ターンリスト図案内

ターンリスト図案内画面は、現在地から3つ先までの分岐する交差点・インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号が表示されます。
表示の方法については、**「案内図の切り替え」**184 ページを参照してください。



❶ 案内ポイント　分岐する交差点・インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）名称が表示されます。
現在地から次に分岐する交差点・インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）までは路線名が表示されます。

❷ 距離表示　案内ポイントの区間の距離、路線番号が表示されます。

❸ 案内方向　案内ポイントで案内する方向が表示されます。

アドバイス

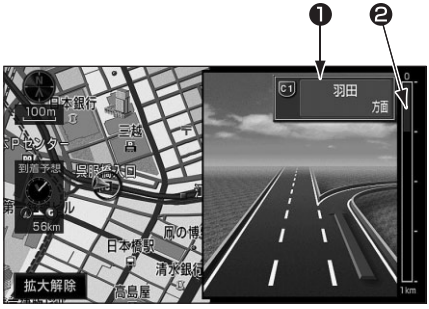
- 一般道路走行中は、ターンリスト図が表示されていても、交差点の約 700m 手前ではレーンリスト図、300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。（レーンリスト自動表示、または交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）
  また、高速道路走行中は、分岐点に近づくと高速分岐案内が表示されます。（高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）
- ターンリスト図表示中は、2画面表示が解除されます。（2画面表示にするときは、ターンリスト図を解除してください。）
- 地図データに情報のない交差点・インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）名称、路線名、路線番号は表示されません。

5. 目的地案内について

高速分岐案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点［出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］が近づくと、高速分岐模式図を表示させることができます。

表示の方法については、**「拡大図の切り替え」**184 ページを参照してください。



❶ 分岐点名称表示
インターチェンジ（IC）の出口名称、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の方面名称が表示されます。

❷ 残距離表示
分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに ▌ が短くなります。）

都市高速マップ

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速にはいると、自動的に都市高速マップを表示させることができます。（200m～1.6kmスケール図のとき）

表示の方法については、**「案内図の切り替え」**184 ページを参照してください。



●都市高速マップ表示

アドバイス

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐模式図は表示されません。また、高速分岐模式図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 次のようなときは、高速分岐模式図が表示されないことがあります。
  - 目的地案内開始直後
  - 目的地周辺
- 高速分岐模式図は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐模式図が表示されます。
- VICS情報を受信しているときは、都市高速マップにVICS情報を表示することができます。
- 立体ランドマーク表示が **する** に設定されているときは、都市高速マップに立体ランドマークを表示することができます。
- 都市高速マップが表示されるのは、都市高速のみです。（地図データに情報がある道路のみ。）
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- 都市高マップは、2画面表示しているとき、左画面に表示されます。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（IC）の入口、出口、ジャンクション（JCT）、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を10方向（右、左、ナナメ右、ナナメ左、右にもどる、左にもどる、右手前、左手前、もどる、直進）で音声案内します。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。

1 MAP にタッチします。

● 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



まもなく右方向です

〔目的地案内中の音声案内の例〕

● **一般道音声機能**
交差点などで交差点名や残りの距離、方向などを案内します。
また、分岐点の直前で「右（左）方向です。」と案内します。（ジャスト案内）
◆音声案内例
・およそ700m先、○○を右方向です。
・まもなく右方向です。

● **注意地点の音声案内**
カーブ・踏切などや推奨レーンを事前に音声で案内します。（ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります。）また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます。（合流手前１ｋｍ以内に分岐点などがある場合では案内しません。）
◆音声案内例
・この先、カーブがあります。
・この先、踏切です。
・この先、右からの合流があります。
・この先、左折専用レーンがあります。
・この先、右側車線が減少します。

● **高速分岐音声案内**
高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。
◆音声案内例
・およそ○○km先、○○方向、○○方面です。

● **高速料金音声案内**
ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。
◆音声案内例
・この先○○ｍで料金所です。
料金は○○です。

● **細街路進入時の音声案内**
◆音声案内例
・実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。

〔目的地周辺に到着したときの音声案内の例〕
◆音声案内例
・まもなく目的地です。
・目的地は右（左）側にあります。

5. 目的地案内について

自動音声案内を設定する

自動音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

自動音声案内をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

細街路での案内

目的地案内中、目的地周辺で、細街路（幅5.5m 未満の道路）を通るときにも、音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

細街路での案内をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

他モードでの案内

他モード（ナビゲーション以外の画面）に切り替えたときに、音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

他モードでの案内をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

アドバイス

- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 例えば「およそ700m先左方向です。」の音声案内の後、しばらく走行した後に、MAP にタッチすると、「およそ600（500）m先左方向です。」というように音声案内が刻々と状況に合わせて変化します。
- 音声案内は目的地周辺までの案内をします。
- 音声案内は、自動音声案内が **する** に設定されているときに出力されます。（上記参照）
- 各注意地点の音声案内は、安全・快適走行設定の各案内が **する** に設定されているときに出力されます。（113ページ参照）
- 高速道路の料金案内は、料金案内が **する** に設定されているときに出力されます。（190ページ参照）
- 〔○○○音声案内の例〕は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。
- 目的地に到着する直前でルートからはずれ再探索された後、目的地に近づくと再度、音声案内されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が行われなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。（86ページ参照）ただし、**消音** を選んでいると、音声案内されません。
- 自動音声案内が **しない** に設定されているときは、MAP にタッチすると、音声案内を出力することができます。
- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅5.5m 未満の道路にある場合、幅5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

6. 案内ルートの操作

全ルート図の再表示

出発地から目的地までの全ルート図を表示することができます。

1 地図表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **全ルート** にタッチします。

● 全ルート図表示画面になります。



● 全ルート図表示画面の詳しい内容については、**「全ルート図の表示・タッチスイッチについて」**162 ページを参照してください。

● **案内に戻る** にタッチすると、現在地画面になります。

到着予想時刻／残距離表示の切り替え

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、目的地が2カ所以上設定されているとき、残距離表示を切り替えることができます。また、到着予想時刻も同時に切り替えることができます。

1 到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

● 目的地が2カ所のときは、タッチするごとに到着予想時刻／残距離表示の目的地が切り替わります。

● ルートからはずれたときは目的地の方向と直線距離を表示します。



到着予想時刻／残距離表示

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

● ◀ にタッチすると、もとにもどります。



アドバイス

● 設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。
● 再表示された全ルート図には、残り料金、全料金が表示されます。
● 状況により目的地までの残距離表示が異なります。
  ● 現在地がルート上にあるとき…表示されているルートを通っての距離
  ● ルートからはずれたとき…直線距離

6. 案内ルートの操作

オンルートスクロール

案内ルートが表示されている画面で、目的地、または出発した地点および設定されている施設まで自動でルートにそって、地図を移動し、確認することができます。

オンルートスクロールを開始する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **オンルートスクロール** にタッチします。



3 スクロールのタッチスイッチ（ ▶G ・ S◀ ・ ▶|G ・ S|◀ ）にタッチします。

● **設定** にタッチすると目的地、またはルート沿いの施設までの移動を設定することができます。



オンルートスクロールの施設を設定する

1 オンルートスクロール画面で、**設定** にタッチします。

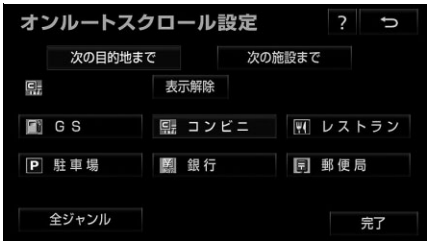
2 オンルートスクロール画面に表示させたい施設にタッチします。

● 5つまで選択することができます。

● **全ジャンル** にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設を設定することができます。施設の設定方法は施設の表示の**「複数ジャンルを設定する」**（115ページ参照）を参照してください。

● **表示解除** にタッチすると、選択されているすべてのジャンルを解除して、**次の目的地まで** が選択されます。

● すでに表示されている施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。



3 **次の目的地まで** 、または **次の施設まで** にタッチします。

4 **完了** にタッチします。

オンルートスクロール画面の操作について



- ⏸ にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- MAP にタッチするとオンルートスクロールが終了します。
- ▶▶G ・ G◀◀ にタッチすると、移動が早送りされます。

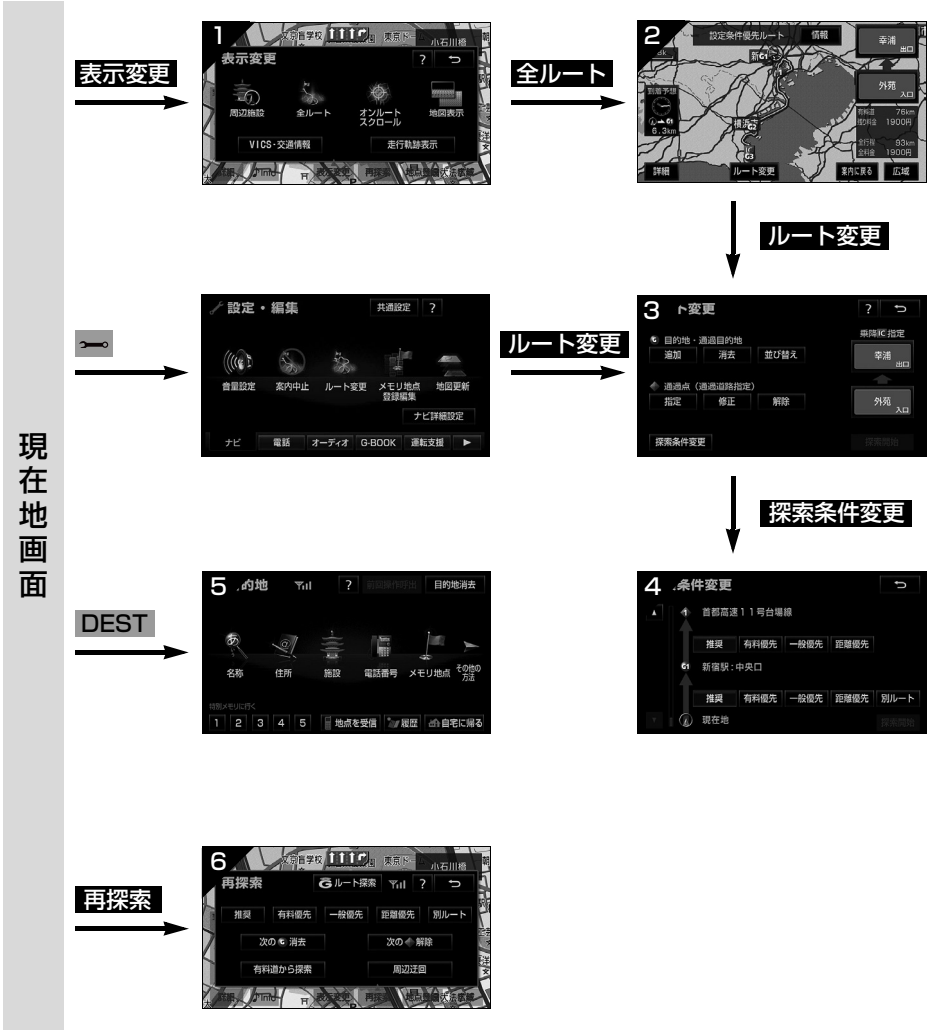
アドバイス

- 高速路線マップでは、オンルートスクロールを行うことができません。
- 表示している地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることができません。
- 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、MAP にタッチするともどります。
  - 2画面表示をしているとき
  - 高速略図画面を表示しているとき
  - 都市高速マップを表示しているとき
  - 3D表示をしているとき
- 走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると ▶|G ・ G|◀ のみ操作することができます。
- 次の目的地までの場合
  - ▶G …次の目的地まで、地図が移動されます。
  - G◀ …出発した地点（前の目的地）まで、地図が移動されます。
  - ▶|G …次の目的地の地図が表示されます。
  - G|◀ …出発した地点（前の目的地）の地図が表示されます。
- 次の施設までの場合
  施設が選ばれているときのみタッチすることができます。
  - ▶G …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークまで地図が移動されます。
  - G◀ …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークまで地図が移動されます。
  - ▶|G …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークの地図が表示されます。
  - G|◀ …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークの地図が表示されます。
- 以下の地図より広域の地図を表示させたときは、「次の施設まで」のオンルートスクロールをさせることはできません。
  - ▶G ・ G◀ … 800mスケール図
  - ▶|G ・ G|◀ … 800mスケール図
- オンルートスクロールで設定した施設は周辺施設で設定した施設とは異なります。
- 施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。（119ページ参照）
- 表示される地図によってオンルートスクロールが止まることがあります。

7. ルートの再探索

ルートの再探索について

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。
ルートを変更するには、「 表示変更 の 全ルート から変更する方法」、「 から変更する方法」、「 DEST から変更する方法」、または「案内中の 再探索 から簡易に変更する方法」があります。
以下の画面でルートを再探索することができます。
● 各画面のタッチスイッチについては次ページを参照してください。



画面No.	タッチスイッチ	機　能	ページ
1	全ルート	全ルート図を表示します。	197
2	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジを指定・解除します。	174 176
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	167
3	目的地・通過目的地 追加・並び替え 消去	目的地を追加・並び替え・消去します。	168 171 172
	通過点 通過道路指定 指定・修正・解除	通過道路を指定・修正・解除します。	177 179 180
	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジを指定・解除します。	174 176
	探索条件変更	探索条件設定画面を表示します。	170
4	探索条件	各区間の探索条件を設定します。 (探索条件については次ページを参照してください。)	170
5	地図の呼び出し方法	目的の地図を呼び出します。 目的地を設定・追加します。	121
6	Gルート探索	G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。	731
	探索条件	ルートの探索条件を変更します。 (探索条件については次ページを参照してください。)	203
	次の 消去 次の 解除 指定 IC 解除	次の目的地を消去・インターチェンジの指定を解除・通過道路指定を解除して探索します。	203
	有料道から探索 ※1 一般道から探索 ※1	高架道路の上下で並走している道路など間違ったルートの表示を訂正して探索します。	203
	周辺迂回 ※2	前方の案内道路周辺を迂回するルートを探索します。	203

※1 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。
※2 ルートからはずれたときは、表示されません。

7. ルートの再探索

画面No.		タッチスイッチ	機　能
6	探索条件	**推奨**	現在地から次の目的地※4の間で、一般的なルートが探索されます。
		有料優先	現在地から次の目的地※4の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。
		一般優先	現在地から次の目的地※4の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。
		距離優先	現在地から次の目的地※4の間で、距離の短いルートが探索されます。
		別ルート※3	現在地から次の目的地※4の間で、他のルートとは別のルートが探索されます。

※3 5ルート同時表示（166ページ参照）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。

※4 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

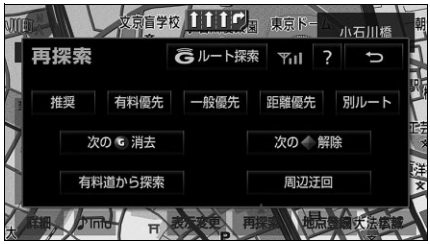
ルートの再探索

1 現在地画面で、**再探索** にタッチします。



2 再探索させる項目（201 ページ）にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



アドバイス

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地［インターチェンジ（IC）・通過道路］に向かうルートが再探索されます。
- 「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。大きく遠まわりになるようなときは、**有料優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- **次の 消去** ・ **指定 IC 解除** （ **次の 解除** ）にタッチすると、現在地の次の目的地を消去、またはインターチェンジ（IC）の指定を解除（次の通過道路を解除）して、再探索をさせることができます。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。
- **一般道から探索** （有料道を走行中に一般道の案内がされているときは **有料道から探索** ）にタッチすることで、高架道路の上下や並行している道路でルートを訂正してルートを再探索することができます。
- **Gルート探索** は、G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。（731ページ参照）

7. ルートの再探索

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

● 周辺探索…もとのルートへ復帰するルートが探索されます。

● 全ルート探索…現在地から目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

アドバイス

自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ案内可能な道路を走行していると判断されたときに行われます。

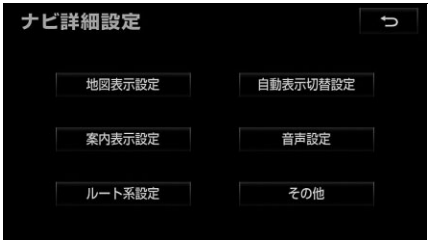
8. 目的地履歴について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大100カ所まで）。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

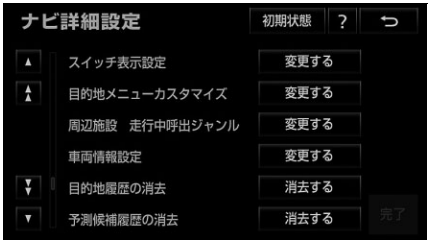
目的地履歴の消去

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 目的地履歴の消去の **消去する** にタッチします。



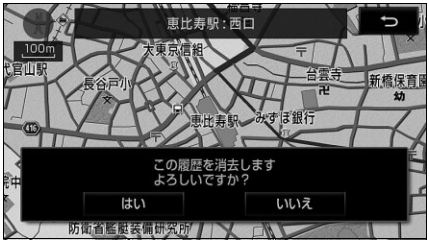
4 地点名称にタッチします。

● すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



アドバイス

初期状態 にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

9. 目的地設定画面の設定

目的地設定画面のスイッチ設定（目的地メニューカスタマイズ）

目的地設定画面の１ページ目に表示させるスイッチを設定することができます。
設定されたスイッチは、下記画面で表示されます。

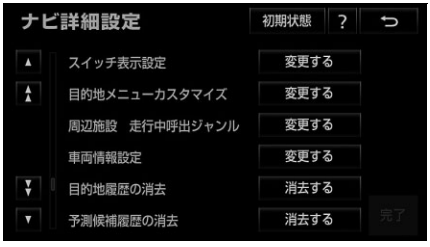
- 目的地の設定画面
- 目的地の追加画面

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 目的地メニューカスタマイズの **変更する** にタッチします。



4 設定されているスイッチ（紫色※に点灯しているスイッチ）にタッチして設定を解除します。

※色は設定しているイメージカラーにより異なります。（55ページ参照）

- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態にもどります。



5 １ページ目に表示したいスイッチにタッチします。

- 選択しているタッチスイッチが紫色※に点灯します。

※色は設定しているイメージカラーにより異なります。（55ページ参照）

- タッチスイッチは 5 項目を選択してください。

6 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 携帯電話で地図を呼び出す（144 ページ参照）で設定した目的地は履歴と異なる名称で登録されることがあります。
- **3** で **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、メモリ地点、または特別メモリ地点に分けて500カ所までメモリ地点として登録することができます。（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所、Gメモリ地点100カ所を含みます。）また、迂回メモリ地点を登録（10カ所まで）するとルート探索時には、その地点を迂回するルートを探索することができます。

メモリ地点には、70種類のマークや7種類の音声付きマークから選択して地点ごとに登録することができ、すべての地点には、名称、名称読み、電話番号を設定することができます。（迂回メモリ地点を除く）

登録したメモリ地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違って登録した場合は、修正および消去することができます。

（すでにメモリ地点が500カ所、迂回メモリ地点が10カ所登録されているときは、不要な地点を消去してから登録してください。）

自宅

自宅は1カ所登録でき、1回の操作で自宅に帰るルートを探索することができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

特別メモリ地点

特別メモリ地点は5カ所まで登録でき、地点検索時などにはタッチスイッチに割り当てることができます。また、目的地の設定のときは1回の操作でルートを探索することができます。

メモリ地点

メモリ地点（自宅および特別メモリ地点を含む）は、登録した種別、マーク、または登録順に並びかえて表示することができ、地点検索時などにリストから選択することができます。

Gメモリ地点

G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。（733ページ参照）

■音声付きマーク

音声付きメモリ地点には、次のような機能を持たせることができます。

①近づくと音、または音声で知らせる設定

ベル、チャイム、オルゴール、注意、スピード注意、登録地点接近

②近づく方向を限定して知らせる設定

方向付きメモリ

迂回メモリ地点

迂回メモリ地点は10カ所まで登録でき、地点ごとに迂回範囲を設定することができます。また、迂回メモリ地点には名称を設定することができます。

アドバイス

- 800m スケール図以下の詳細な地図で登録することができます。（現在地でのワンタッチ登録を除く）
- 表示されるメモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録したメモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が自動で入力されることがあります。
- 迂回メモリ地点は、マークを変更することはできません。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の登録

ワンタッチで登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 メモリ地点を登録する位置に地図を動かし、**地点登録** にタッチします。

- （または ）の位置にメモリ地点がマークで表示されます。
- 現在地に登録するときは、地図を動かす必要はありません。

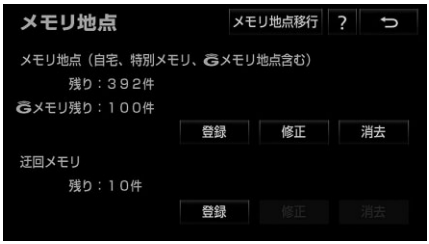


離れた場所を登録する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。



2 メモリ地点の **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- **「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**（121、145ページ参照）



アドバイス

- 高速道路を走行中（現在地）に **地点登録** にタッチすると、 マーク（進行方向の方向付音声付きメモリ地点）で登録されます。
- メモリ地点が登録されていないときは、**修正** ・ **消去** がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- **地点を受信** から地図を呼び出したときは、施設の情報（住所や電話番号など）が登録できないことがあります。

4 **セット** にタッチします。



5 入力、修正をしたいときは、それぞれの項目にタッチします。

● 入力、修正方法は以降のページを参照してください。
- マーク…212ページ
- 名称…214ページ
- 地図への名称表示…216ページ
- 名称読み…216ページ
- 位置…217ページ
- 電話番号…217ページ

● **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。(**「メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する」**211 ページ参照)



6 **完了** にタッチします。

メモリ地点の修正・入力

登録したメモリ地点は、メモリ地点修正画面から種別を変更したり、マーク、名称、名称読み（音声操作での呼び出し）などを修正、入力することができます。

からメモリ地点修正画面を表示する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 メモリ地点の **修正** にタッチします。

3 修正するメモリ地点にタッチします。



4 修正、入力する項目にタッチします。

● 入力、修正方法は以降のページを参照してください。
- マーク…212ページ
- 名称…214ページ
- 地図への名称表示…216ページ
- 名称読み…216ページ
- 位置…217ページ
- 電話番号…217ページ

● **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。(**「メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する」**211 ページ参照)



2. メモリ地点の登録・修正・消去

● **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点をメモリ地点に変更することができます。(**「自宅、特別メモリ地点を解除する」**次ページ参照)



地図画面からメモリ地点修正画面を表示する

1 地図を表示させているときに、修正したいメモリ地点のマークにタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **修正** にタッチします。

● **修正** にタッチすると、メモリ地点修正画面が表示されます。

● **目的地セット** (**新規目的地**、**追加目的地**)にタッチすると、目的地に設定することができます。

● にタッチすると、表示されている電話番号に電話をかけることができます。



アドバイス

メモリ地点のリストは、種別順、マーク順、登録順の3種類で並べることができます。

- **種別順** にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並びかわります。
- **マーク順** にタッチすると、マークの種類別に並びかわります。
- **登録順** にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。

●種別順表示



●マーク順表示



●登録順表示



メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

2 自宅、または特別メモリ１～５のいずれかにタッチします。



3 すでに自宅、または特別メモリ地点が登録されているときは、次に表示された画面で、**はい** にタッチします。

- 登録されていた地点はメモリ地点になります。
- **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



4 **完了** にタッチします。

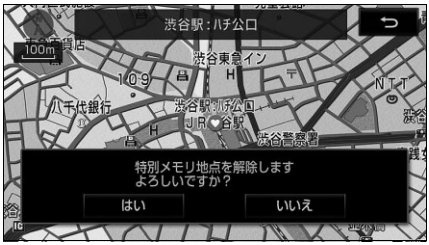
自宅、特別メモリ地点を解除する

自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。

1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。

2 **はい** にタッチします。

- 登録されていた地点はメモリ地点になります。
- **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



3 **完了** にタッチします。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点のマークを変更する

1 メモリ地点修正画面で、**マーク** にタッチします。



2 変更するマークにタッチします。

● メモリ地点のマークは、**マーク1** ・ **マーク2** ・ **マーク3** ・ **音声付き** にタッチして、マークの種類を変更します。



●マーク1



●マーク2

● **マーク無し** にタッチすると、登録したメモリ地点のマークを地図に表示されないようにすることができます。



●マーク3

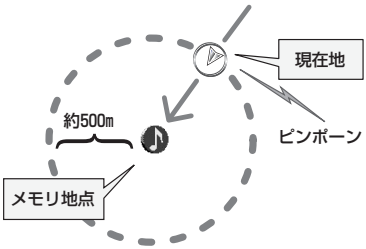
● 音声付きのマークを選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

● **音確認** にタッチすると、それぞれのマークに近づいたときに鳴る音が出力されます。

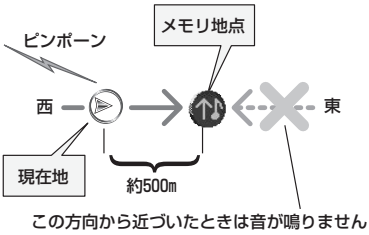


●音声付き

＜音声付き＞



＜方向付き＞



＜方向付きを設定する場合＞

● **方向付きメモリ** にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。
例えば、東西に走る道路では、西側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。

3 **方向付きメモリ** にタッチしたときは、方向を設定します。

● 方向を反時計まわりに動かすときは ↓、時計まわりに動かすときは ↓ にタッチします。

● メモリ地点が マークで表示されます。



4 **セット** にタッチします。

5 **完了** にタッチします。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称を入力する

1 メモリ地点修正画面で、**名称** にタッチします。



2 すでに名称が表示されているときは、**修正** にタッチして名称を消去します。



3 ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）・**英数字**（アルファベット・数字）・**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。

- **スペース** にタッチすると、スペースを入力することができます。
- 数字・記号入力画面では ▲、または ▼ でページを切り替えることができます。
- ひらがな入力と漢字入力については次ページを参照してください。



4 **半角**（または **全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **英数字** にタッチしてアルファベット・数字を入力するときは、さらに **大文字**（または **小文字**）にタッチして、入力する文字の書体を切り替えます。



5 文字を１文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１つずつ消去されます。

6 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 入力することができる文字数は最大35文字（半角文字は70文字）までです。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大 20 文字です。最大文字数をこえると、メッセージが表示され、入力できなくなります。この場合は、**無変換** にタッチして文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してから入力を続けてください。
- 登録した地点によってはすでにメモリ地点の名称が入力されていることがあります。

ひらがな・漢字を入力するには

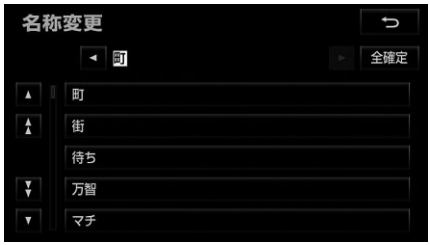
1 **かな** にタッチして、入力画面を切り替えます。

2 文字（ひらがな）を1文字ずつタッチして入力します。

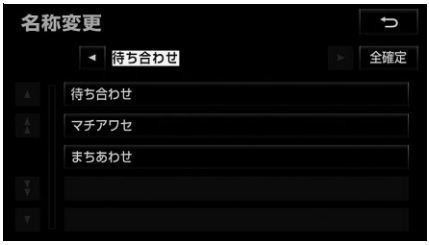
3 ひらがなを入力するときは、**無変換**、漢字を入力するときは、**変換** にタッチします。



4 **変換** にタッチしたときは、次に表示された画面（変換するリスト）で、入力する漢字、または熟語にタッチします。



- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチして、範囲を変更します。
- **全確定** にタッチすると、表示されている状態で登録されます。



5 **完了** にタッチします。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称を表示する

入力したメモリ地点の名称を地図に表示させることができます。



1 メモリ地点修正画面で、地図への名称表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

メモリ地点の名称読みを入力する

メモリ地点に名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。（**「メモリ地点の検索」** 298 ページ参照）

1 メモリ地点修正画面で、**名称読み** にタッチします。



2 名称を１文字ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、１つずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 地図に名称を表示できる文字数は、最大 15 文字（半角 30 文字）までです。
- 名称読みで入力することができる名称読みの文字数は、最大 24 文字（半角のみ）までです。

メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面で、**位置** にタッチします。

● 地図が表示されます。



2 ⇧ にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。



3 **セット** にタッチします。

● ⊹ の位置にメモリ地点が **1** で表示されているマークで表示されます。

● 位置を修正すると、**1** で表示されている住所とマップコードも修正されます。

4 **完了** にタッチします。

メモリ地点の電話番号を入力する

1 メモリ地点修正画面で、**電話番号** にタッチします。



2 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 市外局番から入力します。

● 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

● メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。（137ページ参照）
● 入力することができる桁数は最大11桁までです。
● 登録した地点によってはすでに電話番号が入力されていることがあります。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の消去

メモリ地点登録編集画面から消去する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 メモリ地点の **消去** にタッチします。

3 消去するメモリ地点にタッチします。

● すべてのメモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



地図画面から消去する

1 地図を表示させているときに、消去したいメモリ地点のマークにタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点は、地図に10カ所まで登録することができます。(10カ所をこえて登録するときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。)

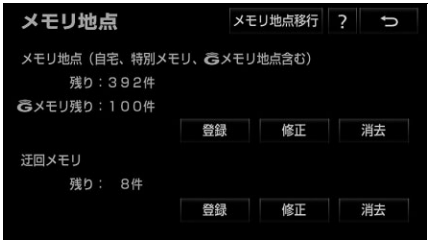
迂回メモリ地点を登録しておくと、登録したエリアを迂回するルートを探索させることができます。

工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

迂回メモリ地点の登録

1 設定・編集画面(ナビ)で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 迂回メモリの **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**(121、145ページ参照)



4 **セット** にタッチします。



5 ▲、または ▼ にタッチして迂回させる範囲を設定します。

● 範囲を広くするときは ▲、狭くするときは ▼ にタッチします。

● 最大範囲にすると ▲、最小範囲にすると ▼ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

● 矢印中央の数値が範囲の長さ(縦・横)になります。



3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

6 **セット** にタッチします。

● ⊕ の位置に迂回メモリ地点が ▣ マーク、または □(範囲）で表示されます。



7 **完了** にタッチします。



迂回メモリ地点の修正

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 迂回メモリの **修正** にタッチします。

3 修正・入力する迂回メモリ地点にタッチします。



アドバイス

- 800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。
- 表示される迂回メモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録した迂回メモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が同時に入力されることがあります。
- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。
  迂回させたいときは、迂回地点（最小範囲 :▣ ）を地図上に設定してください。
- 迂回メモリの **修正** ・ **消去** は、すでに迂回メモリ地点が登録されているときのみ表示されます。
- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

4 修正・入力する項目にタッチします。

- 修正方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。
  - ・名称入力（214ページ）
  - ・地図への名称表示（216ページ）
  - ・位置（217ページ）
- **迂回エリア変更** にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。（219ページ参照）
- **無効** にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。
  有効 にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。



5 **完了** にタッチします。

迂回メモリ地点の消去

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 迂回メモリの **消去** にタッチします。

3 消去する迂回メモリ地点にタッチします。

- すべての迂回メモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

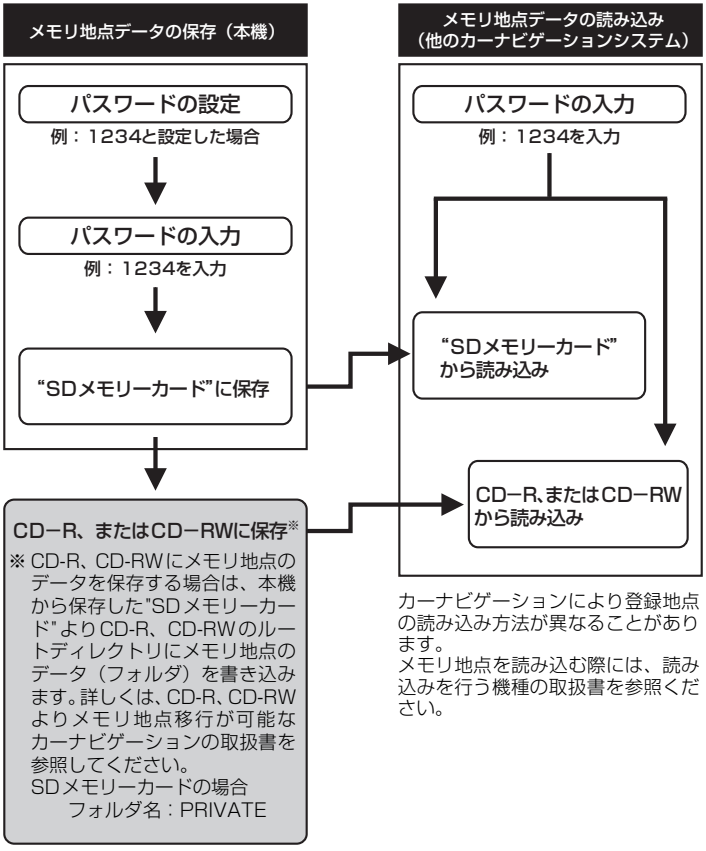
- **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



4. メモリ地点のデータ移行

メモリ地点移行機能は、本機に登録したメモリ地点（自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点、迂回メモリ地点）のデータを“SDメモリーカード”に保存し、他のカーナビゲーションシステム（オリジナルアクセサリー）に移行することができます。
本機から新しいカーナビゲーションシステム（オリジナルアクセサリー）に買い替えたときなどにご使用ください。

メモリ地点移行について



カーナビゲーションにより登録地点の読み込み方法が異なることがあります。
メモリ地点を読み込む際には、読み込みを行う機種の取扱書を参照ください。

⚠ 注 意

動作中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、または"SDメモリーカード"を取り出さないでください。

パスワードの設定

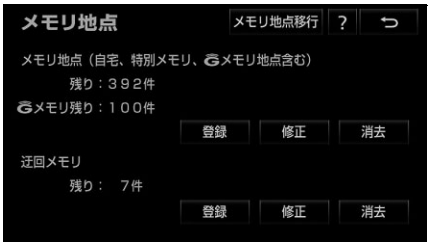
メモリ地点移行には、パスワードの設定が必要になります。設定したパスワードは、他のカーナビゲーションシステム（オリジナルアクセサリー）に登録地点を読み込む際、必要になりますので、忘れないようにご注意ください。

● パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要になります。初期化すると、本機に登録されているメモリ地点、迂回メモリ地点は、消去されますのでご注意ください。

パスワードを設定する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

2 **メモリ地点移行** にタッチします。



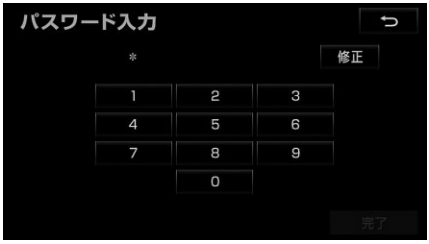
3 **パスワード設定** にタッチします。



4 パスワードを入力します。

● 0000～9999までの数字４桁を入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、１つずつ消去されます。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

● メモリ地点移行画面でパネルスイッチ（ **OPEN** 、**G・INFO** 、♪ など）にタッチしても操作することができません。 ⮌ にタッチして、メモリ地点画面から操作してください。

● すでにパスワードが設定されている場合は、既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力してください。

4. メモリ地点のデータ移行

6 もう一度パスワードを入力します。



7 **完了** にタッチします。

パスワードを初期化する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

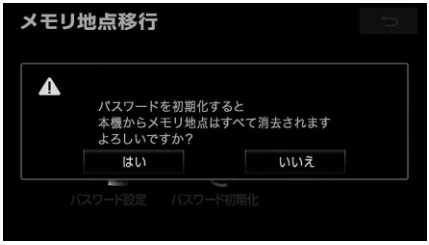
2 **メモリ地点移行** にタッチします。



3 **パスワード初期化** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



メモリ地点の保存

本機に登録されているメモリ地点・迂回メモリ地点のデータを“SDメモリーカード”に保存することができます。

- メモリ地点を保存する前に、本機にパスワードを設定してください。(**「パスワードの設定」** 223 ページ参照)
- メモリ地点を“SDメモリーカード”に保存すると、本機に登録されているメモリ地点はすべて消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点を保存した“SDメモリーカード”を使用した場合、上書き保存となり、保存されていたデータは消去されます。

1 “SDメモリーカード”を差し込みます。

2 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

3 **メモリ地点移行** にタッチします。



4 **SDに保存** にタッチします。

- パスワードを設定していない場合は、「パスワードが設定されていません」のメッセージが表示されます。パスワードを設定してから本操作を行ってください。(**「パスワードの設定」** 223 ページ参照)



アドバイス

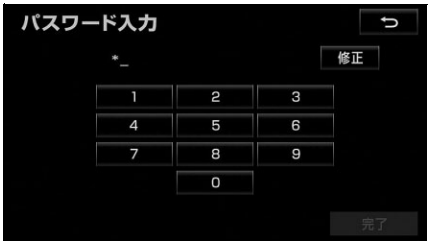
- “SDメモリーカード”のフォーマット（初期化）は、次のソフトを使用してフォーマットをしてください。
  - Panasonic SD-Jukebox V5以降
  - Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0以降

  上記以外のソフトでフォーマットされた“SDメモリーカード”で、SD規格に準拠していない場合は本機で使用できないことがあります。また、使用できた場合でも、動作保証はできません。
- 本機で保存したGメモリ地点をG-BOOK非対応機種で読み込む場合、保存したGメモリ地点は通常のメモリ地点として登録されます。
- “SDメモリーカード”にデータを保存中はエンジンスイッチをOFF(LOCK)にしないでください。データが破損する恐れがあります。

4. メモリ地点のデータ移行

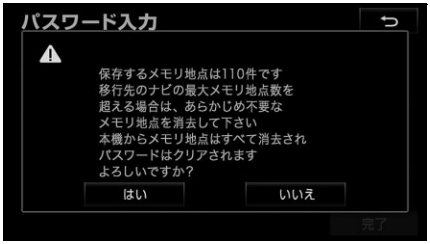
5 パスワードを入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

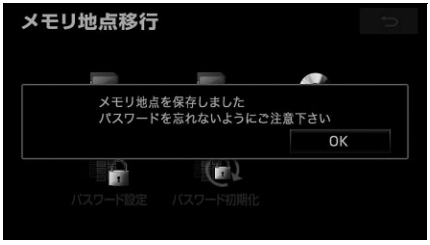


6 **完了** にタッチします。

7 **はい** にタッチします。



8 **OK** にタッチします。



メモリ地点の読み込み

“SDメモリーカード”、CD-R、またはCD-RWに保存されたメモリ地点・迂回メモリ地点のデータを本機に読み込むことができます。

● メモリ地点を読み込むには、保存するときに入力したパスワードが必要になります。

● メモリ地点を読み込むと、登録されていたメモリ地点はすべて消去され、“SDメモリーカード”、CD-R、またはCD-RWに保存されているメモリ地点·迂回メモリ地点に置き換えられます。また、読み込み後に、"SDメモリーカード”からメモリ地点はすべて消去されます。

● “SD メモリーカード”の誤消去防止スイッチがLOCKの状態になっている場合は、誤消去防止スイッチのLOCKを解除してください。

1 データが保存されている“SDメモリーカード”、CD-R、またはCD-RWを差し込みます。

2 設定・編集画面（ナビ）で、**メモリ地点登録編集** にタッチします。

3 **メモリ地点移行** にタッチします。



アドバイス

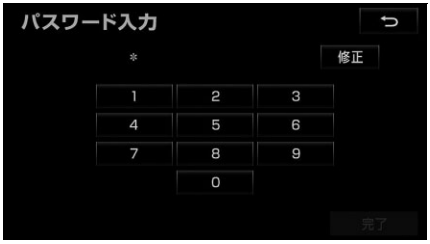
施設マークで登録したメモリ地点データは、読み込みを行うとマークに変更されます。

4 SDから読み込み 、または CD-Rから読み込み にタッチします。



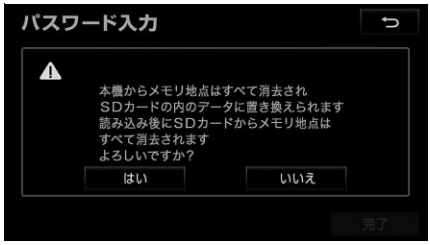
5 保存したときに設定されたパスワードを入力します。

● 間違えたときは 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。



6 完了 にタッチします。

7 はい にタッチします。



8 OK にタッチします。

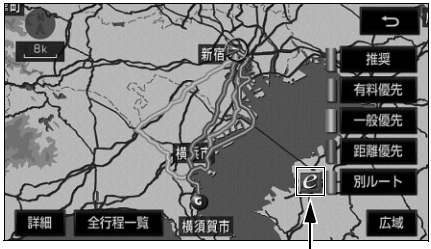


アドバイス

メモリ地点の読み込みは、2006年以降発売のトヨタ純正カーナビゲーションシステム（オリジナルアクセサリー）が対象です。詳しくは販売店にご確認ください。

1. ECO機能について

ECO機能は、ガソリンスタンド給油時に給油量を入力することで燃費計算を行い、履歴を表示することができます。燃費を入力することで、5ルート同時表示のルート毎に燃料消費量を推定し、最もECOなルートにアイコンを表示します。
また、ECOな運転を心掛けるように、アドバイスをする設定にすることができます。



ECOアイコン

2. 燃費を計算する

燃費の計算について

ECO機能の燃費は、満タンに給油した量（前回の消費量）と給油した時点での走行距離（前回の走行距離）から計算されます。給油量を入力すると、燃費が計算され履歴を確認できます。また、履歴をもとに平均燃費が計算され、燃費を設定する（231 ページ参照）ときの参考にすることができます。

データを入力する

燃費を計算するために給油量の入力および走行距離のリセットを行います。給油量を入力すると、燃費が計算され、走行距離はリセット（0km）されます。

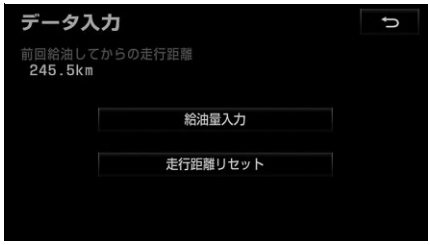
給油量を入力する

1 設定・編集（運転支援）で、**燃費履歴ECO設定** にタッチします。

2 **データ入力** にタッチします。



3 **給油量入力** にタッチします。



4 数字を 1 つずつタッチして入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

● 入力できる給油量は、最大99.9L、最小0.1Lです。
● 小数点と小数点以下の数値を入力しないで完了にタッチしたときは、小数点以下の数値は0になります。

2. 燃費を計算する

走行距離をリセットする

走行距離をリセットして、0kmから走行距離の測定を開始します。燃費の計算をやり直すときは、給油後にこの操作を行います。

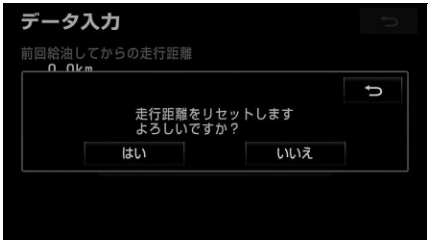
1 設定・編集（運転支援）で、**燃費履歴ECO設定** にタッチします。

2 **データ入力** にタッチします。

3 **走行距離リセット** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



履歴とグラフを確認する

1 設定・編集（運転支援）で、**燃費履歴ECO設定** にタッチします。

2 **履歴・グラフ** にタッチします。

● 過去５回分の燃費グラフを表示します。
● 前回の燃費といままでの平均燃費が表示されます。
● ⮌ にタッチすると、もとの画面にもどります。



アドバイス

● 走行距離の表示は、0.0km から 999.9km になります。999.9km を超えたときは、999.9kmと表示します。
● グラフは最新５つまでの履歴を表示します。燃費が25km/Lを超えるときは、25km/Lの値で表示します。
● 燃費の表示は、最大99.9km/L、最小0.1km/Lになります。99.9km/Lを超えたときは、99.9km/Lと表示し、0.1km/Lより少ないときは、0.1km/Lと表示します。

燃費を設定する

燃費履歴を参考に燃費の設定をすると、目的地を設定したときの5ルート同時表示のルート毎に燃料消費量を推定し、最もECOなルートにアイコンを表示することができます。

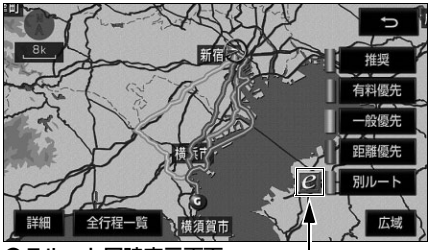
1 設定・編集（運転支援）で、**燃費履歴ECO設定** にタッチします。

2 **燃費設定** にタッチします。

3 一般道燃費と高速道路燃費の ◀ 、▶ にタッチして燃費を入力します。

4 **完了** にタッチします。

● 目的地を設定し、5ルート同時表示（166ページ参照）にすると、最もECOなルートにアイコンを表示します。



●5ルート同時表示画面

ECOアイコン

アドバイス

- 燃費設定の初期値は、一般道燃費8.0km/L、高速道路燃費10.0km/Lです。
- 燃費設定は、最大99.9km/L、最小0.1km/Lです。◀ 、▶ にタッチすると0.1km/Lずつ数値が変わります。
- 個人情報の初期化（62 ページ参照）をすると初期設定に戻ります。
- フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。

2. 燃費を計算する

履歴を編集する

計算された燃費は、履歴に最大100件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

履歴詳細画面を表示する

1 設定・編集（運転支援）で、**燃費履歴ECO設定** にタッチします。

2 **履歴一覧** にタッチします。

3 履歴（期間）にタッチします。

● 履歴詳細画面が表示されます。



計測開始日/終了日を編集する

1 **開始日編集** 、または **終了日編集** にタッチします。

● **◀前へ** 、**次へ▶** にタッチすると履歴（期間）を変更することができます。



2 数字を一つずつタッチして入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

● 入力方法は、**「メンテナンス時期の設定」** 237 ページを参照してください。



●開始日編集画面



●終了日編集画面

アドバイス

履歴一覧は100件まで表示できます。100件を超えたときは、古い履歴から削除されます。

走行距離/給油量を編集する

1 **走行距離編集** 、または **給油量編集** にタッチします。

● **◀前へ** 、 **次へ▶** にタッチすると履歴（期間）を変更することができます。



2 数字を一つずつタッチして入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



●走行距離編集画面



●給油量編集画面

アドバイス

● 入力できる走行距離は、最大999.9km、最小0.0kmです。
● 入力できる給油量は、最大99.9L、最小0.1Lです。

2. 燃費を計算する

履歴を削除する

1 設定・編集（運転支援）で、**燃費履歴ECO設定** にタッチします。

2 **履歴一覧** にタッチします。

3 履歴（期間）にタッチします。

● 全ての履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **本履歴を削除** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチするともとの画面にもどります。

● 全ての履歴が消去されたときは、燃費履歴・ECO設定画面にもどります。



アドバイス

燃費履歴は個人情報の初期化（62 ページ参照）をすると全て削除されます。

3. エコドライブインフォメーションを設定する

エコドライブに役立つアドバイスを音声で案内させることができます。

[エコドライブインフォメーション音声の例]

● 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
● エアコンの設定温度を控えめにすることで燃費がよくなります。
● 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

エコドライブインフォメーション音声を出力するか、しないか選ぶことができます。（77 ページ参照）

アドバイス

- エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
- ハートフル音声（87 ページ参照）と重なったときは、ハートフル音声が優先されます。次回エンジンスイッチをACC、またはONにしたときに発話されます。
- エコドライブインフォメーションは、約 1 週間に 1 回発話されます。

1. メンテナンス機能について

メンテナンス機能は、ナビゲーションのカレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをナビゲーションの画面と初回に音声でお知らせします。

1 にタッチします。

2 **メンテナンス** にタッチします。



- 設定・編集画面（メンテナンス）が表示されます。
- **項目設定** から、下記の項目について設定することができます。

● メンテナンス項目

項目	内容	項目	内容
エンジンオイル交換	エンジンオイル交換	Vベルト	Vベルト交換
オイルフィルター交換	オイルフィルター交換	冷却水交換	冷却水交換
タイヤローテイション	タイヤローテイション（タイヤ位置交換）	ブレーキフルード交換	ブレーキフルード交換
タイヤ交換	タイヤ交換	ATF交換	ＡＴＦ（オートマチックトランスミッションフルード）交換
エアクリーナー	エアクリーナー交換	任意入力	任意入力項目（その他の項目を５つまで設定することができます。）
ブレーキパッド交換	ブレーキパッド交換		

アドバイス

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- 設定したメンテナンスまたは各種点検などの項目以外は時期をお知らせしません。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。
- 未設定の項目は、（白色※）・すでに設定されている項目は、（緑色）・メンテナンス案内が行われる時期の項目は（赤色）で表示します。
  ※ 色は設定しているイメージカラーにより異なります。（55ページ参照）

2. メンテナンスの設定

メンテナンス時期の設定

1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**項目設定** にタッチします。



2 設定する項目にタッチします。

- 任意入力（任意入力未設定）にタッチすると、任意の項目を設定することができます。
- 任意入力（任意入力未設定）以外にタッチしたときは、**6** の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。



3 任意入力（任意入力未設定）にタッチしたときは、マークにタッチします。



4 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214 ページを参照してください。



5 **完了** にタッチします。

2. メンテナンスの設定

6 **お知らせ日** 、または **お知らせ距離** にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。
- **マーク** にタッチすると、マークを変更することができます。（任意入力を設定したときのみ）
- **修正** にタッチすると、タイトル名称を変更することができます。（任意入力を設定したときのみ）



7 数字を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。
- 一桁の日付を入力するときは、**年** 、**月** 、**日** にタッチして入力することができます。
（2～9月と、4～9日は、**月** 、**日** にタッチする必要はありません。）



●日付入力画面



●距離入力画面

8 **完了** にタッチします。

9 **設定完了** にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときは、**2** ～ **9** を繰り返し操作してください。



メンテナンス案内の設定

自動案内通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**メンテナンス詳細設定** にタッチします。



2 自動通知の **する** にタッチします。

● 案内をさせないときには、再度この画面で、**しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

メンテナンスの案内

設定した日に到達する、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

● 5つ以上の項目があるときは、✱ が表示されます。（237ページの **2** の画面で確認してください。）

● **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。



アドバイス

● メンテナンス時期の設定をしても自動通知の **する** に設定していないときは、メンテナンス案内が行われません。
● メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声（初回）で案内します。
● 販売店を設定しているときは販売店名、電話番号を表示します。（244ページ参照）

2. メンテナンスの設定

メンテナンス設定の更新

項目ごとに更新する

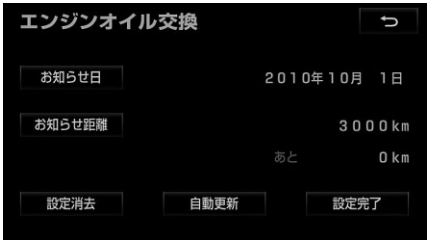
1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**項目設定** にタッチします。



2 設定を更新する項目にタッチします。

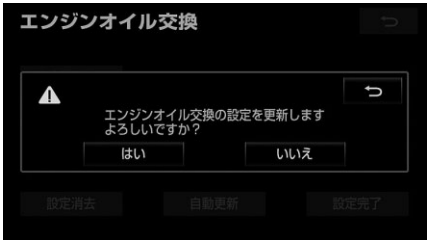


3 **自動更新** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



5 **設定完了** にタッチします。

アドバイス

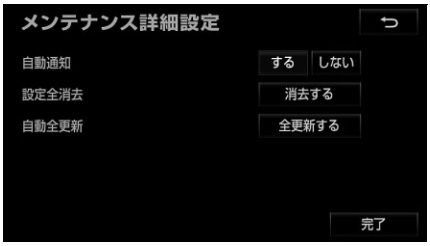
新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

すべてを更新する

1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**メンテナンス詳細設定** にタッチします。

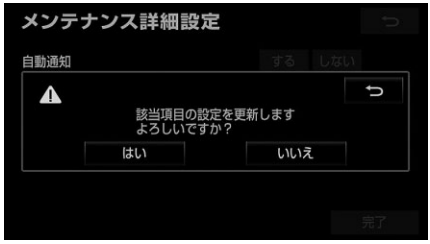


2 自動全更新の **全更新する** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



4 **完了** にタッチします。

2. メンテナンスの設定

メンテナンス設定の消去

項目ごとに消去する

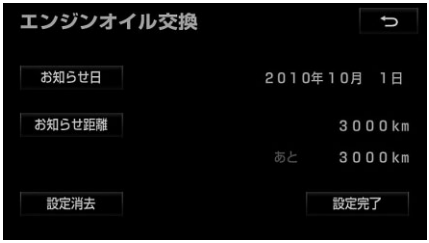
1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**項目設定** にタッチします。



2 設定を消去する項目にタッチします。

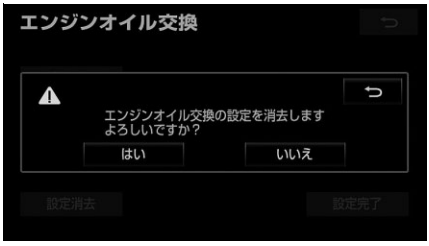


3 **設定消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。

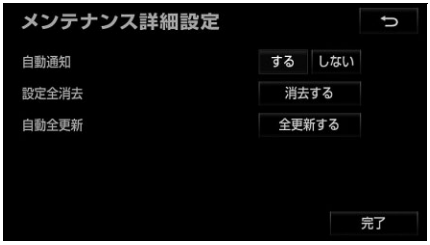


すべてを消去する

1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**メンテナンス詳細設定** にタッチします。

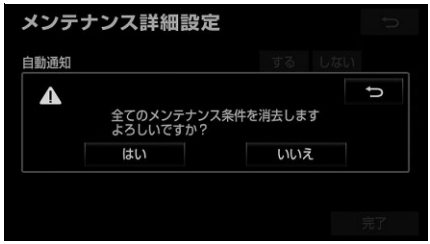


2 設定全消去の **消去する** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



2. メンテナンスの設定

販売店の設定

1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**販売店設定** にタッチします。



2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。

●**「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」**（121、145ページ参照）



3 **セット** にタッチします。

● ⌖ の位置に販売店が設定されます。



4 **完了** にタッチします。

● **販売店に行く** にタッチすると、販売店の地図が表示されます。



アドバイス

「施設で地図を呼び出す」（135ページ参照）でレクサス販売店、またはトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、地図が表示されたら、そのまま地図を動かさずに **セット** にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の修正・消去

1 設定・編集画面（メンテナンス）で、**販売店設定** にタッチします。



2 修正する項目にタッチします。



- 販売店名の修正・入力は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214 ページ、位置の修正は、**「メモリ地点の位置を修正する」**217 ページ、電話番号の修正・入力は、**「メモリ地点の電話番号を入力する」**217 ページを参照してください。
- **販売店の消去** にタッチすると、販売店が消去されます。

3 **完了** にタッチします。

4 **販売店の消去** にタッチしたときは、**はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



1. 情報・G・BTナビ画面（情報）について

情報機能には、**「電話」**、**「データ管理」**、**「VICS」**、**「FM多重」**、**「デモ」**、**「カレンダー」**があります。
「渋滞予測」はG-BOOKオンラインサービスの利用手続きをすると、操作することができます。
「ETC」はオプションのETC機器を接続すると、設定・操作することができます。

情報・G・BTナビ画面（情報）

1 G・INFO にタッチします。

- 情報・G・BT ナビ画面（情報）が表示されます。
- 情報以外が選択されているときは、情報 にタッチします。



●情報・G・BTナビ画面（情報）

2 タッチスイッチにタッチして、項目を決定します。

- 情報・G・BT ナビ画面（情報）から下記の操作を行うことができます。

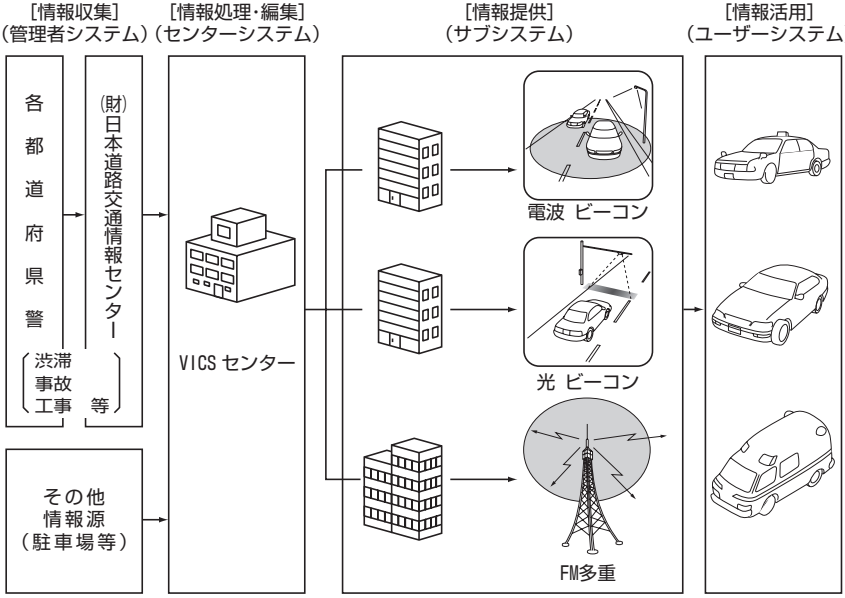
表示順序／項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
1	**電話**	施設の電話番号の検索、ハンズフリー画面の表示	271、624
2	**データ管理**	タイトルデータベース（HDDオーディオ）の更新・情報など	488、489、490
3	**VICS**	VICS情報の表示・設定	252、262、263、311
4	**FM多重**	FM多重放送の表示	272
5	**デモ**	デモ機能の表示	276
6	**カレンダー**	カレンダーの表示	277
7	**渋滞予測**	G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに操作することができます。	727
8	**ETC**※	ETCメニュー画面の表示	316

※ 機器が接続されていないときは、表示されません。

2. VICS機能

VICSとは

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。
VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。
VICSおよび本機に付与された VICS のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

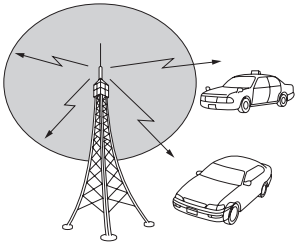
2. VICS 機能

VICSのメディア概要

VICSは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。
本機では、内蔵のFM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。また、オプションのVICS ビーコンユニットを接続することによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。

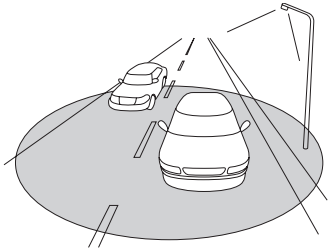
● FM多重

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



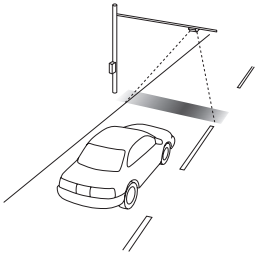
● 電波ビーコン（オプションのVICS ビーコンユニット接続時に対応）

※電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



● 光ビーコン（オプションのVICS ビーコンユニット接続時に対応）

※光ビーコンは、主に一般道路上に各レーンごとに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。

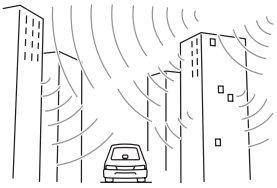


※オプションのVICS ビーコンユニットについては、309ページを参照してください。

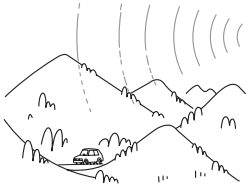
VICS特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
  （提供される情報は最新でない場合があります。）
- VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本取扱書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。

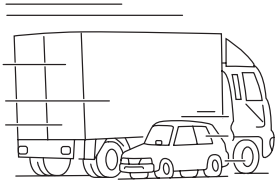
FM多重放送特有の事項



①高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

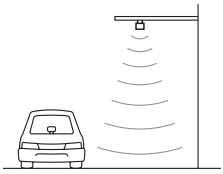


②盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

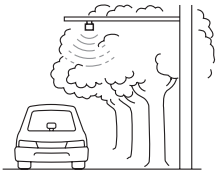


③トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

電波ビーコン特有の事項



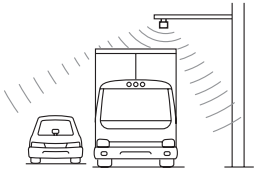
①直線的にしか電波は届きません。



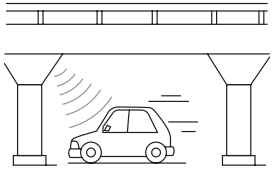
②水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



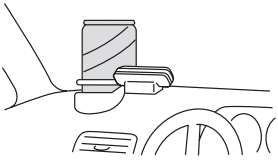
③トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。



⑤高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。



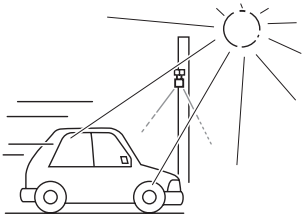
⑥VICSのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

アドバイス

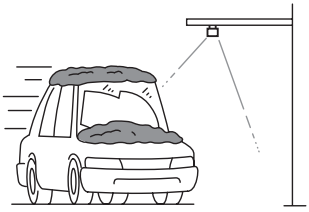
電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

2. VICS 機能

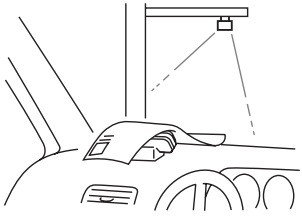
光ビーコン特有の事項



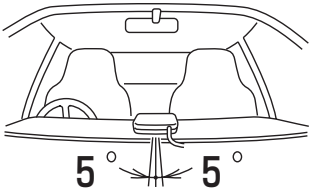
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICSのアンテナの上や近くに紙類等光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



④VICSのアンテナの取り付け方向は、±5°でセットしてください。ずれた場合は、うまく受信できないことがあります。

アドバイス

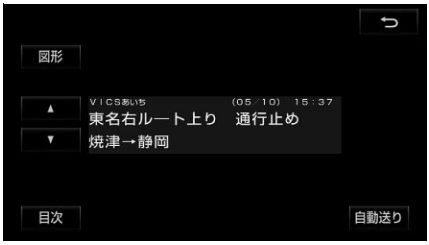
電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

VICS情報提供内容と表示について

● VICS情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制等を表示します。
● VICS情報は、FM多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

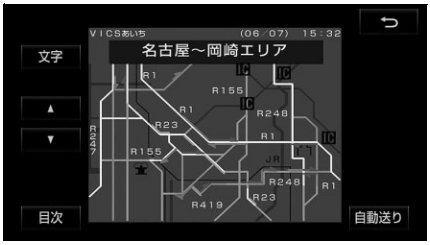
レベル1

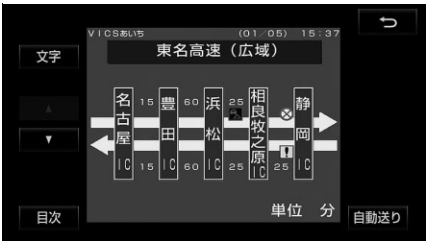
●文字表示



レベル2

●簡易図形表示





レベル3

●地図表示





アドバイス

レベル3の地図表示はエリアによって表示できないことがあります。

2. VICS 機能

VICS提供放送局の選択

VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

1 情報･G･BTナビ画面(情報)で、**VICS** にタッチします。

2 **VICS選局** にタッチします。



3 **オート** 、または **マニュアル** にタッチします。

- **オート** ……自動で選選択します。
- **マニュアル** …手動（エリアまたは周波数）で選択します。
- 初期設定は、**オート** が選択されています。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局（または放送エリア）を選択してください。



自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に放送局が切り替わります。

1 **オート** にタッチします。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチの色が明るくなります。



エリアで選選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。



3 **完了** にタッチします。

周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 **TUNE▲** 、または **TUNE▼** にタッチして、放送局の周波数を選びます。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。



3 **完了** にタッチします。

2. VICS 機能

アドバイス

- 通常は **オート** でご使用ください。
- VICS情報が受信できる代表的な周波数（2010年3月現在）

北海道（旭川地区　85.8MHz）（函館地区　87.0MHz）（札幌地区　85.2MHz）
（室蘭地区　88.0MHz）（釧路地区　88.5MHz）（帯広地区　87.5MHz）
（北見地区　86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

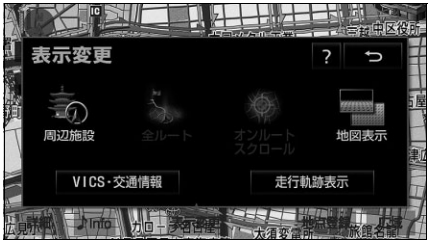
- 以前（前回）にVICSのFM多重放送局をマニュアル設定したときは、その放送局の周波数が設定されています。
- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- 自動およびエリアで受信した周波数は、その都道府県で受信できる放送局を選局します。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
- 情報提供エリアの違いによって情報内容が異なります。
- VICS FM多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

VICS・交通情報表示の設定

地図（レベル3）に表示するVICS・交通情報を設定することができます。また、VICS・交通情報を表示する道路の色を切り替えることができます。

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。

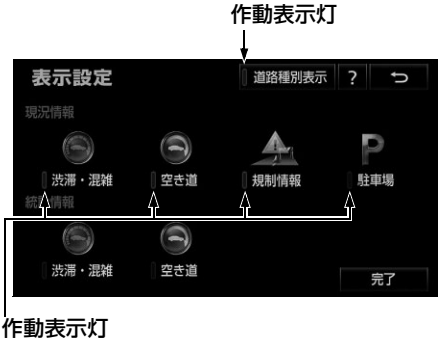


4 VICS・交通情報（現況情報）を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

●「表示する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

- **渋滞・混雑** ･･･渋滞・混雑情報の表示
- **空き道** ･･･空いている道の情報の表示
- **規制情報** ･･･事象・規制情報の表示
- **駐車場** ･･･駐車場情報の表示
- **道路種別表示** ･･･VICS表示道路色の切り替え（次ページ参照）

● VICSマーク(259ページ参照)は、**規制情報** 、または **駐車場** を設定していないと表示されません。



5 **完了** にタッチします。

2. VICS 機能

VICS表示道路色を切り替える

VICS・交通情報を表示する道路の色を切り替えることができます。

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。



4 **道路種別表示** にタッチします。

●「表示する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

● **設定時の道路色**：道路の種別により色分けして表示（**「凡例」** 856ページ参照）

非設定時の道路色：VICS対象一般道を緑、VICS対象高速道を紫、それ以外の道路を灰色で表示



5 **完了** にタッチします。

VICS・交通情報の表示

地図にVICS・交通情報（VICSマーク・表示）を表示させることができます。



●VICS・交通情報表示



●VICS・交通情報表示（高速略図・地図画面）

VICS・交通情報を地図表示する

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。

3 **全て**（一般道・有料道路）・**高速道のみ**（有料道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）のいずれかにタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- VICS・交通情報が受信されると、タイムスタンプにVICS・交通情報が提供された時刻が表示され、VICS・交通情報が表示されます。
- タイムスタンプの表示は下記になります。
  - VICS 09:57 表示中の地図にVICS情報（レベル3）がある場合
  - 交通情報 --:-- VICS情報を受信していない場合
  - 交通情報 10:00 VICS以外の情報（G-BOOKセンターの情報）のみ受信している場合

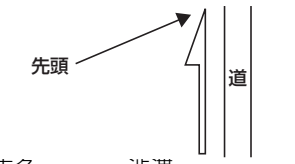


2. VICS 機能

アドバイス

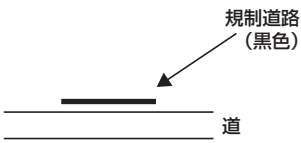
- モーターアンテナ車の設定がONの場合、オーディオがOFFのときはVICS・交通情報を受信することができません。モーターアンテナ車の設定については、**「ラジオアンテナの設定」**64 ページを参照してください。
- 1.6kmスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
- VICSマークによっては、200mスケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。
- VICS・交通情報が表示されているときは、高速略図、高速路線マップ、都市高速マップにVICS・交通情報を表示させることができます。
- VICS・交通情報の表示で **一般道のみ** に設定している場合でも、高速略図にVICS・交通情報を表示することができます。
- 駐車場マップを表示させているときは、VICS・交通情報を表示させることはできません。
- VICS・交通情報が流れていない地域では、情報を得ることはできません。
- ルート上（約10km以内）にVICS・交通情報があるときは、タイムスタンプの色が以下のように替わります。また、タッチスイッチに替わったときは、タッチすると音声案内を聞くことができます。
  - 赤色（渋滞情報）、橙色（混雑情報）、黄色（交通規制情報）
  - タッチスイッチ（VICS 12:36）…渋滞・規制音声案内があるとき
- 統計データ情報（統計情報）を設定（267ページ参照）しているときは、統計データ情報も同時に表示します。VICS・交通情報（現況情報）のみを表示するときは、VICS表示設定画面（前ページ）の統計データ情報（統計情報）の項目をOFFにします。
- G-BOOKセンターの情報は、Gルート探索をすると取得することができます。（731ページ参照）

渋滞情報



赤色……渋滞
橙色……混雑
水色……空いている道

規制情報



VICSマーク



規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）情報の詳細については**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**264ページを参照してください。

VICSマークの内容表示について

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

1 VICSマークにタッチします。

● VICSマークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。



アドバイス

- 渋滞情報は、800mスケール図以上の地図では ═══（矢印なし）で表示されます。
- 統計データを表示中（268ページ参照）はVICS・交通情報（現況情報）を消去すると、統計データも消去されます。個別に表示を消去するときは、**「VICS・交通情報の表示」**257 ページ、**「統計データ情報の表示」**268 ページを参照してください。
- タイムスタンプは、VICS・交通情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- VICS・交通情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動的に消去されます。
- VICS駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。
- VICSマークによっては、内容が表示されないVICSマークもあります。
- リアル市街図ではVICSマークを表示できません。

2. VICS 機能

VICS・交通情報を消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。

3 **非表示** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- VICS・交通情報（現況情報）が表示されなくなります。
- タイムスタンプは、表示されなくなります。



渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、約10km以内のルート上のVICS・交通情報を音声でお知らせします。
また、音声を聞き逃したときは、もう一度音声を聞くことができます。

〔音声案内の例〕

● VICS渋滞表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」
● VICSマークのある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」
音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制の音声自動発声を設定する

渋滞・規制音声自動発声をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

渋滞・規制音声自動発声をするか、しないか選ぶことができます。（77ページ参照）

渋滞・規制を音声で案内する

渋滞・規制音声案内を聞くことができます。ルート上にVICSの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチ（VICS 09:57）に切り替わります。

1 地図を表示させているときに、タイムスタンプにタッチします。

● 渋滞・規制案内情報が音声で案内されます。



タイムスタンプ

アドバイス

- 〔音声案内の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。（86ページ参照）
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が行われなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。
- VICS渋滞・規制音声自動発声が **しない** に設定されているときは、タイムスタンプ（タッチスイッチ）から渋滞・規制の音声案内を出力することができます。

2. VICS 機能

VICS図形情報の表示

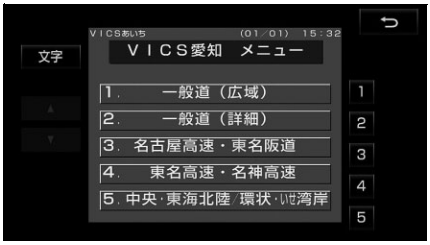
1 情報・G・BTナビ画面（情報）で、**VICS** にタッチします。

2 **FM図形** にタッチします。



3 表示させる図形情報の番号にタッチします。

● **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。



4 ▲、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

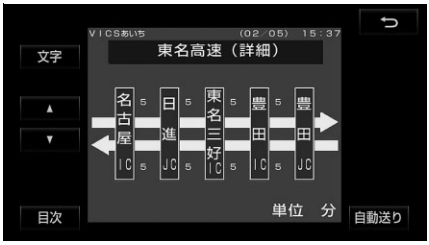
● ▲、または ▼ にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。

● **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りできません。）

● 図形情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。

● **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。

● **目次** にタッチすると、目次にもどります。



アドバイス

● モーターアンテナ車の設定がONの場合、オーディオがOFFのときはVICS・交通情報を受信することができません。モーターアンテナ車の設定については、**「ラジオアンテナの設定」** 64 ページを参照してください。
● 受信している放送局により、送られてくるメニューが異なる場合があります。
● 緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** から再表示することができます。

VICS文字情報の表示

1 情報・G・BTナビ画面（情報）で、**VICS** にタッチします。

2 **FM文字** にタッチします。



3 表示させる文字情報の番号にタッチします。

● **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。



4 ▲ 、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

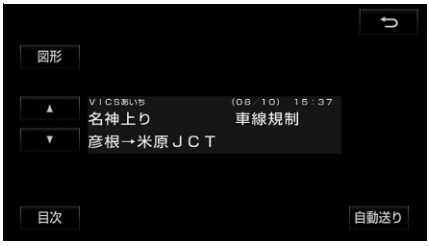
● ▲ 、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

● **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りできません。）

● 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送り中に ▲ 、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。

● **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。

● **目次** にタッチすると、目次にもどります。



アドバイス

● モーターアンテナ車の設定がONの場合、オーディオがOFFのときはVICS・交通情報を受信することができません。モーターアンテナ車の設定については、**「ラジオアンテナの設定」**64 ページを参照してください。
● 受信している放送局により、送られてくるメニューが異なる場合があります。
● 緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** から再表示することができます。

2. VICS 機能

地図に表示されるVICS表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表　示	情報内容	表　示	情報内容
	事故		駐車場 空（青）
	故障車		駐車場 満（赤）
	路上障害		駐車場 混雑（橙）
	注意（青）		駐車場 不明（黒）
	注意（地震警戒宣言）（黒）		駐車場 閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30㎞/h（規制により変わります）
	左折禁止		SA PA情報 空（青）
	直進禁止		SA PA情報 満（赤）
	片側交互通行		SA PA情報 混雑（橙）
	チェーン規制		SA PA情報 不明（黒）
	進入禁止		イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して１つのマークで表示することがあります。

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

(1) 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

(2) 交通情報関連の用語

①渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。

②混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

(3) 駐車場情報関連の用語

①満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。

②混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。

③空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。

④不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。

⑤閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSの問い合わせ先

● VICS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して
● 地図表示（レベル3）の内容に関して
● VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して
これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● 文字表示（レベル1）の内容に関して
● 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
● VICSの概念、サービス提供エリアに関して
これらの内容のお問い合わせは、(財) VICSセンター（東京）までご連絡ください。

電話受付　＜受付時間　09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く＞
電話番号　0570-00-8831（全国）
（全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。）
※ PHSからはご利用できません。
FAX受付　＜受付時間　24時間＞
FAX番号　03-3592-5494（東京）

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

なお、お問い合せ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

2. VICS 機能

渋滞考慮とは

収録された渋滞統計データやVICS情報、G-BOOKセンターから提供されたG-BOOK mX/G-BOOK mX Proユーザーの走行情報※、走行した道路、曜日・時間帯から渋滞を予想し、所要時間が少なくなるようなルートを探索することができます。

また、走行した道路、曜日・時間帯などを学習（**「交通状況学習機能とは」** 269 ページ参照）し、収録された渋滞統計データを更新することができます。

※G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしている場合、渋滞予測情報が考慮されます。（726ページ参照）









渋滞考慮機能は、以下の機能に反映されます。

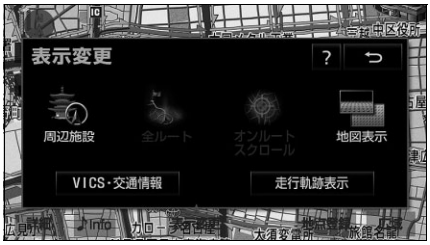
- 5ルートの探索（166ページ）
- ルート探索時の到着予想時間の計算（188ページ）
- ルートの再探索（203ページ）

統計データ情報表示の設定

地図に表示する統計データ情報を設定することができます。

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



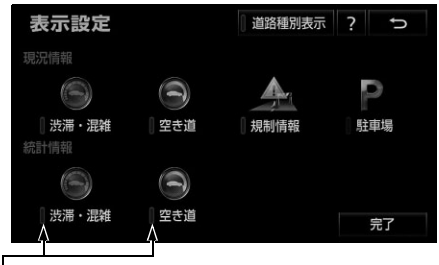
3 **表示設定** にタッチします。



4 統計データ情報（統計情報）を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

●「表示する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

- **渋滞・混雑** ･･･渋滞・混雑情報の表示
- **空き道** ･･･空いている道の情報の表示



作動表示灯

5 **完了** にタッチします。

2. VICS 機能

統計データ情報の表示

収録された渋滞統計データと走行した道路情報から渋滞を予想し、地図上に ーーー（破線）で表示することができます。
（VICS情報の表示が設定されているときは、受信したVICS情報と統計データ情報を同時に表示することができます。）



● 統計データ情報表示



● VICS情報および統計データ情報表示

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通情報** にタッチします。



3 **全て**（一般道・有料道路）・
高速道のみ（有料道路のみ）・
一般道のみ（一般道のみ）のいずれかにタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

● **非表示** にタッチすると、表示が消去されます。



アドバイス

- 統計データ情報は 800m スケール以下の地図に破線で表示されます。（リアル市街図を除く）
  - 赤色 ･･･ 渋滞
  - 橙色 ･･･ 混雑
  - 水色 ･･･ 空いている道
- VICS情報（現況情報）を設定（255ページ参照）しているときは、VICS情報も同時に表示します。
  統計データ情報（統計情報）のみを表示するときは、VICS表示設定画面（前ページ）のVICS情報（現況情報）の項目をOFFにします。

交通状況学習機能とは

走行した道路や日時・曜日、交通状況を学習し、地図上に表示することができます。

また、学習した情報を考慮したルート探索や目的地までの所要時間を算出することができます。学習した情報を考慮したルート探索や所要時間については、**「渋滞考慮ルート探索の設定」**158 ページ、**「到着予想時刻表示の設定」**188 ページを参照してください。



●交通状況学習結果画面

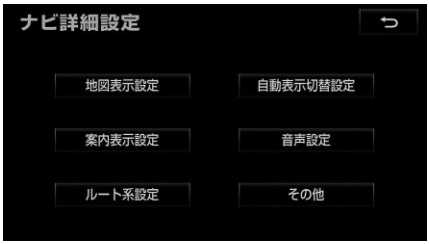
交通状況学習結果の表示

曜日、時間の情報と交通状況を学習した道路の結果を地図上に表示することができます。

● 学習する回数により、表示する太さが変わります。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 交通状況学習結果の表示の **表示する** にタッチします。



アドバイス

- 交通状況学習機能は幅 5.5m 以上の道路を対象にしています。そのため細街路は学習することができません。
- **初期状態** にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。（交通状況学習結果は初期設定の状態にもどりません。）

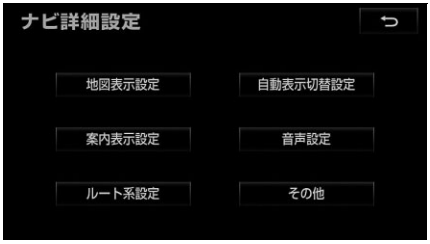
2. VICS 機能

交通状況学習結果の消去

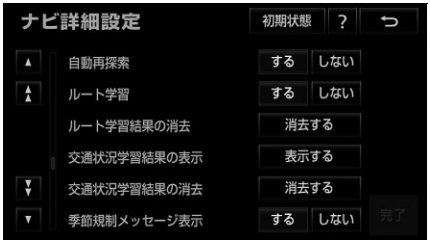
交通状況の学習結果を消去することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。

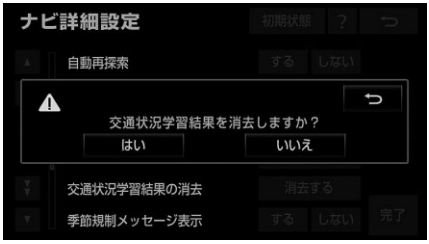


3 交通状況学習結果の消去の **消去する** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



アドバイス

初期状態 にタッチすると、ナビ詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。
（交通状況学習結果は初期設定の状態にもどりません。）

3. 電話帳（交通・ナビ関連）機能

電話帳（交通・ナビ関連）の検索

JAF（日本自動車連盟）や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定されている目的地（151ページ）や登録されているメモリ地点に電話番号が入力（217ページ）されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。

1 情報･G･BTナビ画面（情報）で、**電話** にタッチします。

2 **交通・ナビ** にタッチします。



3 表示させる項目にタッチします。

● **目的地**（1カ所のみ設定されているとき）にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



4 表示させる施設のある都道府県名にタッチします。

● **3** で **メモリ地点**、または **目的地**（2カ所以上設定されているとき）にタッチしたときは、地点名称にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



5 表示させる施設名称にタッチします。

● 施設名称と電話番号が表示されます。

● **📞** にタッチすると、呼び出した電話番号に電話をかけることができます。（630ページ参照）



アドバイス

- メモリ地点に電話番号が入力されていないときは、リストを表示しますが電話番号を検索することはできません。
- 目的地に電話番号情報がないときは、タッチスイッチを表示しますが電話番号を検索することはできません。

4. FM多重放送

FM多重放送の番組について

ＦＭ多重放送は１つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

● **連動情報番組**
ＦＭ音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

● **独立情報番組**
ＦＭ音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

FM多重放送の表示

1 情報・G・BTナビ画面（情報）で、**FM多重** にタッチします。

● FM　モードで選ばれている放送局の連動情報番組が表示されます。



放送局の切り替え

1 **自動選局** にタッチします。

● FM音声を聞いているときは、パネルスイッチ（449ページ参照）でも、切り替えることができます。



アドバイス

● 走行中は表示させることができない番組もあります。また、ＦＭ多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。
● オーディオ・ビジュアルの電源がＯＦＦのとき、またはＡＭ放送（交通情報放送を含む）を受信しているときやFM放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、ＦＭ多重放送を表示させることはできません。
● ＦＭ多重放送を表示させているときに、ＦＭ多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
● ＦＭ多重放送を表示させているときは、そのＦＭ多重放送を放送している放送局の番組の音声のみ聞くことができます。
（文字情報を表示させているＦＭ多重放送局とは別のＦＭ放送局の番組の音声を聞くことはできません。）
● テレビの音声を聞いているときに、FM 多重放送を受信すると雑音がはいることがあります。

番組の切り替え

1 目次 にタッチします。

● 番組連動 にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。(連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチの色が明るくなります。)



2 表示させる番組の番号にタッチします。



独立情報番組のページ送り

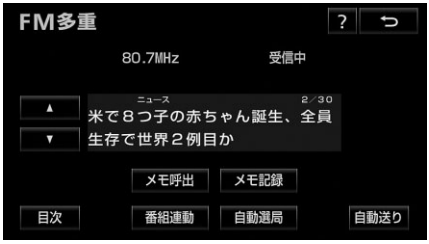
連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（ ▲ ・ ▼ が表示されます。）が送られる独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

1 ▲ 、または ▼ にタッチするか、自動送り にタッチします。

● ▲ 、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

● 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。

● 文字情報の自動送りを停止するときは 停止 にタッチします。
また、自動送り中に ▲ 、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。



アドバイス

緊急情報を受信しているときは、自動送りできません。

4. FM 多重放送

連動情報番組の文字情報を繰り返し見る

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度見たいときは ▲ にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

1 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

- タッチすると、文字情報の自動切り替えが中断されます。
- 自動切り替えを中断したとき、**最新情報** にタッチすると、最新の文字情報にもどり、もとの状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。



文字情報の記録・呼び出し・消去

記録する

1 記録する文字情報を表示させ **メモ記録** にタッチします。

● 記録項目は最大20件です。

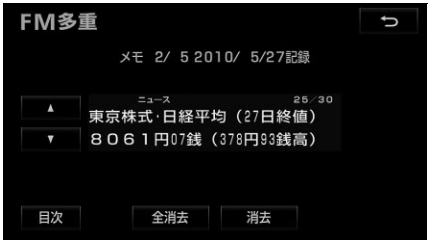


呼び出す

1 **メモ呼出** にタッチします。

● 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

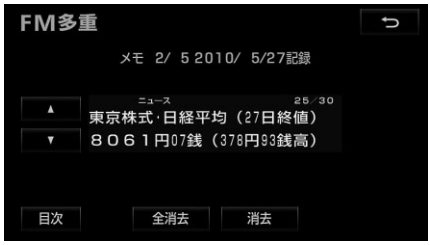
2 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。



消去する

1 **メモ呼出** にタッチして文字情報を呼び出します。

2 ▲ 、または ▼ にタッチして、消去する文字情報を表示させます。



3 **消去** にタッチします。

● すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



アドバイス

記録する内容によっては、20件記録できないこともあります。

5. デモ機能

デモ機能はナビゲーションで一般によく使われる一連の操作を確認することができます。

デモンストレーション画面

1 情報·G·BTナビ画面(情報)で、**デモ** にタッチします。

● デモンストレーション画面になります。



デモの表示

ナビゲーションの各操作方法のデモを画面表示と音声で紹介します。

1 デモンストレーション画面から希望の項目にタッチします。

● 選択したデモが開始されます。

● **MAP** 、**DEST** にタッチするとデモが中止されます。



アドバイス

● デモ機能で表示される画面は、実際の画面と異なる場合があります。
● デモ機能は地図データを更新すると使用できない場合があります。

6. カレンダー機能

カレンダー機能は、GPSの時刻情報を利用して、カレンダー画面や日時を表示します。

カレンダー画面の表示

1 情報・G・BT　ナビ画面（情報）で、**カレンダー** にタッチします。



- **▲月** ・ **▼月** にタッチすると、表示される月が切り替わります。
- **▲▲年** ・ **▼▼年** にタッチすると、表示される年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、**今月** にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。

アドバイス

カレンダーは、2029年まで表示することができます。

1. 情報・G・BTナビ画面（BTナビ）について

携帯連携機能は、携帯電話で表示している地点情報を本機に転送して、目的地に設定したりメモリ地点に登録することができます。また、本機で設定されている現在地と目的地を携帯電話に転送することもできます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

情報・G・BTナビ画面（BTナビ）

1 G・INFO にタッチします。

● 情報・G・BTナビ画面（BTナビ）が表示されます。

● BT　ナビ以外が選択されているときは、BTナビ にタッチします。



●情報・G・BTナビ画面（BTナビ）

2 タッチスイッチにタッチして、項目を決定します。

● 情報・G・BTナビ画面（BTナビ）から下記の操作を行うことができます。

タッチスイッチ	機能	ページ
地点を送信	現在地と、ナビに設定されている目的地すべての地点情報を、ハンズフリー接続中の携帯電話に転送することができます。	次ページ
地点を受信	本機に登録されている携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機に転送して、その場所の地図を呼び出すことができます。	280

⚠ 警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

2. 地点情報の送信

現在地の地点情報を、Bluetooth携帯電話へ転送することができます。目的地が設定されている場合、目的地までのすべての地点情報を転送することができます。

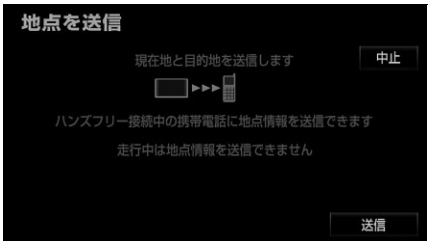
1 情報・G・BTナビ画面（BTナビ）で、**地点を送信** にタッチします。

2 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にします。

- 携帯電話の操作は、地点を送信画面が表示されているときに行ってください。
- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書を参照してください。

3 **送信** にタッチします。

- 位置情報を転送するとメッセージが表示され、現在地画面が表示されます。
- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



アドバイス

- ハンズフリー（620 ページ参照）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- 転送画面表示中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、転送の操作が完了している場合、転送が完了してから画面が切り替わります。
- 転送中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ（464 ページ参照）、およびハンズフリー（610 ページ参照）の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。（機種によっては接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。）

3. 地点情報の受信

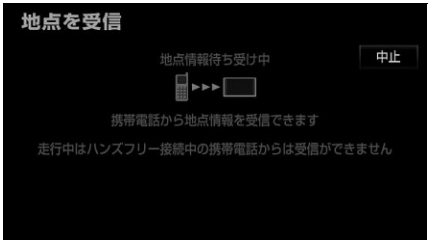
携帯電話で表示している地点情報を本機に転送して、目的地に設定したりメモリ地点に登録することができます。

1 情報・G・BTナビ画面（BTナビ）で、**地点を受信** にタッチします。

- 目的地設定画面や目的地追加画面（121 ページ参照）で **地点を受信** にタッチしても操作することができます。

2 携帯電話から位置情報を転送します。

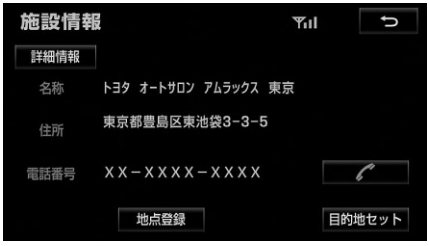
- 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（145 ページ参照）
- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。



- **目的地セット** 、 **新規目的地** 、 **追加目的地** のいずれかにタッチすると、転送した地点を目的地に設定することができます。（151 ページ参照）
- **地点登録** にタッチすると、転送した地点をメモリ地点として登録することができます。（208 ページ参照）
- **情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。



- 詳細情報がある場合、 **詳細情報** にタッチすると、詳細な情報が表示されます。



アドバイス

- 本機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。(618 ページ参照)
- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー (620 ページ参照) に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 転送中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にしたときは、転送が中止されます。エンジンスイッチをON、またはACCにして再度操作を行ってください。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ (464 ページ参照)、およびハンズフリー (610 ページ参照) の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると、再接続されます。(機種によっては接続に時間がかかったり、再接続できないことがあります。)
- 携帯電話で地図を呼び出したときに マークが表示されないことがあります。また マークが表示されても施設内容の表示ができないことがあります。提携駐車場の検索はできません。
- 受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。
- 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

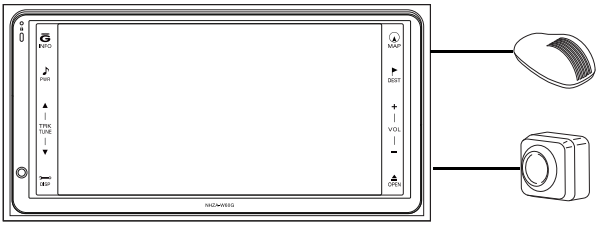
1. 音声操作システムの操作について

音声操作システムの構成

音声操作システム（音声入力マイク＆スイッチ）を使用することにより、音声操作コマンドを話して、ナビゲーションの操作を行うことができます。また、走行中、操作できなかった機能を使うことも可能になります。

音声操作コマンドについては、次のいずれかの方法で確認することができます。

● **本機の画面**……音声操作の**「コマンドリストの表示」**（285ページ参照）
● **取扱書の一覧表**……本書の**「音声操作コマンド一覧表」**（300ページ参照）



音声入力マイク
音声入力を認識します。

音声入力スイッチ
音声操作への切り替えや、解除に使用します。

音声認識機能に関する制限事項

(1) 音声認識には、雑音や周囲の話し声が大きいとうまく認識できない場合があります。
・窓を開けた状態
・エアコンのファンの音が大きいとき
・路面が悪く、走行雑音が大きいとき
・同乗者の話し声があるとき
(2) 画面を切り替える音声操作コマンドは、音声認識中に画面が遷移すると、コマンドの実行ができない場合があります。
(3) 音声認識できる施設やジャンルは地図データに依存します。地図データを更新すると内容が変更されることがあります。また、音声認識できるコマンドも地図データに依存します。スイッチの表示名称と音声操作コマンドが異なる場合があります。
(4) 走行・表示・案内などの状況で音声認識時間が長くなることがあります。
(5) 音声認識動作中は、案内音声の発声やオーディオの音声も中断されます。
(6) 画面状態によっては音声認識機能が使えないことがあります。この間に音声入力スイッチを押しても操作できません。
(7) メモリ地点の「名称読み」に入力した言葉が、住所・施設・コマンドなど他の音声操作コマンドと重複した場合、メモリ地点以外のコマンドが優先されます。
(8) 音声操作コマンドによっては、実行できる画面が特定されているコマンドがあります。
(9) 音声認識中のマークが表示されている間に次のコマンドを話すと、その前に話したコマンドが無効になります。

音声を正しく認識するために

音声操作システムは音声操作コマンドを正しく話さないと認識しない場合があります。
正しく認識させるため以下の点に留意してください。

●話す前は、必ず音声入力スイッチを短く押してください。
●“ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に話した場合は正しく認識されません。
●大きな声でハッキリと話してください。
●声色によっては、認識されづらいこともあります。
●騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、話すときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
●方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで話してください。
●地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで話してください。

1. 音声操作システムの操作について

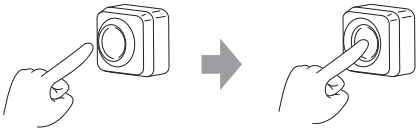
音声操作システムの操作方法

音声操作システムを使用することで、様々な機能を音声操作で使用できます。

音声操作の開始・操作について

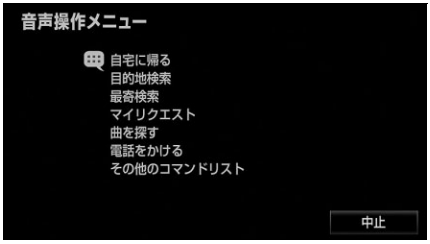
音声操作を開始する方法と、音声認識中の基本操作を覚えましょう。

1 音声入力スイッチを短く押します。



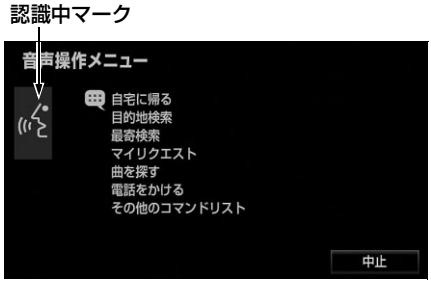
2 認識できるコマンドリストが表示され、「ピッと鳴ったらお話しください」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。

● 音声認識モードになります。

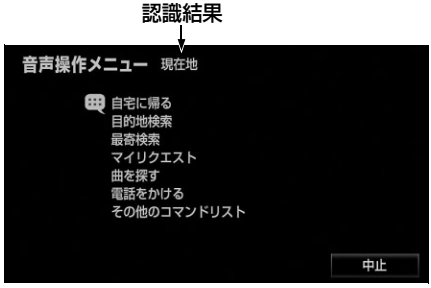


3 <ピッ>と音がしてから約6秒以内に、操作したいコマンドを話してください。

● 音声認識中は、“認識中マーク”が表示されます。



4 コマンドが認識されると、認識結果やメッセージが表示されると同時に音声ガイドが出力され、認識されたコマンドが実行されます。



アドバイス

- 音声操作をするときは、音声入力スイッチを短く押してください。
- 音声入力スイッチを押した後の音声ガイドは、上記と異なる音声ガイドが出力されることがあります。

コマンドを言い間違えたり、認識結果が違うとき

コマンドを言い間違えたり、認識結果が違うときは、<ピッ>と音がしてから約6秒以内に**「戻る」**と話すと、コマンドの言い直しができます。

連続して音声操作をするとき

目的地検索など連続して音声操作をする場合があります。（次ページ参照）

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

- コマンドを認識できなかったとき
- ▲、または ▼ にタッチしたとき

この場合、音声入力スイッチを押すと再開できます。

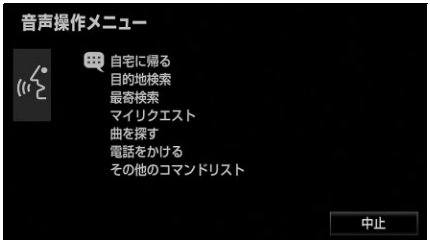
音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時に音声入力スイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作を行うことができます。

音声操作の中止について

次の操作をすると、音声操作を中止できます。

- 音声入力スイッチを<ピーッ>と音がするまで押し続ける。
- 操作可能なパネルスイッチを操作する。
- 音声認識中に **中止** にタッチする。
- 音声認識中に**「中止」**と話す。



コマンドリストの表示

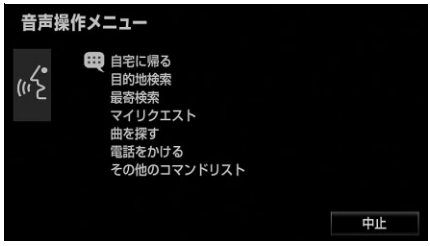
使用可能なコマンドのリストを画面に表示することができます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

- 「ピッと鳴ったらお話しください」
  <ピッ>

2 **「その他のコマンドリスト」**と話します。

- 「コマンドリストを表示します」
  「コマンドを直接お話しください」



3 コマンドリストで操作したいコマンドを確認します。

- 表示されているコマンドを話して、操作することができます。
- ▲、または ▼ にタッチすると、ページを切り替えることができます。



2. 音声操作システムの使用例

ここでは音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してください。

文中の表記は次のようになっています。
●（○○○） ……スイッチなどの操作
●「○○○」 ……本機から出力される音声ガイド
● ＜○○○＞……本機から出力される操作音
●**「○○○」** ……話すコマンドなど

ここで紹介するのは一例ですので、説明にないコマンドの使い方は、**「音声操作コマンド一覧表」**300 ページを参照してください。

周辺施設の表示

地図に周辺施設の施設ランドマークを表示することができます。

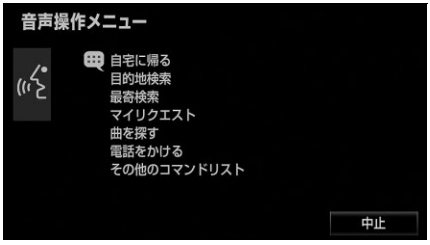
■ ここでは、例として「コンビニ」を表示します。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

2 **「コンビニエンスストア全て」**と話します。

●「コンビニエンスストアの施設を表示します」
● コンビニの施設ランドマークが地図に表示されます。



目的地を自宅に設定

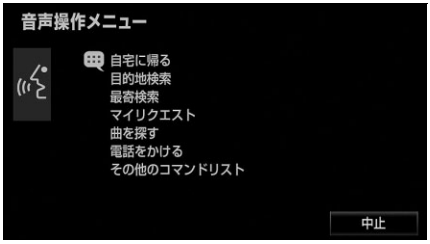
自宅を目的地に設定して、ルートを探索することができます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
<ピッ>

2 **「自宅に帰る」**と話します。

●「自宅を表示します」
●「新規目的地とお話しください」
<ピッ>



3 **新規目的地** にタッチ、または**「新規目的地」**と話します。

●「新規で自宅を目的地にセットします」



自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

● 自宅以外を目的地に設定する場合は、音声操作で目的地を検索してから、**3** の操作をします。
● すでに目的地が設定されている場合の操作は、**「目的地が設定されているとき」** 291 ページを参照してください。

アドバイス

自宅が登録されていない場合は使用できません。登録してから使用してください。（208 ページ参照）

2. 音声操作システムの使用例

目的地を施設名で検索して設定

施設名から地図を検索することができます。
施設名で検索するときは、原則として「都道府県名＋施設名」を話します。

- 都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて話しても、都道府県名だけ話して、次の音声ガイドの後に施設名を話すというように、分けて話しても認識することができます。

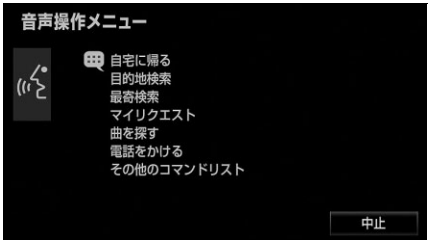
■ ここでは、例として「東京都のとしまえん」を検索します。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

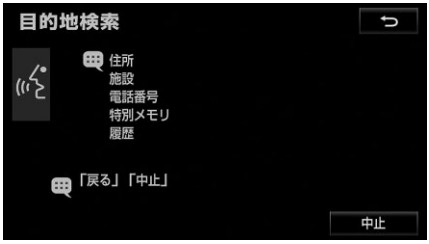
2 **「目的地検索」**と話します。

●「目的地を探します」
「検索方法をお話しください」
＜ピッ＞



3 **「施設」**と話します。

●「施設名から探します」
「都道府県名と施設名をお話しください」
＜ピッ＞



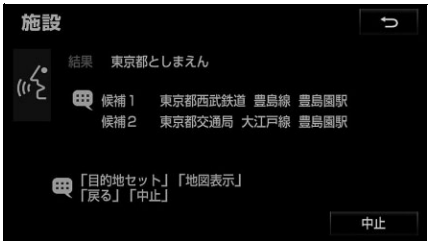
4 **「東京都 としまえん」**と話します。

●「東京都 としまえんが検索されました」
「地図表示、または目的地セットとお話しください」
＜ピッ＞



5 **「目的地セット」**と話します。

●「新規でここを目的地にセットします」



「東京都のとしまえん」を目的地に設定して、ルートが探索されます。

●**「地図表示」**と話したときは、**「目的地を自宅に設定」**（287ページ参照）の **3** の操作をして、目的地に設定することができます。

6 **「目的地セット」**と話したとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。



● **セット** 、 **他の道路** にタッチ、または**「セット」**、**「他の道路」**と話して目的地を設定する道路の種類を選びます。

アドバイス

検索できる施設は、**「施設で地図を呼び出す」**135 ページから検索できる施設のみとなります。

2. 音声操作システムの使用例

■施設名で検索するときのポイント

次の施設は、都道府県名がわからない場合でも、他の名称で指定することができます。この場合は、続けて話しても、分けて話しても認識することができます。

＜販売店、レンタリース、ジェームス＞

系列名＋店名

例）トヨタ○○ △△店

※ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

＜駅＞

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR 東海道新幹線 東京駅

＜高速IC・SA・PA、有料IC＞

・道路名＋施設名

例）東名高速道路 東京インター

・道路名＋路線名＋施設名

例）[首都高速] [4号新宿線] 新宿インター

※［ ］内はどちらかを省略しても認識することができます。

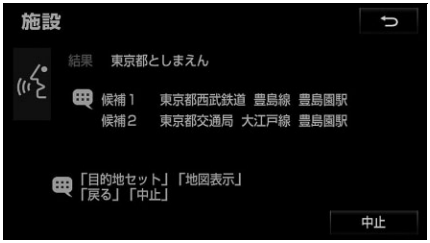
アドバイス

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を話す必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を話す必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名称は、施設名称のみで認識されます。また、施設名称の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
  例）千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と話せば認識され、“千葉県”を話す必要はありません。
- 施設名は、**「施設で地図を呼び出す」**135 ページで表示される施設名称を参照して、正確に話してください。

発声を間違えたとき

都道府県名、施設名などを間違えたときは、次のように操作します。

1 音声ガイドのあと＜ピッ＞と音がしたら、約6秒以内に**「戻る」**と話します。

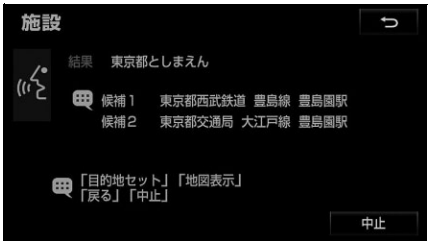


検索した結果が違うとき

検索したかった結果が候補にあるときは、次のように操作します。

- 候補は、最大2件まで表示することができます。

1 **「候補○（数字）」**と話します。



目的地が設定されているとき

すでに目的地が設定されているときは、目的地の追加や変更をすることができます。

目的地を追加する

1 **追加目的地** にタッチ、または**「追加目的地」**と話します。

- 設定済みの目的地に、検索した結果を新たに一番手前の目的地として追加します。



新しく目的地を設定する

1 **新規目的地** にタッチ、または**「新規目的地」**と話します。

- 設定済みの目的地を削除して、検索した結果を新規に目的地に設定します。



アドバイス

- 希望の検索結果がないときは、必要な手順に戻って再度入力するか、最初から操作をやり直してください。
- 候補が表示されていないときは、他の候補がないため操作することはできません。

2. 音声操作システムの使用例

目的地を住所で検索して設定

住所で地図を検索することができます。

- 住所は、番地まで一度に話しても、途中で区切って話しても認識することができます。
- 大字・字・番地・号は、省略して話してください。
- 「ー」は**「の」**、または**「はいふん」**と話してください。

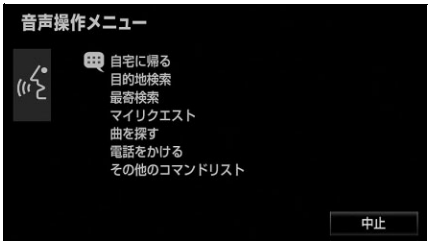
■ ここでは、例として「大阪府大阪市港区海岸通１丁目1-10」を検索します。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
<ピッ>

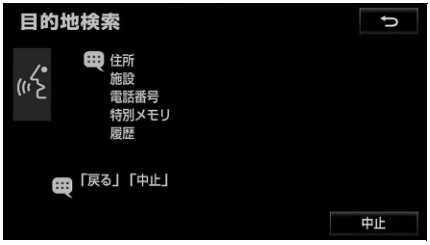
2 **「目的地検索」**と話します。

●「目的地を探します」
「検索方法をお話しください」
<ピッ>



3 **「住所」**と話します。

●「住所から探します」
「住所を都道府県からお話しください」
<ピッ>

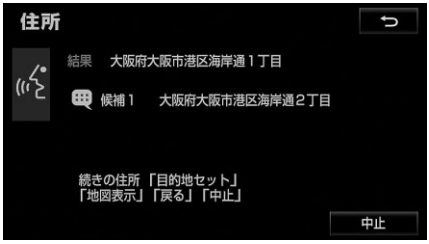


4 **「大阪府大阪市港区海岸通１丁目」**と話します。

●「大阪府大阪市港区海岸通１丁目」
「続きの住所をお話しください」
<ピッ>

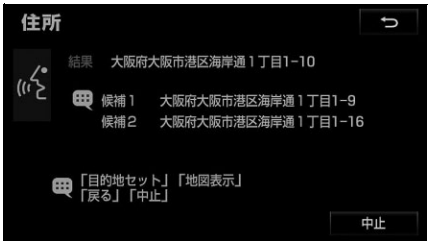
5 **「1ー 10」**と話します。

●「大阪府大阪市港区海岸通１丁目1ー 10」
「地図表示、または目的地セットとお話しください」
<ピッ>



6 「目的地セット」と話します。

●「新規でここを目的地にセットします」



大阪府大阪市港区海岸通１丁目1ー 10を目的地に設定してルートが探索されます。

- **「地図表示」**と話したときは、**「目的地を自宅に設定」**（287ページ参照）の 3 の操作をして、目的地に設定することができます。
- すでに目的地が設定されているときは **「目的地が設定されているとき」** 291 ページを参照してください。
- 発声を間違えたときは**「発声を間違えたとき」** 291 ページを参照してください。
- 検索したかった結果が違うときは**「検索した結果が違うとき」** 291 ページを参照してください。

アドバイス

- 検索できる住所は、**「住所で地図を呼び出す」** 134 ページから検索できる住所のみです。表示される住所を参照して正確に話してください。
- すべての地名を話さないで **「地図表示」** と話すと、最後に話した地名の広域図が表示されます。

2. 音声操作システムの使用例

目的地を電話番号で検索して設定

電話番号から地図を検索することができます。
数字は一度にすべて話しても、分けて話しても認識することができます。ただし、電話番号を分けて話す場合は、区切る位置に注意してください。（**「音声操作で入力するときのポイント」**を参照してください。）

■音声操作で入力するときのポイント

＜電話番号＞

分けて話すときは、局番単位で区切って話してください。また、「ー」は省略して話してください。
例）「0123ー 45ー 6789」を話す場合は、次のように話してください。

- **一度にすべて話すとき**
  「ゼロ、イチ、ニー、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュー」
- **分けて話すとき**
  「ゼロ、イチ、ニー、サン」＋「ヨン、ゴ」＋「ロク、ナナ、ハチ、キュー」

市内局番は、桁読みで話すことができます。
例）「0123ー 45ー 6789」を話す場合は、次のように話してください。
「ゼロ、イチ、ニー、サン」＋「ヨンジュウゴ」＋「ロク、ナナ、ハチ、キュー」

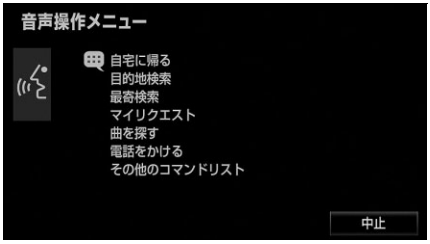
■ ここでは、例として「0123-45-6789」を検索します。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

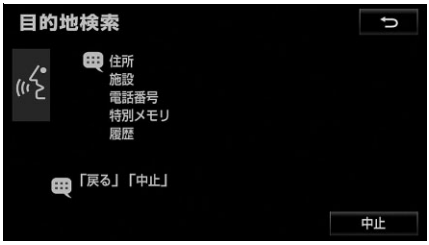
2 **「目的地検索」**と話します。

●「目的地を探します」
「検索方法をお話しください」
＜ピッ＞



3 **「電話番号」**と話します。

●「電話番号から探します」
「電話番号を市外局番からお話しください」
＜ピッ＞



4 **「0123」**と話します。

●「0123」
「続きの電話番号をお話しください」
＜ピッ＞



5 **「45」**と話します。

●「012345」
「続きの電話番号をお話しください」
＜ピッ＞

6 **「6789」**と話します。

●「0123456789」
「検索とお話しください」
＜ピッ＞

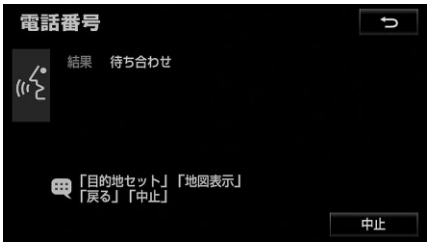
7 **「検索」**と話します。

●「該当する電話番号の施設が見つかりました」
「地図表示、または目的地セットとお話しください」
＜ピッ＞



8 **「目的地セット」**と話します。

●「新規でここを目的地にセットします」



該当する電話番号の施設を目的地に設定してルートが探索されます。

- **「地図表示」**と話したときは、**「目的地を自宅に設定」** 287 ページの **3** の操作をすれば、目的地に設定することができます。
- すでに目的地が設定されているときは **「目的地が設定されているとき」** 291 ページを参照してください。
- 発声を間違えたときは**「発声を間違えたとき」** 291 ページを参照してください。
- 検索したかった結果が違うときは**「検索した結果が違うとき」** 291 ページを参照してください。

アドバイス

- 電話番号が該当しないときは、広域地図を表示します。
- 複数の施設を検索したときは、候補を表示します。

2. 音声操作システムの使用例

目的地を履歴で検索して設定

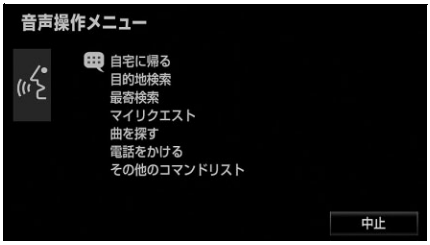
以前に設定した目的地から地図を検索することができます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
<ピッ>

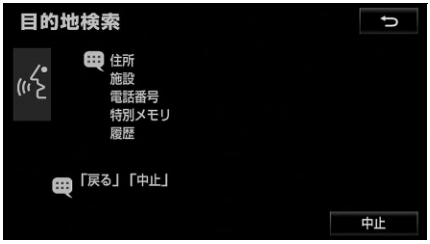
2 **「目的地検索」**と話します。

●「目的地を探します」
「検索方法をお話しください」
<ピッ>



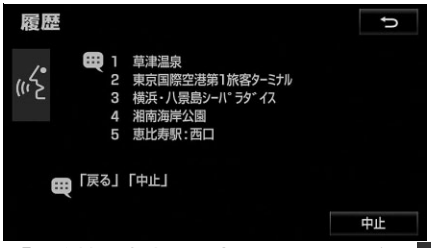
3 **「履歴」**と話します。

●「履歴を目的地にセットできます」
「履歴の番号をお話しください」
<ピッ>



4 **「○（数字）」**と話します。

●「目的地履歴○を表示します」



●**「目的地を自宅に設定」**287 ページの **3** からの操作をして、目的地に設定することができます。

目的地を特別メモリ地点で検索して設定

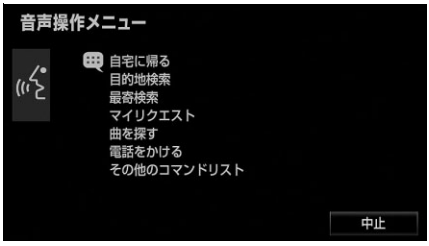
登録してある特別メモリ地点で地図を検索することができます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
<ピッ>

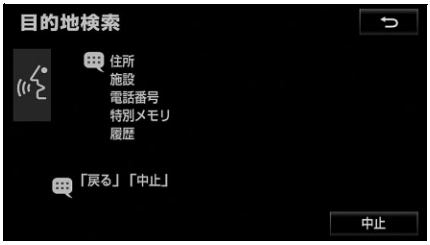
2 **「目的地検索」**と話します。

●「目的地を探します」
「検索方法をお話しください」
<ピッ>



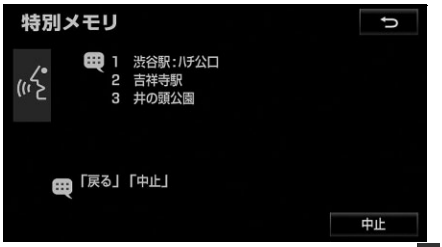
3 **「特別メモリ」**と話します。

●「特別メモリを目的地にセットできます」
「特別メモリの番号をお話しください」
<ピッ>



4 **「○（数字）」**と話します。

●「特別メモリ○を表示します」



●**「目的地を自宅に設定」**287 ページの **3** からの操作をして、目的地に設定することができます。

目的地を周辺施設で検索して設定

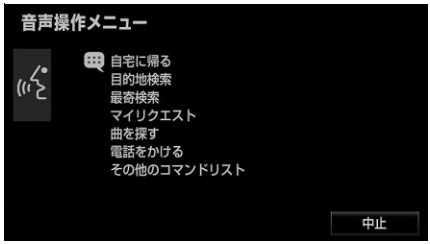
現在地周辺にある施設を検索することができます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
<ピッ>

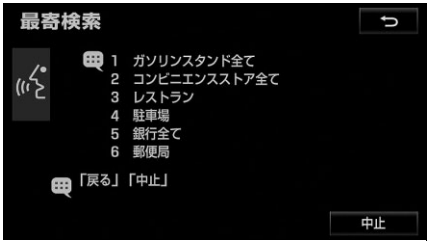
2 **「最寄検索」**と話します。

●「最寄の施設を探します」
「表示されているジャンル名、または番号をお話しください」
<ピッ>



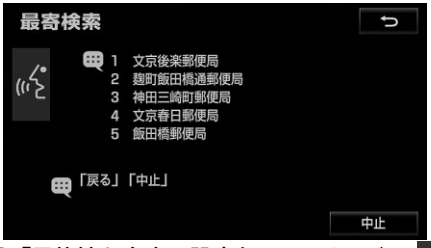
3 **「○（ジャンル名、または番号）」**と話します。

●「周辺の施設を目的地にセットできます」
「施設の番号を選択してお話しください」
<ピッ>



4 **「○（施設の番号）」**と話します。

●「最寄の施設○を表示します」



●**「目的地を自宅に設定」**287 ページの **3** からの操作をして、目的地に設定することができます。

2. 音声操作システムの使用例

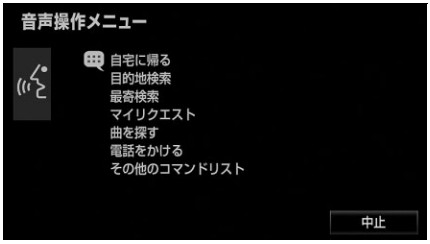
メモリ地点の登録

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

2 **「メモリ地点」**と話します。

●「メモリ地点に登録します」
「よろしければ、はいとお話しください」
＜ピッ＞



●**「ここを登録」**、または**「地点登録」**と音声入力してもメモリ地点に登録することができます。

●**「方向付きメモリ地点」**と音声入力すると、方向付きメモリ地点を登録することができます。

●**「音声付きメモリ地点」**と音声入力すると、音声付きメモリ地点を登録することができます。

3 **「はい」**と話します。

● メモリ地点に登録されます。



メモリ地点の検索

登録してあるメモリ地点の名称読みで地図を検索することができます。

■ ここでは、例としてメモリ地点の名称読みが「マチアワセ」の施設を検索します。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

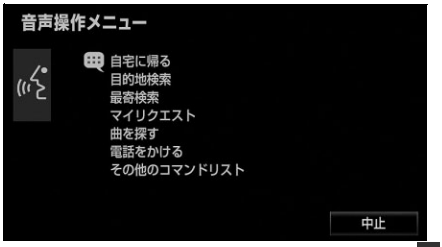
●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

アドバイス

- 登録されている名称読みが短すぎるとき、またはほかのコマンドと類似しているときは、認識されないことがあります。
- メモリ地点の名称読みについては、**「メモリ地点の名称読みを入力する」**216 ページを参照してください。

2 **「マチアワセ」**と話します。

●「マチアワセを表示します」



●**「目的地を自宅に設定」**287 ページの **3** からの操作をして、目的地に設定することができます。

VICS情報の表示

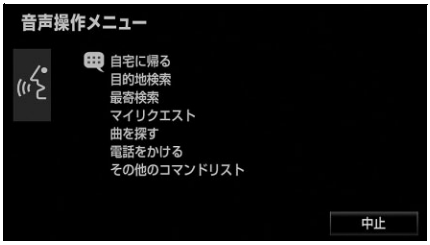
地図を表示させているときにVICS情報をON（表示する）、またはOFF（表示しない）にするかの設定をすることができます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

2 **「VICS（ビックス）表示」**と話します。

●「VICS情報を表示します」



知りたインフォ機能

GPSボイスナビゲーションのさまざまな情報を音声操作で質問して、音声で案内をさせることができます。
質問できる項目については、次のいずれかの方法で確認できます。

● **本機の画面**…… その他のコマンドリスト（285ページ参照）

● **取扱書の一覧表**…… 本書の**「音声操作コマンド一覧表」**次ページ

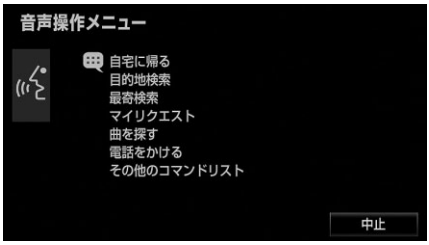
■ **ここでは、例として今日の日付を質問します。**

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

2 **「今日は何日？」**と話します。

●「今日は○月○日　○曜日です」



3. 音声操作コマンド一覧表

この表は、その他のコマンドリストに合わせて作成しています。音声操作を使用するときは、それぞれのコマンド名称の認識語を発声してください。

ナビ操作

画面操作コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
画面消し	がめんけし	画面の表示を消す。

周辺施設表示コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
ガソリンスタンド全て	がそりんすたんどすべて	ガソリンスタンドを表示する。
コンビニエンスストア全て	こんびにえんすすとあすべて	コンビニエンスストアを表示する。
レストラン	れすとらん	レストランを表示する。
駐車場	ちゅーしゃじょー	駐車場を表示する。
銀行全て	ぎんこーすべて	銀行を表示する。
郵便局	ゆーびんきょく	郵便局を表示する。

地図操作コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
現在地	げんざいち	現在地の地図画面を呼び出す。
市街図	しがいず	表示中の地図を25mスケールの市街図に切り替える。
リアル市街図	りあるしがいず	表示中の地図をリアル市街図に切り替える。
2画面表示	にがめんひょーじ	地図を2画面表示に切り替える。
2画面表示解除	にがめんひょーじかいじょ	地図を1画面表示に切り替える。
1画面表示	いちがめんひょーじ	
2D（ツーディー）	つーでぃー	地図を2D表示に切り替える。
3D（スリーディー）	すりーでぃー	地図を3D表示に切り替える。
2D（ツーディー）ツイン	つーでぃーついん	地図をツイン表示に切り替える。
3D（スリーディー）ツイン	すりーでぃーついん	地図を3D・ツイン表示に切り替える。
ノースアップ	のーすあっぷ	表示中の地図の向きをノースアップに切り替える。
ヘディングアップ	へでぃんぐあっぷ	表示中の地図の向きをヘディングアップに切り替える。

音声操作コマンド	読み	機能
地図向き変更	ちずむきへんこー	表示中の地図の向きを切り替える。
右画面2D（ツーディー）	みぎがめんつーでぃー	表示中の右画面地図を2D表示に切り替える。
右画面3D （スリーディー）	みぎがめんすりー でぃー	表示中の右画面地図を3D表示に切り替える。
右画面市街図	みぎがめんしがいず	表示中の右画面地図を25mスケールの市街図に切り替える。
右画面リアル市街図	みぎがめんりある しがいず	表示中の右画面地図をリアル市街図に切り替える。
右画面ノースアップ	みぎがめんのーす あっぷ	表示中の右画面地図の向きをノースアップに切り替える。
右画面ヘディング アップ	みぎがめん へでぃんぐあっぷ	表示中の右画面地図の向きをヘディングアップに切り替える。
右画面地図向き変更	みぎがめんちず むきへんこー	表示中の右画面地図の向きを切り替える。
VICS（ビックス）道路種別表示	びっくすどーろ しゅべつひょーじ	VICS表示設定の“道路種別表示”を“ON”に切り替える。
VICS（ビックス）道路種別解除	びっくすどーろ しゅべつかいじょ	VICS表示設定の“道路種別表示”を“OFF”に切り替える。

3. 音声操作コマンド一覧表

縮尺操作コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
広域	こーいき	表示中の地図を１段階広域に切り替える。
詳細	しょーさい	表示中の地図を１段階詳細に切り替える。
右画面広域	みぎがめんこーいき	表示中の右画面地図を１段階広域に切り替える。
右画面詳細	みぎがめんしょーさい	表示中の右画面地図を１段階詳細に切り替える。
○メートルスケール（○は50、100、200、400、800）	○めーとるすけーる	地図縮尺を○メートルスケールに切り替える。
○キロメートルスケール（○は1.6、3、7、13、26、50、100、200）	○きろめーとるすけーる	地図縮尺を○キロメートルスケールに切り替える。
右画面○メートルスケール（○は50、100、200、400、800）	みぎがめん○めーとるすけーる	右画面の地図縮尺を○メートルスケールに切り替える。
右画面○キロメートルスケール（○は1.6、3、7、13、26、50、100、200）	みぎがめん○きろめーとるすけーる	右画面の地図縮尺を○キロメートルスケールに切り替える。

ルート探索コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
推奨ルート	すいしょーるーと	推奨ルートで探索する。
距離優先	きょりゆーせん	距離優先でルートを探索する。
有料優先	ゆーりょーゆーせん	有料道路優先でルートを探索する。
一般優先	いっぱんゆーせん	一般道路優先でルートを探索する。
別ルート	べつるーと	別ルートでルートを探索する。

案内設定コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
高速略図表示	こーそくりゃくず ひょーじ	高速略図を表示する。
都市高マップ表示	としこーまっぷ ひょーじ	都市高速マップ表示モードにする。
都市高マップ表示解除	としこーまっぷ ひょーじかいじょ	都市高速マップ表示モードを解除する。
ターンリスト	たーんりすと	ターンリストを表示する。
全ルート図	ぜんるーとず	全ルート図を表示する。

目的地設定コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
目的地○（○は１～５）	もくてきち○	○番目に設定されている目的地を表示する。
次の目的地	つぎのもくてきち	次の目的地を表示する。
最終目的地	さいしゅー もくてきち	最終目的地を表示する。
次の目的地削除	つぎのもくてきち さくじょ	次の目的地を削除する。
最終目的地削除	さいしゅーもくてきち さくじょ	最終目的地を削除する。
全ての目的地削除	すべてのもくてきち さくじょ	すべての目的地を削除する。

案内中止・再開コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
案内中止	あんないちゅーし	ルート案内を中止する。
案内再開	あんないさいかい	ルート案内を再開する。

3. 音声操作コマンド一覧表

地点登録コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
方向付き メモリ地点	ほーこーつき めもりちてん	現在地画面の中心位置に現在地進行方向に合わせ、方向付きメモリ地点を登録する。
音声付き メモリ地点	おんせーつき めもりちてん	地図画面の中心位置に、音声付きメモリ地点を登録する。
地点登録	ちてんとーろく	地図画面の中心位置に、メモリ地点を登録する。
メモリ地点	めもりちてん	
ここを登録	ここをとーろく	

音声操作コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
ナビ音量アップ	なびおんりょー あっぷ	ナビゲーションのナビ音量設定を１段階アップする。
ナビ音量ダウン	なびおんりょー だうん	ナビゲーションのナビ音量設定を１段階ダウンする。
案内音声	あんないおんせー	案内音声を出力する。

VICS設定コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
VICS（ビックス）表示	びっくすひょーじ	地図上にVICSレベル３情報を表示するよう設定を切り替える。
VICS（ビックス）表示消去	びっくすひょーじ しょーきょ	地図上に表示しているVICSレベル３情報を消去する。
VICS（ビックス）全て表示	びっくすすべて ひょーじ	地図上にVICSレベル３情報を全道路に表示するよう設定を切り替える。
VICS（ビックス）高速道表示	びっくすこーそくどー ひょーじ	地図上にVICSレベル３情報を高速道のみ表示するよう設定を切り替える。
VICS（ビックス）一般道表示	びっくすいっぱんどー ひょーじ	地図上にVICSレベル３情報を一般道のみ表示するよう設定を切り替える。

アドバイス

VICSに関するコマンドについては、VICS情報が受信できないとき、または受信しても情報がないときは、コマンドを発声しても表示させることができません。

音声操作コマンド	読み	機能
割込情報	わりこみじょーほー	最新の割り込み図形表示画面に切り替える。
ビーコン文字情報/解除※	びーこんもじじょーほー	VICSの割込設定の“文字情報自動割込”を“する”に切り替える。
	びーこんもじじょーほーかいじょ	VICSの割込設定の“文字情報自動割込”を“しない”に切り替える。
ビーコン図形情報/解除※	びーこんずけーじょーほー	VICSの割込設定の“図形情報自動割込”を“する”に切り替える。
	びーこんずけーじょーほーかいじょ	VICSの割込設定の“図形情報自動割込”を“しない”に切り替える。
注意警戒情報/解除※	ちゅーいけーかいじょーほー	VICSの割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“する”に切り替える。
	ちゅーいけーかいじょーほーかいじょ	VICSの割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“しない”に切り替える。
FM文字	えふえむもじ	VICS FM文字情報表示画面に切り替える。
FM図形	えふえむずけー	VICS FM図形情報表示画面に切り替える。
渋滞考慮探索/解除	じゅーたいこーりょたんさく	ナビ詳細設定の“渋滞考慮探索”を“する”に切り替える。
	じゅーたいこーりょたんさくかいじょ	ナビ詳細設定の“渋滞考慮探索”を“しない”に切り替える。
右画面VICS（ビックス）表示/消去	みぎがめんびっくすひょーじ	右画面地図上にVICSレベル3情報を表示するよう設定を切り替える。
	みぎがめんびっくすひょーじしょーきょ	右画面地図上に表示しているVICSレベル3情報を消去する。
VICS（ビックス）渋滞混雑表示/解除	びっくすじゅーたいこんざつひょーじ	VICS表示設定の“渋滞・混雑表示”を“ON”に切り替える。
	びっくすじゅーたいこんざつひょーじかいじょ	VICS表示設定の“渋滞・混雑表示”を“OFF”に切り替える。
VICS（ビックス）空き道表示/解除	びっくすあきみちひょーじ	VICS表示設定の“空き道表示”を“ON”に切り替える。
	びっくすあきみちひょーじかいじょ	VICS表示設定の“空き道表示”を“OFF”に切り替える。

※　オプションのVICS ビーコンユニット接続時のみ

3. 音声操作コマンド一覧表

音声操作コマンド	読み	機能
VICS（ビックス）規制情報表示/解除	びっくすきせー じょーほーひょーじ	VICS表示設定の“規制情報表示”を“ON”に切り替える。
	びっくすきせー じょーほーひょーじ かいじょ	VICS表示設定の“規制情報表示”を“OFF”に切り替える。
VICS（ビックス）駐車場表示/解除	びっくすちゅーしゃ じょーひょーじ	VICS表示設定の“駐車場表示”を“ON”に切り替える。
	びっくすちゅーしゃ じょーひょーじ かいじょ	VICS表示設定の“駐車場表示”を“OFF”に切り替える。

施設表示コマンド

音声操作コマンド	読み	機能
施設表示消去	しせつひょーじしょーきょ	地図画面上の周辺施設表示を消去する。
右画面施設表示	みぎがめんしせつ ひょーじ	表示中の右画面地図上に周辺施設を表示する。
右画面施設表示消去	みぎがめんしせつ ひょーじしょーきょ	表示中の右画面地図上の周辺施設表示を消去する。

知りたインフォコマンド

音声操作コマンド	読み	機能
今日は何日？	きょーはなんにち	今日の日付を音声で案内する。
今日は何曜日？	きょーはなんよーび	
今日は何の日？	きょーはなんのひ	地図データベースに登録されている今日の記念日を音声で案内する。
今走っている道路は？	いまはしっている どーろわ	現在走っている道路名を音声で案内する。
どっち向いているの？	どっちむいているの	現在走っている方向を音声で案内する。
あとどれくらい？	あとどれくらい	現在地から最終目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
あと何キロ？	あとなんきろ	現在地から最終目的地までの残距離を音声で案内する。
あと何分？	あとなんぷん	現在地から最終目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
あと何時間？	あとなんじかん	
何時に着くの？	なんじにつくの	最終目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
次の目的地まであと どれくらい？	つぎのもくてきちまで あとどれくらい	現在地から次の目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
次の目的地まであと 何キロ？	つぎのもくてきちまで あとなんきろ	現在地から次の目的地までの残距離を音声で案内する。
次の目的地まであと 何分？	つぎのもくてきち まであとなんぷん	現在地から次の目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
次の目的地まであと 何時間？	つぎのもくてきち まであとなんじかん	
次の目的地に 何時に着くの？	つぎのもくてきちに なんじにつくの	次の目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
どこから乗るの？	どこからのるの	現在地が高速道路以外のときに、目的地までのルート上にある次に乗る高速道路のICまでの到着予想残り時間と残距離を音声で案内する。
どこのインター チェンジから乗るの？	どこのいんたー ちぇんじからのるの	

アドバイス

ルート情報に関するコマンドについては、ルートからはずれたときは、認識されないコマンドがあります。

3. 音声操作コマンド一覧表

音声操作コマンド	読み	機能
どこで降りるの？	どこでおりるの	目的地までのルート上にある次に降りる高速道路のICまでの到着予想残り時間と残距離を音声で案内する。
どこのインターチェンジで降りるの？	どこのいんたーちぇんじでおりるの	
この先の渋滞情報は？	このさきのじゅーたいじょーほーわ	現在地から目的地までのルート上の渋滞・規制情報を音声で案内する。
この先の規制情報は？	このさきのきせいじょーほーわ	
次に通る施設は？	つぎにとおるしせつわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由するSA/PA/ICまでの残距離を、次々に音声で案内する。
次のサービスエリアは？	つぎのさーびすえりあわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由するSA/PAまでの残距離を、次々に音声で案内する。
次のパーキングエリアは？	つぎのぱーきんぐえりあわ	

オーディオ

●**「音声操作」**（570ページ）を参照してください。

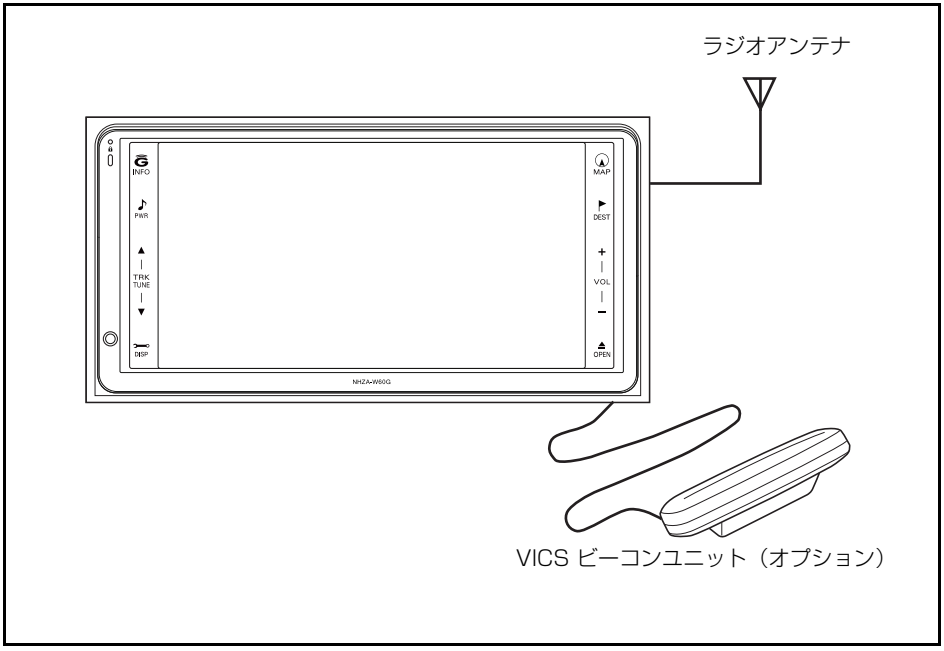
ハンズフリー・G-BOOK

●**「音声操作」**（788ページ）を参照してください。

1. VICS ビーコンユニットの操作

内蔵のFM多重機能とは別に、オプションのVICS ビーコンユニットを接続した場合は、FM多重放送に加え電波・光ビーコンの受信が可能になります。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮した経路探索が可能になります。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。



アドバイス

オプションのVICS ビーコンユニットを接続すると、電波・光ビーコンの情報を受信して、VICS情報を表示することができます。

1. VICS ビーコンユニットの操作

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS文字情報（または図形情報）を自動的に表示させることができます。

- ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。
- 図形情報と文字情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは **図形** ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- **表示消** にタッチする、または設定時間以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。表示時間は、調整することができます。（**「割り込み情報の表示時間を調整する」**次ページ参照）



●割り込み情報の表示

割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 VICS割込設定の **変更する** にタッチします。

4 割り込み情報の項目の **する** 、または **しない** にタッチします。

・注意警戒情報…注意警戒情報の表示
・ビーコン文字情報…文字情報の表示
・ビーコン図形情報…図形情報の表示



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

- VICS割込設定の **変更する** は、VICS ビーコンユニットを接続した場合に表示されます。
- ＦＭ多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報は表示されません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 割り込み情報を **しない** に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

割り込み情報の表示時間を調整する

割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 VICS 割込設定の **変更する** にタッチします。

4 自動割込みの表示時間の ▶ 、または ◀ にタッチして調整します。

● 表示時間を長くするときは ▶ 、短くするときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。）



5 **完了** にタッチします。

割り込み情報を呼び出す

割り込み情報をOFF（表示しない）にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

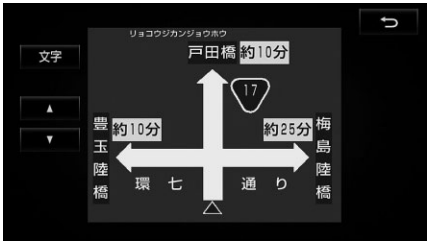
1 情報・G・BTナビ画面（情報）（246ページ）で、**VICS** にタッチします。

2 **割込情報** にタッチします。



3 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

● 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは **図形** ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。



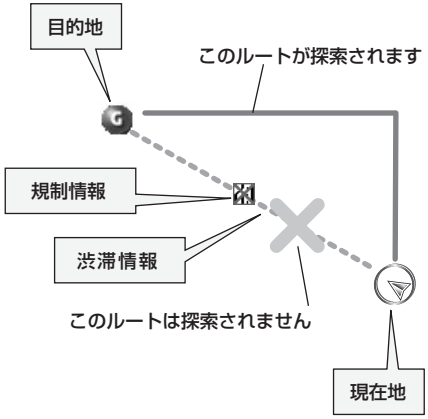
アドバイス

- 割り込み情報の表示時間を最長（30秒）にすると ▶ 、最短（5秒）にすると ◀ がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- 提供時刻より約30分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。
- 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面にはもどりません。
  ⮌ にタッチすると割り込み情報画面を解除します。
- 各割り込み情報の自動割込を **しない** に設定しているときは、**割込情報** から表示することができます。

1. VICS ビーコンユニットの操作

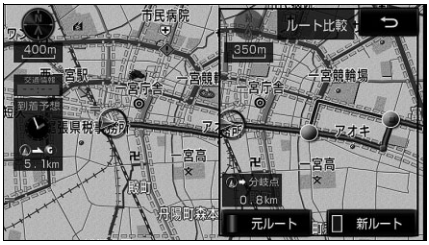
渋滞考慮探索

ビーコンからのVICS 情報を受信するたびに、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索をさせることができます。



新旧ルート比較表示

目的地案内中にビーコンから受信したVICS 情報をもとに新しいルートが見つかった場合、もとのルートと比較して選択することができます。



●新旧ルート比較表示画面

アドバイス

- FM多重放送のみのVICS情報では、渋滞考慮探索は行われません。
- 渋滞考慮探索はナビ詳細設定の渋滞考慮探索が **する** になっているとき、探索します。（158ページ参照）
- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮しません。
- ルート探索後に道路状況が変わり、別のルートのほうが到着時間が早くなる場合があります。
- 新旧ルート比較表示はナビ詳細設定の新旧ルート比較表示が **する** になっているとき表示します。（159 ページ参照）

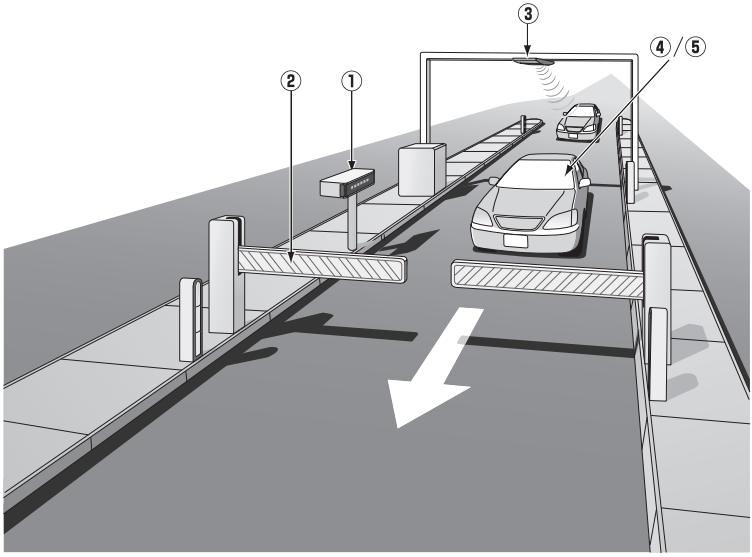
2. ETCシステムの操作

本機能はオプションのナビゲーション対応のETC車載器を接続した場合に表示・操作できます。

ETC車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC車載器の取扱書をお読みください。

ETCとは

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置とETC車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



①路側表示器	料金所のETCレーンに設置されています。進入車両に対し、通行の可否などのメッセージが表示されます。
②発進制御装置（開閉バー）	料金精算を確実にするために、料金所のETCレーンに必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
③路側無線装置	料金所のETCレーンに設置されています。料金精算のため、車両のETC車載器との通信を行うためのアンテナです。
④ETC車載器	車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
⑤ETCカード	ETC車載器に挿入します。ICチップを搭載した、ETC車載器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

2. ETC システムの操作

⚠ 警 告

安全のため、運転者は走行中にETCカードの抜き差し、およびETC車載器の操作を極力しないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

⚠ 注 意

- その他、ETC 車載器を用いたサービス（スマート IC など）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。
- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開きません。お手持ちのETCカードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。
- ETC を利用する際は、あらかじめETC カードが確実にETC 車載器に挿入されていることと、ETC車載器が正常に作動していることを確認してください。
- ETC車載器がETCカードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前でのETCカードの挿入はエラーの原因となる場合があります。
- ETCレーンの進入は、十分な車間距離と約20km/h以下の安全な速度で進入してください。
- ETCレーンに設置されている開閉バーは、ETC車載器とアンテナの間の通信、あるいはETC車載器とETCカードとの通信が正常に行われなかった場合は、開かないことがありますので、ご注意ください。
- ETCレーンを通行するときは、前車との車間距離を保持したうえで、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

ETCカード有効期限の案内

ETCカードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内します。
ETCカードを挿入する、または挿入した状態で本機を起動すると、“ETCカードの有効期限が切れています”などと案内されます。



●有効期限通知画面

⚠ 注 意

本機能は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。
ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

アドバイス

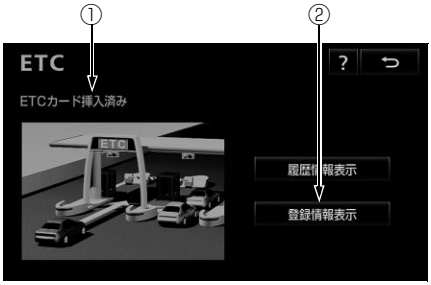
ETCカードの有効期限の案内は、ETC音声案内が **しない** に設定されていても行われます。（318 ページ参照）

2. ETC システムの操作

ETCメニュー画面の表示

1 情報・G・BTナビ画面（情報）（246ページ）で、**ETC** にタッチします。

● ETCメニュー画面になります。



①ETCカードメッセージ※

現在のETC車載器の状態が表示されます。

「ETCカード挿入済み」…ETCがカードが挿入されたことを確認した状態です。
「ETCカード未挿入」…ETCカードが挿入されていません。
「ETCカード確認中」…ETCカードを読み込んでいます。
「ETCカード異常」…ETCカードを読み込むことができません。
「システム異常」…ETCシステムに何らかの異常が発生しています。（含む、ETCアンテナはずれ検知）
「未セットアップ」…ETCがセットアップされていない状態
「セットアップ完了」…ETCがセットアップ完了している状態

②登録情報表示

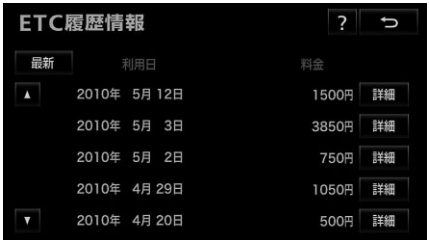
登録情報表示 にタッチすると、お客様の車のETC車載器に登録された情報が表示されます。

履歴情報の表示

1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示** にタッチします。

2 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき、**最新** にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。
- **詳細** にタッチすると、履歴の内容を表示します。



⚠ 注 意

- 走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。
- ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。

アドバイス

- 表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- 利用履歴の確認は利用料金支払いに使用したETCカードをETC車載器に差し込んでいないとできません。

2. ETC システムの操作

ETCの設定

1 にタッチします。

2 **ETC** にタッチします。

● 設定・編集画面（ETC）が表示されます。

3 **通知設定** にタッチします。

4 ETCの項目の **する** 、または **しない** にタッチして設定します。

● **ETC割込表示**
ETCを利用するときに、通行の可否や利用料金を画面に表示して案内します。
  - ● ゲート通過案内
ETCゲートの通行可、または通行不可の案内
  - ● 予告レーン案内
この先のETCゲートの通行可、または通行不可の案内
  - ● 料金徴収案内
料金徴収の案内

● **ETC音声案内**
ETCを利用するときに、通行の可否や利用料金を音声で案内します。

● **ACCオン時警告表示**
エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常を画面に表示して警告します。

● **ACCオン時警告音声案内**
エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常を音声の出力でお知らせします。

● **カード抜き忘れ警告**
エンジンスイッチを ACC から OFF（LOCK）の位置にしたとき、カードの抜き忘れをお知らせします。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

ハートフル音声とETCの音声案内が重複する場合があります。
- ETC音声案内をOFF（発声しない）にする場合は、ETC音声案内を **しない** に設定してください。
- ハートフル音声をOFF（発声しない）にする場合は、ハートフル音声を **しない** に設定してください。（87ページ参照）

3. バックガイドモニターの操作

オプションのバックガイドモニターは、後退（特に駐車時）の運転操作をアシストします。車の後方の映像に後退操作の参考として表示されるガイド線、音声案内（縦列ガイドモードのみ）にしたがって運転操作することで駐車の苦手な方でも簡単に駐車することが可能です。

※車種によっては、バックガイドモニター機能が使用できない場合があります。詳しくは、販売店に問い合わせてください。

（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います）

バックガイドモニターについての注意点

⚠ 注 意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）
- **バックガイドモニターを過信しないでください。**
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- **画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。**
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

3. バックガイドモニターの操作

カメラについての注意点

カメラは、車両の後方に取り付けられています。（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります。）

⚠ 注 意

バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

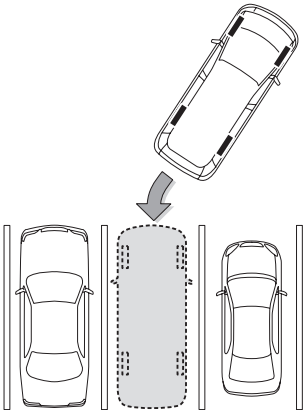
ガイド方法の選び方

バックガイドモニターには以下の3つのモードがあります。
- 進路表示モード
- 駐車ガイド線表示モード
- 縦列ガイドモード

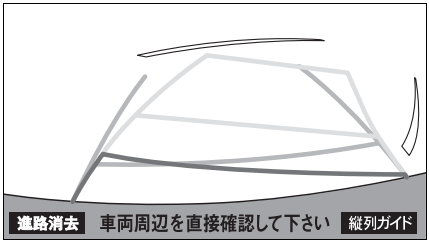
並列駐車時のガイド方法と縦列駐車時のガイド方法を選ぶことができます。

並列駐車（車庫入れ）をするとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

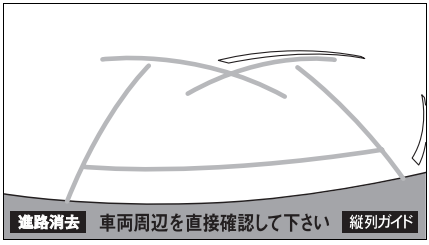


- 進路表示モードで並列駐車をする（325ページ）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

- 駐車ガイド線表示モードで並列駐車をする（329ページ）



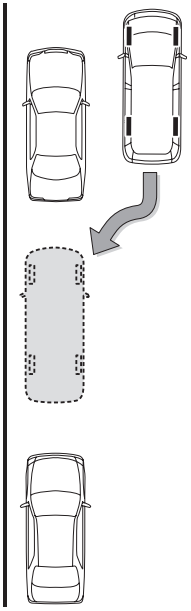
ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

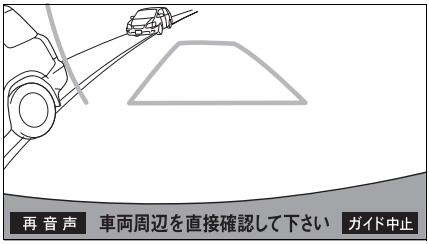
3. バックガイドモニターの操作

縦列駐車をするとき

縦列駐車をするときは、縦列ガイドモード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

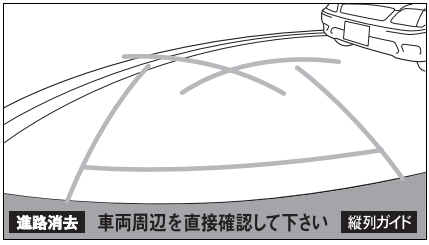


● 縦列ガイドモードで縦列駐車をする（332ページ）



画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

● 駐車ガイド線表示モードで縦列駐車をする（344ページ）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

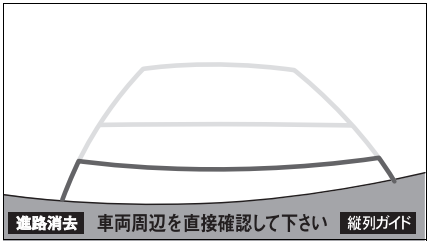
縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

バックガイドモニター画面への切り替え

1 エンジンスイッチがONのとき、チェンジレバーをⓇにします。

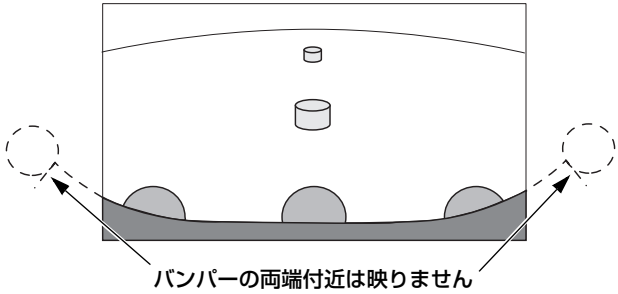
- バックガイドモニターの画面が表示されます。
- 進路表示モード（または駐車ガイド表示モード）が表示されます。モードの切り替えは、**「駐車ガイド線の表示」** 352 ページを参照してください。
- チェンジレバーをⓇ以外にするとバックガイドモニターの画面が解除され、最後に表示していた画面にもどります。（オーディオ画面では、最後に表示していた画面にもどらないことがありますが故障ではありません。）





画面に映る範囲について

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

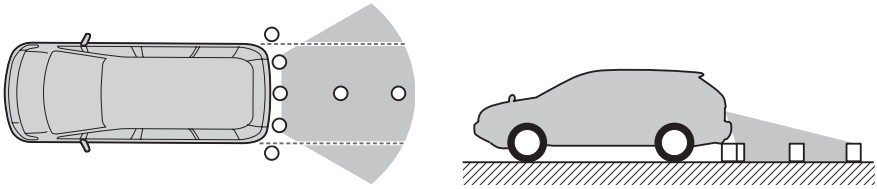


アドバイス

チェンジレバーをⓇにしていても **MAP** ・ ♪ などの各モードのスイッチにタッチすると、タッチしたスイッチのモード画面に切り替わります。

3. バックガイドモニターの操作

〈映る範囲〉

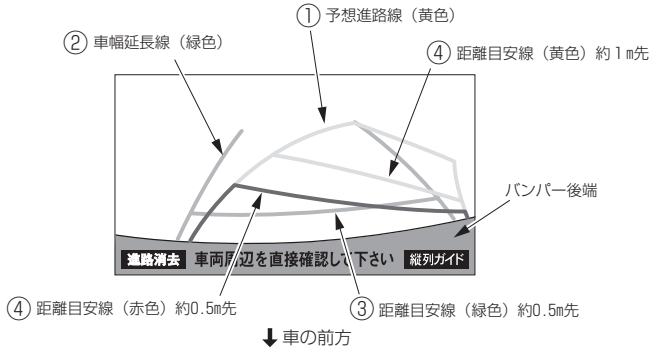


アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 画面の明るさ･コントラストを調整することができます。（**「画面の調整」** 83 ページ参照）

並列駐車する（進路表示モード）

画面の見方



①予想進路線（黄色）	車が後退していく進路の目安を示します。 ● ハンドル操作と連動します。
②車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。 ● ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
③距離目安線（緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
④距離目安線（赤色／黄色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ● それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。 ● ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 上記の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約0.5m先、黄色：約1m先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

⚠ 注 意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分以上走行してください。それでもなおらないときは、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている **進路消去** にタッチすると、予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。もとにもどすときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

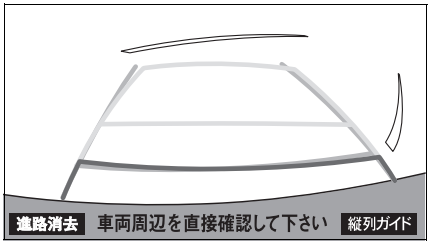
3. バックガイドモニターの操作

並列駐車を開始する

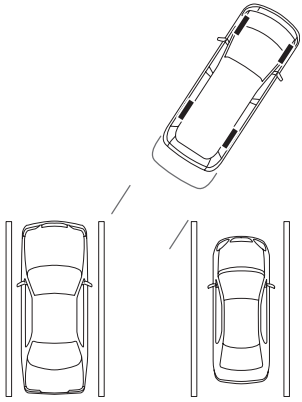
下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 チェンジレバーをⓇにします。

- バックガイドモニター画面が表示されます。
- 進路表示モードになっていない場合は、**「駐車ガイド線の表示」**352 ページを参照して進路表示モードにしてください。

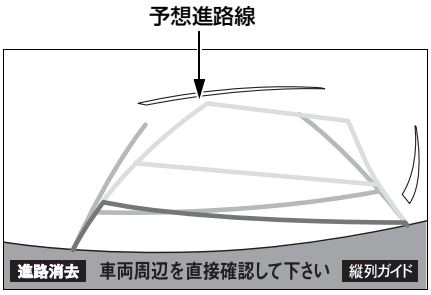


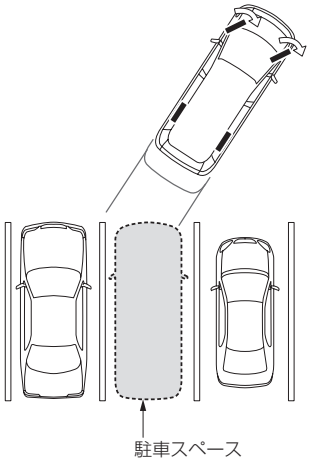
＜車の状況＞



2 予想進路線が駐車スペースの中にはいるようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

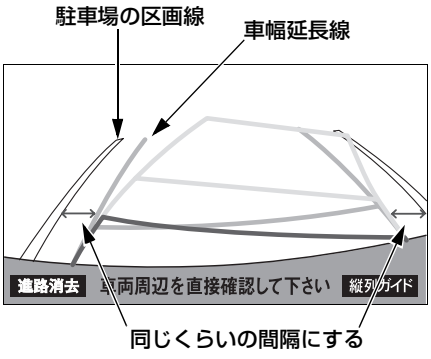
<車の状況>

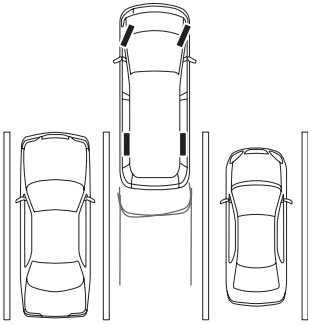




3 車の後部が駐車スペースの中にはいったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。

<車の状況>

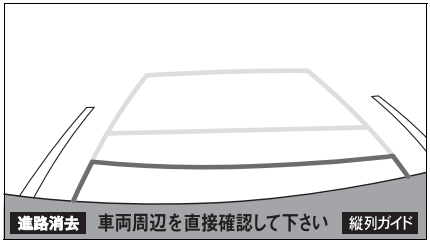


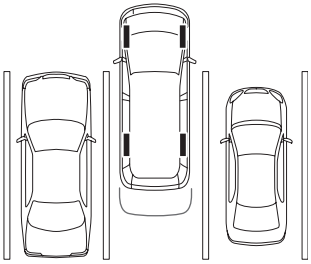


3. バックガイドモニターの操作

4 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部はいるまで、ゆっくり後退します。

＜車の状況＞

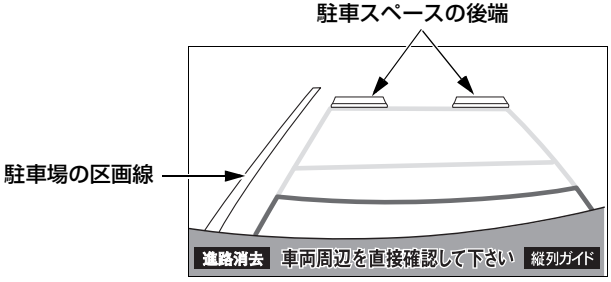




アドバイス

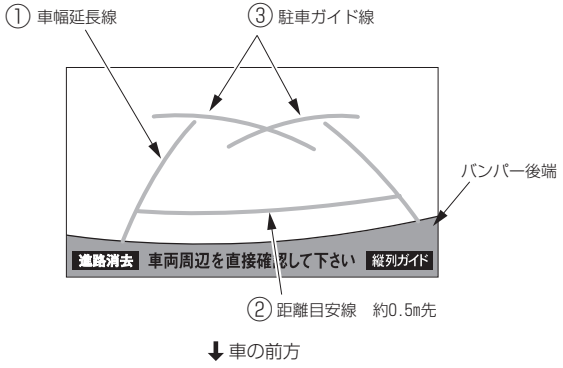
駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。

- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



並列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



①車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ● 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注 意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている **進路消去** にタッチすると、車幅延長線が表示されなくなります。
もとにもどすときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

3. バックガイドモニターの操作

並列駐車を開始する

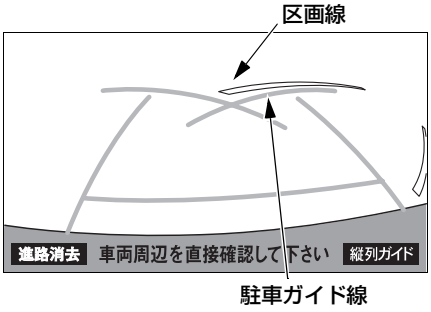
下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

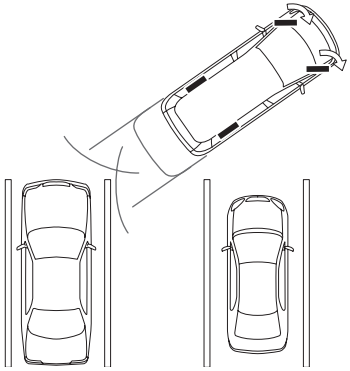
1 チェンジレバーをⓇにします。

- バックガイドモニター画面が表示されます。
- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、**「駐車ガイド線の表示」**352 ページを参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。

<車の状況>



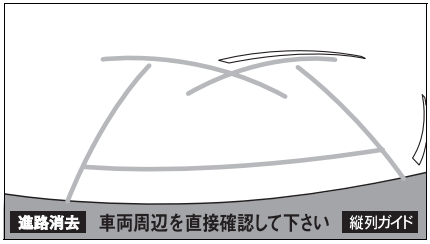


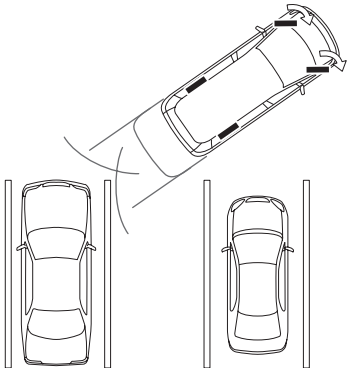
アドバイス

画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。

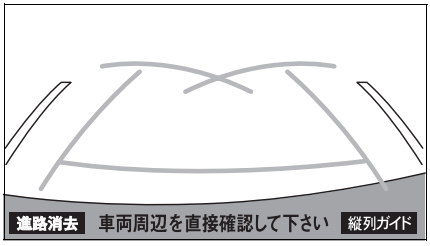
＜車の状況＞

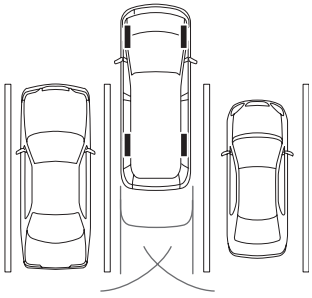




4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

＜車の状況＞



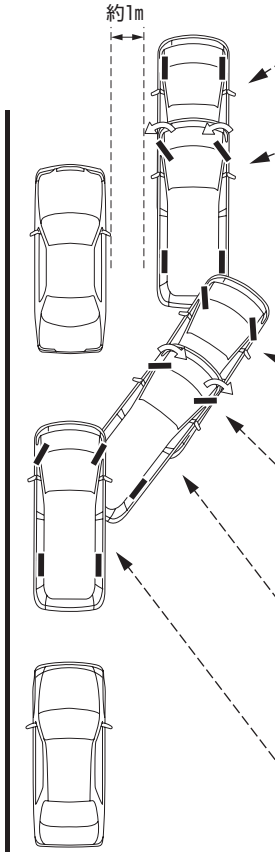


3. バックガイドモニターの操作

縦列駐車する（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

●車の動き　　●操作内容



道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。（画面①）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。（画面②）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。(画面③)

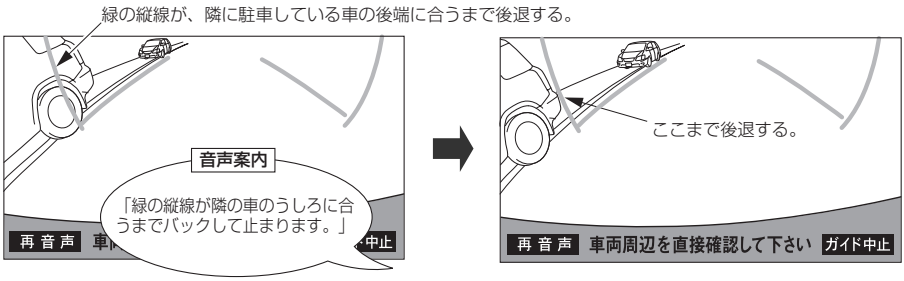
駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。（画面④）

ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。（画面⑤）

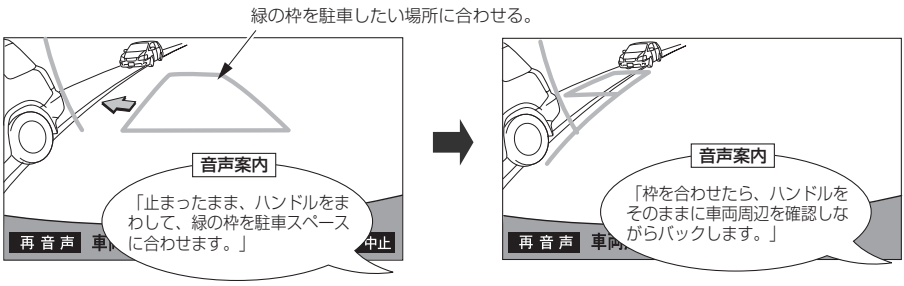
車がほぼまっすぐになったら縦列ガイドモードが終了する。

●画面・音声案内の流れ

＜画面①＞

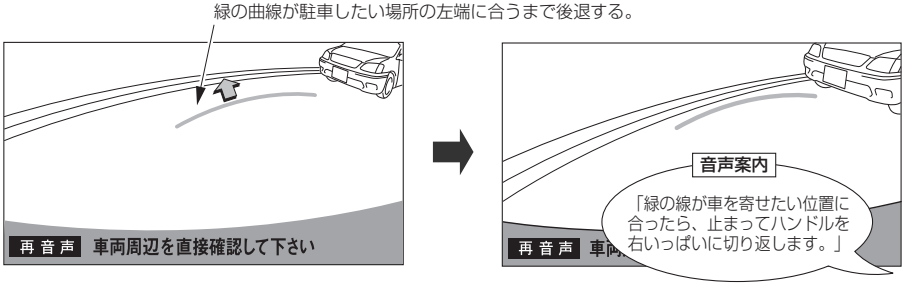


＜画面②＞



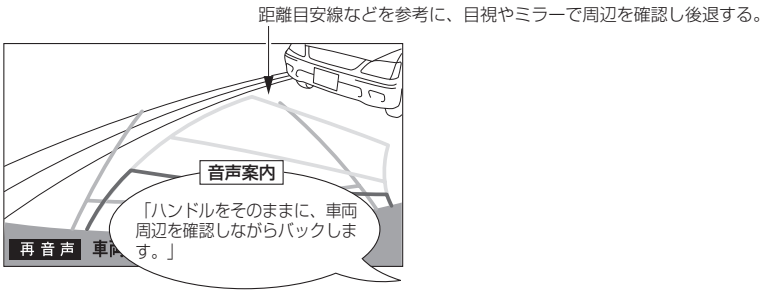
＜画面③＞

＜画面④＞



3. バックガイドモニターの操作

＜画面⑤＞



⚠ 注 意

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

アドバイス

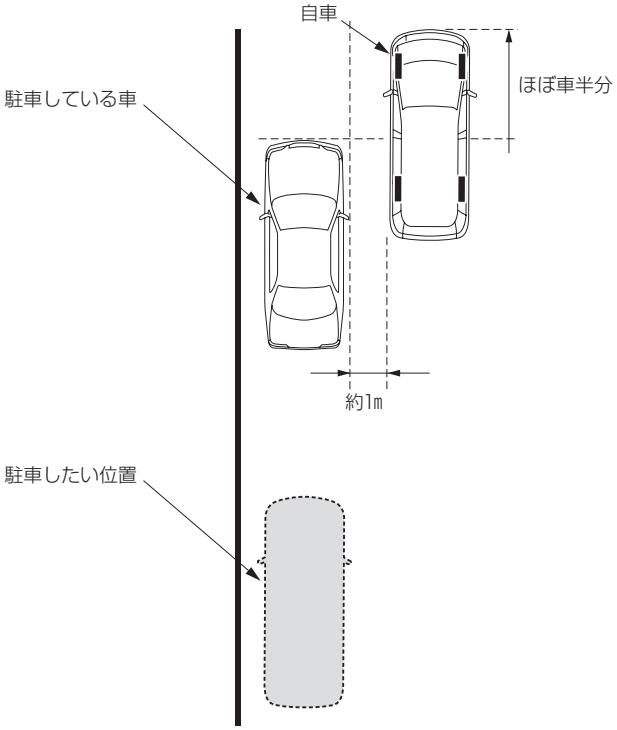
- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（チェンジレバーをⓇにしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内を再度聞きたいときは、**再音声** にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。
- 音声案内の音量は調節することができます。（**「縦列ガイドの音量の設定」** 350 ページ参照）

縦列駐車を開始する

ここでは、左側の駐車スペースに駐車する場合の手順を説明します。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作などがすべて左右逆になります。

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。

● 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



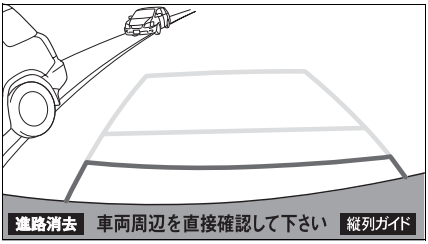
2 チェンジレバーをⓇにします。

● バックガイドモニター画面が表示されます。
● 進路表示モード（または駐車ガイド線表示モード）が表示されます。
● マルチビューバックガイドモニターを装着していて、視点が標準画面になっていない場合は**「視点を切り替える」**360 ページを参照して標準画面にしてください。

3. バックガイドモニターの操作

3 車の位置を確認し、画面の **縦列ガイド** にタッチします。

● 画面で駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認したら、**次へ** にタッチします。

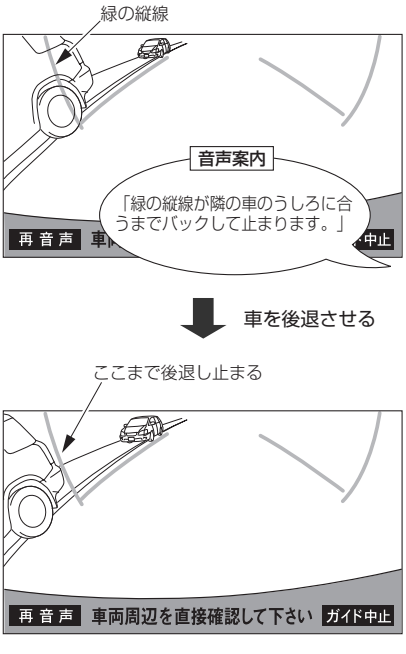
● **ガイド中止** にタッチすると、前の画面にもどります。



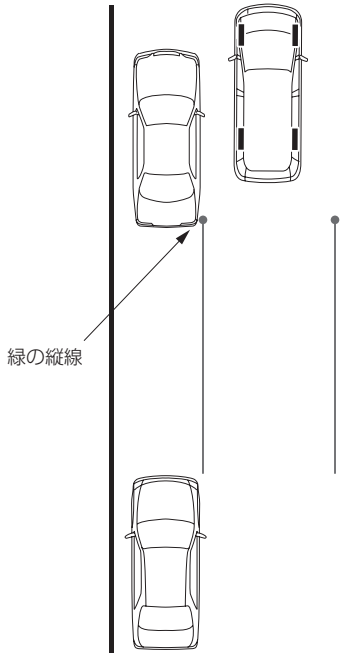
アドバイス

次回からこの表示を省略 にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再度、表示させたいときは、**「はじめのコツの表示」**351 ページを参照してください。

5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。



＜車の状況＞

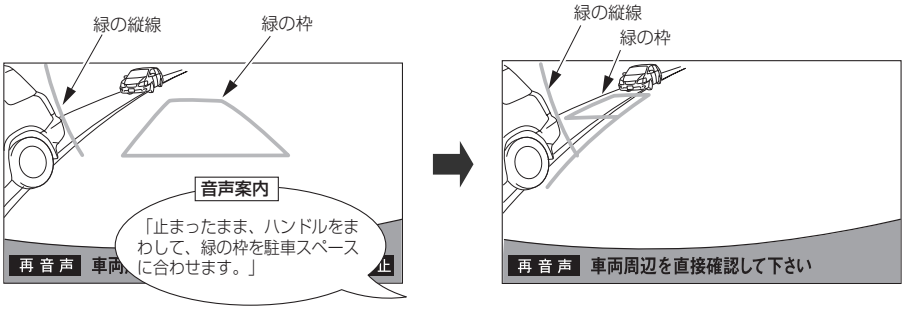


アドバイス

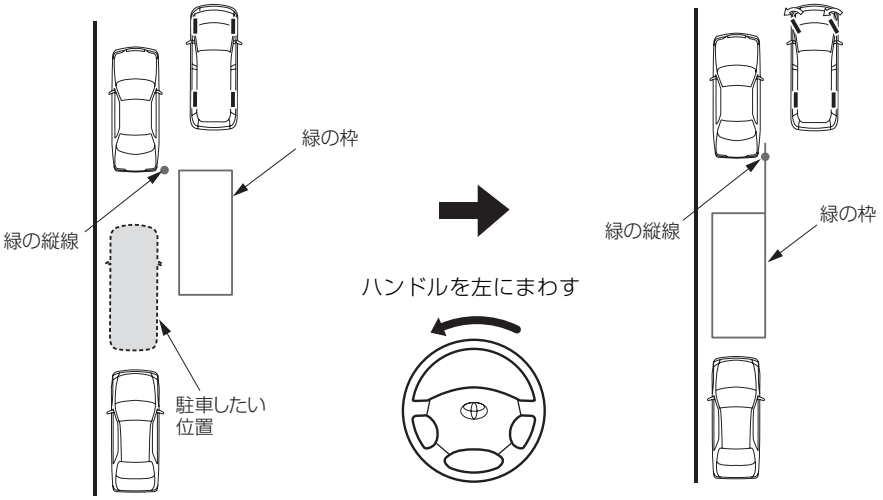
- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。
- チェンジレバーをⓇ以外にしても、約10秒以内にチェンジレバーをⓇにもどすと、この画面にもどります。

3. バックガイドモニターの操作

6 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせます。



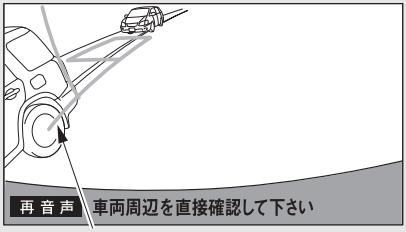
＜車の状況＞



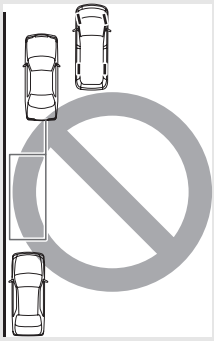
⚠ 注 意

- **緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。**緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することができません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

<車の状況>



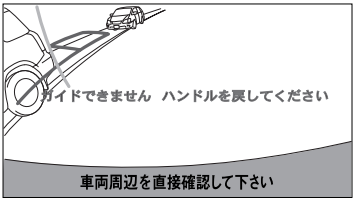
延長線がタイヤにかかっている



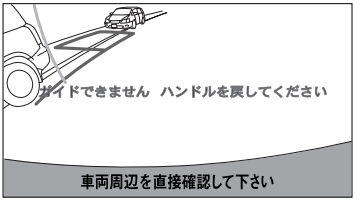
アドバイス

画面の中にメッセージが表示されることがあります。

- 枠が赤くなって、下記のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



- 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。



3. バックガイドモニターの操作

7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

ハンドルはそのまま

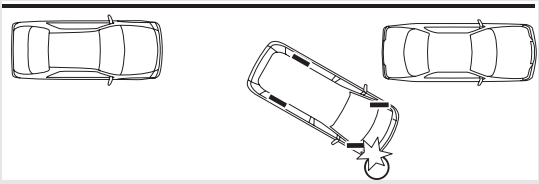


音声案内

「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

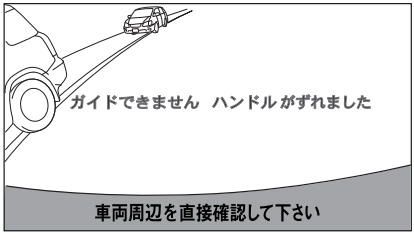
⚠ 注 意

車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



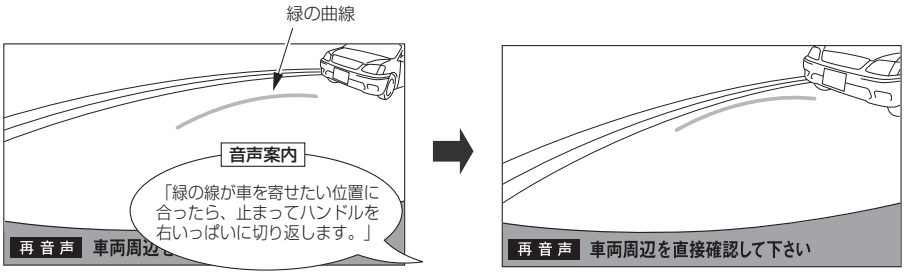
アドバイス

● 後退中にハンドルを操作すると、ガイドされなくなります。
その場合は、チェンジレバーをⓇ以外にしてから、再度チェンジレバーをⓇにして最初からやり直してください。

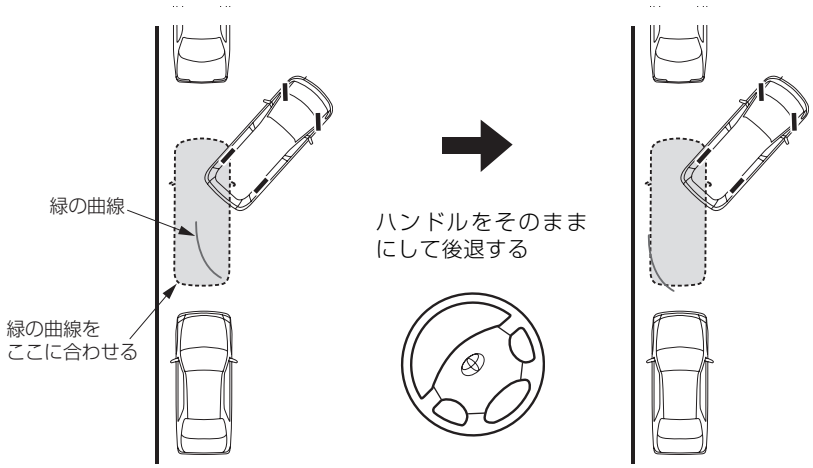


● ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
● 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。



＜車の状況＞



アドバイス

後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

3. バックガイドモニターの操作

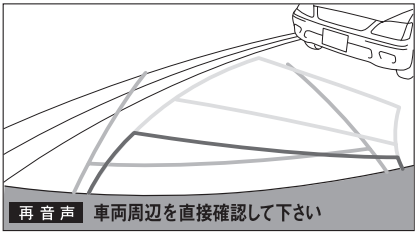
9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわします。

● 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。



ハンドルを右いっぱいまでまわす

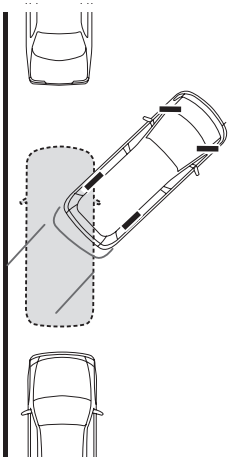
10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退してください。



音声案内

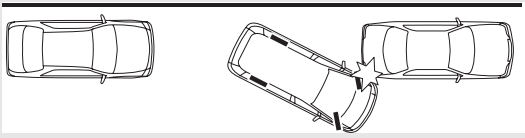
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

＜車の状況＞



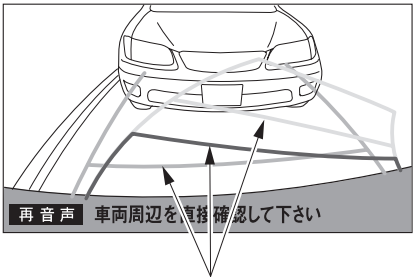
⚠ 注 意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどします。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まります。

● 車がほぼまっすぐになると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

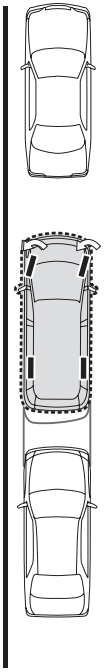


距離目安線

音声案内

「縦列ガイドを終了します。」

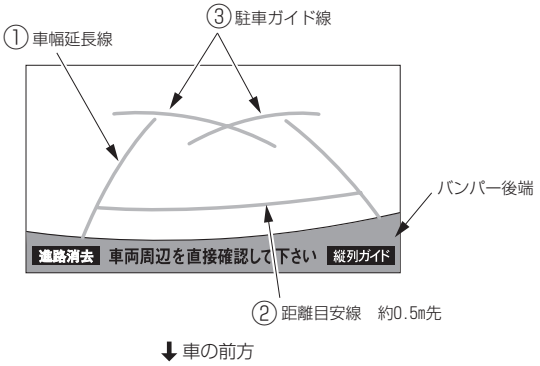
＜車の状況＞



3. バックガイドモニターの操作

縦列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



①車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ● 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 注 意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている **進路消去** にタッチすると、車幅延長線が表示されなくなります。
もとにもどすときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

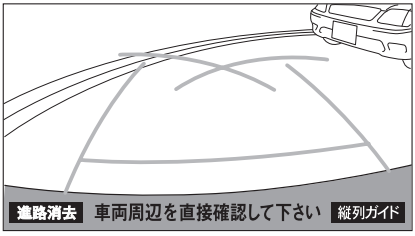
縦列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

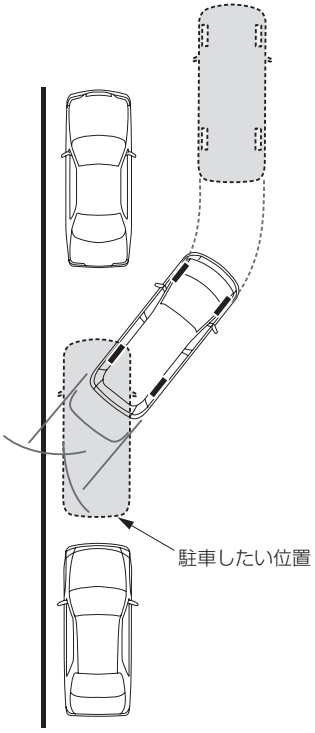
1 チェンジレバーをⓇにします。

- バックガイドモニター画面が表示されます。
- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は**「駐車ガイド線の表示」**352 ページを参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。

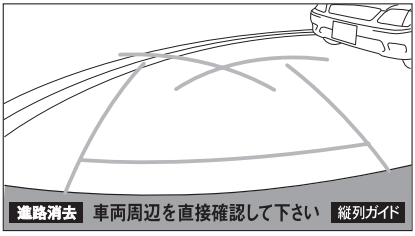


＜車の状況＞

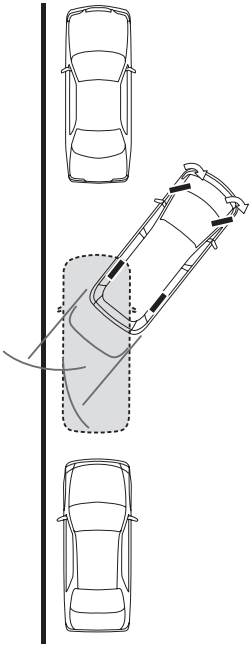


3. バックガイドモニターの操作

3 ハンドルを右いっぱいにまわし、ゆっくり後退します。

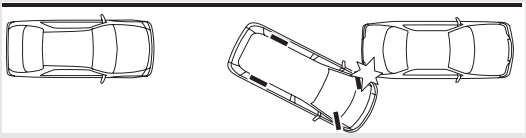


＜車の状況＞

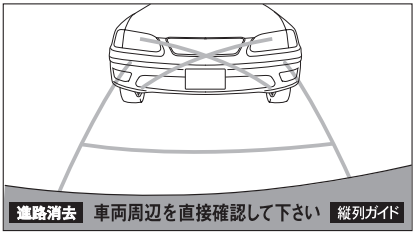


⚠ 注 意

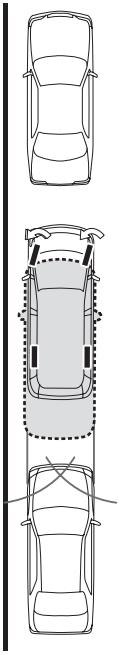
車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



4 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終えます。



＜車の状況＞



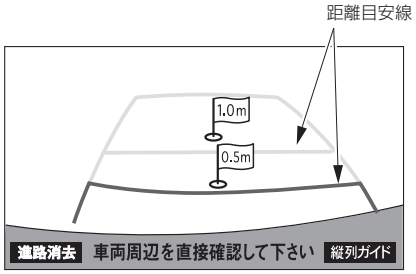
3. バックガイドモニターの操作

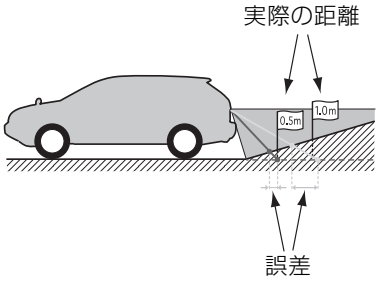
画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。（イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します。）

■急な上り坂が後方にあるとき

＜車の状況＞

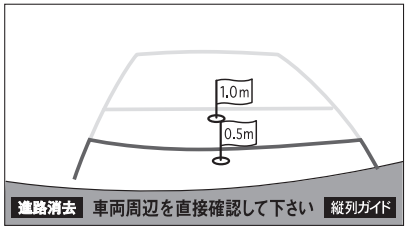


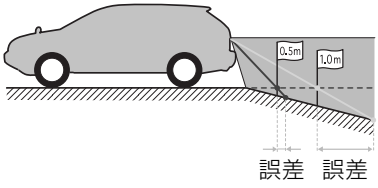


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

＜車の状況＞

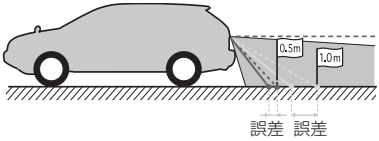




下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき

＜車の状況＞



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

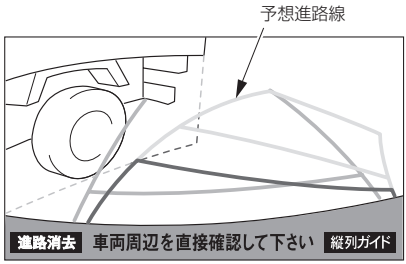
立体物が近くにあるときの注意点

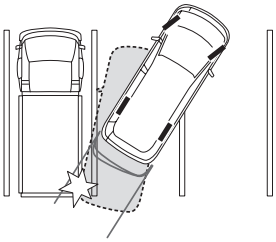
画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意してぶつからないようにしてください。

■予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。

<車の状況>

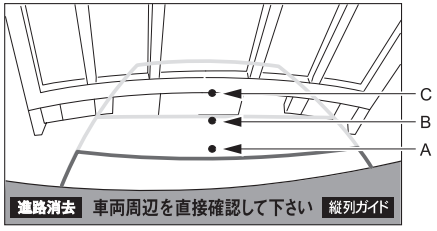




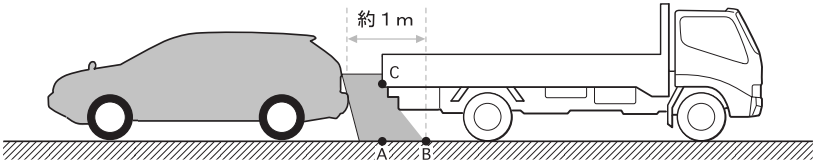
画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



<A,B,C の位置>



画面では、距離目安線により約1m 先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。
画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

3. バックガイドモニターの操作

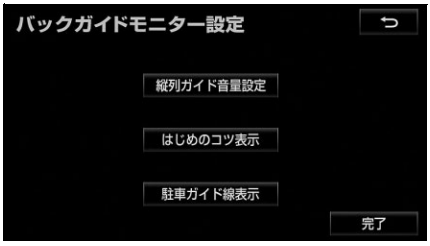
縦列ガイドの音量の設定

音声案内の音量を調整することができます。

1 設定・編集画面（運転支援）で、**バックガイドモニター** にタッチします。

● バックガイドモニター設定画面が表示されます。

2 **縦列ガイド音量設定** にタッチします。



3 **消音** ・ **小** ・ ● ・ ● ・ **大** のいずれかにタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

● **消音** にタッチすると、音声案内は出力されません。



4 **完了** にタッチします。

● 設定が記憶され現在地画面にもどります。

● ⮌ にタッチすると、設定はキャンセルされバックガイドモニター設定画面にもどります。

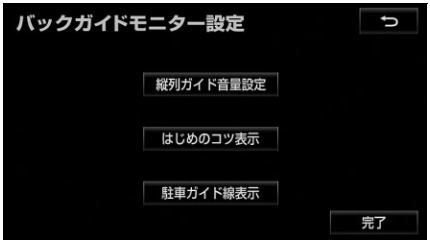
はじめのコツの表示

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか表示しないかを選ぶことができます。

1 設定・編集画面（運転支援）で、**バックガイドモニター** にタッチします。

● バックガイドモニター設定画面が表示されます。

2 **はじめのコツ表示** にタッチします。



3 表示するときは **する** 、表示しないときは **しない** にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



4 **完了** にタッチします。

● 設定が記憶され現在地画面にもどります。

● ⮌ にタッチすると、設定はキャンセルされバックガイドモニター設定画面にもどります。

3. バックガイドモニターの操作

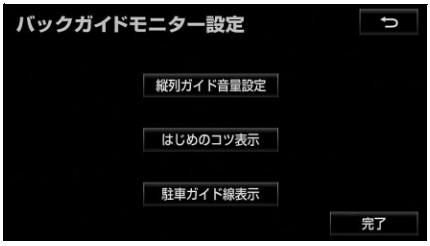
駐車ガイド線の表示

駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。

1 設定・編集画面（運転支援）で、**バックガイドモニター** にタッチします。

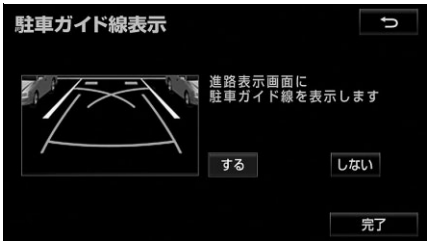
● バックガイドモニター設定画面が表示されます。

2 **駐車ガイド線表示** にタッチします。



3 駐車ガイド線表示モードにしたいときは **する** 、進路表示モードにしたいときは **しない** にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。





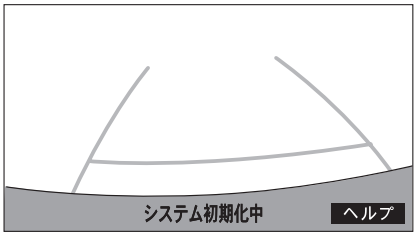
4 **完了** にタッチします。

● 設定が記憶され現在地画面にもどります。

● ⮌ にタッチすると、設定はキャンセルされバックガイドモニター設定画面にもどります。

システム初期化中表示が出たときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下したなどの場合は、下図のシステム初期化中画面が表示されます。
この場合は、次のどちらかの操作が必要となります。



- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいまでまわします。（左右どちらが先でも可）
- できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約５分間以上走行します。

通常の画面にもどれば、設定終了です。
システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。

アドバイス

システム初期化中画面で、**ヘルプ** にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示されている操作を行い、通常の画面にもどれば設定終了です。
システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
OK にタッチすると、もとの画面にもどります。

3. バックガイドモニターの操作

バッテリーの脱着、または本機を載せ替えたときは

バッテリーの脱着、または本機を別の車に載せ替えたなどの場合は、チェンジレバーを Ⓡ にすると下図の確認画面が表示されます。この場合は、下記の操作、または販売店での設定が必要となります。



● **はい** にタッチすると、ガイド線を表示せずに、車の後方を映すことができます。

● **いいえ** にタッチすると、ガイド線を表示して、車の後方を映すことができます。
（本機を別の車に載せ替えたときは、載せ替える前の車に適したガイド線が表示されます。）

本機を別の車に載せ替えたときは、必ず、販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

■ **はい** にタッチした場合

1 メッセージ表示画面で、**はい** にタッチします。

2 **OK** にタッチします。

● ガイド線を表示せずに、バックガイドモニター画面が表示されます。

● ⮌ にタッチすると、もとの画面にもどります。



■ **いいえ** にタッチした場合

1 メッセージ表示画面で、**いいえ** にタッチします。

● ガイド線を表示して、バックガイドモニター画面が表示されます。

4. マルチビューバックガイドモニターの操作

オプションのマルチビューバックガイドモニターは、バックガイドモニターの機能を使用できる他、カメラの視点を切り替えることができます。基本的な操作方法や注意点については、**「バックガイドモニターの操作」**319～354 ページを参照してください。

※車種によっては、マルチビューバックガイドモニター機能が使用できない場合があります。詳しくは、販売店に問い合わせてください。

（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います）

マルチビューバックガイドモニターについての注意点

⚠ 注 意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でマルチビューバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）
- **マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。**
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- **画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。**
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道
- マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

4. マルチビューバックガイドモニターの操作

カメラについての注意点

カメラは、車両の後方に取り付けられています。(車種によって車両後方の取り付け位置は異なります。)

⚠ 注 意

マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流します。

視点の切り替え

マルチビューバックガイドモニターは、車両後退時にカメラの映像を次の３つの視点で表示することができます。

- 標準画面… バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。
- ワイドビュー… 標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- ワイドビュー＋トップビュー…ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

アドバイス

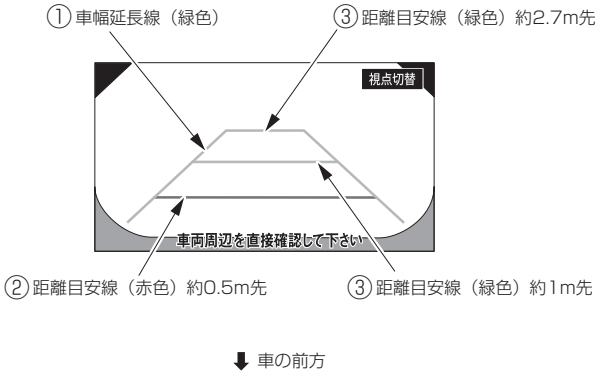
ワイドビューおよびワイドビュー＋トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません。（325 ページ参照）

4. マルチビューバックガイドモニターの操作

画面の見方

標準画面の見方については、325 ページおよび329 ページを参照してください。

ワイドビューの見方

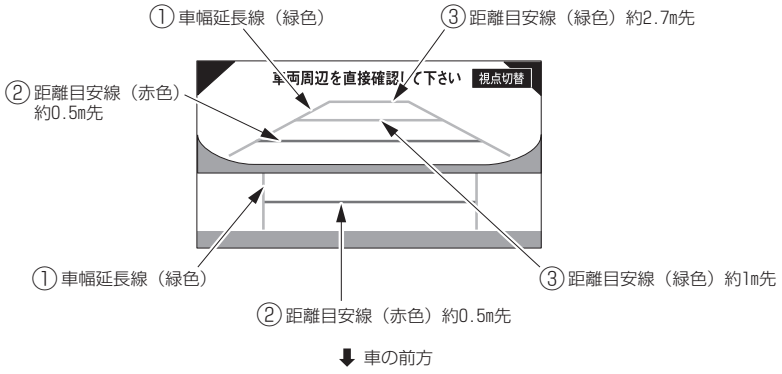


①車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線（赤色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③距離目安線（緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約1m先、約2.7m先を示します。

⚠ 注 意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

ワイドビュー＋トップビューの見方



①車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線（赤色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③距離目安線（緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約1m先、約2.7m先を示します。

⚠ 注 意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

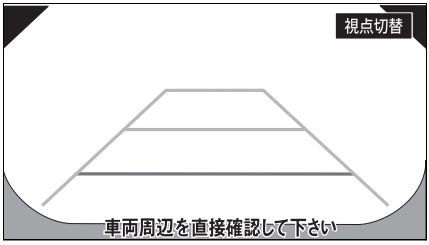
4. マルチビューバックガイドモニターの操作

視点を切り替える

1 チェンジレバーを Ⓡ にします。

2 **視点切替** にタッチします。

● タッチするごとに、標準画面、ワイドビュー、ワイドビュー＋トップビューの順に切り替わります。



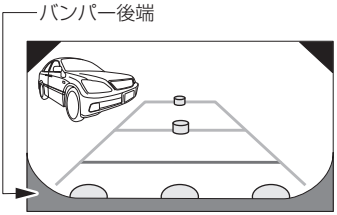
アドバイス

縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

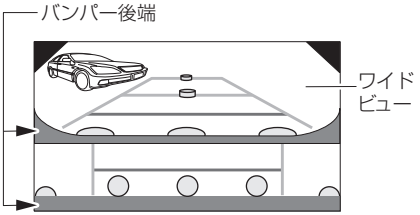
画面に映る範囲について

画面に映る範囲は各視点で異なります。標準画面の視点については、323 ページを参照してください。

ワイドビューについて

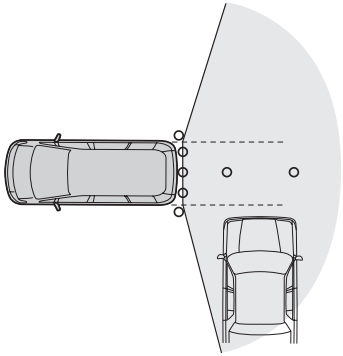


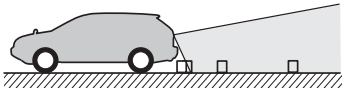
●ワイドビュー



●ワイドビュー＋トップビュー

＜映る範囲＞



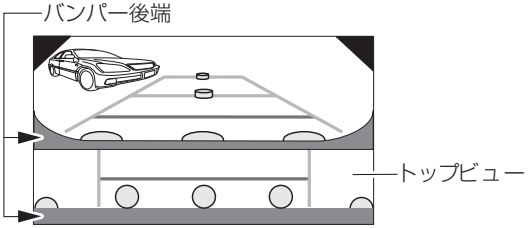


アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- 画面の明るさ·コントラストを調整することができます。（**「画面の調整」** 83 ページ参照）

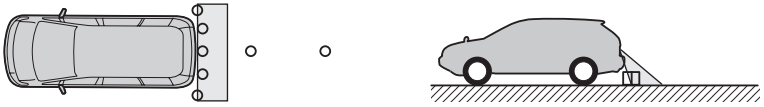
4. マルチビューバックガイドモニターの操作

トップビューについて



●ワイドビュー＋トップビュー

＜映る範囲＞



アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- 画面の明るさ･コントラストを調整することができます。（**「画面の調整」** 83 ページ参照）

5. バックモニターの操作

オプションのバックモニターを装着した場合、チェンジレバーを Ⓡ にすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。

● タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示される距離目安線やガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

バックモニターについての注意点

⚠ 注 意

● 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、角度センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。

● 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります。）

● **バックモニターを過信しないでください。**
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

● **画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。**
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。

● 以下のような状況では使用しないでください。
  ● 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  ● タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  ● バックドアが完全に閉まっていないとき
  ● 坂道など平坦でない道

● 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

● タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

5. バックモニターの操作

カメラについての注意点

カメラは、車両の後方に取り付けられています。（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります。）

⚠ 注 意

バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

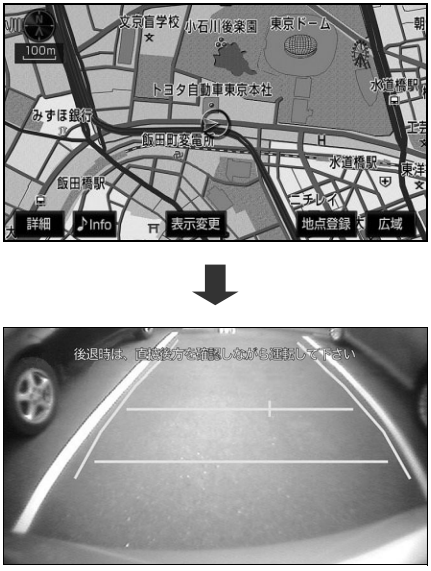
- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に写る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一端黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 50Hz 電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックモニターの映像

後方の映像を映す

1 チェンジレバーをⓇにします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- チェンジレバーをⓇ以外にすると後方の映像が解除され、最後に表示していた画面にもどります。（オーディオ画面では、最後に表示していた画面にもどらないことがありますが故障ではありません。）



- バックモニター映像時に （DISP）に1秒以上タッチすると、画面下部に **ガイドON** 、または **ガイドOFF** が表示されます。ガイド線を表示するには **ガイドON** にタッチします。ガイド線を表示させたくないときは **ガイドOFF** にタッチします。

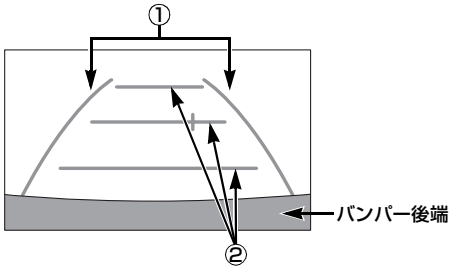


アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の色合い・コントラスト・色の濃さ・明るさを調整することができます。（**「画面の調整・設定」** 441 ページ参照）
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

5. バックモニターの操作

画面の見方について



■表示線の見方

チェンジレバーを Ⓡ にすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。

①車幅延長線（黄色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

● 実際の車幅より広く表示しています。

②距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

● ハンドル操作と連動しません。

● それぞれの中心位置で、約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。

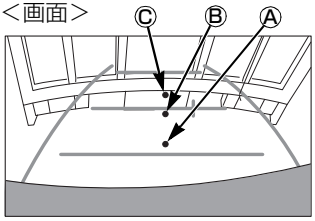
⚠ 注 意

車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

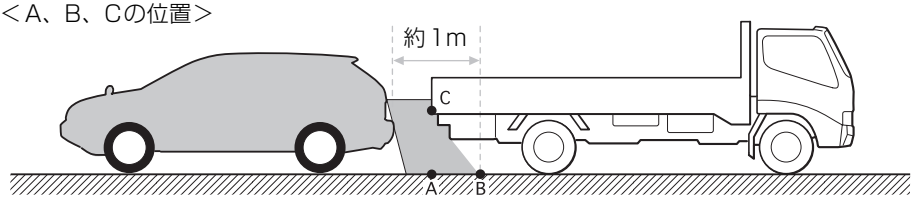
<画面>



画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

<A、B、Cの位置>



アドバイス

次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。

- 暗いところ（夜間など）。
- レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
- カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

5. バックモニターの操作

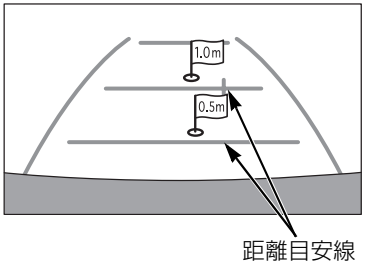
画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
（イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します。）

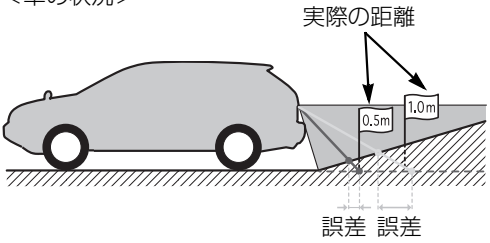
■急な上り坂が後方にあるとき

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

＜画面＞



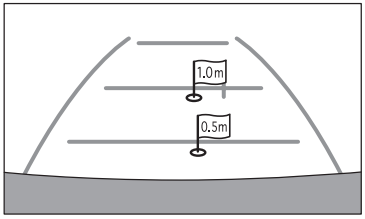
＜車の状況＞



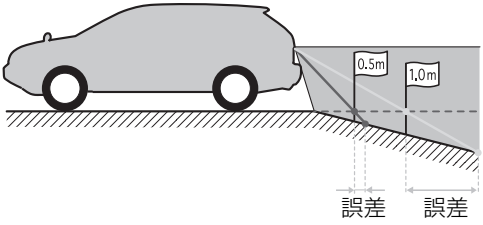
■急な下り坂が後方にあるとき

下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

＜画面＞



＜車の状況＞



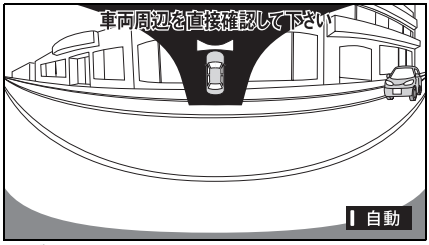
6. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムの操作

オプションのブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムを装着した場合、周辺状況を画面に映すことができます。

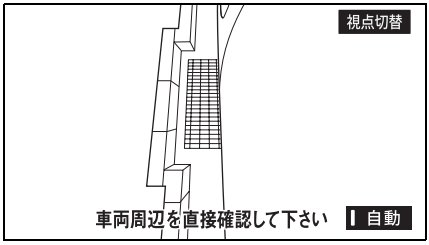
● ブラインドコーナーモニター.....車両前方直下、または見通しの悪い交差点や T 字路などで、車両の左右前方を確認することができます。

● サイドモニターシステム .....左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。

※車種によっては、ブラインドコーナーモニター、またはサイドモニターシステムが装着できない場合があります。詳しくは、販売店に問い合わせてください。



●ブラインドコーナーモニター画面



●サイドモニター画面

ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

⚠ 注 意

● **ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムを過信しないでください。**
運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。

● **画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。**
画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。

● 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

● サイドモニターシステムは、以下のような状況では使用しないでください。
・ドアミラーを格納したとき
・助手席ドアが完全に閉まっていないとき

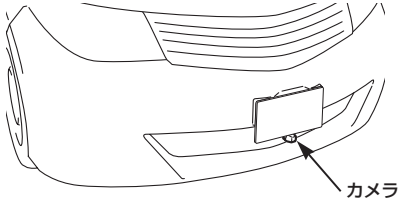
アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。

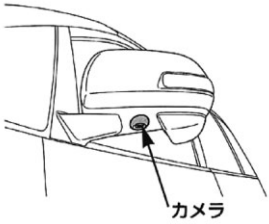
6. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムの操作

カメラについての注意点

■ブラインドコーナーモニター



■サイドモニターシステム



⚠ 注 意

ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラの表面を強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤 ・ボディワックス ・油膜取り剤 ・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- ブラインドコーナーモニターの取り付け位置は、車種により異なります。

アドバイス

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

優先表示の設定

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、優先して表示する画面を選ぶことができます。

1 設定・編集画面（運転支援）で、**カメラ表示優先設定** にタッチします。



2 **ブラインドコーナーモニター**、または **サイドモニターシステム** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

● 優先表示に設定されていない画面は、カメラ呼び出しボタンを押して表示することができます。

ブラインドコーナーモニター／サイドモニター画面への切り替え

各モニター画面への切り替えは、低速時に手動、または自動で行うことができます。

手動で切り替える

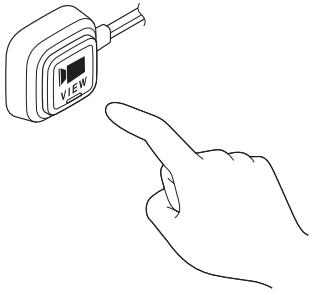
エンジンスイッチが ON で車速が約 12 km/h 未満の場合、各モニター画面を手動で表示することができます。

1 カメラ映像呼び出しボタンを押します。

● 各モニター画面が表示されます。
● ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、表示される画面は優先表示の設定により異なります。（**「優先表示の設定」** 左記参照）
● 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
  ● 車速が約12km/h以上になった場合
  ● カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
  ● チェンジレバーをⓇにした場合※2
  ● **MAP** や **G・INFO** などにタッチした場合

※1 優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。

※2 バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。



6. ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムの操作

自動切り替えを設定する

各モニター画面を自動でON（切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。
また、表示するタイミングも選ぶことができます。

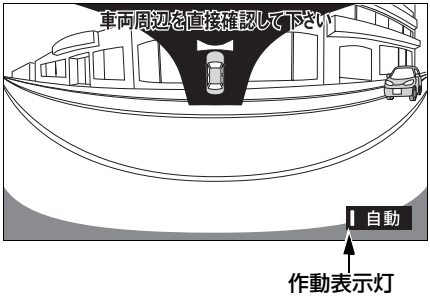
1 各モニター画面で、**自動** にタッチします。

- タッチするごとに、作動表示灯および表示条件が切り替わります。
- 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
  - 車速が約12km/h以上になった場合
  - カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
  - チェンジレバーをⓇにした場合※2
  - **MAP** や **G・INFO** などにタッチした場合

※1 優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。

※2 バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。

作動表示灯	表示条件
黄色	減速して約10ｋm/ｈ以下になった場合
橙色	エンジンスイッチをONにした場合
無灯	自動表示しません

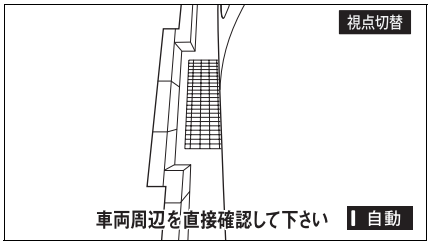


アドバイス

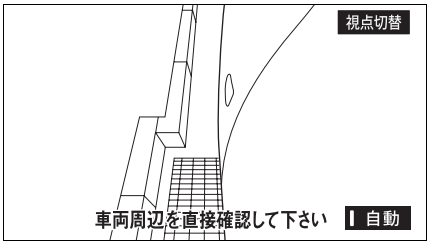
- 車速が約12km/h以上のときは、カメラ映像呼び出しボタンを押してもメッセージが表示され、画面が切り替わりません。
- チェンジレバーがⓇの場合、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。
- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、自動表示の設定は同じになります。異なる設定にすることはできません。

サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え

サイドモニターシステムは、画面に表示する範囲を切り替えることができます。
VIEW A…車両左前方の映像を、左側中心で表示することができます。
VIEW B…車両左前方の映像を、前方中心で表示することができます。



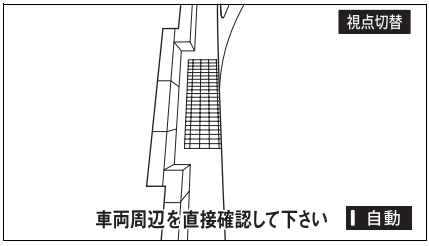
●VIEW A表示画面



●VIEW B表示画面

1 サイドモニター画面で、**視点切替** にタッチします。

● タッチするごとに、VIEW AとVIEW Bが切り替わります。



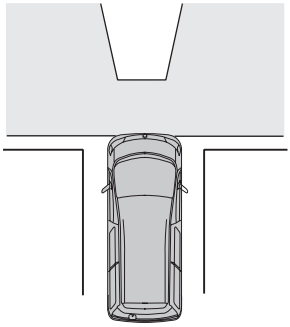
6. ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムの操作

画面に映る範囲について

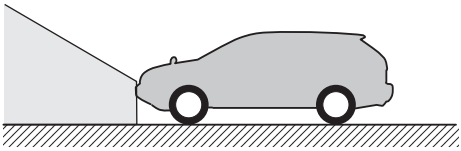
ブラインドコーナーモニターについて

車両の左右前方の映像（下図の範囲）を表示することができます。

■左右方向



■上下方向



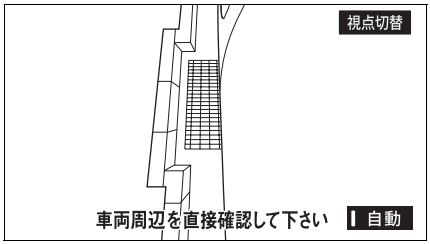
アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
- ブラインドコーナーモニターは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 次のようなときは故障ではありません。
  - 雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
  - 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
  - 画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。
- 画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。（**「画面の調整・設定」**441 ページ参照）

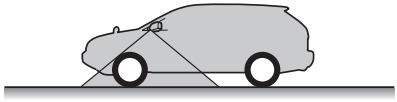
サイドモニターシステムについて

■VIEW A

車両の左前方の映像を、左側中心（下図の範囲）に表示することができます。

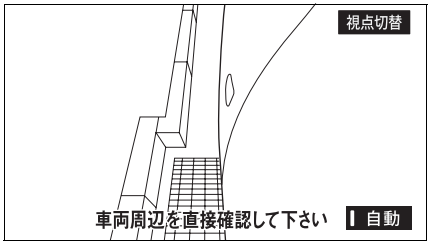


＜映る範囲＞

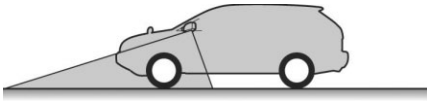


■VIEW B

車両の左前方の映像を、前方中心（下図の範囲）に表示することができます。



＜映る範囲＞



アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラはレンズの特性のため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 次のようなときは故障ではありません。
  - 雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
  - 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
  - 夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
  - 画面の四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。
  - 50Hz 電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- 画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。（**「画面の調整・設定」**441 ページ参照）

7. マルチアングル全周囲モニターを操作する

オプションのマルチアングル全周囲モニターを接続している場合、車両を中心とした全周囲（前方・左右・後方）の映像を表示することができます。
車両後方の映像を表示する場合は、バックガイドモニターのページも参照してください。

- 映像に関する注意点･･･319、320、323、348、349ページ参照
- 並列駐車や縦列駐車の操作方法･･･321ページ参照
- カメラの設定･･･350～352ページ参照

※マルチアングル全周囲モニター機能が使用可能な車種については、販売店にお問い合わせください。

マルチアングル全周囲モニターについて

マルチアングル全周囲モニターは、車両に取り付けられた4つのカメラの映像を次の3つのモードで表示することができます。

- フロントモード…車両前方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- バックモード…車両後方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- 回転表示モード…車両周辺の映像を回転表示することができます。

マルチアングル全周囲モニターの注意点

⚠ 注 意

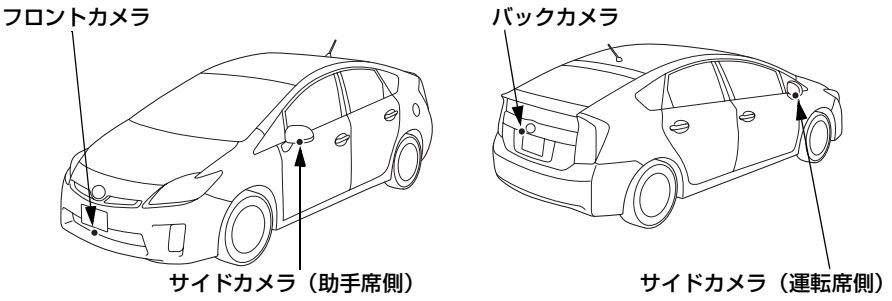
- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に移動できない場合があります。
- **マルチアングル全周囲モニターを過信しないでください。**
  一般の車と同様、必ず周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- **画面だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。**
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。運転するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 次のような状況では使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
- 車両のドアミラーを格納した状態で使用しないでください（車両の後方左右を表示する場合を除く）。適切な範囲を映すことができません。

アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラの注意点

カメラは次の位置に取り付けられています。



⚠ 注 意

マルチアングル全周囲モニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、次のことに注意してください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外しや分解、改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤やボディワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

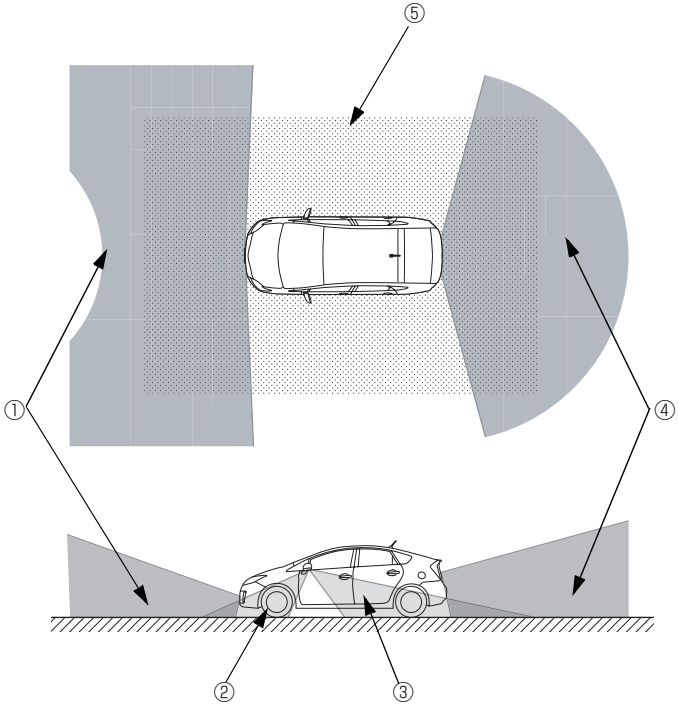
アドバイス

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像を映すことができません。水滴、雪、泥などのよごれが付着した場合、水洗いし、柔らかい布でふき取ります。よごれがひどい場合、中性洗剤で洗い流します。
- サイドカメラには夜間照明（赤外光照明）機能があり、夜間の視認性を確保するために赤外光を遮断しない構造になっています。そのため、昼間の太陽光に含まれる赤外光によって、画面の映像が実際の見え方と異なる場合があります。（例えば、映像の色が薄くなったり変色して見えるなどの現象が生じます。）

7. マルチアングル全周囲モニターを操作する

画面に映る範囲について

各視点表示は、次の範囲を画面に映すことができます。
①前方視点表示
②前方左右視点表示
③後方左右視点表示
④後方視点表示
⑤全周囲視点表示

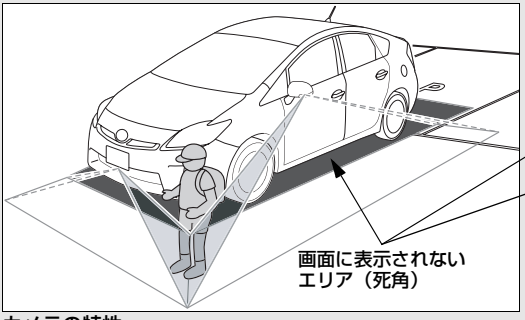


※ 上記は表示範囲を正確に示しているものではありません。

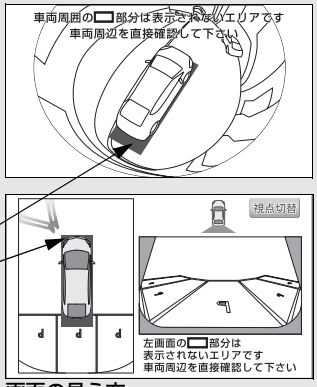
⚠ 注 意

本機能は、車両に取り付けられた４つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲が見えるようにしています。次のマルチアングル全周囲モニターの特性をご理解のうえ使用してください。

- カメラ取付け位置より上部にある物体は映し出されません。
- 車両を上から見た映像や後方から見た映像も映像処理により表現しているため、実際の映像と異なる場合があります。（例えば人物などの立体物が寝ているように映る、距離感が実際とは異なるなどの現象が生じます。）
- 車両の四隅の映像は、人物などの立体物が二重に見えます。
- 車両の四隅および車両付近に死角があり、画面に表示されないエリアがあります。（下図参照）
- 画面に表示される車両は、コンピューター処理しているため、実際の車両と異なります。
- 画面に表示される車両は、実際の形状より大きく表示されるため、車両付近の物体が車両と接触しているように見える場合があります。



カメラの特性



画面の見え方

アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 夜間など、暗いところ。
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高い雨天時などのとき。
  - カメラ付近に泥などの異物がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 車両後方の映像を表示する場合、バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- 広範囲の映像を切り出し、引き伸ばして全周囲画像に処理しているため、画面モードによって部分的に解像度が落ちる場合があります。
- 夜間のサイドカメラ映像は赤外光照明によって周辺を照らすため、昼間の色や明るさとは異なって見えることがあります。例えば赤外光を吸収しやすい物（水たまりなど）は黒く、反射しやすい物（植物の葉など）は白っぽく見えるなどの現象が生じます。

7. マルチアングル全周囲モニターを操作する

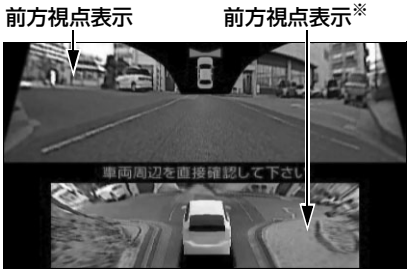
カメラの視点を切り替える

画面の見方

フロントモード

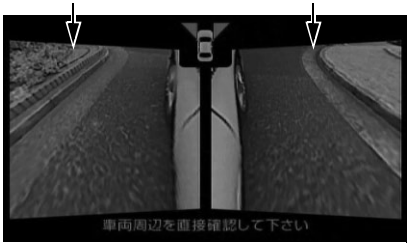


●全周囲＋前方表示画面



●前方表示画面

※車両の後方上部から前方を見る視点の映像を表示します。



●前方左右表示画面

バックモード



●全周囲＋後方表示画面



●後方表示画面（標準）

画面の見方については、バックガイドモニター（325、329ページ）を参照してください。



●後方表示画面（ワイド）

画面の見方については、マルチビューバックガイドモニター（358ページ）を参照してください。

※後方表示画面（ワイド）などの画面で、カメラの一部が映り込む現象（ケラレ）が生じることがありますが、故障ではありません。

前方左視点表示　前方右視点表示



●前方左右表示画面

後方左視点表示　後方右視点表示



●後方左右表示画面（ドアミラーが閉じている場合）

回転表示モード



●回転表示画面

視点の切り替え方

フロントモード

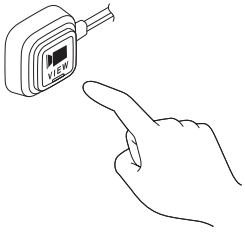
車両のドアミラーが開いていることおよびチェンジレバーがⓇ以外であることを確認してください。

1 フロントモードを表示させます。

- フロントモード表示条件の設定により操作は異なります。（383ページ参照）
- フロントモード優先表示設定で選択した画面に切り替わります。（383ページ参照）

2 カメラ映像呼び出しボタンを押します。

- 押すごとに、視点を切り替えることができます。例えば、フロントモード優先表示画面の設定（383ページ参照）を“サイド”に設定している場合、フロントモードを表示させたときに前方左右表示画面が表示され、カメラ映像呼び出しボタンを押すごとに全周囲＋前方表示画面、前方表示画面、ナビゲーション画面、前方左右表示画面の順に切り替わります。
- 車速が12km/h以上になると、もとの画面に戻ります。



アドバイス

車速が12km/h以上のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと前方左右表示画面が表示されます。

7. マルチアングル全周囲モニターを操作する

バックモード

車両のドアミラーが開いていることを確認してください。（車両の後方左右を表示させる場合を除く）

1 車両のチェンジレバーをⓇにします。

- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

2 **視点切替** にタッチします。

- タッチするごとに、全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の順に切り替わります。
- 後方表示画面（標準）の **縦列ガイド** にタッチすると、縦列ガイドモードに切り替わります。（335ページ参照）
- 車速が10km/h未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと、車両のドアミラーの開閉状態によって前方左右表示画面、または後方左右表示画面が表示されます。もう一度押す、または車速が12km/h以上になると、後方表示画面に切り替わります。
- 車両のチェンジレバーをⓇ以外にした場合、もとの画面に戻ります。



回転表示モード

車両が停止していることを確認してください。

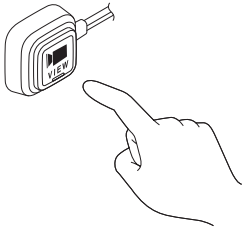
車両のドアミラーが開いていることを確認してください。

車両のチェンジレバーがⓇ以外であることを確認してください。

初期状態では、エンジンスイッチをACC、またはONにすると、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像が回転表示されます。（次ページ参照）

1 カメラ映像呼び出しボタンを1秒以上押します。

- 車両周辺の映像が回転表示されます。表示後、または車速が1km/h以上になると、もとの画面に戻ります。
- 車両のチェンジレバーをⓇにすると、バックモードの映像に切り替わります。



マルチアングル全周囲モニターの設定をする

1 にタッチします。

2 **運転支援** にタッチします。

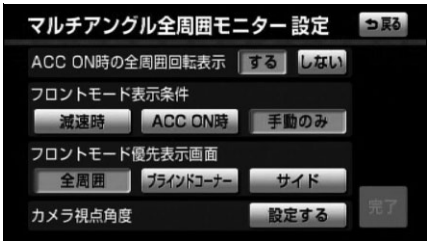


3 **全周囲モニター設定** にタッチします。



4 各機能の設定をします。

● ACC ON時の全周囲回転表示：下記参照。
フロントモード表示条件：次ページ参照。
フロントモード優先表示画面:次ページ参照。
カメラ視点角度：次ページ参照。



5 **完了** にタッチします。

ACC ON時の全周囲回転表示

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像を回転表示させることができます。

フロントモード表示条件を“ACC ON時”に設定していると、エンジンスイッチをACC、またはONにするとオープニング画面が表示された後にフロントモードの画面が表示されるため、ACC ON時の全周囲回転表示を設定することができません。（次ページ参照）

車両のドアミラーが閉じていると、ACC ON時の全周囲回転表示を“する”に設定しても表示されません。

1 ACC ON時の全周囲回転表示の **する** 、または **しない** にタッチします。

7. マルチアングル全周囲モニターを操作する

フロントモード表示条件

フロントモードへの切り替え方を設定することができます。

1 フロント表示条件の **減速時** 、**ACC ON時** 、**手動のみ** のいずれかにタッチします。

● **減速時** ：車速が10km/h未満になったとき、フロントモードに切り替わります。
ACC ON時 ：エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、フロントモードに切り替わります。もとの画面にもどった後（車速が12km/h以上）、再度減速しても自動で切り替わりません。
手動のみ ：カメラ映像呼び出しボタンを押したとき、フロントモードに切り替わります。

フロントモード優先表示画面

フロントモードに切り替えたときに、はじめに表示される画面を設定することができます。

1 フロントモード優先表示画面の **全周囲** 、**ブラインドコーナー** 、**サイド** のいずれかにタッチします。

● **全周囲** ：全周囲＋前方表示画面が表示されます。
ブラインドコーナー ：前方表示画面が表示されます。
サイド ：前方左右表示画面が表示されます。

カメラ視点角度

車両周辺の映像を回転表示させるときのカメラの視点角度を設定することができます。

1 カメラ視点角度の **設定する** にタッチします。

2 、または にタッチします。

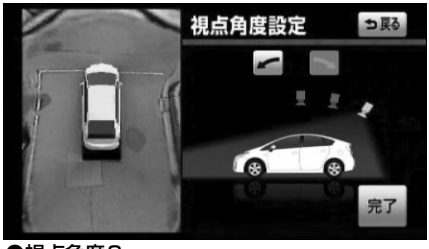
● 視点角度を 3 段階で設定することができます。



●視点角度１



●視点角度２



●視点角度３

3 **完了** にタッチします。

便利な使い方

駐車時などに車両のチェンジレバーのⓇとⒹを連続して切り替える場合、次の設定をすると、画面の全周囲視点表示を固定して、前方視点表示と後方視点表示のみをチェンジレバーに連動して切り替えることができます。

1 にタッチします。

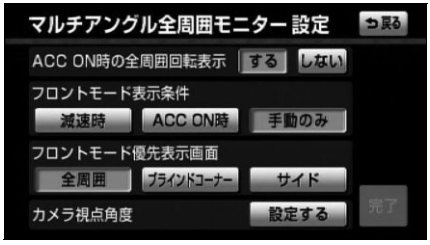
2 **運転支援** にタッチします。



3 **全周囲モニター設定** にタッチします。



4 フロントモード表示条件の **減速時** およびフロントモード優先表示画面の **全周囲** にタッチします。



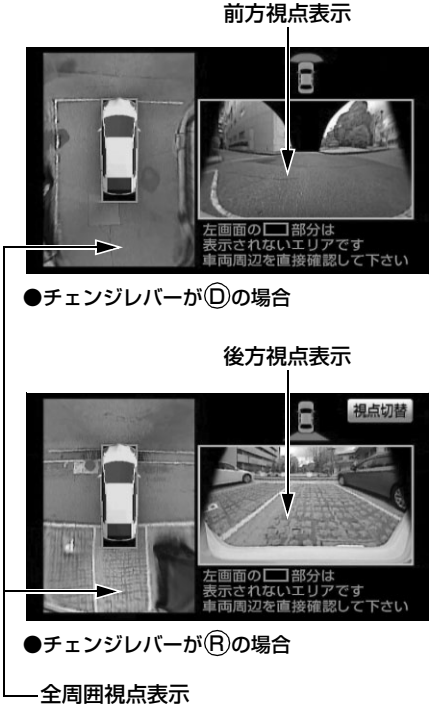
5 **完了** にタッチします。

6 車両のチェンジレバーをⓇにします。

● 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

7 全周囲＋後方表示画面に切り替わるまで **視点切替** にタッチします。

● 車両のチェンジレバーのⓇとⒹを切り替えるごとに、次のように画面が切り替わります。



1. 補正が必要なとき

次のようなときは補正を行うことが必要です。
● タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。（距離の補正）

また、次のようなときも補正を行うことができます。
● 実際の現在地と異なる場所に自車マーク ⓐ が表示されている（自車マーク ⓐ がずれている）とき…自車マーク ⓐ の位置と向いている方向を修正することができます。（現在地の修正）
● 走行中、地図の自車マーク ⓐ の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自車マーク ⓐ の進み方を修正することができます。（距離の補正）
ただし、地図の自車マーク ⓐ がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

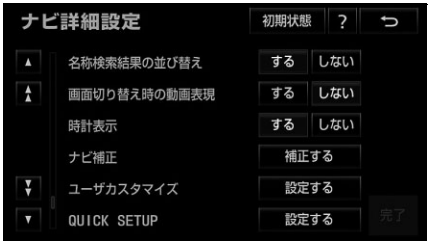
現在地の修正

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **現在地修正** にタッチします。



5 ⇧ にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。



6 **セット** にタッチします。

アドバイス
800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

7 方向を設定します。

● 方向を反時計まわりに動かすときは ↺ 、時計まわりに動かすときは ↻ にタッチします。



8 **セット** にタッチします。

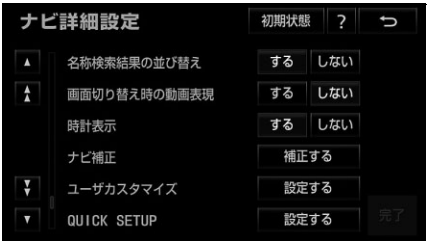
距離の補正

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **距離補正** にタッチします。

● 自動補正、または手動補正を行います。



1. 補正が必要なとき

自動補正するとき

1 **自動補正** にタッチします。

- 自動補正中は距離補正を操作することはできません。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチがもとにもどります。



手動補正するとき

1 自車マーク の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは ▶ （進める）、早く進むときは ◀ （遅らせる）にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしていますが、自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。その場合、新たに自動補正を開始して急速補正を実施します。急速補正を実施中は、距離補正係数の計算をしなおしますので、GPS電波の受信状態が良好な道路を約30ｋｍ走行してください。
- 自動補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車マーク の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- 最も進めると ▶ 、最も遅らせると ◀ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

各種設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。
記憶されている中から、ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

記憶することのできる設定項目

項目	ページ
設定・編集画面のナビ詳細設定項目の設定※	72
設定・編集画面の安全・快適走行設定項目の設定	79
音量設定	86
地図表示縮尺の設定	92
地図向きの設定	98
2画面時の右画面の設定	100
地図表示モードの設定	100,108
メンテナンス自動通知の設定	239
VICS（現況情報）、統計データ情報（統計情報）の地図表示の設定	255、267
VICS（現況情報）、統計データ情報（統計情報）の道路表示内容の設定	257、268
ETCの設定	318

※ ルート学習結果の消去、車両情報設定、目的地履歴の消去、予測候補履歴の消去、ナビ補正は記憶することができません。

アドバイス

バッテリーの交換や地図データの更新などをするとナビゲーションの各種設定で変更した内容が初期状態にもどりますので、設定内容を記憶することをおすすめします。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

ナビゲーション設定の記憶

1 記憶したい状態に設定します。

● 現在の設定をそのまま記憶するときは、変更する必要はありません。

2 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

3 **その他** にタッチします。

4 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。

5 各設定の右側にある **記憶** にタッチします。



6 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。

● すでに記憶されている設定にタッチしたときは、**はい** にタッチすると上書きします。



7 新規で記憶するときは、次に表示された画面で、名称を入力します。

● 入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214 ページを参照してください。



8 **完了** にタッチします。

アドバイス

ナビゲーション設定が記憶されていないときは、**名称変更** 、**消去** がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

記憶の呼び出し

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。

4 設定1～3のいずれかにタッチします。

● タッチしたタッチスイッチに記憶されている各種ナビ設定の状態に設定を変更します。



名称の変更

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。

4 各設定の右側にある **名称変更** にタッチします。



5 修正、入力します。

● 修正、入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**214 ページを参照してください。



6 **完了** にタッチします。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

ナビゲーション設定の記憶の消去

1 設定・編集画面（ナビ）で、**ナビ詳細設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

3 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチします。

4 各設定の右側にある **消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。



3. 地図データベースの更新

マップオンデマンドについて

マップオンデマンドは、全国の高速道路・有料道路・主要国道、ナビゲーションに登録した自宅および設定した目的地周辺の道路変更部分のみを、携帯電話網※、インターネットを通じてナビゲーションに配信するサービスです。
これにより、地図データを短期間で更新でき、更新された地図を使って、ナビゲーションのルート探索・案内を利用できます。
※ G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをしているときに使用できます。

掲載画面について

本書で使用している画面は、特に注記のない限り、携帯電話使用時の画面を使用しています。

全更新と差分更新について

地図更新には、「全更新」と「差分更新」があります。
マップオンデマンドは「差分更新」になります。

全更新

最新版地図ソフトで全国の地図データをすべて更新します。マップオンデマンド（差分更新）を継続して利用するためには、トヨタ販売店で最新版地図ソフトを購入いただき、更新していただく必要があります。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。
※最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

- 全更新するときは、それまでのマップオンデマンド（差分更新）のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

差分更新

通信またはメディア（CD-R/DVD-R）を使用して、部分的に地図データを更新します。この場合、更新するエリアは更新方法によって異なります。

- 更新方法により、通信にかかる実費などが別途必要です。（次ページ参照）
- 更新される情報は道路や案内情報、全国の3Dランドマーク相当の著名な施設です。

3. 地図データベースの更新

差分更新サービス期間と費用

■サービス期間について

機器購入後、3年間サービスをご利用いただけます。その後は、最新版地図ソフトを購入いただければ、2年間サービスをご利用いただけます。

※ 通信による自動更新のご利用には、G-BOOKの契約（初年度無料、2年目以降有料）が必要です。トヨタの販売店にて書面でお申し込みください。

■更新にかかる費用について

更新方法		購入時～3年間更新時の費用	4年目～
通信で更新 G-BOOKオンラインサービス利用時	Bluetooth対応携帯電話による更新	通信にかかる実費	継続して利用する場合2年間の地図更新付き最新版地図ソフトを購入
	通信モジュールで更新 通信モジュール使用時	G-BOOK基本利用料に含まれています。	
メディア（CD-R/DVD-R）で更新	マップオンデマンドPCサイトからダウンロード	メディア（CD-R/DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費	
	マップオンデマンド・サポートデスクへ注文	地図更新DVD代 （395ページ）	

更新エリアと更新対象について

各更新方法の更新エリアおよび更新対象は、次のようになっています。

地図データ		更新エリア・更新対象		
		マップオンデマンド（差分更新）		全更新
		通信で更新 G-BOOKオンラインサービス利用時	メディア（CD-R/DVD-R）で更新	
道路データ	高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）	全国	ご希望の都道府県（全国の高速道路・主要国道を含む）	全て
	国道	主要国道は全国		
	主要地方道、県道、市道、幹線、その他の案内道路、幅5.5m未満の道路	自宅と目的地周辺 ・自宅80ｋｍ四方（幅5.5m未満の道路10ｋｍ四方） ・目的地周辺10ｋｍ四方		
施設情報		・全国の有料道路施設 ・全国の3Dランドマーク相当の著名な施設		
市街図、音声案内		配信対象外※		

※ マップオンデマンド（差分更新）により新たに追加された交差点などでは、ルート案内時、音声案内されない場合があります。

更新情報は、使用データ画面（408ページ）や地図更新情報画面（405ページ）で確認することができます。

マップオンデマンドの更新方法について

更新方法は次の方法があります。

● 通信で更新

Bluetooth 携帯電話、または通信モジュールを利用して更新します。
全国の高速道路・有料道路・主要国道、ならびに自宅周辺と目的地周辺を更新できます。
※ 通信にはG-BOOKオンラインサービスをご利用いただきます。
※ 携帯電話で更新する場合、通信にかかる実費はお客様にご負担いただきます。初回の更新のみメディア（CD-R/DVD-R）が必要です。

● メディア（CD-R/DVD-R）で更新

ご希望の都道府県の最新データを、パソコンの G-BOOKサイトからパソコンにダウンロードし、作成した地図更新メディア（CD-R/DVD-R）を使って、本機のデータを更新します。
本機へのダウンロードは3都道府県毎になります。
※ この方法はG-BOOK オンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。この場合、GAZOO 会員ID とパスワード、および本機に同梱の「シリアルNo.」または「G-BOOK用車載端末IDラベル」が必要です。
詳しくは、パソコンの G-BOOKサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。
※ メディア（CD-R/DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費はお客様にご負担いただきます。

● 地図更新DVDを注文して更新

マップオンデマンド・サポートデスクに電話していただければ、地図更新DVDを注文することができます。
※この方法はG-BOOK オンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。
※地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店または G-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

マップオンデマンドに関するお問い合わせ

下記マップオンデマンド・サポートデスクにお電話にてお問い合わせください。
お問い合わせの際は、お手元に本機の型番（NHZA-W60G）と本機に同梱の「シリアルNo.」または「G-BOOK用車載端末IDラベル」をご用意ください。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561-57-6814
受付時間　9:00～18:00（年中無休）

3. 地図データベースの更新

地図更新画面について

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

地図更新画面を表示する

1 設定・編集画面（ナビ）で、**地図更新** にタッチします。



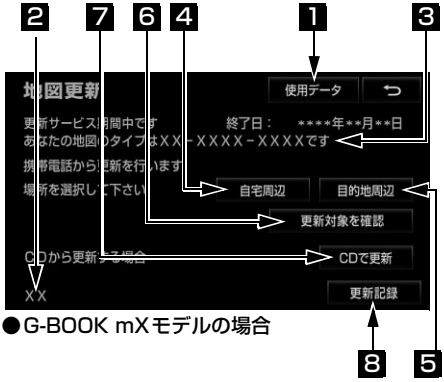
アドバイス

更新方法は、設定・編集画面（ナビ）で **地図更新** にタッチする操作から説明していますが、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）で **地図更新** にタッチしても同様に操作することができます。

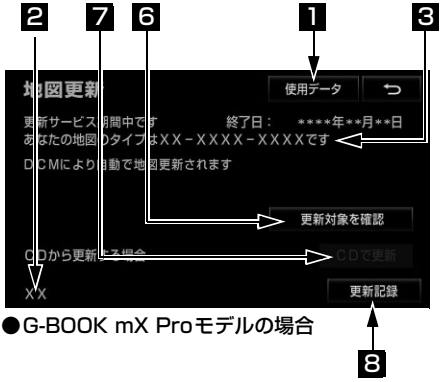
地図更新画面の使い方

次の情報が確認できます。

- 更新サービス終了日
- 地図のタイプXX-XXXX-XXXX
  - パソコンサイトからパソコンにデータをダウンロードするとき、または電話で地図更新DVDを注文するときに、地図のタイプの情報が必要になることがあります。（402ページ参照）



●G-BOOK mXモデルの場合



●G-BOOK mX Proモデルの場合

	スイッチ／表示	機　能
1	**使用データ**	使用データ画面を表示する。 ● ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。 ● 使用データ画面に表示される **地図更新** は、全更新時に販売店が使用します。
2	**ナビゲーション地図のバージョン**	ナビゲーション地図のバージョンを示しています。 地図更新DVDをご注文の際などに必要になることがあります。
3	**ナビゲーション地図のタイプ**	ナビゲーション地図のタイプを示しています。 地図更新DVDをご注文の際などに必要になることがあります。
4※	**自宅周辺**	携帯電話で、全国の高速道路・有料道路・主要国道と自宅周辺の更新をする。 ● 自宅を登録すると有効になります。
5※	**目的地周辺**	携帯電話で、全国の高速道路・有料道路・主要国道と目的地周辺の更新をする。 ● 目的地を設定すると有効になります。
6	**更新対象を確認**	携帯電話で、更新エリアと更新対象を確認する。
7	**CDで更新**	メディア（CD-R/DVD-R）で更新をする。 ● **CDで更新** と表示されますが、DVDも利用できます。
8	**更新記録**	最新の更新日を確認する。

※ 通信モジュール使用時は表示されません。

3. 地図データベースの更新

地図の更新

ご希望の更新方法で地図を更新します。

- 携帯電話で更新する（次ページ参照）
- 通信モジュールで更新する（401ページ参照）
- メディア（CD-R/DVD-R）で更新する（402ページ参照）
  - 各更新方法の更新エリアと更新対象については、**「更新エリアと更新対象について」**（394ページ）を参照してください。
  - 地図更新にかかる時間については、**「地図更新にかかる時間の目安について」**（406ページ）を参照してください。

※ メディア（CD-R/DVD-R）の費用やパソコンの通信費用、地図更新DVDなどにかかる実費はお客様のご負担になります。

地図更新中の操作について

地図更新中でも、エンジンスイッチやナビゲーション、オーディオなどの操作をすることができます。

- 更新の途中でエンジンスイッチをOFF(LOCK）にしても、次回エンジンスイッチをACCまたはONにすれば処理を再開します。
- 差分データが本機にダウンロードまたはコピーされ、地図更新の準備ができた後、地図画面の **地図更新** にタッチしないでエンジンスイッチをOFF(LOCK）にすると、次回起動時に地図更新の処理を行うため、オープニング画面の表示時間が長くなることがあります。
- 差分データをダウンロードまたはコピー中、および地図更新準備中に、ナビゲーション、オーディオなどの操作を行っても地図の更新は継続されます。ただし、音楽CDをハードディスクに録音している間は、地図更新の処理を中断します。この場合は、録音終了後、地図更新の処理を再開します。

携帯電話で更新する

G-BOOK mX利用時

新しい地図配信データがある場合に、手動で更新します。
※携帯電話で更新する場合、通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

[初回の更新]

初回はメディア（CD-R/DVD-R）による更新が必要になります。メディア（CD-R/DVD-R）は402ページを参照し、ご用意ください。

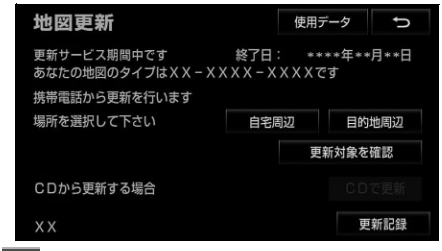
[2回目以降の更新]

1 設定・編集画面（ナビ）で、**地図更新**にタッチします。



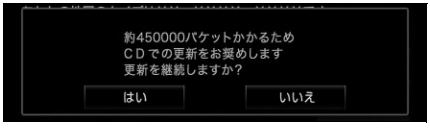
2 更新するエリア（**自宅周辺**、または**目的地周辺**）にタッチします。

- G-BOOKセンターに接続します。
- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。



3 データ量が多いときはメッセージが表示されます。継続してよければ**はい**にタッチします。

- データ量が多いときは、メディア（CD-R/DVD-R）での更新をおすすめします。



4 ダウンロード中はこの画面が表示されます。

- ダウンロード中、ナビゲーション操作は通常通りご利用可能です。**MAP**にタッチしてご利用ください。



5 ダウンロードが完了すると、地図更新準備画面に変わります。

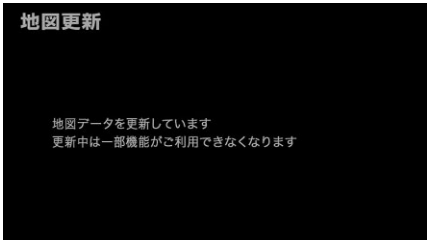
- 更新準備中、ナビゲーション操作は通常通りご利用可能です。**MAP**にタッチしてご利用ください。



3. 地図データベースの更新

6 更新準備が完了すると、「地図の更新準備ができました」と音声で案内します。**地図更新** にタッチすると、地図の更新を開始します。





● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。



アドバイス

- データ量が多いときに表示される通信データ量は概算値になります。
- 前回のダウンロードを途中で中断した場合は、同じデータであれば続きのダウンロードを開始します。ただし、前回のダウンロードと違うデータをダウンロードしようとしたときは、ダウンロード途中データ破棄のメッセージが表示されます。
- データのダウンロード終了後、**地図更新** にタッチしないでエンジンスイッチをOFF(LOCK)にした場合、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたとき、自動で新しい地図に更新します。
- 更新するデータ量によっては、更新準備完了に時間がかかる場合があります。途中でエンジンを切っても、地図の更新は継続されます。

通信モジュールで更新する

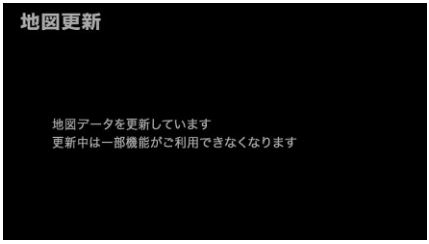
G-BOOK mX Pro利用時

新しい地図配信データがある場合、自動でダウンロードし、更新準備まで行います。
更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。

1 エンジン始動時、または目的地設定時にG-BOOKセンターに接続し、新しい地図データがあると、自動でデータがダウンロードされます。

2 更新準備が完了すると、「地図の更新準備が完了しました」と音声で案内します。
地図更新 にタッチすると、地図の更新を開始します。





● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。



3. 地図データベースの更新

メディア（CD-R/DVD-R）で更新する

未更新の期間が長い場合はメディア（CD-R/DVD-R）での更新をおすすめします。

※ メディア（CD-R/DVD-R）代やパソコンの通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

メディア（CD-R/DVD-R）を用意する

次のいずれかの方法でメディア（CD-R/DVD-R）を用意してください。その際、地図のタイプの情報が必要になることがあります。あらかじめ、地図更新画面で確認しておいてください。（396 ページ参照）

■インターネットから入手する

1 パソコンの G-BOOKサイト（http://g-book.com/）からデータをダウンロードします。

- G-BOOK オンラインサービスを利用していない場合は、GAZOO 会員ID とパスワード、本機の型番（NHZA-W60G）と本機に同梱の「シリアルNo.」または「G-BOOK用車載端末IDラベル」をご用意ください。
- メディア（CD-R/DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

2 ダウンロードしたデータを解凍してメディア（CD-R/DVD-R）にコピーします。

■電話で注文する

マップオンデマンド・サポートデスクに電話して注文してください。
その際、以下の情報が必要になることがありますので、あらかじめご確認ください。

- 本機の型番（NHZA-W60G）と本機に同梱の「シリアルNo.」または「G-BOOK用車載端末IDラベル」
- 地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561-57-6814
受付時間　9:00～18:00（年中無休）

⚠ 注 意

- メディア（CD-R/DVD-R）には地図データ以外の情報を入れないでください。
- ダウンロードしたデータのファイル名および拡張子を変更しないでください。
  変更すると地図更新できません。

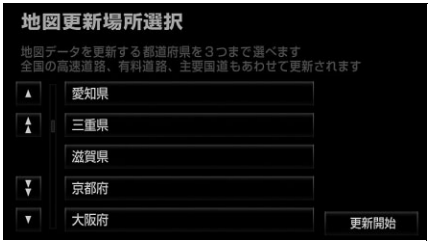
地図を更新する

更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。

1 メディア（CD-R/DVD-R）を差し込みます。

2 メディア（CD-R/DVD-R）に4都道府県以上のデータがある場合は更新する都道府県を選択し、**更新開始** にタッチします。

- 1 回の更新で 3 都道府県まで更新することができます。
- メディア（CD-R/DVD-R）に3都道府県以下しかデータがない場合は、**3** の画面を表示します。
- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。



3 コピー中はこの画面が表示されます。

- コピー中、ナビゲーション操作は通常通りご利用可能です。**MAP** にタッチしてご利用ください。



4 コピーが完了すると、地図更新準備画面に変わります。

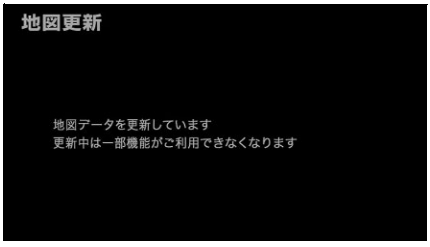
- 更新準備中、ナビゲーション操作は通常通りご利用可能です。**MAP** にタッチしてご利用ください。
- コピーが完了した時点で、メディア（CD-R/DVD-R）を取り出すことができます。



3. 地図データベースの更新

5 更新準備が完了すると、「地図の更新準備ができました」と音声で案内します。**地図更新** にタッチすると、地図の更新を開始します。





● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。



■続けて更新する場合は

メディア（CD-R/DVD-R）に複数のデータ（4都道府県以上）が収録されている場合、続けて更新作業を行うことができます。

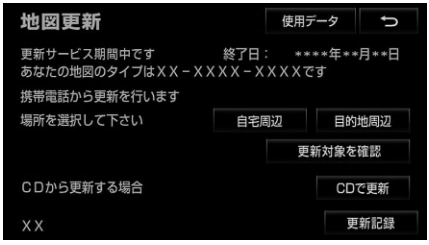
1 メディア（CD-R/DVD-R）が差し込まれているときに、設定・編集画面（ナビ）で **地図更新** にタッチします。



2 **CDで更新** にタッチします。

● 本機では **CDで更新** と表示されますが、DVDも利用可能です。

● 前ページ **2** 、または **3** の画面が表示されます。手順にそって操作を行ってください。



アドバイス

● 次の場合にメディア（CD-R/DVD-R）で更新しようとすると、メッセージが表示されます。
  ● 携帯電話で差分データをダウンロード中。
  ● 携帯電話でダウンロード途中の差分データがあるとき。

● データのコピー終了後、**地図更新** にタッチしないでエンジンスイッチをOFF(LOCK)にした場合、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたとき、自動で新しい地図に更新します。

更新記録情報を表示する

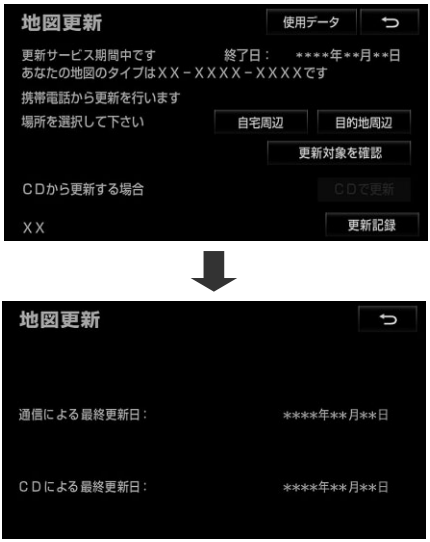
最新の更新記録を表示することができます。更新作業が完了したら、最新の更新日時が記載されていることを確認することができます。

1 設定・編集画面（ナビ）で **地図更新** にタッチします。



2 **更新記録** にタッチします。

● 最新の更新日時が表示されます。



3. 地図データベースの更新

マップオンデマンドの留意事項

■知っておいていただきたいこと

● 携帯電話での更新について

地図更新に携帯電話を使用される場合は、次の点をご理解の上、ご利用ください。

- 初回はメディア（CD-R/DVD-R）による更新が必要です。（402 ページ参照）
- 接続時間は更新に必要な差分データ量により異なります。また、電波状況や携帯電話の通信速度によっても異なります。
- 通信料は更新に必要な差分データ量によって異なります。未更新の期間が長い場合は、メディア（CD-R/DVD-R）での更新をおすすめします。

● 地図更新にかかる時間の目安について

地図更新にかかる時間は、大きく分けて次の2つがあります。

- 地図更新準備までの時間

  差分データをダウンロードまたはコピーし、地図更新をするまでの時間です。
  更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。

  ※ 更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。

  ※ 更新準備中にエンジンを切っても問題はありません。次回エンジン始動時に前回中断したところから更新準備を再開します。

  ※ 音楽CDをハードディスクに録音している間は、一時的に更新準備を停止し、録音終了後に処理を再開するため、その分時間がかかります。

- 地図更新をする時間

  本機の地図データを書き換える時間です。

  地図更新準備が完了後、現在地画面の **地図更新** にタッチしてからは、数十秒程度で地図更新が完了します。ただし、差分データ量が多い場合は数分程度かかることがあります。

  ※ 更新中はナビゲーションの機能が一部操作できません。

● 各道路の更新データ配信の目安について

- 高速道路は供用開始後、最短7日で配信します。

  ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集／整備状況により、配信までに3ヶ月ほどかかる場合もあります。
- 一般道路は開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信されます。

● 配信されないデータについて

差分更新では、音声案内データは配信されません。

交差点、路線、方面名称、施設名称などが新規に変更された場合、固有の音声案内は出力されません。

■故障とお考えになる前に

症　状	考えられること	処　置
地図更新画面の終了日が「＊」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	通信モジュール使用時 お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	故障ではありませんのでそのままご利用ください。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	設定・編集画面（ナビ）で **地図更新** にタッチし、表示された画面で状態を確認してください。

4. 地図データの情報

地図データの情報表示

全更新する

地図データの全更新については販売店にご相談ください。

● 全更新するときは、それまでのマップオンデマンド（差分更新）のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

データベース情報を表示する

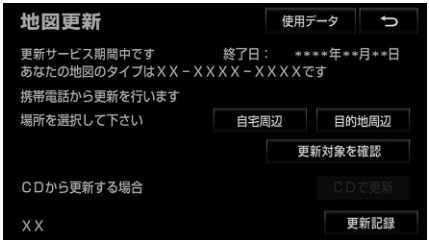
本機に使用されている地図データの情報を見ることができます。
下記の画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類により表示内容が異なります。

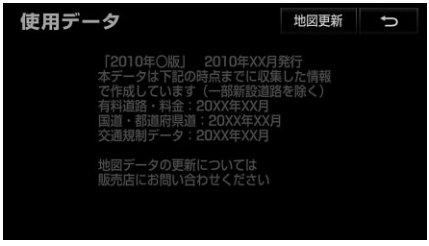
1 設定・編集画面（ナビ）で、**地図更新** にタッチします。



2 **使用データ** にタッチします。

● 使用データ画面が表示されます。





アドバイス

使用データ画面の **地図更新** は販売店にて地図データの全更新を行うときに使用します。
地図データの更新については、販売店にご相談ください。

5. 精度と誤差

測位精度について

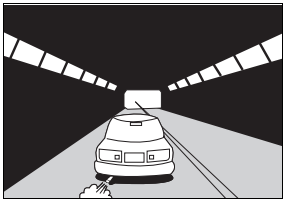
GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態について

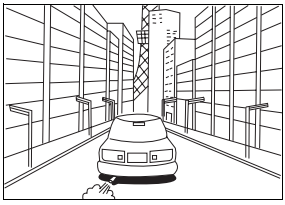
GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。
さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

- GPS 衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

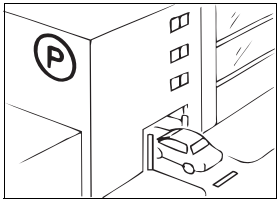
トンネルの中や地下、屋内駐車場

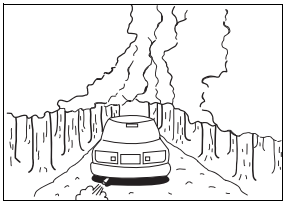


高層ビルなどの障害物で周囲を囲まれたところ

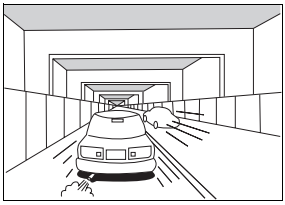


建物の中

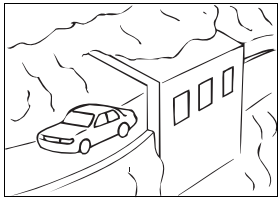




樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

5. 精度と誤差

現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

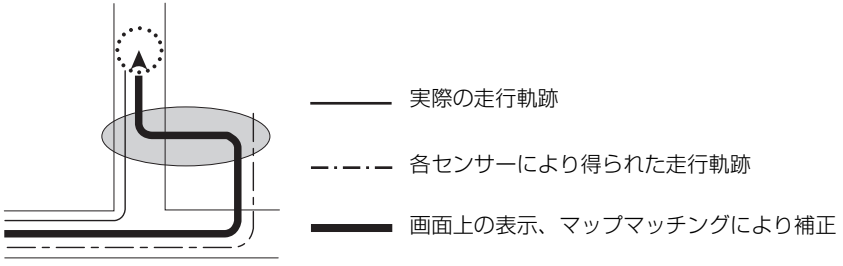
タイヤによる誤差について

本機では自車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているので、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。(距離補正係数の設定を変えて調整できます。)

マップマッチングによる自車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。
本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせて得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。
しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。
また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車マークがずれる場合があります。

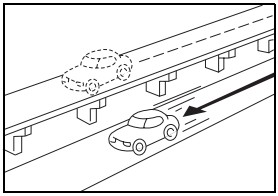


アドバイス

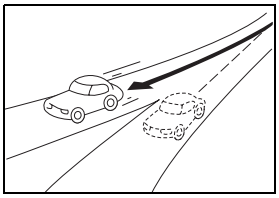
エンジンスイッチ（ACC）をOFFからONにしてすぐに車を動かすと、GPS衛星電波などからの情報が受信できない場合があり、自車マークが回転、位置ズレなどを起こし、実際と異なる表示になることがあります。

現在地表示、ルート案内の精度について

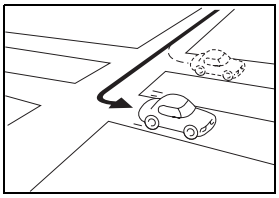
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



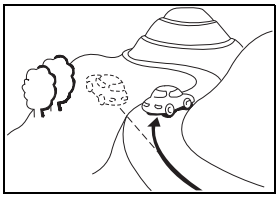
並走している道路に現在地が表示される。



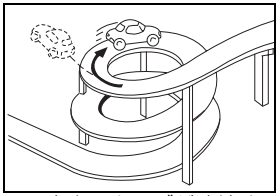
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



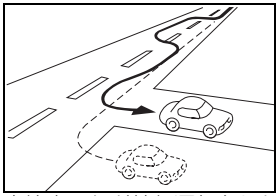
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



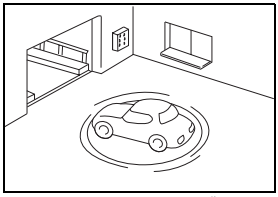
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



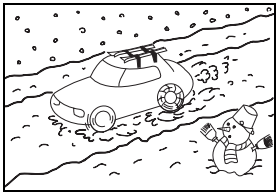
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



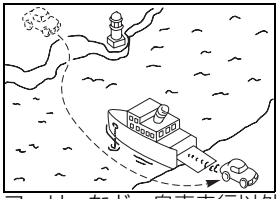
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



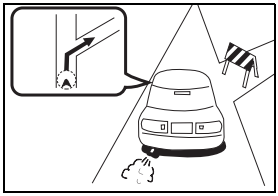
駐車場のターンテーブルなどで、旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



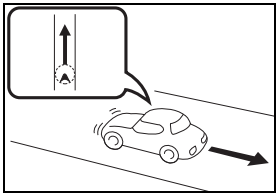
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



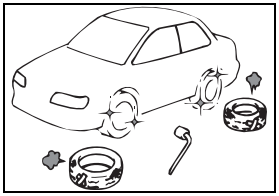
フェリーなど、自車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路(進入禁止など)を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。



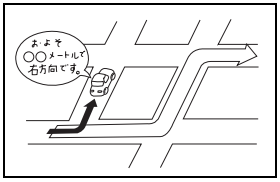
タイヤを交換した場合、自車マークがずれることがあります。

5. 精度と誤差

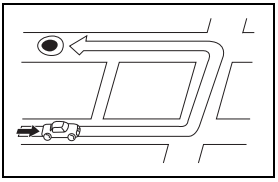
道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

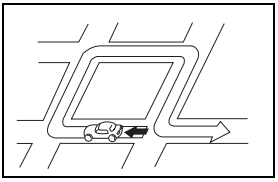
ルート案内について



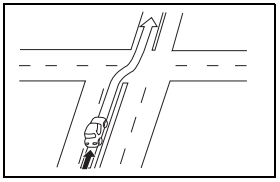
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



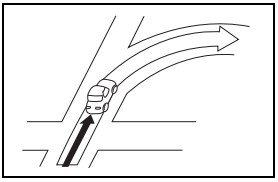
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



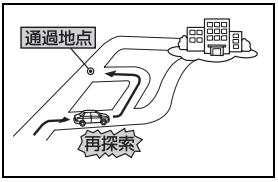
Uターンするルートを案内する場合があります。



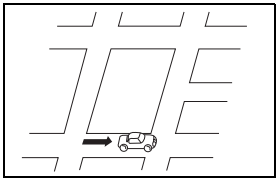
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)



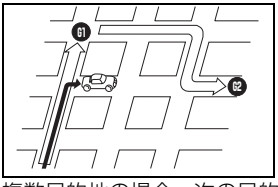
交差点で曲がるのに案内のでない場合があります。



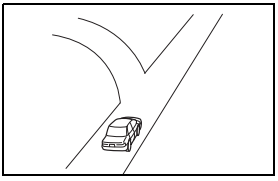
通過地点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過地点へもどるルートが出る場合があります。



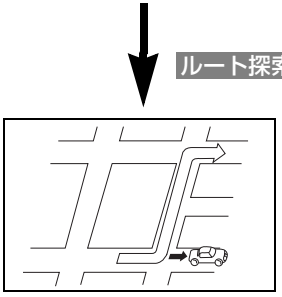
ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。

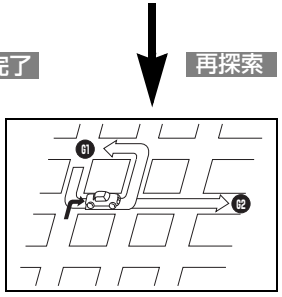


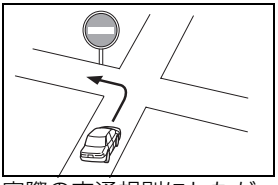
複数目的地の場合、次の目的地を通らずに、再探索するともどるルートになります。



方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。







実際の交通規則にしたがって運転してください。

- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地・通過道路として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
  同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
  （「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです）

MEMO

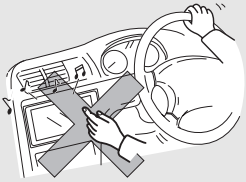
Audio & Visual

オーディオ・ビジュアル

1. ご使用になる前に

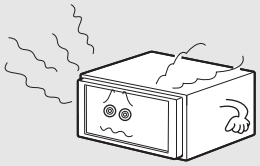
⚠ 警 告

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



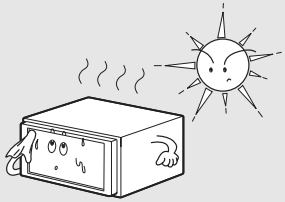
交通事故の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



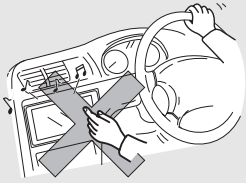
こんなときはすぐに本機の電源をOFFにしてください。

車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



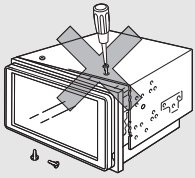
故障の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



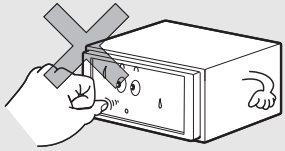
交通事故の原因となります。

分解、改造はしないでください。



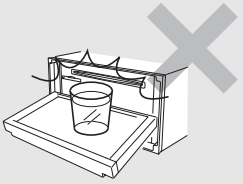
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

ディスプレイに強い力を加えたりしないでください。



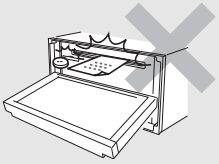
故障の原因となります。

ディスプレイの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、ディスプレイを倒したままにしないでください。



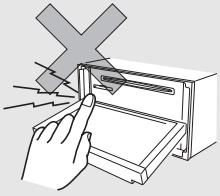
故障の原因となります。

差し込み口にはディスクおよび“SDメモリーカード”、B-CASカード以外のものを絶対に入れないでください。

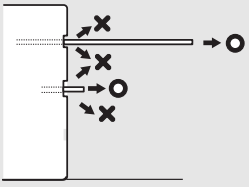


故障の原因となります。

ディスプレイ収納時、指などを差し込まないよう注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスク、または“SDメモリーカード”を取り出すときは水平方向に引き出してください。
上側、下側に強く引き出さないでください。また、右側、左側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“SDメモリーカード”を破損するおそれがあります。

ディスクについて

アドバイス

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用CD・映像用DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。



- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R （CD-Recordable ）、CD-RW （CD-ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R 、CD-RW は再生できません。
- ビデオモードで記録されたDVD ± R、DVD ± RW、またはビデオレコーディング（VR）モードで記録された DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL のみ使用できます。（違法コピーを検出した際は、再生できません。正しい方式で記録されない PC ソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。）
- DVD ± R（DVD ± Recordable）、DVD ± RW（DVD ± ReWritable）、DVD-R DL（DVD-Recordable Dual Layer）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL は再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



1. ご使用になる前に

アドバイス

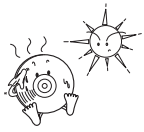
● DTS、DTS2.0 Channelに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。

2.0 Channel

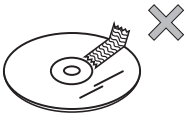
Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks & DTS Digital Surround and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

ディスクの取扱いについて

● ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



● 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



● ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



● 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。



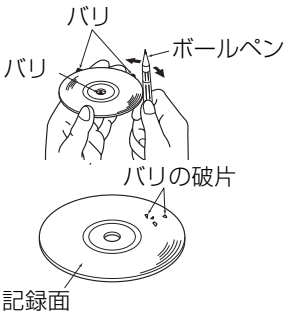
● 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



アドバイス

新しいディスクについて

● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。

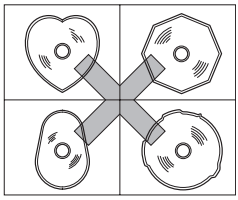


レンタルディスクについて

● ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

特殊形状のディスクについて

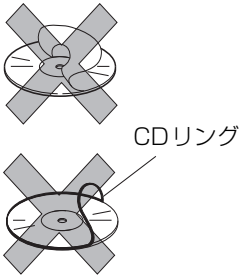
● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリーについて

● 音質向上やディスク保護、印字ラベルとして市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

● 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CDリング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



1. ご使用になる前に

“SDメモリーカード”について

アドバイス

- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、“SDメモリーカード”を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- “SD メモリーカード”の再生後は、すみやかに“SD メモリーカード”を取り出してください。
- “SDメモリーカード”再生中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

使用できる“SDメモリーカード”について

- 32MB～32GB までの容量の“SDメモリーカード”に対応しています。
- 下記のマークの付いた“SDメモリーカード”は使用できます。

SDロゴは商標です。SDHCロゴは商標です。miniSDロゴは商標です。miniSDHCロゴは商標です。
microSDロゴは商標です。microSDHCロゴは商標です。

- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDカード”、“miniSDHCカード”、“microSDカード”、“microSDHCカード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- “SDメモリーカード”のフォーマット（初期化）は、次のソフトを使用してフォーマットをしてください。
  - Panasonic SD-Jukebox V5以降
  - Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0以降

  上記以外のソフトでフォーマットされた“SDメモリーカード”で、SD規格に準拠していない場合は本機で使用できないことがあります。また、使用できた場合でも、再生時の音飛びなどの不具合は保証できません。

アドバイス

“SDメモリーカード”の取扱いについて

- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



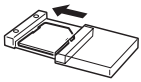
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“SD メモリーカード”は使用しないでください。



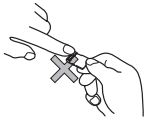
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“SD メモリーカード”が使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



液晶パネルについて

アドバイス

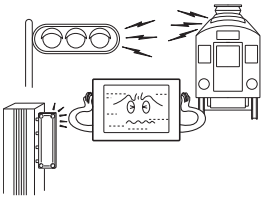
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

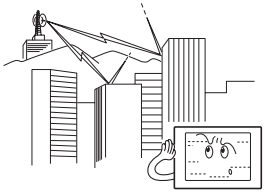
1. ご使用になる前に

テレビについて

アドバイス

- 本機のテレビは、地上デジタルテレビ放送の受信ができます。
- 車載器での地上デジタルテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、テレビ、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





アンテナのお手入れについて

アドバイス

- フィルムテレビアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

1. 電源の入れ方、オーディオモードの切り替え方

電源の入れ方／切り方

1 ♪(PWR) に1秒以上タッチすると、電源がONになります。

● 電源を切るときは ♪(PWR) に1秒以上タッチします。



オーディオモードの切り替え方

1 ♪ にタッチします。

● 現在、選択されているオーディオモードの操作画面が表示されます。

● ▶ 、または ◀ にタッチして、切り替えたいオーディオモードのタッチスイッチを表示させます。





2 各オーディオモードのタッチスイッチにタッチしたモードに切り替わります。

● オーディオ操作画面（次ページ）が表示されます。

アドバイス

● USB は、オプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）が接続されていないと表示されません。ただし、「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）が接続されていても、USBメモリが接続されていないとスイッチがトーンダウンして操作できません。

● iPod は、iPodがオプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod 接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）に接続されていないと表示されません。

● VTR は、オプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）が接続されていないと表示されません。

2. 各モードの操作画面

オーディオ操作画面の表示

1 各モードの操作画面を表示させるときは、♪ にタッチします。

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

● AM操作画面



● FM操作画面



● DISC（CD）操作画面



● DISC（MP3・WMA）操作画面



● DISC（DVD）操作画面



● HDD操作画面



● デジタルテレビ操作画面



● Bluetoothオーディオ操作画面



● AUX操作画面



● SD操作画面



● USB操作画面（オプション）



● iPod操作画面（オプション）



● VTR操作画面（オプション）



操作画面継続表示の設定が「しない」の場合、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されます。操作画面継続表示の設定を変更するには、**「操作画面継続表示の設定」**（54 ページ）を参照してください。

2. 各モードの操作画面

オーディオ情報の表示

地図画面を表示したまま、聞いている曲名やアーティスト名、受信している放送局名などの情報を表示することができます。ナビゲーション画面を表示しているとき（90 ページ参照）に操作します。

1 ♪Info にタッチします。





3. 音量の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチで調整します。



● 1 回タッチすると 1 ステップずつ音量が変わります。また、タッチし続けると音量が変わり続けます。

VOL＋（上側）：音量UP
（大きくなる）

VOL－（下側）：音量DOWN
（小さくなる）

アドバイス

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 音量がMAX（MIN）になると、それ以上のUP（DOWN）はできません。
- オーディオモードを切り替えたときに、音量に違いが生じることがあります。音量はお使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。

4. 音質の調整

車室内では、再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、車のボディタイプなどさまざまな要因で音本来の性質が大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

SOUND画面の表示

1 オーディオ操作画面で、**SOUND** にタッチします。

- SOUND画面が表示されます。
- SOUND 画面から次のような設定をすることができます。



タッチスイッチ	機　能	ページ
EUPHONY	音声に拡がりと臨場感をもたせるサラウンド効果を設定することができます。	次ページ
CSE	圧縮された音域を原音にもどしたり、音声をよりクリアに再生することができます。	431
BASS	CSE設定時に、従来のトーンコントロールではできなかった低域の音質（音のしまり/立ち上がり/減退）を調整することができます。	432
FOCUS	車の各スピーカーから耳に届くまでの時間を調整することができます。	434
ROAD EQ/ ミュートレス音声案内	走行時のノイズや風切り音などを検知して、無騒音時と同等の音質に補正します。また、ナビゲーションの音声案内出力時、オーディオの音声をミュートせず音声案内を出力することにより、違和感なく音楽を再生することができます。	434
P.EQ	5バンドのパラメトリックイコライザで周波数特性を微細に設定することができます。	437
BODY TYPE	お車の情報を設定することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。	439
FAD/BAL	前後、左右の音量バランスを調整することができます。	440

アドバイス

- EUPHONY、CSE、CSE･BASSでは、再生するオーディオモードごとに音質を設定、記録することができます。
- 走行中は、EUPHONY、CSE、CSE･BASSおよびBODY TYPEの設定をすることができません。
- 後席設定画面で後席のオーディオモードを **前席連動** 以外を選択した場合（447 ページ参照）、**BODY TYPE** 以外のタッチスイッチは、トーンダウンして設定できなくなります。

サラウンドシステムの設定（EUPHONY）

EUPHONYを設定し、CDやiPodのステレオ音源を再生すると、自分の周囲でミュージシャンが演奏しているような臨場感をお楽しみいただけます。また、DVD映画再生の場合には、台詞の定位感、迫力がある立体的な効果音を充分にお楽しみいただけます。EUPHONYは、オーディオモードごとに記憶されます。オーディオモードを切り替えると、自動でEUPHONYの設定も切り替わります。

EUPHONYの設定

1 **EUPHONY** にタッチします。



- オーディオモードに合わせたモードが設定されます。
- タッチスイッチが点灯します。
- もう一度 **EUPHONY** にタッチすると解除されます。
- 設定完了後は **完了** にタッチします。

アドバイス

EUPHONY（ユーフォニー）とは、「美しい音の響きを楽しむ」という基本コンセプトのもと、最新音響技術を駆使して実現したDiMAGIC社の画期的な音場再生方式です。残響や音響効果など、ステレオソースの左右信号間に存在するわずかな音の違いを適応フィルタによって最大限に引き出し、音場の臨場感を演出します。長時間聴いても疲れにくい音質が特徴で、長距離のドライブにも最適なサラウンドです。

EUPHONY™ AUTOMOBILEおよびロゴは株式会社DiMAGICの商標です。

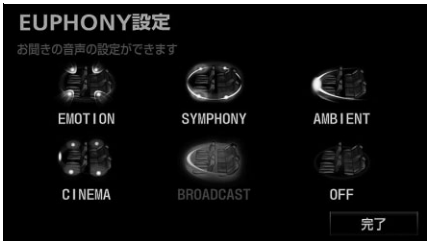
EUPHONY AUTOMOBILE

4. 音質の調整

モードの変更

1 EUPHONYの **設定** にタッチします。

- EUPHONY設定画面が表示されます。
- EUPHONYが設定されていないと、操作できません。



2 お好みのモードのタッチスイッチにタッチします。

- あらかじめ設定されているモード（メーカー初期設定）は次のとおりです。初期設定が各オーディオモードの推奨設定になっています。お好みによりモードを変更することができます。
- 設定完了後は **完了** にタッチします。

タッチスイッチ	初期設定されている オーディオモード	特性
EMOTION	―	華やかさがあるサウンド
SYMPHONY	DISC（CD、MP3・WMA）、 HDDオーディオ、 Bluetoothオーディオ、AUX、 SD、USB、iPod	程よいバランスが取れたサウンド
AMBIENT	―	明るさのあるサウンド
CINEMA	DISC（DVD）	DVD映画再生に適したサウンド
BROADCAST	テレビ、AM、FM、VTR	テレビ、ラジオ音声に適したサウンド
OFF	交通情報	通常のステレオサウンド

CSE（Clear Sound Effector）の設定

原音から各メディアに録音するとき、通常人間の耳に聴こえない音域が圧縮されます。CSEはその圧縮された音域をできるだけ原音にもどして再生するため車室内で聴きやすく、迫力あるサウンドを楽しむことができます。また、ラジオやテレビなどの音声はよりクリアに再生するため、リアルで明瞭な音声を楽しむことができます。

CSEの設定

1 CSE にタッチします。

- メーカー初期値（2）が選択されます。
- タッチスイッチが点灯します。
- もう一度 CSE にタッチすると解除されます。
- 設定完了後は 完了 にタッチします。



CSE補正値の変更

お好みにより、CSEの補正値を変更することができます。

1 CSEの 設定 にタッチします。

- CSE設定画面が表示されます。



2 お好みのレベルスイッチにタッチします。

- 設定完了後は 完了 にタッチします。
- OFF にタッチすると、現在、お聞きになっているオーディオモードのみを解除します。



アドバイス

- EUPHONYが設定されているときは、CSEの設定は可能ですが、CSE補正値の変更はできません。EUPHONY専用のCSE設定値がオーディオモードごとに設定されています。
- AMラジオ、テレビ、VTRモードのときは補正レベル3に対応していません。

4. 音質の調整

CSE・BASSの設定

CSEで、圧縮された音域を擬似的に再現しても、音の低域部分（約200Hz以下の低音、重低音）は走行ノイズなどにより、不足がちになります。CSE・BASSは不足がちな音の低域部分を調整することができます。

■CSE・BASSの特長

CSE設定時に、従来のトーンコントロールではできなかった低音の音質（音のしまり／立ち上がり／減退）を調整することができます。

DYNAMICS:　低音の立ち上がり/減退とレベルを調整

HARDNESS:　低音のしまる音/広がる音とレベルを調整

CSE・BASSの設定

1 BASS にタッチします。



- メーカー初期値（DYNAMICS：センター値、HARDNESS：センター値）でCSE BASSが設定されます。
- タッチスイッチが点灯します。
- もう一度 BASS にタッチすると解除されます。
- 設定完了後は 完了 にタッチします。
- CSE が設定されていないと、操作できません。

アドバイス

- EUPHONYが設定されているときは、CSE・BASSの設定はできません。
- CSEの設定を解除すると、自動でCSE・BASSの設定も解除されます。

BASSレベルの設定

1 BASSの **設定** にタッチします。

● CSE･BASS設定画面が表示されます。



2 お好みのレベルスイッチにタッチします。

● 設定完了後は **完了** にタッチします。



● 低域楽器の迫力感

DYNAMICS	低域の音量	低域の音質
LIGHT	小さくなる	立ち上がり／減退が弱くなる
HEAVY	大きくなる	立ち上がり／減退が強くなる

● 低域楽器の質感（存在感）

HARDNESS	低域の音量	低域の音質
SOFT	小さくなる	広がる（楽器の質感が弱くなる）
HARD	大きくなる	しまる（楽器の質感が強くなる）

4. 音質の調整

音の到達時間の補正（FOCUS）

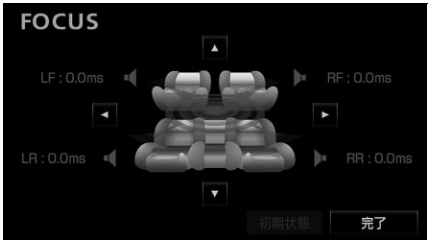
音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

1 **FOCUS** にタッチします。

● FOCUS設定画面が表示されます。

2 お好みのポイントにタッチします。

● 微調整するときは、▲、▼、◀、▶ にタッチします。
● 設定完了後は **完了** にタッチします。
● **初期状態** にタッチすると、設定は解除されます。



ROAD EQ/ミュートレス音声案内の設定

走行条件によって変化するロードノイズに合わせて、自動的に音響を補正したり、ナビゲーションの音声案内出力時、オーディオの音声をミュートしないことにより、違和感なく音楽を再生するように設定することができます。

音響特性の測定

搭載されている車の音響特性を測定して、最適なROAD EQに設定することができます。

1 車を静かな場所に停止し（エンジンスイッチはACCにする）、各ドア、ウインドウガラスは、全閉の状態にします。

2 **ROAD EQ/ミュートレス音声案内** にタッチします。

● ROAD EQ/ミュートレス音声案内設定画面が表示されます。

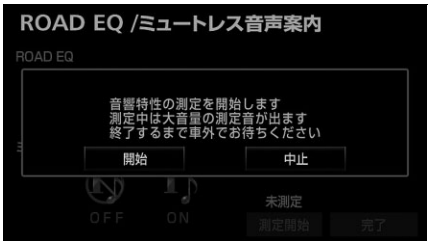
3 **測定開始** にタッチします。

● メッセージがオンスクリーン表示されます。



4 **開始** にタッチします。

- カウントダウン画面がオンスクリーン表示されます。その間に車外に出ます。
- **中止** にタッチすると、測定は中止します。



5 約10秒後、測定音がスピーカーから出力されて、音響特性の測定が開始されます。

- 測定完了後、測定完了画面が表示されます。
- **中止** にタッチすると、測定は中止します。
- 測定中異常があった場合は、測定を中止しメッセージがオンスクリーン表示されます。　この場合、**OK** にタッチして、再度測定を実施してください。



6 **OK** にタッチします。



- 測定が完了すると、**測定開始** の上に**「測定済」**と表示されます。



アドバイス

- 振動により適切な測定値が得られない場合があるので、エンジンはかけないでください。（ただし、バッテリー上がりの恐れがあるので、ご注意ください。）
- 次の場合は、音響特性の測定が中止されます。
  - ハンズフリーの音声が出力されたとき
  - ナビゲーションの音声案内が出力されたとき
  - 他の画面に切り替えたとき

4. 音質の調整

ROAD EQの設定

ROAD EQの補正レベルを設定することができます。

1 ROAD EQのお好みのレベルにタッチします。

● **OFF** にタッチすると、設定を解除します。

● 設定完了後は **完了** にタッチします。



スイッチ	1	2	3
騒音	小さい	⇔	大きい
走行速度	低速	⇔	高速

ミュートレス音声案内の設定

ミュートレス音声案内のON/OFFを設定することができます。

1 ミュートレス音声案内の **ON** 、または **OFF** にタッチします。

● 設定完了後は **完了** にタッチします。

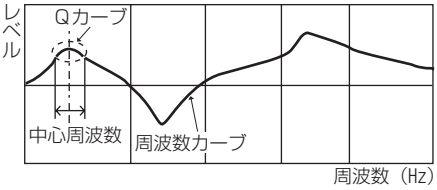


アドバイス

- ROAD EQの数値が大きくなると、補正値も大きくなります。
- 音響特性が未測定の場合やバッテリーとの接続が外された場合は、ROAD EQ/ミュートレス音声案内は設定できません。ROAD EQ/ミュートレス音声案内を設定するには、音響特性の測定（434 ページ）が必要になります。

パラメトリックイコライザ（P.EQ）の設定

車室内では音が乱反射し、周波数特性に特定の高低差が生まれます。パラメトリックイコライザは、中心周波数のポジションやレベル、カーブの緩急を微細に設定することができます。



中心周波数	A	B	C	D	E
	40,50, 63,85,100	140,170, 220,300,400	500,600, 800,1k,1.3k	1.7k,2.2k, 2.8k,3.5k,4.5k	6k,7.5k, 10k,12k,15k

イコライザカーブの選択

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定することができます。

1 **P.EQ** にタッチします。

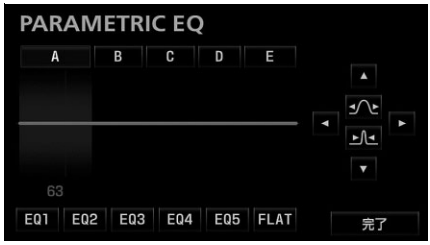
● PARAMETRIC　EQ設定画面が表示されます。

2 **EQ1** ～ **EQ5** にタッチします。

● 選択された音質モードのイコライザカーブ（緑色）が表示されます。

● 設定後は、**完了** にタッチします。

● タッチした音質モードが選択され、直前の操作画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
EQ1	POPS
EQ2	ROCK
EQ3	JAZZ
EQ4	CLASSIC
EQ5	VOCAL
FLAT	音質補正なし

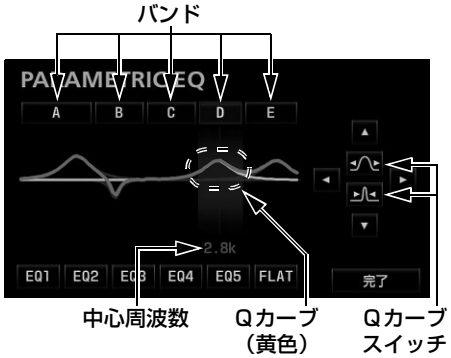
4. 音質の調整

イコライザカーブの調整

イコライザカーブの中心周波数、レベル、Qカーブ（帯域幅）をそれぞれ任意に調整することができます。

1 調整するバンド（**A** ～ **E**）にタッチします。

● タッチしたバンドの中心周波数が選択されます。



2 ◀、または ▶ にタッチしてバンドの周波数を調整します。

3 ▲、または ▼ にタッチして、周波数のレベルを調整します。

4 Qカーブスイッチにタッチして、Qカーブ（帯域幅）を調整します。

● Qカーブは3段階まで調整することができます。

: Qカーブ（帯域幅）が広くなります。

: Qカーブ（帯域幅）が狭くなります。

5 各バンド（**A** ～ **E**）ごとに、**1** ～ **4** の操作を繰り返します。

● 調整完了後は、**完了** にタッチします。

● 調整した音質モードが選択され、直前の操作画面にもどります。

イコライザカーブの記憶

パラメトリックイコライザで調整したイコライザカーブを記憶することができます。

1 イコライザカーブ調整後、記憶したいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 選択されたイコライザカーブで設定できるようになります。

● 設定後は、**完了** にタッチします。

● 設定された音質モードは記憶され、直前の操作画面にもどります。

イコライザカーブのリセット

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）に戻すことができます。

1 **FLAT** を"ピーッ"と音がするまで長くタッチします。

● イコライザカーブが初期値にリセットされます。

アドバイス

中心周波数レベル調整時に ▲、▼ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度 ▲、▼ にタッチしてください。

BODY TYPEの設定

車の形状やスピーカーの種類、シートタイプを設定することにより、その車の特性に合わせて最適な音響空間を創り出すことができます。
スピーカーの種類、シートタイプは必ず選択してください。

1 BODY TYPE にタッチします。

2 車の形状にタッチします。

● OFF にタッチすると、BODY TYPEの設定を解除し、SOUNDメニュー画面にもどります。



3 フロントスピーカーサイズにタッチします。

● お車のスピーカーサイズについては**「スピーカー一覧」**819 ページを参照してください。



4 ツイーターの有無にタッチします。

● ツイーターの有無などについておわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。



5 リアスピーカータイプにタッチします。

● リアスピーカーの有無などについておわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。



4. 音質の調整

6 シートタイプにタッチします。

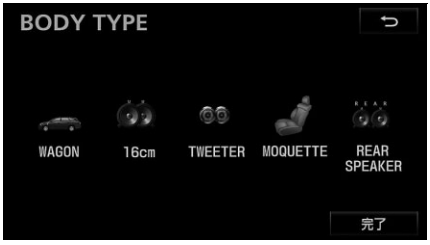
● お車のシートに皮製の生地が使われている場合は LEATHER に、それ以外の生地の場合は MOQUETTE にタッチしてください。



7 設定が終了したら 完了 にタッチします。

● 設定を変更するときは ⮌ にタッチします。

● BODY TYPEを決定すると、自動で最適なEQ値に設定されます。



音量バランスの調整（FAD BAL）

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 FAD/BAL にタッチします。

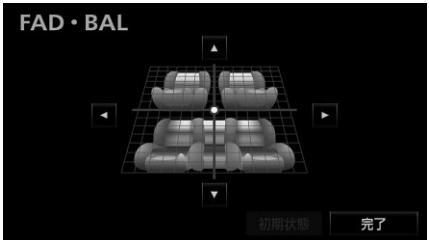
● FAD･BAL設定画面が表示されます。

2 お好みのバランスポイントにタッチします。

● 微調整するときは、▲、▼、◀、▶ にタッチしてください。

● 調整終了後は 完了 にタッチします。

● 初期状態 にタッチすると、設定は解除されます。



アドバイス

FAD･BAL設定で ▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

5. 画面の調整・設定

オーディオ操作画面や、映像などの画質を調整することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、映像画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。
画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。
（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞
●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜映像画面＞


●昼画表示＜ライト消灯時＞


●夜画表示＜ライト点灯時＞

アドバイス

オーディオ操作画面で画質を調整すると、ナビゲーション画面の画質も切り替わります。
（83 ページ参照）

5. 画面の調整・設定

1 オーディオ操作画面、または映像画面を表示します。

2 (DISP) に1秒以上タッチします。

● 画質調整画面が表示されます。

3 調整が完了したら、**完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時

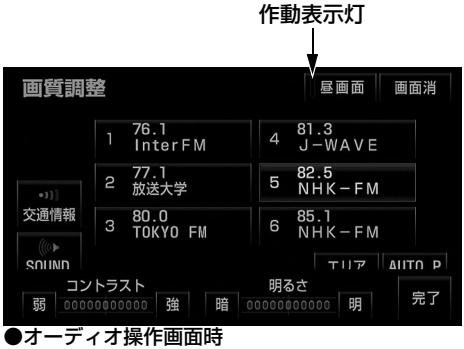


●映像画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

● ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

画面を消すときは

1 画面消 にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには、♪ にタッチします。

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

■色の濃さ（映像画面時のみ）

1 濃くするときは 濃 、淡くするときは 淡 にタッチします。

■色合い（映像画面時のみ）

1 緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは 明 、暗くするときは 暗 にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは 強 、弱くするときは 弱 にタッチします。

アドバイス

ナビゲーション画面を消す（ 画面消 にタッチ）の状態で、**「操作画面継続表示の設定」**（54 ページ）で継続表示を「しない」に設定すると、操作画面を表示させてから約 20 秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。（ 画面消 にタッチした状態にもどります。）

5. 画面の調整・設定

VISUAL EQの設定

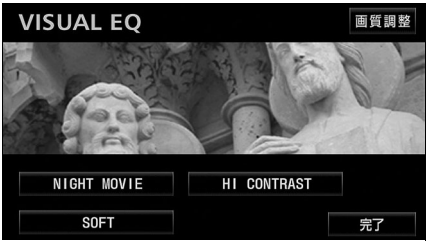
見る映像に合わせて、あらかじめ設定されている画質モードに切り替えることができます。

1 Visual EQ にタッチします。

● VISUAL EQ設定画面が表示されます。

2 タッチスイッチにタッチすると、表の画質モードに切り替わります。

● 設定後は、完了 にタッチします。
● 設定された画質モードは記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	効果
NIGHT MOVIE	暗いシーンの映像が中心の映画などに効果があります。
HI CONTRAST	旧作映画などの映像がくっきりしないときに効果があります。
SOFT	ざらつき、ぎらつきが気になるときに効果があります。

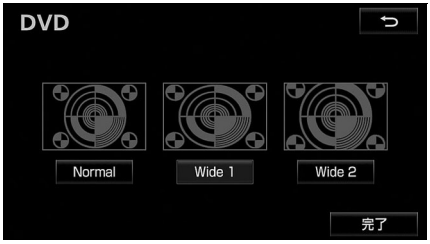
画面モードの切り替え

1 VTR操作画面では **Wide** に、DVD操作画面では **各種切替** 、**Wide** の順にタッチします。

● ワイドモード切り替え画面になります。

2 **Normal** 、 **Wide1** 、または **Wide2** にタッチします。

● 通常はWide1を選択します。





■Normalモード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■Wide1モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■Wide2モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

● ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

⚠ 警 告

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

6. 後席ディスプレイの設定

オプションの後席ディスプレイを接続すると、前席側（本機）と後席側（後席ディスプレイ）で違ったオーディオモードを楽しめるように設定したり、後席の音量を調整することができます。

後席設定画面の表示

1 オーディオ操作画面で、**後席設定** にタッチします。

● 後席設定画面が表示されます。



● 後席設定画面から次の設定をすることができます。



項目	機能	ページ
オーディオモードの選択	後席側のオーディオモードを選択することができます。	次ページ
音量の調整	後席側の音量を調整することができます。	448
後席ディスプレイのON/OFF	後席側の映像や音声を本機側でON/OFFすることができます。	448

後席側のオーディオモードを選択する

1 前席連動 、 DVD 、 TV 、 iPod Video 、 VTR のいずれかにタッチします。



- タッチしたオーディオモードを後席ディスプレイで視聴することができます。
- 後席側のオーディオモードを選択すると、前席側の音声は、フロントスピーカーから出力され、後席側の音声は、リヤスピーカーから出力されます。
- 前席側のオーディオモードにより、選択できる後席側のオーディオモードは次のとおりです。

前席側のオーディオモード	後席側で選択できるオーディオモード
AUDIO OFF	選択できません
ラジオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
DVD	選択できません
CD	TV、iPod Video、VTR
MP3/WMA	TV、iPod Video、VTR
HDDオーディオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
SDオーディオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
Bluetoothオーディオ	DVD、TV、iPod Video、VTR
テレビ	選択できません
AUX	DVD、TV
iPod (Video再生)	選択できません
iPod (音楽ファイル再生)	DVD、TV、VTR
VTR	選択できません
USB	DVD、TV、VTR

- 前席連動 にタッチすると、前席側と同じオーディオモードを視聴することができます。

アドバイス

後席側のオーディオモードを選択すると、BODY TYPE以外の音質の設定値は初期値になり、設定することができません。 前席連動 にタッチすると、もとの設定値に戻ります。

6. 後席ディスプレイの設定

後席側の音量を調整する

1 ▶ 、または ◀ にタッチします。

● 1 回タッチすると 1 ステップずつ音量が変わります。また、タッチし続けると音量が変わり続けます。

▶ ：音量UP(大きくなる)

◀ ：音量DOWN（小さくなる）



後席側の映像・音声をON/OFFする

1 OFF 、または ON にタッチします。

● タッチするごとに、後席側の映像や音声がON/OFFします。



1. ラジオの操作



ラジオの聞き方

1 ♪ にタッチし、FMラジオを受信するときは **FM** に、AMラジオを受信するときは **AM** にタッチします。

● ♪ にタッチすると、ラジオ操作画面になります。

聞きたい放送局を選局する

通常選局

1 **TRK TUNE▲** 、または **TRK TUNE▼** にタッチします。

● タッチするごとに 1 ステップずつ UP/DOWNします。（1ステップはAM 9kHz、FM 0.1MHzです）

TRK TUNE▲（上側）：周波数UP（高く）

TRK TUNE▼（下側）：周波数DOWN（低く）

自動選局

1 **TRK TUNE▲** 、または **TRK TUNE▼** を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

● 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度タッチします。

プリセットスイッチ選局

1 記憶されているプリセットスイッチをタッチして選局できます。

● 放送局の記憶は**「放送局を記憶させる」**（次ページ）を参照してください。



アドバイス

受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

1. ラジオの操作

放送局を記憶させる

放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）での記憶

1 “AUTO.P”、または“エリア.P”が画面表示されていないことを確認します。

● 表示されているときは AUTO.P 、または エリア にタッチすると、AUTO.P、またはエリア.Pからマニュアルに切り替わります。

2 通常の選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

3 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまで長くタッチします。

● 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）での記憶

1 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまで長くタッチします。

● AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。再度、AUTO.P にタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たにチャンネルが記憶されます。

AUTO.Pで記憶させた放送局の変更

1 通常の選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまで長くタッチします。

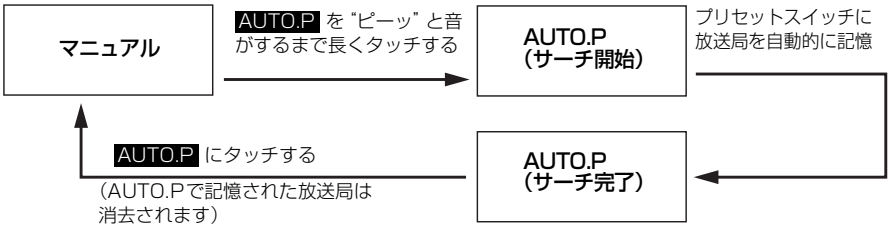
アドバイス

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- AUTO.Pは受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- AUTO.Pで受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。
普段お聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。(このときAUTO.P で記憶した放送局は消去されます。) AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

- “エリア.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面にもどります。



局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **局名** にタッチします。

- 現在受信している放送局名を選択します。(最大3局まで選択することができます。)
- 同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では“▲”が表示されます。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。



1. ラジオの操作

交通情報を受信する

1 各オーディオ操作画面で、
交通情報 にタッチします。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。
- いずれかのオーディオモード切り替えスイッチにタッチすると、交通情報画面は解除されます。



周波数の記憶

1 **AM** にタッチします。

2 通常の選局、または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 **交通情報** を“ピッ”と音がするまで長くタッチします。

アドバイス
交通情報を受信中、チューニングスイッチにタッチしても交通情報局は切り替わりません。

2. CDの操作



CDの聞き方

ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に再生を始めます。CD録音設定の自動録音（494 ページ）が「する」に設定されているときは、自動で再生が始まると、HDDへ録音を開始します。また、CDが差し込まれているときに ♪ 、DISC の順にタッチすると再生を始めます。

● ♪ にタッチすると、CD操作画面になります。

聞きたい曲を選曲する

聞きたい曲の頭出しができます。

選曲・頭出しスイッチから選曲する

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：次曲を選ぶとき
TRK TUNE▼ （下側）：前曲を選ぶとき

聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは TRK TUNE▲ にタッチし、前にあるときは TRK TUNE▼ にタッチします。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。

アドバイス

- CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。表示文字数はアルファベット·記号の半角文字では最大25文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大12文字まで表示できます。
- CD にタイトルや曲名などが記録されていない場合は、本機のハードディスクに該当する情報があれば表示することができます。
- CDおよび本機のハードディスクにテキストの情報がない場合は、“NO DATA”が表示されます。
- CD-TEXT表示は収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。

2. CDの操作

CD TRACK LIST画面から選曲する

1 LIST にタッチします。

● CD TRACK LIST画面が表示されます。

2 聞きたいTRACKにタッチします

● トラックが6個以上あるときは ▲ ⏫ 、または ▼ ⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲ ▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫ ⏬ ：ページごとに切り替えるとき



早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：曲を進めるとき
TRK TUNE▼ （下側）：曲を戻すとき
2回“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

1 SCAN にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「SCAN」が表示されます。
● 全曲の始めの部分を順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 RPT にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RPT」が表示されます。
● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

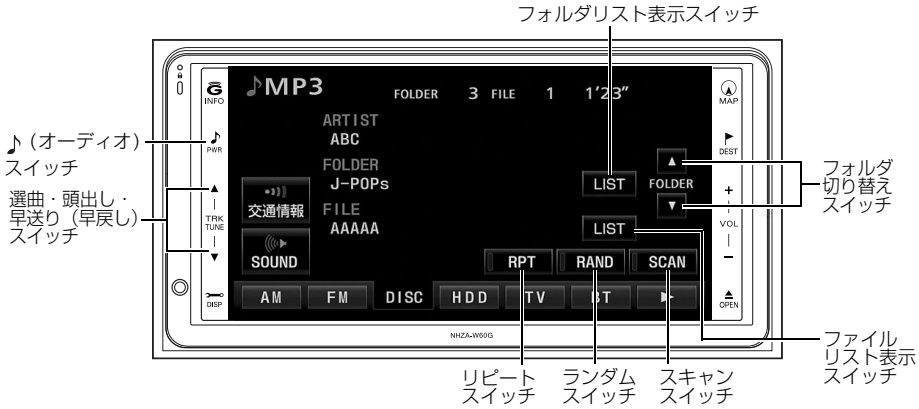
曲の順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

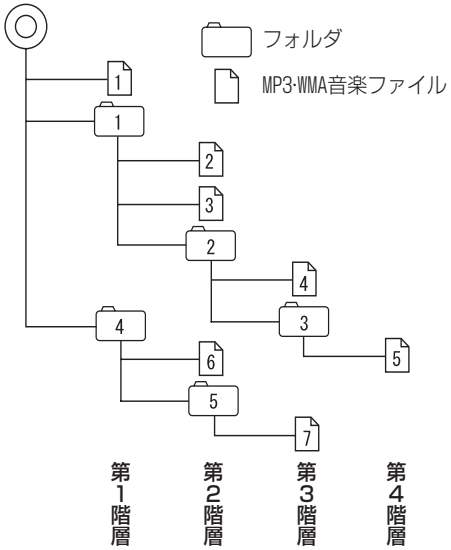
● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RAND」が表示されます。
● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
● 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

3. MP3・WMAの操作

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



〈MP3・WMAファイル作成例〉



MP3・WMAの聞き方

ディスク差し込み口にMP3・WMAファイルが保存されたディスクを差し込むと自動的に再生を始めます。また、ディスクが差し込まれているときに ♪ 、DISC の順にタッチすると再生を始めます。

- ♪ にタッチすると、MP3・WMA操作画面になります。
- 通常録音とMP3·WMA音楽ファイルが混在しているときは、通常録音を再生します。
  MP3・WMA音楽ファイルを再生することはできません。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3・WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生します。
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルは再生できません。

アドバイス

フォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、次のように表示されます。

- ARTIST・FOLDER・FILE 表示位置：アルファベット・記号の半角文字では、最大25文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、最大12文字
- FOLDER・FILE LIST：アルファベット・記号の半角文字では、最大32文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、最大16文字

3. MP3・WMAの操作

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：曲を進めるとき
TRK TUNE▼ （下側）：曲を戻すとき
2回“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

FOLDER切り替えスイッチから選ぶ

1 ▲ 、▼ にタッチします。

● ▲ :次のフォルダを選ぶ
▼ :前のフォルダを選ぶ

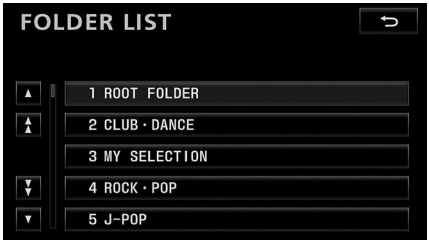
FOLDER LIST画面から選ぶ

1 FOLDERの LIST にタッチします。

● FOLDER LIST画面が表示されます。

2 聞きたいフォルダにタッチします。

● フォルダが6個以上あるときは ▲ ⏫ 、または ▼ ⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲ ▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫ ⏬ ：ページごとに切り替えるとき



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

聞きたい音楽ファイルの頭出しができます。

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：次の音楽ファイルを選ぶとき
TRK TUNE▼ （下側）：前の音楽ファイルを選ぶとき

● 聞きたい音楽ファイルがいま聞いている音楽ファイルより後ろにあるときは TRK TUNE▲ にタッチし、前にあるときは TRK TUNE▼ にタッチします。また、表示部にいま選ばれているフォルダ名、ファイル名が表示されます。

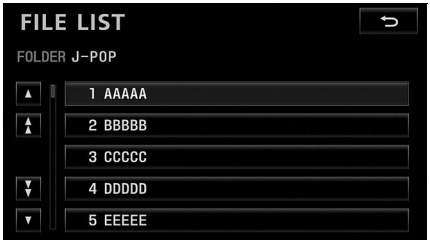
FILE LIST画面から選曲する

1 FILEの **LIST** にタッチします。

● FILE LIST画面が表示されます。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします

● 音楽ファイルが6個以上あるときは ▲ ⏫ 、または ▼ ⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲ ▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫ ⏬ ：ページごとに切り替えるとき



聞きたい音楽ファイルを探す

音楽ファイルを探す

1 **SCAN** にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「SCAN」が表示されます。

● 現在、再生中のフォルダ内の全ての音楽ファイル、または第1階層内の全ての音楽ファイルの始めの部分を順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチすると、その音楽ファイルで再生を続けます。

フォルダを探す

1 **SCAN** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「FLD.SCAN」が表示されます。

● CD　内の各フォルダの最初の音楽ファイルの始めの部分を順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチすると、その音楽ファイルで再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

同じ音楽ファイルを繰り返す

1 **RPT** にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RPT」が表示されます。

● 現在、再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。

● 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

3. MP3・WMA の操作

フォルダ内の全ての音楽ファイルを繰り返す

1 RPT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「FLD.RPT」が表示されます。
- 選択中のフォルダ内の全ての音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

フォルダ内の音楽ファイルをランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RAND」が表示されます。
- 現在、再生中のフォルダ内の全ての音楽ファイル、または第1階層内の全ての音楽ファイルの中から任意に音楽ファイルを選び出し再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- 音楽ファイルが終わるごとに次に再生する音楽ファイルを任意に決めています。このため、同じ音楽ファイルが数回連続で再生されることがあります。

全ての音楽ファイルをランダムに聞く

1 RAND を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「FLD.RAND」が表示されます。
- CD　内の全ての音楽ファイルの中から任意に音楽ファイルを選び出し再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

MP3・WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤⅢ）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。
WMA（Windows Media™ Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。
本機で使用できるMP3・WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3・WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

● 対応規格　：MPEG-1 Audio レイヤⅢ
　：MPEG-2 Audio レイヤⅢ
　：MPEG-2.5 Audio レイヤⅢ

● 対応サンプリング周波数

規格	サンプリング周波数（kHz）
MPEG-1 Audioレイヤ Ⅲ	32、44.1、48
MPEG-2 Audioレイヤ Ⅲ	16、22.05、24
MPEG-2.5 Audioレイヤ Ⅲ	8、11.025、12

● 対応ビットレート

規格	ビットレート（kbps）
MPEG-1 Audioレイヤ Ⅲ	32 ～ 320
MPEG-2 Audioレイヤ Ⅲ	8 ～ 160
MPEG-2.5 Audioレイヤ Ⅲ	8 ～ 160

※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
※サンプリング周波数48kHzのときはビットレート32kbps未満には対応していません。

● 対応チャンネルモード　：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

● 対応規格　：WMA Ver.7、8、9
● 対応サンプリング周波数：22.05、32、44.1、48（kHz）
● 対応ビットレート　：32 ～ 320（kbps）
　※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。（48～192 kbps）
　※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
　※ サンプリング周波数48kHz、ビットレート48kbpsの組み合わせで記録されたWMAファイルは、再生することができません。
　※ サンプリング周波数48kHzのときはビットレート64kbps未満には対応していません。
● 対応チャンネルモード　：ステレオ、モノラル

3. MP3・WMA の操作

ID3タグ・WMAタグについて

MP3やWMA ファイルには、ID3 タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、アーティスト名の情報をMP3やWMAの操作画面上に表示します。

■ID3 タグ/WMA タグ

		MP3		WMA
		Ver1.0、Ver1.1	Ver2.2、Ver2.3、Ver2.4	ASF Revision1.02.02
入力できる項目	TITLE	半角30文字 全角15文字	半角32文字 全角16文字	半角32文字 全角16文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（S-JISコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

使用できるディスクについて

MP3・WMAの再生に使用できるディスクはCD-R およびCD-RW です。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R、CD-RW には長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるディスクのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2（Form1）
- ファイルフォーマット

■ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角24文字
ファイル名（最大文字数）	8＋3文字	半角24文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

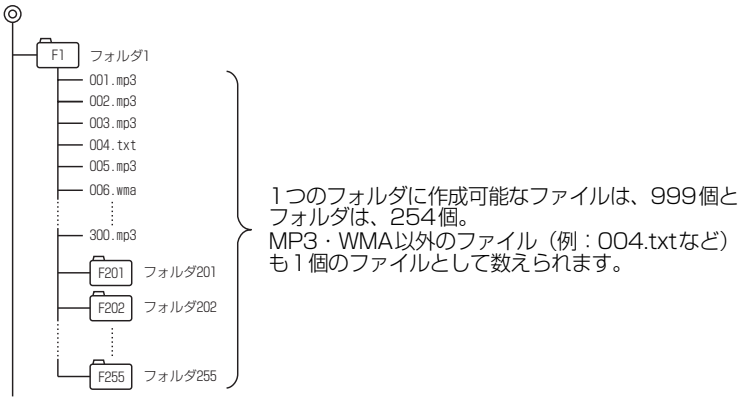
■拡張フォーマット

	ROMEO形式※1	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角24文字	半角24文字※2
ファイル名（最大文字数）	半角24文字※3	半角24文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（unicode）

※1 ISO9660準拠部のみ
※2 区切り文字“.”含む
※3 区切り文字“.”＋拡張子含む

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダの総数：255個
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイル数：999個

＜MP3/WMA対応CDの構造例＞



3. MP3・WMAの操作

ファイル名について

MP3・WMAと認識し再生するファイルはMP3・WMAの拡張子“.mp3”または“.wma”が付いたものだけです。MP3ファイルには、“.mp3”の拡張子を付けて保存してください。WMAファイルには、“.wma”の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3”または“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3・WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。

ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3・WMAの再生について

MP3・WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスク挿入からチェックが終わりますと最初のMP3・WMAファイルを再生します。チェックが終わらなかった場合は、プレーヤーが待機状態になります。

なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3・WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3・WMAの演奏時間表示について

MP3・WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3・WMAファイル、フォルダのリスト表示について

MP3・WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3・WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1.MP3・WMAファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

2.次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

MP3・WMAファイルおよびフォルダデータの読み込みには、数分かかる場合があります。データを読み込み中は、リストを表示できません。

⚠ 注 意

MP3・WMA以外のファイルに“.mp3”または“.wma”の拡張子を付けると、MP3・WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3・WMA以外のファイルに、“.mp3”または“.wma”の拡張子を付けないでください。

MP3・WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3・WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3・WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3・WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3・WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3・WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CD を入れ、MP3・WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3・WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R・CD-RWに書き込む場合

MP3・WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R／RWドライブを介してCD-R・CD-RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2および拡張フォーマット（ROMEO形式※、JOLIET形式）という記録フォーマットに設定して書き込みます。

※ ISO9660準拠部のみとなります。

アドバイス

- 安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3・WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3・WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

4. Bluetoothオーディオの操作

Bluetooth（A2DPプロファイル）を搭載したポータブルオーディオを接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。また、AVRCP Version 1.3以上に対応したポータブルオーディオを接続すると、アルバムからの選曲などを本機で操作することができます。

本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことを確認のうえお使いください。



※1 AVRCP Version 1.3以上対応ポータブルオーディオ接続時

※2 AVRCP Version 1.4以上対応ポータブルオーディオ接続時
機器によっては表示されない場合があります。



● AVRCP Version 1.3非対応ポータブルオーディオ接続時

ポータブルオーディオを登録する

Bluetoothオーディオを使用するためには、ポータブルオーディオを本機に登録する必要があります。

ポータブルオーディオは、最大4台まで登録することができます。操作の前にポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。



3 **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。



4 Bluetoothオーディオ設定の **登録** にタッチします。



5 Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されたら、ポータブルオーディオ側からBluetooth登録を行います。

- ポータブルオーディオ本体で、画面に表示されている接続名称を選択し、パスキーを入力します。
- ポータブルオーディオ側の登録操作は、Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されているときに行ってください。
- **中止** にタッチすると、登録が中止されます。



- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。



アドバイス

- パスキーとは、Bluetoothオーディオを本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。**「パスキーを変更する」**（473 ページ）を参照してください。
- ポータブルオーディオを登録すると、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。複数登録している場合は、使用するポータブルオーディオを選択（470 ページ）することができます。
- ポータブルオーディオ登録時の操作方法は、ポータブルオーディオ機器の取扱書をご覧ください。

4. Bluetooth オーディオの操作

ポータブルオーディオを接続する

自動で接続する

ポータブルオーディオを登録すると、自動で接続される状態になります。これにより、エンジンスイッチをACCまたはONにするたびに、本機に選択されているポータブルオーディオ（470 ページ）と自動的に接続します。

1 ポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

2 エンジンスイッチをACCまたは、ONにします。

- 自動で、ポータブルオーディオとの接続が開始されます。
- 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがってやり直してください。
- 接続に失敗したときや自動接続の設定（473 ページ）が“しない”に設定されているときは、手動で接続することができます。（右記）



●Bluetoothオーディオ設定画面

手動で接続する

ポータブルオーディオとの自動接続に失敗したときや自動接続の設定（473 ページ）が“しない”に設定されているときは、手動で接続することができます。

1 ポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

2 ♪、**BT** の順にタッチします。

3 **接続** にタッチします。

- Bluetooth オーディオ接続中画面が表示され、ポータブルオーディオとの接続が開始されます。
- 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。



アドバイス

機器により自動接続では、接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。

接続中の表示について

ポータブルオーディオと接続中、Bluetooth操作画面左上に接続状態と電池残量が表示されます。(電池残量は、AVRCP Version 1.3以上対応のポータブルオーディオのみ表示されます。)



Bluetooth接続状態表示

Bluetoothの接続状態を表示しています。接続の状態により、次のように表示されます。

- 青色表示：
  Bluetooth接続状態が良好であることを示します。
- 黄色表示：
  この状態では、音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、ポータブルオーディオを移動してください。
- 切断表示：
  ポータブルオーディオがBluetooth接続されていない状態を示します。この状態では、Bluetoothオーディオを使用することができません。再度ポータブルオーディオの選択を確認してください。(470ページ)

電池残量表示

ポータブルオーディオの電池残量の目安を表示しています。電池残量は、ポータブルオーディオの表示と一致しない場合があります。また、機種によっては、AVRCP Version 1.3以上に対応していても表示されない場合があります。

表示				
残量	無し	少	←→	多

⚠ 注 意

- 本機でBluetoothオーディオを使用しているときにポータブルオーディオのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- ポータブルオーディオを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ポータブルオーディオを本機に近づけすぎないでくだい。音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

アドバイス

- 次のような場所や状態でBluetoothオーディオを使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。
  - ポータブルオーディオがディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるとき）
  - ポータブルオーディオが金属製のものに接したり、覆われているとき

  上記の場合、青色の表示がでるように、ポータブルオーディオを移動させてください。
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話の接続動作を行った場合、Bluetoothオーディオの音声が途切れることがあります。
- ポータブルオーディオと他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth接続により、ポータブルオーディオの電池が早く消耗します。
- 本機にポータブルオーディオを接続しても充電されません。

4. Bluetooth オーディオの操作

Bluetoothオーディオの聞き方

1 本機とポータブルオーディオが接続されているときに、♪ 、BT の順にタッチすると再生を始めます。

- ♪ にタッチすると、Bluetoothオーディオ操作画面が表示されます。
- ⏸ にタッチすると、再生を一時停止します。
- ▶ にタッチすると、再生を再開します。

早送り・早戻しする

いま聞いている音楽ファイルを早送り･早戻しすることができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

- TRK TUNE▲ （上側）：曲を進めるとき
- TRK TUNE▼ （下側）：曲を戻すとき

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

- TRK TUNE▲ （上側）：曲を進めるとき
- TRK TUNE▼ （下側）：曲を戻すとき

アルバムを切り替える

アルバムごとに切り替えることができます。この機能は、AVRCP Version 1.3以上でアルバム操作に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

1 ALBUMの ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ （上側）：次のアルバムを選ぶとき
- ▼ （下側）：前のアルバムを選ぶとき

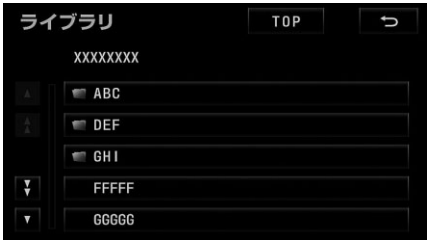
ライブラリから音楽ファイルを選ぶ

ポータブルオーディオに収録されたフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。この機能は、AVRCP Version 1.4以上に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

1 ライブラリ にタッチします。

2 音楽ファイルが表示されるまでフォルダにタッチします。

- TOP にタッチすると、Bluetoothオーディオ操作画面に戻ります。



3 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



再生リストから音楽ファイルを選ぶ

現在再生中のフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。この機能は、AVRCP Version 1.4以上に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

1 再生リスト にタッチします。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



● TOP にタッチすると、Bluetoothオーディオ操作画面に戻ります。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 RPT にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RPT」が表示されます。
● 現在、再生中のファイルを繰り返し再生します。
● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RAND」が表示されます。
● 任意にファイルを選び出し再生します。
● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
● 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

アドバイス

● リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲·▼：1項目ずつ切り替えるとき
⏫·⏬：ページごとに切り替えるとき
● ポータブルオーディオに収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
● アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、アルファベット・記号の半角文字では、最大25文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、12文字まで表示されます。
● ポータブルオーディオ機器によっては、操作ができなかったり、別動作をする場合があります。

4. Bluetooth オーディオの操作

Bluetoothオーディオの設定

Bluetoothオーディオの設定をすることができます。

項目	機能	ページ
ポータブルオーディオの選択	使用するポータブルオーディオを選択します。	下記
機器名称の変更	Bluetoothネットワーク内での本機の名称を変更します。	次ページ
パスキーの変更	ポータブルオーディオを本機に登録する際のパスキーを変更します。	次ページ
自動接続の設定	Bluetooth自動接続の設定をします。	473
詳細情報の表示	現在使用しているポータブルオーディオの情報を表示・変更します。	474
ポータブルオーディオの登録削除	登録したポータブルオーディオを削除します。	476

ポータブルオーディオを切り替える

使用するポータブルオーディオを選択することができます。本機には、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。

1 使用するポータブルオーディオの電源をONにするなどして、本機と接続できる状態にします。

2 にタッチします。

3 **オーディオ** にタッチします。



4 **オーディオプレイヤー切替** にタッチします。

● オーディオプレイヤー切替画面が表示されます。



5 使用するオーディオプレイヤーにタッチします。

● **詳細情報表示** にタッチすると、選択したポータブルオーディオの機器名称などの情報を表示することができます。(474 ページ)



6 **完了** にタッチします。

● 自動 Bluetooth の接続が“する”に設定(473 ページ)されているときは、本機との接続が始まります。

● 自動 Bluetooth の接続が“しない”に設定(473 ページ)されているときは、Bluetoothオーディオ操作画面で、手動での接続(466 ページ)が必要になります。

機器名称およびパスキーを変更する

機器名称やパスキーを任意に変更することができます。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。



3 **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。



4. Bluetooth オーディオの操作

機器名称の変更

Bluetoothネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

1 Bluetoothオーディオ設定画面で、機器名称の **変更** にタッチします。

● 機器名称変更画面が表示されます。



2 文字を1文字ずつタッチして入力します。

● **数記号** 、**大文字** にタッチするとそれぞれの文字を入力することができます。

● **スペース** にタッチすると1スペース入力されます。

● 間違えた場合は、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。

● 最大20文字まで入力できます。



●英数字入力画面



●数記号入力画面



●大文字入力画面

3 入力後、**完了** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

4 Bluetooth オーディオ設定画面で、**完了** にタッチします。

アドバイス

機器名称を変更しても、ポータブルオーディオ側は変更されません。

パスキーを変更する

ポータブルオーディオを本機に登録する際のパスキーを変更することができます。

1 Bluetoothオーディオ設定画面で、パスキーの **変更** にタッチします。

● パスキー変更画面が表示されます。



2 数字を1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力します。

● 間違えた場合は、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。



3 入力後、**完了** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

4 Bluetoothオーディオ設定画面で、**完了** にタッチします。

Bluetooth自動接続を設定する

初期状態では、エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、ポータブルオーディオを自動で接続するように設定されています。自動で接続するか、しないかを選択することができます。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。



3 **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。



4. Bluetooth オーディオの操作

4 自動Bluetooth接続の **する** 、**しない** にタッチします。

● **しない** にタッチすると、それ以降Bluetoothオーディオ操作画面で、手動での接続（466 ページ）が必要になります。



5 **完了** にタッチします。

詳細情報を表示する

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。



3 **オーディオプレーヤー切替** にタッチします。



4 **詳細情報表示** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ詳細情報画面が表示されます。



● Bluetooth　オーディオ詳細情報画面では、次の情報表示や設定を行うことができます。

項目	内容
機器名称	現在使用中のポータブルオーディオの名称が表示されます。**変更** にタッチすると、機器名称変更画面が表示されて、名称を変更することができます。（次ページ参照）
機器アドレス	ポータブルオーディオ機器特有のアドレスが表示されます。アドレスの変更はできません。
接続方法	接続方法を選択することができます。本機側から接続する場合は、 **車載機から接続** にポータブルオーディオから接続する場合は、**ポータブル機から接続** にタッチします。



機器名称の入力

本機に表示されるポータブルオーディオの名称を変更することができます。

1 Bluetoothオーディオ詳細情報画面で **変更** にタッチします。



2 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**（アルファベット·数字）、**数記号**（数字·記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英数字入力、数記号入力については**「カナ、英数字、数記号の入力」**（次ページ）を参照してください。
- **スペース** にタッチすると、スペースを入力することができます。
- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



3 ひらがなを入力するときは、**無変換**、漢字を入力するときは、**変換** にタッチします。



4 **変換** にタッチしたときは、次に表示された画面（変換するリスト）で入力する漢字、または熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ · ▶にタッチして、範囲を変更します。
- **全確定** にタッチすると、表示されている状態で登録されます。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。

▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫·⏬ ：ページごとに切り替えるとき

4. Bluetooth オーディオの操作

■カナ、英数字、数記号の入力

1 カナ 、英数字 、数記号 にタッチします。

2 入力する文字の大きさを切り替えるときは、半角 (全角)にタッチします。

- 英数字 にタッチしたときは、大文字 (小文字) にタッチすると、大文字と小文字を切り替えることができます。
- ▲ ▼ が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。



4 完了 にタッチします。

ポータブルオーディオの登録を削除する

現在使用中のポータブルオーディオの登録を削除します。使用中でないポータブルオーディオの登録を削除するには、ポータブルオーディオを切り替え（470 ページ）が必要になります。

1 にタッチします。

2 オーディオ にタッチします。



3 Bluetoothオーディオ設定 にタッチします。

- Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。



4 Bluetoothオーディオ設定の **削除** にタッチします。



5 削除するポータブルオーディオを選択して、**完了** にタッチします。



6 **はい** にタッチします。

● ポータブルオーディオの登録が削除されます。

初期設定にもどす

Bluetoothオーディオの設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。



3 **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面が表示されます。



4 **初期状態** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

● 初期状態にもどります。

4. Bluetooth オーディオの操作

Bluetoothオーディオについて

Bluetoothオーディオは、車載機とポータブルオーディオの通信を無線（Bluetooth)を使用して行うポータブルオーディオです。従来のポータブルオーディオを車載機に接続するには、別途接続ケーブルなどを用意して、接続する必要がありました。これに対しBluetoothオーディオでは、接続ケーブルなど必要なく再生することができます。例えば、ポケットにポータブルオーディオを入れたままでも通信範囲内であれば、使用することができます。

対応Bluetooth仕様および対応プロファイルについて

- 対応Bluetooth仕様：Bluetooth Specification Ver. 1.1以上（Ver. 2.0＋EDR以上を推奨）
- 対応プロファイル：
  - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0以上
  - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0以上（Ver. 1.4以上を推奨）

⚠ 注 意

- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）
  本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合は、速やかに場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 本機の使用周波数は2.4GHz帯です。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
- 想定与干渉距離は10m以下です。
- 本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
- 証明シールをはがしたり、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

アドバイス

Bluetooth®および Bluetooth® は、Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

5. AUX（ポータブルオーディオ機器）の操作

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。ポータブルオーディオを接続する場合は、「ミニプラグコード」をお買い求めください。

本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。



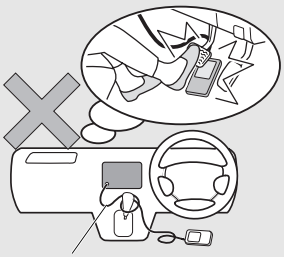
⚠ 警 告



接続したポータブルオーディオやミニプラグコードを、SRS エアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷の原因になることがあります。

※：SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。

SRSエアバッグ展開部



ポータブルオーディオやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

ミニプラグコード

5. AUX（ポータブルオーディオ機器）の操作

ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。

1 ミニプラグコードを接続します（取りはずします）。

ポータブルオーディオを聞く

1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

- ポータブルオーディオの操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱書をご覧ください。

2 ♪ 、AUX の順にタッチします。

- ♪ にタッチすると、AUX操作画面になります。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

⚠ 注 意

- ディスプレイが開いたまたは傾いた状態では、ミニプラグコードの抜き挿しはしないでください。
- ミニプラグコードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中は、ポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。
- ポータブルオーディオを使用しないときは、直射日光の当たる場所に保管しないでください。

アドバイス

- AUXモード中にミニプラグコードを抜き挿しすると、雑音が発生しスピーカ破損の原因となる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行なってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り換えると、雑音が発生しスピーカ破損の原因となる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行なってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意下さい。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。記憶した音量レベルは、ミニプラグコードを抜くと初期設定値にもどります。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

6. SDオーディオの操作

本機は、“SDメモリーカード”に記録された音楽ファイル（セキュアAAC、セキュアMP3）を再生することができます。



SDオーディオの聞き方

"SDメモリーカード"が差し込まれているときに ♪ 、SD の順にタッチすると再生を始めます。

● ♪ にタッチすると、SDオーディオ操作画面になります。

早送り・早戻しする

いま聞いている音楽ファイルを早送り・早戻しすることができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ を2回"ピッ "と音がするまでタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：曲を進めるとき
TRK TUNE▼ （下側）：曲を戻すとき

2回"ピッ"と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

アドバイス

- 本機に“SDメモリーカード”を差し込んでも、自動でSDオーディオモードには切り替わりません。
- SDオーディオでは、セキュアAAC、セキュアMP3以外で記録された音楽データは再生することができません。
- “SDメモリーカード”にアーティスト名や曲名（トラック名称）などが記録されているときは表示することができます。表示文字数は次のとおりです。
  - ARTIST： アルファベット・記号の半角数字では最大30文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大15文字
  - PLAY LIST: アルファベット・記号の半角数字では最大25文字 漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大12文字
  - TRACK： アルファベット・記号の半角数字では最大25文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大12文字

6. SD オーディオの操作

聞きたいプレイリストを選ぶ

プレイリストを切り替える

1 P.LISTの ▲ 、または ▼ にタッチします。

リストから選択する

SD-JukeBoxで作成したプレイリストを表示して、選択することができます。

1 PLAY LISTの 選択 にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチして、再生したいプレイリストを選択します。

- プレイリストが6個以上あるときは ▲ ▲▲ 、または ▼ ▼▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  ▲ ▼: 1項目ずつ切り替えるとき
  ▲▲ ▼▼: ページごとに切り替えるとき
- 全曲再生 にタッチすると、“SDメモリーカード”の全曲が再生されます。
- ⮌ にタッチするともとの画面に戻ります。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

聞きたい音楽ファイルの頭出しができます。

パネルスイッチで選曲する

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

- TRK TUNE▲ （上側）:
  次の音楽ファイルを選ぶとき
  TRK TUNE▼ （下側）:
  前の音楽ファイルを選ぶとき
- 聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは TRK TUNE▲ にタッチし、前曲にあるときは TRK TUNE▼ にタッチします。
  また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。

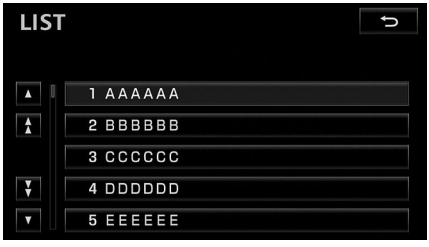
リストから選曲する

"SDメモリーカード"に記録された音楽ファイルをリスト表示して、選択することができます。

1 TRACKの 選択 にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチして、再生したいファイルを選択します。

- ファイルが6個以上あるときは ▲ ▲▲ 、または ▼ ▼▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  ▲ ▼: 1項目ずつ切り替えるとき
  ▲▲ ▼▼: ページごとに切り替えるとき
- ⮌ にタッチするともとの画面に戻ります。



聞きたい音楽ファイルを探す

1 SCAN にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「SCAN」が表示されます。
- 現在、再生中のプレイリスト内のファイル、または同じ階層の全ファイルの始めの部分を順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチすると、その音楽ファイルで再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返し聞く

1 RPT にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RPT」が表示されます。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返されます。 もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RAND」が表示されます。
- 現在、再生中のフォルダ内の全ファイル、または第1階層の全ファイルの中から任意にファイルを選び出し再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまで繰り返されます。 もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

セキュアAAC・セキュアMP3について

本機で再生できる“SDメモリーカード”は次のようになります。

再生可能なファイル形式		セキュアAAC、または セキュアMP3※1
変換ソフト		SD-JukeBox V5以降※2
対応サンプリング周波数（kHz）		16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	セキュアAAC	32～144
	セキュアMP3	32～192 ※VBR（可変ビットレート）に対応しています。
最大ファイル数		999曲

推奨はセキュアAAC、サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート96kbps（標準）、または128kbps（高音質）です。

※1：セキュアAACおよびセキュアMP3を"SDメモリーカード"に書き込むには、専用のSDカードリーダーライターが必要になります。

※2：SD-JukeBox操作方法および"SDメモリーカード"の音楽ファイルの記録については、各ソフトの取扱書を参照してください。

1. HDDオーディオをお使いになる前に

HDDオーディオの概要

HDDオーディオは、CDで再生されている音楽をAAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどを検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。

HDDオーディオの構成について

HDDオーディオは、録音された音楽を4種類のプレイモード（再生モード）に分類し、各プレイモード内にプレイリスト（アルバム）を分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードから絞り込んで検索することができます。



プレイモード

録音したトラック（音楽）を4つの再生モード（アーティスト、録音日順、ジャンル、マイベスト）で分けています。



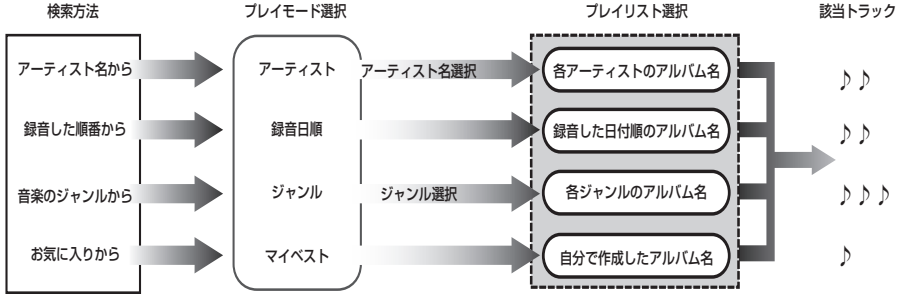
プレイリスト

各プレイモードごとに録音したトラックをCDアルバム単位で分けています。



トラック

録音した音楽のタイトル



■プレイモード・プレイリストについて

プレイモード	プレイリスト
アーティスト	● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名とアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。 ● 聞きたいアーティスト名を選択すると、表示されるアルバム名から選曲することができます。
録音日順	● オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。 ● 録音された順番で表示されるアルバム名から選曲することができます。
ジャンル	● オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルとアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。 ● 聞きたいジャンルを選択すると、表示されるアルバム名から選曲することができます。
マイベスト	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。

アドバイス

HDDオーディオには、最大999個のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大 99 曲までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ2500曲※です。
※…録音音質を普通に設定して、5分程度の曲が約2500曲録音できます。
　　録音音質を高音質に設定すると、録音曲数は少なくなります。

1. HDD オーディオをお使いになる前に

データベースについて

本機は、CD（アルバム/シングルディスク）をHDDオーディオ録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。
本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

Gracenote メディアデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright (c) 2000 - 2010 Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - 2010 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の１つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523)用に Open Globe, Inc. から提供されました。

GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate



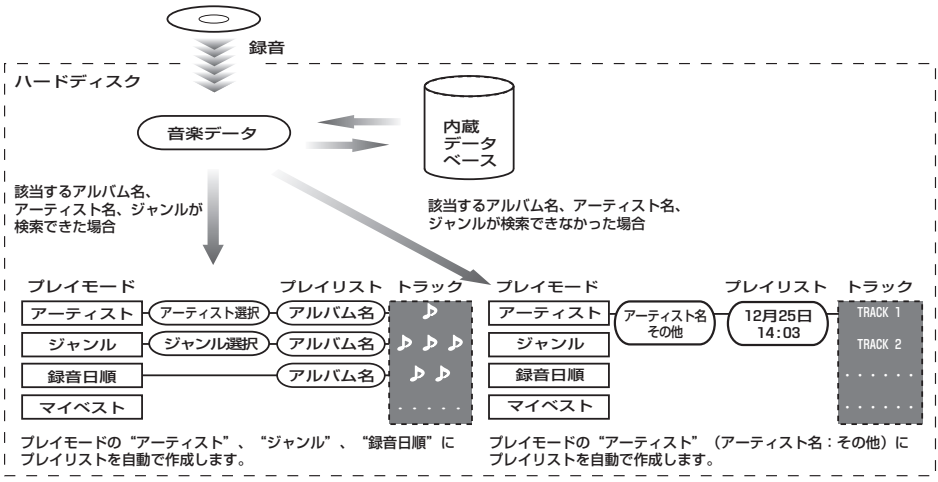
アドバイス

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

オートタイトリング機能について

本機は、録音した音楽をデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※…オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。



アドバイス

- 録音時にタイトル情報が付与できなかったものは、プレイモードの“アーティスト”（アーティスト名：その他）に下記の情報を作成します。
  プレイリスト：日付・時刻
  トラック：TRACK 番号
- 録音時にデータベース検索が完了していない場合、“NO DATA”を表示します。

1. HDD オーディオをお使いになる前に

データベース情報の表示

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を見ることができます。

1 G・INFO にタッチします。

2 データ管理 にタッチします。

● 情報以外が選択されているときは、情報 にタッチします。



3 データベースのバージョンの バージョン情報 にタッチします。



● データベース情報を表示します。

● リストが6個以上あるときは ▲ ▲▲ 、または ▼ ▼▼ にタッチしてリストを切り替えることができます。

▲ ▼ ：1項目ずつ切り替えるとき

▲▲ ▼▼ ：ページごとに切り替えるとき



アドバイス

最大200個まで履歴を残すことができます。

データベースの更新

本機のデータベース（Gracenote メディアデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。新譜のタイトル情報がハードディスクに収録されているデータベースにないときに、更新を行ってください。
Gracenote メディアデータベースの更新時期やデータの提供については、専用ダウンロードサイトをご覧ください。

- トヨタ専用ダウンロードサイト：　http://toyota.jp/dop/navi/update/cddb.html
- ダイハツ専用ダウンロードサイト：http://www.daihatsu.co.jp/accessory/index.htm

更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。

1 G・INFO にタッチします。

2 データ管理 にタッチします。

- 情報以外が選択されているときは、情報 にタッチします。



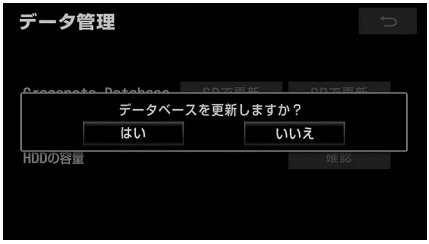
3 更新データの書き込まれた“SDメモリーカード”、またはCD-R/RWを差し込みます。

4 Gracenote Databaseの SDで更新 、または CDで更新 にタッチします。



5 はい にタッチします。

- データベースの更新を開始します。
- 更新中画面を表示します。
- 更新中は本機の操作をしたり、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。
- 更新が完了すると、更新中のメッセージが消えます。



1. HDD オーディオをお使いになる前に

6 “SDメモリーカード”、または CD-R/RWを本機から取り出します。

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成マイベスト数を表示することができます。

1 **G・INFO** にタッチします。

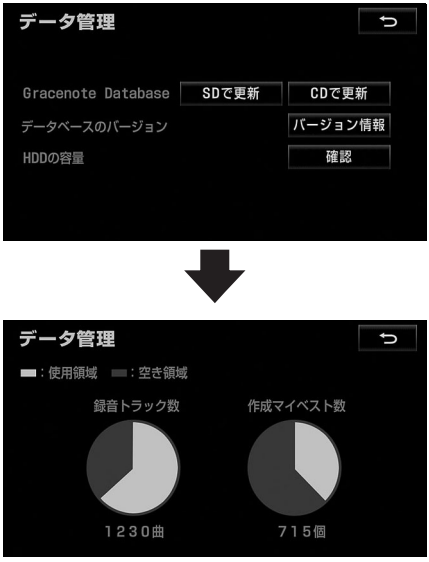
2 **データ管理** にタッチします。

● 情報以外が選択されているときは、**情報** にタッチします。



3 HDDの容量の **確認** にタッチします。

● ハードディスクの容量を表示します。

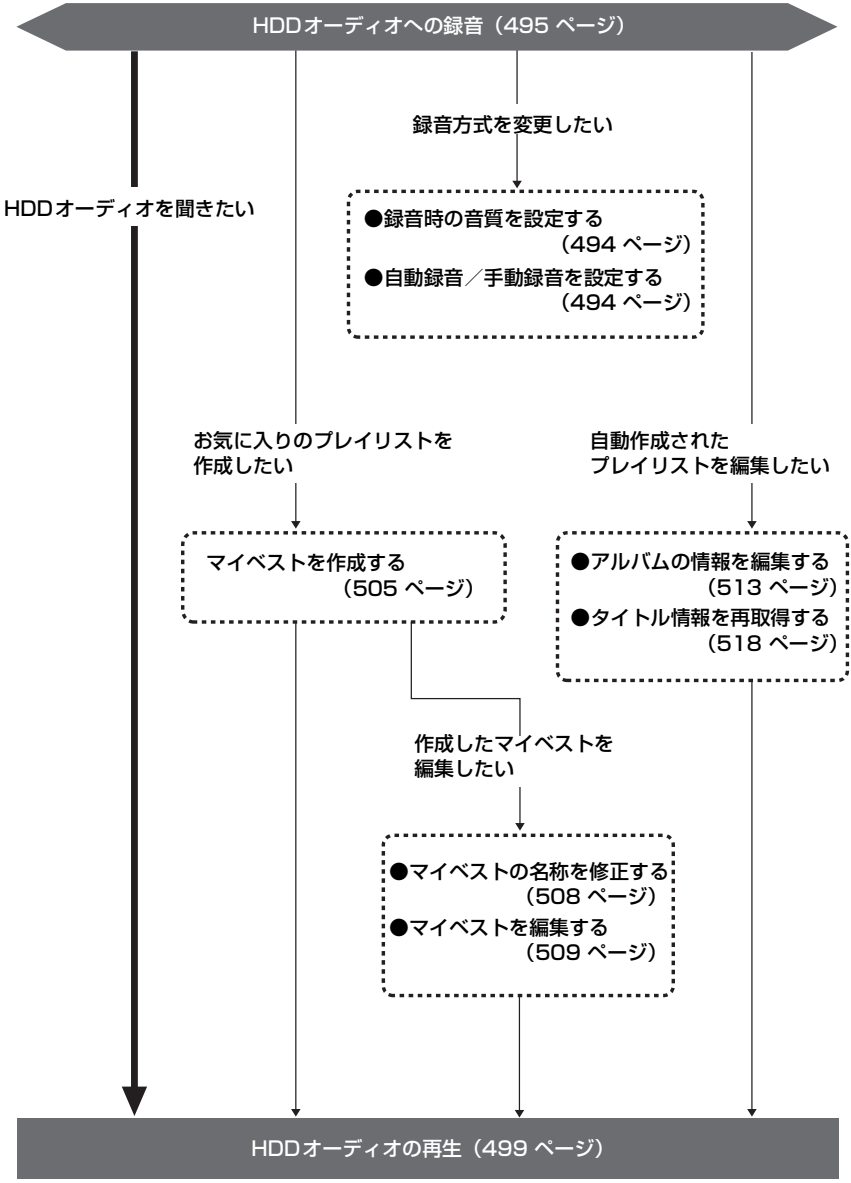


アドバイス

- CDの録音中は、データベースの更新を行えません。録音を中止、または終了後データベースの更新を行ってください。
- 更新にかかる時間はバージョンにより異なります。

操作の流れについて

HDDオーディオへの録音や、聞き方、マイベスト、プレイリストの編集などの操作の流れを説明します。操作方法については、それぞれのページを参照してください。



2. HDDオーディオへの録音

録音について

- HDD オーディオに録音することができるデータは、CD（アルバム / シングルディスク）の音楽データのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音できません。
  - 録音が制御されている音楽CDなどから録音したCD-RやCD-RW
  - 録音が禁止されている音楽CD
- 本機の録音は、再生速度より高速（4倍速以上）で録音することができます。
- 本機は、音楽を録音しながら録音された音楽を再生する裏録音のため、録音中に他のオーディオモードに切り替えた場合でも録音を継続します。詳しくは495 ページを参照してください。
- 録音中の再生音は、HDDオーディオに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 下記の場合、録音が中断され録音途中のトラック（曲）を削除します。
  - 録音中にお車のエンジンスイッチをOFF（LOCK)にした場合
  - オーディオをOFFにした場合
  - 録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。※
  - エンジンスイッチをACCまたはONにした場合
  - オーディオをONにした場合

※ 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始

再生：録音中の曲を再生している場合は、再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
録音中以外の曲を再生している場合は、再生途中だったトラック（曲）の続きから再生を開始

- すでに録音されているトラック（曲）は重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度オーディオモードを切り替えた後、再度同じCDを再生してください。

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽が停止します。
- CDを録音開始後、録音された音を再生します。
  録音が完了した後、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、オーディオモードを切り替えるなどお客様が操作しない限り、通常のCD再生に戻ります。（このとき一瞬停止し、再生中の位置からCD再生されます。）
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に♪を表示します。

録音方式の設定

録音方式について、以下の項目を設定することができます。

項目	機能
録音音質	・高音質で録音する ・通常の音質で録音する
自動録音/選んで録音	・CDを再生しながら手動で全てのトラック（曲）を録音する ・CDを再生しながら自動で全てのトラック（曲）を録音する ・CDの中からお好みのトラック(曲)を録音する

2. HDD オーディオへの録音

録音時の音質を設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音中は、操作することができません。高音質を選ぶと、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。

3 **CD⇒HDD録音設定** にタッチします。

● CD録音設定画面が表示されます。



4 録音音質の **高音質** 、または **普通** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

自動録音／選んで録音を設定する

録音開始の「自動/手動」の切り替え、録音するトラック（曲）の「全て/選ぶ」の切り替えを設定します。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。

3 **CD⇒HDD録音設定** にタッチします。

● CD録音設定画面が表示されます。



4 自動録音と選んで録音を下記のように設定します。

機能	設定
CDを再生しながら手動で全てのトラック（曲）を録音する	自動録音：**しない** 選んで録音：**しない**
CDを再生しながら自動で全てのトラック（曲）を録音する	自動録音：**する** 選んで録音：選択不可
CDの中からお好みのトラック(曲)を録音する	自動録音：**しない** 選んで録音：**する**



5 **完了** にタッチします。

CDの録音

本機は、CD(アルバム/シングルディスク）のみ録音することができます。
録音中は“CD REC”および録音されていない残り曲数を表示します。
録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

オーディオモード（音声モード）	使用できないスイッチ
DISC	TRK TUNE ▲ TRK TUNE ▼ RPT RAND SCAN LIST
HDD	タイトル入力
DISC、HDD以外※	制約なし

※･･･録音中にオーディオモードをラジオやテレビに切り替えた場合。

2. HDD オーディオへの録音

CDを再生しながら手動で全てのトラック（曲）を録音する

1 CDを差し込みます。

2 CDを再生中に、**録音開始** にタッチします。

- 録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 録音中は“CD REC”および録音されていない残り曲数を表示します。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。（録音が完了している曲のみ）このとき、一時的に音声が停止します。
- 録音を途中で停止する場合は、**録音停止** にタッチします。



●録音中画面

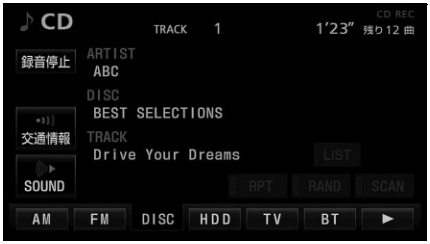
アドバイス

- 録音中の再生音は、HDDオーディオに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音できません。
  - 録音が制御されている音楽CDなどから録音したCD-RやCD-RW
  - 録音が禁止されている音楽CD
- すでにCDが差し込まれている場合は、オーディオモードをDISCに切り替えて上記手順で録音してください。
- 上記以外の方法で録音したい場合は、**「自動録音／選んで録音を設定する」**（494 ページ）で録音方式を変更してください。

CDを再生しながら自動で全てのトラック（曲）を録音する

1 CDを差し込みます。

- 自動で録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 録音中は“CD REC”および録音されていない残り曲数を表示します。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。（録音が完了している曲のみ）このとき、一時的に音声が停止します。
- 録音を途中で停止する場合は、**録音停止**にタッチします。



アドバイス

- 録音中の再生音は、HDDオーディオに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音できません。
  - 録音が制御されている音楽CDなどから録音したCD-RやCD-RW
  - 録音が禁止されている音楽CD
- すでにCDが差し込まれている場合は、オーディオモードをDISCに切り替えた時に、録音されていないトラック（曲）を自動で録音します。
- 上記以外の方法で録音したい場合は、**「自動録音／選んで録音を設定する」**（494 ページ）で録音方式を変更してください。

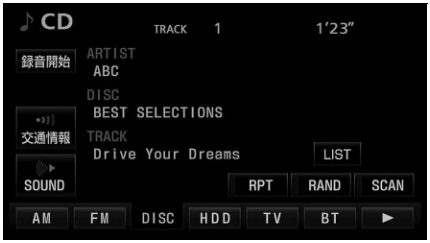
2. HDD オーディオへの録音

CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する

1 CDを差し込みます。

2 CDを再生中に、**録音開始** にタッチします。

● 録音トラック選択画面を表示します。



3 録音したいトラック（曲）にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

● 選んだトラック（曲）の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。

● 録音中は“CD REC”および録音されていない残り曲数を表示します。

● 選んだトラック（曲）の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック（曲）の再生は継続されます。（録音が完了した曲のみ）このとき、一時的に音声が停止します。

● 録音を途中で停止する場合は、**録音停止** にタッチします。

アドバイス

● 録音中の再生音は、HDDオーディオに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。

● SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音できません。
  ● 録音が制御されている音楽CDなどから録音したCD-RやCD-RW
  ● 録音が禁止されている音楽CD

● すでに CD が差し込まれている場合は、オーディオモードを DISC に切り替えて上記手順で録音してください。

● 複数のトラック（曲）を同時に選ぶ場合は、選びたいトラック(曲)全てにタッチしてください。

● 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。

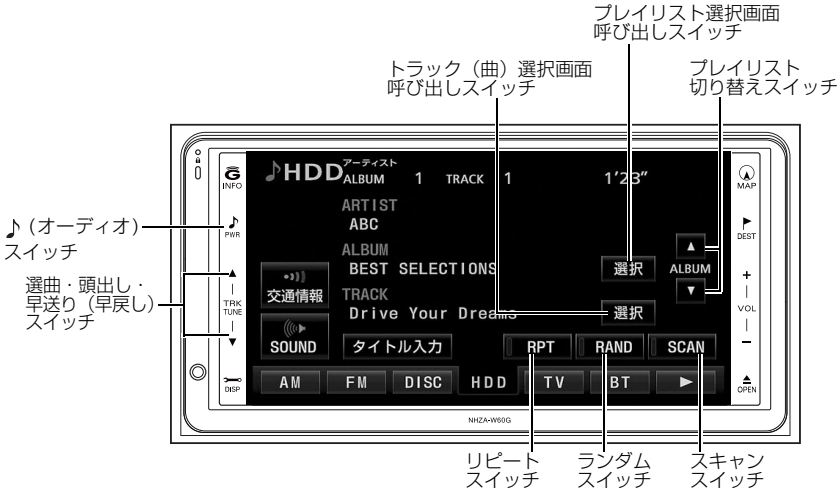
● 全てのトラック（曲）を選択したいときは、**全選択** にタッチし、選択をやり直すときは、**全解除** にタッチします。

● すでに録音が完了しているトラック（曲）は選べません。

● 上記以外の方法で録音したい場合は、**「自動録音／選んで録音を設定する」**（494 ページ）で録音方式を変更してください。

3. HDDオーディオの操作

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



HDDオーディオを聞く

1 ♪ 、**HDD** の順にタッチします。

- 再生を始めます。
- ♪ にタッチするとHDDオーディオ操作画面に切り替わります。
- 前回、HDDオーディオを再生していたときに、最後に聞いていたトラック（曲）の停止したところから再生を始めます。



●オーディオ操作画面

アドバイス

HDDオーディオに記録されているアーティスト名、アルバム名、トラック名を表示することができます。表示文字数は、半角文字では最大25文字、全角文字では最大12文字です。

3. HDD オーディオの操作

表示・再生について

HDDオーディオに保存されている複数のトラック（曲）をアーティスト名やジャンルなどのプレイモードから検索して選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番が違います。

● プレイリストの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
アーティスト	自動で作成されたアーティストごとのアルバムリストをアルバム読みの50音順に表示・再生
ジャンル	あらかじめ設定されているジャンルごとのアルバムリストをアルバム読みの50音順に表示・再生
録音日順	アルバムリストを録音日の新しい順に表示・再生
マイベスト	オリジナルで作成したアルバムリストを登録日の新しい順に表示・再生

● トラックの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	トラックの表示・再生順
アーティスト	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
ジャンル	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
録音日順	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
マイベスト	アルバムリストに追加した順に表示・再生

※同じアーティスト/ジャンルの全トラックの再生が終了すると、次のアーティスト/ジャンルに切り替わります。

再生中のプレイモードの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

■パネルスイッチから選ぶ

選択されているプレイモード内でトラックを切り替えることができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：次曲を選ぶとき
TRK TUNE▼ （下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

■タッチスイッチから選ぶ

選択されているプレイモード内で、プレイリストとトラック（曲）を選ぶことができます。

1 ALBUMの ▲ 、または ▼ にタッチします。

● プレイリストが切り替わります。



2 TRACKの 選択 にタッチします。

● 選択しているプレイリストに収録されているトラック（曲）一覧が表示されます。



3 聞きたいトラック（曲）にタッチします。

● 選んだトラック（曲）を再生します。

● リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫·⏬ ：ページごとに切り替えるとき



3. HDD オーディオの操作

プレイモードからプレイリストを検索して聞きたいトラック（曲）を選ぶ

1 ALBUMの **選択** にタッチします。



2 プレイリストを検索するためのプレイモードにタッチします。

- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。
- アーティスト、またはジャンルのプレイモードを選んだ場合、聞きたいアーティスト名、またはジャンルを選択します。
- **あ行** ～ **ら・わ行** にタッチするごとに、アーティスト名が50音順に切り替わります。



3 再生したいプレイリストにタッチします。

- 選んだプレイリストに収録されている最初のトラック（曲）を再生します。



4 アーティスト、またはジャンルから検索したときは、**選択完了** にタッチします。

- HDD　オーディオ操作画面が表示されます。
- 録音日順、またはマイベストから検索したときは、 にタッチします。



アドバイス

- 各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。マイベストにプレイリストを作るには、**「マイベストを作成する」**（505 ページ）を参照してください。
- リストが6個以上ある場合は、 ▲・▲▲ 、▼・▼▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲・▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
  - ▲▲・▼▼ ：ページごとに切り替えるとき

早送り･早戻しする

いま聞いているトラック（曲）を早送り･早戻しすることができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：
トラック（曲）を進めるとき
TRK TUNE▼ （下側）：
トラック（曲）を戻すとき
2回“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 SCAN にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「SCAN」が表示されます。
● 再生中のプレイリスト内､全曲の始めの部分を順に再生します。もう一度 SCAN にタッチすると、その曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

1 SCAN を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「ALB.SCAN」が表示されます。
● 再生中のプレイモード内､全プレイリストの1曲目に収録されている曲を曲の始めの部分を順に再生します。もう一度 SCAN にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 RPT にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RPT」が表示されます。
● 再生中の曲を繰り返し再生します。
● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

3. HDD オーディオの操作

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

1 RPT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「ALB.RPT」が表示されます。
- 再生中のプレイリスト内の全曲を繰り返します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

1 RAND にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RAND」が表示されます。
- 再生中のプレイリスト内の全曲でランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

プレイモードで検索された全ての曲をランダムに再生する

1 RAND を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「ALB.RAND」が表示されます。
- 全曲でランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

4. プレイリストの編集

本機は、録音時に自動で作成されるプレイリストとは別に、録音したトラック（曲）の中からお好みのトラック（曲）を集めたプレイリストを作成することができます。また、それぞれのプレイリストを編集することができます。録音中は、操作することができません。



マイベストを作成する

プレイモードのマイベストにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。



3 **サウンドライブラリ編集** にタッチします。

● サウンドライブラリ編集メニュー画面が表示されます。



4. プレイリストの編集

マイベストの名称を入力する

4 マイベストの **新規作成** にタッチします。

● マイベスト名称入力画面が表示されます。



5 名称を入力します。

● 名称の入力については、**「名称を入力する」**（511 ページ）を参照してください。



6 名称を確認し、**完了** にタッチします。

● トラック追加画面を表示します。



作成したマイベストにトラックを追加する

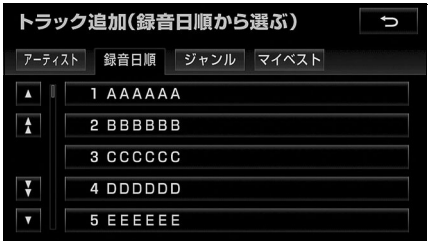
7 追加したいトラック（曲）を検索するためのプレイモードにタッチします。

- マイベストは、プレイリストが作成されていないと選択できません。
- アーティスト、またはジャンルのプレイモードを選んだ場合、検索したいアーティスト名、またはジャンルを選択します。
- あ行 ～ ら・わ行 にタッチするごとに、アーティスト名が50音順に切り替わります。



8 追加したいトラック（曲）が収録されているプレイリストにタッチします。

- プレイリストに収録されているトラック（曲）を表示します。



9 収録したいトラック（曲）にタッチします。



10 登録 にタッチします。

- 選んだトラックをマイベストの一番最初に追加します。



11 完了 にタッチします。

- 続けて他のプレイリストからトラック（曲）を追加する場合は、追加 にタッチします。**7** の画面にもどります。

アドバイス

- 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 全てのトラック（曲）を選択したいときは、 全選択 にタッチし、選択をやり直すときは、 全解除 にタッチします。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。
- リストが6個以上ある場合は、▲・⏫、▼・⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲・▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
  - ⏫・⏬ ：ページごとに切り替えるとき

4. プレイリストの編集

マイベストの名称を修正する

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。

3 **サウンドライブラリ編集** にタッチします。

● サウンドライブラリ編集メニュー画面が表示されます。



4 マイベストの **名称修正** にタッチします。



5 変更したいマイベストにタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。



6 名称を入入力します。

● 名称の入力については、**「名称を入力する」**（511 ページ）を参照してください。



7 **完了** にタッチします。



アドバイス

リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬にタッチするとリストを切り替えることができます。

▲·▼：1項目ずつ切り替えるとき

⏫·⏬：ページごとに切り替えるとき

マイベストを編集する

マイベストに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。

3 **サウンドライブラリ編集** にタッチします。

● サウンドライブラリ編集メニュー画面が表示されます。



4 マイベストの **編集** にタッチします。



5 編集したいマイベストにタッチします。

● マイベスト編集画面が表示されます。



6 編集したい項目にタッチします。

● マイベスト編集画面から下記の編集ができます。

- トラック（曲）を追加する （次ページ）
- トラック（曲）を並べ替える （次ページ）
- トラック（曲）を消去する （次ページ）
- マイベストを消去する （511 ページ）



アドバイス

リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬にタッチするとリストを切り替えることができます。

▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき

⏫·⏬ ：ページごとに切り替えるとき

4. プレイリストの編集

トラック（曲）を追加する

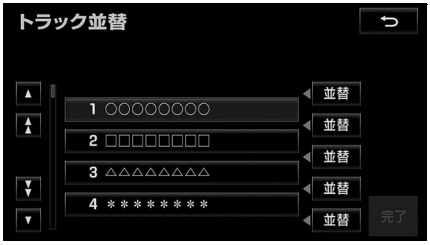
1 マイベスト編集画面で、
トラックを追加 にタッチします。

● トラックの追加については、**「マイベストを作成する」**（505 ページ）を参照してください。

トラック（曲）を並べ替える

1 マイベスト編集画面で、
トラックを並替 にタッチします。

2 移動したいトラック（曲）にタッチし、移動させたい場所の **並替** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

トラック（曲）を消去する

作成したプレイリストに登録したトラック（曲）を消去することができます。消去したトラック（曲）は、プレイリストからは消去されますが、ハードディスクには保存されていますので、マイベスト以外のプレイモードから検索して再生することができます。

1 マイベスト編集画面で、
トラックを削除 にタッチします。

2 消去したいトラック（曲）にタッチし、**削除** にタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。



3 確認後、**はい** にタッチします。



アドバイス

- 複数のトラックを同時に消去する場合は、消去するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 全てのトラック（曲）を選択したいときは、 **全選択** にタッチし、選択をやり直すときは、**全解除** にタッチします。
- 全てのトラック（曲）を消去すると、トラックが収録されていたプレイリストも消去されます。
- リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
  - ⏫·⏬ ：ページごとに切り替えるとき

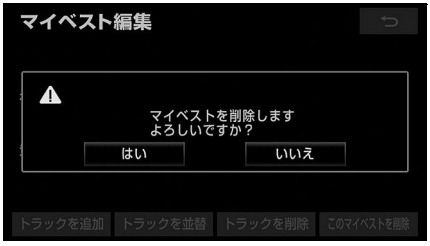
マイベストを消去する

マイベスト内に作成したプレイリストを消去することができます。プレイリストに収録されていたトラック（曲）は、ハードディスクに保存されていますので、マイベスト以外のプレイモードから検索して再生することができます。

1 マイベスト編集画面で、**このマイベストを削除** にタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。

2 確認後、**はい** にタッチします。



名称を入力する

マイベストの名称入力や修正、アルバム名称･アーティスト名称･トラック名称の変更、アーティスト読み名称入力をするときに名称入力を行います。

1 文字を１文字ずつタッチして入力します。

● ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**（アルファベット・数字）、**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。

● カナ入力、英数字入力、数記号入力については**「カナ、英数字、数記号の入力」**（次ページ）を参照してください。

● **スペース** にタッチすると、スペースを入力することができます。

● 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１つずつ消去されます。



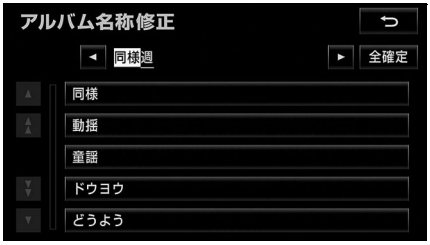
2 ひらがなを入力するときは、**無変換**、漢字を入力するときは、**変換** にタッチします。



4. プレイリストの編集

3 変換 にタッチしたときは、次に表示された画面（変換リスト）で、入力する漢字、または熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶にタッチして、範囲を変更します。
- 全確定 にタッチすると、表示されている状態で登録されます。



4 完了 にタッチします。

カナ、英数字、数記号の入力

1 カナ 、英数字 、数記号 にタッチします。

2 入力する文字の大きさを切り替えるときは、半角 (全角)にタッチします。

- 英数字 にタッチしたときは、大文字 (小文字) にタッチすると、大文字と小文字を切り替えることができます。
- ▲ ▼ が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



3 文字を１文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは 修正 にタッチすると、１つずつ消去されます。



4 完了 にタッチします。

アドバイス

- リストが6個以上ある場合は、▲·⏫ 、▼·⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲·▼ ：１項目ずつ切り替えるとき
  - ⏫·⏬ ：ページごとに切り替えるとき
- 入力することができる文字数は最大15文字（半角文字は31文字）までです。ただし全ての文字を表示することはできません。

アルバムの情報を編集する

自動で作成されたプレイリストのアーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

アルバム修正画面の呼び出し

■HDDオーディオ操作画面から呼び出す

1 再生画面で、編集したいプレイリストを再生します。

● プレイリストの選択については、**「プレイモードからプレイリストを検索して聞きたいトラック（曲）を選ぶ」**（502 ページ）を参照してください。

2 **タイトル入力** にタッチします。

● アルバム修正画面が表示されます。



■設定・編集画面から呼び出す

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。

3 **サウンドライブラリ編集** にタッチします。

● サウンドライブラリ編集メニュー画面が表示されます。



4 アルバムの **修正** にタッチします。

● HDD　オーディオに収録されているプレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。



4. プレイリストの編集

5 プレイリストを検索するためのプレイモードにタッチします。

● アーティスト、またはジャンルのプレイモードを選んだ場合、編集したいアーティスト名、またはジャンルを選択します。



6 編集したいプレイリストにタッチします。

● アルバム修正画面が表示されます。



アルバム名称を変更する

1 アルバム修正画面で、**アルバム** 、または **アルバム読み** にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。



2 名称を入力します。

● 名称の入力については、**「名称を入力する」**（511 ページ）を参照してください。



アドバイス

リストが6個以上ある場合は、▲·▲▲、▼·▼▼にタッチするとリストを切り替えることができます。

▲·▼：1項目ずつ切り替えるとき

▲▲·▼▼：ページごとに切り替えるとき

アーティスト名称を変更する

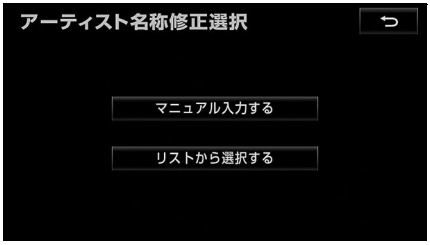
■アーティスト名称を入力する

1 アルバム修正画面で、**アルバムアーティスト** にタッチします。



2 **マニュアル入力する** にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。



3 アーティスト名称を入力します。

● 名称の入力については、**「名称を入力する」**（511 ページ）を参照してください。



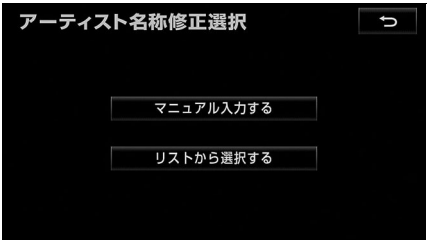
■リストから選択する

1 アルバム修正画面で、**アルバムアーティスト** にタッチします。



2 **リストから選択する** にタッチします。

● アーティスト名称リスト選択画面が表示されます。



3 選びたいアーティスト名称にタッチします。

● リストが6個以上ある場合は、▲・⏫、▼・⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲・▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫・⏬ ：ページごとに切り替えるとき



4. プレイリストの編集

■アーティスト読み名称を入力する

1 アルバム修正画面で、**アルバムアーティスト読み** にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。



2 アーティストの読み名称を入力します。

● 名称の入力については、**「名称を入力する」**（511 ページ）を参照してください。



ジャンルを変更する

1 アルバム修正画面で、**ジャンル** にタッチします。



2 ジャンルにタッチします。

● **その他** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 **完了** にタッチします。

トラック名称を変更する

1 アルバム修正画面で、**トラック名を修正** にタッチします。



2 修正するトラックにタッチします。

● リストが6個以上ある場合は、▲・⏫、▼・⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲・▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫・⏬ ：ページごとに切り替えるとき



3 トラック名称修正画面で、**トラック** 、または **トラック読み** にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。



4 トラック名称、またはトラックの読み名称を入力します。

● 名称の入力については、**「名称を入力する」**（511 ページ）を参照してください。



4. プレイリストの編集

タイトル情報を再取得する

録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合は、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 アルバム修正画面を呼び出します。

●**「アルバムの情報を編集する」**（513 ページ）を参照してください。

2 アルバム修正画面で、**HDDで検索** にタッチします。

● 該当するタイトル情報を取得します。
● 複数のタイトル情報を取得した場合、**3** の画面に進みます。
● 取得されたタイトル情報が 1 つのみの場合、**4** の画面に進みます。
● **Gで検索** は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。G-BOOKオンラインサービスを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenoteメディアデータベースから取得することができます。（787 ページ）



3 該当するタイトルにタッチします。



4 確認後、**登録** にタッチします。



アルバムを消去する

録音時に自動で作成されたアルバムプレイリストやトラック（曲）を消去することができます。消去したプレイリストやトラック（曲）は、ハードディスクに保存されていませんので、プレイモードから検索して再生することができません。

1 にタッチします。

2 **オーディオ** にタッチします。

3 **サウンドライブラリ編集** にタッチします。

● サウンドライブラリ編集メニュー画面が表示されます。



4 アルバムの **削除** にタッチします。

● HDDオーディオに収録されているプレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。



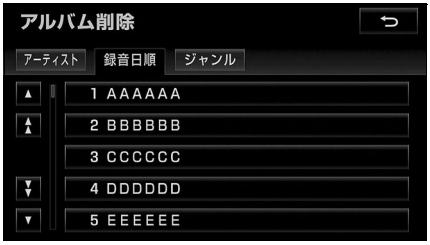
4. プレイリストの編集

5 プレイリストを検索するためのプレイモードにタッチします。

- アーティスト、またはジャンルのプレイモードを選んだ場合、編集したいアーティスト名、またはジャンルを選択します。
- **あ行** ～ **ら・わ行** にタッチするごとに、アーティスト名が50音順に切り替わります。



6 消去したいプレイリストにタッチします。



アドバイス

リストが6個以上ある場合は、▲·▲▲、▼·▼▼にタッチするとリストを切り替えることができます。

▲·▼：1項目ずつ切り替えるとき

▲▲·▼▼：ページごとに切り替えるとき

■選択したプレイリストを消去する

7 **このアルバムを削除** にタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。



8 確認後、**はい** にタッチします。



■選択したプレイリスト内のトラック（曲）を消去する

7 **トラックを削除** にタッチします。



8 消去したいトラック（曲）にタッチし、**削除** にタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。



アドバイス

- 複数のトラックを同時に消去する場合は、消去するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 全てのトラック（曲）を選択したいときは、**全選択** にタッチし、選択をやり直すときは、**全解除** にタッチします。
- 全てのトラック（曲）を消去すると、トラックが収録されていたプレイリストも消去されます。
- リストが6個以上ある場合は、▲·⏫、▼·⏬にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
  - ⏫·⏬ ：ページごとに切り替えるとき

4. プレイリストの編集

9 確認後、**はい** にタッチします。

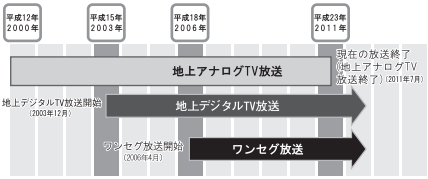


1. テレビをお使いになる前に

地上デジタルテレビ放送について

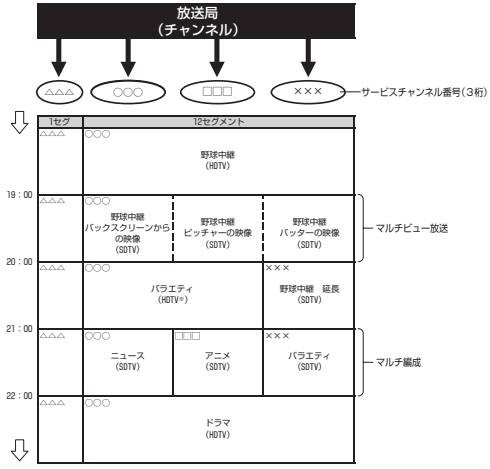
地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。



地上デジタル放送では1つのチャンネルが、13の「セグメント」という単位で分割されています。そのうち12セグメントを使ってハイビジョン映像（HDTV）や、標準映像（SDTV）の番組を提供しています。

標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます。（マルチ編成）残りの1セグメントは、移動体向けのワンセグ放送に使用されます。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

アドバイス

- 地上デジタルテレビ放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。
- テレビ機能を初めてご使用になる際は、初回起動時の設定が必要になります。
- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

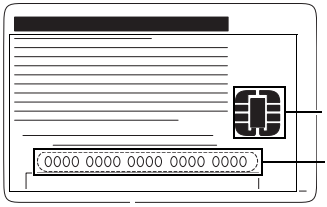
ワンセグ

1. テレビをお使いになる前に

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタルテレビ放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込んでください。B-CASカードの動作確認については**「B-CASカードの動作確認」**（551 ページ）を参照してください。

■B-CAS カード



カードを運用・管理するための番号です。問い合わせの際に必要です。

取り扱いについての注意

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- B-CASカードの台紙にある説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。（ワンセグ放送は視聴することができます）
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC（集積回路）部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。高温状態で放置された場合、変形する可能性があります。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、B-CASカードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

より詳しい情報は、http://www.b-cas.co.jpをご覧ください。

B-CASカードの破棄について

B-CASカードの所有権は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。本機を破棄するなど、B-CASカードが必要なくなったときは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターに連絡して返却手続きをしてください。

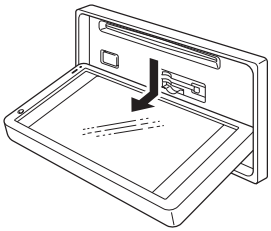
B-CASカードのお問い合わせ先について

B-CASカードに関してのお問い合わせは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにご連絡ください。

電話番号　0570-000-250
受付時間　AM10:00～PM8:00　（年中無休）

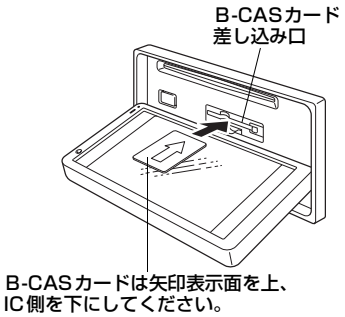
B-CASカードを差し込む

1 ディスプレイ部を開けます。(40 ページ参照)



2 B-CAS カード差し込み口に B-CAS カードを差し込みます。

● B-CAS カードを差し込んだ後、正常に動作しているか必ず確認してください。
詳しくは、**「B-CAS カードの動作確認」**(551 ページ) を参照してください。

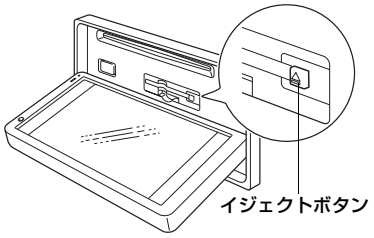


B-CASカードを取り出す

1 ディスプレイ部を開けます。(40 ページ参照)

2 車のエンジンを切り、ACCオフにします。

3 イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを抜きます。



⚠ 注 意

● B-CAS カード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
● B-CAS カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CAS カードの動作確認を行ってください。
● ご使用中はB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

1. テレビをお使いになる前に

搭載ブラウザについて

本製品には、株式会社ACCESSのNetFront Browser DTV Profile BML Editionを搭載しています。

ACCESS™
NetFront®

ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

初回起動時の設定

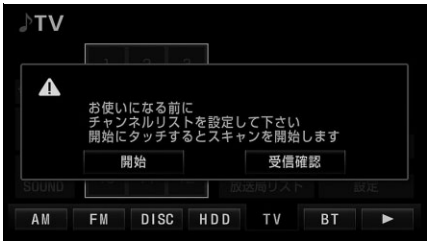
ご購入後、はじめてデジタルテレビをお使いになる前に、居住地域の設定やホームプリセットの設定を行なう必要があります。

データ放送用地域の設定

1 ♪、**TV** の順にタッチします。

● テレビ操作画面になり、メッセージがオンスクリーン表示されます。

2 **開始** にタッチします。



3 お住まいの郵便番号7桁を入力します。



● 数字を1文字ずつタッチして入力します。

● 間違えた（または入力されている）ときは、**修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。

アドバイス

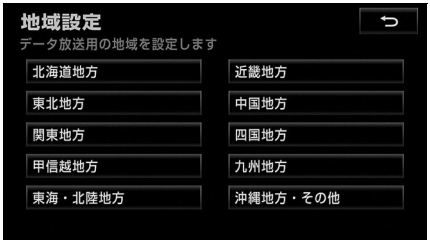
引越しなどで居住地域を変更したいときは、**「初期設定」**（545 ページ）を参照してください。

● 入力後、**次へ** にタッチします。



4 お住まいの地方にタッチします。

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、**沖縄地方・その他** にタッチしてください。



5 お住まいの都道府県にタッチします。



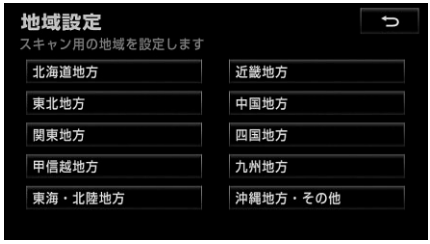
6 **次へ** にタッチします。

● スキャン用地域設定画面が表示されて、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。



スキャン用地域の設定

1 お住まいの地方にタッチします。



1. テレビをお使いになる前に

2 お住まいの都道府県にタッチします。



3 **スキャン** にタッチします。



- ホームプリセットスキャン画面が表示されて、自動で放送局の受信が始まります。
- **キャンセル** にタッチすると放送局の受信を中止します。



- 放送局の受信完了後、 **OK** にタッチします。



- 最大36局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに割り当てて表示します。
- プリセットスイッチに表示された放送局の内容で記憶する場合は、**完了** にタッチすると、テレビ操作画面になります。
- プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの編集ができます。(549 ページ参照)



アドバイス

- 受信される地域によっては、放送局を表示するまで約5分程度かかる場合があります。
- 引越しなどでチャンネルを再度設定したいときは、**「初期設定」**(545 ページ) を参照してください。

2. テレビの操作

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ、地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。（パーキングブレーキを解除したときは、地図画面を表示して音声のみ出力します。）



● パーキング解除時の操作画面
（パーキングブレーキを解除したときは、映像等は表示されない操作画面となります。）



テレビを見る

1 ♪ 、**TV** の順にタッチします。

● テレビ操作画面になります。
● ご購入後、はじめてお使いになる、または個人情報の消去を行った後は、**「初回起動時の設定」**（526 ページ）が必要になります。
● **全画面** 、または映像にタッチすると全画面になります。テレビ操作画面にしたいときは、♪ または画面にタッチします。

受信レベルについて

テレビ操作画面右上に受信レベルが表示されます。

表示					
レベル	圏外	微弱	◄	►	強

アドバイス

● オプションの後席ディスプレイを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。
● 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
● 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
● 本機は双方向通信に対応していません。

2. テレビの操作

プリセットモードを切り替える

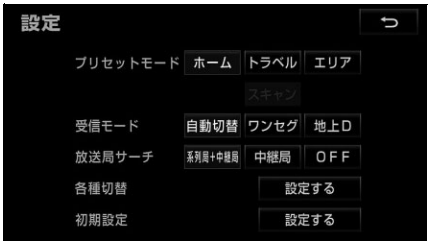
本機には、「ホーム」、「トラベル」、「エリア」の3つのプリセットモードがあり、状況に合わせて変更することができます。

ホーム	ホームプリセットで記憶したチャンネル（526 ページ、545 ページ参照）をご覧になることができます。 自宅周辺でお使いになるときは、この設定にします。
トラベル	旅先などお出かけ先で放送されているチャンネルをホームとは別にプリセットスイッチに記憶して、ご覧になることができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。
エリア	現在地周辺で放送されているチャンネルをプリセットスイッチに表示して、ご覧になることができます。

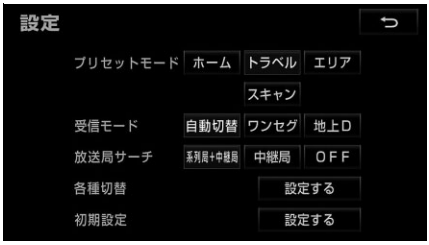
1 **設定** にタッチします。



2 プリセットモードの **ホーム** 、**トラベル** 、または **エリア** にタッチします。



● **トラベル** 選択時、**スキャン** を“ピッ”と音がするまで長くタッチすると、自動的に選局を始め、プリセットスイッチに記憶されます。



● プリセットモードを切り替えるごとに、操作画面に“ホーム”、“トラベル”、または“エリア”が表示されます。



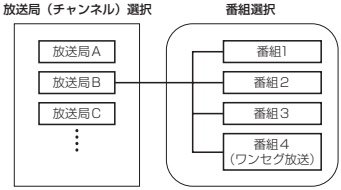
アドバイス

- 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない場合があります。
- ホームに記憶されているチャンネルは、状況により変更することができます。**「初期設定」**（545 ページ）を参照してください。

見たいチャンネルを選局する

地上デジタルテレビのチャンネル構成について

地上デジタルテレビ放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで同じ番組を放送している場合があります。



通常選局

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

● タッチするごとにチャンネルが切り替わります。

TRK TUNE▲ ：（上側）
次のプリセットチャンネルを選ぶとき

TRK TUNE▼：（下側）
前のプリセットチャンネルを選ぶとき

プリセットスイッチ選局

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

放送局名選局

各プリセットモードで記憶されているチャンネルを放送局名で選ぶことができます。

1 放送局リスト にタッチします。

● プリセットされているチャンネルの放送局名を一覧で表示します。

2 見たい放送局名にタッチします。



3 全画面 にタッチします。

アドバイス

- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1ch を AAC 方式で圧縮した番組（AAC5.1ch 放送）を放送している場合があります。本機はAAC 5.1ch放送には対応していません。AAC 5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送には切り替わりません。
- 地上デジタルテレビ放送は 1 つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 放送局リストに表示される番組情報は、放送を受信した場合に表示されます。
- 放送局リストに表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

2. テレビの操作

見たい番組を選ぶ

1つのチャンネル内に複数の番組(サービス)がある場合、操作画面にサービス数および視聴中のサービス番号が表示されます。



タッチスイッチから選択

1 **サービス切替** にタッチします。

● タッチするごとに番組が切り替わります。

サービスリストから選択

1 **放送局リスト** にタッチします。



2 **サービスリスト** にタッチします。

● 現在のチャンネルで放送されている番組名を一覧で表示します。



3 見たい番組名にタッチします。



受信モードの設定

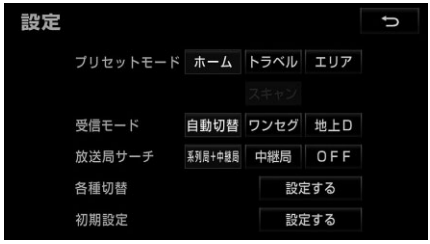
地上デジタルテレビ放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

1 **設定** にタッチします。



2 受信モードの **自動切替** 、**ワンセグ** 、または **地上D** にタッチします。

- **自動切替** :通常の地上デジタルテレビ放送（12セグ）が周囲の環境により受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わります。通常の地上デジタルテレビ放送（12セグ）が受信可能になると、自動でもとに戻ります。
- **ワンセグ** : 周囲の環境に関係なく、常にワンセグ放送のみ受信します。
- **地上D** : 周囲の環境に関係なく、常に通常の地上デジタルテレビ放送（12セグ）のみ受信します。



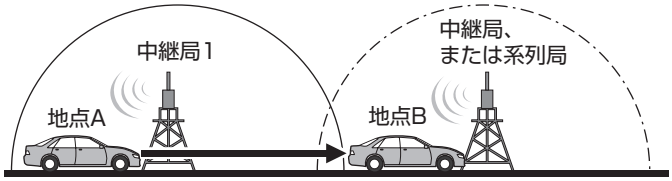
アドバイス

- **自動切替** に設定すると、次のようになることがあります。
  - 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
  - ワンセグ放送のサービスを行なっていない放送局をご覧になっている場合は、ワンセグ放送に切り替わりません。
- 放送局によっては、ワンセグ放送と地上デジタルテレビ放送で番組内容が異なることがあります。その場合は、見たい番組の受信モードに切り替えてください。

2. テレビの操作

放送局（系列局／中継局）サーチを設定する

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。



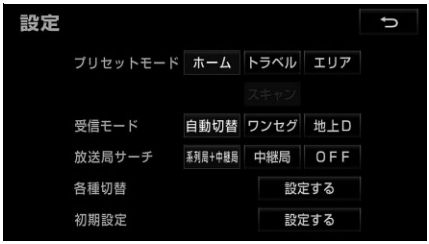
地点Aでは中継局１を受信中。

地点Bに移動し、中継局1で受信できなくなると、地点Bの周辺にある中継局や系列局を自動で探します。

1 **設定** にタッチします。



2 **系列局＋中継局** 、 **中継局** 、 **OFF** のいずれかにタッチします。



- **系列局＋中継局**：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局や系列局を探します。

中継局：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。

OFF：放送局のサーチを行いません。

アドバイス

- 放送局のサーチ中、後席ディスプレイ（オプション）に異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 系列局が切り替わった場合、視聴中の番組が変わる場合があります。
- プリセットモードが **ホーム** や **トラベル** に選択されているとき、探索した系列局や中継局がプリセットスイッチに記憶されます。

画面表示・音声の切り替え

ご覧になっている番組が提供している、映像、音声、字幕、文字スーパー、音声多重放送をお好みに合わせて切り替えることができます。

受信している映像、音声、字幕、文字スーパー、音声多重放送は各種切替画面で確認することができます。

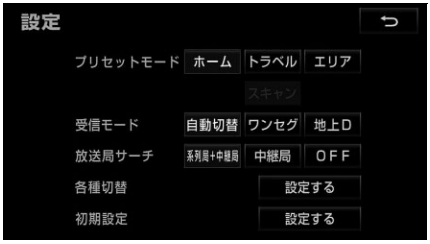
映像の切り替え

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。



2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **映像** にタッチします。

● **映像** にタッチするごとに、映像名および映像が切り替わります。



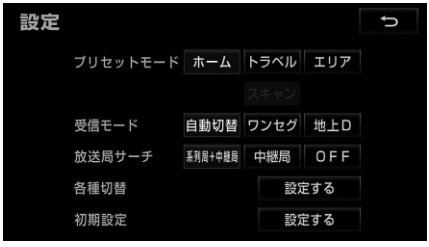
音声の切り替え

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。



2 各種切替の **設定する** にタッチします。



2. テレビの操作

3 **音声** にタッチします。



● **音声** にタッチするごとに、音声名および音声が切り替わります。

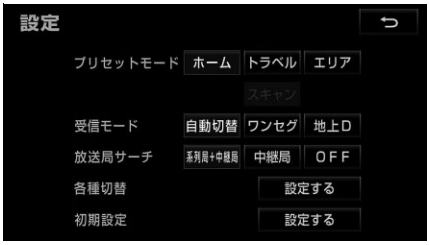
字幕言語の切り替え

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語等）を提供している場合、お好みに合わせて字幕言語を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。



2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **字幕** にタッチします。

● **字幕** にタッチするごとに、字幕言語が替わり、次の順に表示が切り替わります。

第１言語 → 第２言語 → OFF



アドバイス

映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

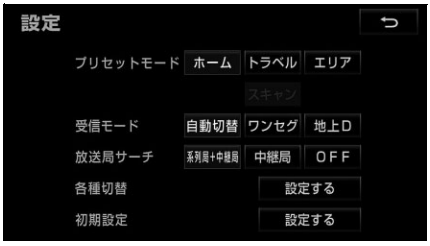
二重音声の切り替え

ご覧になっている番組が音声多重放送を受信している場合、お好みに合わせて主音声と副音声を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。



2 各種切替の **設定する** にタッチします



3 **二重音声** にタッチします。

● **二重音声** にタッチするごとに次の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主／副音声 MAIN/SUB



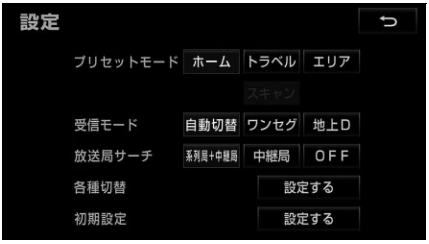
文字スーパーの切り替え

ご覧になっている番組が文字スーパーを提供している場合、表示言語を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。



2 各種切替の **設定する** にタッチします。



3 **文字スーパー** にタッチします。

● **文字スーパー** にタッチするごとに次の順に切り替わります。

第１言語 → 第２言語 → OFF



2. テレビの操作

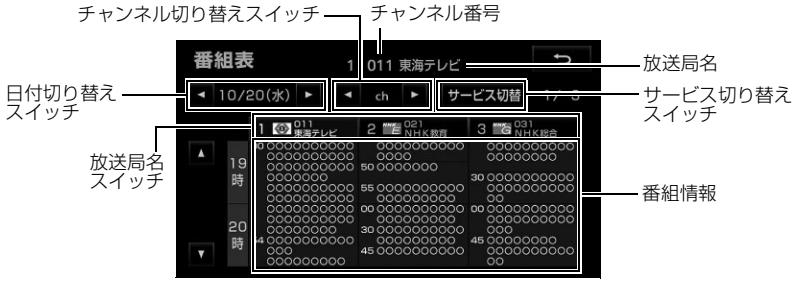
緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送システム（EWS：Emergency Warning System）とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

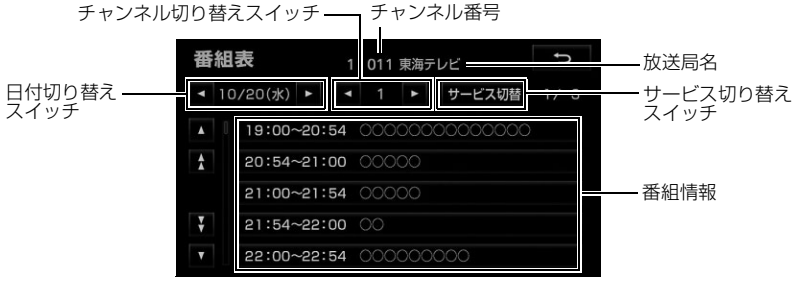
緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

3. EPG（電子番組表）の使い方

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。
画面上で簡単に、見たい番組をさがすことができます。番組表はテーブル表示とリスト表示に２種類あり、表示の方法を切り替えることができます。**「番組表の切り替え」**（次ページ参照）



●テーブル表示



●リスト表示

アドバイス

- EPGは、地上デジタル放送で現在から最大８日分、ワンセグ放送で最大１０番組分表示することができます。
- 番組表に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。
- テーブル表示の番組情報は、放送を受信した場合に表示されます。

3. EPG（電子番組表）の使い方

EPG（電子番組表）を見る

1 放送局リスト にタッチします。



2 番組表 にタッチします。

● 番組表画面が表示されます。

日付を切り替える

前の日、次の日の番組表に切り替えることができます。

1 日付切り替えスイッチの ▶ 、または ◀ にタッチします。

▶:番組表が次の日に切り替わります。
◀:番組表が前の日に切り替わります。

チャンネルを切り替える

チャンネルの切り替えスイッチで見たいチャンネルの番組表を表示することができます。テーブル表示の場合は、3チャンネルごとに切り替わります。

1 チャンネル切り替えスイッチの ▶ 、または ◀ にタッチします。

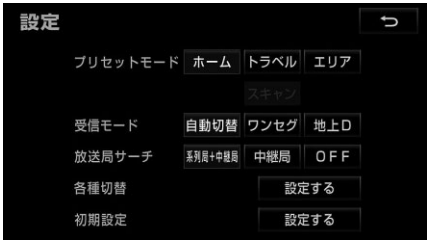
番組表の切り替え

番組表の表示方法（テーブル、リスト）を切り替えることができます。

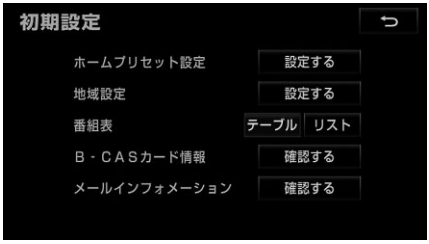
1 テレビ操作画面で 設定 にタッチします。



2 初期設定の 設定する にタッチします。



3 番組表の テーブル 、 リスト にタッチします。



番組（サービス）を切り替える

番組（サービス）ごとに番組表を切り替えることができます。

1 サービス切替 にタッチします。

● サービス切替 にタッチするごとに番組（サービス）が切り替わります。



●テーブル表示



●リスト表示

番組の内容を見る

1 番組表画面で内容が見たい番組にタッチします。

● 番組内容画面が表示されます。



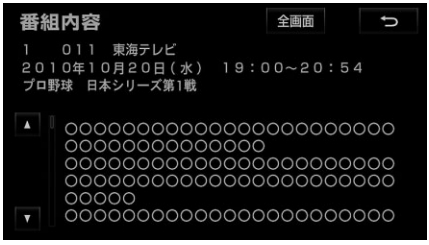
●テーブル表示

● 1時間に7つ以上の番組がある場合 リスト画面 にタッチすると番組のリストを表示します。



●リスト表示

● 番組内容が表示しきれない場合は、▲、▼ にタッチすると画面をスクロールすることができます。



アドバイス

番組表や番組内容に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

4. データ放送の使い方

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。
受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。

データ放送を見る

データ放送を受信可能な場合、d マークが表示されます。

1 テレビ操作画面で **d操作** にタッチします。

● 操作スイッチが表示されます。

2 **d** にタッチします。

● データ放送画面が表示されます。



● データ放送画面で、**d** にタッチするとテレビ映像画面にもどります。

● **消去** にタッチすると、操作スイッチが消えます。



●データ放送画面

アドバイス

ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。
受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。
また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力することができます。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

1 テレビ操作画面で **d操作** にタッチします。

- 操作スイッチが表示されます。
- 色ボタンやカーソルなどの操作を行うことができます。
- データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させると、画面キーボードが表示されます。

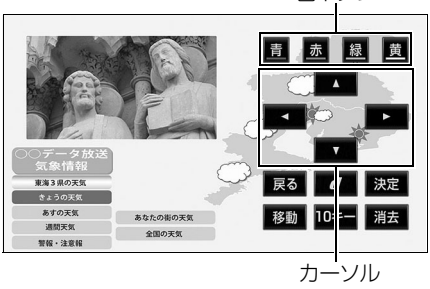


色ボタン・カーソルの操作について

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

1 色ボタン、またはカーソルにタッチします。

- **移動** にタッチするごとに、操作スイッチの位置が左右に切り替わります。





●操作スイッチ移動後画面

2 カーソルにタッチしたときは、選択後 **決定** にタッチします。

4. データ放送の使い方

10キー（テンキー）の操作について

数字を入力するときに使用します。

1 **10キー** にタッチします。

● 10キー操作スイッチが表示されます。

2 数字にタッチします。

● **移動** にタッチするごとに、10キーの位置が左右に切り替わります。



3 **決定** にタッチします。

文字入力の操作について

文字入力画面のあるデータ放送を視聴しているとき、文字入力の画面を選択すると、画面キーボードが表示されます。

1 文字を入力します。

● カーソルボタンで文字選択したり、色ボタンで機能を選択したりします。

● カーソル操作については、**「色ボタン・カーソルの操作について」**（前ページ）を参照してください。



アドバイス

- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
- データ放送の内容により、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機にはデジタルテレビ放送用の通信機能がないため、双方向通信に対応していません。
- 番組によっては、独自の画面キーボードを表示します。その場合は、画面にしたがって操作してください。

5. テレビの設定

初期設定

ご使用する地域が変わった場合など、状況に合わせて設定を変更することができます。

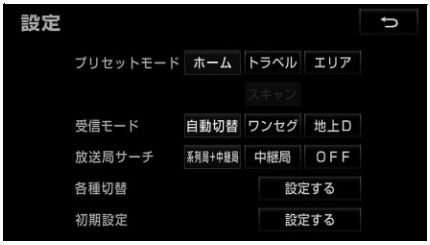
初期設定画面の表示

初期設定画面から、各種機能設定ができます。

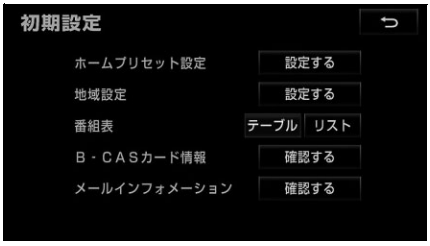
1 **設定** にタッチします。



2 初期設定の **設定する** にタッチします。



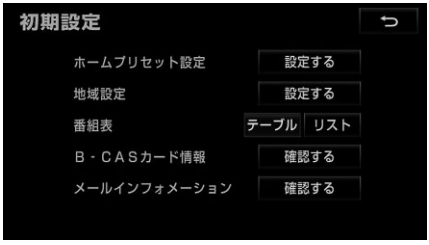
- 初期設定画面が表示されます。
- 初期設定画面から次の機能を設定することができます。
  - ホームプリセット設定（次ページ）
  - 地域設定（右記）



居住地域の設定

地上デジタルテレビ放送を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越しをされたときは、まずこの設定を行なってください。

1 初期設定画面で、地域設定の **設定する** にタッチします。



2 郵便番号７桁を入入力します。

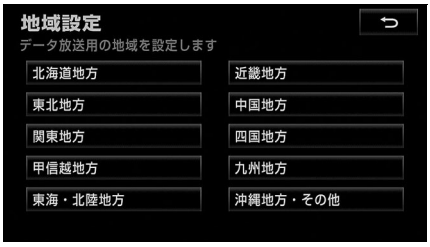
- 数字を１文字ずつタッチして入力します。
- 間違えた（または入力されている）ときは、**修正** にタッチすると１番号ずつ消去されます。
- 入力後、**次へ** にタッチします。



5. テレビの設定

3 お住まいの地方にタッチします。

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、**沖縄地方・その他** を選択してください。



4 お住まいの都道府県にタッチします。

● 選択後、**完了** にタッチします。



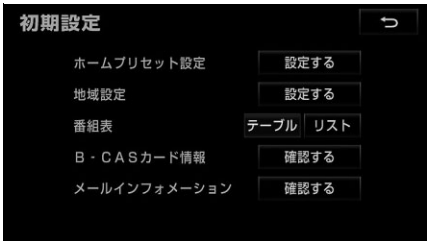
ホームプリセットの設定

居住地域の登録後、お住まいの地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。
ホームプリセットには、新たに記憶させる初期スキャンと、現状記憶されているプリセットスイッチに加えて、新たに受信できるチャンネルを追加することができる追加スキャンの2種類があります。

初期スキャンでの記憶

現在プリセットスイッチに記憶されている放送局を全て破棄して新たに放送局を記憶させます。

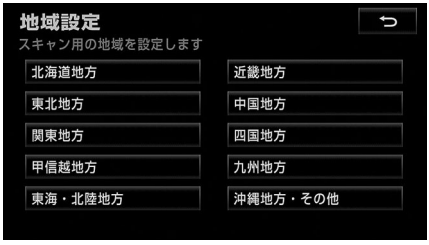
1 初期設定画面で、ホームプリセット設定の **設定する** にタッチします。



2 **初期スキャン** にタッチします。



3 お住まいの地方にタッチします。



4 お住まいの都道府県にタッチします。



5 **スキャン** にタッチします。



- ホームプリセットスキャン画面が表示されて、自動で放送局の受信が始まります。
- **キャンセル** にタッチすると放送局の受信を中止します。



- 放送局の受信完了後、 **OK** にタッチします。



- 最大36局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに割り当てて表示します。
- プリセットスイッチに表示された放送局の内容で記憶する場合は、 **完了** にタッチすると、記憶されます。
- プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの編集（549 ページ参照）が必要です。

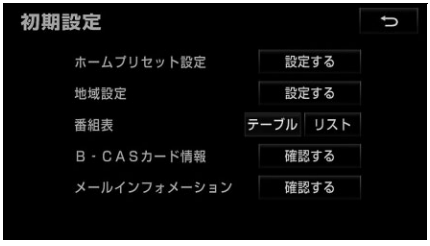


5. テレビの設定

追加スキャンでの記憶

現在プリセットスイッチに記憶されている放送局は、そのままで放送局を自動で受信します。新たに受信できる放送局を追加することができます。

1 初期設定画面で、ホームプリセット設定の **設定する** にタッチします。



2 **追加スキャン** を“ピッ”と音がするまでタッチします。



- ホームプリセットスキャン画面が表示されて、自動で放送局の受信が始まります。
- **キャンセル** にタッチすると放送局の受信を中止します。



- 放送局の受信完了後、**OK** にタッチします。



- すでにプリセットスイッチに登録されている放送局も含めて36局まで受信されます。
- プリセットスイッチに空きがある場合は、受信感度がよい放送局がプリセットスイッチに表示されます。
- プリセットスイッチに表示された放送局の内容で記憶する場合は、**完了** にタッチすると、記憶されます。
- プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの編集（次ページ参照）が必要です。



プリセットスイッチの編集

受信したプリセットスイッチの順番を入れ替えたり、プリセットスイッチに表示されていない放送局をプリセットスイッチに記憶したりすることができます。

1 放送局を変更するプリセットスイッチにタッチします。



2 ▶、◀ にタッチして放送局を選択します。

● ▶、◀ にタッチするごとに放送局が切り替わります。



3 他に変更したいプリセットスイッチがある場合は、**1**、**2** の手順を繰り返します。

4 編集後、**完了** にタッチします。

● プリセットスイッチに登録されます。

5. テレビの設定

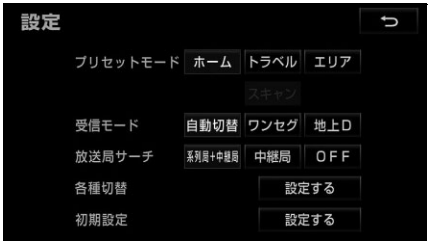
受信したメールの閲覧

放送局から受信したメールを閲覧することができます。

1 **設定** にタッチします。

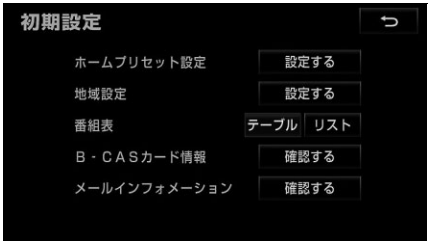


2 初期設定の **設定する** にタッチします。



3 メールインフォメーションの **確認する** にタッチします。

● メールリストが表示されます



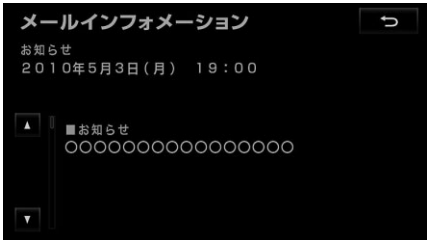
4 閲覧するメールリストにタッチします。

● リストが6個以上ある場合は、▲・▲▲、▼・▼▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲・▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
▲▲・▼▼ ：ページごとに切り替えるとき



● メールの内容が表示されます。

● メールの内容が表示しきれない場合は、▲ 、▼ にタッチすると画面をスクロールすることができます。



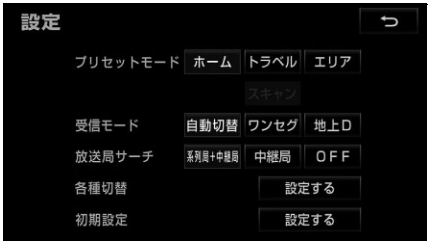
B-CASカードの動作確認

本機に差し込まれているB-CASカードの情報や動作を確認することができます。

1 **設定** にタッチします。

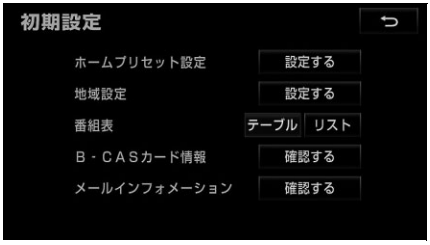


2 初期設定の **設定する** にタッチします。

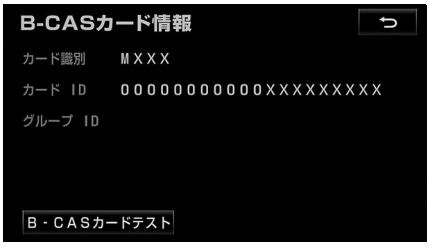


3 B-CASカード情報の **確認する** にタッチします。

● B-CASカード情報が表示されます。



● 次のような情報が表示されます。



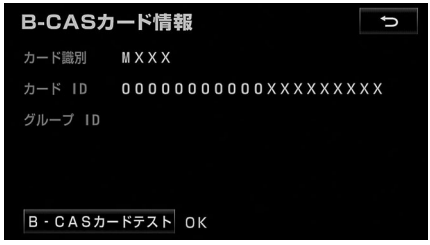
4 **B-CASカードテスト** にタッチします。

● テストが開始されます。

● テスト終了後、次のような結果が表示されます。

OK: B-CASカードは、正常です。

NG: B-CAS カードに異常がある恐れがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

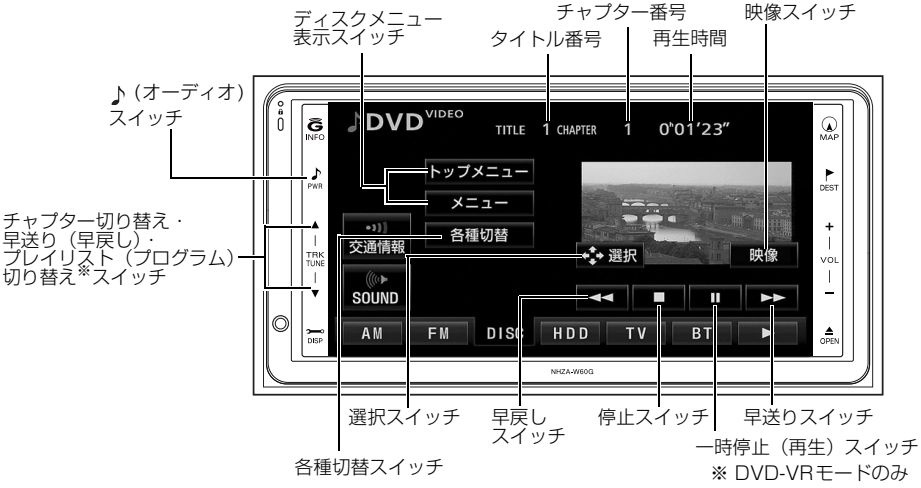


アドバイス

B-CASカードが差し込まれていなかったり、異なるカードが差し込まれていたりする場合は、カードIDは表示されません。

6. DVDの操作

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。（パーキングブレーキを解除したときは、地図画面を表示して音声のみ出力します。）



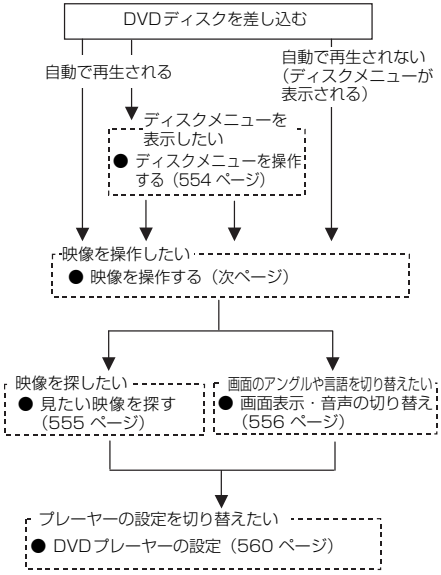
● DVD-VRモード時の操作画面



● パーキング解除時の操作画面
（パーキングブレーキを解除したときは、映像等は表示されない操作画面となります。）



映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定画面などの流れは、次のようになります。



DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、自動的に再生を始めます。また、DVDが差し込まれているときに ♪ 、DISC の順にタッチすると再生を始めます。

- 映像 、または映像にタッチすると映像画面になります。
- ♪ 、または画面にタッチするとDVD操作画面になります。

映像を操作する

映像を再生する

1 ▶ にタッチします。



早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

1 TRK TUNE▲ 、TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチする、または ▶▶ 、◀◀ にタッチします。

- TRK TUNE▲ （上側）、▶▶ ：映像を進めるとき
  TRK TUNE▼ （下側）、◀◀ ：映像を戻すとき

  早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

映像を一時止める

1 ⏸ にタッチします。

- 一時停止中（ ⏸ ）に ▶▶ にタッチすると、タッチし続けている間スロー再生します。スイッチから手を離すと、一時停止になります。

映像を止める

1 ■ にタッチします。

アドバイス

ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。**「ディスクメニューを操作する」**（次ページ参照）

6. DVD の操作

ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。
DVD-VRモードで収録されたディスクには、対応していません。

ディスクメニューを表示する

次の方法でディスクメニューを表示させることができます。(ディスクを差し込んだときに、ディスクメニューが表示されない場合など)

1 **トップメニュー** 、または **メニュー** にタッチします。



ダイレクトタッチ操作画面から操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 メニューのアイコンにタッチします。



タッチスイッチから操作する

1 **選択** にタッチします。



2 ↑ ↓ ← → にタッチし、メニューを選びます。



3 **決定** にタッチします。

アドバイス

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。また、DVD-VRモードでプログラムやプレイリストが収録されたディスクでは、これらから探すことができます。

チャプターから探す

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：
次のチャプターを選ぶとき
TRK TUNE▼ （下側）：
前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



プログラム（プレイリスト）から探す

この機能は、DVD-VRモードでプログラム（プレイリスト）が収録されたディスクのみ対応しています。ディスクにより操作できなかったり、異なった動作をする場合があります。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：
次のプログラム（プレイリスト）を選ぶとき
TRK TUNE▼ （下側）：
前のプログラム（プレイリスト）を選ぶとき

タイトル番号から探す

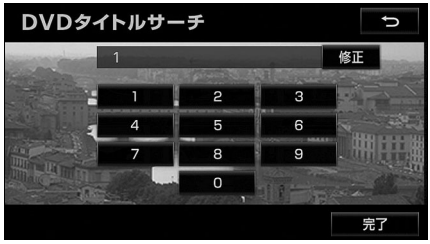
1 各種切替 にタッチします。

2 サーチ にタッチします。

● DVDタイトルサーチ画面が表示されます。



3 10キーにタッチし、タイトル番号を入力します。



4 完了 にタッチします。

アドバイス

プレイリストから探す場合には、再生モードをプレイリストに切り替えてください。（558ページ）

6. DVD の操作

画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルの切り替え

ディスクに複数のアングルが収録されているときは、映像画面右上にマルチアングルマークが表示されます。マルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えて表示することができます。

DVD-VRモードで収録されたディスクには、対応していません。



1 **各種切替** にタッチします。

2 **アングル** にタッチします。

● アングル番号が表示されます。



3 **アングル切替** にタッチします。

● アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。



アドバイス

アングル切替 にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

字幕言語の切り替え

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

● 字幕言語が表示されます。



3 **字幕切替** にタッチします。

● 字幕の表示言語が切り替わります。

● **字幕消し** にタッチすると字幕を表示せず再生することができます。



音声言語の切り替え

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

● 音声言語が表示されます。



3 **音声切替** にタッチします。

● 音声の再生言語が切り替わります。



アドバイス

- **字幕切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **字幕消し** および現在選択中の字幕の表示は DVD-VR モードで収録されたディスクには対応していません。
- **音声切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。
- 現在選択中の音声の表示は、DVD-VRモードで収録されたディスクには対応していません。

6. DVD の操作

音声モードの切り替え

音声多重で収録されているディスクの場合、主音声/副音声を切り替えることができます。

この機能は、DVD-VR モードで収録されたディスクのみ対応しています。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **MAIN/SUB** にタッチします。

● タッチするごとに次の順に切り替わります。

MAIN/SUB ⟶ MAIN ⟶ SUB



再生モードの切り替え

ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生させることができます。

この機能は、DVD-VR モードで収録されたディスクのみ対応しています。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **再生モード** にタッチします。



3 **プレイリスト** にタッチします。

● プレイリストが再生されます。

● プログラムを再生するときは、 **プログラム** にタッチします。



アドバイス

ディスク内にプレイリストがないときは、**再生モード** は表示されません。

静止画の切り替え

ディスク内に静止画が複数収録されている場合、静止画を切り替えて再生することができます。

この機能は、DVD-VRモードで収録されたディスクのみ対応しています。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **ページ送り** にタッチします。

● タッチするごとに静止画が切り替わります。



指定された位置まで戻る

ディスクのあらかじめ決められた位置に移動して、その位置から再生されます。ディスクにより操作できなかったり、異なった動作をする場合があります。

この機能は、DVD-VRモードで収録されたディスクには対応していません。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **リターン** にタッチします。



6. DVD の操作

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 各種切替 にタッチします。

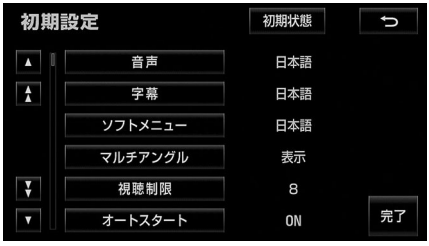
2 DVD初期設定 にタッチします。

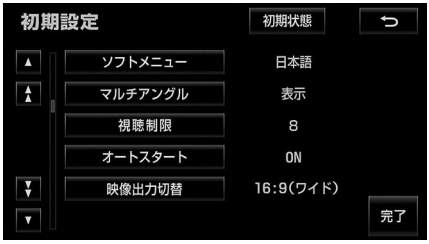
● 初期設定画面が表示されます。



3 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。

● ▲、▲▲、▼、▼▼ にタッチするとリストが切り替わります。





タッチスイッチ	機　能	ページ
音声※	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕※	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー※	表示するメニューの言語を設定します。	562
マルチアングル※	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	562
視聴制限※	再生できるDVDビデオを制限します。	563
オートスタート※	走行中に本編再生のする・しないを設定します。	564
映像出力切替	画面サイズを設定します。	565

※: DVD-VRモードで収録されたディスクには、反映されません。

アドバイス

初期設定画面で設定を変更した後、完了 にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ（ ♪ ）にタッチするとDVDの再生は停止した状態になります。
再度再生する場合はDVD操作画面で ▶ にタッチします。（553 ページ参照）

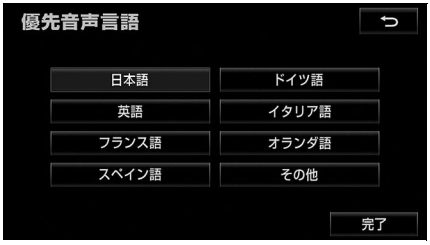
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（566 ページ）を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

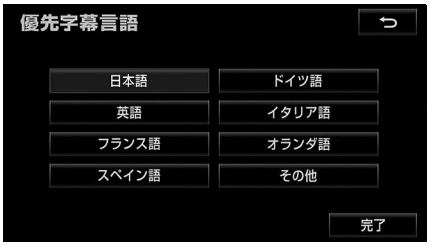
字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（566 ページ）を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

6. DVD の操作

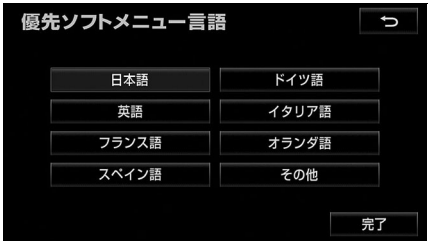
メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（566 ページ）を参照してください。



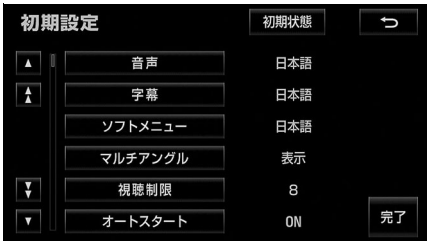
3 **完了** にタッチします。

マルチアングルマークの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

1 初期設定画面で **マルチアングル** にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

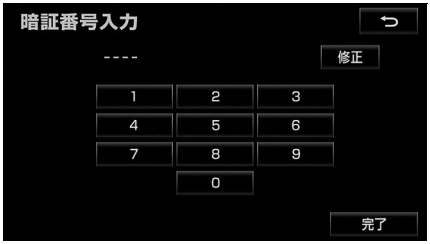
視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

- 0000～9999までの数字4桁を入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「－－－－」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**修正** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
  レベル1　……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
  レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
  レベル8　……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

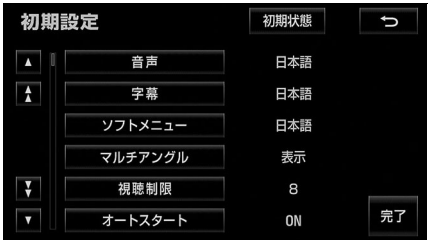
6. DVD の操作

オートスタートを切り替える

走行中はディスクメニューを操作することができません。
オートスタートをＯＮにすると、走行中にディスクメニューを自動で実行して本編を再生することができます。

1 初期設定画面で、**オートスタート** にタッチします。

● タッチするごとにON、OFFが切り替わります。



2 **完了** にタッチします。

アドバイス

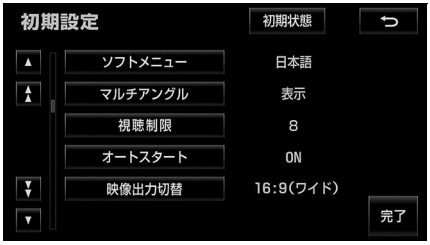
- オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中にリモコンでディスクメニューを操作するときは、オートスタートをOFFにしてください。
- オートスタートをONに設定しても次のときは、本編を再生しない場合があります。
  - ディスクの初期設定が「本編再生」や「再生」以外に設定されているとき
  - 走行開始前に、ディスクメニューで「本編再生」や「再生」以外の項目を選択したとき

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。

● タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。

16：9 ワイド → 4：3 レターボックス → 4：3 パンスキャン



2 **完了** にタッチします。

● **「16：9（ワイド）」**
通常のワイドサイズで表示されます。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

● **「4：3（レターボックス）」**
上下両端が黒く表示された映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

● **「4：3（パンスキャン）」**
左右両端がカットされた映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

アドバイス

後席モニターなどの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切り替えのサイズは、後席モニターには反映されません。

注 意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

6. DVD の操作

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブハジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ポラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

DVDビデオの特長

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、テレビの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVD ディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。





映像のアングルが切り替わります。

⚠ 注 意

本機は、ロヴィコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

6. DVD の操作

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。





ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクは再生することができません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
DVD VIDEO	12cm／片面　1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 133分 242分
DVD VIDEO	12cm／両面　1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには 2 （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

アドバイス

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ディスクに表示されているマークについて

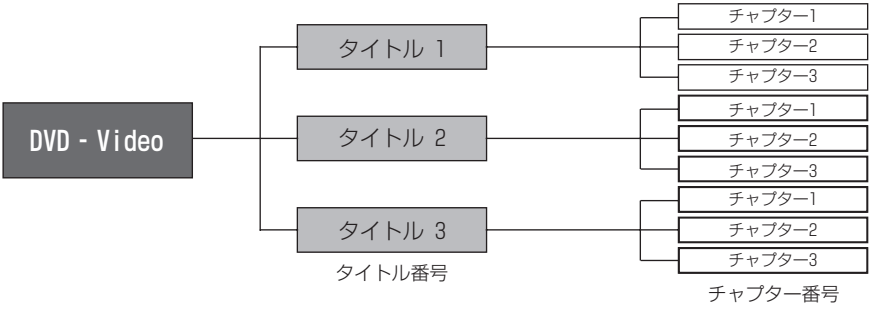
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（テレビ画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



1. 音声操作システムについて

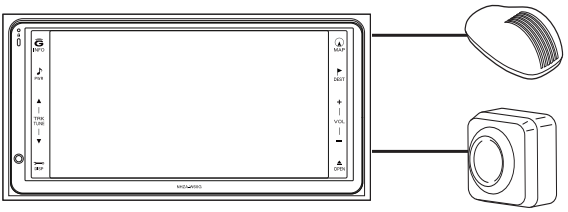
音声操作システムの構成

音声操作システム（音声入力マイク＆スイッチ）を使用することにより、音声操作コマンドを話して、オーディオの操作を行うことができます。また、走行中、操作できなかった機能を使うことも可能になります。

音声操作システムの基本操作については、**「ナビゲーション」**-**「音声操作システムの操作について」**（282 ページ）を参照してください。

音声操作コマンドについては、下記の方法で確認することができます。

● **取扱書の一覧表**……本書の**「音声操作コマンド一覧表」**（573 ページ参照）



マイク
音声入力を認識します。

音声入力スイッチ
音声操作への切り替えや、解除に使用します。

音声を正しく認識するために

音声操作システムは音声操作コマンドを正しく話さないと認識しない場合があります。
正しく認識させるため以下の点に留意してください。

- **話す前は、必ず音声入力スイッチを短く押してください。**
- **“ピッ”という音の後にお話ください。“ピッ”という音の前または同時に話した場合は正しく認識されません。**
- **大きな声でハッキリと話してください。**
- **声色によっては、認識されづらいこともあります。**
- **騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、話すときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。**
- **方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで話してください。**
- **地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで話してください。**

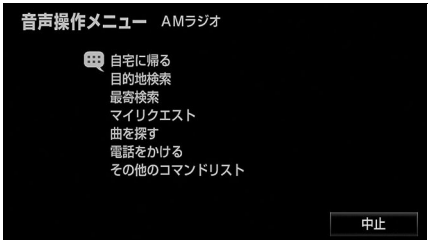
2. 音声操作システムの使用例

ここではオーディオの音声操作システムの操作例について説明します。音声操作コマンドについては、**「音声操作コマンド一覧表」**（573 ページ）を参照してください。

オーディオモードを切り替える

1 切り替えたいオーディオモードを音声入力します。（ここでは、AMラジオに切り替えます）

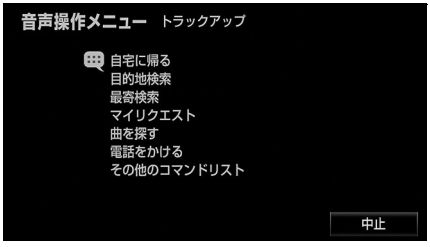
- **「AM（エーエム）ラジオ」**と話します。
- AMラジオを受信します。



再生しているトラックを変更する

1 **「トラックアップ」**と話します。

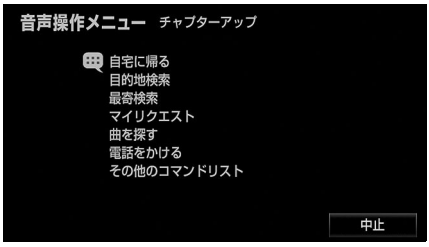
- 次の曲に切り替わります。
- **「トラックダウン」**と話すと、曲の先頭または前のトラックに再生を切り替えます。



再生しているチャプターを変更する

1 **「チャプターアップ」**と話します。

- 次のチャプターに切り替わります。
- **「チャプターダウン」**と話すと、チャプターの先頭または前のチャプターに再生を切り替えます。



アドバイス

トラックアップ（チャプターダウン）の音声入力時、トラック（チャプター）再生開始から3秒以内にトラックダウン（チャプターダウン）をもう一度音声入力すると、前のトラック（チャプター）に切り替わります。3秒以降の場合は、再生中のトラック（チャプター）の先頭に切り替わります。

2. 音声操作システムの使用例

楽曲を検索する

1 **「曲を探す」**と話します。

2 HDD オーディオに登録されているアーティスト読みとトラック読みを音声入力します。

- 検索結果が表示されます
- 曲が複数検索された場合は、再生したい曲の**「候補○（数字）」**と話すと、選択されます。
- **「曲を聴く」**と話すと、選択された曲が再生されます。



3. 音声操作コマンド一覧表

音声操作は音声入力マイク＆スイッチを使い、音声でオーディオの操作を行うことができる機能です。音声操作するときの音声操作コマンド一覧を紹介します。

オーディオモードを切り替えるコマンド

全ての画面で有効です。

音声操作コマンド	読　み	機 能
デジタルテレビ	でじたるてれび／てれび	テレビモードにする
ビデオ※	びでお	VTRモードにする
ラジオ	らじお／れでぃお	ラジオモードにする
AMラジオ	えいえむらじお	AMモードにする
FMラジオ	えふえむらじお	FMモードにする
交通情報	こーつーじょーほー	交通情報モードにする（解除する）
DISC	でぃすく	DISCモードにする
CD	しーでぃー	CDモードにする
DVD	でぃーぶいでぃー	DVDモードにする
Bluetooth	ぶるーとぅーすおーでぃお	Bluetoothオーディオモードにする
SDオーディオ	えすでぃーおーでぃお	SDオーディオモードにする
HDDオーディオ	はーどでぃすくおーでぃお	HDDオーディオモードにする
オーディオ	おーでぃお	オーディオオン／オフ
iPod※	あいぽっど	iPodモードにする
USBオーディオ※	ゆーえすびー／ゆーえすびーおーでぃお	USBオーディオモードにする
AUX	えーゆーえっくす	AUXモードにする

※ オプションの各機器接続時のみ

ラジオで使用できるコマンド

音声モードがラジオのとき有効です。

音声操作コマンド	読　み	機 能
シークアップ	しーくあっぷ	周波数の高い方向へ選局する
シークダウン	しーくだうん	周波数の低い方向へ選局する
放送局名※1	○○○（放送局名）※1	放送局を切り替える

※1　各放送局名については、**「認識できる放送局」**（576 ページ）を参照してください。

3. 音声操作コマンド一覧表

CD・MP3/WMAで使用できるコマンド

音声モードがCD・MP3/WMAのとき有効です。

音声操作コマンド	読　み	種 類	機 能
トラックアップ	とらっくあっぷ／つぎのきょく	CD	次の曲を選曲する
		MP3／WMA	次のファイルに切り替える
トラックダウン	とらっくだうん／あたまだし	CD	現在の曲を選曲する（頭出し）
		MP3／WMA	前のファイルに切り替える
前の曲	[ひとつ]まえのきょく／いっきょくまえ	CD	前の曲を選曲する
		MP3／WMA	ファイルリスト上で、再生中ファイルの１つ前の曲を再生する

DVDビデオで使用できるコマンド

音声モードがDVDビデオのとき有効です。

音声操作コマンド	読　み	機 能
チャプターアップ	ちゃぷたーあっぷ／つぎのちゃぷたー	次のチャプターに切り替える
チャプターダウン	ちゃぷたーだうん／あたまだし	現在のチャプターに切り替える（頭出し）
前のチャプター	[ひとつ]まえのちゃぷたー	前のチャプターに切り替える

SDオーディオ・USBメモリ・iPodで使用できるコマンド

音声モードがSDオーディオ・USBメモリ・iPodのとき有効です。

音声操作コマンド	読　み	機 能
トラックアップ	とらっくあっぷ／つぎのきょく	次の曲を選曲する
トラックダウン	とらっくだうん／あたまだし	現在の曲を選曲する（頭出し）
前の曲	[ひとつ] まえのきょく／いっきょくまえ	前の曲を選曲する

HDDオーディオで使用できるコマンド

音声モードがHDDオーディオのとき有効です。

音声操作コマンド	読　み	機 能
トラックアップ	とらっくあっぷ／つぎのきょく	次の曲を選曲する
トラックダウン	とらっくだうん／あたまだし	現在の曲を選曲する（頭出し）
前の曲	［ひとつ］まえのきょく／ いっきょくまえ	前の曲を選曲する
曲を探す	きょくをさがす ↓ ○○○（アーティスト名・曲名） ↓ きょくをきく	HDDオーディオの中から曲を検索する

画面表示に関するコマンド

すべての画面で有効です。

音声操作コマンド	読　み	機 能
画面消し	がめん（しょーきょ／けし）	画面を消す

3. 音声操作コマンド一覧表

認識できる放送局

音声操作コマンドによって表示できる放送局名を紹介します。

AM放送局一覧表

局名表示名称			
HBCラジオ	ラジオ日本	ABCラジオ	KBCラジオ
STVラジオ	BSNラジオ	ラジオ大阪	NBCラジオ
RABラジオ	SBCラジオ	AMKOBE	RKKラジオ
IBCラジオ	山梨放送	和歌山放送	OBSラジオ
TBCラジオ	SBSラジオ	BSSラジオ	MRTラジオ
ABSラジオ	KNBラジオ	RSKラジオ	MBCラジオ
山形放送	MROラジオ	RCCラジオ	RBCラジオ
ラジオ福島	FBCラジオ	KRYラジオ	ラジオ沖縄
TBSラジオ	CBCラジオ	四国放送	NHK第1
文化放送	東海ラジオ	RNCラジオ	NHK第2
ニッポン放送	岐阜放送	南海ラジオ	AFN
CRT栃木	KBSラジオ	RKCラジオ	
IBS茨城	毎日・MBS	RKBラジオ	

FM放送局一覧表

局名表示名称			
AIR-G'	NACK5	E-Radio	FM福岡
FMスノーウェーブ	bay-FM	α-Station	クロスFM
エフエム青森	FMヨコハマ	FM大阪	LoveFM
エフエム岩手	FM新潟	FM802	FM佐賀
DateFM	FM長野	FMCO.CO.LO	スマイルFM
エフエム秋田	FM富士	KissFM	FM中九州
FM山形	K-MIX	FM山陰	FM大分
ふくしまFM	北日本放送	FM岡山	ジョイFM
東京FM	FMとやま	広島FM	ミュー FM
J-WAVE	エフエム石川	エフエム山口	FM沖縄
InterFM	FM福井	FM徳島	NHK-FM
放送大学	FMA	FM香川	Fm Port
FM群馬	ZIP-FM	FM愛媛	RADIO-i
ラジオベリー	FM三重	FM高知	Radio 80

3. 音声操作コマンド一覧表

TV 放送局一覧表

局名表示名称			
HBCテレビ	BSN	テレビ和歌山	テレビ大分
STVテレビ	NST	BSSテレビ	大分朝日放送
HTBテレビ	TeNY	日本海テレビ	宮崎放送
UHBテレビ	NT21	山陰中央TV	テレビ宮崎
TVHテレビ	信越放送	山陽放送	南日本放送
青森放送	長野放送	OHKテレビ	鹿児島テレビ
青森テレビ	テレビ信州	TVせとうち	鹿児島放送
青森朝日放送	長野朝日放送	RCCテレビ	鹿児島読売
岩手朝日TV	山梨放送	広島テレビ	琉球放送
IBCテレビ	テレビ山梨	ホームテレビ	沖縄テレビ
テレビ岩手	SBSテレビ	テレビ新広島	琉球朝日放送
めんこいTV	テレビ静岡	山口放送	NHK総合
TBCテレビ	あさひテレビ	テレビ山口	NHK教育
仙台放送	静岡第一TV	山口朝日放送	
ミヤギテレビ	北日本テレビ	四国テレビ	
東日本放送	BBTテレビ	西日本テレビ	
秋田放送	チューリップ	瀬戸内海TV	
秋田テレビ	MROテレビ	南海テレビ	
秋田朝日放送	石川テレビ	テレビ愛媛	
YBCテレビ	テレビ金沢	あいテレビ	
YTSテレビ	北陸朝日	愛媛朝日TV	
テレビュー山形	FBCテレビ	高知放送	
SAYテレビ	福井テレビ	テレビ高知	
福島テレビ	CBCテレビ	さんさんTV	
福島中央TV	東海テレビ	RKB毎日	
福島放送	メ～テレ	九州朝日放送	
テレビュー福島	中京テレビ	テレビ西日本	
TBSテレビ	テレビ愛知	福岡放送	
日本テレビ	岐阜放送	TVQ	
テレビ朝日	三重テレビ	サガテレビ	
フジテレビ	びわ湖放送	NBCテレビ	
テレビ東京	KBS京都	テレビ長崎	
MXテレビ	毎日テレビ	長崎文化放送	

局名表示名称		
放送大学	ABCテレビ	長崎国際TV
群馬テレビ	読売テレビ	熊本放送
とちぎテレビ	関西テレビ	テレビ熊本
テレ玉	テレビ大阪	くまもと県民
チバテレビ	奈良テレビ	熊本朝日放送
TVKテレビ	サンテレビ	大分放送

アドバイス

- 電波が届かない地域での選局はできません。
- 放送局名は、正式名称と通称のどちらを発声しても認識されます。

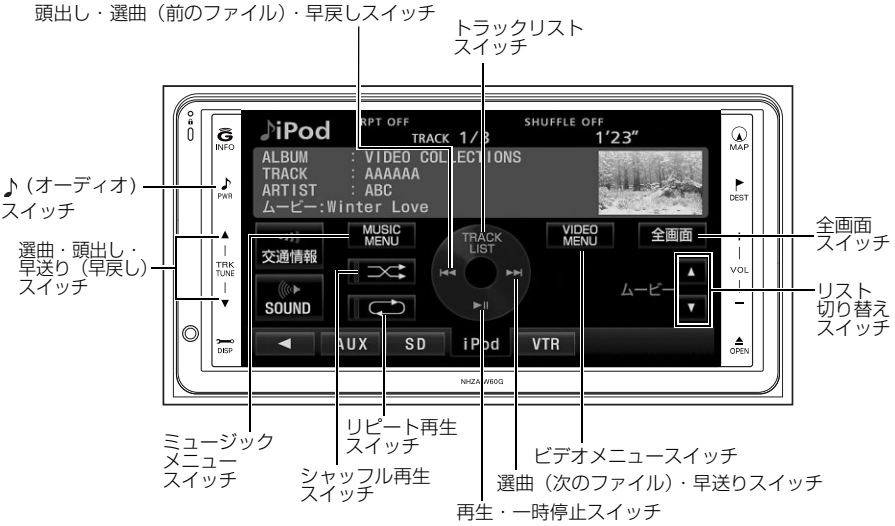
例）：FM北海道（ AIR-G' ）の場合、「FM（エフエム）北海道」・「AIR-G'（エアージー）」ともに認識されます。
北海道テレビ（HTB）の場合、「ホッカイドウテレビ」・「エイチティービーテレビ」ともに認識されます。

- 同じ名称でラジオとTVがある放送局（東京放送など）を選択するときは、確実に認識させるため、名称の異なるコマンドを発声してください。

例）：東京放送（TBS）の場合、ラジオ･･･「TBSラジオ」・TV･･･「TBSテレビ」と発声してください。

1. iPodプレーヤーの操作

オプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）でiPodを接続すると、iPodの音楽ファイルやビデオ映像を再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。iPodを接続する場合は、オプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）をお買い求めください。
走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



※ iPod本体に登録されているリスト構成によって、カテゴリファイル名は実際のビデオ映像と異なる場合があります。

● Video機能非対応のiPod接続時の操作画面

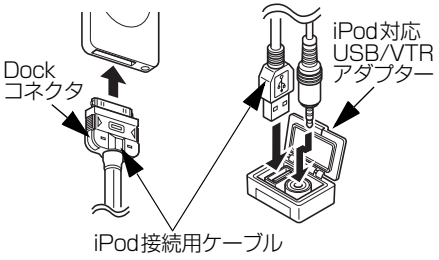


iPodを接続する

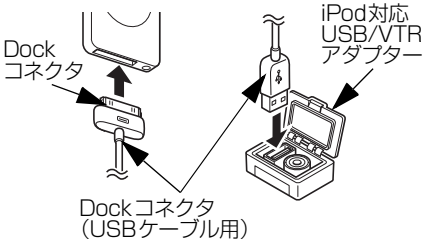
1 iPod を iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続します。

- iPod に接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- iPod　Videoを再生するときは、付属のiPod接続用ケーブルを使用します。

＜iPod接続用ケーブル使用時＞



＜Dockコネクタ（USBケーブル用）使用時＞

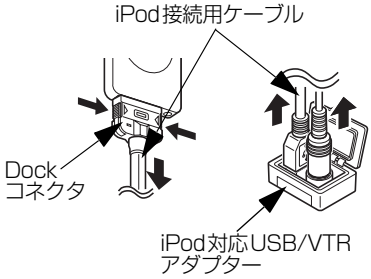


iPodを取りはずす

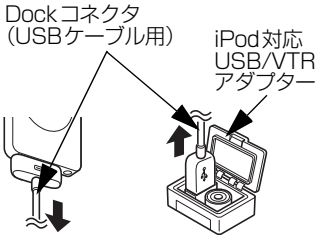
1 iPod を iPod 対応 USB/VTR アダプターから取りはずします。

- 付属の iPod 接続用ケーブルを使用しているときは、Dockコネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずします。

＜iPod接続用ケーブル使用時＞



＜Dockコネクタ（USBケーブル用）使用時＞



1. iPod プレーヤーの操作

⚠ 注 意

- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

アドバイス

- iPodの接続・取りはずしの詳細については、「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）の取扱書を参照してください。
- ご使用になるiPodが本機に対応しているバージョンであるか確認してください。対応しているバージョンについては、**「動作確認iPodについて」**（589 ページ）を参照してください。
- 本機は、iPodに付属のDockコネクタ（USBケーブル用）に対応しています。
- 付属のiPod接続用ケーブル、iPodに付属のDockコネクタ（USBケーブル用）以外のケーブルを使用しないでください。
- 本機とiPodを接続しても、自動でiPodモードに切り替わりません。
- iPodを本機に接続すると、iPodに“TOYOTA”、または“DAIHATSU”が表示されます。また、“TOYOTA”、または“DAIHATSU”が表示されている間は iPod による操作をすることができません。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリが充電されます。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod のユーザガイドを参照してください。
- iPod 未接続時は、オーディオモード切り替えスイッチの **iPod** が表示されず、iPodモードに切り替えることができません。
- 接続したiPodを本機で操作する場合、本機の操作とiPodの動作が異なることがあります。

音楽ファイルを聞く

1 iPodをiPod対応USB/VTRアダプタに接続した状態で、♪ 、iPod の順にタッチします。

- iPod で最後に再生していた音楽ファイルの再生を始めます。
- ▶II にタッチすると再生を一時停止します。▶ にタッチすると再生を再開します。

ビデオを見る

1 iPodをiPod対応USB/VTRアダプタに接続した状態で、♪ 、iPod の順にタッチします。

- iPod で最後に再生していたビデオ映像の再生を始めます。
- ▶II にタッチすると再生を一時停止します。▶ にタッチすると再生を再開します。
- 全画面 、または映像にタッチすると映像画面に切り替わります。

早送り・早戻しする

1 TRK TUNE▲ 、TRK TUNE▼ を2回“ピッ”と音がするまでタッチする、または ▶▶| 、|◀◀ にタッチします。

- TRK TUNE▲ （上側）、▶▶| ：曲を進めるとき
  TRK TUNE▼ （下側）、|◀◀ ：曲を戻すとき
  早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

1 TRK TUNE▲ 、TRK TUNE▼ または ▶▶| 、|◀◀ にタッチします。

- TRK TUNE▲ （上側）、▶▶|：次のファイルを選ぶとき
  TRK TUNE▼ （下側）、|◀◀：頭出し・前のファイルを選ぶとき

アドバイス

- iPodに収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod 保護のため、Dockコネクタを取りはずさないことをおすすめします。
- 正しく動作しない場合、iPodの接続をはずし、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にして、再度エンジンスイッチをON、またはACCにした後、iPod本体をリセットしてから再度接続してください。
- アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、半角で最大32文字、全角で最大16文字まで表示できます。
- 収録されている音楽ファイルにジャケット写真のデータが収録されている場合、ジャケット写真が表示されます。
- ジャケット写真にタッチしても全画面表示されません。
- ジャケット写真のデータによっては、表示できない場合があります。

1. iPod プレーヤーの操作

再生中のリストを表示する

1 TRACK LIST にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを収録しているリストが表示されます。
- 現在再生している音楽ファイルが一番上に表示されます。
- 音楽ファイルにタッチすると、選んだファイルが再生されます。
- 音楽ファイルが　6　個以上ある場合は、▲·▲▲、▼·▼▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
  - ▲▲·▼▼ ：ページごとに切り替えるとき



再生したい音楽ファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルやビデオファイルを探すことができます。

音楽ファイルを探す

1 MUSIC MENU にタッチします。

- MUSIC MENU画面が表示されます。

2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。

- 選択したモードのリスト画面が表示されます。
- 7個の選曲モードから検索することができます。▶ 、または ◀ にタッチすると項目が切り替わります。
- SONGS にタッチしたときは、聞きたい音楽ファイルにタッチします。



3 聞きたいリストの LIST▶ にタッチします。

- ALL の LIST▶ にタッチすると、表示されている全てのリストが選択されます。
- リストにタッチすると、該当する全ての音楽ファイルが再生されます。



4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。



アドバイス

- 各選曲モードにより、SONGS 画面（音楽ファイル）が表示されるまでの順序は表のようになります。

選曲モード	表示順序
PLAYLISTS	MUSIC MENU画面→SONGS画面
ARTISTS	MUSIC MENU画面→ALBUMS画面→SONGS画面
ALBUMS	MUSIC MENU画面 → SONGS画面
SONGS	MUSIC MENU画面で選曲
PODCASTS	MUSIC MENU画面→SONGS画面
GENRES	MUSIC MENU画面→ARTISTS画面→ALBUMS画面→SONGS画面
COMPOSERS	MUSIC MENU画面 → ALBUMS画面 → SONGS画面

- ALL は、MUSIC MENU 画面で PLAYLISTS、SONGS、PODCASTS を選択したときは、表示されません。
- リストが6個以上ある場合は、▲·▲▲、▼·▼▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
  - ▲·▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
  - ▲▲·▼▼ ：ページごとに切り替えるとき

1. iPod プレーヤーの操作

ビデオ映像ファイルを探す

1 VIDEO MENU にタッチします。

● VIDEO MENU画面が表示されます。

2 検索したいカテゴリスイッチにタッチします。

● 選択したカテゴリ内の映像ファイルを再生します。

● LIST▶ にタッチすると選択したカテゴリのリスト画面が表示されます。

● カテゴリはiPod本体に登録されているもののみ表示されます。



3 映像 にタッチします。

● 映像が表示されます。



再生したいリストを選ぶ

選択されている選曲モード、またはビデオ映像のカテゴリ内で、再生するリストを切り替えることができます。

1 リスト切り替えスイッチの ▲ 、または ▼ にタッチします。

● ▲: 次のリストを選ぶとき
▼: 前のリストを選ぶとき

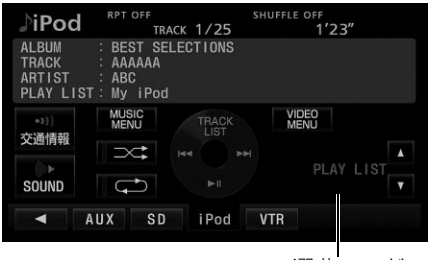
● 選択されたリストの先頭の音楽ファイルから再生されます。

● SONGSモードが選択されているときは、リストを切り替えることができません。

● 選曲モードが選択されていないとリストを切り替えることができません。選曲モードの切り替えは、**「再生したい音楽ファイルをリストから探す」**（584 ページ）を参照してください。

● ビデオ映像のカテゴリは、iPod 本体に登録されているもののみ表示されます。

選曲モード	再生されるリスト/曲
PLAYLISTS	iPod本体のPLAYLISTのリスト
ARTISTS	ARTISTSのリスト
ALBUMS	ALBUMSのリスト
SONGS	全曲
PODCASTS	PODCASTSのリスト
GENRES	GENRESのリスト
COMPOSERS	COMPOSERSのリスト



選曲モード

同じ音楽ファイルを繰り返して再生する

1 にタッチします。

- 作動表示灯が点灯します。
- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに再生する

今聞いているリストの中からランダムに聞く

1 にタッチします。

- 作動表示灯が点灯します。
- 再生中のリスト内の全ての音楽ファイルでランダム再生します。
- 一度 にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 にタッチすると解除されます。

アルバム内の音楽ファイルをランダムに聞く

アルバム内の音楽ファイルをランダムに再生することができます。ただし、アルバム内の音楽ファイルは先頭から順に再生されます。

1 を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯します。
- 一度 にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 にタッチすると解除されます。

アドバイス

- が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。
- 本機で 、または を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはリピート、またはランダム再生の設定に切り替わります。

1. iPod プレーヤーの操作

MUSIC MENU画面の選曲モードを並び替える

MUSIC MENU画面で表示される７つの選曲モードを並び替えることができます。よく使う選曲モードをMUSIC MENU画面の１ページ目に表示すると便利です。

1 MUSIC MENU にタッチします。

● MUSIC MENU画面が表示されます。



2 タブ設定 にタッチします。

● タブ設定画面が表示されます。



3 １ページ目に表示したい４つの選曲モードスイッチにタッチします。

● 選択されているスイッチにタッチすると、選択を解除します。



4 完了 にタッチします。

アドバイス

選択した４つの選曲モードおよび選択していない選曲モードは、MUSIC MENU画面の各ページに PLAYLISTS → ARTISTS → ALBUMS → SONGS → PODCASTS → GENRES → COMPOSERSの順番で表示されます。

動作確認iPodについて

下記の動作確認iPod以外を接続しないでください。下記の表は、本機との動作確認結果になりますが、iPodの状態によっては正しく動作しない場合があり、動作を保証するものではありません。

種類	世代	ソフトウェアバージョン
iPod※1	第5世代	1.3
iPod nano	第1世代	1.3.1
	第2世代	1.1.3
	第3世代	1.1.3
	第4世代	1.0.4
	第5世代	1.0.2
iPod classic	第1世代	1.1.2
	第1世代'08	2.0.1
	Late2009	2.0.4
iPod touch	第1世代	1.1.5※2
		2.2.1
		3.1.2
	第2世代	2.2.1
		3.1.2
	Late2009	3.1.2
iPhone	3G	3.1.2
	3GS	3.1.2

※1 第1世代～第4世代のiPodには対応していません。
※2 Video機能には対応していません。

1. iPod プレーヤーの操作

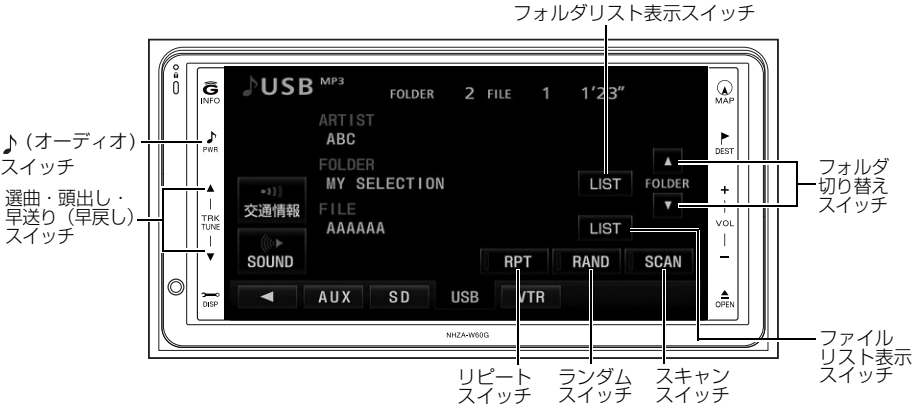
アドバイス

- iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- iPodは著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- 「Works with iPhone」とは、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは、iPodのユーザガイドをご覧ください。
- iPod のソフトウェアバージョンは、Apple 社の web サイトからバージョンアップすることができます。
- iPodの写真表示機能には対応していません。
- オーディオブック機能には対応していません。
- iPodの機種および、ソフトウェアバージョンにより正しく動作しなかったり、反応しない場合があります。

2. USBメモリの操作

オプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）でUSBメモリを接続すると、USBメモリに収録されているMP3/WMAファイルを再生することができます。USBメモリを接続する場合は、オプションの「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）をお買い求めください。

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



アドバイス

フォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、次のように表示されます。

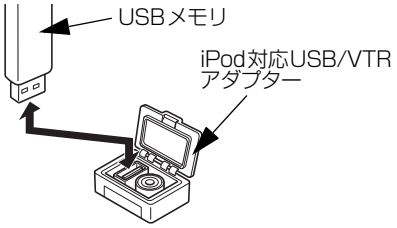
- ARTIST表示位置：アルファベット・記号の半角数字では最大30文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、最大15文字
- FOLDER・FILE表示位置：アルファベット・記号の半角文字では、最大25文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では最大12文字
- FOLDER LIST：アルファベット・記号の半角文字では、最大32文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、最大16文字
- FILE LIST：アルファベット・記号の半角文字では、最大26文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、最大13文字

2. USB メモリの操作

USBメモリを接続する・取りはずす

1 USBメモリをiPod対応USB/VTRアダプターに接続、または取りはずします。

● iPod対応USB/VTRアダプターの取り付け位置によってUSBメモリと車内部品が干渉する場合は、付属のUSBメモリ接続用ケーブルを使用して、接続します。



⚠ 注 意

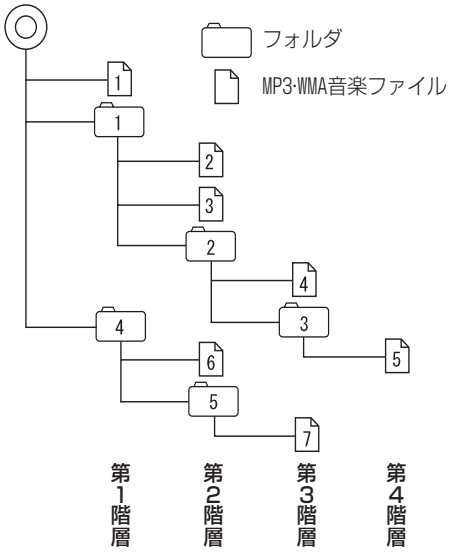
- 本機でUSBメモリを使用しているときにUSBメモリのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- USB メモリを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

アドバイス

- USBメモリの接続・取りはずしの詳細については、「iPod対応USB/VTRアダプター」（トヨタ純正）／「iPod 接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）の取扱書を参照してください。
- 本機とUSBメモリを接続しても、自動でUSBモードに切り替わりません。
- 本機にUSBメモリを接続すると、本機で表示されるリストの順番がUSBメモリと異なることがあります。
- USBメモリとiPod対応USB/VTRアダプターが正しく接続されていないと、本機に認識されない場合があります。この場合は、一度USBメモリを取りはずし、再度接続してください。
- USBメモリ未接続時は、オーディオモード切り替えスイッチの **USB** がトーンダウンして、USBモードに切り替えることができません。
- USBメモリと携帯電話の充電器以外を接続すると、ノイズなど故障の原因になる場合があります。

音楽ファイルを聞く

ここでの操作説明は次のMP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



1 USBメモリをiPod対応USB/VTRアダプタに接続した状態で ♪ 、**USB** の順にタッチします。

- 音楽ファイルの再生を始めます。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3・WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、USBメモリに収録した順に再生します。
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルは再生できません。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り·早戻しすることができます。

1 **TRK TUNE▲** 、または **TRK TUNE▼** を2回“ピッ”と音がするまでタッチします。

- **TRK TUNE▲** （上側）：曲を進めるとき
  TRK TUNE▼ （下側）：曲を戻すとき

  2回“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいフォルダを選ぶ

USBメモリの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

FOLDER切り替えスイッチから選ぶ

1 **▲** 、**▼** にタッチします。

- **▲** :次のフォルダを選ぶ
  ▼ :前のフォルダを選ぶ

FOLDER LIST画面から選ぶ

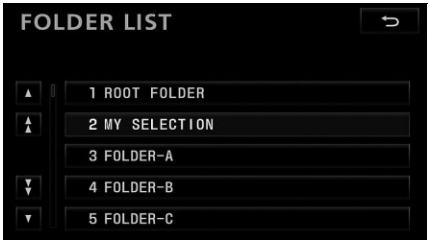
1 FOLDERの **LIST** にタッチします。

- FOLDER LIST画面が表示されます。

2. USB メモリの操作

2 聞きたいフォルダにタッチします。

● フォルダが6個以上あるときは ▲ ⏫ 、または ▼ ⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲ ▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫ ⏬ ：ページごとに切り替えるとき



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

聞きたい音楽ファイルの頭出しができます。

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 TRK TUNE▲ 、または TRK TUNE▼ にタッチします。

● TRK TUNE▲ （上側）：
次の音楽ファイルを選ぶとき
TRK TUNE▼ （下側）：
前の音楽ファイルを選ぶとき

● 聞きたい音楽ファイルがいま聞いている音楽ファイルより後ろにあるときは TRK TUNE▲ にタッチし、前にあるときは TRK TUNE▼ にタッチします。また、表示部にいま選ばれているフォルダ名、ファイル名が表示されます。

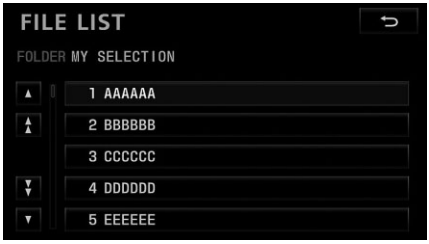
FILE LIST画面から選曲する

1 FILEの LIST にタッチします。

● FILE LIST画面が表示されます。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします

● 音楽ファイルが6個以上あるときは ▲ ⏫ 、または ▼ ⏬ にタッチするとリストを切り替えることができます。
▲ ▼ ：1項目ずつ切り替えるとき
⏫ ⏬ ：ページごとに切り替えるとき



聞きたい音楽ファイルを探す

音楽ファイルを探す

1 SCAN にタッチします。

● 作動表示灯が点灯し、画面上部に「SCAN」が表示されます。

● 現在、再生中のフォルダ内の全ての音楽ファイル、または第1階層内の全ての音楽ファイルの始めの部分を順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチすると、その音楽ファイルで再生を続けます。

フォルダを探す

1 SCAN を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「FLD.SCAN」が表示されます。
- USBメモリ内の各フォルダの最初の音楽ファイルの始めの部分を順に再生します。もう一度 SCAN にタッチすると、その音楽ファイルで再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

同じ音楽ファイルを繰り返す

1 RPT にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RPT」が表示されます。
- 現在、再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

フォルダ内の全ての音楽ファイルを繰り返す

1 RPT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「FLD.RPT」が表示されます。
- 選択中のフォルダ内の全ての音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

フォルダ内の音楽ファイルをランダムに聞く

1 RAND にタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「RAND」が表示されます。
- 現在、再生中のフォルダ内の全ての音楽ファイル、または第1階層内の全ての音楽ファイルの中から任意に音楽ファイルを選び出し再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- 音楽ファイルが終わるごとに次に再生する音楽ファイルを任意に決めています。このため、同じ音楽ファイルが数回連続で再生されることがあります。

全ての音楽ファイルをランダムに聞く

1 RAND を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 作動表示灯が点灯し、画面上部に「FLD.RAND」が表示されます。
- USBメモリ内の全ての音楽ファイルの中から任意に音楽ファイルを選び出し再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

2. USB メモリの操作

USBメモリについて

USBメモリに収録されたMP3/WMAを再生するためには、対応しているファイルとUSBメモリが必要です。

再生可能なMP3ファイルの規格について

● 対応規格　：MPEG-1 Audio レイヤⅢ
　　MPEG-2 Audio レイヤⅢ

● 対応サンプリング周波数

規格	サンプリング周波数(kHz)
MPEG-1 Audio レイヤⅢ	32、44.1、48
MPEG-2 Audio レイヤⅢ	16、22.05、24

● 対応ビットレート

規格	ビットレート(kbps)
MPEG-1 Audio レイヤⅢ	32～320
MPEG-2 Audio レイヤⅢ	8～160

※ フリーフォーマットには対応していません。
※ サンプリング周波数48kHzのときはビットレート32kbps未満には対応していません。

再生可能なWMAファイルの規格について

● 対応規格：　WMA Ver. 7、8、9
● 対応サンプリング周波数：32、44.1、48
● 対応ビットレート：　32～320
　※VBR（可変ビットレート）に対応しています。
　※可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
　※サンプリング周波数 48kHz のときはビットレート 48kbps 未満には対応していません。

IDタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
本機では、アーティスト名の情報をMP3の操作画面上に表示します。

■ID3 タグ

		MP3	
		Ver1.0、Ver1.1	Ver2.2、Ver2.3
入力できる項目	TITLE	半角30文字 全角15文字	半角32文字 全角16文字
	ARTIST		
	ALBUM		
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（S-JISコード） 日本語（S-JISコード）

使用できるUSBメモリについて

使用できるUSBメモリは次のとおりになります。

- 対応クラス：マスストレージクラス
- ファイルシステム：FAT 16、32
- 対応USB Ver.: USB 1.1
- 最大ディレクトリ階層：8階層

ファイル名について

MP3・WMAと認識し再生するファイルはMP3・WMAの拡張子”.mp3”または”.wma”が付いたものだけです。MP3ファイルには、”.mp3”の拡張子を付けて保存してください。WMAファイルには、”.wma”の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名”mp3”または”wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

MP3・WMAの演奏時間について

MP3・WMAの保存状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3・WMAファイル、フォルダのリスト表示について

MP3・WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3・WMAファイル、フォルダをUSBメモリに収録した順に表示します。

⚠ 注 意

MP3/WMA以外のファイルに”mp3”/”wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルとご認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに”mp3”/”wma”の拡張子を付けないでください。

アドバイス

- DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。
- USBメモリに保存された音楽ファイルは、最大999ファイルまで読み取ることができます。USBメモリにMP3/WMA以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMAファイルを表示できないことがあります。
- MP3/WMAファイルの保存状況により、演奏時間が一致しないことがあります（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）。
- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- USBメモリの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルのフォーマットにより、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、再生できないことがあります。

3. VTRの操作

オプションの「iPod対応USB/VRTアダプター」（トヨタ純正）／「iPod接続用ケーブル（マルチ入力用）」（ダイハツ純正）を取り付けると、市販のVTR機器との接続でビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。（パーキングブレーキを解除したときは、地図画面を表示して音声のみ出力します。）



VTRを見る

1 ♪ 、**VTR** の順にタッチします。

- VTR画面になります。
- **映像** 、または映像にタッチすると、映像画面になります。
- オプションのドライブレコーダーを接続したときは、**VTR2** にタッチすると、ドライブレコーダーに保存された映像を見ることができます。
  ドライブレコーダーの取り扱いについては、ドライブレコーダーの取扱書を参照してください。
- ♪ 、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。
- **Wide** にタッチすると、画面モードを切り替えることができます。（**「画面モードの切り替え」**445 ページ参照）

アドバイス

接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

4. 後席ディスプレイについて

本機にオプションの後席ディスプレイを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。また、後席ディスプレイに付属のリモコン操作により映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。

リモコン本体の取扱については、後席ディスプレイの取扱書を参照してください。

後席ディスプレイに表示される画面について

- 後席ディスプレイには、TV・DVD・VTR・iPod Videoの映像のみ表示します。
- TV・DVD・VTR・iPod Video以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- オーディオOFFの場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。

後席ディスプレイの操作について

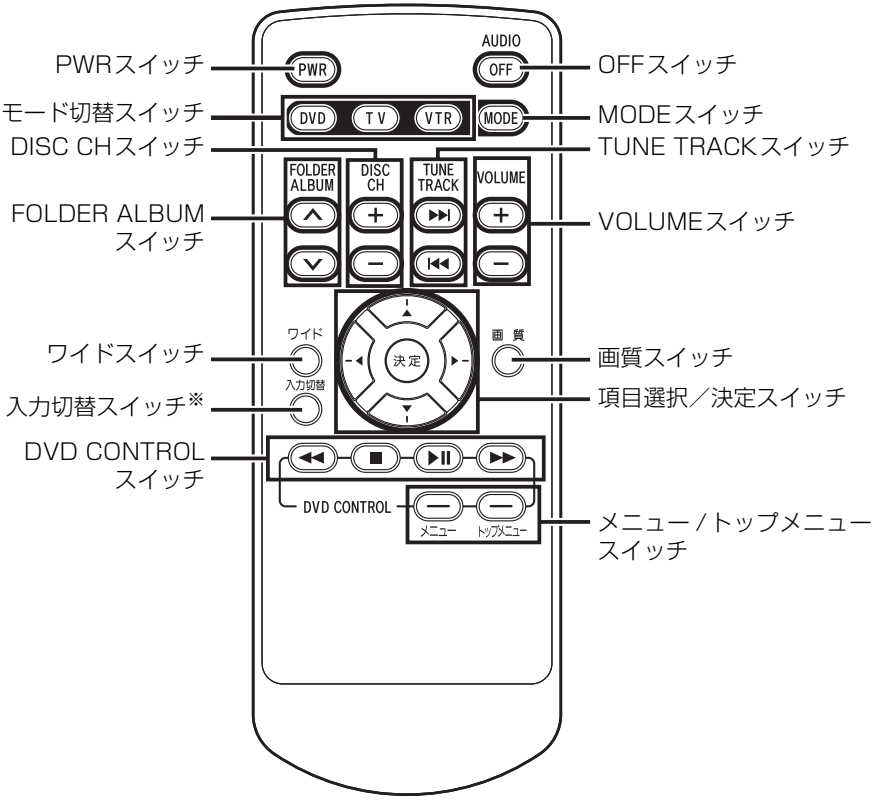
後席ディスプレイを操作するときは、リモコンを本体の受光部に向けて操作してください。詳しくは、後席ディスプレイの取扱書を参照してください。

アドバイス

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に関わりなく映像が表示されるため、走行中でもTV・DVD・VTR・iPod Videoの映像をご覧になることができます。

4. 後席ディスプレイについて

リモコンの機能名称と概要



※ 8型後席ディスプレイのみ

共通操作

- オーディオモードが、映像を伴わないモードの場合、後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。
- 映像を伴うオーディオモードに切り替えた場合、通常、走行中には音声のみになりますが、後席ディスプレイでは映像をご覧になることができます。

スイッチ	名称	機能	操作説明
(PWR)	PWR スイッチ	● 後席ディスプレイの電源のON/OFFが切り替わります。 ● 1秒以上押すと、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときの後席ディスプレイ作動を設定することができます。1秒以上押すごとに、OFF START※1とLAST START※2が切り替わります。 ※1 電源OFF ※2 エンジンスイッチを OFF (LOCK)にする直前の状態	**後席ディスプレイ取扱書**
AUDIO (OFF)	OFF スイッチ	オーディオの電源がOFFになります。	**「電源の入れ方／切り方」** 423 ページ
(MODE)	MODE スイッチ	● スイッチを押すごとにモードが切り替わります。 FM→（CD/MP3・WMA/DVD）→（HDD）→TV→BT→（AUX）→（SD）→（iPod/USB）→（VTR）→AM→FMに戻る （ ）：再生または視聴できないときは切り替わりません。 ● 2秒以上押すと、オーディオの電源がOFFになります。	**「オーディオモードの切り替え方」** 423 ページ
(DVD)	モード切替 スイッチ	モードが差し込まれているディスクのモードに切り替わります。	**「オーディオモードの切り替え方」** 423 ページ
(TV)		モードがTVに切り替わります。	
(VTR)		モードがVTRに切り替わります。	

4. 後席ディスプレイについて

スイッチ	名称	機能	操作説明
VOLUME (+)・(−)	VOLUME スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が連続して変わります。	**「主音量の調整」** 427 ページ
		後席ディスプレイの画面モードが入力2のときに、後席ディスプレイの音量が変わります。このとき、オーディオの音量は変わりません。※	**後席ディスプレイ取扱書**
ワイド (○)	ワイド スイッチ	● モードがDVD·VTRのときに、後席ディスプレイのワイドモードが切り替わります。押すごとに、ノーマル・ワイド1・ワイド2・ワイド3に切り替わります。 ● 1秒以上押すと、後席ディスプレイの背面にあるインジケータ表示を設定することができます。1秒以上押すごとに、インジケータのON/OFFが切り替わります。※	**後席ディスプレイ取扱書**
入力切替 (○) ※	入力切替 スイッチ	後席ディスプレイの画面モードを切り替えます。押すごとに入力1/入力2が切り替わります。	**後席ディスプレイ取扱書**
画質 (○)	画質 スイッチ	モードがDVD·TV·VTRのとき、または後席ディスプレイの画面モードが入力2※のときに、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わります。	**後席ディスプレイ取扱書**
(▲)・(▼)	項目選択／決定 スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で、明るさ、コントラストなどの調整項目が切り替わります。	**後席ディスプレイ取扱書**
(◀)・(▶)		後席ディスプレイの画質調整画面で、明るさ、コントラストなどを調整します。	
(決定)		● 後席ディスプレイの画質調整画面で、調整内容を決定します。 ● 後席ディスプレイのワイドモードを切り替えたとき、選択したモードを決定します。	

※ 8型後席ディスプレイのみ

ラジオ・TVの操作

● リモコンでは、放送局をプリセットスイッチに記憶させることができません。本体側で操作してください。
● 受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

スイッチ	名称	機能	操作説明
DISC CH (+)・(−)	DISC CH スイッチ	プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。	「聞きたい放送局を選局する」 449 ページ 「見たいチャンネルを選局する」 531 ページ
TUNE TRACK (∧)・(∨)	TUNE TRACK スイッチ	● 押すごとに1ステップずつ周波数、またはチャンネルが変わります。押し続けると連続して変わります。 ● 1秒以上押すと、自動選局を開始します	

CDプレーヤーの操作

● 後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE TRACK (∧)・(∨)	TUNE TRACK スイッチ	● 次曲・再生中の曲の頭（繰り返し押すと前曲）に切り替えます。 ● 1 秒以上押すと、早送り・早戻しを開始します。	「聞きたい曲を選曲する」 453 ページ 「早送り・早戻しする」 454 ページ
DVD CONTROL (◀◀)・(▶▶)	DVD CONTROL スイッチ	押し続けている間、早送り・早戻しを行います。	

MP3/WMAプレーヤー、USBメモリ

● 後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE TRACK (∧)・(∨)	TUNE TRACK スイッチ	● 次のファイル・再生中のファイルの頭（繰り返し押すと前のファイル）に切り替えます。 ● 1 秒以上押すと、早送り・早戻しを開始します。	「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」 456、594ページ 「早送り・早戻しする」 456、593ページ
FOLDER ALBUM (∧)・(∨)	FOLDER ALBUM スイッチ	次のフォルダ・前のフォルダに切り替えます。	「聞きたいフォルダを選ぶ」 456、593ページ
DVD CONTROL (◀◀)・(▶▶)	DVD CONTROL スイッチ	押し続けている間、早送り・早戻しを行います。	「早送り・早戻しする」 456、593ページ

4. 後席ディスプレイについて

DVDプレーヤーの操作

- 自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
- ディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

スイッチ	名称	機能	操作説明
メニュー（−）	メニュー/トップメニュースイッチ	DVDメニューが表示されます。	「ディスクメニューを操作する」554 ページ
トップメニュー（−）		DVDトップメニューが表示されます。	
（▲）・（▼）（◀）・（▶）	項目選択／決定スイッチ	DVDメニューやDVDトップメニューで項目の選択に使用します。	
（決定）		DVDメニューやDVDトップメニューで選択の決定に使用します。	
DVD CONTROL（▶II）	DVD CONTROLスイッチ	再生します。再生中に押すと、一時停止します。	「映像を操作する」553 ページ
DVD CONTROL（◀◀）・（▶▶）		押し続けている間、早送り・早戻しを行います。一時停止中に（▶▶）を押すと、スロー再生します。	
DVD CONTROL（■）		再生を停止します。	
TUNE TRACK（∧）・（∨）	TUNE TRACKスイッチ	● 次のチャプター・再生中のチャプターの頭（繰り返し押すと前のチャプター）に切り替えます。 ● 1 秒以上押すと、早送り・早戻しを開始します。	「見たい映像を探す」555 ページ 「早送り・早戻しする」553 ページ

HDDオーディオ・SDオーディオ・Bluetoothオーディオ・iPodプレーヤーの操作

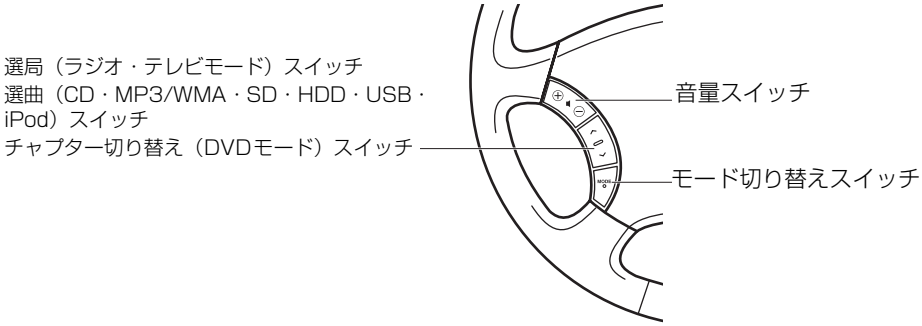
● 後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE TRACK (∧)・(∨)	TUNE TRACK スイッチ	● 次のトラック・再生中のトラックの頭（繰り返し押すと前のトラック）に切り替えます。 ● 1 秒以上押すと、早送り・早戻しを開始します。	**「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」** 468、482、583 ページ **「再生中のプレイモードの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ」** 501 ページ **「早送り・早戻しする」** 468、481、503、583 ページ
DVD CONTROL (◀◀)・(▶▶)	DVD CONTROL スイッチ	押し続けている間、早送り・早戻しを行います。	**「早送り・早戻しする」** 468、481、503、583 ページ

1. ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでオーディオ・テレビなどの主要操作が可能です。

各部の機能名称と概要



共通操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(+) ・ (−)	音量スイッチ	押すごとに1ステップづつ音量が変わります。 また、押し続けると音量が連続して変わります。	「主音量の調整」 427 ページ
(MODE)	モード切り替えスイッチ	● 電源が OFF のとき、スイッチを押すと電源がONになります。 ● モードが切り替わります。 AM → FM → DISC(CD・MP3/WMA・DVD) → HDD → TV → BT → AUX → SD → (USB/iPod) → (VTR) → AM ● スイッチを"ピッ"と音がするまで押すと、電源がOFFになります。	「オーディオモードの切り替え方」 423 ページ

ラジオ・TVの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(∧) ・ (∨)	選局スイッチ	● プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。 ● スイッチを"ピッ"と音がするまで押すと、自動選局を開始します。	**「聞きたい放送局を選局する」** 449 ページ **「見たいチャンネルを選局する」** 531 ページ

CDの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(∧) ・ (∨)	選曲スイッチ	次曲・前曲に切り替えます。	**「聞きたい曲を選曲する」** 453 ページ

MP3・WMA・Bluetooth・SD・HDDオーディオ・USBメモリ・iPodの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(∧) ・ (∨)	選曲スイッチ	● 次曲･前曲に切り替えます。 ● "ピッ"と音がするまで押すと、次のフォルダ（プレイリスト、アルバム）、前のフォルダ（プレイリスト、アルバム)に切り替えます。	**「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」** 456、468、482、583、594ページ **「聞きたいフォルダを選ぶ」** 456、593ページ **「アルバムを切り替える」** 468 ページ **「聞きたいプレイリストを選ぶ」** 482 ページ **「再生中のプレイモードの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ」** 501 ページ **「再生したいリストを選ぶ」** 586 ページ

DVDの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(∧) ・ (∨)	チャプター切り替えスイッチ	次のチャプター・前のチャプターに切り替えます。	**「見たい映像を探す」** 555 ページ

MEMO

Hands-free G-BOOK

ハンズフリー・G-BOOK

1. ご使用になる前に

ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth携帯電話（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

また、G-BOOK mX Proモデルの場合、オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約することで、携帯電話がなくても、通信モジュールを使用してハンズフリーが利用できます。

本機に接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機で動作確認済みの機種については、販売店またはhttp://toyota.jpでご確認ください。

■対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.0＋EDR以上を推奨）

■対応Profile

- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0
- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1

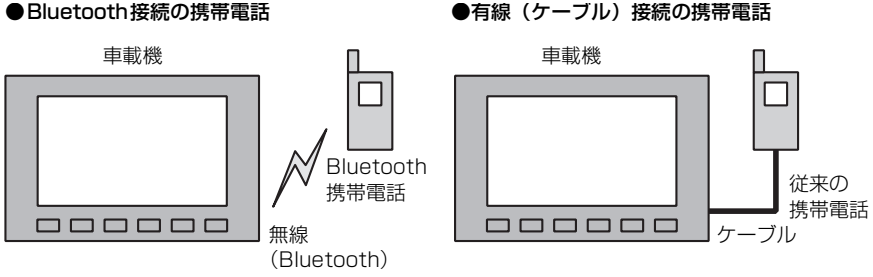
BluetoothはBluetooth SIG,Inc.
の登録商標です。

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものです。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。
従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。
例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。



※ 本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 緊急通報中のとき

また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。

- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機に接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源がOFFのとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は本機にBluetooth接続状態表示が表示されません。）
- その他、携帯電話自体が使えないとき

1. ご使用になる前に

⚠ 警 告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体のご使用はさけてください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠ 注 意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）
- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

アドバイス

- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。（設定については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。）
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
  - ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
    また、ヘルプネットを携帯電話でご利用の場合、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
  - 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

マイクについて

● 通話時に、音声入力マイクを使用します。（788 ページ参照）

ハンズフリー操作について

● 本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。また、音声入力スイッチ（788ページ参照）を使用すると音声操作で電話をかけることができ、ステアリングスイッチ装着車ではステアリング部のスイッチを操作して（793ページ参照）、電話を受ける、切る、音量を調整するなどハンズフリーの基本的な機能が使用できます。

音声について

● 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
● 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、片側または他のスピーカーから出力されることがあります。
● ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

掲載画面について

● 本書で使用している画面は、特に注記のない限り、携帯電話使用時の画面を使用しています。

アドバイス

● 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。
（故障ではありません。）
● 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはっきりとお話しください。
● 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ● 悪路走行時
  ● 高速走行時
  ● 窓を開けているとき
  ● エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  ● エアコンのファンの音が大きいとき
  ● 携帯電話をマイクに近づけたとき
● 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
● 他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

1. ご使用になる前に

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（62ページ参照）
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。
間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。
ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth電話機の登録情報
- ロックNo.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。
  - 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
  - Bluetooth携帯電話未接続時は、「未接続」を表示します。



携帯電話使用時

表示	圏外				
レベル	圏外	弱			強

通信モジュール使用時

表示	圏外 DCM	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外	弱			強

1. ご使用になる前に

電池残量表示

携帯電話使用時

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本機には携帯電話の充電機能はありません。



表示				
残量	無	少	◄――►	多

Bluetooth接続状態表示

携帯電話使用時

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。



● **青色表示** BT
Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

● **黄色表示** BT
この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。

● **灰色表示** BT
本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。

アドバイス

- Bluetooth通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
  次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。この場合、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
  - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    （携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

2. ハンズフリーの準備

ハンズフリーを使用する際には、使用する通信機器の設定をします。本機は携帯電話を接続して使用しますが、G-BOOK mX Proモデルで自動車専用ハンズフリー電話をオプション契約した場合は、携帯電話がなくても通信モジュールを使用してハンズフリーが利用できます。

携帯電話を使用する場合.....下記
通信モジュールを使用する場合.....623ページ

携帯電話の登録

携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

1 にタッチします。

2 **電話** にタッチします。



3 **Bluetooth設定** にタッチします。



4 Bluetooth電話設定の **登録** にタッチします。

- 複数の携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。



5 Bluetooth接続画面が表示されたら、携帯電話からBluetooth登録します。

- 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、**中止** にタッチします。



6 携帯電話本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力します。

7 接続完了のメッセージが表示されます。

● 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。



■G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、使用する携帯電話の設定を行ってください。（760ページ参照）

■接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（642ページ参照）
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFPに対応していない携帯電話は、本機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPPのみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオの音声が途切れることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

2. ハンズフリーの準備

携帯電話の接続

Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。
なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

自動電話機接続が **する** に設定されている場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

自動電話機接続を設定する

1 にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

3 **電話詳細設定** にタッチします。



4 自動電話機接続の **する** 、または **しない** にタッチします。

- 通常は **する** を選択した状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。（設定については、携帯電話の取扱書をご覧ください。）
- ハンズフリーを使用する場合、他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）を使用しているときは、次のようになります。
  - 携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
  - ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetoothオーディオ再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetoothオーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetoothオーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。（次ページ参照）

■Bluetooth接続確認案内

電話詳細設定画面のACC ON時のBluetooth接続確認案内（646ページ参照）で **する** を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。
ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth接続確認案内



● Bluetooth接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（617ページ参照）

■自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約15秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。

60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（右記参照）

携帯電話を手動で接続・切断する

自動接続に失敗したときや自動電話機接続を **しない** に設定しているときに、手動でBluetooth接続することができます。また、Bluetooth接続中に、手動で切断することができます。

1 **G・INFO** にタッチします。

● 情報以外が選択されているときは **情報** にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

アドバイス

● 携帯電話の接続状況により、携帯電話が車内にある場合でも「携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示されることがあります。
● 携帯電話を手動で接続するときは、Bluetooth接続可能な状態にしてください。
● 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。
接続失敗の表示がされてもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
● 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

2. ハンズフリーの準備

3 ハンズフリー にタッチします。

- タッチするごとに接続･切断を繰り返します。
- 接続中は作動表示灯が点灯します。



●ダイヤル画面



●ワンタッチダイヤル画面

Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

■Bluetooth接続が意図的に切断された場合

手動でBluetooth接続を切断したときや携帯電話側からBluetooth接続をOFFにしたときなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動で接続する.....前ページ
- 改めて携帯電話を選択する
.....638ページ

アドバイス

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(前ページ参照)

通信モジュールを選択する

通信モジュール使用時

G-BOOK mX Proモデルで自動車専用ハンズフリー電話をオプション契約した場合は、通信モジュールを使用してハンズフリーを利用することができます。

通信モジュールでのハンズフリーと携帯電話のハンズフリー両方をご利用の場合、電話機選択で選択された機器が接続されます。

1 にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

3 **電話機選択** にタッチします。

4 **通信モジュール** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

● 携帯電話を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

3. 電話のかけ方

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

ダイヤル画面を表示する

1 G・INFO にタッチします。

● 情報以外が選択されているときは **情報** にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

● ダイヤル画面が表示されます。
走行中に操作した場合は、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

● 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、携帯電話を登録することができます。（618ページ参照）



●ダイヤル画面

この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

● **ダイヤル発信**.....626ページ
電話番号を入力して電話をかける

● **電話帳発信**.....627ページ
本機の電話帳から電話をかける

● **履歴発信**.....628ページ
発信履歴または着信履歴から電話をかける

● **ワンタッチ発信**.....629ページ
ワンタッチダイヤルから電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

● **音声認識発信**.....788ページ
音声認識で電話をかける

● **ナビからの発信**.....630ページ
ナビまたはG-BOOKのデータから電話をかける

● **携帯電話本体からの発信**.....630ページ
携帯電話本体から電話をかける

アドバイス

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
  - Bluetooth携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（618ページ参照）
  - 携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。
    携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。
  - Bluetooth接続状態表示が灰色の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
  - 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
  - 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。
- **ハンズフリー** の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- ハンズフリーで使用する携帯電話でデータ通信中に電話をかけようとした場合は、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、**はい** にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**いいえ** にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

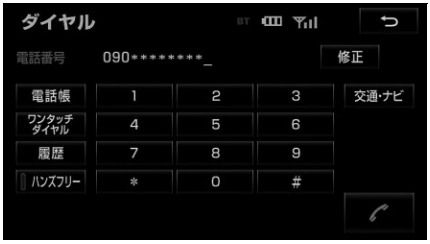
3. 電話のかけ方

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。
ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

1 ダイヤル画面で、1桁ずつタッチして電話番号を入力します。

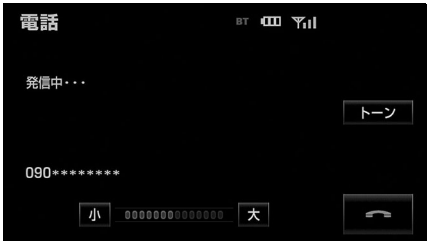
● **修正** にタッチすると、最後の1桁が消去できます。
タッチし続けると、最後から1桁ずつ順に消去できます。



2 にタッチします。

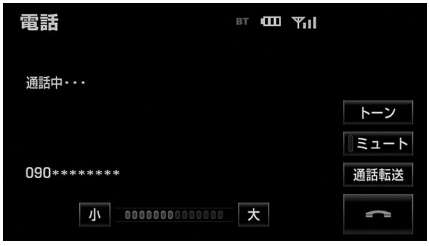
3 発信できると、発信中画面が表示されます。

● 発信音が鳴った後、呼出音が鳴ります。



4 相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。

● この画面で通話ができます。



アドバイス

● 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  ● 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
  ● 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  ● 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、**「10キー入力する」**（634 ページ参照）をご覧ください。
● ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

電話帳発信する

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより（647ページ参照）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面で、**電話帳** にタッチします。

● 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、電話帳編集画面（647ページ参照）が表示されます。

2 必要に応じて、**電話帳選択** にタッチして、電話帳を切り替えます。

● ショートカットスイッチは、**その他** にタッチすると英数字ショートカット、**50音** にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。

● 英数字ショートカットを表示しているときは、任意のアルファベットが選択できます。

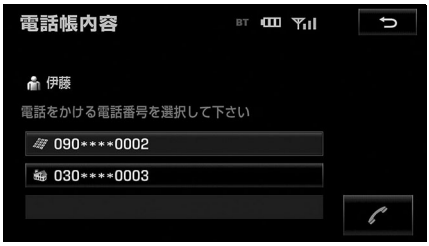
（例）**ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

0-9 に2回タッチすると、1で始まるデータのリストが先頭に表示されます。



3 希望の通話相手にタッチします。

4 電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号にタッチします。



5 にタッチします。

アドバイス

音声認識の設定をしてあるデータは、名称の前に音声認識マークが表示されます。

3. 電話のかけ方

履歴発信する

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。
履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面で **履歴** にタッチします。



2 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチして、履歴の表示を切り替えます。



●発信履歴画面



●着信履歴画面

アドバイス

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
  - 相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に「通知不可」と表示されます。
- 携帯電話から位置情報を転送して表示した地図（**「ナビゲーション」** - **「携帯電話で地図を呼び出す」**144 ページ参照）で、「情報」にタッチして発信した場合、発信履歴に登録されなかったり、違う名称で登録されたりすることがあります。
- 履歴を削除したいときは、**「履歴を削除する」**（657 ページ参照）をご覧ください。

3 希望の通話相手にタッチします。

4 にタッチします。



ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（655ページ参照）、簡単な操作で電話をかけることができます。
また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

1 ダイヤル画面で、**ワンタッチダイヤル** にタッチします。

2 希望の電話番号にタッチすると、発信されます。

● ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1** 、**ワンタッチ2** 、**ワンタッチ3** のいずれかにタッチします。



■走行中に電話をかける場合

走行中にダイヤル画面を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

アドバイス

走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

3. 電話のかけ方

ナビから発信する

ナビ画面で 📞 または **電話をかける** が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 📞 または **電話をかける** が表示されている画面を表示します。

2 📞 または **電話をかける** にタッチします。



■ダイヤル画面の 交通・ナビ の使い方

ダイヤル画面で **交通・ナビ** にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、電話をかけることができます。(271ページ参照)



携帯電話本体から発信する

携帯電話使用時

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

■ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、次のいずれかの操作をすると、ハンズフリー画面が表示されます。

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- 情報・G・BTナビ画面（情報）で **電話** にタッチする。
- ステアリングスイッチのオフフックスイッチで調整する。（ステアリングスイッチ装着車の場合）

この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチはトーンダウンし、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。（634ページ参照）

発信を中断する

発信中画面で 📞 にタッチすると、発信を中断できます。

- 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。（携帯電話接続時）
- 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

⚠ 警 告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

アドバイス

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  - 携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
  - 単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
  携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書でご確認ください。

4. 電話の受け方

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。（635ページ参照）

電話を受ける

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。



2 にタッチします。

- 通話中画面が表示されます。
- 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
  携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書でご確認ください。
  - ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
  - 着信音については、
    ①車両のスピーカーから聞こえる
    ②携帯電話から聞こえる
    ③両方から聞こえる
    など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が鳴らないときは、本機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
  - 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
  - 電話詳細設定画面で自動着信応答を **する** に設定しておくと、自動で電話を受けることができます。（646ページ参照）
  - Bluetoothオーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

4. 電話の受け方

着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、 にタッチします。

- 応答が保留されます。
- 応答保留中、 **小** または **大** にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、 にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。



2 にタッチします。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。



■通話を転送する

携帯電話使用時

Bluetooth携帯電話では、**通話転送** にタッチすると、応答保留中でも通話を転送することができます。（634ページ参照）

着信音量を調整する

着信中、次のいずれかの方法で調整します。

- 着信中画面で、**小** または **大** にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。（ステアリングスイッチ装着車の場合）

着信拒否する

着信中画面で、 にタッチし続けると、着信拒否できます。

ただし、携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

5. 通話中の操作

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（635ページ参照）

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送



●通話中画面

受話音量を調整する

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- 通話中画面で、小 または 大 にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。（ステアリングスイッチ装着車の場合）

通話を終了する

通話中画面で にタッチすると、通話を終了します。携帯電話使用時は、携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

- 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACCまたはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。（次ページ参照）

5. 通話中の操作

10キー入力する

通話中画面で、**トーン** にタッチすると、トーン入力画面が表示され、10キー入力できるようになります。



●トーン入力画面

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

通話中画面で **ミュート** にタッチします。

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュートを解除したいときは、再度 **ミュート** にタッチします。



通話を転送する

携帯電話使用時

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■画面で操作する

通話中画面または応答保留中画面で、**通話転送** にタッチします。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ（793ページ参照）での操作ができます。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書でご確認ください。

アドバイス

- 携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できない場合があります。
- 画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声が聞こえなくなることがあります。

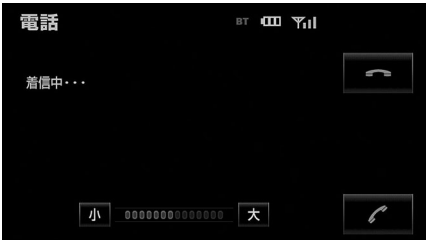
6. 簡易画面での操作

簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。
画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。
電話が切れる、または電話を切ると、表示は解除されます。

■簡易画面

電話詳細設定の着信割り込み表示（645ページ参照）で **簡易** を選択しているときに表示されます。



アドバイス

携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

7. ハンズフリーの設定

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

設定・編集画面（電話）を表示する

1 にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

● 設定・編集画面（電話）が表示されます。



●設定・編集画面（電話）

タッチスイッチ	機　能	ページ
音量設定	ハンズフリーの各音量の設定	次ページ
電話機選択	使用する通信機器の選択	638
	電話機詳細情報の表示・変更	639
電話帳編集	電話帳の転送・登録・編集・削除	647
	ワンタッチダイヤルの登録・削除	655
Bluetooth設定	使用する携帯電話の登録	618
	携帯電話の登録削除	644
	Bluetooth設定の変更	642
電話詳細設定	セキュリティの設定	658
	自動着信応答の設定	646
	ACC ON時　接続確認案内の設定	646
	着信割り込み表示の設定	645
	自動電話機接続の設定	620

音量の設定をする

1 設定・編集画面（電話）で **音量設定** にタッチします。



2 音量設定画面で各設定をします。



作動表示灯

- **音量調整** .....右記
- **高速時の自動音量切替** .....右記

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

音量の設定をする

音量設定画面で、各音量の **小** 、または **大** にタッチして調整します。

受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。

着信音量：着信音の音量が調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

音量設定画面で、**高速時の自動音量切替** にタッチするたびに、ON（自動で上がる）とOFF（上がらない）が切り替わります。

- ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。
- 高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。）
- **初期状態** にタッチすると、音量設定の項目が初期設定の状態にもどります。

7. ハンズフリーの設定

使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときや通信モジュールを使用するときは、必要に応じて通信機器を選択する必要があります。
携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

1 設定･編集画面（電話）で **電話機選択** にタッチします。



2 携帯電話を使用するときは、携帯電話をBluetooth接続可能状態にしておきます。

3 使用する携帯電話または通信モジュールを選択しタッチします。



Bluetoothマーク

4 **完了** にタッチします。

- 通信モジュールを選択した場合は、これで使用できます。
- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。

5 接続完了のメッセージが表示されます。



アドバイス

- Bluetooth接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。
- 携帯電話の登録については、**「携帯電話の登録」**618 ページを参照してください。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、電話機選択はできません。
- Bluetoothオーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。

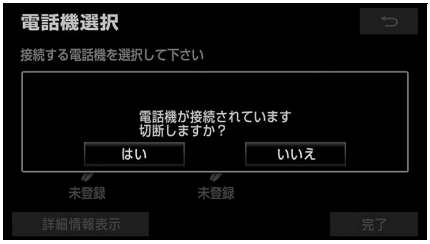
■G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の利用方式が変更になる場合は、携帯電話の選択後、使用する携帯電話の設定を行ってください。（760ページ参照）

■データ通信中の場合は

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。通信を終了するときは **はい** 、終了しないときは **いいえ** にタッチします。

- **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **3** からやり直します。



電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話または通信モジュールに関する情報の表示と設定をすることができます。
情報は、次の項目が表示されます。

- **機器名称**
  本機に表示される携帯電話または通信モジュールの名称です。携帯電話の場合は、任意の名称に変更することができます。
- **機器アドレス**
  機器固有のアドレスで、変更することはできません。通信モジュールの場合は、表示されません。
- **自局電話番号**
  携帯電話または通信モジュールの電話番号です。

1 電話機選択画面で、詳細情報を表示したい携帯電話または通信モジュールを選択しタッチします。



7. ハンズフリーの設定

2 **詳細情報表示** にタッチします。

● 電話機詳細情報画面が表示されます。





●電話機詳細設定画面

携帯電話の名称を変更する

携帯電話使用時

本機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

なお、本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

1 電話機詳細情報画面で **変更** にタッチします。



2 機器名称をソフトウェアキーボードで入力します。



自動で着信拒否する

通信モジュール使用時

電話機選択で通信モジュールを選択している場合は、自動着信拒否の設定をすることができます。自動着信拒否を設定すると、通信モジュールの電話番号に電話がかかってきたとき、自動で着信拒否します。ただし、ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

通信モジュールを使用してハンズフリーを利用しているとき、電話に出たくない場合に使用します。

1 にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

3 **電話機選択** にタッチします。

4 **通信モジュール** にタッチします。



5 **詳細情報表示** にタッチします。



6 自動着信拒否の **する** にタッチします。

● 設定を解除するときは **しない** にタッチします。



7 **完了** にタッチします。

7. ハンズフリーの設定

Bluetooth設定を変更する

Bluetooth設定は、本機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

- **機器名称**
  Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
- **パスキー**
  携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
- **機器アドレス**
  本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

1 設定・編集画面（電話）で **Bluetooth設定** にタッチします。



2 Bluetooth設定画面が表示されます。機器名称やパスキーを変更する場合は、この画面でそれぞれの **変更** にタッチします。



3 機器名称はソフトウェアキーボードで入力します。

- 半角で最大20文字まで入力できます。
- 文字を修正するときは、**修正** にタッチします。



アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、Bluetooth設定の項目が初期設定の状態にもどります。
- 機器名称を変更した場合、Bluetoothオーディオ設定の機器名称（471 ページ参照）も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

4 パスキーはパスキー変更画面で入力します。4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチします。

● 数字を修正するときは、**修正** にタッチします。



5 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



7. ハンズフリーの設定

Bluetooth電話機の登録を削除する

1 Bluetooth設定画面で、Bluetooth電話設定の **削除** にタッチします。



2 削除する携帯電話にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。



■データ通信中の場合は

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。通信を終了するときは **はい** 、終了しないときは **いいえ** にタッチします。

いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **2** からやり直します。

アドバイス

緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

電話詳細設定をする

1 設定・編集画面（電話）で **電話詳細設定** にタッチします。



2 電話詳細設定画面で各設定をします。

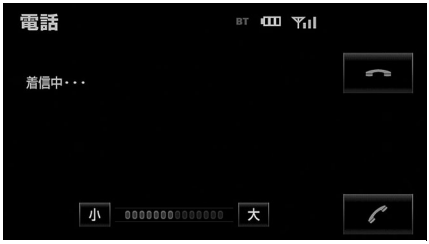


- **セキュリティの設定**.....658ページ
- **自動着信応答**.....次ページ
- **ACC ONBluetooth接続確認案内**.....次ページ
- **着信割り込み表示**.....右記
- **自動電話機接続の設定**.....620ページ

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。



●簡易表示

電話詳細設定画面で、着信割り込み表示の **全画面** 、または **簡易** にタッチします。

全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ（ステアリングスイッチ装着車の場合）で操作することができます。

簡易：着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ（ステアリングスイッチ装着車の場合）で操作することができます。

アドバイス

着信割り込み表示の設定が **簡易** の場合でも、携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

7. ハンズフリーの設定

自動着信応答

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

1 電話詳細設定画面で、自動着信応答の **する** にタッチします。

2 **－** 、または **＋** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定します。

● 設定を解除するときは **しない** にタッチします。



ACC ON時のBluetooth接続確認案内

携帯電話使用時

エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにして、携帯電話と自動的にBluetooth接続したときに、接続確認の案内を画面に表示するかしないかを選択できます。



●Bluetooth接続確認案内

電話詳細設定画面で、ACC ON時のBluetooth接続確認案内の **する** 、または **しない** にタッチします。

■自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約15秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。

60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(621ページ参照)

アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、電話詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。
- 携帯電話の機種により、Bluetooth接続確認案内が表示されない場合があります。
- 携帯電話の接続状況により、携帯電話が車内にある場合でも「携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示されることがあります。

8. 電話帳の編集

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

● **携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する**.....次ページ
● **本機の電話帳に新規登録する**.....650ページ
● **発信履歴または着信履歴から登録する**.....650ページ

また、登録したデータは、本機で編集することができます。

この電話帳は1名につき最大3件の電話番号を登録でき、最大1000名分のデータを登録できます。

また、各データは電話帳でまとめることができ、最大5つの電話帳を使用できます。

電話帳編集画面を表示する

設定・編集画面（電話）で **電話帳編集** にタッチすると、電話帳編集画面が表示されます。



●**電話帳編集画面**

電話帳編集画面から、以下の操作を行うことができます。

● **電話帳データの転送**.....次ページ
● **新規データの追加**.....650ページ
● **電話帳データの修正**.....653ページ
● **電話帳データの削除**.....654ページ
● **ワンタッチダイヤルの登録**.....655ページ
● **ワンタッチダイヤルの削除**.....656ページ

アドバイス

低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

8. 電話帳の編集

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話使用時

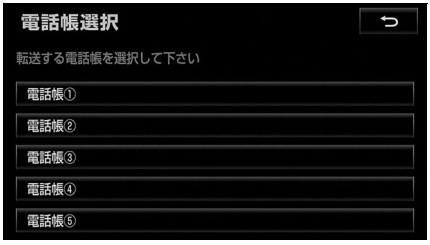
携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大3件の電話番号を登録でき、最大1000名分のデータを登録できます。転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

この機能は、OPPに対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱書を合わせてご覧ください。

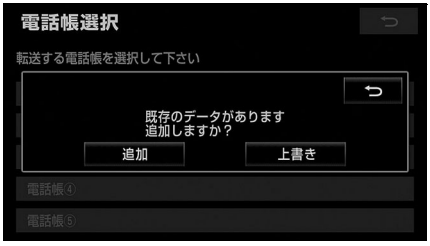
1 電話帳編集画面で、**電話帳転送** にタッチします。

2 電話帳データを転送したい電話帳を選択しタッチします。



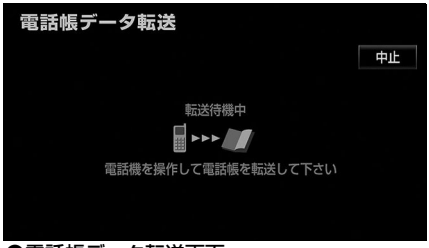
3 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。

既存のデータに上書きするときは **上書き** 、既存のデータに追加するときは **追加** にタッチします。



4 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

- 携帯電話側の転送操作は、必ず下の画面を表示させた状態で行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
- 転送を中止したいときは、**中止** にタッチします。
- 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどります。
- 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



●電話帳データ転送画面

アドバイス

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - 携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合､本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません｡(携帯電話の仕様により可能な場合もあります｡)
  - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - 転送には10分程度かかる場合があります。
  - 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  - 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - 電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
  - 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
  - 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetoothオーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

8. 電話帳の編集

電話帳に新規データを追加する

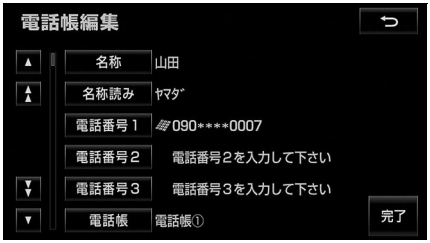
本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。
電話帳には、1名のデータにつき、次の項目を登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大3件）、電話番号アイコン（各電話番号に1つずつ）、電話帳、音声認識、認識読み

1 電話帳編集画面で **新規追加** にタッチします。



2 電話帳編集画面（詳細）で、各項目のスイッチにタッチして編集します。
（次ページ参照）



●電話帳編集画面（詳細）（1ページ目）



●電話帳編集画面（詳細）（2ページ目）

3 編集が終わったら、**完了** にタッチします。

次の画面からも、電話帳編集画面を呼び出して、電話帳を編集することができます。

■履歴内容画面

履歴内容画面（629ページ参照）で、**新規登録** にタッチします。

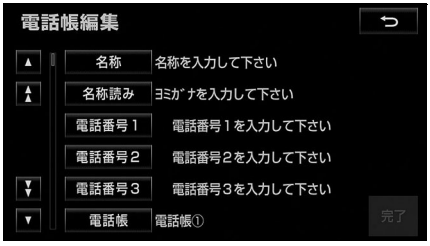


名称、名称読み、認識読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。
認識読みは、音声認識発信をしたいときは必須入力項目です。なお、名称読みが入力されていないと、音声認識の対象にすることはできません。

1 電話帳編集画面（詳細）で、編集する項目のスイッチ（ **名称** 、 **名称読み** 、 **認識読み** ）にタッチします。

● 認識読みは、音声認識の設定（次ページ参照）がされているときのみ編集することができます。



2 ソフトウェアキーボードで入力します。



名称　：全角で最大12文字、半角で最大24文字まで

名称読み：半角で最大24文字まで

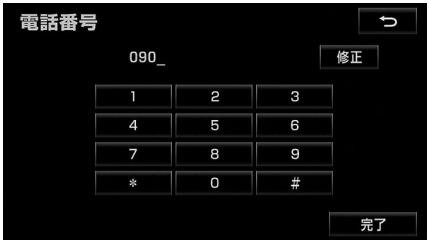
認識読み：半角で最大24文字まで

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号1、2、3にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 電話帳編集画面（詳細）で、 **電話番号1** 、 **電話番号2** 、または **電話番号3** にタッチします。

2 電話番号画面で電話番号を入力し、 **完了** にタッチします。



3 アイコン選択画面で、アイコンを選択しタッチします。



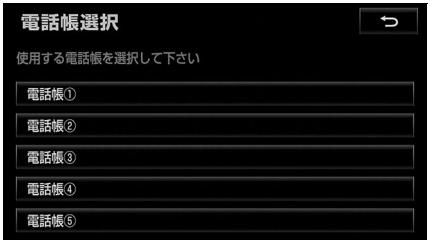
8. 電話帳の編集

電話帳の選択をする

電話帳を設定しておくと、電話帳選択画面で電話帳単位で表示できるので、通話相手を素早く検索することができます。
電話帳は、**電話帳①** ～ **電話帳⑤** の5つの中から選択できます。

1 電話帳編集画面（詳細）で **電話帳** にタッチします。

2 電話帳選択画面で、電話帳を選択しタッチします。



音声認識の設定をする

各データに対して、音声認識の対象にするかしないかを設定できます。
音声認識の対象に設定すると、各データの認識読みにより音声認識発信（788ページ参照）ができます。
音声認識の対象にできるのは、最大500件です。

1 電話帳編集画面（詳細）で **音声認識** にタッチします。

2 音声認識選択画面で、**電話番号①** 、**電話番号②** 、または **電話番号③** にタッチして、音声認識の対象にする電話番号を選択します。

● 音声認識の対象からはずすときは、**音声認識しない** にタッチします。



3 音声認識読み確認画面で、音声認識で使用する読みを確認します。

● 読みを修正したいときは、**認識読み修正** にタッチして修正します。



4 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 電話帳の名称読みが登録されていないと、音声認識の対象に設定することができません。音声認識発信で利用したい場合は、電話帳の名称読みを必ず登録しておいてください。
- 音声認識の対象に設定した電話番号を削除する、または電話帳の名称読みを削除すると、そのデータは音声認識の対象でなくなります。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

1 電話帳編集画面で、電話帳の **修正** にタッチします。

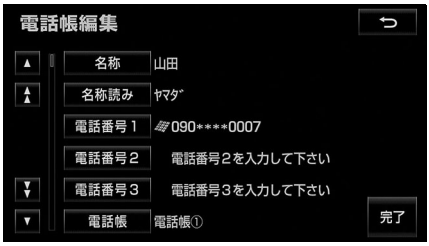


2 修正したいデータにタッチします。

● **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



3 各項目のスイッチにタッチして編集します。



4 編集が終わったら、 **完了** にタッチします。

8. 電話帳の編集

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

電話帳のデータを個別に削除する

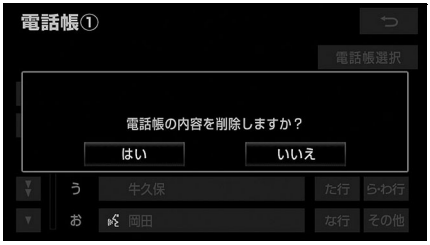
1 電話帳編集画面で、電話帳の **削除** にタッチします。

2 削除したいデータにタッチします。

● **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



3 **はい** にタッチします。



電話帳のデータをすべて削除する

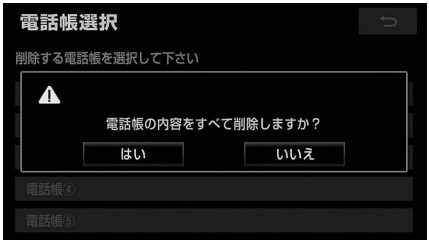
1 電話帳編集画面で、電話帳の **全削除** にタッチします。



2 削除する電話帳にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



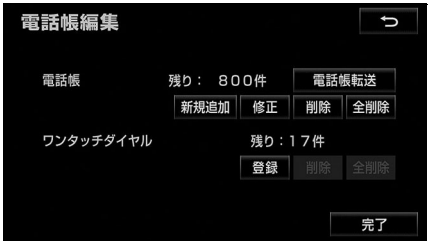
アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（62ページ参照）

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。音声認識で発信したい番号は、**ワンタッチ1**（1ページ目）に登録してください。**ワンタッチ1**（1ページ目）の6件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

1 電話帳編集画面で、ワンタッチダイヤルの **登録** にタッチします。

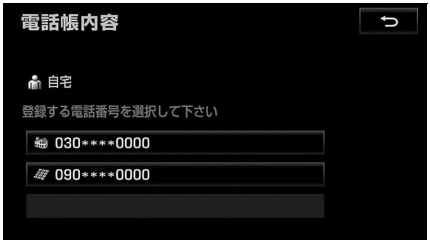


2 登録したいデータにタッチします。

● **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



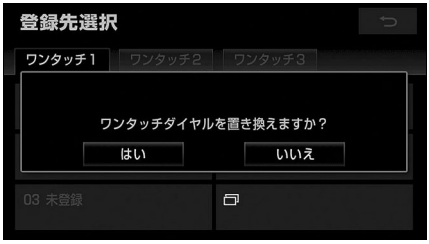
3 登録したい電話番号にタッチします。



4 登録したいスイッチにタッチします。



5 登録済スイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは **はい** にタッチします。



8. 電話帳の編集

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。
全削除すると、17件すべてを削除できます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

1 電話帳編集画面でワンタッチダイヤルの **削除** にタッチします。



2 削除したいワンタッチダイヤルのスイッチにタッチします。



3 **はい** にタッチします。

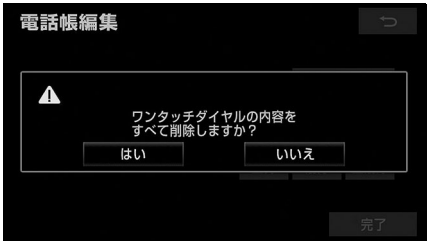


ワンタッチダイヤルをすべて削除する

1 電話帳編集画面でワンタッチダイヤルの **全削除** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



アドバイス

- ワンタッチダイヤルの01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

9. 履歴の削除

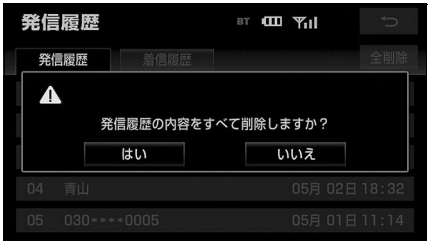
発信履歴および着信履歴のデータは、全削除ができます。

履歴を削除する

1 発信履歴画面または着信履歴画面（628ページ参照）で、**全削除** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（62ページ参照）

10.セキュリティの設定

セキュリティについて

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくすることができます。
ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。なお、セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。
セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

ロックNo.を変更する

セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。
ロックNo.は4桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。
セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。
なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

1 電話詳細設定画面（645ページ参照）でセキュリティの **設定する** にタッチします。

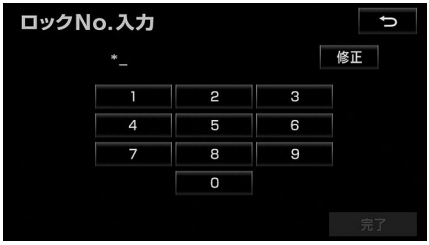


2 ロックNo.変更の **変更** にタッチします。

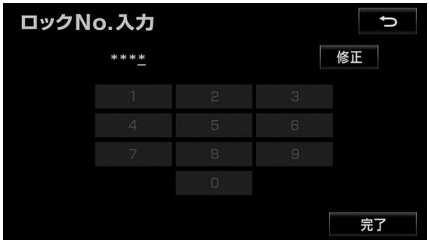


3 現在のロックNo.を入力します。

● 間違えたときは、 **修修正** にタッチすると、１番号ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。



⚠ 注 意

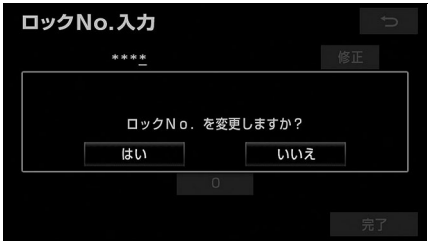
ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。
万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、セキュリティ設定の初期化を行ってください。（661 ページ参照）ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

5 新しいロックNo.を入力します。



6 **完了** にタッチします。

7 **はい** にタッチします。



8 **完了** にタッチします。

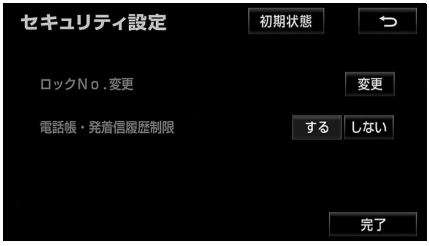


電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロックNo.の変更

1 セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチします。



2 ロックNo. 入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。



■設定を解除する

設定を解除するときは、セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の **しない** にタッチし、ロックNo.を入力します。

10.セキュリティの設定

通信モジュールの発信制限をする

通信モジュール使用時

電話機選択で通信モジュールを選択している場合に、通信モジュールの発信制限をすると、次の機能を使用できなくすることができます。

- ダイヤル発信
- 電話帳発信
- 履歴発信
- ワンタッチ発信
- 音声認識発信
- ナビからの発信
- 電話機選択（携帯電話から通信モジュールへ変更できなくなります。）

1 セキュリティ設定画面で通信モジュールの発信制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチします。



2 ロックNo.入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。



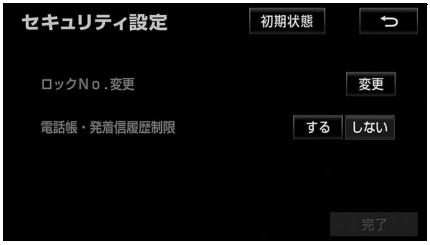
■設定を解除する

設定を解除するときは、セキュリティ設定画面で通信モジュールの発信制限の **しない** にタッチし、ロックNo.を入力します。

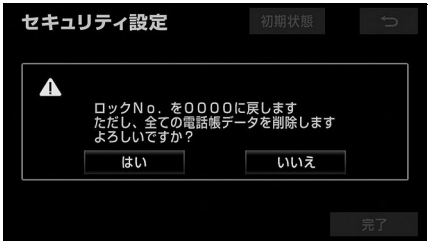
設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 セキュリティ設定画面で **初期状態** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。



⚠ 注 意

初期状態にもどすと、すべての電話帳データや発信履歴および着信履歴も削除されます。

1. はじめに

G-BOOKオンラインサービスについて

本機では、接続する通信機器により２つのサービスがあります。

携帯電話で利用.....G-BOOK mX

通信モジュール（DCM）で利用※.....G-BOOK mX Pro

※ G-BOOKオンラインサービスは、トヨタメディアサービス株式会社が提供するサービスです。

サービス内容について

利用できるサービスは次のようになっています。サービスメニューの詳細、有料オプションの価格は、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

主なサービス／機能		G-BOOK mX	Web 登録をして利用	G-BOOK mX Pro※1	ページ
通信機器		Bluetooth 携帯電話		通信モジュール（DCM）	–
ヘルプネット		×	○※2	○	691
G-Security		×	×	○	712
マップオンデマンド		○	○	○	393
G ルート探索（プローブ情報付）		○	○	○	731
渋滞予測		○	○	○	727
オペレーターサービス		×	△	○	722
メインメニュー G-BOOK.com コンテンツ	無料コンテンツ	○※3※4	○※4	○※4	741
	有料コンテンツ	×	△	△	
G-SOUND	無料カプセル	○	○	○	775
	有料カプセル、単曲（試聴／購入）	×	△	△	
CD タイトル情報取得		○	○	○	787
ドライブプラン		○※5	○	○	734
自動車専用ハンズフリー電話		×	×	△	–

○ …… 利用できます
△ …… 有料オプション（コンテンツ購入が必要です。）
× …… 利用できません

※1 初年度無料期間中は、G-BOOK利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはG-BOOK利用申し込みが必要です。
初年度無料期間： 初度登録日より初回の12カ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

※2 G-BOOK利用開始日より3年間ご利用いただけます。
なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、2年ごとに利用登録料が必要です。

※3 一部コンテンツはWeb登録が必要です。

※4 利用可能なコンテンツは一部異なります。

※5 利用には、GAZOOの会員登録が必要です。（679ページ参照）

1. はじめに

情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）

情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）から、G-BOOK オンラインサービスの各コンテンツを利用することができます。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。



タッチスイッチ	機　能	ページ
HELPNET	ヘルプネットの緊急通報を行います。	691
メインメニュー	メインメニュー画面を表示します。	741
G-SOUND	G-SOUND画面を表示します。	775
Myリクエスト	Myリクエスト画面を表示します	769
オペレーター	オペレーターサービスに接続します。	722
情報確認	オペレーターサービスで取得した情報を確認します。	725
ドライブプラン	パソコンや携帯電話で設定したルートをダウンロードします。	734
地図更新	地図更新画面を表示します。	393

アドバイス

● 情報・G・BT ナビ画面（G-BOOK）では、契約状態などにより、画面に表示されるスイッチが異なります。

● HELPNET は、サービス開始操作※、または手動保守点検実施後に表示されます。（705ページ参照）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

安全上の注意

G-BOOK オンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

走行中の操作、表示規制について

走行中にG-BOOK オンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

掲載画面について

本書で使用している画面は、携帯電話使用時の画面を使用して説明しています。通信モジュール使用時については、特に注記のない限り、携帯電話使用時と同様の操作になります。また、表示内容はサンプル表示となっております。
なお、全体に関わる注意点として、携帯電話使用時の画面に表示される **切断** については、通信モジュール使用時は表示されません。

お車を手放す際は

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、利用登録・契約の解除をお願いします。（689ページ参照）

G-BOOK オンラインサービスコンテンツについて

詳しくは、G-BOOKサイト（http://g-book.com/）をご覧ください。

⚠ 警 告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

1. はじめに

通信機器について

G-BOOK オンラインサービスは、Bluetooth 携帯電話※または通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信やハンズフリー通話を行います。
接続する通信機器により、データ通信やハンズフリー通話に利用する機器は、次のように選択されます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、販売店またはG-BOOKサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

サービス	通信機器	データ通信／ヘルプネットの音声通話	ハンズフリー通話
G-BOOK mX	携帯電話のみ	携帯電話	携帯電話
G-BOOK mX Pro	通信モジュールのみ	通信モジュール	通信モジュール（自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ）
	携帯電話&通信モジュール	通信モジュール	ハンズフリーの電話機選択で選択した通信機器（通信モジュールは、自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ選択可）

Bluetooth 携帯電話を使用するときの留意事項

Bluetooth 携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- Bluetooth 携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth 携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(618ページ参照)
- Bluetooth 携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- Bluetooth 携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約 1 分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
  割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱書などでご確認ください。
- Bluetooth 携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOK センターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
- Bluetooth 携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。
  この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- Bluetooth 携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

1. はじめに

通信モジュールについて

通信モジュールは通信アンテナを使用します。
通信アンテナの位置は、販売店でご確認ください。
データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

■ライセンス契約など

この製品は下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、Qualcomm社よりライセンスされています。
4,901,307　5,056,109　5,101,501
5,109,390　5,228,054　5,267,261
5,267,262　5,337,338　5,414,796
5,416,797　5,490,165　5,504,773
5,506,865　5,511,073　5,535,239
5,544,196　5,568,483　5,600,754
5,657,420　5,659,569　5,710,784
5,778,338
BREW™およびBREW™に関連する商標は、Qualcomm社の商標または登録商標です。
The word BREW® is a registered trademark of QUALCOMM Incorporated.
The BREW Logo, which includes the interlocking circles design, is a trademark (TM) of QUALCOMM Incorporated.
本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはなりません。
本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはなりません。
U.S. law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries - Cuba, Iran, Iraq, Libya, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

⚠ 警 告

植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから22cm以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOKオンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

データ通信時の留意事項

G-BOOK オンラインサービスは、データ取得時に通信を行います。
次の点をご理解の上、正しくお使いください。

通信機器専用留意事項

ここでは、通信機器により異なる留意事項がまとめてあります。

携帯電話使用時

- 通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
- お手持ちの携帯電話に添付の取扱書の注意事項もよくお読みください。

アドバイス

- Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約 1 分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
  割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱書などでご確認ください。
- 通信料金はお客様のご負担になります。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
- G-BOOK オンラインサービスを利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
  G-BOOK オンラインサービス利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
- G-BOOK オンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
  この場合は、タッチスイッチを操作するなどして、ハンズフリー画面を解除する操作を行ってください。（632ページ参照）

1. はじめに

通信モジュール使用時

- 通信方式は、KDDI株式会社のCDMA方式のau 携帯電話と同一です。CDMA 1X WIN サービスエリアでは、最大2.4Mbps データ通信サービスがご利用いただけます。それ以外のCDMA 1Xサービスエリアでは、最大144kbpsデータ通信サービスとなります。同社サービスエリア図をご参照ください。
  なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
  - トンネルの中にいるとき
  - 地下駐車場にいるとき
  - 山奥などの通信圏外にいるとき
  - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

G-BOOK オンラインサービスはデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-BOOKオンラインサービスが使用できなくなります。（その場合には事前にご連絡します。）

アドバイス

- データ通信に関する通信料金はG-BOOK利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

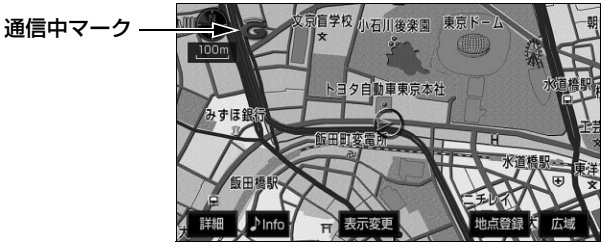
通信機器共通留意事項

ここでは、各通信機器に共通の留意事項がまとめてあります。

- ヘルプネット（691ページ参照）での緊急通報中は、G-BOOK センターに接続できません。
- 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ち下さい」**が表示されます。
  また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
  （走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。）



- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。



アドバイス

- 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（71ページ参照）に車を移動し、MAP にタッチして地図画面上にGPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。



1. はじめに

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

● 携帯電話接続時の表示は、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。



携帯電話使用時

表示	圏外				
レベル	圏外	弱			強

● 使用する携帯電話がBluetooth 接続されていないときは、「未接続」が表示されます。

通信モジュール使用時

表示	圏外 DCM	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外	弱			強

アドバイス

Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。

2. 各種手続きをする

利用手続きについて

G-BOOK オンラインサービスの利用開始は、ご利用になるサービス（G-BOOK mX/G-BOOK mX Pro）により異なります。次の「利用手続きの手順」にしたがって実施してください。

アドバイス

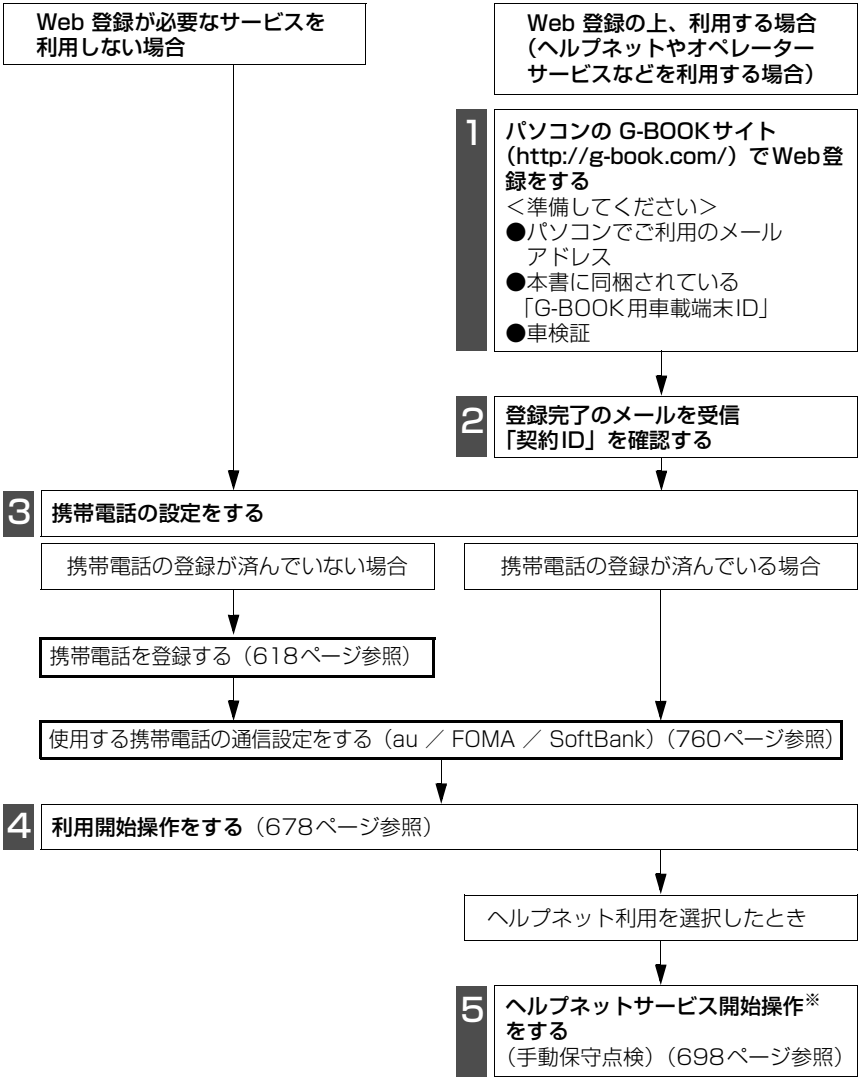
- 手続きを行うときは、次の点に注意して、手続きが中断しないようにしてください。中断すると、最初からやり直さなければなりません。
  - 通信が途中で切れないように、受信感度が良い場所で行ってください。
  - 手続きの途中で、中止や切断の操作をしないでください。また、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作をしないでください。
  - G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、携帯電話を着信拒否に設定するなど、ハンズフリーで着信できないようにしてください。
- パソコンの G-BOOKサイト（http://g-book.com/）でWeb 登録をする場合、GAZOO 会員ID があれば、G-BOOK 契約ID として使えます。
- 車両１台につき１つの契約ID が必要です。同じ契約ID を複数の車両で利用することはできません。

2. 各種手続きをする

利用手続きの手順

利用手続きとそれに伴う各種設定は、ご利用になるサービスなどにより異なります。
下図にしたがって、手続きを行ってください。

G-BOOK mX（携帯電話接続）をご利用の場合



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

携帯電話を追加・変更する場合

G-BOOK mX利用時

利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。

携帯電話を追加する場合

↓

携帯電話を登録する（618ページ参照）

↓

使用する携帯電話の通信設定をする（au ／ FOMA ／ SoftBank）（760ページ参照）

↓

ヘルプネット利用選択をされている場合

↓

ヘルプネットの「手動保守点検」を実施する（705ページ参照）

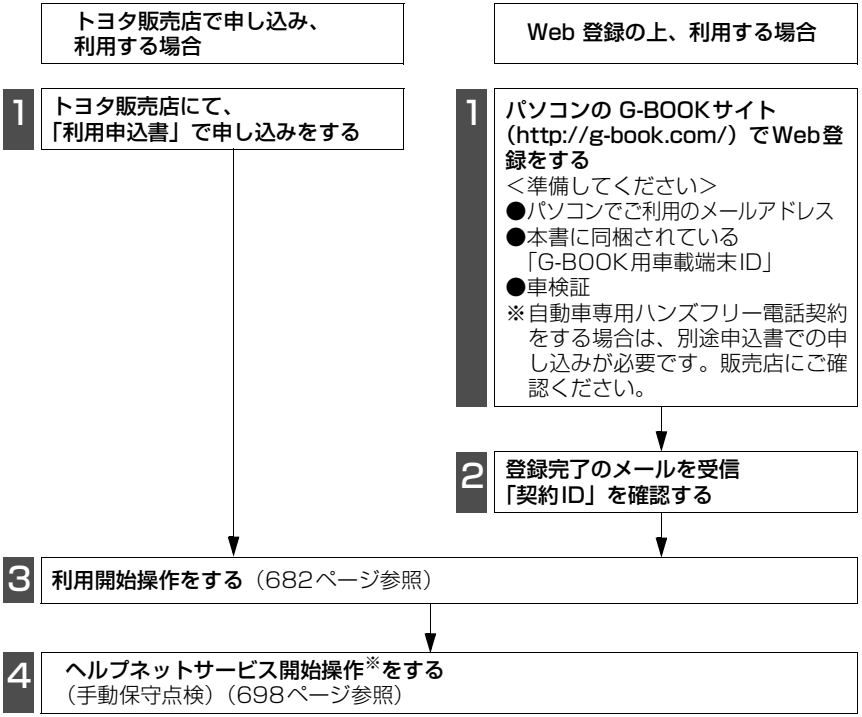
携帯電話を変更する場合

↓

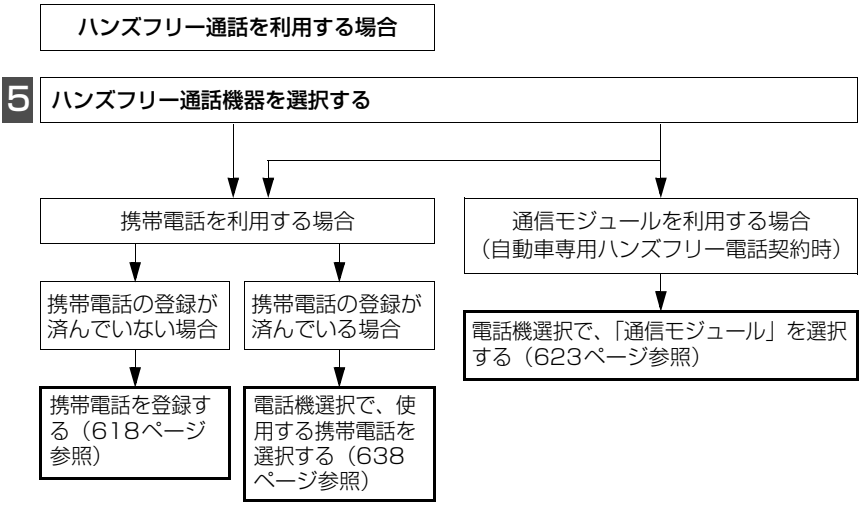
電話機選択で、使用する携帯電話を選択する（638ページ参照）

2. 各種手続きをする

G-BOOK mX Pro（通信モジュール接続）をご利用の場合



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。



● 初年度無料期間中は、G-BOOK利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはG-BOOK利用申し込みが必要です。
初年度無料期間： 初度登録日より初回の12カ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

2. 各種手続きをする

利用開始操作をする

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。
該当のページをご覧の上、手続きを行ってください。
利用開始操作は、可能な限り見晴しの良い場所で行ってください。

G-BOOK mXでWeb登録をしない場合 ..... 下記
G-BOOK mXでWeb登録をした場合 681ページ
G-BOOK mX Proの場合 682ページ

G-BOOK mXでWeb 登録をしない場合

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。



3 G-BOOK.com にタッチします。



＜参考＞

● 画面が上記と異なる場合は、利用開始済です。ご不明の場合は、G-BOOK サポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120ー 104ー 370
受付時間　9:00～18:00
（年中無休）

4 利用開始する にタッチします。



5 画面の指示にしたがって操作します。

6 利用開始操作完了画面が表示されたら、次へ にタッチします。

● PC・携帯連携をご利用になる場合は、PC・携帯連携の利用手続きを行ってください。（右記参照）

■PC・携帯連携とは

GAZOO会員登録をした上で、PC・携帯連携の利用手続きをすると、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで編集したデータを、本機で利用することができます。

● GAZOO 会員登録について

PC・携帯連携をご利用いただくには、GAZOO 会員である必要があります。GAZOO 会員の登録は、G-BOOK サイト（http://g-book.com/）で行ってください。

PC・携帯連携の利用手続きでは、GAZOO 会員ID とパスワードの入力が必要です。

■PC・携帯連携を利用する

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。

3 G-BOOK.com にタッチします。

4 ユーザー にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。



2. 各種手続きをする

5 **PC・携帯連携を利用する** にタッチします。



6 注意事項を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

7 GAZOO 会員ID とパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

● ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。



8 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

9 手続き完了画面が表示されたら、利用が可能になります。

アドバイス

● 車両１台につき１つの契約ID が必要です。同じ契約ID を複数の車両で利用することはできません。
● 6ヶ月以上ご利用のない場合、再びGAZOO会員ID とパスワードを入力していただく必要があります。

G-BOOK mXでWeb 登録をした場合

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。



3 G-BOOK.com にタッチします。



＜参考＞

● 画面が上記と異なる場合は、利用開始済です。ご不明の場合は、G-BOOK サポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120ー 104ー 370
受付時間　9:00～18:00
（年中無休）

4 利用開始する（Web登録済の方） にタッチします。



5 契約ID 照会画面が表示されます。ID とパスワードを入力し、決定 にタッチします。

● ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。



6 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

7 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されます。

● ヘルプネット利用を選択された場合は、はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（698ページ参照）を行います。

● サービス開始操作が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. 各種手続きをする

G-BOOK mX Proの場合

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。



3 G-BOOK.com にタッチします。



＜参考＞

● 画面が上記と異なる場合は、利用開始済です。ご不明の場合は、G-BOOK サポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120ー 104ー 370
受付時間　9:00～18:00
（年中無休）

● 中古車の場合、 G-BOOK.com にタッチしたあとに、通信初期設定画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

4 申し込み方法により、次の画面が表示されます。

● 申込書で申し込みの方は、本人確認の画面が表示されます。画面の指示にしたがって、確認・操作をします。

● Web 登録で申し込みの方は、契約ID照会画面が表示されます。IDとパスワードを入力し、 決定 にタッチします。

5 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作します。

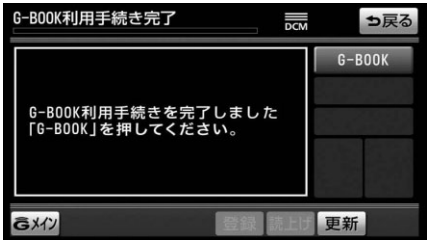
● G暗証番号の設定をしていない方は、G暗証番号の設定が表示されます。画面の指示にしたがって、確認・操作します。

6 G-BOOK 利用手続き完了後、ヘルプネットのサービス開始案内画面が表示されたら はい にタッチします。

7 ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

8 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されます。内容を確認し、手続きを終了します。

● サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ユーザー画面について

登録内容の確認・変更やG 暗証番号の変更、支払方法の設定などを行なえます。

ユーザー画面を表示する

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。

3 G-BOOK.com にタッチします。



4 ユーザー にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。



ユーザー画面の使い方

ユーザー画面で行なえるメニューは、次のようなものがあります。

状況に応じて、次の各スイッチにタッチし、画面の指示にしたがって操作してください。

① **会員情報／利用契約変更・解約**

■利用登録・契約の解除

G-BOOK mXの利用登録・契約の解除、またはG-BOOK mX Proの解約手続きをするときに使用します。

② **コンテンツ購入履歴／解約**

有料コンテンツの解約をするときに使用します。

■コンテンツ契約内容の確認

契約中コンテンツの確認および解約ができます。

③ **ドライブプランのデータコピー**

他のIDで作成したドライブプランデータ（My ルート、G メモリ）を、現在利用中のID へコピーできます。

2. 各種手続きをする

Web 登録が必要なサービスを利用したくなったとき

G-BOOK mX利用時

G-BOOK mXをWeb登録なしで利用開始したお客様で、有料コンテンツなどのWeb 登録が必要なサービスを利用したい場合は、次の手順で再度、利用開始操作を行ってください。

■Web 登録について

有料コンテンツのご利用には、まずパソコンのG-BOOKサイト（http://g-book.com/）でWeb 登録が必要です。

G-BOOK センターから登録完了のメールを受信したら、本機から利用開始操作をします。

1 G・INFO にタッチします。

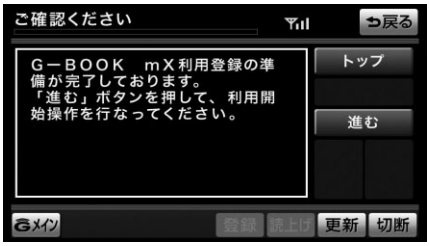
● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。

3 G-BOOK.com にタッチします。



4 G-BOOK mX 利用登録準備完了の案内が表示されます。
進む にタッチします。



5 契約ID 照会画面が表示されます。
ID とパスワードを入力し、決定 にタッチします。

● ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。



6 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

アドバイス

利用登録準備完了の案内が表示されない場合は、Web 登録手続きがG-BOOK センター側で完了していません。しばらくしてから再度操作してください。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Securityやロードアシスト24 などのサービス利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。G-BOOK 利用申込書またはWeb 登録で入力いただいた緊急連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。
連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

サポートアドレスの確認・変更は、ユーザーページで行います。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。

3 G-BOOK.com にタッチします。

4 サポートアドレスの登録・変更 にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。この画面に表示されていないときは ユーザー にタッチし、ユーザーページにて操作してください。



5 表示される電話番号を確認した後、メール にタッチします。

● 電話番号を変更するときは、変更する電話番号にタッチし、入力します。

6 Eメールアドレスを確認します。

● Eメールアドレスを変更するときは、変更する Eメールアドレスにタッチし、入力します。

2. 各種手続きをする

継続方法を変更する

G-BOOK mX Pro利用時

G-BOOK mX Proは、年単位で契約更新となります。契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。契約の継続／停止は本機から手続きができます。

1 メインメニュー画面で **G-BOOK.com** にタッチします。

2 **ユーザー** にタッチします。

3 **会員情報／利用契約変更・解約** にタッチします。



4 **利用契約の確認・変更** にタッチします。



5 **利用契約内容の変更** にタッチします。



6 G暗証番号入力画面が表示されます。G暗証番号を入力し、**決定** にタッチします。

7 利用契約の変更画面が表示されます。

- 自動継続に変更したい場合は、**G-BOOK利用継続処理** にタッチします。
- 自動継続を停止※したい場合は、**自動継続停止** にタッチします。

※自動継続を停止すると、現在の契約期間の満了日をもって、解約となります。



8 G-BOOK利用契約の確認画面が表示されます。内容を確認し、**決定** にタッチします。

ポップアップ機能について

G-BOOK センターに接続すると、お客様のご利用状況により、ヘルプネット開通案内や次年度継続案内などのメッセージが表示されます。

お客様の必要に応じて、画面の指示にしたがって操作してください。(802ページ参照)

アドバイス

- 自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新します。契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。
- 契約の継続／停止はパソコンのG-BOOKサイトからも手続きができます。

2. 各種手続きをする

有料コンテンツのご利用について

G-BOOK mXの場合、有料コンテンツの利用にはWeb 登録が必要です。

有料コンテンツの購入・解約

G-BOOK 有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。
また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツ購入手続き

有料コンテンツを購入する際、コンテンツ購入手続き案内が表示される場合には、当該コンテンツの購入がされておりません。
画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G 暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツ解約手続き

1 メインメニュー画面で **G-BOOK.com** にタッチします。



2 **ユーザー** にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。



3 **コンテンツ購入履歴／解約** にタッチします。

4 **コンテンツ契約内容の確認** にタッチします。

5 申し込み時、または利用手続き時に登録した「G暗証番号」を入力の上、解約してください。

アドバイス

「G 暗証番号」は、有料コンテンツを購入するときや、一部のサービスを本機や携帯電話から利用するときに入力していただく4 桁の番号です。

利用登録・契約の解除について

お車を手放すときなど、G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除をするときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜車載機で利用登録の解除をする場合＞
利用登録・契約の解除をする
（次ページ参照）

↓

＜お車を手放す場合＞
個人情報の初期化をする
（62ページ参照）

利用登録・契約の解除をしないで車を手放したときなど

↓

G-BOOKサポートセンターに連絡して利用登録・契約の解除をする
G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120-104-370
受付時間9:00～18:00
（年中無休）

アドバイス

- 本機に保存した情報は、本機で利用登録・契約の解除をしたときのみ消去できます。お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で利用登録・契約の解除および初期化を必ず行ってください。
- G-BOOK 契約ID は、利用登録・契約の解除後、GAZOO 会員ID として利用できます。

2. 各種手続きをする

利用登録・契約の解除をする

G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除をするときは、次の手順で実施してください。

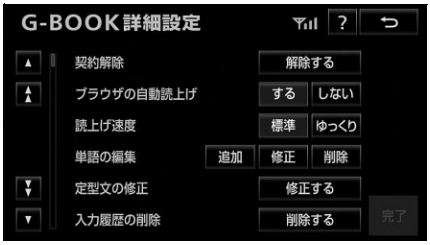
1 にタッチします。

2 G-BOOK にタッチします。

3 G-BOOK 詳細設定 にタッチします。



4 契約解除の 解除する にタッチします。



5 画面の指示にしたがって操作します。

■お車を手放すとき

利用登録・契約の解除をしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。お車を手放すときは、次の操作も合わせて必ず実施してください。

● 個人情報の初期化（62ページ参照）

非アクセス登録をする

G-BOOK オンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。

オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。提出いただくと、利用開始操作ができないように設定します。

※ G-BOOK オンラインサービスを利用中のお客様は、事前に利用登録・契約の解除を行ってください。

● 再びG-BOOK オンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーコール
0800-123-0016
受付時間　9:00～18:00
（年中無休）

アドバイス

● ユーザー画面からでも利用登録・契約の解除ができます。
● G-BOOK　オンラインサービスが利用できないようにしたい場合は、「非アクセス登録」をしてください。（上記参照）

3. ヘルプネット

ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。
ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にお客様の状況を通報します。
本システムは、エンジンスイッチがACCまたはONのときに作動します。

● G-BOOK mXの場合、G-BOOK利用開始日より3年間ご利用いただけます。
なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、2年ごとに利用登録料が必要です。
ご利用には、Web登録が必要です。

■サービス開始と利用登録の解除について

ヘルプネットは、本機でG-BOOK オンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。（698ページ参照）
利用登録の更新については、トヨタメディアサービス（株）より、更新月前に案内があります。
ヘルプネットの利用登録の解除は、G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除と同時に実施されます。G-BOOK mXの場合は、ヘルプネットのみの利用登録の解除を本機から行うことができます。（708ページ参照）

● ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

⚠ 注 意

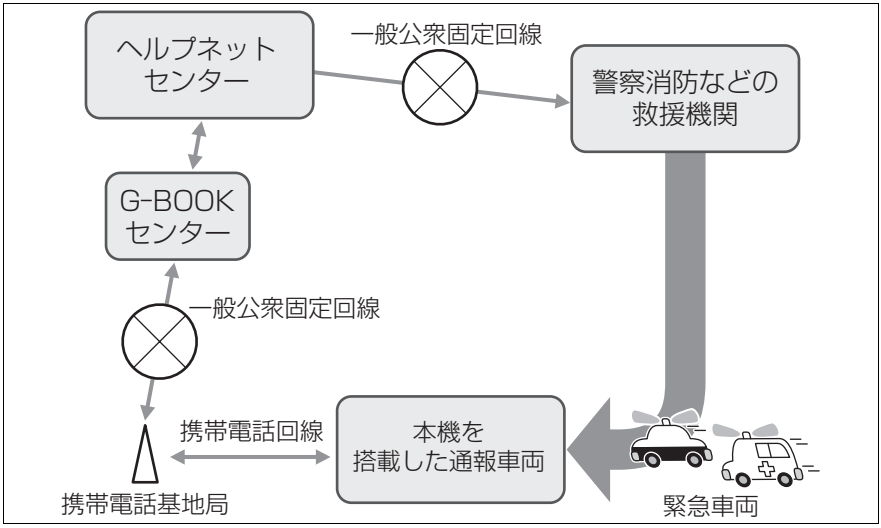
ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行えません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

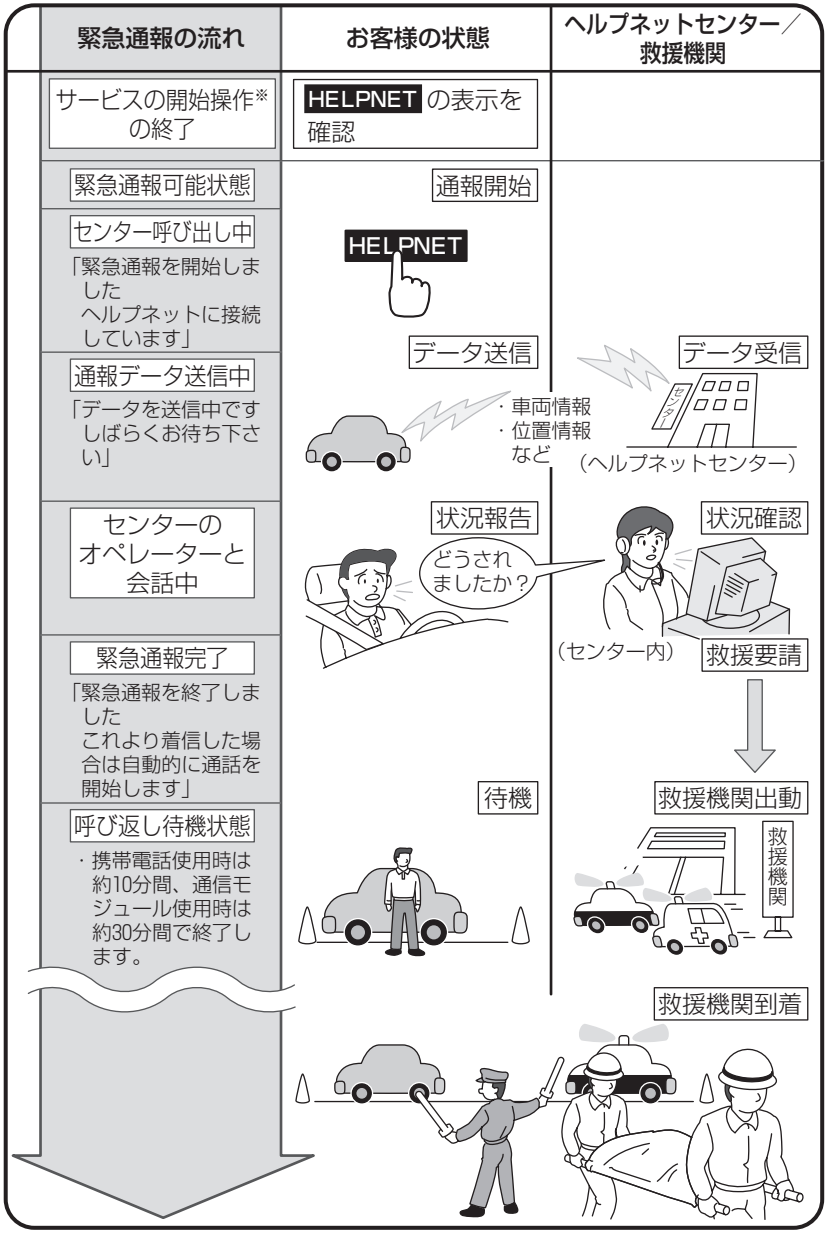
3. ヘルプネット

緊急通報のしくみ

本機の画面に表示される **HELPNET** にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



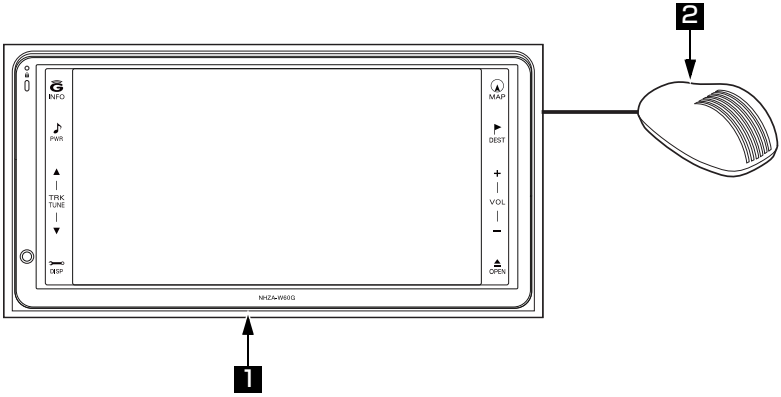
■緊急通報の主な流れ



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3. ヘルプネット

各部の名称とはたらき



	名　称	機　能
1	**車載機**	緊急通報時や手動保守点検時に使用します。
2	**マイク**	緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。

⚠ 注 意

本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。本機が故障したときは、必ず販売店にご相談ください。

安全のために

⚠ 警 告

- 安全運転を心がけてください。
  本機は、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作※は契約者本人が行い、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）に HELPNET が表示されていることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。
  このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できない場合があります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
  - 機器（車載機本体、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
  - G-BOOK　オンラインサービスの利用登録がされていない、または利用登録期限が切れている場合
  - ヘルプネットの利用登録がされていない、または利用登録が更新されていない場合
  - サービス開始操作※を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話と本機がBluetooth 接続されていない場合
  - 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
  - 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
  - 携帯電話が故障している場合
  - 携帯電話の料金を滞納している場合
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。**「携帯電話について」**をご覧ください。（709ページ参照）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3. ヘルプネット

⚠ 警 告

- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
  基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFF になってしまった場合は、携帯電話の電源をON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。
  走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- 本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
  このような場合には、HELPNET による緊急通報をしてください。
- G-BOOK オンラインサービス、またはヘルプネットの利用登録を解除しても、G-BOOK 画面に HELPNET が表示されているときは、販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止して販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがある場合には、すぐに販売店にご相談ください。
- 本機の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ず販売店にご相談ください。
- 次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
  動作温度範囲：− 20 ℃～+ 60 ℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物については、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてください。この場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした時点で、緊急通報は終了します。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFF になってしまった場合は、携帯電話の電源をON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

アドバイス

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

3. ヘルプネット

サービス開始操作※をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。
利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※および本機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

サービス開始操作は必ず契約者
本人が行うようにしてください。

1 可能な限り見晴らしの良い場所に車を移動します。

● ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 **「手動保守点検」**（705ページ参照）を行い、次の点を確認します。

● 手動保守点検で、通信が正常に開始することを確認します。
● 通報位置が正しいことをヘルプネットセンターとの通話で確認します。
● 通話ができることを確認します。

3 手動保守点検後、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）に **HELPNET** が表示されます。

● 情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）に **HELPNET** が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
● 手動保守点検が正常に終了しなくても **HELPNET** が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警 告

- 通話が正常に終了したか否かの確認画面で **いいえ** にタッチする、または MAP などにタッチして他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。
- 次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - 発呼しない。
  - 通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
  - 通話できない。
- サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断した場合は、基本的に **HELPNET** は表示されませんが、**HELPNET** が表示された場合は販売店にご相談ください。
- サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、**HELPNET** は表示されたが通話できない場合には、販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、**HELPNET** が表示されない場合、緊急通報は動作しません。**HELPNET** の表示が正常に行われない場合は、販売店にご相談ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
  - 本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
  - ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（618ページ参照）および使用する携帯電話の設定（760ページ参照）を行ってください。
  - 本機に携帯電話をBluetooth接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
  - 電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。**「携帯電話について」**をご覧ください。（709ページ参照）
  - 携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

アドバイス

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACC またはON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明をOFF に設定してください。
  （設定については携帯電話の取扱書をご参照ください。）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3. ヘルプネット

緊急通報をする

緊急通報は、急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターに通報するときに使用します。

エンジンスイッチがACC またはON のとき、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）で HELPNET にタッチすると緊急通報を開始します。
この操作をすれば、あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがっていただければ、緊急通報は完了します。
ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。
ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth 接続されていることを確認してください。

⚠ 警 告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
  - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。緊急通報が中止されます。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度エンジンスイッチをACC またはON にして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

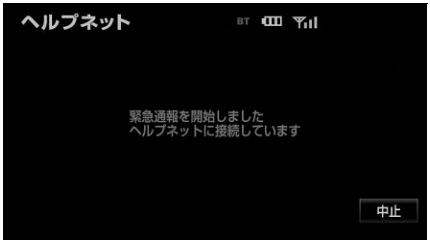
2 HELPNET にタッチします。



3 ヘルプネットセンターに接続を開始し、緊急通報を開始します。

● メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

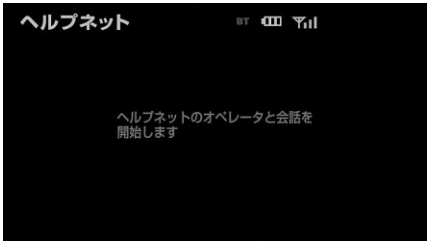
● 緊急通報を中止するときは 中止 にタッチします。



4 ヘルプネットセンターとデータ通信を行い、車両の位置などを送信します。



5 データ通信完了後、通話モードに切り替わります。



アドバイス

● 緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

● ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にエンジンスイッチをOFF （LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。（ヘルプネットを通信モジュールで使用する場合は、緊急通報は中止されます。）

3. ヘルプネット

6 オペレーターと通話します。

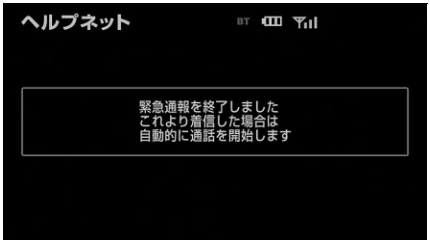
- ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察または消防などへの通報の要・不要を伝えてください。
- 通話音量を調整するときは次のいずれかの操作をします。
  - ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)
  - 小 または 大 にタッチする。



7 警察または消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続します。

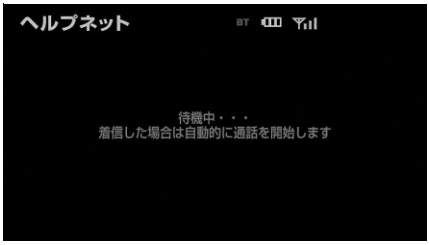
8 通話を終了します。

- ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行います。



9 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約10 分間、通信モジュール使用時は約30分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。

- この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。



10 呼び返し待機状態が終了します。

- ヘルプネット画面が解除されます。



⚠ 警 告

呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。

アドバイス

- 通話中にステアリングスイッチを操作して電話を切ることができます。(ステアリングスイッチ装着車の場合)
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。
- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。
  音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始時から通話終了までの間は、本機の音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

3. ヘルプネット

保守点検について

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。
保守点検は、次の2 種類があります。
自動保守点検.....下記
手動保守点検.....次ページ

自動保守点検

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。
自動保守点検を行うための特別な操作は、とくに必要ありません。
自動保守点検は、次の要領で行われます。

■点検時期
（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

■点検時間
自動保守点検は、開始後1 ～ 2 分で終了します。

⚠ 警 告

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠ 注 意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまった場合は、次にエンジンスイッチをOFF （LOCK）からACC またはON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しない場合は、販売店にご相談ください。

アドバイス

自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

手動保守点検

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。
G-BOOK mXの場合、使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検と動作確認を行ってください。
手動保守点検は、次の保守点検を実施します。
● 車載機の保守点検（車載機修理点検や車両修理後の保守点検）
● ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）
ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth 接続されていることを確認してください。

1 現在地画面でGPS の受信（GPS マークが表示されること）を確認します。

GPSマーク



2 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

3 メインメニュー にタッチします。

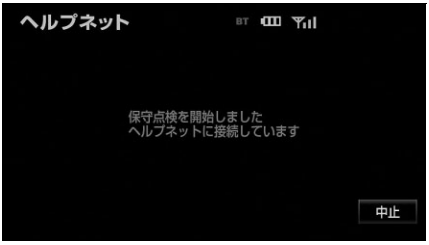


4 保守点検 に約10秒以上タッチし続けます。



5 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

● メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
● 中止するときは 中止 にタッチします。



⚠ 警 告

● 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまった場合は、再度手動保守点検をやり直してください。
● ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

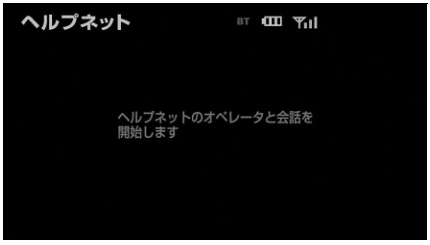
3. ヘルプネット

6 ヘルプネットセンターに接続すると、次の確認をするため、最初にデータ通信を行います。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されているかどうか



7 データ通信完了後、通話モードに切り替わります。

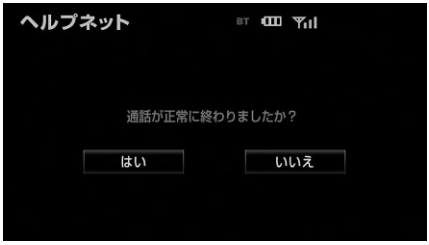


8 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。

- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。
  自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。
  “ピー”と鳴ったら、お客様の名前を話してください。
  自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- 通話音量を調整したいときは、次のいずれかの操作をします。
  - ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)
  - **小** または **大** にタッチする。



9 サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら **はい** にタッチします。



⚠ 警 告

手順 **9** で表示された画面で **いいえ** にタッチする、または **MAP** などにタッチして他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

10 メッセージが表示され、保守点検を終了します。



11 G・INFO にタッチして、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）に HELPNET が表示されていることを確認します。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。



⚠ 警 告

サービス開始操作※で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。
途中で中断した場合は、基本的に HELPNET は表示されませんが、HELPNET が表示された場合は販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度OFF（LOCK）にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、販売店にご相談ください。

アドバイス

- 手動保守点検開始時から通話終了までの間は、本機の音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3. ヘルプネット

利用登録の解除

G-BOOK mX利用時

G-BOOK mXをご利用の方で、ヘルプネットのみ利用登録を解除したい場合は、次の手順で手続きを行ってください。

なお、ヘルプネット利用登録解除後に再利用登録をする場合は、2年ごとに利用登録料が必要です。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。

3 G-BOOK.com にタッチします。

4 ヘルプネットの利用登録と解除 にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。



5 利用登録内容の確認・解除 にタッチします。



6 画面の指示にしたがって操作します。

携帯電話について

⚠ 警 告

● 緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。(機能を解除する方法については、携帯電話の取扱書をご参照ください。)
(1) ダイヤルロック
(2) 発信を制限もしくは禁止する機能
(3) ドライブモード
(4) 着信拒否、着信制限
(5) 着信転送
(6) 留守番電話
(7) 発信者電話番号非通知
(8) 着信を制限もしくは禁止する機能
※ (1)(2) の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
(3) ～ (8) の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス (キャッチホン、三者通話、セレクフォン、マルチナンバーなど) によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があり危険です。

● ヘルプネットはG-BOOK オンラインサービスの通信設定を利用します。
ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の設定 (760ページ参照) を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。

アドバイス

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。

- 携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
- 緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
- 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

3. ヘルプネット

緊急通報できない場合について

次のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■G-BOOK 利用登録・契約の不成立または消滅
- 未登録の場合
- 利用登録・契約を解除した場合

■ヘルプネット利用登録の不成立または消滅
- サービス開始操作※を完了していない場合
- 利用登録を解除した場合

■車載機または車両関連機器の異常による通信不能
- 車載機（本機、通信モジュール、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

■緊急通報センターシステムの位置評定エラー
- GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きい場合

■ヘルプネットセンター／ G-BOOK センターシステムの異常による通信不能
- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置する場合
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
- 携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
- 通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

アドバイス

ヘルプネットは、本機のGPS から位置情報を取得しています。「GPS について」（71ページ参照）をご覧ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中した場合

■その他

- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
  - 携帯電話と本機がBluetooth接続されていない
  - 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
  - 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
  - 携帯電話が故障している
  - 携帯電話の料金を滞納しているなど
- 緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができない場合（緊急通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

4. G-Security（Gセキュリティ）

G-BOOK mX Pro利用時

G-Securityについて

G-Securityは、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

G-Securityのご利用に際して

G-Securityを利用するには、次の機器の装着が必要です。

- 車載機
- 通信モジュール
- G-BOOK対応オートアラーム：アラーム通知サービス利用時に必要です。

上記の必要機器を車両に装着された上で、G-BOOK mX Proに申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。
詳しくは、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト（http://g-book.com/）をご覧ください。

- **アラーム通知（G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ）**.....717ページ
  お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。
- **エンジン始動通知**.....717ページ
  エンジンの始動を検知し、メールでお知らせします。
- **車両の位置確認**.....718ページ
  お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。
- **警備員の派遣**.....718ページ
  車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

アドバイス

G-Securityでは車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
E メールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
また、G-BOOK利用契約を解除した場合、Eメールによる通知は送信されません。

初期設定の確認・変更

アラーム通知※、エンジン始動通知の設定の確認・変更ができます。

● サポートアドレス（電話番号／Eメールアドレス）の登録がない場合は、通知されません。（715ページ参照）

※G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ

■通知設定の一覧

* 初期設定

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知	電話	設定中*	解除中
	Eメール	設定中*	解除中
エンジン始動通知	Eメール	設定中	解除中*

設定中・・・・通知します。
解除中・・・・通知されません。

解除中から設定中へ切り替える

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。



3 セキュリティ にタッチします。



4 設定したい項目にタッチします。



● 設定の説明画面が表示されるときは、内容を確認し、確認 にタッチします。

● スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

4. G-Security（G セキュリティ）

設定中から解除中へ切り替える

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。



3 セキュリティ にタッチします。

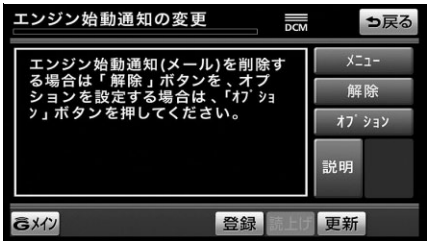


4 解除したい項目にタッチします。



5 エンジン始動通知を解除するときは、解除 にタッチします。

● アラーム通知を解除するときは、6 の手順を操作します。



6 G暗証番号またはパスワードを入力します。

● G暗証番号を登録しているときは、G暗証番号表示窓スイッチにタッチします。

● G暗証番号を登録していないときは、パスワード表示窓スイッチにタッチします。

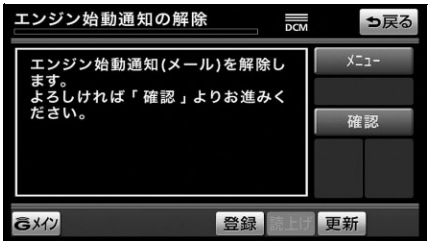
● ソフトウェアキーボードで入力します。

7 解除 にタッチします。



8 確認 にタッチします。

● 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。



サポートアドレスについて

サポートアドレスは、車両の異常を検知した場合に、お客様にご連絡する際必要となる大切な連絡先です。

G-BOOK利用申込書またはWeb登録で入力いただいた電話番号とEメールアドレスが、あらかじめ登録されています。

連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスの確認・追加・変更

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 メインメニュー にタッチします。



3 セキュリティ にタッチします。



4. G-Security（G セキュリティ）

4 **通知先の設定** にタッチします。



5 追加・変更したい項目にタッチします。

■電話番号登録画面

● Eメールアドレスを追加・変更するときは、**メール** にタッチします。



■Eメールアドレス登録画面

● 電話番号を追加・変更するときは、**TEL** にタッチします。



6 編集画面で入力し **決定** にタッチします。

7 **完了** にタッチします。

アドバイス

予備メールには、携帯電話またはパソコンのメールアドレスを登録できます。

アラーム通知

G-BOOK対応オートアラーム装着車

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動※を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるEメールアドレスや電話番号に通知します。
※詳しくは、別冊の取扱書をご覧ください。
アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（713ページ参照）

- 車外に出た後、ドア・トランクまたはバックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。（次ページ参照）
- バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境の整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-BOOK利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動通知

エンジン始動を検知し、ご指定のEメールアドレスに通知します。
また、車両から離れるとき、携帯電話などから設定しておくと、第三者によるエンジン始動が分かります。
エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（713ページ参照）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。（次ページ参照）
- エンジン始動通知の連絡を受けた後、エンジンスイッチが OFF（LOCK）になったとき、ふたたび通知させることができます。
- エンジン始動通知の連絡を受けた後、10分間隔でふたたび通知させることができます。（24時間経過後、自動解除されます。）

4. G-Security（G セキュリティ）

車両の位置確認

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日24 時間対応）

警備員の派遣

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日24 時間対応）

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

携帯電話での操作について

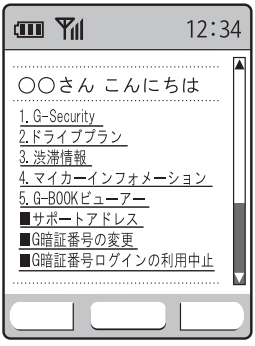
G-Securityの設定・変更は、携帯電話のG-BOOKサイトからもおこなうことができます。
G-Securityの携帯電話での操作について簡単に説明します。

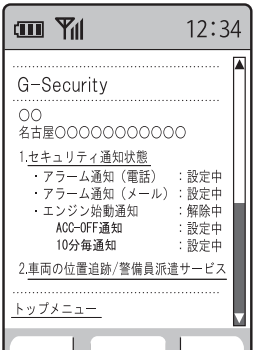
- 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-BOOKのトップページのURLをブックマークとして登録することをおすすめします。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。

1 G-BOOKトップページへアクセスする（http://g-book.com/）

2 ログインする（G暗証番号ログインについては次ページを参照）

3 [G-Security]を選択する





4. G-Security（G セキュリティ）

G暗証番号ログインの登録

携帯電話のG-BOOKサイトでG暗証番号ログインの登録を行うと、サイトに簡単にログインできます。

G-BOOKのトップページへアクセスします。



QRコード※1

↓

[G暗証番号ログインの登録] を選択します。

↓

携帯電話情報を送信しますか？※2

[はい] を選択します。

↓

IDとパスワードを入力します。

↓

[送信] を選択します。

↓

G暗証番号を入力します。※3

↓

[登録する] を選択します。

↓

[G-BOOKトップメニュー] を選択します。

↓

操作が完了します。

※1 QR コードからアクセスできない場合は、URL（http://g-book.com/）からアクセスしてください。

※2 一部機種のみ表示されます。（メッセージは機種により異なります。）

※3 すでに登録しているときはスキップします。

パソコンでの操作について

G-Securityの設定・変更は、パソコンのG-BOOKサイトからもおこなうことができます。
G-Securityのパソコンでの操作について簡単に説明します。

- パソコン本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-BOOKのトップページのURLをブックマークとして登録することをおすすめします。
- 表示画面は、パソコンの機種により異なります。

G-BOOKのトップページへアクセスします。
（http://g-book.com/）
↓
[ログイン]を選択します。
↓
IDとパスワードを入力してログインします。
↓
[G-BOOK設定] を選択します。
↓
[セキュリティ設定] を選択して、[更新] にて設定・変更を行います。
↓
操作が完了します。

5. オペレーターサービス

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

■オペレーターサービスメニュー

ドライブサポート ..... ●ナビの目的地設定　●施設情報の案内／交通情報の案内
●駐車場の案内　●ニュース／天気予報の配信
●電話番号の案内　●夜間・休日診療機関の案内

セキュリティサービス ..... ●オートアラームの作動連絡　●盗難車両の位置追跡
（G-BOOK mX Pro契約が必要）●警備員の派遣手配

トラブルサポート ..... ●ロードアシスト24への取次ぎ

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
申込	Web登録が必要 （有料）	不要
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料※

※ 携帯電話・固定電話からの通話料は、お客様のご負担になります。

利用料金や詳しいサービス内容については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

アドバイス

- 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、MAP にタッチして地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
- オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
- マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
- G-BOOKオンラインサービスを通信モジュールで使用する場合、電話機選択で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的にBluetooth接続が切断されます。

オペレーターサービスを購入する

G-BOOK mX利用時

利用するには、事前にWeb登録をした上で、コンテンツの購入手続きをします。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 オペレーター にタッチします。



3 画面の指示にしたがって、購入手続きをします。

アドバイス

G-BOOK mX Proをご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。着信やオペレーター以外への発信はできません。※
本機からご利用の場合は通話料は必要ありませんが、携帯電話、自宅やオフィスの電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。
詳しくは、**「携帯電話・固定電話から利用する」**725 ページをご覧ください。
※自動車専用ハンズフリー電話を契約した場合は、着信やオペレーター以外への発信も可能です。

5. オペレーターサービス

オペレーターサービスを使う

車内よりオペレーターサービスを利用する場合の使用例を紹介します。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 オペレーター にタッチします。



3 オペレーターに接続します。

● 中止するときは、切断 （携帯電話使用時）または 中止 （通信モジュール使用時）にタッチします。



4 オペレーターと通話します。

●「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。



5 オペレーターとの通話が終了します。

● 自動的に回線が切断されます。



6 画面の指示にしたがって操作します。

●「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOK センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。



携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

1 オペレーターに電話をかけます。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日24 時間対応）

2 利用したい内容を伝えます。

- ドライブサポート
- トラブルサポート

3 本機に情報の送信を依頼した場合は、手動で受信します。

- 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチをACC またはON にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。表示されない場合は、手動で情報を取得してください。（右記参照）

手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

1 G・INFO にタッチします。

- G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 情報確認 にタッチします。

3 メッセージが表示されたら、はい にタッチします。



■メッセージが表示されないときは

4 受信一覧 にタッチします。

- 過去に依頼した情報が表示されます。



アドバイス

- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。
- 通話料はお客様のご負担になります。

6. G-BOOKとナビの連携機能

ナビ連携機能について

ナビ連携機能は、ナビゲーションとG-BOOKセンターを通信でつなぐことにより、リアルタイムな情報を提供し、ナビゲーションを更に有効に活用できる機能です。
ナビ連携機能には、次の機能があります。

● **渋滞予測** ..... 次ページ
渋滞予測情報を表示します。
● **Gルート探索（プローブ情報付）** 731ページ
VICSとプローブコミュニケーション交通情報で最適なルートを案内します。
● **Gメモリ地点**※ 733ページ
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを、本機でGメモリ地点として利用します。
● **ドライブプラン**※ 734ページ
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランを本機で利用します。
● **Gで設定**※ 735ページ
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランや、Gメモリを本機で利用します。
● **施設情報表示** 737ページ
施設の情報を表示します。
● **G情報マーク表示** 738ページ
G情報マークを表示します。
● **G情報マーク連動サービス** 739ページ
G情報マーク連動サービスを利用します。

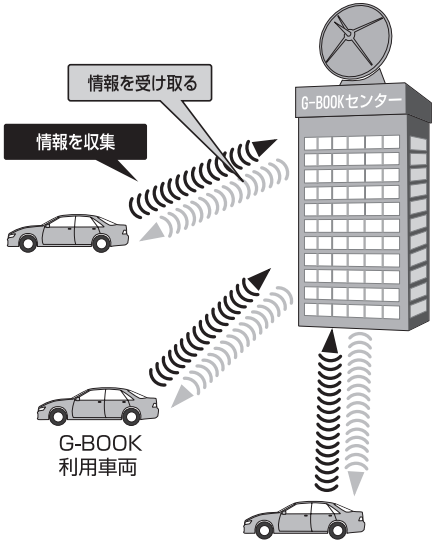
※G-BOOK mXをweb登録しないでご利用の場合は、PC・携帯連携の利用手続き（679 ページ参照）が必要です。

■プローブコミュニケーション交通情報について

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK利用車両の走行情報をG-BOOKセンターで集約し、G-BOOK利用車両に配信するリアルタイムな交通情報です。G-BOOK利用車両が増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。この情報は、次の機能・サービスに利用されています。

- VICS情報の表示（257ページ参照）
- G ルート探索（731ページ参照）
- 到着予想時刻（188ページ参照）

また、ここで得られた交通情報は、独自の統計処理により地図データベースに格納されており、統計情報として地図上に表示することができます。



渋滞予測情報を表示する

G-BOOK センターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。
高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。
今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。



●渋滞予測情報画面

渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表　示	名　称	内　容
（赤色）	渋滞	渋滞の区間を示しています。
（橙色）	混雑	混雑の区間を示しています。
（黒色）	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
（灰色）	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

■渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路
  松永道路、名阪道路、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※情報提供路線は随時更新されます。

6. G-BOOK とナビの連携機能

1 G・INFO にタッチします。

● 情報以外が選択されているときは 情報 にタッチします。

2 渋滞予測 にタッチします。



3 G-BOOK センターに接続し、渋滞予測情報を取得します。

● 情報の表示および読み上げを行います。

● 中止するときは、 切断 （携帯電話使用時）または 中止 （通信モジュール使用時）にタッチします。



渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

次のいずれかにタッチしてください。

＋……渋滞予測時間を進める

－……渋滞予測時間をもどす

現在……現在の渋滞状況を表示する

アドバイス

● 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（747ページ参照）に関係なく、常に読み上げられます。

● 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-BOOK センターに接続しないことがあります。

● 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

● G-BOOK センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。

● 渋滞予測時間を変更したとき、その時間の渋滞予測情報を取得していないときは、G-BOOKセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。
また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。
渋滞増減予測アイコンのON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

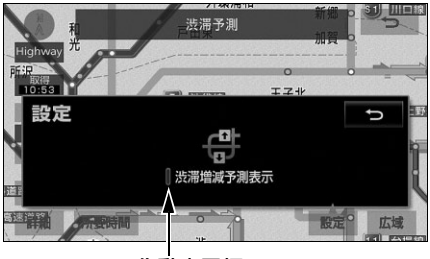
1 情報・G・BTナビ画面（情報）で **渋滞予測** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



3 **渋滞増減予測表示** にタッチします。

- アイコン表示がON のときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないときは、再度 **渋滞増減予測表示** にタッチします。



作動表示灯

4 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチします。

- 渋滞情報を読み上げます。



アイコン	内　容
＋	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
－	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
■	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

アドバイス

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

6. G-BOOK とナビの連携機能

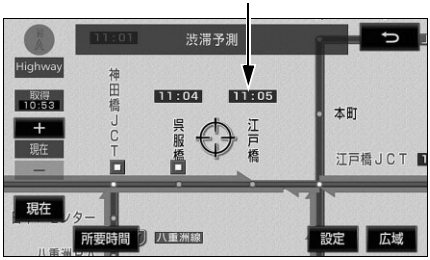
渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 **広域** または **詳細** にタッチします。

● ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上にIC毎の到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻



区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。
ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。



●区間所要時間予測表示

1 情報・G・BTナビ画面（情報）で **渋滞予測** にタッチします。

2 **所要時間** にタッチします。

● G-BOOK センターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

3 区間所要時間予測表示を解除するときは、**終了** または 戻る にタッチします。

アドバイス

- もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定（188ページ参照）で設定した車速から計算されます。そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。
- 区間所要時間予測表示は、出口IC までの距離が遠い場合、出口IC まで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

G ルート探索（プローブ情報付）をする

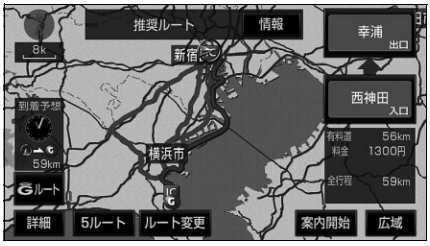
G-BOOK センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。
全ルート図表示画面と再探索画面で使用することができます。

全ルート図表示画面からG ルート探索する

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面から、G ルート探索することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で **Gルート** にタッチします。

- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- 通常のルート探索をしたルートにもどすときは **元ルート** にタッチします。



再探索でG ルート探索する

再探索するときに、G ルート探索することができます。

1 現在地画面で **再探索** にタッチします。



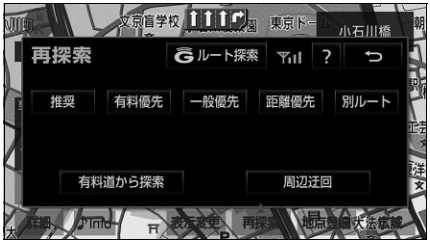
アドバイス

- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、G ルート探索を実行してもルートが変わりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。
- 広域の渋滞予測情報は、再探索に利用する他に、現在地周辺の渋滞情報を表示するために利用されます。
- 目的地案内開始後は、全ルート図表示画面からGルート探索させることはできません。この場合、**再探索** － **Gルート探索** の順にタッチすると、G ルート探索することができます。
- 広域の渋滞予測情報が本機に保存されていれば、**元ルート** にタッチしたあとに **Gルート** にタッチしても、G-BOOK センターに接続されません。
- G ルート探索後にIC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

6. G-BOOK とナビの連携機能

2 **Gルート探索** にタッチします。

- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
- G ルート探索情報の取得を中止するときは **再探索** ― **取得中止** の順にタッチします。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。



G ルート情報の取得を自動継続する

G ルート情報（広域の渋滞予測情報）の取得を自動継続に設定すると、次のタイミングで自動で取得できます。

- 定期的にG-BOOK センターに接続
- JCT 手前や高速道路に乗る手前などでG-BOOK センターに接続

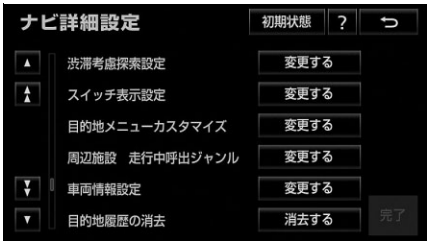
G ルート情報の取得方法について、自動継続のON（する）／ OFF（しない）を選択できます。
設定はナビ詳細画面から行います。（74ページ参照）

1 にタッチします。

2 **ナビ詳細設定** にタッチします。

3 **ルート系設定** にタッチします。

4 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



5 G ルート情報自動継続の **する** にタッチします。

- 解除するときは **しない** にタッチします。



6 **完了** にタッチします。

アドバイス

携帯電話でG-BOOK センターに接続するときの確認メッセージを表示する／しないは、通信設定の通信接続時の確認の項目（761ページ参照）で選択することができます。

G メモリ地点について

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したG メモリを、本機のメモリ地点に登録したものを「G メモリ地点」といいます。
一度G メモリ地点に登録すると、G-BOOKセンターに接続しなくても、Gメモリを呼び出すことができます。

G メモリ地点を登録する

Gメモリを本機に登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

本機から登録する

本機でG-BOOK.com コンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で
Gメモリ にタッチします。

- パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのG メモリ、および本機のG メモリ地点に地点情報が登録されます。

G で設定を使って登録する

「G メモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。（737ページ参照）

G メモリ地点を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。

1 メインメニュー画面で
Gメモリ地点情報 にタッチします。



2 G メモリ地点名称 にタッチします。

- G メモリ地点情報が表示されます。



3 ブラウザ画面に切り替わります。

- G-BOOK.comコンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

アドバイス

- G メモリ地点は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- 同一のG メモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。
- G メモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
  修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。
  詳しくは、「メモリ地点の登録」をご覧ください。（208ページ参照）

6. G-BOOK とナビの連携機能

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておくと、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

1 G・INFO にタッチします。

● G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。

2 ドライブプラン にタッチします。



3 Myルート にタッチします。



4 設定したいルートにタッチします。



5 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始します。

アドバイス

- 目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
  なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。
- ドライブプランは次のサービスからも利用できます。
  - My リクエスト（773ページ参照）
  - G で設定（次ページ参照）

G で設定について

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランやGメモリを、本機で利用することができます。

G で設定画面を表示する

1 DEST にタッチします。

2 Gで設定 にタッチします。



G で設定画面から、次の機能を利用できます。

項　目	ページ
ドライブプラン（Myルート）	下記
G メモリ	次ページ
G-BLOG	次ページ
G メモリー括ダウンロード	737

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておくと、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

1 Gで設定画面で ドライブプラン（Myルート） にタッチします。



2 設定したいドライブプランにタッチします。



3 はい にタッチします。



4 案内開始 にタッチすると、ルート探索を開始します。

アドバイス

目的地が設定されているときに Gで設定 で目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

6. G-BOOK とナビの連携機能

G メモリを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したG メモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

1 Gで設定画面で **Gメモリ** にタッチします。



2 目的地に設定したいG メモリにタッチします。



3 **はい** にタッチします。



4 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

G-BLOGを利用する

GAZOO.com のユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

1 Gで設定画面で **G-BLOG** にタッチします。



2 目的に合わせて検索します。



3 画面の指示にしたがって操作します。

4 スポット詳細情報画面で **地図** にタッチします。



5 **目的地セット** にタッチします。



6 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

G メモリを一括ダウンロードする

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したG メモリを一度本機に一括ダウンロードすると、次からはG-BOOK センターに接続しなくてもナビのメモリ地点（G メモリ地点）として常に利用することができます。

1 Gで設定画面で **Gメモリー括ダウンロード** にタッチします。



2 ダウンロード完了の画面が表示されます。

● G メモリ地点として利用できます。**「G メモリ地点について」**（733ページ）をご覧ください。

施設の情報を表示する

地図上にG-BOOK.com コンテンツから取得したアイコンが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチします。



2 **情報** にタッチします。



3 ブラウザ画面に切り替わります。

● 詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

6. G-BOOK とナビの連携機能

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-BOOK.com コンテンツが提供する地点情報です。
通常は、情報を取得すると自動でG 情報マークが地図に表示されます。
G 情報マークが表示されていないときは、次の手順で表示することができます。



●G情報マーク表示

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

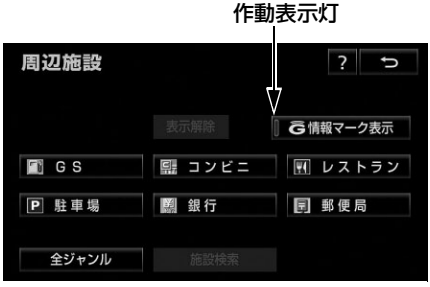


2 **周辺施設** にタッチします。



3 **G情報マーク表示** にタッチします。

- 取得済みのG情報マークが表示されます。
- G 情報マーク表示がON のときは、作動表示灯が点灯します。
- G 情報マーク表示を解除するときは再度 **G情報マーク表示** にタッチします。
- ナビ詳細設定の周辺施設表示設定（74ページ参照）からも設定することができます。



アドバイス

G情報マーク表示 で表示／非表示を切り替えることができるG 情報マークは、次のいずれかになります。

- パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのG メモリを表示させたG 情報マーク
- My リクエストなどで、G-BOOK.com コンテンツを利用して表示させたG 情報マーク

なお、G メモリ地点のG 情報マークは常に表示され、非表示にすることはできません。

G情報マークの表示種類について

G-BOOK.comコンテンツで取得したG情報マークには以下の種類があります。G情報マークは、表示／非表示を設定できます。（740ページ参照）



●G-駐車場利用時

マーク	内容	
	G-BOOK.comコンテンツから取得した施設や地点情報	
P（赤色）	G-駐車場	満車
P（橙色）		混雑
P（青色）		空車
P（灰色）		満空情報なし
		車両制限の可能性あり
		休止中

G 情報マーク連動サービスについて

G 情報マーク連動サービスを利用すると、現在地が近接案内情報を持つ施設などに近づいたとき、その施設などの情報を読み上げ、G-BOOK センターから情報を取得します。

ナビ詳細設定のG 情報マーク連動サービス※で **する** を選択しているときに利用することができます。

※ G-BOOK 利用契約をされているときに操作することができます。

■G情報マーク連動サービスを利用するコンテンツ

● G-駐車場

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近づくと最新の満空情報に自動で更新されます。表示される駐車場のマークについては**「G情報マークの表示種類について」**（左記参照）をご覧ください。

アドバイス

G-駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

6. G-BOOK とナビの連携機能

G 情報マーク連動サービスの設定をする

G 情報マーク連動サービスは、サービスをON（する）にするか、OFF（しない）にするか選ぶことができます。

設定はナビ詳細設定画面から行います。（74ページ参照）

1 ナビ詳細設定画面で **案内表示設定** にタッチします。

2 G 情報マーク連動サービスの **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

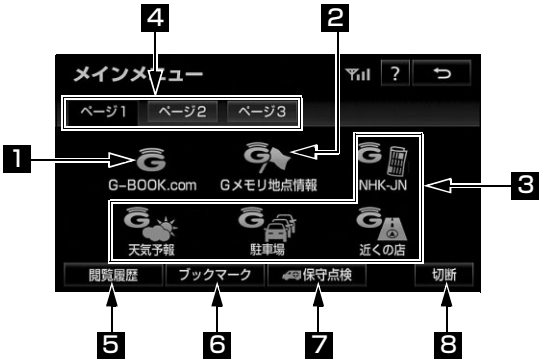
アドバイス

- ナビ詳細設定のG情報マーク連動サービスの設定は、初期状態では「する」が選択されています。
- 近接案内は、G 情報マークの地点情報を取得していれば、マークの表示に関係なく行われます。また、マークが表示されていない場合でも、近接案内が行われるとマークが自動で表示されます。
- 近接案内情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（747ページ参照）に関係なく、常に読み上げられます。
- 近接案内情報の読み上げ中の操作は、My リクエスト（769 ページ参照）と同様です。
- 近接案内中に別の近接案内対象施設に近づいたときは、案内中の近接案内は中止され、次の近接案内に切り替わります。
- 携帯電話で接続するときは、G 情報マーク連動サービスで **する** を選択すると、携帯電話が正しく接続されている場合に近接案内が行われます。

7. メインメニュー

メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOKオンラインサービスの各コンテンツを起動するメニューです。
情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）で **メインメニュー** にタッチすると表示されます。



	スイッチ	機　能
1	**G-BOOK.comスイッチ**	G-BOOKセンターに接続し、ブラウザ画面（743ページ参照）が表示され、G-BOOK.comコンテンツが閲覧できます。
2	**Gメモリ地点情報スイッチ**	Gメモリ地点情報のリスト画面を表示します。（733ページ参照）
3	**コンテンツスイッチ**	該当のサービスにアクセスできます。 表示されるスイッチは、ご利用のサービスにより異なります。
4	**ページ切り替えスイッチ**	ページを切り替えます。
5	**閲覧履歴スイッチ**	閲覧履歴画面（749ページ参照）を表示します。

アドバイス

Gメモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（208ページ参照）

7. メインメニュー

	スイッチ	機　能
6	**ブックマークスイッチ**	ブックマーク画面（751ページ参照）を表示します。
7	**保守点検スイッチ**	ヘルプネットの手動保守点検を実施します。（705ページ参照）
8	**切断スイッチ** 携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。

アドバイス

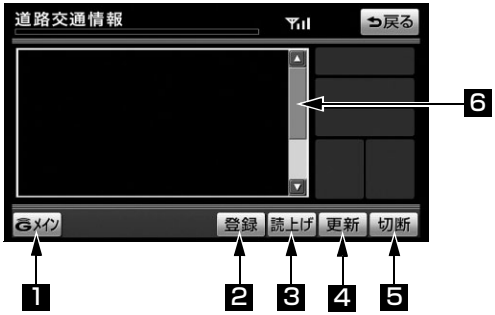
G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-BOOK オンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。
ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。
各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。



	スイッチ	機　能
1	**Gメイン／終了スイッチ**	**Gメイン**……メインメニュー画面にもどります。 **終了**…… ブラウザ画面を終了し、ブラウザ表示前の画面にもどります。
2	**登録スイッチ**	表示中のページをブックマークに登録できます。 登録したブックマークを表示するときは**「ブックマークしたコンテンツを見る」**（751ページ参照）をご覧ください。
3	**読上げスイッチ**	読み上げを開始します。 読み上げ情報がないときは、スイッチがトーンダウンします。

アドバイス

読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（747ページ参照）

7. メインメニュー

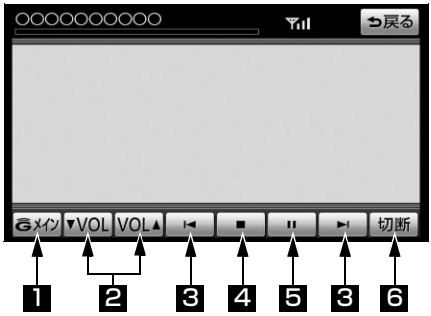
	スイッチ	機　能
4	更新／中止スイッチ	更新 …… コンテンツの再読み込みをして画面を更新します。 （コンテンツの読み込みが完了、または中断しているときに表示されます。） 中止 ……コンテンツの読み込みを中止します。 （コンテンツの読み込み中に表示されます。）
5	切断スイッチ 携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。
6	スクロールスイッチ	表示中のページが画面に収まらないとき、スクロールバーにタッチすると画面が移動します。 タッチし続けると、連続して画面が移動します。 走行中はスクロール操作できません。

アドバイス

- コンテンツの読み込み中に 中止 にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
  - 更新 にタッチして、コンテンツを再取得する。
  - 戻る にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。
- G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



	スイッチ	機　能
1	**Gメインスイッチ**	メインメニュー画面にもどります。
2	**音量調整スイッチ**	コンテンツを読み上げるときの音量が調整できます。 ▼VOL …… 音量が小さくなります。 VOL▲ …… 音量が大きくなります。
3	**前項目／次項目スイッチ**	読み上げの開始位置を変更できます。 ⏮ ……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、⏮ にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。 ⏭ ……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。
4	**停止スイッチ**	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
5	**ポーズ／再開スイッチ**	⏸ ……コンテンツの読み上げを一時停止します。 （読み上げ中に表示されます。） ▶ ……読み上げていた項目の頭から読み上げを再開します。 （読み上げ一時停止中に表示されます。）

7. メインメニュー

	スイッチ	機　能
6	**切断スイッチ** 携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。

アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

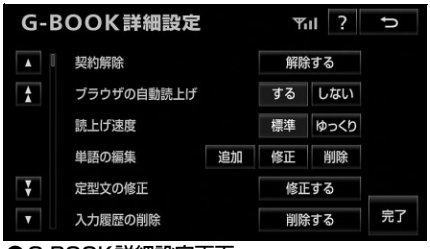
ブラウザの設定をする

G-BOOK 詳細設定で、次の項目を設定することができます。

1 にタッチします。

2 G-BOOK にタッチします。

3 G-BOOK詳細設定 にタッチします。



●G-BOOK詳細設定画面

■ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

ブラウザの自動読上げの **する** にタッチすると、設定されます。

● 解除するときは **しない** にタッチします。

■読上げ速度

読み上げが聞き取りづらいとき、読み上げの速度を設定することができます。

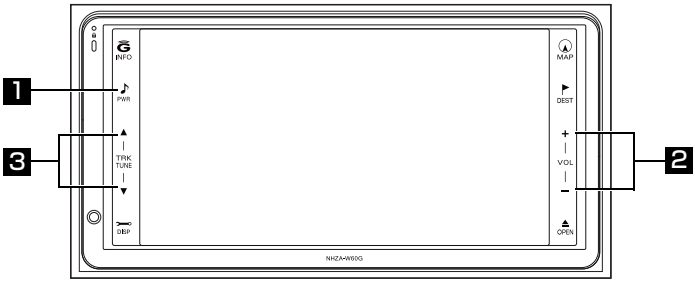
標準……標準の速度で読み上げます

ゆっくり……ゆっくり読み上げます

設定が終わったら、**完了** にタッチします。

7. メインメニュー

本機のスイッチで操作する



	スイッチ	機　能
1	PWRスイッチ	コンテンツの読み上げを停止します。
2	VOLスイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整します。 VOL＋……音量が大きくなります。 VOL－……音量が小さくなります。
3	TRK TUNEスイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。 TRK TUNE▲…… 次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 TRK TUNE▼…… 読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは TRK TUNE▼ にタッチしてから1秒以内に再度タッチします。

ステアリングスイッチで操作する

ブラウザ画面はステアリングスイッチからも操作することができます。
ステアリングスイッチの操作については、**「ステアリングスイッチについて」**（793ページ）をご覧ください。

閲覧履歴について

閲覧履歴には、これまでにブラウザで閲覧したコンテンツのタイトルが、閲覧した日付が新しいものから順に保存されています。以前に閲覧したコンテンツを再度閲覧したい場合に使用すると便利です。

閲覧履歴は、最大100 件まで登録されます。100 件以上になると、古いものから順に削除されます。

閲覧履歴からコンテンツを表示する

1 メインメニュー画面で **閲覧履歴** にタッチします。



2 閲覧したいコンテンツにタッチします。

- リストは最近閲覧したコンテンツの順に表示されます。
- リストの先頭に移動するときは **最新** にタッチします。



7. メインメニュー

閲覧履歴を削除する

閲覧履歴は 100 件以上になると古いものから順に削除されますが、任意で履歴を削除することもできます。

1 にタッチします。

2 G-BOOK にタッチします。

3 プライバシー設定 にタッチします。

4 閲覧履歴の 削除 にタッチします。



5 削除したい閲覧履歴にタッチします。

● すべての履歴を削除するときは 全削除 にタッチします。



6 はい にタッチします。



ブックマークについて

ブラウザで表示しているページをブックマークに登録することができます。
ブックマークは、閲覧履歴のように古いものから順に削除されることがありません。
そのため、再度閲覧したいページがあるときなどに使用すると、ブックマーク画面から簡単にそのページを表示することができます。
また、登録したブックマークのタイトルは、あとで修正することができます。
ブックマークは最大50件まで登録できます。

ブックマークに登録する

1 ブラウザ画面（743ページ参照）で、ブックマークに登録したいページを表示します。

2 **登録** にタッチします。



3 同じブックマークが登録されているときはメッセージが表示されます。
置き換えてもよければ、**はい** にタッチします。



ブックマークしたコンテンツを見る

1 メインメニュー画面で
ブックマーク にタッチします。



2 希望のブックマークにタッチします。

● リストを並べ替えるときは**「リストを並べ替える」**（下記）をご覧ください。



リストを並べ替える

リストは登録順と閲覧順の2 種類の並べ方をさせることができます。

登録順……ブックマークに登録した日時が新しいものから順に並べます。

閲覧順……コンテンツを最後に閲覧した日時が新しいものから順に並べます。

アドバイス

ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。そのようなページでは、登録スイッチがトーンダウンします。

7. メインメニュー

ブックマークの修正をする

ブックマークのタイトルは、ブックマークを探しやすくするなどの目的で、お好みのタイトルに変更することができます。

1 にタッチします。

2 **G-BOOK** にタッチします。

3 **プライバシー設定** にタッチします。

4 ブックマークの **修正** にタッチします。



5 修正したいブックマークにタッチします。



6 **タイトル** にタッチします。



7 タイトルを修正します。

● ソフトウェアキーボードで入力します。



8 **完了** にタッチします。



ブックマークを削除する

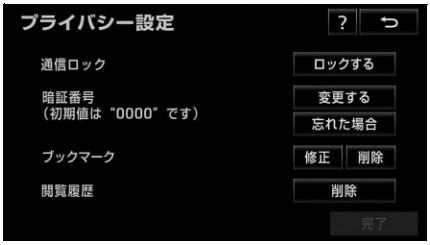
ブックマークは、最大50件まで登録できます。最大登録件数を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されます。この場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

1 にタッチします。

2 G-BOOK にタッチします。

3 プライバシー設定 にタッチします。

4 ブックマークの 削除 にタッチします。



5 削除したいブックマークにタッチします。

● すべてのブックマークを削除するときは 全削除 にタッチして、7 の手順を操作します。



6 削除 にタッチします。



7 はい にタッチします。



8. G-BOOKの設定

設定・編集画面を表示する

G-BOOK オンラインサービスを利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 にタッチします。

2 **G-BOOK** にタッチします。



●設定・編集画面（G-BOOK）

設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。

項　目	ページ
プライバシー設定	右記
通信設定※	760
G-BOOK 詳細設定	762
My リクエスト編集	774
G-SOUND 削除	783

※携帯電話接続時のみ設定することができます。

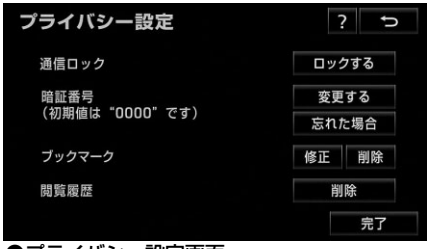
プライバシー設定をする

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

1 設定・編集画面（G-BOOK）で **プライバシー設定** にタッチします。



2 各項目を設定します。



●プライバシー設定画面

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

項　目	ページ
暗証番号を変更する	次ページ
通信ロックを使う	758
ブックマークの修正と削除をする	752、753
ブラウザ閲覧履歴を削除する	750

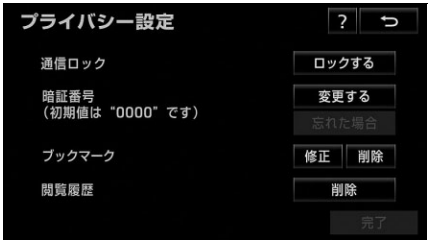
暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（758ページ参照）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

- **暗証番号は4 桁の数字です。**初期設定は「0000」になっています。
  暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- **質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。**（757ページ参照）
  質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

暗証番号を変更するときも、同様の操作で行なうことができます。

1 プライバシー設定画面で、暗証番号の **変更する** にタッチします。



2 現在の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。

- はじめて設定するときは「0000」を入力します。
- 変更するときは 設定してある暗証番号を入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチします。
- 暗証番号を忘れたときは 「暗証番号を忘れた場合」（757ページ参照）をご覧ください。



アドバイス

完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする。
- エンジンをかけなおす。

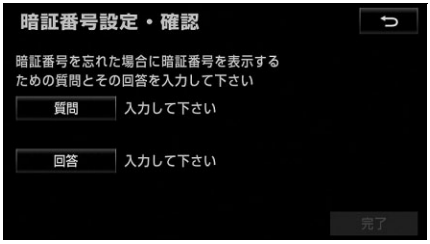
8. G-BOOK の設定

3 新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



4 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。

5 **質問** にタッチします。

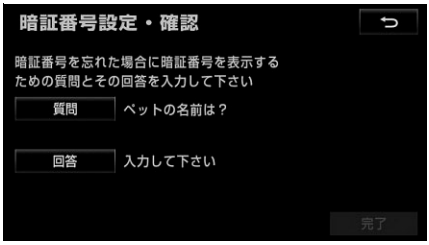


6 質問を入力します。

● ソフトウェアキーボードで入力します。



7 **回答** にタッチします。

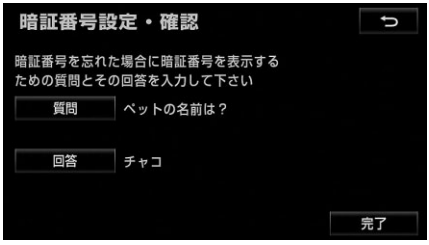


8 回答を入力します。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

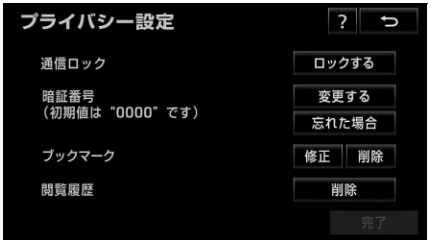


9 **完了** にタッチします。

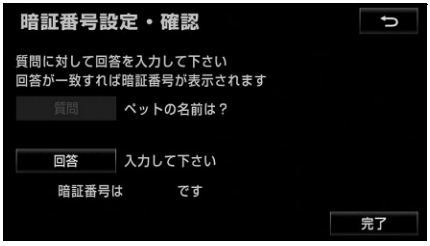


暗証番号を忘れた場合

1 プライバシー設定画面で、暗証番号の **忘れた場合** にタッチします。



2 **回答** にタッチします。



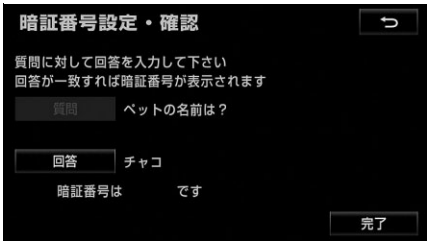
3 回答を入力します。

● ソフトウェアキーボードで入力します。



4 **完了** にタッチします。

● 回答が一致すると、暗証番号が表示されます。



5 暗証番号を確認したら、**完了** にタッチします。

8. G-BOOK の設定

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、G-BOOK オンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。
○：利用できます。
×：利用できません。

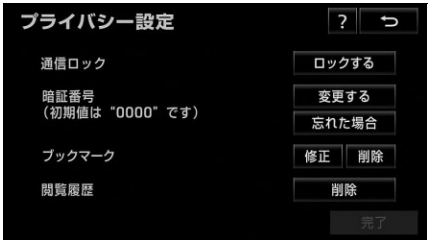
機　能		動　作
ヘルプネット		○
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
My リクエスト		×
オペレーターサービス		×
G-SOUND	G-SOUND（試聴・利用手続き）	×
	G-SOUND コピー	○
CD タイトル情報取得		×
G-BOOK とナビの連携機能	渋滞予測	×
	G ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ地点	○（保存済みデータのみ）
	ドライブプラン	×
	G で設定	×
	施設情報表示	×
	G 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）
マップオンデマンド（地図更新）		×（携帯電話または通信モジュールで更新するとき）

アドバイス

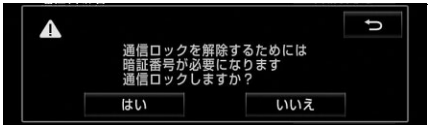
通信ロックを使用するような場合は、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください。
（659、660ページ参照）

ロックする

1 プライバシー設定画面で、通信ロックの **ロックする** にタッチします。

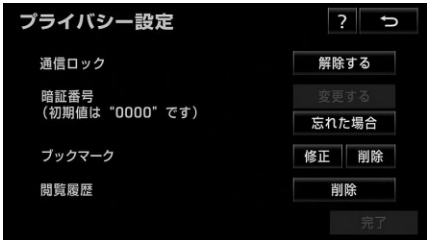


2 **はい** にタッチします。



解除する

1 プライバシー設定画面で、通信ロックの **解除する** にタッチします。



2 暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。

● 間違えたときは **修正** にタッチします。



アドバイス

通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、**「暗証番号を変更する」**をご覧ください。（755ページ参照）

8. G-BOOK の設定

通信設定をする

携帯電話使用時

携帯電話でデータ通信を行う場合、通信に関する各種設定をすることができます。

1 設定・編集画面（G-BOOK）で **通信設定** にタッチします。



2 各項目を設定します。



3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

項　目	ページ
使用する携帯電話の通信設定をする	右記
通信接続時の確認	次ページ
自動通信の設定	次ページ

使用する携帯電話の通信設定をする

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の設定を確認してください。

- 携帯電話を初めて接続するとき
- 携帯電話の機種を変更したとき
- バッテリーの接続が断たれたとき
- ハンズフリーで使用する携帯電話を変更したとき

通信事業者の設定が間違っていると、G-BOOK オンラインサービスを利用できません。

1 使用する携帯電話の通信事業者を選択します。



au	au のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
FOMA	FOMA のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank	SoftBank のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

※ auはKDDI 株式会社の商標または登録商標です。
※「FOMA ／フォーマ」は株式会社NTT ドコモの商標です。
※ SoftBank はソフトバンクモバイル株式会社の商標です。

アドバイス

- **完了** にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
  - エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする。
  - エンジンをかけなおす。
- 次の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。
  - 使用する携帯電話の設定
  - 通信接続時の確認

通信接続時の確認

携帯電話でG-BOOK センターへ接続するときに、確認のメッセージを表示することができます。

1 通信接続時の確認の **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。



自動通信の設定

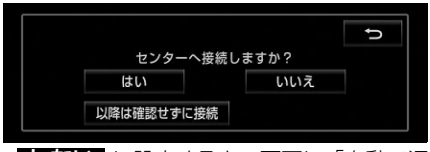
携帯電話による自動通信をすることができます。

1 自動通信の **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。

アドバイス

● 接続確認画面で **以降は確認せずに接続** にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。
このとき、通信接続時の確認は **しない** に設定されます。
再度表示したいときは、通信接続時の確認を **する** に設定してください。



● 通信接続時の確認を **しない** に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認いただくためのものです。

● 電話機選択（638ページ参照）で携帯電話を変更すると、自動通信の設定も **する** に変更されます。**しない** を選択していた場合は、設定しなおしてください。
自動通信の設定を **しない** に設定しても、G ルート情報自動継続の設定（732ページ参照）により自動で通信する場合があります。

8. G-BOOK の設定

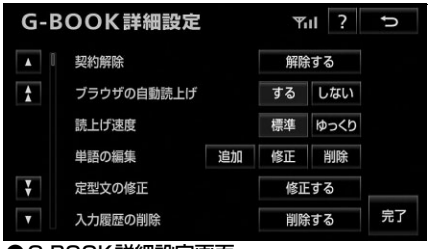
G-BOOK 詳細設定をする

G-BOOK に関する各種設定をすることができます。

1 設定・編集画面（G-BOOK）で、**G-BOOK詳細設定** にタッチします。



2 各項目を設定します。



●G-BOOK詳細設定画面

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

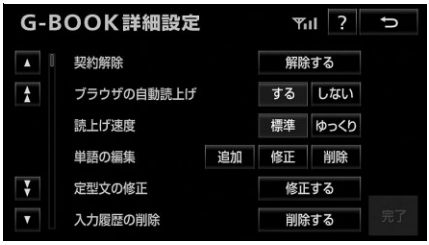
項　目	ページ
ブラウザの自動読上げ	747
読上げ速度の選択	747
単語の編集	右記
定型文の修正	764
入力履歴の削除	765
予測変換候補の表示設定	765
契約の解除手続き	690

単語の編集

読みと単語を指定して、本機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

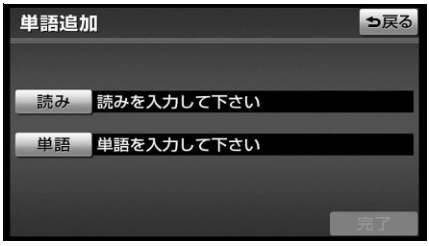
単語の追加

1 G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **追加** にタッチします。



2 **読み** および **単語** にタッチして、それぞれ入力します。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 句読点などの読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを登録できません。



3 **完了** にタッチします。



単語の修正

1 G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **修正** にタッチします。

2 修正したい単語の右側にある **修正** にタッチします。



3 **読み** および **単語** にタッチして、修正します。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 句読点などの読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを修正できません。



4 **完了** にタッチします。

- 引き続き単語の修正をするときは **2** ～ **4** を繰り返します。



8. G-BOOK の設定

単語の削除

1 G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **削除** にタッチします。

2 削除したい単語の右側にある **削除** にタッチします。

● すべての単語を削除するときは **全削除** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。

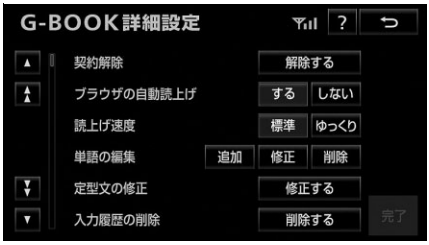


定型文の修正

本機に登録されている定型文を修正することができます。ただし、新規の文章を追加で登録することはできません。

1 G-BOOK詳細設定画面で、定型文の修正の **修正する** にタッチします。

● 定型文修正画面が表示されます。



2 修正したい定型文にタッチします。



3 定型文を編集して、**完了** にタッチします。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

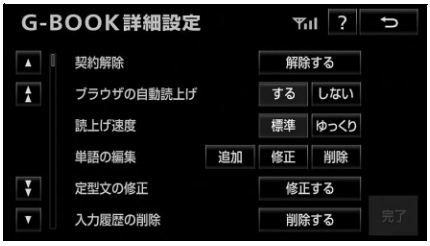
● 定型文は全角で最大 17 文字まで入力することができます。

入力履歴の削除

入力した単語や文章の履歴を削除することができます。

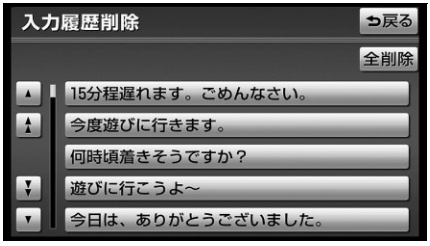
1 G-BOOK詳細設定画面で、入力履歴の削除の **削除する** にタッチします。

● 入力履歴削除画面が表示されます。



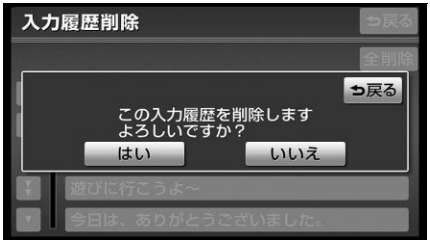
2 削除したい入力履歴にタッチします。

● すべての入力履歴を削除するときは、**全削除** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

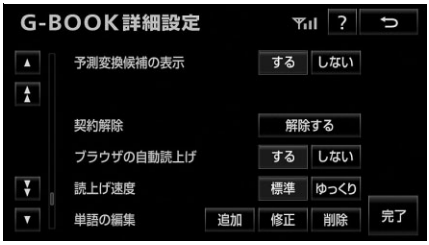
● **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。



予測変換候補の表示

単語や文章を入力する際に、予測変換候補を表示するかしないか設定することができます。

1 G-BOOK詳細設定画面で、予測変換候補の表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

8. G-BOOK の設定

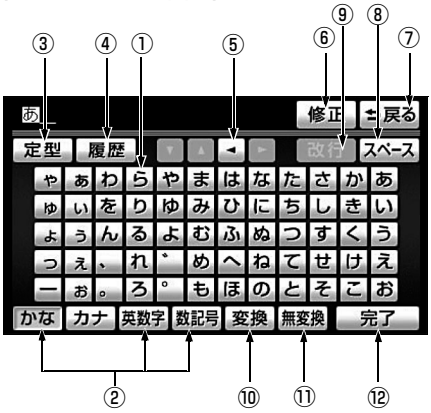
ソフトウェアキーボードの使い方

ブラウザなどで文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボード画面が表示されます。

ソフトウェアキーボード画面

ソフトウェアキーボード画面には、下記の入力画面があります。

〈かな・漢字入力画面〉



〈カタカナ入力画面〉



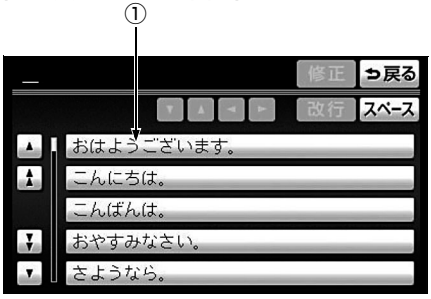
〈英字・数字入力画面〉



〈数字・記号入力画面〉



〈定型文・履歴入力画面〉



①文字入力スイッチ

文字を入力します。
定型文入力画面では、選んだ文を入力します。

②入力モード切り替えスイッチ

文字の入力モードを切り替えます。

かな …ひらがな、漢字を入力します。

カナ …カタカナを入力します。

英数字 …アルファベット、数字を入力します。

数記号 …数字、記号を入力します。

③定型スイッチ

定型文を入力するときに使用します。

④履歴スイッチ

前回までに入力した文字列の履歴から入力するときに使用します。

⑤カーソル移動スイッチ

カーソルの移動ができます。

タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。
確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
なお、未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。

⑥修正スイッチ

文字が消去できます。
タッチし続けると、すべての文字が消去できます。

⑦戻るスイッチ

各入力画面を終了します。

⑧スペーススイッチ

カーソル位置に空白が入力できます。

⑨改行スイッチ

改行をします。

タッチスイッチがトーンダウンしているときは、タッチしても操作できません。

⑩変換スイッチ

かな文字入力後にタッチすると、漢字に変換します。

⑪無変換スイッチ

かな文字入力後にタッチすると、ひらがなで入力します。

⑫完了スイッチ

すべての文字を入力後にタッチします。
前の画面（ブラウザ画面）にもどり、文字が入力されます。

⑬全角／半角スイッチ

タッチするたびに、半角入力と全角入力が切り替わります。

⑭大文字／小文字スイッチ

タッチするたびに、大文字と小文字が切り替わります。

⑮ページ切り替えスイッチ

表示するページを切り替えます。

8. G-BOOK の設定

漢字に変換するには

1 かな入力状態で、文字を入力します。

2 **変換** にタッチします。

● 漢字変換候補が表示されます。



3 すべての文字が変換されたままの状態でよければ、**全確定** にタッチします。入力したい文字でないときは、漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。

● 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチすると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



入力したい漢字に変換されないときは

漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を一つずつ変換してください。

1 漢字変換候補リストで、**単漢字** にタッチします。

● 単漢字変換候補が表示されます。



2 単漢字変換候補から、希望の候補を選択しタッチします。

● 単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。

● 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチすると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



9. My リクエスト

My リクエストについて

My リクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。

- G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。
- G-BOOK mXをWeb 登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。

操作は、My リクエスト画面をタッチする方法と、音声認識で行う方法があります。

My リクエスト画面で操作する

1 G・INFO にタッチします。

2 My リクエスト にタッチします。

- G-BOOK　以外が選択されているときは G-BOOK にタッチします。



	スイッチ	機　能
1	**音量調整スイッチ**	コンテンツの読み上げ音量が調整できます。 ▼VOL……音量が小さくなります。 VOL▲……音量が大きくなります。
2	**前項目／次項目スイッチ**	読み上げの開始位置を変更できます。 ⏮……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、⏮ にタッチしてから約１秒以内に再度タッチしてください。 ⏭……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。

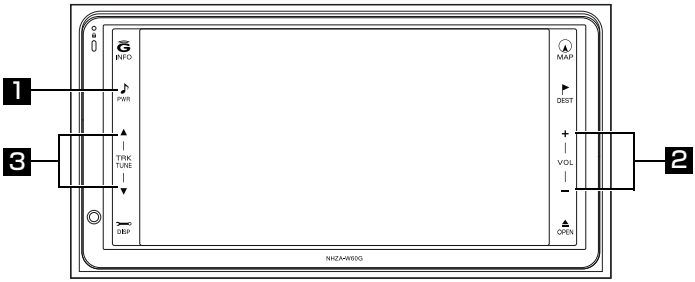
9. My リクエスト

	スイッチ	機　能
3	**停止スイッチ**	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
4	**ポーズ／再開スイッチ**	⏸…… コンテンツの読み上げを一時停止します。 （読み上げ中に表示されます。） ▶…… 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開します。 （読み上げ一時停止中に表示されます。）
5	**切断スイッチ** 携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。
6	**中止スイッチ** 通信モジュール使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を中止します。

アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できない場合があります。

本機のスイッチで操作する



	スイッチ	機　能
1	PWRスイッチ	コンテンツの読み上げを停止します。
2	VOLスイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整します。 VOL＋……音量が大きくなります。 VOL－……音量が小さくなります。
3	TRK TUNEスイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。 TRK TUNE▲…… 次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 TRK TUNE▼…… 読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは TRK TUNE▼ にタッチしてから1秒以内に再度タッチします。

ステアリングスイッチで操作する

My リクエスト画面はステアリングスイッチからも操作することができます。
ステアリングスイッチの操作については、**「ステアリングスイッチについて」**（793ページ）をご覧ください。

9. My リクエスト

My リクエストを使う

1 My リクエスト画面でリクエストしたいコンテンツにタッチします。



2 ナビ画面に切り替わります。

- データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。
- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

通信中マーク



読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、本機のスイッチやステアリングスイッチで操作する（前ページ参照）か、My リクエスト画面を表示させてタッチスイッチで操作します。（769ページ参照）

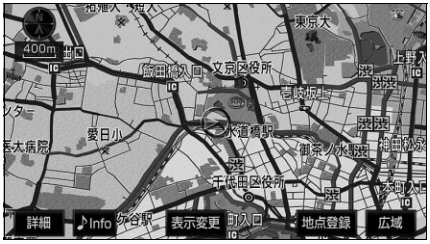
アドバイス

- 走行中はリストを動かすことができません。2 ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、音声認識でリクエストしてください。（774ページ参照）
- コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。状況によって、次のようになります。
  - 運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
  - ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。
- コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。
- コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。
- リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読上げの設定（747ページ参照）に関係なく行われます。

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチします。



2 **情報** にタッチします。

● ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。



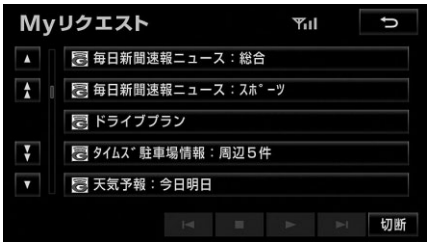
3 スポット詳細情報が表示されます。



ドライブプランを利用する

My リクエストからもドライブプランを利用できます。

1 My リクエスト画面で、**ドライブプラン** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



3 **「ドライブプランを利用する」**（734ページ）を参照してください。

アドバイス

- アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。
- リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示／非表示を設定することができます。（738ページ参照）

9. My リクエスト

音声認識でリクエストをする

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

リクエストのしかたについては**「My リクエストを使う」**（772ページ参照）をご覧ください。

リクエストしたあとの操作については、My リクエスト画面からタッチスイッチでリクエストした場合と同様です。

My リクエストの編集をする

My リクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。

G-BOOK mXをWeb 登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方のみ操作できます。

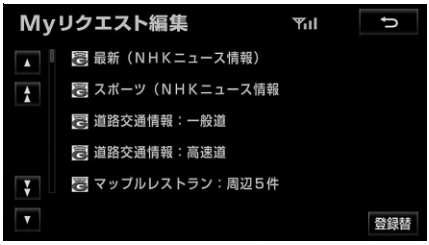
1 にタッチします。

2 G-BOOK にタッチします。

3 My リクエスト編集 にタッチします。



4 登録替 にタッチします。



5 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録します。

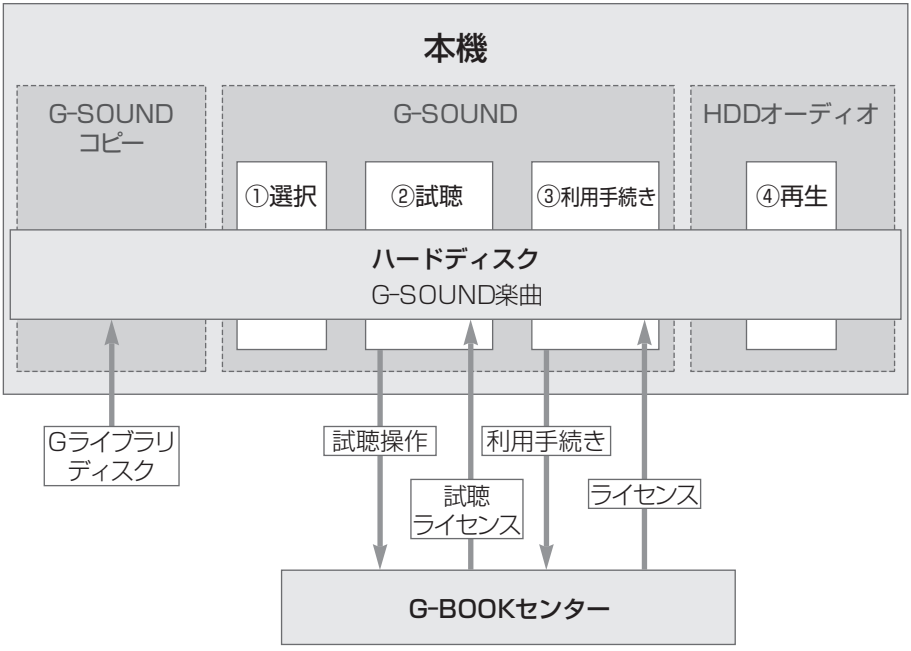


10.G-SOUND

G-SOUNDについて

G-SOUND は、本機のハードディスクに保存されている曲（G-SOUND 楽曲）を、利用手続きをしてG-BOOK センターからライセンスを取得することにより、再生可能にするサービスです。
有料カプセルおよび単曲は、G-BOOK mXをWeb 登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方のみ利用できます。
次のようにして利用します。
① G-SOUND で、希望の楽曲を選択します。
②楽曲を試聴します。（試聴は省略してもかまいません。）
③利用手続きをします。
④HDDオーディオで、楽曲を再生します。

なお、Gライブラリディスクを入手された場合は、G-SOUNDコピーを利用して本機のハードディスクにコピーすることで、同様に再生することができます。



10.G-SOUND

G-SOUND楽曲について

G-SOUND 楽曲には、「カプセル」と「単曲」があります。

カプセル ……複数の曲が収録されています。タイトルに「無料」と表示されているカプセルは、無料で再生できます。

単曲…… 1 曲のみ収録されています。

本機のハードディスク内に保存されているG-SOUND楽曲は、G-SOUNDを利用して、試聴および利用手続きができます。

単曲は、いろいろな検索条件を設定することで、保存されている楽曲の中から聴きたい楽曲を絞り込むことができます。

また、「オススメ情報」では、季節やドライブコースに合ったカプセルの紹介をしています。

G-SOUND 楽曲は、本機のハードディスクにプリインストールされていますが、次の方法で入手することもできます。

- Gライブラリディスクを入手して、ハードディスクにコピーする。
- G-BOOK センターから楽曲を取得する。

■ライセンスについて

G-SOUND 楽曲を再生するときは、利用手続きをして、その楽曲のライセンスを取得する必要があります。

ライセンスに有効期限が設定されている場合は、有効期限までその楽曲を再生することができます。

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で複製、頒布すること、または改変、インターネットなどによる公衆送信などの行為を行うことは、法律により禁止されています。

アドバイス

- G-BOOKオンラインサービスの利用登録・契約の解除をしても個人情報の初期化をしなければ、ライセンス取得済みのG-SOUND 楽曲はそのままご利用いただけます。
- 本機に保存できるG-SOUND 楽曲は、最大5000 曲※です。
  ※ ハードディスクの空き容量などにより、異なることがあります。

Gライブラリディスクについて

Gライブラリディスクに収録されている楽曲は、G-SOUND コピーを利用して、本機のハードディスクにコピーすることができます。

■Gライブラリディスクに含まれる内容

Gライブラリディスクには、G-SOUND 楽曲（前ページ参照）が収録されています。コピーをするときは、パッケージ単位でコピーされます。



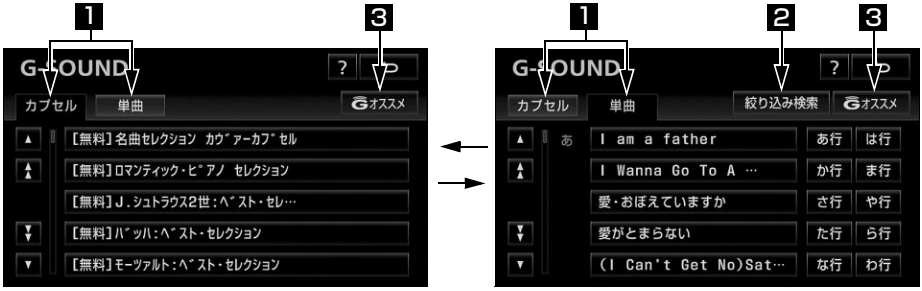
10.G-SOUND

G-SOUND 画面の使い方

1 G・INFO にタッチします。

2 G-SOUND にタッチします。

● G-BOOK以外が選択されているときは
G-BOOK にタッチします。



	スイッチ	機　能
1	カプセル／単曲スイッチ	リストの表示を切り替えます。 カプセル……カプセルを一覧表示します。 単曲…… 単曲を一覧表示します。
2	絞り込み検索スイッチ （単曲一覧表示時のみ）	ハードディスク内のG-SOUND 楽曲の中から、検索条件を変更して希望の楽曲を検索します。
3	G オススメスイッチ	オススメするカプセルと直接配信コンテンツの紹介ページを表示します。

楽曲を試聴する

G-SOUND画面から聴きたい楽曲を選択して、利用手続きの前に試聴することができます。

楽曲の試聴をするには、「試聴ライセンス」が必要です。
試聴ライセンスには、試聴期限または試聴回数が設定されており、それらを超えた楽曲は試聴することができません。

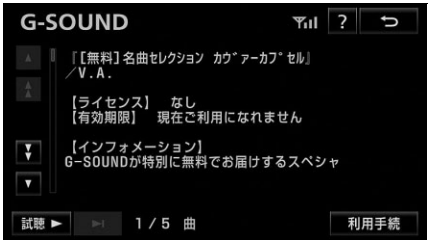
1 G-SOUND画面または絞り込み検索結果画面（781 ページ参照）で、聴きたい楽曲にタッチします。

● 単曲を選択するときは、絞り込み検索をすると便利です。（次ページ参照）



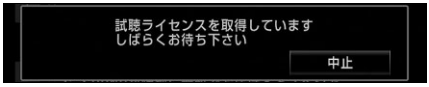
2 試聴▶ にタッチします。

● 試聴は単曲3 回、カプセル3 回まで可能です。



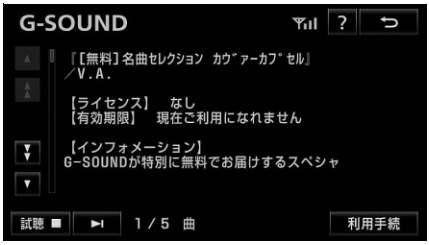
3 試聴ライセンスを取得していない場合は、試聴ライセンスの取得を開始します。

● 中止するときは 中止 にタッチします。



4 試聴再生を開始します。

● 試聴再生を停止するとき 試聴■ にタッチします。
● 次の曲を試聴再生するとき ▶| にタッチします。
● HDDオーディオ操作画面を表示するときは ♪ にタッチします。



アドバイス

● 1回の試聴時間は、1曲あたり約30秒です。
● カプセルの試聴は、カプセル単位での試聴になります。
● 試聴▶ にタッチしたら、その時点で試聴回数は1 回と計算されます。
● 次の場合は、ライセンスの取得が中止されます。
  ● 試聴ライセンスを取得中に他の画面に切り替えたとき
  ● ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったとき

10.G-SOUND

希望の楽曲を検索する

単曲を選択する場合、いろいろな検索条件を設定して希望の楽曲を検索することができます。

1 単曲一覧表示で、**絞り込み検索** にタッチします。



2 検索条件に設定したい項目にタッチします。

- 検索条件を解除するときは項目の右側にある **解除** にタッチします。
- すべての検索条件を解除するときは **全解除** にタッチします。



3 検索条件に設定したい項目にタッチします。



- **2** で **アーティスト** を選択したときは、希望のアーティストにタッチします。



4 **完了** にタッチします。

検索条件表示欄



アドバイス

設定した検索条件は検索条件表示欄に表示されます。◀ または ▶ にタッチしてスクロールさせると、設定した検索条件をすべて確認することができます。

5 絞り込み検索結果が表示されます。

- 絞り込みを解除するときは
  絞り込み解除 にタッチします。
- 楽曲の試聴・利用手続きをするときは**「楽曲を試聴する」**（779ページ参照）**「利用手続きをする」**（次ページ参照）をご覧ください。

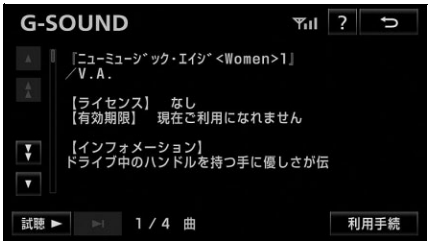


10.G-SOUND

利用手続きをする

試聴してみて、継続して聴きたい楽曲の場合は、利用手続きをしてライセンスを取得します。
ライセンスは最大1000個まで購入することができます。

1 G-SOUND画面（試聴、利用手続）で、**利用手続** にタッチします。



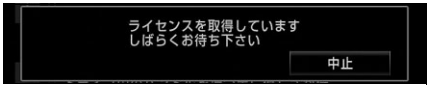
2 **購入** にタッチします。

● 無料カプセルの場合は **次へ** にタッチして、**4** の手順を操作します。

3 G暗証番号を入力し、**決定** にタッチします。

4 ライセンスの取得を開始します。

● 中止するときは **中止** にタッチします。



5 ライセンスの取得が完了すると、再生を開始します。

● HDDオーディオ操作画面を表示するときは ♪ にタッチします。

ライセンスを取得できないとき

HDDオーディオの再生可能曲数を超える場合は、メッセージが表示され、ライセンスを取得できません。

この場合、サウンドライブラリ編集メニュー画面から不要なライセンス取得済みの楽曲を削除してください。（519ページ参照）

アドバイス

- 購入金額は、G-SOUND 楽曲、ライセンス利用期限により異なります。
- ライセンス取得に失敗した場合は、再度手続きを行ってください。
- ライセンスの取得を中断したときは、次のG-SOUND起動時に利用手続きの再開確認メッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、利用手続きを再開します。
  ただし、ライセンス取得に失敗した楽曲を削除すると、その楽曲のライセンスは取得できません。

G-SOUND 楽曲を再生する

ライセンスを取得したG-SOUND楽曲は、HDDオーディオ（499ページ参照）で再生することができます。

G-SOUND 楽曲の操作方法は、次の「HDDオーディオで録音した曲との相違点」を除いては、HDDオーディオで録音した曲と同様です。

HDDオーディオで録音した曲との相違点

G-SOUND 楽曲は、次の点がHDDオーディオで録音した曲と異なります。

- タイトル情報の取得機能はありません。
- 曲（トラック）単位で削除することができません。削除する場合は、コンテンツ単位での削除になります。

G-SOUND 楽曲を削除する

ライセンスのない不要なG-SOUND楽曲は削除することができます。

1 にタッチします。

2 G-BOOK にタッチします。

3 G-SOUND削除 に10秒以上タッチし続けます。



4 削除したい楽曲にタッチします。

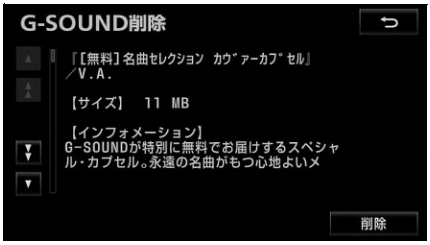
- 単曲またはカプセルの、すべての楽曲を削除するときは 全削除 にタッチして 6 の手順を操作します。
- 単曲を削除するときは、絞り込み検索をしてから削除することができます。（次ページ参照）



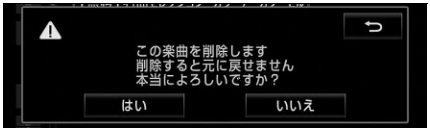
アドバイス

- すべてのG-SOUND 楽曲を削除すると、G-SOUND楽曲はすべて利用できなくなります。
- 本機にプリインストールされているG-SOUND楽曲を削除する場合は、本当に削除してもよいかご確認ください。削除した楽曲をもとにもどすことはできません。

5 **削除** にタッチします。



6 **はい** にタッチします。



7 **全削除** を選択した場合、途中で削除を中止するときは **中止** にタッチします。



楽曲を絞り込んで削除する

単曲を削除する場合、いろいろな検索条件を設定して絞り込むことができます。

1 G-SOUND削除画面の単曲一覧表示で **絞り込み検索** にタッチします。



2 **「希望の楽曲を検索する」**（780ページ参照）の **2** ～ **4** と同様の操作を行います。

3 削除したい楽曲にタッチします。

- 絞り込んだ楽曲をすべて削除するときは **絞り込み削除** にタッチして **「G-SOUND 楽曲を削除する」** の **6** の操作を行います。
- 絞り込みを解除するときは **絞り込み解除** にタッチします。



4 **「G-SOUND 楽曲を削除する」** の手順 **5** ～ **6** と同様の操作をします。

アドバイス

- 全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した楽曲をもとにもどすことはできません。
- ライセンス取得済みの楽曲は、削除画面のリストに表示されません。削除する場合は、サウンドライブラリ編集メニュー画面（519ページ参照）から削除してください。

パッケージをコピーする

Gライブラリディスクに収録されているパッケージを本機のハードディスクにコピーできます。

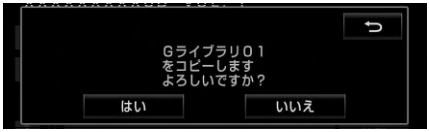
1 Gライブラリディスクを本機に差し込みます。

2 コピーしたいパッケージ にタッチします。



3 メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

● コピーを開始します。



● コピー中は進行状況が表示されます。

● コピーを中止するときは **中止** にタッチします。



アドバイス

- 本機の時刻データが更新されていないと、コピーできないことがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、**MAP** にタッチして地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- Gライブラリディスクを挿入してからG-SOUNDコピー画面が表示されるまでは、少し時間がかかります。
- コピー中に通信ロック（758ページ参照）をすると、コピーが中止されます。
- パッケージによっては、コピーをするのに非常に時間がかかる場合があります。(20MBコピーするのに、約1 分かかります。)
- コピー中は、他の機能の動作が遅くなることがあります。
- コピー中に他の画面に切り替えても、コピーは継続されます。この場合、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）で **G-SOUND** にタッチすると、コピーの進行状況が確認できます。
- 他の画面に切り替えているときにコピーが終了すると、メッセージが表示されます。このとき **はい** にタッチすると、再度G-SOUNDコピー画面を表示することができます。
- コピー中はGライブラリディスクを取り出さないでください。コピーが中止されます。
- Gライブラリディスクを挿入したままエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。コピー中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、コピーが中止されます。そのままエンジンスイッチをACC またはON にすると、G-SOUND コピー画面が表示されることがあります。
- その他の原因によりコピーが中止された場合は、自動的にコピーを再開することができません。この場合は、最初からコピー操作をやり直してください。
- パッケージをコピーする場合、コピーを中止しても、既にコピーが終了した楽曲は G-SOUND画面に表示されます。

10.G-SOUND

4 メッセージが表示され、コピーが完了します。



ディスクの収録内容を確認する

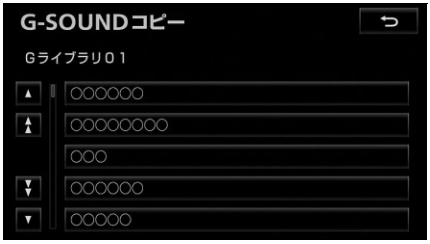
Gライブラリディスクからコピーする前に、パッケージの詳細情報を確認することができます。

1 Gライブラリディスクを本機に差し込みます。

2 確認したいパッケージの **情報** にタッチします。



3 収録されているコンテンツが一覧表示されます。確認したいコンテンツにタッチします。



※実際にはコンテンツ名が表示されます。

コピーできなかったとき

次のような場合はメッセージが表示され、パッケージをコピーできません。

- ハードディスクの空き容量が不足しているとき
- コンテンツの最大保存数が超過するとき

この場合、G-SOUND 削除画面から不要な楽曲を削除してください。(783ページ参照)

11.CDタイトル情報取得

タイトル情報を取得する

HDDオーディオでは、音楽CD から内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-BOOK オンラインサービスを利用すると、最新のCD タイトル情報をG-BOOK センター経由でGracenote メディアデータベース から取得することができます。

データベースの検索については「タイトル情報を再取得する」（518ページ参照）をご覧ください。

1 HDDオーディオ操作画面で、タイトル情報を取得したい楽曲を表示します。

2 **タイトル入力** にタッチします。



3 **Gで検索** にタッチします。



4 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録します。

アドバイス

- 該当するCD タイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. 音声操作システムについて

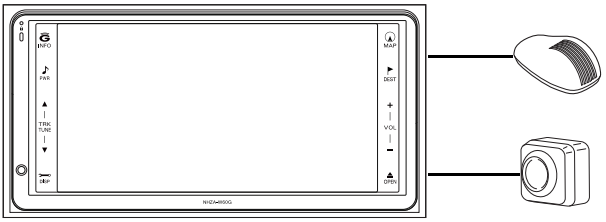
音声操作システムの構成

音声操作システム（音声入力マイク＆スイッチ）を使用することにより、音声操作コマンドを話して、ハンズフリー・G-BOOKの操作を行うことができます。また、走行中、操作できなかった機能を使うことも可能になります。

音声操作システムの基本操作については、**「ナビゲーション」**-**「音声操作システムの操作について」**（282ページ）を参照してください。

音声操作コマンドについては、下記の方法で確認することができます。

● **取扱書の一覧表**……本書の**「音声操作コマンド一覧表」**（792ページ参照）



音声入力マイク
音声入力を認識します。

音声入力スイッチ
音声操作への切り替えや、解除に使用します。

音声を正しく認識するために

音声操作システムは音声操作コマンドを正しく話さないと認識しない場合があります。
正しく認識させるため以下の点に留意してください。

●話す前は、必ず音声入力スイッチを短く押してください。
●“ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に話した場合は正しく認識されません。
●大きな声でハッキリと話してください。
●声色によっては、認識されづらいこともあります。
●騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、話すときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
●方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで話してください。
●地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで話してください。

2. 音声操作システムの使用例

ここでは、ハンズフリー・G-BOOKの音声操作システムの操作例について説明します。音声操作コマンドについては、**「音声操作コマンド一覧表」**792 ページを参照してください。

電話のかけ方

音声操作で電話をかけることができます。

ダイヤル発信する

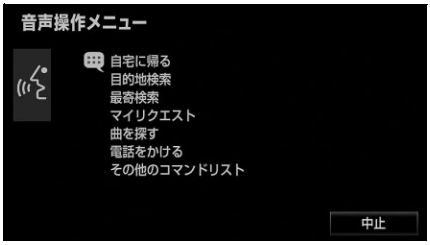
■ここでは、例として「03-1234-5678」に電話をかけます。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

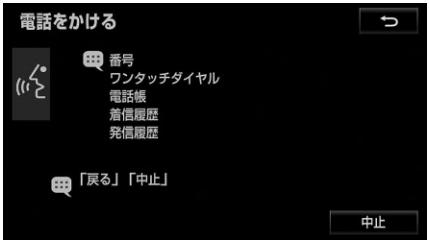
2 **「電話をかける」**と話します。

●「電話をかけます」
「電話をかける方法をお話しください」
＜ピッ＞



3 **「番号」**と話します。

●「電話をかけます」
「電話番号を市外局番からお話しください」
＜ピッ＞



アドバイス

- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後、電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

2. 音声操作システムの使用例

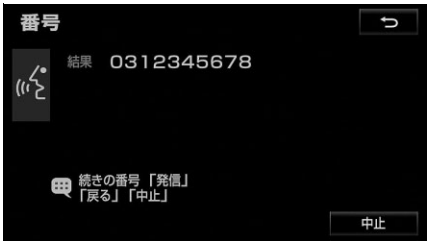
4 **「03-1234-5678」**と話します。

●「0312345678」
「続きの番号または発信とお話しください」
＜ピッ＞



5 **「発信」**と話します。

●「発信します」
＜ピッ＞



その他の発信方法について

電話をかける方法を発声するときに次のコマンドを発声すると、希望の方法で発信できます。
操作方法は「ダイヤル発信」と同様です。
ここでは、それぞれの発信方法を使用するときの注意点を説明します。

発信方法	コマンド	機能	ページ
ワンタッチ発信	「ワンタッチダイヤル」	ワンタッチダイヤルで電話をかけます。	629
電話帳発信	「電話帳」	本機の電話帳から電話をかけます。	627
着信履歴発信	「着信履歴」	着信履歴から電話をかけます。	628
発信履歴発信	「発信履歴」	発信履歴から電話をかけます。	628

ワンタッチ発信する

● 発信できる電話番号は、**ワンタッチ1**（1ページ目）に登録してある電話番号だけです。（629 ページ参照）
● ワンタッチダイヤルを指定するときは、コマンドリストに表示されている**「番号」**を話します。

電話帳発信する

● 発信できる電話番号は、電話帳（650 ページ参照）に登録してある電話番号のうち、次の設定をしてある電話番号です。
　● 認識読み（651 ページ参照）　● 音声認識の設定（652 ページ参照）
● 電話帳に登録されている名称は、**「認識読み」**を話します。

履歴発信する

● 発信できる電話番号は、着信履歴・発信履歴（628 ページ参照）に記憶されている電話番号です。
● 履歴を指定するときは、コマンドリストに表示されている**「番号」**を話します。

アドバイス

ワンタッチダイヤルが登録されていない番号は、ワンタッチ発信のコマンドリストに表示されません。

My リクエストの操作

音声操作でMyリクエストの操作をすることができます。

コンテンツをリクエストする

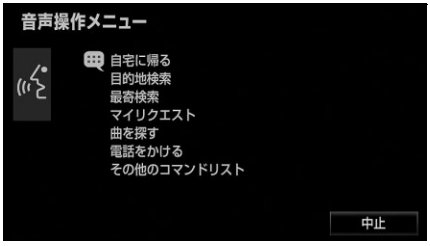
■ ここでは、例として、「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

1 （音声入力スイッチ）を押します。

●「ピッと鳴ったらお話しください」
＜ピッ＞

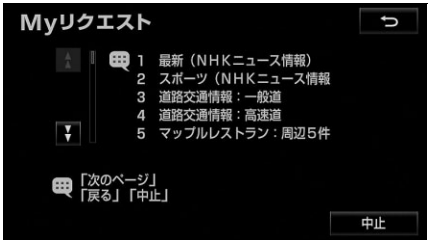
2 **「マイリクエスト」**と話します。

●「マイリクエストを表示します」
「表示されているコンテンツ名または番号をお話しください」
＜ピッ＞



3 **「道路交通情報一般道」**と話します。

● 交通情報一般がリクエストされます。



他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次のいずれかの操を行います。

音声操作でページを切り替える

●**「前のページ」**または**「次のページ」**と話します。

●**「コンテンツ名」**または**「番号」**と話します。

タッチスイッチでページを切り替える

1 ▲▲ 、または ▼▼ にタッチします。

2 （音声入力スイッチ）を押します。

3 **「コンテンツ名」**または**「番号」**と話します。

3. 音声操作コマンド一覧表

ハンズフリー・G-BOOKの操作

音声操作を行うときは、それぞれのコマンドの読みを発声してください。

G-BOOK

音声操作コマンド	読み	機能
オペレーターサービス	おぺれーたーさーびす	オペレーターサービスに接続する。
Myリクエスト	まいりくえすと	Myリクエスト画面を表示する。
○○○ (コマンドはG-BOOKセンターが指定)	○○○(コマンドはG-BOOKセンターが指定)	G-BOOKセンターが指定するコマンドの動作を実行する。

ハンズフリー

音声操作コマンド	読み	機能
電話をかける	でんわをかける	電話をかける方法の選択画面を表示する。
番号	ばんごー	電話番号を入力する。
ワンタッチダイヤル	わんたっちだいやる	ワンタッチダイヤルを選択する。
電話帳	でんわちょー	電話帳に登録されている名称読みから選択する。
発信履歴	はっしんりれき	発信履歴から選択する。
着信履歴	ちゃくしんりれき	着信履歴から選択する。
発信	はっしん	電話番号入力欄に入力されている番号に発信する。

アドバイス

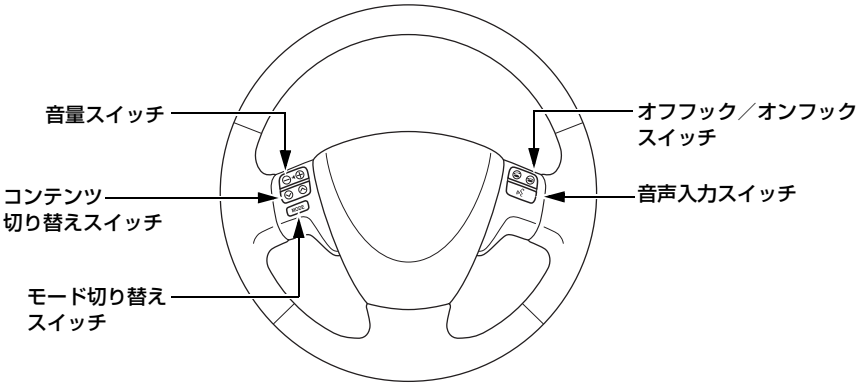
音声操作コマンドは、G-BOOKオンラインサービスの利用開始操作が完了しているときに使用可能になります。

1. ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでハンズフリーなどの主要操作が可能です。

※車種・グレードによっては、スイッチが異なる場合や一部の機能が操作できない場合があります。

各部の機能名称と概要



共通操作

スイッチ	名　称	機　能	操作説明
(+) ・ (−)	音量スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。 また、押し続けると音量が連続して変わります。	「着信音量を調整する」 632ページ 「受話音量を調整する」 633ページ 「ブラウザ画面で操作する」 743ページ 「Myリクエスト画面で操作する」 769ページ

G-BOOKの操作

スイッチ	名　称	機　能	操作説明
(MODE)	モード切り替えスイッチ	コンテンツの読み上げを解除します。	「ブラウザ画面で操作する」 743ページ 「Myリクエスト画面で操作する」 769ページ
(∧) ・ (∨)	コンテンツ切り替えスイッチ	コンテンツの読み上げ開始位置を切り替えます。	「ブラウザ画面で操作する」 743ページ 「Myリクエスト画面で操作する」 769ページ

1. ステアリングスイッチについて

ハンズフリーの操作

スイッチ	名　称	機　能	操作説明
( )	オフフックスイッチ	着信中や応答保留中に押すと、通話を開始することができます。また、電話の待ち受け中にスイッチを押すと、ハンズフリーの電話番号入力画面が表示されます。	**「電話のかけ方」** 626ページ **「電話を受ける」** 631ページ
( )	オンフックスイッチ	通話中や応答保留中に押すと、通話を終了することができます。	**「電話を保留する」** 632ページ **「通話を終了する」** 633ページ

音声操作システムの操作

スイッチ	名　称	機　能	操作説明
( )	音声入力スイッチ	“音声認識状態” に切り替わります。	**「音声操作システムについて」** 788ページ

Reference

ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、考えられることと処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション関係

メッセージ	考えられること	処　置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（92ページ参照）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（117ページ参照）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（118ページ参照）
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、**自宅周辺** にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（211ページ参照）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリに行く／特別メモリ周辺 **1** ～ **5** や **特別メモリ周辺** にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（211ページ参照）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（121ページ参照）
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（121ページ参照）
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（121ページ参照）
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（121ページ参照）

メッセージ	考えられること	処　置
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（ワンタッチメモリ地点登録のときを除く）	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（800mスケール図以下）で行ってください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地が遠すぎます 直線距離5000km以内に目的地の変更をお願いします	直線距離5000kmをこえる目的地を設定したため。	目的地は、直線距離5000km以内に設定してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	目的地を設定した数が5カ所のときに、さらに設定（追加）しようとしたため。	不要な目的地を消去してから設定（追加）してください。（172ページ参照）
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
都市高マップは200m図より詳細な地図では表示できません	都市高マップ表示中に 200m スケール図より詳細な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。（92ページ参照）
都市高マップは1.6km図より広域な地図では表示できません	都市高マップ表示中に 1.6km スケール図より広域な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。（92ページ参照）
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（208ページ参照）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点を登録した数が106カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（218ページ参照）
	迂回メモリ地点を登録した数が10カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。（221ページ参照）

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	考えられること	処　置
受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。（252ページ参照）
VICS・交通情報は1.6km図より広域の地図には表示されません	VICS表示中に1.6kmスケール図より広域の地図にしたため。	1.6kmスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（92ページ参照）
VICSの文字（図形）情報を受信していません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。（252ページ参照）
渋滞情報が変わりました 新しいルートでご案内します	ルート上にビーコンからのVICS情報を受信して、新しいルートを再探索したため。	渋滞を避けた新しいルートで案内します。
○○○○のため FM多重放送を受信できません	AMラジオ受信中、またはオーディオ・ビジュアルの電源がOFFのとき、FM多重放送を受信しようとしたため。	オーディオ・ビジュアルの電源をONにして、AMラジオ以外のモードにしてください。 （423、449ページ参照）
FM多重放送を受信できません	一般文字情報を受信できなかったため。	選局しなおしてください。
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
ETCカードが挿入されていません	ETCカードが挿入されていないため。	ETCカードを挿入してお使いください。
ETCカードが読めません カードをお確かめ下さい	ETCカードが正しく読めないため。	カードをお確かめの上、正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限は今月末です カードをお確かめ下さい	ETCカードの有効期限が今月末で切れているため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCカードの有効期限が切れています	ETCカードの有効期限が切れているため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートを通過できません	本機とETC車載機の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCカードに書き込みできません カードをお確かめ下さい	ETCカードにデータを書き込む事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC　車載機と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載機に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。

オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	考えられること	処　置
再生できるデータがありません	再生できるディスク（DVD、CD、MP3/WMA）以外のディスクが入っているため。	再生できるディスクを入れてください。
	ディスクに傷、汚れがあるため、または裏返しになっているため。	ディスクに傷、汚れがないかご確認ください。ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
	“SDメモリーカード”に再生可能な音楽データが記録されていないため	再生可能な音楽データが記録された“SDメモリーカード”を入れてください。
	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
	USBメモリに再生可能な音楽データが記録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されたUSBメモリを接続してください。
CDをお確かめ下さい	CDに傷、汚れがあるため。	CDに傷、汚れがないかご確認ください。CDが汚れているときはクリーニングしてください。
ディスクをお確かめ下さい	再生できるディスク（DVD、CD、MP3/WMA）以外のディスクが入っているため。	再生できるディスクを入れてください。
	ディスクに傷、汚れがあるため、または裏返しになっているため。	ディスクに傷、汚れがないかご確認ください。ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
このディスクには著作権保護されたファイルが含まれているため再生できない曲があります	ディスク内に著作権保護されたWMAファイルが含まれているため。	WMAファイルを作成するときに、著作権保護を付けずに作成してください。※1
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	HDDオーディオ内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。（521 ページ参照）
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	HDDオーディオ内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。（521 ページ参照）
プレイリストが一杯です	HDDオーディオ内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。（505、521 ページ参照）

※1　個人で楽しむ以外は、オーディオデータを著作権者に無断で複製することは、著作権法や国際協定で固く禁じられています。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	考えられること	処　置
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(521ページ参照)
録音を中止してから操作してください	録音中に、編集作業や録音設定を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業などを行ってください。(496、497、498ページ参照)
接続状態をお確かめ下さい	iPodやミニプラグコードがしっかり接続されていないため。	iPodやミニプラグコードをしっかり接続してください。
iPodとの通信に失敗しました	iPodからの応答がないため。	iPodのオーディオ操作画面より各操作を行う、またはDockコネクタを再接続してください。(581ページ参照)
iPodのファームウェアバージョンをご確認下さい	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。	iPodを本機に対応しているバージョンに変更してください。(589 ページ参照)
	iPodとの接続が検知できないため。	お近くの販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
このDVDは演奏できません	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(417、568ページ参照)
受け付けないコードです	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。
異常検知でCD停止中です	なんらかの原因でディスクプレーヤーが動かないため。	ディスクを取り出し、再度、差し込んでください。※2
異常検知でDVD停止中です	なんらかの原因でディスクプレーヤーが動かないため。	ディスクを取り出し、再度、差し込んでください。※2
高温のため停止中です	本機の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。※3

※2　ディスクを取り出し、再度、差し込んでも動作しないときは、販売店にご相談ください。
※3　本機内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

メッセージ	考えられること	処　置
放送を受信できません	フルセグ、ワンセグともに受信不可のため。	受信状態を確認してください。（529ページ参照） プリセットモードを確認してください。（530ページ参照） 受信モードを確認してください。（533ページ参照）
	フルセグ受信不可のため。	
	ワンセグ放送が行われていないため。	
	選択対象としているサービスが存在しないため。	番組内容を確認してください。
	選択対象としているサービスが非放送チャンネルであるため。	
	選択対象としているサービスが未対応なサービスのため。	
	PPV，有料サービスで視聴できないため。	
	B-CASが対応している限定受信方式以外の放送を受信しているため。	
ICカードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合せ下さい**** （エラーコード）	B-CASカードを挿入していないため。(エラーコード: A1FF)	B-CASカードを挿入してください。（525ページ参照）
	使用できないB-CASカードが挿入されているため。(エラーコード: A1FF、A103)	B-CASカードを確認してください。（551ページ参照）
	B-CASカードを交換する必要があるため。(エラーコード:6400)	B-CASカードを交換してください。
	B-CASカード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。(エラーコード:A104)	
	有効な条件を満たしていないB-CASカードが挿入されているため。(エラーコード: EC01、EC02)	

1. 知っておいていただきたいこと

G-BOOK・ハンズフリー関係

メッセージ	考えられること	処　置
G-BOOK の利用手続きが必要です 情報・G・BTナビのメインメニューのG-BOOK.comから手続きできます	G-BOOK オンラインサービスの利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 （673ページ参照）
電話機選択が必要です 設定・編集の電話から設定できます	使用する電話機が選択されていない。	使用する電話機を選択してください。（638ページ参照）
携帯電話の通信設定が必要です 設定・編集のG-BOOKから設定できます	使用する携帯電話の設定がされていない。	使用する携帯電話の設定を行ってください。（760ページ参照）
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の電話から設定できます	Bluetooth の設定がされていない。	Bluetooth の設定を行ってください。（618ページ参照）
緊急通報中です G-BOOK サービスをご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 ・ 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
G-BOOKの利用手続きを行ってください	G-BOOK mX Proに申し込んだが、車載機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 ・ すぐに操作をするときは、**開始する** にタッチします。 ・ あとで操作をするときは **あとで** にタッチします。
ヘルプネットのサービス開始操作を行ってください	・ G-BOOK mXのWeb 登録で、ヘルプネットを利用選択したが、サービス開始操作※4が実施されていない。 ・ G-BOOK mX Proの利用手続きで、ヘルプネットのサービス開始操作※4が実施されていない。	サービス開始操作の方法を選択してください。※4 ・ すぐに操作をするときは **開始する** にタッチします。 ・ あとで操作をするときは **あとで** にタッチします。
まもなく、ヘルプネットの利用期間が終了します	G-BOOK mX利用の場合で、ヘルプネットの利用登録更新時期が近づいている。	継続手続きの状況により選択してください。 ・ 継続手続きが済んでいるときは **了解** にタッチします。 ・ 継続手続きが済んでいないときは **説明を読む** にタッチします。

※4　ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

メッセージ	考えられること	処　置
オペレーターと通話中です 終了してからご利用下さい	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更できません 回線を切断して再度操作して下さい	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、または **切断** にタッチして通信を終了してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集のG-BOOKのプライバシー設定で削除して下さい	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。（753ページ参照）
携帯電話が接続されていません 保守点検はできません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。（**「携帯電話の接続」**（620 ページ参照））
通話中は試聴できません	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
これ以上ライセンスを取得できません 設定・編集のオーディオから手続済のG-SOUND楽曲を削除して下さい	ライセンスの最大保存数を超過したため。	不要なライセンス取得済みG-SOUND楽曲を削除してください。（**「アルバムを消去する」**（519 ページ参照））
これ以上楽曲を追加できません 設定・編集のG-BOOKのG-SOUND 削除で楽曲を削除して下さい	・ G-SOUND 楽曲の最大保存数を超過したため。 ・ ハードディスクの空き容量が不足しているため。	① 不要なG-SOUND 楽曲を削除してください。（**「G-SOUND 楽曲を削除する」**（783 ページ参照）） ② 削除できるG-SOUND 楽曲が無く、ハードディスクの空き容量が不足している場合は、ハードディスクに録音した曲を削除してください。
これ以上コピーできません 設定・編集のG-BOOKのG-SOUND 削除で楽曲を削除して下さい		
これ以上G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要なG メモリ地点情報を削除して下さい	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要なG メモリ地点を削除してください。（218ページ参照）
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の **忘れた場合** にタッチして確認してください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	考えられること	処　置
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	・サービスエリア圏外にいる。 ・認証に失敗した。 ・通信環境が悪い。 ・通信機器の接続状態に異常がある。	① 携帯電話について、次の点を確認してください。 ・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・ 携帯電話単体で正常動作するか。 ・ 携帯電話の異常でないか。（携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ② 携帯電話とBluetooth接続ができているか確認してください。 ③ 他の携帯電話に変えて、試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPSを受信して下さい	GPSが受信できていない。	GPSが受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認下さい	・携帯電話がBluetooth接続されていない。 ・携帯電話に異常がある。（携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ・携帯電話が動作確認済みの機種でない。	次の点を確認してください。 ・ 携帯電話とBluetooth接続されているか。 ・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・ 携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通信エリア外です 通信エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした	・サービスエリア圏外にいる。 ・認証に失敗した。 ・通信環境が悪い。 ・通信機器の接続状態に異常がある。 ・通信設定に誤りがある。	① しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ② 使用する携帯電話の設定を確認してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。
処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

ナビゲーション関係

症　状	考えられること	処　置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（88ページ参照）
自車マーク が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（88ページ参照）
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPSアンテナの受信を妨げるものを取り除いてください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（181ページ参照）
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（86ページ参照）
エンジンスイッチをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。（83ページ参照）
実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている。（自車マーク がずれている。）	GPS衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マーク がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（386ページ参照）
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか。	1項目ずつ動かしてください。（80ページ参照）

1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処　置
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していない。	FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっている。	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定が全てOFFになっている。	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアを外れているとき。	VICSの提供エリアは、同梱の資料を参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データにバージョンアップしてください。
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
VICS 09:57 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。

オーディオ・ビジュアル関係

症　状	考えられること	処　置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままでお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない。	音量の調整不良。	音量スイッチにタッチして確認してください。
片側のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	販売店にご相談ください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていない。	エンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。(417ページ参照)
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。 (418ページ参照)
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。(417、568 ページ参照)
	自動再生されないDVD ディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。 (554ページ参照)
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンで画面を消したとき。	♪ にタッチしてください。

1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処　置
音声は出るが、テレビ・DVD映像が出ない（停車中）。	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない。	車の電源スイッチが入っていない。	エンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	販売店にご相談ください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか。 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ディスクが取り出せない。	ディスクがかみ込んでいる、または認識されていない。	OPEN に10秒以上タッチして、ディスクを取り出してください。

G-BOOK・ハンズフリー関係

症　状	考えられること	処　置
保守点検 が表示されない。	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。(678ページ参照)
HELPNET が表示されない。	サービス開始操作※が完了していない。	サービス開始操作を実施してください。(698ページ参照)※
緊急通報できない。	携帯電話使用時 動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	お求めの販売店にご確認ください。
	携帯電話使用時 使用する携帯電話の設定をしましたか。	使用する携帯電話の設定をしてください。(760ページ参照)
	携帯電話使用時 携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(705ページ参照)
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(705ページ参照)

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. バッテリー交換・地図データの全更新について

バッテリー交換・地図データの全更新をする前に

お車の点検やバッテリーの交換などによりバッテリーとの接続が断たれたときや、地図データの全更新を行うと、本機に保存されている情報（設定）が一部消去（初期化）されますので、予めご了承ください。

項目	記憶される内容
目的地履歴	設定された目的地履歴
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
バックガイドモニター※	バックガイドモニターの設定
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
放送局プリセットメモリー	プリセットメモリーされたラジオ・テレビ放送局
HDDオーディオデータ	プレイリストデータや音楽データ
Gracenoteメディアデータベース更新データ	バージョンアップしたデータ バージョンアップ履歴
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信/着信履歴	記憶された発信/着信履歴

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択したとき。（354ページ参照）

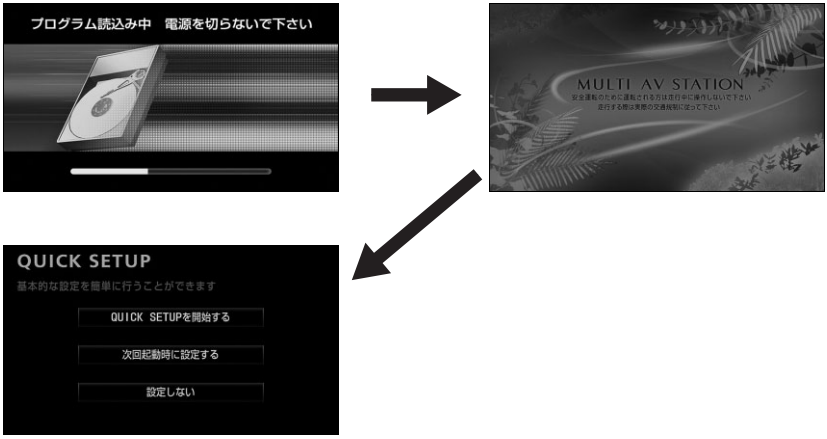
アドバイス

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。ご注意ください。

バッテリー交換したときは

バッテリー交換などナビゲーションシステムの電源を遮断したあとに、エンジンスイッチを ON、または ACC にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずしたり、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。

下記のように画面がかわります。



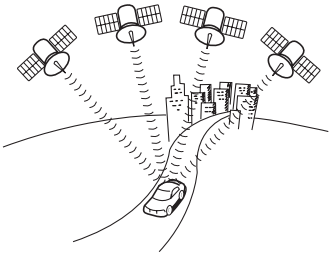
アドバイス

セキュリティを設定している場合、表示される画面は異なります（58 ページ参照）。

3. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回するGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。
この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。

自立航法

車速センサーと振動ジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。
トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

広域地図、詳細地図

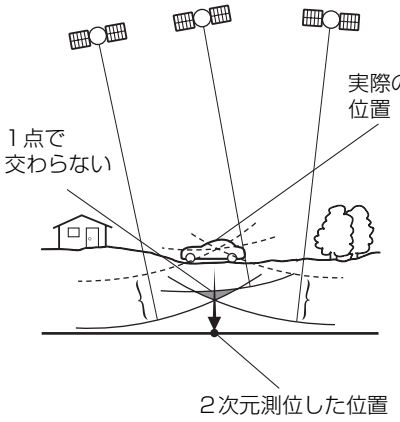
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1／2048万、1／1024万、1／512万、1／256万、1／128万、1／64万、1／32万、1／16万、1／8万、1／4万、1／2万、1／1万、1／5000、1／2500です。

測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機ではGPS衛星の電波を受信して測位可能な場合に、現在地画面上の左上隅に「GPS」を表示します。（メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」は表示しません。）

2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電気的に検出するセンサーです。本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

MP3

MP3はMPEG1 Audio Layer IIIの略で、MPEG1 Audio Layer IIIは音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。
ID3タグに対応したプレーヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

WAVEファイルからMP3・WMAファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

WMA

WMAはWindows Media™ Audio の略で、音声データを圧縮する方式です。MP3よりも高い圧縮率（約半分のデータサイズ）で音楽ファイルを作成することができます。

3. 用語説明

WMAタグ

WMAファイルにはWMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。WMAタグに対応したプレーヤーでWMAタグ情報の表示・編集が可能です。

C-thru Disc（シースルーディスク）

従来のディスクでアルミが使用されている蒸着部分に銀を使用することで、記憶部分の透明または半透明を実現したCDのことです。

コピーコントロールCD
レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。
コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



マルチセッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言い、この“セッション”をCD-R、CD-RWにくり返し記録した状態を“マルチセッション”と言います。本機は“マルチセッション”に対応しており、MP3・WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。

セキュアAAC

「Advanced Audio Coding」の略で、高音質、高圧縮を両立させた音声圧縮技術の一つです。

“SDメモリーカード”

著作権保護技術を搭載した小型、軽量のIC記録メディアです。

Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。
本機は、Bluetoothを搭載した携帯電話やポータブルオーディオとの無線通信によりハンズフリーや音楽ファイルの再生ができます。

G-BOOK

車両に搭載された専用の通信端末（DCM）や携帯電話などを使って地図やニュース、お天気、交通情報、ゲームなどの様々なコンテンツを楽しめる情報サービスのことです。トヨタメディアサービス㈱が管理・運営しています。

DCM

Data Communication Moduleの略称です。携帯電話の無線ネットワークに接続して無線通信をおこなう装置です。G-BOOK専用DCMは、最大2.4Mbpsでのデータ受信が可能です。

4. VICS情報有料放送サービス契約約款

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金　300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※ この契約約款は、2013年11月1日変更時のものを掲載しています。

5. Gracenoteメディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。この製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、あるいは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。
この製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

- Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。
- いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。
- ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
- これらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。
- 使用許諾契約が解除された場合、あなたは Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。
- Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、あなたに対して、あなたが提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。
- Gracenote, Inc. が直接的にあなたに対して、本契約上の権利をGracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているあなたを認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、あなたに対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。
Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、あなたに提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、あなたによる Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

6. スピーカー一覧

トヨタ車

2010年4月現在

車種	年式（H：平成）	スピーカーサイズ（cm）
iQ	H20/11～現在	16
アイシス	H16/9～現在	16
アリオン	H22/4～現在	16
アルファード	H20/5～現在	6×9インチ
アルファードG	H14/5～現在	16
ist	H14/5～現在	16
WISH	H21/4～現在	16
ヴァンガード	H22/2～現在	16
ヴィッツ	H17/1～現在	16
ヴェルファイア	H20/5～現在	6×9インチ
ヴォクシー	H22/4～現在	16
エスティマ	H18/1～現在	16
エスティマハイブリッド	H18/6～現在	16
オーリス	H21/10～現在	16
カムリ	H18/1～現在	6×9インチ
カローラアクシオ	H18/10～現在	16
カローラフィールダー	H18/10～現在	16
カローラ ルミオン	H21/12～現在	16
クラウンセダン	H13/8～現在	14
クラウン ロイヤル/ クラウン アスリート	H20/2～現在	16
サクシード	H14/7～現在	10
シエンタ	H15/10～現在	16
タウンエース バン/ ライトエース バン	H20/2～現在	16
タウンエース トラック/ ライトエース トラック	H20/2～現在	16
ノア	H22/4～現在	16
ハイエース	H16/8～現在	16
パッソ	H16/5～現在	10

6. スピーカー一覧

車種	年式（H：平成）	スピーカーサイズ（cm）
パッソセッテ	H20/12～現在	16
bB	H17/12～現在	16
プリウス	H21/6～現在	6×9インチ
ブレイド	H21/12～現在	16
プレミオ	H22/4～現在	16
プロボックス	H14/7～現在	10
ベルタ	H17/11～現在	16
ポルテ	H16/7～現在	16
マークX	H21/10～現在	6×9インチ
マークX ジオ	H19/9～現在	6×9インチ
ラウム	H15/5～現在	16
ラクティス	H17/10～現在	16
Rush	H18/1～現在	16
RAV4	H17/11～現在	16
ランドクルーザー	H19/9～現在	6×9インチ
ランドクルーザープラド	H21/8～現在	6×9インチ
レジアスエース	H16/8～現在	16

ダイハツ車

2010年5月現在

車種	年式（H：平成）	スピーカーサイズ（cm）
アトレーワゴン	H19/9～現在	16
エッセ	H22/4～現在	10
クー	H18/5～現在	16
タント エグゼ カスタム/タント エグゼ	H21/12～現在	10
タント カスタム/タント	H19/12～現在	16
ビーゴ	H20/11～現在	16
ブーン	H22/2～現在	10
ブーン ルミナス	H20/12～現在	16
ミラ カスタム/ミラ	H22/4～現在	16
ミラ ココア	H22/5～現在	16
ムーヴ カスタム/ムーヴ	H22/5～現在	16
ムーヴ コンテ	H22/5～現在	16

アドバイス

- スピーカー一覧はラジオレス車のスピーカーサイズを掲載しています。車種、年式、グレードなどご不明な点は販売店にお問い合わせください。
- 上記のスピーカー一覧から設定しても、お車の使用状況やお客様の好みにより必ずしも最適な音質にならない場合があります。

7. 目的別索引

準備

＜初期設定について＞

■最初に設定しておくと便利な自宅や案内音量などを設定したい

「QUICK SETUP（初期設定サポート）」..... P49

＜共通設定について＞

■スイッチにタッチしたときの音をかえたい

「BEEP音の設定」..... P53

■オーディオ操作画面を継続して表示したい

「操作画面継続表示の設定」..... P54

■タッチスイッチの色や背景色をかえたい

「イメージカラーの切り替え」..... P55

■セキュリティ機能を作動したい

「セキュリティの設定」..... P56

■登録した情報（メモリ地点、音楽データなど）を初期化したい

「個人情報の初期化」..... P62

■ラジオアンテナの設定をかえたい

「ラジオアンテナの設定」..... P64

■オープニング画面（電源を入れたときに表示される画面）をかえたい

「オープニング画面の切り替え」..... P66

ナビゲーション関係

地図に関して

＜地図の表示について＞

■地図画面の見方を知りたい

「ナビゲーション画面の見方」..... P69

■地図記号について知りたい

「凡例」..... P856

■現在地が知りたい

「現在地の表示」..... P88

■地図を移動したい

●現在地付近の地図を見たい

「地図の移動（ワンタッチスクロール）」..... P89

●移動位置の地名が知りたい

「スクロール時の地名表示を設定する」..... P89

■地図に表示されているタッチスイッチを消去／変更したい

●タッチスイッチを消去したい

「タッチスイッチの表示を切り替える」..... P90

●タッチスイッチの表示を変更したい

「タッチスイッチの表示を設定する」..... P90

■地図の大きさ（縮尺）をかえたい

●200Kmスケール～50mスケールの間で切り替えたい

「地図縮尺の切り替え」..... P92

●市街図の表示に切り替えたい

「市街図の表示」..... P95

7. 目的別索引

■地図の表示方法をかえたい

●地図の向きをかえたい
「地図向きの切り替え」..... P98
●車の進行方向の地図を広げたい
「フロントワイド表示の切り替え」..... P99
●画面を2分割して表示させたい
「2画面表示の切り替え」..... P100
●高速略図画面の見方・操作方法を知りたい
「高速略図画面」..... P102
●高速路線マップの見方・操作方法を知りたい
「高速路線マップ」..... P104
●地図を立体的に表示させたい
「3D表示の設定」..... P108
●道路の太さを実際に近づけて表示したい
「ビジュアルシティマップの表示」..... P111

■地図にさまざまな情報を表示させたい

●現在時刻を表示させたい
「時計表示の切り替え」..... P85
●今まで通った軌跡を地図に表示させたい
「走行軌跡の表示」..... P97
●立体的な施設マークを表示させたい
「立体ランドマークの表示」..... P112
●県境の通過を表示させたい
「県境案内の設定」..... P112
●注意する地点の情報が知りたい
「注意地点案内（安全・快適走行設定）の設定」..... P113
●施設（コンビニ・ガソリンスタンドなど）を表示させたい
「施設の表示」..... P114

■地図の画質をかえたい

●明るさやコントラストをかえたい
「画面の調整」..... P83
●地図の色をかえたい
「地図の表示色の切り替え」..... P84

＜地図の呼び出しについて＞

■地図を呼び出したい

「地図の呼び出し方法」..... P121

●施設の名称または住所の一部を入力して呼び出したい
「名称で地図を呼び出す」..... P123
●住所を検索して呼び出したい
「住所で地図を呼び出す」..... P134
●施設を検索して呼び出したい
「施設で地図を呼び出す」..... P135
●電話番号を入力して呼び出したい
「電話番号で地図を呼び出す」..... P137
●登録した地点から呼び出したい
「メモリ地点で地図を呼び出す」..... P139
「特別メモリ地点で地図を呼び出す」..... P144
●施設のジャンルから検索して呼び出したい
「ジャンルで地図を呼び出す」..... P139
● 郵便番号を入力して呼び出したい
「郵便番号で地図を呼び出す」..... P142
●マップコードを入力して呼び出したい
「マップコードで地図を呼び出す」..... P142
●以前の目的地から呼び出したい
「履歴で地図を呼び出す」..... P143
●携帯電話の位置情報を本機に転送して呼び出したい
「携帯電話で地図を呼び出す」..... P144

7. 目的別索引

目的地案内に関して

＜目的地案内を開始する前に＞

■目的地を決めたい

「目的地の設定」..... P151

■いつも通る道路を使用したルートを学習したい

「ルート学習探索」..... P156

■渋滞情報を考慮したルートを探索したい

「渋滞考慮ルート探索の設定」..... P158

■案内を開始させたい

「案内の開始」..... P181

■案内をする前にデモを見たい

「デモンストレーション（デモ）」..... P181

■表示されているルート以外のルートを知りたい

「5ルート同時表示」..... P166

＜目的地案内を開始する前、または目的地案内中に＞

■目的地までのルート（案内道路）を知りたい

「ルート情報（案内道路情報）の表示」..... P165

■目的地を追加したい

「目的地の追加」..... P168

■通るインターチェンジ（IC）を決めたい

「乗降インターチェンジ（IC）の指定」..... P174

■通る道路を決めたい

「通過道路の指定」..... P177

■表示されているルートをかえたい

「区間別探索条件の変更」..... P170

＜目的地案内中に＞

■音声案内の音量をかえたい
「音量の設定」..... P86

■案内をやめたい
●目的地を消去せずに案内を一時的に中止したい
「案内の中止・再開」..... P181
●目的地を消去して案内を中止したい
「目的地の消去」..... P172

■曲がる交差点を拡大して表示したい
「分岐する交差点（交差点拡大図）について」..... P185

■曲がる交差点をリアルなイラストで表示したい
「リアル交差点拡大図について」..... P186

■進む車線を知りたい
「レーンリスト図案内」..... P187

■曲がる交差点のリストを表示したい
「ターンリスト図案内」..... P193

■料金所で金額を知りたい
「料金案内」..... P190

■高速道路のIC・JCTの方向を表示させたい
「高速分岐案内」..... P194

■料金所のレーン図を自動的に表示したい
「料金所レーン案内」..... P192

■都市高速の地図を表示させたい
「都市高速マップ」..... P194

■全ルート図を表示させたい
「全ルート図の再表示」..... P197

■表示されているルートをかえたい、または表示されているルートからはずれてしまった
「ルートの再探索について」..... P200

■新しく見つかったルートと案内中のルートを比較したい
「新旧ルート比較表示の設定」..... P159

7. 目的別索引

情報

＜VICS・渋滞考慮について＞

■VICS放送を受信したい
「VICS提供放送局の選択」 P252

■VICS情報を地図に表示させたい
「VICS・交通情報の表示」 P257

■渋滞などの案内を聞きたい
「渋滞・規制音声案内」 P261

■VICS図形情報を表示させたい
「VICS図形情報の表示」 P262

■VICS文字情報を表示させたい
「VICS文字情報の表示」 P263

■VICSマークについて知りたい
「地図に表示されるVICS表示マークについて」 P264

■VICS情報を表示させる道路の色を切り替えたい
「VICS表示道路色を切り替える」 P256

■渋滞統計情報を地図に表示させたい
「統計データ情報の表示」 P268

■通ったルートの渋滞などの学習情報を地図に表示させたい
「交通状況学習結果の表示」 P269

＜その他の情報について＞

■施設の電話番号が知りたい
「電話帳（交通・ナビ関連）の検索」 P271

■FM多重放送を表示させたい
「FM多重放送」 P272

■カレンダーを表示させたい
「カレンダー機能」 P277

音声操作

＜音声操作について＞

■音声で操作したい

「音声操作システムの操作について」..... P282

■操作できるコマンドが知りたい

「音声操作コマンド一覧表」..... P300

その他

＜便利な機能＞

■操作の手引きとなる説明音声が聞きたい

「操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定」..... P87

■画面の切り替えを動画にしたい

「画面切り替え時の動画表現の設定」..... P85

■地図に目印をつけたい

「メモリ地点の登録」..... P208

■目的地の設定画面の表示スイッチを変更したい

「目的地設定画面のスイッチ設定（目的地メニューカスタマイズ）」..... P206

■メモリ地点を他のナビへ移行したい

「メモリ地点のデータ移行」..... P222

■燃費やECOなルートが知りたい

「ECO機能について」..... P228

■車両のメンテナンス時期を記憶させたい

「メンテナンス機能について」..... P236

■携帯電話から地点をナビに転送したり、ナビから現在地や目的地を携帯電話に転送したい

「情報・G・BTナビ画面（BTナビ）について」..... P278

■必要な地域の地図データのみを更新したい

「マップオンデマンドの更新方法について」..... P395

7. 目的別索引

＜わからなくてお困りのとき＞

■タブの切り替え方がわからない
「タブの切り替え方」..... P81

■リスト画面の動かし方がわからない
「リスト画面の切り替え方」..... P80

■タッチスイッチの機能が知りたい
「ヒント機能の操作」..... P82

■操作手順が知りたい
「デモの表示」..... P276

■現在地のズレをなおしたい
「現在地の修正」..... P386

■ナビゲーションの設定状態を記憶したい
「ナビゲーション設定の記憶」..... P390

■画面のメッセージがわからない
「こんなメッセージが表示されたときは」..... P796

■故障かどうかわからない
「故障とお考えになる前に」..... P805

■GPS マークが表示されていない
「GPSについて」..... P71

オーディオ・ビジュアル関係

画面・音の調整について

＜画面の調整に関して＞

■オーディオ操作画面やテレビ・DVDの画面を見やすくしたい
「画質の調整」..... P443

■テレビ／DVD／VTRをワイドモードにしたい
「画面モードの切り替え」..... P445

＜音の調整に関して＞

■音量をかえたい

「主音量の調整」..... P427

■音質をかえたい

●サラウンドで聞きたい
「サラウンドシステムの設定（EUPHONY）」..... P429
●メディアに合った音質にしたい
「CSE（Clear Sound Effector）の設定」..... P431
●CSEのBASSを調整したい
「CSE・BASSの設定」..... P432
●音の到達時間差を調整したい
「音の到達時間の補正（FOCUS）」..... P434
●走行ノイズに合わせて自動で音響を調整したい
「ROAD EQの設定」..... P436
●ナビゲーションの音声案内時オーディオの音声をミュートせず出力したい
「ミュートレス音声案内の設定」..... P436
●自分の車に合った音質にしたい
「BODY TYPEの設定」..... P439
●音のバランスを調整したい
「音量バランスの調整（FAD BAL）」..... P440
●車室内の周波数特性を調整したい
「パラメトリックイコライザ（P.EQ）の設定」..... P437

オーディオについて

＜ラジオの使い方について＞

■ラジオを聞きたい

「ラジオの聞き方」..... P449

■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選局する」..... P449

■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶させる」..... P450

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」..... P451

7. 目的別索引

■交通情報を聞きたい

「交通情報を受信する」..... P452

＜CDの使い方について＞

■CDを聞きたい

「CDの聞き方」..... P453

■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選曲する」..... P453

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」..... P454

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返して聞く」..... P454

■普段と違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」..... P454

＜MP3・WMAの使い方について＞

■MP3・WMAを聞きたい

「MP3・WMAの聞き方」..... P455

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

「聞きたいフォルダを選ぶ」..... P456

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P456

■聞きたい音楽ファイルを探したい

「聞きたい音楽ファイルを探す」..... P457

■いま聞いている音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」..... P457

■普段と違う順番で聞きたい

「音楽ファイルの順番をランダムに聞く」..... P458

■MP3・WMAについて知りたい

「MP3・WMAについて」..... P459

■MP3・WMAファイルの作り方を知りたい

「MP3・WMAファイルの作り方、楽しみ方」..... P463

＜SDオーディオの使い方について＞

■SDオーディオを聞きたい

「SDオーディオの聞き方」..... P481

■聞きたいプレイリストや音楽ファイルを選びたい

「聞きたいプレイリストを選ぶ」..... P482
「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P482

■音楽ファイルが何番目に入っているわからない

「聞きたい音楽ファイルを探す」..... P483

■いま聞いている音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返し聞く」..... P483

■普段と違う順番で聞きたい

「音楽ファイルの順番をランダムに聞く」..... P483

■セキュアAAC、セキュアMP3について知りたい

「セキュアAAC・セキュアMP3について」..... P483

7. 目的別索引

＜Bluetooth オーディオの使い方について＞

■ポータブルオーディオを登録したい

「ポータブルオーディオを登録する」..... P464

■ポータブルオーディオを接続したい

「ポータブルオーディオを接続する」..... P466

■Bluetoothオーディオを聞きたい

「Bluetoothオーディオの聞き方」..... P468

■聞きたい音楽ファイルを選びたい

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P468

■聞きたいアルバムを選びたい

「アルバムを切り替える」..... P468

■使用するポータブルオーディオを切り替えたい

「ポータブルオーディオを切り替える」..... P470

■使用するポータブルオーディオの名称やパスキーを変更したい

「機器名称およびパスキーを変更する」..... P471

■Bluetooth自動接続の設定をしたい

「Bluetooth自動接続を設定する」..... P473

■登録してあるポータブルオーディオの情報を表示したい

「詳細情報を表示する」..... P474

■Bluetoothオーディオについて知りたい

「Bluetoothオーディオについて」..... P478

＜HDDオーディオの使い方について＞

■HDDオーディオについて知りたい

「HDDオーディオの概要」..... P484
「HDDオーディオの構成について」..... P484

■データベースについて知りたい

「データベースについて」..... P486

■タイトルデータベースのバージョン情報が知りたい

「データベース情報の表示」..... P488

■タイトルデータベースを更新したい

「データベースの更新」..... P489

■ハードディスクの容量を確認したい

「ハードディスクの容量確認」..... P490

■録音について知りたい

「録音について」..... P492
「録音方式の設定」..... P493

■CDを録音したい

「CDの録音」..... P495

■録音した音楽を聞きたい

「HDDオーディオを聞く」..... P499

■聞きたい曲を選びたい

「再生中のプレイモードの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ」..... P501
「プレイモードからプレイリストを検索して
聞きたいトラック（曲）を選ぶ」..... P502

■聞きたい曲が何番目に入っているかわからない

「聞きたいトラック（曲）を探す」..... P503

■いま聞いている曲やプレイリストを繰り返し再生したい

「聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く」..... P503

■普段と違う順番で聞きたい

「トラック（曲）の順番をランダムに聞く」..... P504

7. 目的別索引

＜AUXの使い方について＞

■ポータブルオーディオを聞きたい

「AUX（ポータブルオーディオ機器）の操作」..... P479

テレビ／DVDについて

<テレビの使い方について>

■テレビが見たい

「テレビを見る」..... P529

■放送局を探したい

「見たいチャンネルを選局する」..... P531

■プリセットスイッチを使い分けたい

「プリセットモードを切り替える」..... P530

■番組（サービス）を切り替えたい

「見たい番組を選ぶ」..... P532

■映像や音声を切り替えたい

「画面表示・音声の切り替え」..... P535

■EPG（電子番組表）を見たい

「EPG（電子番組表）の使い方」..... P539

■データ放送を見たい

「データ放送の使い方」..... P542

■地上デジタルテレビの設定について知りたい

「初期設定」..... P545

■受信したメールを見たい

「受信したメールの閲覧」..... P550

■周囲の環境に合わせて受信方法を切り替えたい

「受信モードの設定」..... P533

■B-CASカードについて知りたい

「B-CASカードを差し込む」..... P525
「B-CASカードを取り出す」..... P525
「B-CASカードについて」..... P524
「B-CASカードの動作確認」..... P551

＜DVDの使い方について＞

■DVDビデオを見たい

「DVDを見る」..... P553

■ディスクに記憶されているメニューを操作したい

「ディスクメニューを操作する」..... P554

■再生している映像を操作したい

「映像を操作する」..... P553

■映像を選びたい・探したい

「チャプターから探す」..... P555
「タイトル番号から探す」..... P555

■ディスクについて知りたい

●ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい

「ディスクに表示されているマークについて」..... P569

●再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」..... P568

●ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」..... P569

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

「アングルの切り替え」..... P556
「字幕言語の切り替え」..... P557
「音声言語の切り替え」..... P557

7. 目的別索引

■プレーヤーの設定について知りたい

「音声言語を設定する」..... P561
「字幕言語を設定する」..... P561
「メニュー言語を設定する」..... P562
「マルチアングルマークの表示を設定する」..... P562
「視聴制限を設定する」..... P563
「オートスタートを切り替える」..... P564
「映像出力を切り替える」..... P565

オプション機器

＜iPodの使い方について＞

■iPodを接続したい

「iPodを接続する」..... P581

■iPodを再生したい

「音楽ファイルを聞く」..... P583
「ビデオを見る」..... P583

■聞きたい音楽ファイルを選びたい

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P583

■MUSIC MENUやVIDEO MENUから曲を探したい

「再生したい音楽ファイルをリストから探す」..... P584

■選択したモードからファイルを選びたい

「再生したいリストを選ぶ」..... P586

■再生中のリストを表示したい

「再生中のリストを表示する」..... P584

■いま聞いている音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返して再生する」..... P587

■普段と違う順番で再生したい

「音楽ファイルの順番を ランダムに再生する」..... P587

＜USBメモリの使い方について＞

■USBメモリを接続したい

「USBメモリを接続する・取りはずす」..... P592

■USBメモリ内の音楽ファイルを再生したい

「音楽ファイルを聞く」..... P593

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

「聞きたいフォルダを選ぶ」..... P593
「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P594

■聞きたい音楽ファイルを探したい

「聞きたい音楽ファイルを探す」..... P594

■いま聞いている音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」..... P595

■普段と違う順番で聞きたい

「音楽ファイルの順番を ランダムに聞く」..... P595

■再生できるUSBメモリについて知りたい

「USBメモリについて」..... P596

＜VTRについて＞

■VTR機器の映像を表示したい

「VTRの操作」..... P598

＜後席ディスプレイについて＞

■後席ディスプレイの操作について知りたい

「後席ディスプレイについて」..... P599

■前席側と違うオーディオモードを視聴したい

「後席ディスプレイの設定」..... P446

7. 目的別索引

音声操作

<音声操作について>

■音声で操作したい

「音声操作システムについて」..... P570

■操作できるコマンドが知りたい

「音声操作コマンド一覧表」..... P573

その他

<便利な機能>

■運転中、手元でオーディオを操作したい

「ステアリングスイッチについて」..... P606

<わからなくてお困りのとき>

■画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」..... P799

■故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」..... P807

ハンズフリー・G-BOOK関係

ハンズフリー機能について

＜ハンズフリー機能を使用する前に＞

■ハンズフリーに使用する携帯電話を本機に登録したい

「携帯電話の登録」..... P618

■本機と携帯電話をBluetooth接続したい

「携帯電話の接続」..... P620

■ハンズフリーに使用する携帯電話を選びたい

「使用する通信機器を選択する」..... P638

■ハンズフリーに通信モジュールを使用したい

「通信モジュールを選択する」..... P623

＜電話のかけ方について＞

■電話をかけたい

●電話番号を入力して電話をかけたい
「ダイヤル発信する」..... P626
●電話帳から電話をかけたい
「電話帳発信する」..... P627
●発信・着信履歴から電話をかけたい
「履歴発信する」..... P628
●少ない操作で電話をかけたい
「ワンタッチ発信する」..... P629
●交通・ナビゲーション関係の番号に電話をかけたい
「ナビから発信する」..... P630

7. 目的別索引

＜ハンズフリーの操作について＞

■着信中に操作したい

●かかってきた電話を受けたい
「電話を受ける」..... P631
●応答を保留したい
「電話を保留する（応答保留）」..... P632
●着信音量をかえたい
「着信音量を調整する」..... P632
●着信を拒否したい
「着信拒否する」..... P632

■通話中に操作したい

●音量を変えたい
「受話音量を調整する」..... P633
「送話音をミュート（消音）する」..... P634
●ハンズフリー通話と携帯電話での通話を切り替えたい
「通話を転送する」..... P634
●通話を終わりたい
「通話を終了する」..... P633

＜ハンズフリーの設定について＞

■音量をかえたい

「音量の設定をする」..... P637

■登録した携帯電話の情報を見たい

「電話機詳細情報を表示する」..... P639

■Bluetooth通信の設定をかえたい

「Bluetooth設定を変更する」..... P642
「ACC ON時のBluetooth接続確認案内」..... P646

■着信の設定をかえたい

「着信割り込み表示」..... P645
「自動着信応答」..... P646

■セキュリティの設定をかえたい

「ロックNo.を変更する」..... P658
「電話帳・発着信履歴制限をする」..... P659
「通信モジュールの発信制限をする」..... P660

■発着信履歴を削除したい

「履歴を削除する」..... P657

＜電話帳について＞

■電話帳にデータを登録したい

「携帯電話の電話帳データを転送する」..... P648
「電話帳に新規データを追加する」..... P650

■登録したデータを変更したい

「電話帳のデータを修正する」..... P653
「電話帳のデータを削除する」..... P654
「ワンタッチダイヤルを登録する」..... P655
「ワンタッチダイヤルを削除する」..... P656

G-BOOK機能について

＜G-BOOK機能を利用する前に＞

■G-BOOK オンラインサービスの利用を開始したい

「G-BOOKオンラインサービスについて」..... P662
「利用手続きの手順」..... P674
「利用開始操作をする」..... P678

7. 目的別索引

<ヘルプネットについて>

■ヘルプネットの利用を開始したい

「サービス開始操作※をする」.....P698

■緊急時にヘルプネットを利用して通報したい

「緊急通報をする」.....P700

■ヘルプネットの点検をしたい

「保守点検について」.....P704
「自動保守点検」.....P704
「手動保守点検」.....P705

■ヘルプネットの利用登録を解除したい

「利用登録の解除」.....P708

<G-Securityについて>

■G-Securityの利用を開始したい

「G-Securityについて」.....P712
「初期設定の確認・変更」.....P713
「サポートアドレスについて」.....P715

■G-Securityの各サービスについて知りたい

「アラーム通知」.....P717
「エンジン始動通知」.....P717
「車両の位置確認」.....P718
「警備員の派遣」.....P718

■G-Securityをパソコンや携帯電話で利用したい

「携帯電話での操作について」.....P719
「パソコンでの操作について」.....P721
「G暗証番号ログインの登録」.....P720

<オペレーターサービスについて>

■オペレーターサービスを利用したい

「オペレーターサービスについて」..... P722
「オペレーターサービスを購入する」..... P723

■取得した情報を手動で受信したい

「手動で情報を取得する」..... P725

<ナビ連携機能について>

■ナビ連携機能を利用したい

「渋滞予測情報を表示する」..... P727
「G ルート探索（プローブ情報付）をする」..... P731
「G メモリ地点を登録する」..... P733
「ドライブプランを利用する」..... P734
「G で設定画面を表示する」..... P735
「施設の情報を表示する」..... P737
「G 情報マークを表示する」..... P738
「G 情報マーク連動サービスについて」..... P739

<メインメニューについて>

■ブラウザ画面を操作したい

「ブラウザ画面で操作する」..... P743
「閲覧履歴からコンテンツを表示する」..... P749
「ブックマークしたコンテンツを見る」..... P751

■ブックマークを編集したい

「ブックマークに登録する」..... P751
「ブックマークの修正をする」..... P752
「ブックマークを削除する」..... P753

7. 目的別索引

＜G-BOOKの設定について＞

■プライバシー設定をかえたい

「プライバシー設定をする」..... P754

■通信の設定をかえたい

「通信設定をする」..... P760

■メインメニュー利用時の設定をかえたい

「ブラウザの設定をする」..... P747

■文字入力の設定をかえたい

「単語の編集」..... P762
「定型文の修正」..... P764
「入力履歴の削除」..... P765
「予測変換候補の表示」..... P765

＜Myリクエストについて＞

■コンテンツを登録したい

「My リクエストの編集をする」..... P774

■コンテンツをリクエストしたい

「My リクエストを使う」..... P772
「音声認識でリクエストをする」..... P774

■コンテンツの読上げ中に操作したい

「My リクエスト画面で操作する」..... P769

＜G-SOUNDについて＞

■G-SOUND楽曲を購入前に試聴したい

「楽曲を試聴する」..... P779

■G-SOUND楽曲を購入したい

「利用手続きをする」..... P782

■G-SOUND楽曲を再生したい

「G-SOUND 楽曲を再生する」..... P783

■G-SOUND楽曲を削除したい

「G-SOUND 楽曲を削除する」..... P783

■Gライブラリディスクからデータをコピーしたい

「パッケージをコピーする」..... P785

＜CDタイトル情報取得について＞

■最新のCDタイトル情報を取得したい

「タイトル情報を取得する」..... P787

その他

＜便利な機能＞

■運転中、音声でハンズフリーやG-BOOKを操作したい

「音声操作システムについて」..... P788

■運転中、手元でハンズフリーやG-BOOKを操作したい

「ステアリングスイッチについて」..... P793

＜わからなくてお困りのとき＞

■画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」..... P802

■故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」..... P809

8. 索引

五十音順

ア

暗証番号 755
安全・快適走行設定 113
イメージカラーの切り替え 55
インターチェンジ（IC）の指定 174
迂回メモリ地点の登録 219
閲覧履歴 749
エリアスイッチ 451
応答保留 632
オペレーターサービス 722
音質の調整 428
音声案内 195
音声操作システム 282,570,788
音声多重放送 537
音量の設定 86,637
オーディオモードの切り替え 423
オープニング画面 66
オンルートスクロール 198

カ

画質の調整 443
画面切り替え時の動画表現 85
画面の調整 83,441
画面モードの切り替え 445
カレンダー機能 277
簡易画面 635
季節規制区間の表示 164
距離の補正 387
緊急通報 700
携帯連携機能 278
県境案内 112
現在地の表示 88
交差点案内 185
高速分岐案内 194
高速略図画面 102
高速路線マップ 104
交通状況学習機能 269
交通情報 452
個人情報の初期化 62

サ

サイドモニターシステム 369
作動条件 36
サポートアドレス 685
残距離表示の切り替え 197
シーズンレジャーランドマーク 111
市街図の表示 95
自車マーク 69
施設の表示 114
試聴 779
自動再探索 204
車両情報を設定 190
渋滞予測機能 266
主音量の調整 427
情報・G・BT ナビ画面（情報） 246
情報・G・BT ナビ画面（BT ナビ） 278
情報・G・BT ナビ画面（G-BOOK） 664
新旧ルート比較表示 159
スイッチ表示について 38
スクロール時の地名表示 89
スケール表示 92
ステアリングスイッチ 606,793
精度と誤差 409
セキュリティ機能 56
設定・編集画面 72
全ルート図表示 161
走行軌跡の表示 97
操作画面継続表示の設定 54
操作説明音声の設定 87

タ

ターンリスト図案内 193
ダイヤル発信 626
タッチスイッチ 38
地図縮尺の切り替え 92
地図の移動 89
地図の名称（文字サイズ） 85
地図の表示色 84
地図の呼び出し方法 121
地図向きの切り替え 98
地点の登録 207
地点情報の受信 280
地点情報の送信 279
着信拒否 632
駐車場マップ 107

通過道路の指定 177
通信モジュール 662
通信ロック 758
通話転送 634
データ放送 542
提携駐車場の検索 147
デモ機能 276
デモンストレーション（デモ） 181
テレビ 523
電池残量表示 467,616
電話帳 647
電話帳（交通・ナビ関連機能） 271
電話の受け方 631
電話のかけ方 624
統計データ情報 268
到着予想時刻／残距離表示の切り替え 197
到着予想時刻表示 188
特別メモリ 207
時計表示 85
都市高速マップ 194
ドライブプラン 734

ナ

ナビゲーション画面の見方 69
ナビゲーション設定の記憶 390
入力履歴 127
ノースアップ表示 98

ハ

ハートフル音声の設定 87
バックガイドモニターの操作 319
バックモニターの操作 363
パッケージ 785
発着信履歴制限 659
ハンズフリー 610
販売店の設定 244
非アクセス登録 690
ビジュアルシティマップ 111
昼画表示 83,441,442
ヒント機能 82
ピンポイントで検索 145
フェリー航路 188
ブックマーク 751
ブラインドコーナーモニター 369
フロントワイド表示 99
平均車速を設定 188
ヘディングアップ表示 98
ヘルプネット 691
方位マーク 69
保守点検 704

マ

マップオンデマンドについて 393
マップコード 142
マップマッチング 410
マルチアングルマーク 562
マルチビューバックガイド
モニターの操作 355
ミュートレス音声案内 436
名称検索結果の並べ替え 133
名称を入力 214
メモリ地点の登録 208
メンテナンス機能 236
目的地案内の開始・中止・再開 181
目的地の設定 151
目的地メニューカスタマイズ 206
目的地履歴の消去 205

ヤ

夜画表示 83,441,442
予測候補 127

ラ

ライセンス 776
ラジオアンテナ 64
ラジオの操作 449
リアル交差点拡大図 186
リアル市街図を表示 108
立体ランドマークの表示 112
利用開始操作 678
利用手続き 673
料金案内 190
ルート学習探索 156
ルート情報（案内道路情報） 165
ルート探索 155
ルートの再探索 200
ルートの変更 167
レーンリスト図案内 187
ロック No. 658

8. 索引

ワ

ワイドモード切り替え画面 445
ワンタッチスクロール 89
ワンタッチダイヤル 629

アルファベット

A

AUTO.P 450
AUX（ポータブルオーディオ機器）の操作 479

B

BASS 432
BEEP 音 53
Bluetooth オーディオの操作 464
Bluetooth 携帯電話 611
BODY TYPE 439

C

CD タイトル情報取得 787
CD の操作 453
CSE（Clear Sound Effector） 431

D

DVD の操作 552
DVD ビデオの特長 567

E

ECO 機能 228
EPG（電子番組表） 539
ETC システム 313
EUPHONY 429

F

FAD BAL 440
FILE LIST 457
FM 多重放送 272
FOCUS 434

G

G-BOOK 662
G-Security 712
G-SOUND 775
GPS 71
G 情報マーク表示 738
G 情報マーク連動サービス 739
G で設定 735
G メモリ地点 733
G ライブラリディスク 777
G ルート探索（プローブ情報付） 731

H

HDD オーディオの操作 499

I

iPod プレーヤーの操作 580

M

MP3・WMA について 459
MP3・WMA の操作 455
My リクエスト 769

P

P.EQ 437

Q

QUICK SETUP 49

R

RAND 454,458,483,504,595
ROAD EQ 434
RPT 454,457,483,503,595

S

SCAN 454,457,483,503,594

T

TRACK LIST 584

U

USB メモリの操作 591

V

VICS 247
VICS ビーコンユニット 309
VISUAL EQ の設定 444
VTR の操作 598

数字

数字

2 画面表示 100
3D 表示 108
5 ルート同時表示 166

9. アフターサービスについて

トヨタ純正 HDDナビゲーション

1. 保証について

1）保証の内容

トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、または製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。
（以下、この無償修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2）保証の期間、受け方

（1）保証期間
保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。

（2）保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3）保証しない事項

（1）保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

① トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造等。

② 取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管等および地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災。

（2）次に示すものの費用は負担いたしません。

① 消耗部品および油脂類等。（ヒューズ、各種電球等。）

② 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失等。

4）保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5）その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 補修用性能部品の最低保有期間

このHDDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ダイハツ純正 ワイド地デジ ハイスペックG-BOOK HDDナビ

1. この商品には保証書を添付しております。
   保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2. 調子が悪いとすぐ故障とお考えがちですが、修理に出す前にこの取扱書を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。
   それでも調子が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
   - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持込みください。
     保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
   - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お求めの販売店にまずご相談してください。
     お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたします。

3. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

4. アフターサービスなどについておわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

10.仕様

<テレビ・ディスプレイ>

受信チャンネル	UHF13～62チャンネル
液晶パネル	7型ワイド（16：9）低反射パネル
画面寸法	幅158.6mm・高さ84.3mm・対角179.6mm
ドット数	1,152,000画素（縦480×横800×3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20℃～+65℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	●AM522～1,629kHz
	●FM76～90MHz
実用感度	●AM 34dBμ以下（S/N=20dB）
	●FM 14dBμ以下（S/N=30dB）
ステレオセパレーション	25dB以上

<DVD部>

音声歪率	0.3%以下
音声周波数特性	100～19,997Hz 0±3dB
音声信号対雑音比	65dB以上（1kHz：0dB [JIS-A]）
映像信号対雑音比	58dB以上（White 50%）

<CD部>

残留歪み	0.3%以下
周波数特性	20～20,000Hz
S/N比	65dB以上（1kHz）
ステレオセパレーション	60dB以上

<SD部>

残留歪み	0.3%以下
周波数特性	20～20,000Hz
S/N比	65dB以上（1kHz）
ステレオセパレーション	60dB以上

<共通部>

定格出力	25W×4（4Ω、1kHz、10%THD以下）
最大出力	40W×4（試験電圧14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
消費電流	●1W×4出力時　約5A ●最大約15A
外形寸法	横幅205.5mm・高さ104mm・奥行161.5mm
質量（重量）	約3.35kg

<HDD（ハードディスクドライブ部）>

容量	50GB
使用温度範囲	- 20℃ ～ + 65℃

<バックモニター/バックガイドモニター（オプション）>

撮像素子	1/4インチ　カラーCCD
CCD画素数	約27万画素
水平解像度	300ＴＶ（中心）以上
カメラ　焦点距離	f = 1.3mm
F値	1：3.0
画角（水平、垂直）	135°、105°
TV方式	NTSC
標準映像出力レベル	1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度	1.6 lux（25IRE）
ホワイトバランス方式	自動
自動感度調整範囲	1：1600以上
電源電圧	DC6V ± 0.3V
消費電流	150mA（最大）
ケーブル長	12m
使用温度範囲	- 20℃ ～ + 60℃
保存温度範囲	- 30℃ ～ + 80℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）	約27mm × 24mm × 24mm
質量（重量）	約35g（ケーブル除く）

（注）
- 部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。
- 製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますので御了承ください。

11.凡例

施設表示の凡例

表示①… ビジュアルシティマップ画面　表示②… 通常地図画面

表示①	表示②	内容
(紫色)	(紫色)	高速・都市高・有料道路
1		国道
(緑色)	(緑色)	主要地方道
56		県道
(灰色)	(灰色)	その他の道路(巾5.5m以上)
(灰色)	(灰色)	その他の道路(巾3.0m以上)
		トンネルまたは整備計画区間(上記各道路で表示あり)
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		踏切
		ボトルネック踏切※
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
IC	IC	インターチェンジ
IC	IC	スマートインターチェンジ
SA	SA	サービスエリア
PA	PA	パーキングエリア
		信号機
P	P	駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル
		港湾
		空港・飛行場

表示①	表示②	内容
文	文	学校
幼	幼	幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
H	H	ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
卍	卍	寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設
		トヨタ販売店・共販店
		ネッツ店
		ダイハツ販売店
L&F	L&F	トヨタL&F

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。
表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

本製品にはシリアルNo.ラベルが同梱されております。シリアルNo.ラベルはお客様のナビゲーションであることを速やかに判別するために、本体と同じ製品番号が記載されています。

ここに貼ってください

シリアルNo.ラベルを貼付のうえ、大切に保管してください。

HDDナビゲーション　取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社
ダイハツ工業株式会社
アイシン・エィ・ダブリュ株式会社

●印刷　C−2010年3月25日　●発行−2010年4月12日
99400-00401